

平成16年度

2004年

講義要綱・シラバス

今年度から、従来の「講義要綱」を「講義要綱・シラバス」として学生諸君に配布することとなりました。これまでのものよりも詳細に記述してあります。特に授業計画、成績評価方法については、現時点で可能なものは盛り込まれています。履修科目の選択に際して活用してください。これらはWebでも参照できるようになっています。

(<http://www.gakuji.keio.ac.jp/academic/rishu/index.html>)

今回の授業シラバスの公開は慶應義塾の教育改革の一環として行ったものです。

ただし内容や形式についてはなお試験的な面もあり、来年度以降も引き続き改善をはかっていきたいと考えています。

目 次

日吉設置共通授業科目	1
------------	---

少人数セミナー形式授業科目	63
---------------	----

【文学部設置の少人数セミナー形式科目】	64
---------------------	----

【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】	65
----------------------	----

【法学部設置の少人数セミナー形式科目】	73
---------------------	----

【商学部設置の少人数セミナー形式科目】	77
---------------------	----

【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】	84
----------------------	----

学部独自設置授業科目	91
------------	----

1 文学部	92
-------	----

2 経済学部	
〔ガイダンス科目〕	97
〔基礎教育科目〕	97
〔専門教育科目〕	107
〔総合教育科目〕	112

3 法学部	
〔数学・統計・情報処理科目〕	115
法律学科	118
政治学科	125
〔社会科学科目〕	125
〔政治学科目 - 基礎科目 (必修)〕	128
〔政治学科目 - 選択科目〕	130
〔政治学科目 - 集中学習科目〕	132

4 商学部	
〔基礎科目 類〕	139
〔基礎科目 類 A群〕	139
〔基礎科目 類 B群〕	141
〔基礎科目 類 C群〕	142
〔専攻科目 類〕	143
〔専攻科目 類〕	144
〔総合教育科目 (類)〕	146
〔自主選択科目〕	147

5	医学部		
	第1学年		148
		〔基礎科学必修科目〕	148
		〔医学基礎教育科目〕	150
6	理工学部		
	第1学年		151
	第2学年		155
	総合教育科目		186

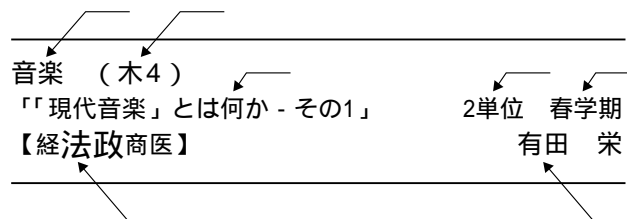
	研究所設置講座、履修案内	191
--	--------------	-----

1	メディア・コミュニケーション研究所	192
2	体育科目（体育研究所）	195
	体育学講義	195
	体育学演習	197
	体育実技A（ウィークリー・スポーツクラス）	198
	体育実技A（シーズン・スポーツクラス）	209
	体育実技B（ウィークリー・スポーツクラス）	212
	体育実技B（シーズン・スポーツクラス）	213
3	保健管理センター	217
4	外国語教育研究センター	218
5	情報処理教育室	221
6	教養研究センター	223
7	国際センター	225
8	言語文化研究所	227
9	知的資産センター	230
10	教職課程センター	231
11	外国語学校	234

日吉設置共通授業科目

日吉設置共通授業科目は、科目名の50音順（アイウエオ順）に掲載しています。

【凡例】



科目名（太字部分）

学部・学年により科目名が異なる科目は科目名を複数記載しています

授業の曜日時限

曜日時限により授業の内容が異なる場合のみ曜日時限を記載しています

授業のサブタイトル

単位数

開講学期

通年 : 1年間通して行われる科目

春学期 : 春学期終了科目

秋学期 : 秋学期終了科目

春・秋学期 : 春学期と秋学期にそれぞれ開講される科目

科目設置学部

【 】内の文字は以下の学部・学科を表し、それらの学部・学科の時間割にその科目が記載されています。科目を履修する場合は所属学部の時間割に記載のある登録番号（5桁の数字）で履修申告してください。

文：文学部 経：経済学部 法：法学部法律学科 政：法学部政治学科
商：商学部 医：医学部 理：理工学部

他学部の科目は、科目設置学部（【 】内の文字が大きく表示されている学部）の時間割に記載されている登録番号で履修してください。

科目担当者

【科目認定用紙について】

所属学部の時間割に記載のない科目を履修希望する場合は、科目認定用紙の提出が必要になります。

用紙は科目設置地区・所属学部の学事センター窓口にて配布しています。

授業に出席して科目担当者から履修許可を得てください。（詳細は所属学部の履修案内の「第2 履修申告までの流れ」で確認してください。）

他学部に開放していない科目もあり、履修できない場合もありますので注意してください。履修申告をする場合、科目設置学部（【 】内の文字が大きく表示されている学部）の時間割に記載されている登録番号を選択してください。

科目認定用紙の提出締め切り：4月17日（土）11:00

宇宙の科学

「宇宙の過去・現在・未来」

2単位 春学期

【商】

表 實

【授業科目の内容】

観測装置の進歩により、宇宙の科学では近年相次いで新しい発見がなされ、宇宙の謎が解明されつつある。宇宙の科学が明らかにした宇宙の過去・現在・未来の姿とはどのようなものであるか。

本講義の目的は、宇宙の科学が明らかにした宇宙の姿について最近の成果をまじえながら紹介することであり、さらに宇宙について何が解明されたのか、また何が謎として残されているのかについて考えてみることである。

講義を履修するにあたって、高校物理の知識は必要としません。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。

映像・音響文化論

2単位 秋学期

【経商医理】

杉田 敦

【授業科目の内容】

映像、音響関連の現代美術作品を通して、表現に対する意識の変遷から、背後にある文化、思想、社会の在り方、全般について論じる。

【参考書】

杉田敦『メカノ 反電子主義の美学』青弓社、
U. エーコ『開かれた作品』青土社

映像・音響文化論

「映像芸術の可能性について」

2単位 秋学期

【経商医理】

深田 独

【授業科目の内容】

映画による語りの文法が成立していく過程を通して、劇映画と映画産業の確立の歴史について概観するとともに、商業的な劇映画とは異なる実験的な映画による映像表現の可能性についても考察します。

授業では、なるべく多くの作品をビデオで上映します。

【教科書】

特になし。

音楽（木4）

「現代音楽」とは何か その1」

2単位 春学期

【経法政商医】

有田 栄

【授業科目の内容】

いまだに「わかりにくい」と敬遠されがちな「現代音楽（同時代音楽）」。

しかし個々の作品をじっくり聴いてみれば、そこにはこの上なく人間的な響きがあり、豊かな

なアイデアがあり、日常生活までも生き生きと輝かせる驚きや感動があるのです。この授業では、現代の音楽の「難しさ」を一つ一つときほぐしながら、作品の歴史的・社会的背景を考えていきます。歴史の中で繰り返し問われてきた普遍的な問いに、芸術家たちはどのように答えようとするのか。それを探ることは、翻って自分自身の考え方や感性を、歴史と現在の座標の中で問うことでもあるからです。授業では、教養として必要な概説的な知識から、他の芸術・学問領域へと興味を広げていくための、やや専門的な事柄も学びます。そこから現代芸術の楽しみ方を見つけてほしいと思います。「その1」（春学期）は、19世紀末の「現代の夜明け」から第二次世界大戦期までを扱います。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する

音楽（木5）

「声」の音楽 その1」

2単位 春学期

【経法政商医】

有田 栄

【授業科目の内容】

私たち人間にとって、もっとも身近な現象である「声」とその芸術について学びます。「声」とは、「歌う」とは、どういうことでしょうか。他人の声や周囲の物音なら意図的に遮断することができますが、自分自身の声から逃れることはできません。また私たちは、必ずしも音響を伴わないものも「声」と呼びます。他方で、動物や無生物の発する音を「声」として聞いてしまうことがあります。それは一体なぜなのか。「声にならない声」とは何か。単なる「比喻」なのか。こうした不思議や疑問の中に、ひいては人間存在の謎に迫る鍵が隠されているのではないかと、そうした観点から、声とその音楽が持つ意味を考えていきます。春学期の「その1」は、主に歴史的な視点から、古代から現代までの西洋音楽史を中心に、さまざまな声楽ジャンルの歴史とそのレパートリーを取り上げて論じます。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

音楽（木4）

「現代音楽」とは何か その2」

2単位 秋学期

【経法政商医】

有田 栄

【授業科目の内容】

春学期開講の「現代音楽」とは何か その1」の続編として、秋学期の「その2」では、第二次世界大戦後から現在までを扱います。ただし内容的には、秋学期から新たに履修することも可能です。「その2」では、音楽の同時代性により重点を置き、個々の作曲家の思想や作品が、今の私たち自身の世界観とどうかかわっているのか

を考えます。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

音楽（木5）

「声」の音楽 その2」

2単位 秋学期

【経法政商医】

有田 栄

【授業科目の内容】

春学期開講の「声」の音楽 その1」の続編ですが、内容的には、秋学期から新たに履修することも可能です。「その2」では、主に美学的な視点から、「声」とその芸術を論じます。また、現代の声の芸術について、より詳しく扱います。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

音楽（水5）

「18世紀のオーケストラと演奏習慣」

4単位 通年

【文経法政商医理】

石井 明

【授業科目の内容】

モーツァルト、ベートーヴェン、ハイドンなどが活躍していた18世紀後半は、オーケストラという概念が誕生して間もない頃です。その当時の作曲家達が理解していたオーケストラ像は、現代に生きる我々が持つそれとは大きく異なっていました。相違点としては、グループ全体のサイズ、使われている楽器の種類、演奏方法、聴衆や演奏会場の大きさなどを挙げることができます。その一方、18世紀後期に書かれた、交響曲と協奏曲を中心とした管弦楽曲は、スタンダ-ド・レパ-トリ-の一部として現代でも盛んに演奏されています。しかしそこにある姿、そして奏でられる音は、決して当時の作曲家達が求めていたものではありません。そこでこの講義では、現代のオーケストラで失われてしまったものがどのようなものなのかということ、18世紀に書かれた管弦楽曲を実際に演奏することにより模索します。

受講対象者は、弦楽器および管楽器を所有し（またはそれらに常時アクセスでき）かつそれを演奏するある程度の能力を備えている学生とします。本来は、当時の楽器またはそれを復元したものを使用するのが理想としますが、そのような楽器を揃えることは困難なことから、現代の楽器を使用しながら当時の演奏方法を検証します。演奏および講義を通じて学んだ成果は、コンサートという形で発表を行います（年2回を予定）。

今年度は、モーツァルトの生誕地であるザルツブルクに焦点を置き、モーツァルトの作品と、18世紀の器楽音楽の発展に大きく貢献したジョゼフ・ハイドンの弟であり、ザルツブルグを活動の拠点としていたミハエル・ハイドンの交響曲を主に取り上げます。オーケストラの

サイズは、18世紀中頃のものに準じたものとします（約20名）。管楽器の募集は、オーボエ、ファゴット、ホルン（それぞれ2名か3名）とします。弦楽器は、バイオリンを10名ほど募集し、ヴィオラ、チェロ、弦バスはそれぞれ若干名とします。参加希望の学生は、オリエンテーションに必ず出席し、そこで履修希望届を教員に提出してください。その後、教員から履修許可証が発行されます。履修許可証がないと履修登録が無効となるので、注意してください。

音楽（水3）

「バロック期と古典時代の音楽」

4単位 通年

【文医理】

石井 明

*科目設置学部は経済学部です

【授業科目の内容】

音楽史上では、バロック期の範囲を一般的に1600年頃から1750年までとしているが、これは、オペラの誕生からバッハの死までを指す。これ以前のルネサンス期では、イタリアなどで教会を中心に他の芸術分野と共に音楽は飛躍的な発展を遂げた。しかし、ヨーロッパ全体では、社会が決して安定していた時期とは言えず、高度な音楽芸術の普遍とまでには至らなかった。17世紀に入り、三十年戦争が終結した頃から社会が安定し始めると、各宮廷そして都市において、これまで以上の文化的な成熟が見られるようになった。これは音楽にも強く反映され、特に、世俗音楽の発展は目覚ましいものとなった。

古典時代は、音楽史の流れの中でバロック期の後に位置付けられているが、これはこの時代が、バロック終結後に訪れたことを意味しているのではない。バッハと同年に生まれより長生きしたヘンデルは、バッハ同様、自身が確立した作曲様式を崩すことなく晩年を過ごした。その反面、新しい音楽スタイルの模索は、ヨーロッパ各地でバッハの死以前に始まっていた。例えばバッハの息子達は、父親の影響を受けながらもそれぞれが新しい様式を作り上げていた。また、この時代の音楽は、社会の成長と共に生まれてきた新しい思想に大きく影響されたが、ハイドンやモーツァルトの作品もその例外ではない。18世紀も終わりに近づくと、ヨーロッパでは社会が急変したが、このことは、ベートーヴェンの音楽に著しく影響した。

本講義では、これらのような歴史的な動きを、17・18世紀に生まれた様々なジャンルの音楽を通じて考察する。さらに、音楽の発展、音楽と社会、そして音楽と宗教との係わり合い等をも視野に入れる。

【教科書】

D. J. グラウト / C. V. パリスカ著（戸口幸策 / 津上英輔 / 寺西基之共訳）『新西洋音楽史』（中巻）音楽之友社

音楽〔春学期〕（水3）

「バロック期の音楽」

2単位 春学期

【経法政商】

石井 明

【授業科目の内容】

音楽史上では、バロック期の範囲を一般的に1600年頃から1750年までとしているが、これは、オペラの誕生からバッハの死までを指す。これ以前のルネッサンス期では、イタリアなどで教会を中心に他の芸術分野と共に音楽は飛躍的な発展を遂げた。しかし、ヨーロッパ全体では、社会が決して安定していた時期とは言えず、高度な音楽芸術の普遍とまでには至らなかった。17世紀に入り、三十年戦争が終結した頃から社会が安定し始めると、各宮廷そして都市において、これまで以上の文化的な成熟が見られるようになった。これは音楽にも強く反映され、特に、世俗音楽の発展は目覚ましいものとなった。本講義では、このような歴史的な動きを、この時代に生まれた様々なジャンルの音楽を通じて考察する。さらに、音楽の発展、音楽と社会、そして音楽と宗教との係わり合い等をも視野に入れる。

【教科書】

D. J. グラウト / C. V. パリスカ著 (戸口幸策 / 津上英輔 / 寺西基之共訳) 『新西洋音楽史』(中巻) 音楽之友社

音楽 [秋学期] (水3)

「古典時代の音楽」 2単位 秋学期

【経法政商】 石井 明

【授業科目の内容】

古典時代は、音楽史の流れの中でバロック期の後に位置付けられているが、これはこの時代が、バロックの終結後に訪れたことを意味しているのではない。バッハと同年に生まれより長生きしたヘンデルは、バッハ同様、自身が確立した作曲様式を崩すことなく晩年を過ごした。その反面、新しい音楽スタイルの模索は、ヨーロッパ各地でバッハの死以前に始まっていた。例えばバッハの息子達は、父親の影響を受けながらもそれぞれが新しい様式を作り上げていた。本講義では、まず、古典時代の音楽様式のルーツを探り、既存の音楽スタイルの変化に注目する。また、この時代の音楽は、社会の成長と共に生まれてきた新しい思想に大きく影響されたが、これを、特にハイドンとモーツァルトの作品を取り上げながら考えてみる。また、18世紀も終わりに近づくと、ヨーロッパでは社会が急変したが、このことは、ベートーヴェンの音楽に著しく影響した。このような事柄を彼の作品の中に見出すだけでなく、彼の音楽作品の中にある、ロマン派の作曲家達の手本となった要素をも考えてみる。

【教科書】

D. J. グラウト / C. V. パリスカ著 (戸口幸策 / 津上英輔 / 寺西基之共訳) 『新西洋音楽史』(中巻) 音楽之友社

音楽

「クラシック音楽の歴史を学ぶ」 4単位 通年

【文経法政商医理】 石多 正男

【授業科目の内容】

西洋古典音楽(クラシック)を、歴史を追いながら鑑賞していただきます。とはいえ、ただ漫然と鑑賞するの

ではなく、音楽をさまざまな観点から知的に理解する鑑賞法を身につけていただきます。例えば、ベートーヴェンの交響曲<運命>について、それはなぜ今日でも聴衆に感動を与えるのか、どのような形式で作られ、旋律や調性の工夫はどのようなされているか、どのような楽器が使われているか、あのような激しい曲想が生み出された時代的背景はなにか、などについて考えていただきます。

【教科書】

石多正男著『チャート式クラシック鑑賞術』春秋社 (3000円)

【参考書】

随時指摘する。

音楽

「民族音楽学概論」 4単位 通年

【文経法政商医理】 尾高 暁子

【授業科目の内容】

諸民族が音楽をいかに作り、享受し、伝えてきたかを、民族音楽学の研究成果をもとに再考します。前期は地域別に伝統音楽を概観。後期は「儀礼」「近代化」「楽器学とは?」「伝承」など複数の観点から諸民族の音楽活動をさぐります。

【教科書】

柘植元一・塚田健一編『はじめての世界音楽』音楽之友社(1999年 2000円)

【参考書】

特になし。

音楽

「ドイツ、フランス、ロシアのオペラ」 4単位 通年

【文経法政商医理】 加藤 浩子

【授業科目の内容】

昨年度のイタリア・オペラに続き本年度はドイツ、フランス、ロシアのオペラを、歴史をたどりながら概観する。

【参考書】

授業中に指示する。

音楽(水5)

「合唱音楽の歴史」 4単位 通年

【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

欧米の大学におけるコレギウム・ムジクムの伝統にならった授業である。音楽を単に知識としてだけでなく、体験として学ぶことを目指し、それによって耳と思考と身体とを有機的に結びつけていくことを目的とする。

本授業は、合唱の実技を中心として、同時に西洋音楽の歴史の屋台骨となった合唱音楽の歴史を同時に学ぶ。取り上げる曲は、ルネッサンスから現代まで、すなわちパレストリーナ、バッハから武満徹、三善晃に至る内外の合唱曲である。

【教科書】

その都度指示する。

【参考書】

その都度指示する。

音楽（金1）

「音楽理論入門」 4単位 通年

【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

本授業は、西洋音楽における理論的基礎を、実習を伴いつつ学ぶ授業である。授業は、2つの部分に分かれ、両者を平行して進めていく。第1は、教科書『総合和声』に従って、多声調性音楽の基本構造を実践的に学ぶ。第2は、西洋音楽理論のさまざまなトピックについての講義である。後者では、音の組織について、音の組み合わせについて、音楽形式についてのそれぞれのトピックについて授業を進める。

各回に、実習課題を課す。課題は自分で実際に和音を組み立てて、音を書いたり、実際の楽曲を解析したりするものである。

内容的には高度の授業であり、予めそれなり心構えが必要になる、多くの学生諸君のチャレンジを期待している。

【教科書】

島崎譲他著『総合和声 実技・分析・原理』音楽之友社（1998年）

【参考書】

U. ミヒェルス編『図解音楽事典』（日本語版監修、角倉一朗）白水社（1989年）、野崎哲著『新しい楽典』音楽之友社

音楽（金3）

「ピアノ・オルガン音楽史」 4単位 通年

【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

鍵盤音楽は、多声音楽の発達した西洋において、音楽的思考を具現化するための媒体、また音楽教育の媒体、娯楽的音楽の媒体として、重要な役割を果たしてきた。

本授業では、西洋音楽の歴史からとくに鍵盤音楽というジャンルを切り口として、音楽を感覚的にだけでなく、知的に把握することの意味を考えながら、人間と音楽との関係を洞察することを目的とする。

具体的には、楽器とテクノロジーの問題、鍵盤楽器演奏法の歴史、鍵盤音楽と社会、音楽と言語、音楽的思考とは、音楽と言語、音楽と時代思想などといった、音楽全体に関わるトピックを、鍵盤楽器のさまざまなレパートリーから読みとっていくという方法で授業を進める。

【教科書】

その都度指示する。

【参考書】

その都度指示する。

音楽

「1848年以前のロマン派音楽」 4単位 通年

【文経法政商医理】 福田 弥

【授業科目の内容】

本講義は、ロマン派初期から1848年の革命に至る間の約30年間の西欧音楽を対象とする。音楽の歴史が、各時代の地域社会の変化から大きな影響を受けていることは言うまでもない。19世紀前半のヨーロッパは、貴族社会から市民社会への移行期であり、市民社会の擡頭、各民族の民族意識の高揚とともに、自由、平等、独立に向けて、社会の価値観や体制は揺れ動いた。また、この時代はコスモポリタニズムとナショナリズム、伝統と革新、自由主義と反動体制、聖と俗など、多くの相対立する性格を併せ持つ時代でもある。こうしたなか、音楽は商業主義に組み込まれていき、演奏会、楽譜印刷、音楽のジャンル、作品概念、楽器（とくにピアノ）の可能性などが大きく変化していった。したがって、作品の様式を通じて音楽史を捉えるだけでなく、政治・社会状況との関わりにおいて、この時代の音楽を説明していく。

【教科書】

特になし。随時、プリントを配付する。

【参考書】

グラウト／パリスカ著（戸口幸策ほか訳）『新西洋音楽史』（下巻）音楽之友社（2001年）、アレグザンダー・リンガー編（西原稔監訳）『西洋の音楽と社会7、ロマン主義と革命の時代』音楽之友社（1997年）

化学

「化学結合と地球環境」 6単位 通年

【文経法政商】 大場 茂

【授業科目の内容】

原子が結合して分子を形成します。この分子の構造を元素記号と結合の線で表わしたものが化学構造式です。この授業では化学構造式の意味、その実体を学びます。また、科学史における化学の発展や、社会と化学との関わり、および地球を取り巻く環境問題にも触れます。これを通して、世界の路線をより良い方向に切り変えるような大局観が、諸君に少しでも芽生えることを期待しています。

【教科書】

講義では毎回プリントを配布します。実験ではテキスト（実費）を使います。

【参考書】

太田・岩村・大場・西山著『生命科学のための基礎シリーズ、化学』実教出版（2002年）

化学

「現代化学のあけぼの」 6単位 通年

【文経法政商】 清水 健一

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに100種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性を持った物質が生成します。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたいと考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱い方などを実習する。

【教科書】

佐々木・辻岡・膳・大矢共著『大学過程一般化学』オーム社

【参考書】

ポーリング著『一般化学』(上、下)岩波書店

化学

「化学の言葉で自然の不思議をひも解く」 6単位 通年
【文経法政商】 小瀬村誠治

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかつただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ水に浮くのだろうか”など様々な“なぜ”を感じたと思う。時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象(生命、生態、環境など)を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接することができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト(実費)は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

化学

「物質の化学」 6単位 通年
【文経法政商】 志村 正

【授業科目の内容】

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。

【講義】

私たちのまわりには、実にさまざまな物質があふれています。物質のもつ性質、すなわち色や形状、導電性な

どはすべて化学構造と密接に関係しています。近年の技術向上により生み出されている“新素材”と呼ばれるものも特殊な機能をもたせるため、化学的に構造設計されたものがほとんどです。

講義では、はじめに化学の基礎的な事柄について分かりやすく解説し、それをもとに物質とその性質について化学的に考えていきます。

【実験】

文科系の皆さんにとってこれから先、自分の手で化学実験を行う機会にめぐり合うことはまずありえないでしょう。実際に物質を取り扱ってその性質を調べたり、物質を合成したりすることは、化学を理解する上で必要不可欠です。

実験では、金属イオンの系統分析、炎色反応、有機化合物の合成、色素の合成と染色、化学発光などを行う予定です。

【教科書】

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

漢文

「中国古典小説を読む」 4単位 通年
【文経法政商医】 渋谷誉一郎

文学部2・3・4年生が、「漢文」を履修希望する場合、自由科目として履修すること。

【授業科目の内容】

中国古典小説の中から代表的な作品を選んで講読します。春学期は志怪小説、秋学期は伝奇小説を読む予定です。最初の授業時に中国の小説の歴史と特徴について概述します。それ以後は演習形式で読み進めていきます。毎回2名の担当者を指名し、指定された範囲について、訓読、語句の解釈、現代語訳をあらかじめ準備し、翌週の授業で発表してもらいます。また、履修者の希望によって、志怪や伝奇以外の作品を読むこともできます。

【教科書】

近藤春雄編『中国志怪・伝奇選』武蔵野書院

【参考書】

近藤春雄『中国の怪奇と美女』武蔵野書院、内田泉之助『唐代伝奇』(新書漢文体系)明治書院、今村与志雄『唐宋伝奇集』(上下)岩波文庫

基礎の数学

「数学が苦手な人のための数学」 2単位 春学期
【経商理】 小松 建三

【授業科目の内容】

数学は現在苦手だが、その状態を少しでも改善したいという意欲のある学生のみを対象とする。数学が苦手とはいえない人は、決して履修しないこと(履修しても周囲の人たちから「ウソつきだ」といわれて不愉快な思いをするだけである)。「多項式の微分ができない」、「積分記号を見たことがない」といった、かなり「重症」の人も想定している。この科目に関しては、「内容がやさしすぎてつまらない」という苦情は受け付けません。反面、

どんな初歩的な質問もOKである。

総合教育科目としての課題は「この科目を通じて友人を作ること」である。数学が苦手という共通項があり、妙なコンプレックスを持たなくてすむため、友人が得意な環境ではあるが、それでも相当の努力をしないと、この課題の達成は困難である。しかし単なるタテマエではないので、履修する以上は真剣に取り組むことを期待する。

一変数関数の微分法と積分法を中心とする内容を予定しているが、一部若干変更する可能性もある。高校数学の復習と問題演習に重点を置く（出席重視）。また、偏微分と2変数関数の極値（経済・商・理工の必修科目で学ぶはず）についても解説する。

ガイダンス期間中の授業の際に、本当にこの科目の履修が適当であるかどうかを確かめるためのアンケート調査を行うので、履修希望者は必ず出席すること。履修申告をする前に、「共通科目の掲示板」を必ずチェックすること。自分の学部の掲示板しか見ないと、重要な掲示を見落とすことがあるので注意してほしい。科目の性質上、「抽選」はなるべく避けたいと思う。

「楽そうだから」とか、「時間割が空いてるから」という理由で履修する科目ではない。それは授業に出てみればわかる。普段は遊んでいる内部生たちが、真剣な顔付きで数学に取り組んでいる姿が見られるはずである。ウソツキ村の住人もいることはいるが、「駆け込み寺」の住人に囲まれて、この科目を選択したことを後悔しているようである。

【教科書】

なし。

【参考書】

特に指定せず。

教育学

「教育」を相対化する」 4単位 通年
 【文経医】 (春学期担当) 松浦 良充
 (秋学期担当) 安藤 寿康

【授業科目の内容】

「教育学」とは、「教育」という事象を解明しようとする学問です。諸君は、これまで教育（を受ける側）の当事者として、この事象に深くかかわってきています。けれどもここで、あらためて問い直してみようでしょうか。人間にとって、社会にとって教育とは何であるか、と。この授業ではこの問いを探究するために、二人の担当者がそれぞれの専攻分野から、教育を相対化する視点を提供します。

春学期（松浦担当）では、主として日米比較の観点から、日本の教育システムの現状と将来を考えたいと思います。いま世界の多くの国で、児童・生徒・学生たちの「学力」が低下していることが指摘され、大きな議論が生じて政策課題ともなっています。日本でも、「ゆとり vs. 学力」論争として知られています。ここではこの問題を考えるための事例として、アメリカ合衆国の教育に眼を向けてみましょう。アメリカと日本では、この問題

に対してどのような対応をしているのか。その相違と共通点をうきぼりにすることで、これからの日本の教育のあり方を考え、各自の視点から政策提言を試みましょう。

秋学期（安藤担当）では、いわゆる「氏・育ち論争」「遺伝・環境論争」（英語ではNature/Nurture Debateといます）をめぐる、人間の発達と教育について考えたいと思います。伝統的に人文・社会科学では、人間の精神はもっぱら社会と教育が作り上げるものであり、遺伝や進化のような生物学的な影響とは無関係であるという議論が主流でした。しかし遺伝学や進化学、脳科学などの発展に伴い、生命科学の視点からも人間の発達と教育を考える必要性が認識されるようになってきています。その交差点で問題になるのが、この遺伝・環境論争なのです。秋学期は、以下のような内容に触れながら、こうした新しい教育科学の息吹を、とくに行動遺伝学 behavioral geneticsに基づいて、伝統的な教育学や教育心理学の話と絡めながら展開してゆくつもりです。

【教科書】

指定する場合には、授業開始時に指示します。

【参考書】

春学期

松浦良充編著『いま教育を考えるための8章 現代教育の基礎理論』川島書店

秋学期

安藤寿康『心はどのように遺伝するか 双生児が語る新しい遺伝観』講談社ブルーバックス（夏休み中に一読していただくことをお勧めします。）

これ以外にも、随時授業内に紹介します。

近代思想史

「思想におけるモダンとポスト・モダン」 4単位 通年
 【文経法商医理】 石川 晃司

【授業科目の内容】

現在、さまざまな分野においてポスト・モダンというコトバが使われている。モダンの思想・発想が大きな転換を迫られていることは事実だとしても、だが、それに代わる思想・発想については共通の理解は得られていない。本講義では、まず近代思想の全体について、その基本的特質を中心に概述したうえで、それらの特質を批判的に検討する。さらに、近代思想が現在かかえている問題点を剔出し、その乗り越えの視座について論じてみるつもりである。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

最初の講義時に参考文献表を配布する。

近代思想史

「近代世界とナショナリズム」 4単位 通年
 【文経法商医理】 (春学期担当) 栄沢 幸二
 (秋学期担当) 小野 修三

【授業科目の内容】

国民国家 (Nation State) というメカニズム (無機物) に生命を吹き込むのがナショナリズムという熱情である。この講義においては、まず実際にどのような形のナショナリズムが出現して来たかを明らかにし、そして次にその出現の背景をなす近代思想の流れを通観する。この時間はナショナリズムが相互排他的なものにならず、人間の共存を可能にする国際社会構築の一助たらんとすることを目指すものである。

春学期には栄沢幸二 (非常勤講師) が、とくに近代日本のナショナリズムについて、秋学期は小野修三 (専任) が国民国家が登場する前提たるルネッサンス期のマキャベリ、トーマス・モアらの思想から20世紀のフロイト、マックス・ウェーバーまでを紹介する。

【教科書】

栄沢幸二『近代日本のナショナリズム』青山社

【参考書】

参考文献に関しては、講義開始後に逐次指示する。

近代思想史 4単位 通年
【文経法商医理】 高草木光一

【授業科目の内容】

われわれは「自由」ではないし、「平等」ではない。しかし、「自由」であるべきだと思ひ、「自由」を侵害するものには批判の矢を向けるし、「不平等」であることにはなにがしかの憤慨を覚える。では、われわれの価値体系の中に組み込まれた「自由」や「平等」とはいったい何なのか。

社会的・歴史的存在としての自己の価値体系の検証、そこから「近代思想史」は始まると言ってもいい。われわれは、勿論無限定に「自由」や「平等」を信奉しているわけではない。それは、すぐれて「近代」的概念であり、従ってそこには自ずと歴史的限定がある。どのようにして「自由」や「平等」という概念が生まれたのか。それはいかなる射程をもっているのか。そして、それはわれわれの「現在」とどのように関わりあうのか。まずは、そうした問いから始めることにしよう。

「近代」が西ヨーロッパで生み出されたものであり、「近代」の批判もまた、まずはそこで展開されたものである以上、われわれの「近代思想史」も西ヨーロッパから始めなければならない。マキャヴェリ、ルター、カルヴァン、ホップズ、ロック、ルソー、スミス、ベンサム、オウエン、サン・シモン、フーリエ、マルクス。こうした巨人たちの思惟を西ヨーロッパの歴史との関連において捉えることをこの講義は目的とする。しかし、それは、当然われわれの「現在」との緊張関係を孕むものでなければならないだろう。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

講義の際指示する。

近代思想史
「ドイツ近代社会思想における自由と共同」 4単位 通年
【文】 針谷 寛

【授業科目の内容】

ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷を手がかりとしながら、西欧近代社会とその思想の諸問題を検討する。材料としてはカント、ヘーゲル、マルクスなどドイツ近代の思想家の社会理論を重点的に取り上げる予定である。これらの理論を扱うに際しては歴史的なコンテクストの中で考察することに努める。これを材料にして、現代の生活についてもその特殊性をみずからの頭で考え表現する力を培ってほしい。

【教科書】

使用しない。必要に応じてレジュメを配布する。

【参考書】

講義の中で紹介する。

近代思想史 4単位 通年
「独仏における近代市民思想像」 4単位 通年
【文経法商医理】 松村 宏

【授業科目の内容】

近代思想史を研究し叙述するには、まず近代思想を定義する行程を歩まなければならない。本講は主としてこの行程を共働して歩む作業にあてられる。また範囲を独仏文化圏に限定する。そこでこそ英文化圏との歴史的対抗の中で近代思想の省察がはじめて意識的に行われたからである。ヴェーバーの「儒教と道教」とキリスト教との比較研究を踏まえながら、そのやむをえない欠陥を埋める日本儒教古学派の観点を加えた新しい定義に至る思案も示す。(本講を発展させた「西洋文明学説史」は三田土曜日に開講している。)

【教科書】

ウェーバー『職業としての政治』岩波文庫、丸山真男『日本の思想』岩波新書、モンテスキュー、コンスタン、トクヴィル、ゲーテ、ヴィンデンバント、ヤスパースの対訳構成プリントを配布。

近代日本と福澤諭吉 2単位 秋学期
【文経法政商医】 小室 正紀 (コーディネーター)
岩谷 十郎 小野 修三
樽井 正義 平野 隆
西澤 直子 松崎 欣一

【授業科目の内容】

福澤諭吉が死去してから、すでに百年以上が過ぎているが、近年においても慶應義塾の内外を問わず福澤諭吉に関する論評や研究は相変わらず盛んである。このことは、肯定的に見るにせよ、否定的に見るにせよ、福澤が近代日本に与えた影響が極めて大きかったことを示している。このような認識のもとに、この講義では、慶應義塾福澤研究センターの所員が講義担当者となり、講義全

体をつらぬく視点を踏まえて、おのおのの専門との関連で福澤諭吉を取り上げる。福澤の人と思想を考察することを通し、単に福澤を知るだけでなく、近代日本と十九世紀後半の世界を知ることを目的としたい。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

福澤諭吉『福澤諭吉著作集』慶應義塾大学出版会 2002～2003年

慶應義塾編『福澤諭吉の手紙』岩波書店 2004年

丸山真男『文明論の概略を読む』岩波書店 1986年

経済学

「経済の理論と現実」

4単位 通年

【文法医理】

武藤 功

【授業科目の内容】

現実の経済現象を理解するために不可欠な経済理論（ミクロ・マクロ経済学の双方）を、その内容を絞って扱う。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

丸山徹『経済原論』岩波書店

経済学

「ミクロ経済学とマクロ経済学の初歩」

4単位 通年

【文法医理】

吉岡 忠昭

【授業科目の内容】

ミクロ経済学とマクロ経済学の基礎的・基本的事項のうちから重要なものを選んで講義する。ミクロ経済学では、個々の生産者や消費者の意志決定から出発して、誰が何をどれだけ生産・消費するかという社会全体の資源配分の問題にたいして市場メカニズムが持つ有効性が明らかにされる。マクロ経済学では、一国の経済全体の立場から、国民総生産・利子・物価水準の決定のしくみが明らかにされる。また、これらの重要な経済変数が財政政策や金融政策によってどのような影響を受けるのかが議論される。

本年度は、ミクロ経済学のテーマを扱う時間の中で、ゲーム理論の初歩的な事項を紹介する予定です。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』日本経済新聞社、酒井泰弘著『はじめての経済学』有斐閣、中村・小澤・グレーヴァ編『公共経済学の理論と実際』東洋経済新報（第3章の部分）

経済人類学

「19世紀市場社会の特異性

非市場社会との対比を通して」

4単位 通年

【文経商】

野口 建彦

【授業科目の内容】

経済人類学の中心課題は、人類がおおよそ18Cまで続けてきた自給自足を主とする経済を、個人の貨幣的利得を動機とする諸個人間の交換を主とする経済へと大転換させたことによる社会的影響を考察することにあると考えます。したがって、マルクス経済学と近代経済学の双方が非合理的であるとか原始的であるとして、経済学の理論の対象として退けた伝統的な非市場社会の仕組みをモデル化して、その意義を確認しながら、19世紀イギリスが作り上げた自由主義的な市場経済の歴史的特異性を示したいと思います。

【教科書】

なし。

【参考書】

K. ポラニー（吉沢・野口・長尾・杉村訳）『大転換』東洋経済新報社（1975年 現在でも書店で入手可能）

健康科学

「健康と環境因子、病気と薬」

2単位 春学期

【商理】

手島 玲子（ ）

西村多美子（ ）

【授業科目の内容】

様々な科学物質や新薬が生み出され、人々の健康に対する認識も高まっている。本講義では、皆の健康に対する興味をさらに深めるため、「健康と環境因子」及び「病気と薬」をとりあげ、身近な話題を例に解説したい。「健康と環境因子」環境がヒトにどのような影響を与え、ヒトはどのように適応しているのか

人々の健康を左右する天然ならびに人口の身近な環境因子を取り上げ、環境因子がヒトにどのように影響を与えるか、その仕組みについて考えると同時に、ヒトの持っている防御機構についても触れてみたい。

「病気と薬」薬が病気に効くとは、体に現れるどのような変化であるのか

元来生物が持つ調節機能のバランスが崩れた状態が病気であるとするれば、それをもとに戻す、あるいはもとに戻す手助けをするものが薬である。正しい使い方をすれば、安全に有効に使える薬も、使い方を誤れば、その有効性は発揮されず、安全性も保証されない。その理由を科学的に解説したい。

【教科書】

講義において、プリントを配布する。

【参考書】

講義の時に紹介する。

言語 (文学部2・3・4年生の科目名)

/ 言語学 (文学部1年生の科目名)

「言葉って何だろうと思ったあなたへ」 4単位 通年

【文】 金田一真澄

【授業科目の内容】

言葉とは何かという素朴な疑問から入り、誰でもが使う言葉の不思議な魅力に迫ります。つまり言葉に関心をもってもらうことから授業を始めます。

まず言葉について人はどのように考え、どのようにアプローチしてきたか、その歴史を振り返ってみます。言語学の歴史を古代ギリシアから近代まで辿り、言葉に対する人間の飽くなき探求心の歴史を跡づけます。

次に、言語と人間との関係を探ります。人間の認知や心理など、どちらかという今まで言語学で敬遠されてきた側面と言語との関係に焦点を当て、人間にとって不可欠な存在である言葉のしくみを明らかにします。関連するものとして、意味論、語用論、メタファー論、カテゴリー論、会話論などの分野の研究にも触れます。

年2回各6000字のレポートを課題として要求します。

言語学 「大きな言語現象を知る」 2単位 春学期
【文経商医】 鈴村 直樹

文学部生が「言語学、言語学」を受講する場合の注意事項

総合教育人文科学系列(通年・4単位科目)として履修できます。

1年生は、同一担当者、同一曜日時に開講する「言語学、言語学」を「言語学」として履修できます。

2・3・4年生は、同一担当者、同一曜日時に開講する「言語学、言語学」を「言語」として履修できます。

時間割には、1年生は「言語学」として2・3・4年生は「言語」として掲載しています。

【授業科目の内容】

授業形式は講義+グループ討論。対象言語はおもに日本語と英語です。中間試験と期末試験があります。

【教科書】

なし。必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

なし。必要に応じて指示します。

言語学 2単位 春学期
【文経法政医】 辻 幸夫

文学部生が「言語学、言語学」を受講する場合の注意事項

総合教育人文科学系列(通年・4単位科目)として履修できます。

1年生は、同一担当者、同一曜日時に開講する「言語学、言語学」を「言語学」として履修できます。

2・3・4年生は、同一担当者、同一曜日時に開講する「言語学、言語学」を「言語」として履修できます。

時間割には、1年生は「言語学」として2・3・4年生は「言語」として掲載しています。

【授業科目の内容】

人間の言語とは何か、言語学とはどのような学問か、言語学の基本的な諸相について概観します。

【参考書】

辻幸夫編『ことばの認知科学事典』大修館(2001年)

言語学 2単位 秋学期
「小さな言語現象を調べる」 鈴村 直樹
【文経商医】

文学部生が「言語学、言語学」を受講する場合の注意事項

総合教育人文科学系列(通年・4単位科目)として履修できます。

1年生は、同一担当者、同一曜日時に開講する「言語学、言語学」を「言語学」として履修できます。

2・3・4年生は、同一担当者、同一曜日時に開講する「言語学、言語学」を「言語」として履修できます。

時間割には、1年生は「言語学」として2・3・4年生は「言語」として掲載しています。

【授業科目の内容】

授業形式は講義+グループ討論。対象言語はおもに日本語と英語です。中間試験と期末試験があります。

【教科書】

なし。必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

なし。必要に応じて指示します。

言語学 2単位 秋学期
【文経法政医】 辻 幸夫

文学部生が「言語学、言語学」を受講する場合の注意事項

総合教育人文科学系列(通年・4単位科目)として履修できます。

1年生は、同一担当者、同一曜日時に開講する「言語学、言語学」を「言語学」として履修できます。

2・3・4年生は、同一担当者、同一曜日時に開講する「言語学、言語学」を「言語」として履修できます。

時間割には、1年生は「言語学」として2・3・4年生は「言語」として掲載しています。

【授業科目の内容】

人間の認知と言語の営みを認知科学の一分野としての認知言語学的な視点から概観します。できる限り演習形式を採用したいと思いますので、学生諸君の積極的な参加が期待されます。

【教科書】

辻幸夫編『認知言語学への招待』大修館(2003年)、辻幸夫編『認知言語学キーワード事典』研究社(2002年)

言語学
「コミュニケーションの言語学」 2単位 春学期
【経法政医】 井上 逸兵

【授業科目の内容】

言語がコミュニケーションにおいて果す役割を考えるために、語用論、社会言語学、言語人類学などといわれている諸分野の知見を学ぶ。異文化間のコミュニケーションという視点を時に加えながら論じてみたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

井上逸兵『伝わるしくみと異文化間コミュニケーション』南雲堂

言語学
「社会言語学」 2単位 秋学期
【経法政医】 井上 逸兵

【授業科目の内容】

言語が社会において果す役割を考えるために、社会言語学とよばれる分野の知見を学ぶ。異文化間のコミュニケーションという視点を時に加えながら論じてみたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

井上逸兵『伝わるしくみと異文化間コミュニケーション』南雲堂

言語認識論
「言語と外語認識」 2単位 秋学期
【経商医理】 金田一真澄

【授業科目の内容】

学生たちにとって身近で本質的な問題についてじっくり考えさせる授業を行います。テーマは、我々をとりまく様々な現象で、主に言葉についての認識や言葉を使っの認識に関する問題です。認識論一般や人間の意識の問題についてもできれば広げて論じるつもりです。毎回テーマを絞り、90分の前3分の2を講義に残り3分の1を演習に当て、学生が積極的に意見を交換しあえる授業を行います。

例えば、「カテゴリー」をテーマとすれば、人間の外界認識において、共通要素の有無が分類判断の基礎となるという従来の考え方と、E. ロッシュらが提唱する典型からの心的距離が分類判断の基礎となるという考え方があり、その優劣について、言語（例えば「机」）の意味の分析と関連づけて全員参加の討論を行います。その他、「言語決定論」「メタファ」「パターン認識」「時空間」「語用論」などのテーマを扱います。学生たちは時にグループに分かれてdebateを行うこともあります。

【教科書】

なし。

【参考書】

G. レイコフ『認知意味論』紀伊国屋書店、M. ポズナール『言語への認知的接近』産業図書、D. マクニール『心理言語学』サイエンス社、M. ミンスキー『心の社会』産業図書

現代化学概論 2単位 秋学期
【商理】 栄長 泰明 他

【授業科目の内容】

毎回の担当者が現代化学の最先端に関するトピックを講義する。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

現代芸術論
「第二次世界大戦後から現代までの美術」 2単位 春学期
【経商医理】 近藤 幸夫

【授業科目の内容】

第二次世界大戦後、世界の美術の中心は、パリからニューヨークへと移ります。授業では、この時期から現代までの美術の動きについての基礎的な知識の修得を目的とします。適宜、現代美術のタイムリーな話題や展覧会のはなしを織り交ぜながら授業をすすめていく予定です。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

適宜授業中に指示します。

現代芸術論
「芸術のようなもの」 2単位 春・秋学期
【経商医理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

狭い意味での芸術ではなく、芸術と見なせるかどうかがあやうい事例について考えてみます。

狭い意味での芸術のなかに見られる非芸術的な点についても考えます。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

授業中に指示します。

現代思想論
「20世紀以降、考えるということ」 2単位 春・秋学期
【経商医理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

20世紀以降の（主にヨーロッパの）思想から、私たちが思考するうえで参考になるはずのものを、テーマや人

物ごとに（ただし非体系的に）解説します。

1回ごとに完結した話をする予定。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

授業中に指示します。

現代思想論

「現代思想の争点」

2単位 春・秋学期

【経商医理】

田辺 秋守

【授業科目の内容】

いわゆる「現代思想」において近年どのようなことが話題になっているのか、その論争の「争点」になっている事柄を、分かりやすく紹介したい。「現代思想」はある独立した学科としてはほとんど定義不可能である。一般に欧米の大学の学科編成の中には、伝統的に「哲学」「現代哲学」という科目はあるが、「現代思想」という科目は見当たらない。イギリスの現代思想家テリー・イーグルトンはそれと同等なものとして「現代の理論」という言葉を用いている。「現代」はおおよそ20世紀初頭から現在に至る歴史概念であり、その理論として考えられるのは、哲学から社会学、精神分析から文学理論と多岐にわたる。そのなかでも特に「現代思想」として理解される理論の主要な特質は、(1)現代社会のアクチュアリティを主題化できる(2)つねに論争的になる(3)思考実験(作業仮説的思考)を必要とする思想という三点に要約できだろう。ここではおもに1960年以降に「現代思想」の基礎的な論点を用意した「哲学的」言説を取り上げたい。中心となるのはヨーロッパ、アメリカの思想家たちの議論である。しかしそうした議論がすでに現代日本の課題と地続きであり、「われわれの課題」であることがすぐに理解されると思う。

【教科書】

特になし。毎回プリントを配付する。

【参考書】

詳細な参考文献一覧は開講時に配付する。

現代社会論

「歴史の終焉」という理念」

2単位 秋学期

【経商医理】

荒金 直人

【授業科目の内容】

本講義は、我々の社会の特殊性や問題点を社会的に考察するのではなく、現代社会という概念が持つポスト・モダン的な側面(我々の時代は他の時代 歴史的進歩を信頼していた時代 の後に位置するのだという意識)に注目し、それを象徴する「歴史の終焉」という理念を哲学的に分析します。

【教科書】

特になし。適宜プリントを配布する予定。

【参考書】

フランシス・フクヤマ『歴史の終わり』三笠書房(1992年)

現代社会論

「国民国家の変容をめぐる社会学」

2単位 秋学期

【経商医理】

池田 緑

【授業科目の内容】

現代日本社会は、様々な社会システムの転換点にあります。私たちが子供の頃から「あたりまえ」と思っていたことは、じつは極めて一時代的な現象で特殊なものであり、これからは「あたりまえ」ではなくなる過程でもあります。この授業では、近代国民国家とともに発展してきた現在の社会システムとその転換を「脱工業化」と「植民地主義」という2つの視点から考えてゆきます。

まず、近代国民国家の発展を支えた「工業化」がどのように現在の社会システムを作ってきたかを、フォーダイズム、社会階層の形成、“地域”という枠組みの形成、などを通じて検討します。さらに、性差という社会制度を通して国民国家における“女性”の構築と家族制度や婚姻制度と権力、植民地主義の関係を考えます。

それらの検討を経た後に、1980年代後半より顕著になった脱工業化とグローバリゼーションの進展が、これらの社会システムをどのように変えつつあるのかについて考え、その結果として社会におけるシステムと権力がどのように変化するのか/しないのかを、個人と社会の関係の変化を軸に検討します。

授業全体を通じて、多様な選択肢を前にこれからの時代を生きてゆかなければならない私たちの社会との関係について、そのヒントを模索できる授業になればよいと考えています。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

現代社会論

「高齢社会の実態と課題」

2単位 春学期

【経商医理】

岡田あおい

【授業科目の内容】

わが国は、世界に類例のない速さで人口の高齢化が進行している。高齢化が進む中で、高齢者の介護問題、年金問題、社会福祉・社会保険・老人医療の問題など、早急な解決を必要とする深刻な社会問題が山積している。こういった、いわゆる「高齢者問題」にいかに取り組むべきかを真剣に考え、迅速に対処することが現代社会を生きる私たちの一つの課題なのである。

本講義は、これまで提示されてきたさまざまな高齢化社会論を整理し、わが国の「高齢社会」の実態とその動向に伴う社会変化の必要性など、「高齢社会」とそこに内在する諸問題(特に介護問題)について具体的に考えていきたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

清水浩昭著『日本人口論』放送大学、『高齢社会基礎資料』中央法規

現代生物学概論

「生命科学、生命工学の最先端」 2単位 秋学期
【商理】 太田 博道 他

【授業科目の内容】

生命体は、タンパク質、糖、脂質等が整然と制御されて動的平衡にある化学物質の集合体と見ることもできる。また、血液が体の隅々まで流れ、神経細胞には電子が流れて刺激が伝わるように、精緻な物理現象の場であると見ることもできる。また、免疫作用や発生の仕組みを見ればトータルなシステムとして制御されていると言うこともできる。さらに遺伝子や脳のことを考えれば、情報論の概念で捉えることもできる対象である。これらの神秘を解明することは興味の尽きないところであるが、一方これらの機能を護ること、使うことも非常に重要である。

「機能を護る」とは即ち健康を保つ、回復することであり、即ち医学ということになる。「使う」一例は、食料生産であり、物質変換にも生命機能は利用されている。

本講義では、これら様々な現代生物学の科学と工学に関するトピックの中から、幾つかのテーマを選び平易に解説する。

【参考書】

太田博道・柳川弘志編著『生命科学への招待』三共出版（本体価格2200円）

現代世界史

「20世紀の国際政治史とイラク戦争」 2単位 春学期
【経商医理】 齋藤 直樹

【授業科目の内容】

20世紀は二度にわたる世界戦争と半世紀近くに及んだ冷戦に彩られたことから、「戦争の世紀」と言われる。そうした「戦争の世紀」が終わったからといって、21世紀が調和と均衡のとれた明るく輝く世界であることが保証されているわけではない。これは2001年の「同時多発テロ事件」と2003年のイラク戦争の勃発が正確に物語るとおりである。今、21世紀を迎え世界は予想もできない混迷の時代に突入している。今後の21世紀がどのような世紀になるのだろうか。これを知るためには20世紀がどのような世紀であったのかという問いかけが行われる必要がある。20世紀の歴史は21世紀の世界に多くの教訓を与えるものであり、新世紀のための道しるべとなるはずである。本講はこうした問題意識の中で、20世紀の歴史を通観した上で、2003年に起きたイラク戦争を取りあげる。

【教科書】

齋藤直樹『イラク戦争と世界』現代図書

【参考書】

齋藤直樹『現代国際政治史』（上、下）北樹出版

現代日本史

「近代日本人の形成」 2単位 春学期
【経商医理】 柳田 利夫

【授業科目の内容】

「近代国民国家」形成期の日本から、移民として海外に渡航した日本人を素材に、「近代日本人」のアイデンティティ生成のプロセスを歴史学的方法を基礎に分析する。その作業を通じて、「現代日本人」のアイデンティティを考える手がかりを掴むことを目的とする。

講義では、移民の出自社会における村落・家族構造、移民の人的ネットワークの形成と機能、出自社会・ホスト社会における個人の生活ストラテジー、ホスト社会におけるアイデンティティ形成といった多少抽象的になりがちなテーマを、個別具体的な事例を扱うことで歴史学的方法の枠に引き戻しつつ議論してゆきたいと考えている。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

柳田利夫編著『アメリカの日系人 都市・社会・生活』同文館（1995年）、柳田利夫・赤木妙子編著『ハワイ移民佐藤常蔵書翰 近代日本人海外移民史料』慶應義塾大学出版会（1995年）、柳田利夫編著『リマの日系人 ペルーにおける日系社会の多角的分析』明石書店（1997年）、増田義郎・柳田利夫著『ペルー 太平洋とアンデスの国 近代史と日系社会』中央公論新社（1999年）、柳田利夫編著『ラテンアメリカの日系人』慶應義塾大学出版会（2002年）

現代メディア論

「メディア史から考える社会の変化・人間の変容」 2単位 秋学期
【経商医理】 木下 京子

【授業科目の内容】

身近なところでコンピュータや携帯電話の急速な普及は、生活形態や人間関係、社会環境だけではなく、私たち自身の思考法や諸感覚にまで大きな変化をもたらしている。そこでメディアの歴史をふり取りながら、新たなメディアが成立し発展する過程や社会にもたらした影響などを様々な角度より検証し現況に照射させ、現時点で考え得るメディア論を履修者各自に展開してもらいたい。

【教科書】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

佐藤卓己『現代メディア史』岩波書店

現代メディア論

「美術館のメディアとしての機能を考える」 2単位 秋学期
【文経商医】 近藤 幸夫

【授業科目の内容】

近年、公立美術館をめぐる議論が新聞等のマスコミおよび学会で盛んにおこなわれています。本講義は、このような今現在進行中の社会的な問題を理解するうえでの基本的な知識を養成することを目的とします。特に、表現者であるアーティストと大衆の間を媒介する美術館のメディアとしての機能に着目し制度的な部分を中心に分析します。

【教科書】

ありません。

【参考書】

適宜、授業中に挙げます。

国語国文

「絵入り御伽草子を読む」 4単位 通年
【文経商医】 石川 透

【授業科目の内容】

御伽草子は、室町時代から江戸時代前期にかけて成立した短編の物語群である。この御伽草子の中から作品を選び、挿絵を観賞するとともに本文を活字本で講読していきたい。また、江戸時代以前制作の、実物の絵巻物や絵入り写本を身近に閲覧する。

【教科書】

石川透『慶應義塾図書館蔵 図解御伽草子』慶應義塾大学出版会

【参考書】

石川透『魅力の御伽草子』三弥井書店

国語国文

「王朝和歌 秀歌で綴る歌人の生涯」 4単位 通年
【文経商医】 小川 剛生

【授業科目の内容】

平安時代から鎌倉時代にかけての和歌史を、時代を代表する歌人とその作品を取り上げて概観し、日本人の美意識の根幹をなす古典和歌への理解を深める。

【教科書】

『日本詩歌選』新典社（1000円）

【参考書】

講義中に紹介する。

国語国文

「西行の和歌」 4単位 通年
【文経商医】 寺澤 行忠

【授業科目の内容】

西行は、『新古今和歌集』において、最多の歌を撰入された新古今を代表する歌人の一人であるのみならず、

その独自の自由な生き方は、人々をひきつけてやまないものをもっており、西行存生時から今日に至るまで、多数の読者を獲得してきた。

その西行の作品として、今は二千首余りの和歌が知られているが、それらの中から、すぐれたものを選んでよんでみたい。

【教科書】

『山家集抄』笠間書院

ジェンダー論 【春学期】 / 【秋学期】

「性と身体とジェンダー」 2単位 春・秋学期
【文経商医】 鈴木 晃仁 長沖 暁子
 工藤多香子

【授業科目の内容】

文化的・社会的に形成される男女の差異を「ジェンダー」といい、これを考察する学問を「ジェンダー論」と呼びならわしています。過去30年の人文・社会科学と一般世論において、もっとも大きなインパクトを与えてきた視点であり、ジェンダー論的な視点なしには、日本と世界の過去と現代を理解し未来を構想することはできなくなっているといっても過言ではないでしょう。この講義は、ジェンダー論の基本的な視点を、実際の具体的な問題に則して入門的に学ぶことができるように設置されています。3人の教員はそれぞれ、ヨーロッパの歴史（鈴木）、現代日本の生殖技術（長沖）、ラテンアメリカの文化人類学（工藤）という異なった専門を持ち、それぞれの考えをクロスさせ、衝突しながら講義を進めていきます。また、この講義の特徴として、教員同士のディスカッションを聞くことができる、ということが挙げられます。時として白熱するディスカッションを通じて、大学らしい議論の仕方を身につけて欲しい、というのが私たちの狙いです。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

自然科学特論

「21世紀を生きるために知ってほしい化学」 2単位 春学期
【法政】 志村 正

【授業科目の内容】

宇宙が誕生したのはるか昔から現在まで、そしてこれから先も永遠に、自然科学はきわめて重要な役割を担い続けています。時間の長さから考えれば、最も大切な学問分野であるといっても過言ではありません。しかし、その意味や内容は、残念ながら科学者の中だけで取り扱われていて、なかなか一般の人々にまで伝わっていないのが実情です。

この授業では、数ある自然科学分野の中から化学を中心に、将来それを専門としない法学部の学生諸君に対して、21世紀を生きるために是非知っていただきたい化学をできるだけ分かりやすく講義します。併せて、自然科

学的な発想力と思考力を学習してもらおうと思っています。

【教科書】

講義資料はwebサイト(URLは授業でお知らせします)からダウンロードできるようにする予定です。

自然科学特論

「相対性理論入門」 2単位 春学期

【法政】 下村 裕

【授業科目の内容】

アインシュタインによって作り上げられた相対性理論は、物理学でもっとも美しい理論だといわれます。対象は時間と空間という基本的かつ普遍的なテーマで、単純な原理から我々の常識を覆す結論を導き出します。たとえば「動くものは、長さが縮み、時間の進みかたが遅くなり、質量が増える」などは信じがたい事実です。講義では、数式や専門用語に頼らない入門書の内容を補足解説します。ビデオ等も援用して、相対性理論の考え方を理解し、その描く不思議な世界(宇宙)を学びます。

【教科書】

佐藤勝彦監修『「相対性理論」を楽しむ本』PHP文庫(1998年 500円)

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

自然科学特論

「自然界の資源から有用な材料へ」 2単位 秋学期

【法政】 小野 雅之

【授業科目の内容】

高校化学でもなじみのある「金属のイオン化傾向」を念頭に置きながら、金属の製法や性質について、実作業の体験などを交えて解説します。あわせて非金属についても学びます。

【教科書】

なし。

【参考書】

富永博夫・櫻井宏・白田利勝著『資源の化学』新化学ライブラリー 大日本図書

自然人類学

「進化の産物としての自分を知る」 2単位 春学期

【商理】 青木 健一

【授業科目の内容】

自然人類学は、生物としてのヒトが辿ってきた進化の道程を明らかにし、ヒトが進化の産物であるがために有する特徴を理解するところを目的としている。ヒトの形成には、遺伝的な変化による「遺伝」進化のほかに、文化的な変化による「文化」進化も大きく寄与している。この講義では、具体的な事例を踏まえて、両方の進化の原理について分かり易く解説する。進化によって獲得されたヒトの特徴はさまざまであるが、我々が日常的に行っ

ている社会行動についても進化の視点から詳述する。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業中に適宜示す。

社会科学概論

「近代日本の異色の人間像」 4単位 秋学期集中

【経商医】 小野 修三

【授業科目の内容】

同時代人からは白い眼で見られた人物でも、現代の我々にはむしろそうした人々の方が我々の価値観に近いものがある、と感じられることがある。この時間は、そうした人々として、「きだみのる」、「宮武外骨」、「小河滋次郎」、「留岡幸助」、「石井十次」、「西村伊作」の六人を取り上げ、まず私なりの紹介をし、その後受講者が図書館の本を借り出し、また私の蔵書を貸し出すので、これら六人に関する「人とその仕事」(person and his works)を自分自身の力で書いてもらう。つまり伝記執筆である。

本年度はこの時間は秋学期の集中なので、一日2時限を連続して、講義と演習がセットになった形で運営される。

【教科書】

なし。

【参考書】

参考文献に関しては、講義開始後に逐次指示する。

社会学

「食・農・地域の社会学」 4単位 通年

【文経法商医理】 土居 洋平

【授業科目の内容】

本講義では、二つのことを行っていきます。ひとつは、社会学という学問の視点・考え方を様々な現象を通じて紹介していくことです。もうひとつは、私たちにとってもっとも身近な「食べること」というテーマを社会的な視点をもって探究し、その農業生産や地域社会への広がりを考えていくことです。

前期の講義においては、社会学についてのごく基本的な考え方について紹介した後に、様々なトピックをもとに、社会学の考え方を紹介していきます。また、後期の講義においては、「食べること」という身近な行為の背後に広がる世界を、社会的視点から描いていきます。

以上の講義を通じて、履修者各人が社会学の視点・考え方を学ぶとともに、それを使って一定のテーマについて考えていくことを身につけていくことを期待します。

【教科書】

前期：藤田弘夫・西原和久編『権力から読み解く現代人の社会学・入門 増補版』有斐閣(2002年)

後期：榎瀧俊子・松村和則編『食・農・からだの社会学』新曜社(2002年)

【参考書】

授業中に適宜指示します。

社会学

「現代社会と家族の諸相」 4単位 通年
【文経法商医理】 長尾 真理

【授業科目の内容】

社会科学とは、様々な概念や理論体系などを使って、社会の「本質」を解明する学問であると言われる。その中で、とりわけ人間の行動や行為に焦点を当て、人間相互の関係性や集団のあり方を考察することが社会学の課題となる。この授業では、まず社会学の基本的な考え方、個人や集団への接近法について概説し、次にそれらの社会的な視点を踏まえて、現代家族の様々な問題を検討する。

【教科書】

講義用プリント・資料を配布する。

社会学

「自己とコミュニケーションの社会学」 4単位 通年
【文経法商医理】 藤川 千歳

【授業科目の内容】

我々が日々依拠して生活しているリアリティは共同世界の所産である。この意味において、現代社会において指摘されている、自己への不安、家族や他者間に生じる病理現象等、日々の生活の上で直面する多くの問題は、コミュニケーション関係の歪みから生じる共同世界の喪失である。人々の相互のコミュニケーション関係は、人間生活の根本であるが、通常そのことを問いながら生活するわけではない。それでは、その内実はどうのことであるか、ということを検証することが本授業の目的である。社会学という学問は、人がこれまで当たり前であると考えていた事柄に対して、その当たり前を裏付けていた考え方を問い直す作業を行う。その作業をおこなうことによって、社会や人間行動について自分なりのより深い理解、異なった見方が可能になることを目指すものである。

【教科書】

特に指定せず。

【参考書】

『社会学に何ができるか』八千代出版、『クロニクル社会学』有斐閣

社会学

「日常世界を社会学してみよう」 4単位 通年
【文経法商医理】 吉瀬 雄一

【授業科目の内容】

身近な社会的テーマについて、できるかぎり具体的な例を取り上げながら語り、社会学の有効性を学生に実感してもらう。

【教科書】

なし。

【参考書】

講義中に指示する。

社会心理学

「社会的認知と対人行動」 2単位 春学期
【政商】 萩原 滋

【授業科目の内容】

自分たちの社会的環境をいかにして把握するかという問題、すなわち「社会的認知」と呼ばれる研究領域を中心に、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会心理学の代表的な理論枠組について概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を詳しく紹介する。また対人魅力など、対人行動の基礎となる問題も取り上げることにする。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

適宜、指示する。

社会心理学

「メディアとコミュニケーション」 2単位 秋学期
【政商】 萩原 滋

【授業科目の内容】

対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション」の過程を取り上げるが、前者に関しては「説得的コミュニケーションと態度変容」、後者に関しては「テレビの社会的機能、対人的影響」に焦点を当てて、新旧取り混ぜて社会心理学的研究の成果を紹介する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

適宜、指示する。

宗教学

「宗教とは何か」 4単位 通年
【文経法政商医理】 由木 義文

【授業科目の内容】

宗教学とは、宗教現象を客観的・実証的に研究する学問である。本講義では春学期においてはデュルケーム、ベルグソン、モースなどの理論を用いて、宗教の定義、発生と役割などについて考察し、秋学期においては、特に日本の宗教をとりあげ、神道・仏教・新宗教の成立・展開を社会との関わりにおいて講ずる予定である。

【教科書】

由木義文著『宗教学序説』朝倉書店

【参考書】

岸本英夫著「宗教学」

住宅・建築史概論 2単位 春学期
【経商医理】 岸本 達也

〔授業科目の内容〕

建築デザインとその形式は、その時代の技術、文化や社会システムと関係している。この授業では古代から近現代までのその歴史的な変遷について学びます。

〔教科書〕

プリントを配布する予定。

〔参考書〕

日本建築学会編『三訂版 西洋建築史図集』彰国社
日本建築学会編『日本建築史図集 新訂版』彰国社
堀口捨己ほか『建築史』オーム社
西田雅嗣ほか『図説 建築の歴史 西洋・日本・近代』学芸出版社
S.ギーディオ『空間・時間・建築』丸善
森田慶一『西洋建築入門』東海大学出版会
大田博太郎『日本建築史序説』彰国社
その他

女性学 2単位 春学期
「女性の雇用の危機？」 長沖 暁子
【経商理】

〔授業科目の内容〕

不況の中まっさきにリストラの対象となり、就職難に陥る女性たち。一方で、労働市場の流動化、多様な働き方という言葉のもとで、パートタイマー・派遣社員など非正規雇用者として働く女性たちも増えています。女性の自立にとって不可欠だといわれてきた経済力、それを得るための職場で今何が起きているのか？

これからの仕事はどうあるべきか？ グループ発表と討論を中心に考えます
(発表のために、各グループごとに当事者にインタビューしてもらいます)。

〔教科書〕

使いません。

〔参考書〕

テーマに応じて紹介します。

女性学 2単位 秋学期
「セクシュアリティ」 西山千恵子
【経商理】

〔授業科目の内容〕

セクシュアリティは、性現象と訳されることがあります。やや抽象的ですが、女性学ではセクシュアリティ論として、性をめぐる諸問題、諸課題が論じられてきました。例えば性行動、性意識における男女差や、男女の関係、売買春、ポルノグラフィ、妊娠・避妊・出産・中絶など性と生殖に関する問題、性表現、性をめぐる欲望やファンタジー、性暴力、性教育、婚姻制度などさまざまに広がります。

一方、最近の女性学は、「女性」・「男性」という区分を自明視せず、性別を相対化して捉えようとする傾向があります。その中で、性別についての自己同一性や、異性愛、同性愛などの議論も展開してきました。女性学のみならず、セクシュアリティをめぐる研究やセクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の主張を反映する社会的な動き、情報、著作はますます広がりつつあります。

授業では、女性学のキーワードであるジェンダー(社会・文化的性別)概念を中心に、これらセクシュアリティ論の入門的理解を目指すとともに、現代の性をめぐる諸問題のいくつかを取り上げ検討します。ビデオ教材を使用することもあります。

〔教科書〕

特に使用しない。

〔参考書〕

授業時に適宜紹介する。

身体/感覚文化 2単位 秋学期
「運動感覚と私たち」 武藤 浩史 他
【文経法政商医理】

〔授業科目の内容〕

普段は気にもとめないが、私たち一人一人が持つ身体は、とても興味深い働きをしている。私たちは諸感覚によって自らの身体を認識し、その身体を境界線として自己とそれを取り巻く世界を別個のものとして切り分ける。持ち主にとって身体は「個」を支えるものであり、自己組織化され「閉じた」システムだ。しかしその外に広がる世界から見れば、身体もまた自然を構成する数えきれないモノの一つにすぎない。また身体という境界線は安定したものではない。身体/感覚を通して認識された外界の姿は、その外界に視点を置いて自らの姿を客体視する時に、同じ身体/感覚を通して自己認識へと反映される。切り分けられた自己と外界は、身体を通して絶えず相互作用を繰り返し、互いの姿を規定しあうのである。こうして身体/感覚は私たちを取り巻く世界に、そして私たち自身に、常に新たな形を与え続ける。その相互作用の積み重ねが文化であり、ある時代、ある地域に生きる私たちは、そこにある文化の流れに巻き込まれながら身体/感覚の相互作用を体験し、同時に文化の変容や生成を支えていることになる。この講座では、身体のごうした働きを取り上げ、なかでも身体を場とした相互作用の媒介となる感覚に注目する。平成16年度は「運動感覚」をキーワードとして、第1線で活躍するさまざまな研究者を講師に招いて、視覚をめぐる多様なアプローチを示す予定である。講師は塾内外の、歴史、哲学、文学などの人文科学、医学、心理学などの自然科学、芸術、スポーツなどの実践的領域の各分野に求める。秋学期開講であるが、4月ガイダンス期間中に講座紹介の時間を設ける。その日時、講師一覧等については学事センター共通掲示板にて確認のこと。

〔参考書〕

武藤浩史・樽沼範久編『運動+(反)成長 身体医文化論』慶應義塾大学出版会

身体文化論

「ダンスと身体」

2単位 春学期

【経商理】

稲田奈緒美

【授業科目の内容】

身体を素材、媒体とする芸術であるダンスは、古今東西さまざまに変化してきました。それは、ダンス自体の様式の変遷や技術の発展であると同時に、身体に関する社会的な規範、美意識、価値観、タブーなどが反映された結果です。身体は個人的なものであると共に社会的、政治的な場でもあります。この授業では、様々なダンスの身体に現れた、動作、身振り、フォーム、スピード、リズム、ダンサーの体格、衣装などを取り上げることによって、身体にまつわる文化を解説します。

【教科書】

特に使いません。

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

人文総合講座

「21世紀のアメリカをめぐる文化のダイナミズム」

2単位 秋学期

【経法政】

鈴木 透 (コーディネーター)
 近藤 光雄 エインジ, マイケル
 奥田 暁代 常山菜穂子

【授業科目の内容】

21世紀のアメリカは、民族構成が大きく変化しつつある中、貧富の差の増大や文化戦争など、国内には分裂の危機を抱え、一方、対外的には、冷戦の終結からテロとの戦いへという転換点を迎えて、これまで未経験の次元に足を踏み入れようとしています。この授業では、アメリカがこの難局をどう乗り越えようとしているのか、未来のアメリカを方向づけようとする知の潮流を、現代アメリカが抱える様々な社会現象・文化現象の中から領域横断的に探り当て、アメリカ社会の現状と今後を展望します。とりわけこの授業では、こうした新たな時代状況の中で、従来からの積み残し課題と現代アメリカ社会がどう向き合おうとしているのかに着目しながら、アメリカ社会にどのような変化が忍び寄ってきているのかを考えるとともに、そうした新たな動きがアメリカという枠を越えていかなるインパクトを持ちうるのか、考えていきます。

【教科書】

開講時まで追って指定しますので、掲示に注意して下さい。

【参考書】

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』慶應義塾大学出版会（2003年）

心理学

「ヒトから人へ」

4単位 通年

【文】

小嶋 祥三

この科目は文学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、経済学部、法学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。

【授業科目の内容】

この講義では、生物学的存在であるヒトが、文化的な環境の中で人、人間になっていく過程を動物（主に霊長類）との比較に基づく系統発達の研究、乳幼児を含む幼児の成長をたどる個体発達の研究、さらには最近の進展が著しい脳画像の研究も含めて、紹介する。関連する領域は比較・動物心理学、認知心理学、発達心理学、神経科学・心理学である。

【教科書】

特になし。

【参考書】

随時紹介する。

心理学

「認識と行動の実験心理学」

4単位 通年

【文】

増田 直衛

この科目は文学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、経済学部、法学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。

【授業科目の内容】

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というとTVや雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学を思いおこすと思えます。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それはほんの一部なのです。ここでは、心理学が自然科学の一分野として誕生してから、今日までどんな分野の学問と連携しつつ、自らの学問を築いてきたかを考えてみます。その中で心理学の対象、心理学の方法などを具体的に理解しながら、心理学とはどんな学問かを考えます。

最初に、心理学とはどんな学問かについて、心理学の起源、分野、方法、考え方について概観し、次に認識や行動について実験心理学のトピックスを中心に講義します。具体的には感覚・知覚、学習・記憶、思考・言語などについて考察します。

身の回りの情報を得て行動することは、ふだん何も気にせず行っているのが疑問にもならないかもしれませんが、しかし、そこには生物としての人間がいやおうなくあります。実験心理学が明らかにしてきた事実を基に、機械としての人間、動物としての人間を考え、そして機械や動物と我々はどこが根本的に違っているのか考えてみます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

大山正・岡本夏木他著『心理学のあゆみ(新版)』有斐閣新書、野口薫・辻敬一郎他著『心理学入門(新版)』有斐閣新書

この2冊は心理学の扱う領域と歴史を概観するのに便利です。

稲越孝雄編著『「わかりあい」の科学 行動科学の基礎』福村出版

心理学のもののとらえ方、方法論を概観するのに便利です。

菊池聡・谷口高士・宮元博章編著『不思議現象 なぜ信じるのか こころの科学入門』北大路書房

日常世界の不思議な現象を心理学の眼でみると、こんな見え方をします。心理学の分野を概観するのに便利です。

講義に関連した文献は授業中に随時紹介していきます。

心理学 「実験心理学入門」 4単位 通年

【文】

望月 要

この科目は文学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、経済学部、法学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。

【授業科目の内容】

心理学の中でも、実験心理学は、人間を含めた生物の行動の法則を、実証科学的な方法で探究する分野である。この授業では、実験心理学における基本的な知識と考え方、この分野で取り上げられる興味深い現象、研究テーマとその成果などを概論的に紹介する。主に実験室の中で研究が展開される実験心理学と、現実の人間生活の関係を理解して貰うために、できる限り、応用的な研究事例を紹介しながら講義を進めてみたいと考えている。《こころ》というような曖昧な言葉で表現される現象が、厳密に科学的な方法で研究できるという事実と、そのための物の見方、考え方を身につけて貰うことが、この授業の一番の目的である。

【教科書】

使用しない。授業資料は授業用web site (<http://behavior.nime.ac.jp/moc/KeioPsy/>) で配布する。

【参考書】

授業中に随時紹介する。

心理学

「ヒトは環境をどのように知覚し働きかけるのか」

4単位 通年

【経】

曾我 重司

この科目は経済学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、法学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履

修申告できます。

【授業科目の内容】

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。現代心理学の方法論、人間と他の動物の比較に基づく生物としての人間の特徴、有機体を取りまく環境世界からの情報をどのように取り入れ、どのように環境世界に働きかけているか、などについての現代心理学の主要なアプローチ、成果について概観する。

【教科書】

特に指定しない。(必要な資料は講義中に配布する。)

【参考書】

特に指定しない。

心理学

「実験心理学の教育・福祉への応用」 4単位 通年

【経】 中野 泰志

この科目は経済学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、法学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。

【授業科目の内容】

心理学は人間や動物の純粋な経験(現象)を整理し、その働き(機能)や意味を明らかにし、さらにその背景にあるメカニズムを探求する学問である。その究極の目的は、人間や動物の「こころ」(行動)の理解であり、個々の豊かな生活(Quality of Life; QOL)を保障したり、過ごしやすい社会を形成するための知見を科学的に究明していくことである。

本講義の最大の特徴は、実験心理学の研究成果を、主として障害児・者の教育や福祉と関連させながら紹介する点である。高齢化社会を目前にしている今、障害や福祉は身近な問題になりつつある。「障害」そのものを理解したり、その教育や福祉を実現するためには、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たす。例えば、目が不自由であっても単独で行動することは可能なわけであるが、白杖(白い杖)や盲導犬が自動的に導いてくれるわけではない。白杖や盲導犬という道具を使って目の不自由な人自身が「自分はどこに行きたいのか」「そのためにはどういうルートをとるのか」「そのルートに沿って移動するためにはどういう手がかりがあるのか」「ルート中に段差や穴や障害物はないか」「迷ってしまったときにどうするか」等を判断しながら移動するのである。このような判断がより安全に、効果的にできるためには、環境や地理を知覚・認知する方法を科学的に明らかにしなければならないのである。このように、本講義では、心理学が対象とする諸現象や科学的方法論を障害児・者の教育・福祉に関する具体的な事例と関連づけながら、わかりやすく解説する。

【教科書】

なし(講義内容のポイントをまとめた資料をWebで公開する予定)

【参考書】

適宜紹介する。

心理学 4単位 通年
【経】 和気 洋美

この科目は経済学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、法学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。

【授業科目の内容】

ヒトは未熟なままの状態、この世に誕生し、長い年月をかけて発達を遂げて完熟した“おとな”になり、やがて死に至る。この間に達成されるべき発達にとって、生後の初期および幼児期の経験は特に大切な意味をもつ。

本講では、ヒトが如何に生後の学習によって自らの生を成し遂げるべく運命づけられているかを、その他の動物との比較対照によって明らかにし、次に学習の主体であるヒトの諸々の精神活動の特色を論じる。

【教科書】

始業時に指示する。

【参考書】

随時指示する。

心理学 2単位 春学期
「見る行為を考えると論理的思考を養う」 鈴木 恒男
【法政】

この科目は法学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、経済学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。その場合は、同一担当者、同一曜日時間に開講する「心理学、心理学」を通年科目の心理学として履修します。通年科目の登録番号は、所属学部の掲示板に掲載しますので、注意してください。

【授業科目の内容】

我々が物を見ることを日常的に行っているのに、目を開ければ見えることは当たり前だと思っている。しかし、見るとは何をやっているのかに関しては、自分でやっているのに自分では分からない。

この日常的な行動である見るとの行為を考え、その行為を論理的に説明することを行う。その繰り返しから、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

【参考書】

必要であれば授業で紹介する。

心理学 2単位 春学期
「心理学の基礎を学ぶ」 福田 真実
【法政】

この科目は法学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、経済学部、商学

部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。その場合は、同一担当者、同一曜日時間に開講する「心理学、心理学」を通年科目の心理学として履修します。通年科目の登録番号は、所属学部の掲示板に掲載しますので、注意してください。

【授業科目の内容】

心理学的なものの見方、考え方、研究の進め方について、様々なトピックスを例として解説し、心理学の基礎的な知識を身に付けることを目的とします。簡単な観察や実習を行います。ビデオやDVD、パーソナルコンピュータ（プレゼンテーションソフト）などを用い、視覚的にわかりやすい授業をこころがけます。

【教科書】

長谷川寿一『はじめて出会う心理学』（有斐閣アルマ）有斐閣

【参考書】

授業時に指示。

心理学 2単位 春学期
「人間を含めた生物は環境世界を
どのように知覚し生きているのか」 菅野理樹夫
【法政】

この科目は法学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、経済学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。その場合は、同一担当者、同一曜日時間に開講する「心理学、心理学」を通年科目の心理学として履修します。通年科目の登録番号は、所属学部の掲示板に掲載しますので、注意してください。

【授業科目の内容】

心理学とは何かを、どのように明らかにしようとする学問なのかについて考える。自らを取り巻く日常生活のかかり合いの中から考える。そして、その中で、人間は環境をどう捉え、どのように関わりあうのか？ そのとき人間は環境のことをどれだけ知ってるか、あるいは環境を知っている自分のことについてどれだけ知っているのだろうか？ このようなことを理解するためには何を知らなければならないかについてできるだけわかりやすく解説する。本講は知覚と行動科学の関連性を重視しながら人間の「意図」あるいは、その背景に潜む本質を古代の視覚論や精神観（精神の座をどこに置いたか）から現代までの科学観にいたるまでの考え方を知らることが目標である。これらのことを知るためには基礎的な知識が必要である。たとえば、春学期では人間の生理学的側面である脳の構造と機能、神経系、視覚系などである。また、心理学的側面として感覚、知覚、環境世界などについて述べる。

秋学期は動物行動学や学習、知能などについてわかりやすく講義する。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

講義の中で随時必要な文献を指示する。

以下の文献は初春学期の講義を理解するために必要な概念とその歴史的、哲学的背景が詳述されているので参照されたい。

1. J. J. ギブソン著 (古崎敬他共訳) 『生態学的視覚論 ヒトの知覚世界を探る』サイエンス社(1985年)
2. T. J. ロンバルド著 (古崎・境・河野監訳) 『ギブソンの生態学的心理学 その哲学的、科学史的背景』勁草書房(2000年)
3. 境敦史他共著 『ギブソン心理学の核心』勁草書房(2002年)

心理学

「人間の行動を観察することから論理的思考を養う」

2単位 秋学期

【法政】

鈴木 恒男

この科目は法学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、経済学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。その場合は、同一担当者、同一曜日時間に開講する「心理学、心理学」を通年科目の心理学として履修します。通年科目の登録番号は、所属学部の掲示板に掲示しますので、注意してください。

【授業科目の内容】

我々が日常的に行っている行動はほとんど無意識である。何故その行動が起こるのであろうか、その行動は何を目的としているのだろうか、等のことは意識することはほとんど無い。日常的に行っている行動を取り上げ、その行動理由その他分かることが出来るのだろうかを考えることから、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

必要であれば授業で紹介する。

心理学

「心理学の現在を学ぶ」

2単位 秋学期

【法政】

福田 真実

この科目は法学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、経済学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。その場合は、同一担当者、同一曜日時間に開講する「心理学、心理学」を通年科目の心理学として履修します。通年科目の登録番号は、所属学部の掲示板に掲示しますので、注意してください。

【授業科目の内容】

心理学の様々な領域における研究の現状について学ぶこと、社会で話題になっている事柄を心理学で理解する可能性について探ることを目的とします。様々な話題に対して、自分の視点を作り、表現していくことが大切だと考えています。

【教科書】

長谷川寿一ら『はじめて出会う心理学』(有斐閣アルマ)有斐閣クス

【参考書】

授業時に指示。

心理学

「動物行動学を中心に種に特有な行動や

学習の原理について」

2単位 秋学期

【法政】

菅野理樹夫

この科目は法学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、経済学部、商学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。その場合は、同一担当者、同一曜日時間に開講する「心理学、心理学」を通年科目の心理学として履修します。通年科目の登録番号は、所属学部の掲示板に掲示しますので、注意してください。

【授業科目の内容】

人間は日常生活の中で見られるさまざまな出来事を経験する。そしてそれが何故なのかと考えることがしばしばある。たとえば、人間は何故話をしたり、文字が書けるようになったり、恋愛をするようになったり、憎んでみたり、自殺したくなるのだろうか？ はたまた、どうして自転車や車の運転ができるようになったり、スキーができるようになるのだろうか？ マインドコントロールなんてあるのだろうか？ アライグマは本当に餌を洗って食べるのだろうか？ ミツバチは仲間と連絡をどうやって取り合うのだろうか？ 人間を含めた動物には母性本能が本当にあるのだろうか？ こういった日常的な疑問は自然界についての不思議なことをどう理解すればいいのだろうか？ 確かに通常感じる心の世界の不思議な出来事に心理学の出発点がありますが、実際の学問としての心理学は意外に地味なものです。講義で話題にする心理学は巷間にある占いや相性テスト、心理ゲーム、未確認飛行物体(UFO)、超心理学などとは無縁です。ここで話題にする心理学は観察や実験などの事実に基づいた科学的なデータをたよりに確かめられた内容です。主に、学習や発達、動物の生態や行動、知能などを取り上げます。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

講義の中で随時必要な文献を指示する。

心理学

4単位 通年

【商】

木島 伸彦

この科目は商学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、経済学部、法学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告できます。

【授業科目の内容】

心理学というと、夢占いとか、血液型占いを思い浮かべる人が多いかもしれませんが、しかし、これらは心理学

ではありません。心理学とは、19世紀の中頃に始まった、人の行動や行為を科学的に扱う、新しい学問の一つです。授業を通して、科学としての心理学の基本的な前提から、最新の知見まで、なるべく広く、そして、時には深く紹介していきます。

また、授業の中で、簡単な実験やパーソナリティ検査などを実施します。なるべく、こうした機会にも参加されるように望みます。

最後に、心理学の知見がどのように政策に活かされていたのか、また、これからの政策にどのように活かされていく可能性があるのかも概観します。

【教科書】

初回の講義で指示する。

【参考書】

初回の講義で指示する。

心理学

「人間と環境」

4単位 通年

【商】

小松 英海

この科目は商学部の学生の履修が優先的に認められます。定員に余裕がある場合は、文学部、経済学部、法学部の学生の履修が認められ、自然科学系の科目として履修申告ができます。

【授業科目の内容】

人間は環境を大きく改変することもあるが、環境からも大きな影響を受けている。そもそも人間にとっての環境とは何か、そこから何を情報として取得し、どのように行動するのか。人間と環境の相互関係に焦点を当て、日常生活での経験と関連づけて考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験、デモンストレーションを随時行っていく。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

講義中に適宜紹介する。

心理学

「心理学は「こころ」をどのように

理解しようとしてきたか」

4単位 通年

【医】

増田 直衛

【授業科目の内容】

将来、医学を学ぶ学生であることを考慮し、その専門に必要と考えられる心理学的問題を中心に捉えて、基礎的な心理学の問題を扱います。特に医学のための心理学という固有の領域を設定する訳ではありません。文系学部の学生とは、入試科目などが異なりますので、授業の仕方も配慮しようと思います。人間を理解するためにはどのような枠組みがあり、心理学はそれに対してどのような立場をとり、どのような事実を明らかにしてきたかを考えてみます。

心への興味は人類の歴史とともにあったとも考えられますが、科学として歩みを始めたのは、W. ヴントが

1879年に独ライプツヒに心理学実験室を創設してからです。それ以来、いたずらな思弁を排し、厳密な実験と徹底的なデータ分析による実証的研究を目指してきました。ここでは、実験心理学を中心に、1. 心理学のものの考え方、2. 環境の認知、3. 行動の変容、4. 個性と適用、などについて、なるべく根っこの部分から考えてみます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

稲城孝雄編著『「わかりあい」の科学 行動科学の基礎』福村出版

心理学のもののとらえ方、方法論を概観するのに便利です。

菊池聡・谷口高士・宮元博章編著『不思議現象 なぜ信じるのか こころの科学入門』北大路書房

日常世界の不思議な現象を心理学の眼でみると、こんな見え方をします。心理学の分野を概観するのに便利です。

講義に関連した文献は授業中に随時紹介していきます。

人類学

「自然の中のヒト：進化と変異」

4単位 通年

【文】・【文経】

高山 博

【授業科目の内容】

ヒト（Homo sapiens）の定義を知っていますか？人類学的定義とは、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義は現生種ヒト（地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位）が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりながら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。

本文冒頭の質問の答えの一つが、「文化」なのですが、どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

講義内容に近いものとしては、埴原和郎著『人類の起源』講談社、ルーウィン.R.著（保志訳）『個々まで分かった人類の進化』てらべいあ、イミダスムック著『人類の起源』集英社

人類学

「進化・適応・変異からみた人類の理解」

4単位 通年

【経商】

真家 和生

【授業科目の内容】

本講義では、まず、人類を扱う諸問題と用語について整理した上で、生物の一種としてのヒトの分類上の位置

について講述する。

次に、生命発生から現在のヒトが形成されるまでの進化過程を通覧しながら、人類の獲得してきた形質について、また、世界各地へ移住拡散していった人類のザブグループの適応と変異について講述する。

これら、人類を理解する上で基礎となる事項を習得した上で、近未来の環境下における人類の生活について、学生諸君の意見をもとに討議する。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

そのつど指定する。

数学（文）

数学〔春学期〕/数学〔秋学期〕(経)

「〔春学期〕2次元の線形代数、〔秋学期〕平面の1次変換の分類」

4単位 通年（文）
2単位 春・秋学期（経）

【文経】

松岡 勝男

【授業科目の内容】

微分積分学とともに、もっとも基本的な数学的方法・手段の一つである線形代数学について、講義する。春学期では、n次元への一般化の基礎となる具体的な2次元での論理構成や計算を厳密に行う。また、秋学期では、春学期の内容を展開する立場から、「平面の1次変換の分類」を目標とする。

【教科書】

松岡勝男著『線形代数学 2次元・3次元の線形代数』培風館（1996年 1470円）

政治学

「政治学は現代日本政治をどこまでわかったのか」

4単位 通年

【文経法商医理】

大山 耕輔

【授業科目の内容】

政治学（political science）とはどんな学問なのでしょう。春学期では、政治学のものの見方、考え方（難しくいうと「モデル」）を講義するとともに、その知識を使って現代日本政治を説明してみようと試みます。また、授業の進行状況にもよりますが、秋学期では、政治学の一分野である行政学（public administration）について、エネルギー・原子力政策を素材に講義したいと考えています。

【教科書】

春学期

村松岐夫・伊藤光利・辻中豊著『日本の政治(第2版)』有斐閣Sシリーズ（2001年）

秋学期

大山耕輔著『エネルギー・ガバナンスの行政学』慶應出版会（2002年）

【参考書】

特に指定しません。各教科書の末尾に掲載されている

参考文献リストを参考にしてください。

政治学

「比較政治学的考察 ラテンアメリカ、中国そして日本」

4単位 通年

【文経法商医理】

〔春学期〕 段 瑞聡

安井 伸

〔秋学期〕 小野 修三

【授業科目の内容】

近代ヨーロッパ諸国いわゆる先進国の繁栄が、アジア、アフリカ、ラテンアメリカの諸国いわゆる後進国に固有の富を、あたかも自分たちの側のそれであるかのごとく使って初めて可能になっていた事実を、ヨーロッパ人自身が認めてから、まだそれほど時間は経っていないはずです。

この政治学の講義は、春学期にはラテンアメリカ、中国を専門とする二人の政治学者が、秋学期は日本を専門とする一人の政治学者が担当し、それぞれの地域における政府による国家（国民）形成のダイナミズムの歴史的展開過程を紹介して、現代政治を理解するための視点ないし概念を提供したいと思います。

政治学を専攻するために入学したわけではない受講者は、諸君らが専門分野として勉強する学問の背景をなしていたり、あるいは通底しているが故に、学ぶ必然性のある政治学がここにあるに気づくことでしょう。

【教科書】

なし。

【参考書】

参考文献に関しては春、秋とも講義開始後に逐次指示する方針である。

政治学

「現代日本の政治・行政の分析」

4単位 通年

【文経法商医理】

桑原 英明

【授業科目の内容】

現代日本の政治・行政への関心を深めるとともに、政治現象を理論的な観点から分析するための基礎的な知識を身につけることができます。とりわけ、政策評価と行政評価から自治体の政策イノベーションについて検討を加えます。

【教科書】

桑原英明・増田正編著『自治体行政評価の基礎』創聞出版社（2003年）

【参考書】

『日本の常識』編集部編『常識「日本の論点」』文春新書（2002年）

政治学

「現代日本政治を理解するための基礎」

4単位 通年

【文経法商医理】

河野 武司

【授業科目の内容】

戦後日本政治の展開を歴代内閣の業績と選挙結果を通して解説し、さらにはそれらに関連する政治学の基礎知識を適宜紹介することで、学生諸君の日本政治に関する理解を深めることが本講義の目的です。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

石川真澄著『戦後日本政治史』岩波新書（1995年 780円）

その他適宜紹介します。

政治学

「現代国際政治を考える」

4単位 通年

【文経法商医理】

阪田 恭代

【授業科目の内容】

本講義では、国際政治学の諸概念を紹介し、とくに戦争と平和、安全保障をめぐる現代国際政治の諸問題について考える。第1部では、国際政治の基礎概念について講義し、それを踏まえて、現代の安全保障における事例をとりあげる。第2部では、第二次世界大戦後の国際政治、とりわけ冷戦と冷戦後の世界における諸問題について講義する。講義においては映像資料なども活用する。

【教科書】

特に指定なし。授業資料を配布する。一部は慶應コピー印刷センターにて販売。

【参考書】

加藤秀次郎・渡邊啓貴編『増補版 国際政治の基礎知識』芦書房（2002年）、ジョセフ・ナイ著『国際紛争理論と歴史』有斐閣（2003年）、石井修著『国際政治史としての二〇世紀』有信堂（2000年）、松岡完著ほか『冷戦史 その起源・展開・終焉と日本』同文館（2003年）、小此木政夫・赤木完爾編『冷戦期の国際政治』慶應通信（1987年）、ジョン・ルイス・ギャディス『ロング・ピース—冷戦史の証言 核・緊張・平和』芦書房（2002年）

その他、適宜紹介する。

政治学

「現代日本の政治過程を考える」

4単位 通年

【文経法商医理】

佐々木孝夫

【授業科目の内容】

現代日本の政治過程について政治学の基本を学びながら一緒に考えます。この講義の履修によって毎日の新聞記事の内容を十分理解できるようになると思われます。政治・社会現象の解説に関する基礎力を身につけることが本講義の目標です。

【教科書】

最初の講義で詳細を説明します。

小林良彰著『現代日本の政治過程』東大出版会（1997年）

【参考書】

講義中に指示。

政治学

「日中関係の過去と現在を考える」

4単位 通年

【文経法商医理】

徐 承元

【授業科目の内容】

日本が「失われた十年（又は二十年）」から脱却できないでいる状況の下で「中国の台頭」に直面したことが「中国脅威論」を増幅させた一因であると言われる。また、これからの東アジア国際秩序は、日中関係に左右される可能性が高いとの見方も少なくない。本講義では、19世紀末から現在にいたるまでの時期を対象に、競合、戦争、断絶、回復、協力を含む日中関係のダイナミズムについて解説・分析し、将来の展望へとつなげていきたい。

【教科書】

添谷芳秀著『日本外交と中国、1945～1972』慶應通信（1995年 3800円）、徐承元著『日本の経済外交と中国、1979～1997』慶應大学出版会（2004年度近刊予定 定価は未定）

【参考書】

家永三郎著『太平洋戦争』岩波書店（1986年 2800円）、田中明彦著『日中関係、1945～1990』東京大学出版会（1991年 1648円）、船橋洋一編『いま、歴史問題にどう取り組むか』岩波書店（2001年 1700円）

政治学

4単位 通年

【文経法商医理】

高橋 伸夫

【授業科目の内容】

現代政治学の基本的な概念、およびアプローチについて学ぶ。前期においては、権力と権威、国家、リーダーシップ、政党と圧力団体など、政治学の基本的概念の検討が中心となる。後期においては、多くの政治学研究者が実際に取り組んでいる諸問題 例えば、権威主義体制の民主化、市民社会問題などを取り上げ、政治学の幅の広さを示すということになるだろう。

【教科書】

特に指定しない。

政治学

「カイザルのものと神のもの」

西欧政治思想史の一試論」

4単位 通年

【文経法商医理】

田上 雅徳

【授業科目の内容】

西欧における政治思想の歴史的変遷を、「政治的なるもの」と宗教（キリスト教）との相克という観点から捉え直して講義します。

その際、ここでの問題設定の切実さは、ひところよりも、たとえばテロ事件や民族紛争をテレビ等で見聞きしている皆さんの方が、よくわかっていただけではないかと思えます。つまり、現代においても宗教を理解しなければ説明しきれない政治の局面というものは存在す

るのです。

同時にわたしは、西欧における政治と宗教の関係のあり方が広く、西欧文化それ自体を根底で規定しているとも考えています。この考え方に立てば、本講義は西欧精神の基層を検討する試みとも言えましょう。その意味で、受講者の西欧そのものに対する理解が、講義を通して深まることを願っています。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

授業の中で適宜紹介していきますが、さしあたって、福田歓一著『政治学史』東京大学出版会、宮田光雄著『宮田光雄集 国家と宗教』岩波書店、をあげておきます。

政治学

「国際政治学入門」 4単位 通年
【文経法商医理】 細谷 雄一

【授業科目の内容】

この講義では、国際政治学の基礎的な理解を深めることを目的とする。時々刻々と変化する国際情勢を理解するためには、国際政治の本質と構造を知ることが重要となる。また、人間性を理解して、世界の多様性を理解して、そして普遍的な諸問題の存在を理解することによって、国際政治をより深く理解することが可能となるだろう。春学期には「国際政治学の基礎」として、重要な諸概念を整理して、秋学期には「現代国際政治の諸問題」として現在の国際政治の諸問題を具体的に理解することを目指す。

【参考書】

細谷雄一・矢澤達宏編『国際学入門』創文社（近刊予定）

政治学

「政治学の基礎」 4単位 通年
【文経法商医理】 真下 英二

【授業科目の内容】

政治は、我々の生活に身近であるにもかかわらず、あまりかえりみられていないことが多い。この講義では、政治が現代社会の中で果たす役割と意義について考え、また政治を分析する基本的な視座を修得することを目的とする。

【教科書】

加藤秀治郎・中村昭雄『新版 スタンダード政治学』芦書房（2002年 2800円）

【参考書】

講義内で適宜指示する。

政治学

「途上地域の政治 比較政治学の観点から
アフリカ、ラテンアメリカを中心に」 4単位 通年
【文経法商医理】 矢澤 達宏

【授業科目の内容】

ひとくちに政治学といっても、その対象とする範囲は広く、アプローチも多岐にわたる。そのなかで、本講義が主たる対象とするのはサブサハラ（サハラ以南）アフリカ地域およびラテンアメリカ地域の政治である。また、アプローチとしては比較政治学的な観点に重きを置きたい。より具体的に言うなら、本講義の主眼は次の二点にある。一つには、アフリカ、ラテンアメリカ両地域の歴史・社会的背景の要点をおさえたいうえで、独立後のそれぞれの地域における政治の推移・概要について基礎的知識を得ることである。もう一つには、比較政治学のいくつかの基本的概念を踏まえつつ、欧米先進諸国や日本との対比を念頭に置きながら、アフリカ、ラテンアメリカ両地域における政治過程や政治変動について考え、理解を深めることである。とりあげる材料（具体的事例）はアフリカおよびラテンアメリカが中心となるものの、とりわけ二つ目の点は他の途上地域の政治について理解し考えるうえでも参考になろう。こうした全体的指針の枠内で、過度に専門的な議論に踏み込むよりも、むしろ大まかな全体像を把握してもらえよう内容を心がけたい。日本においては比較的なじみの薄いこれら地域の政治を知り、考えてもらうことが、日本や欧米先進諸国の政治についてあらためて考え、理解を深めるきっかけともなれば、担当者としては幸いである。

【教科書】

本講義では特定の教科書は使用せず、各トピックごとに要点をまとめたレジュメと、必要に応じて資料を配布する予定である。

【参考書】

参考文献はトピックごとに別途指示する。

政治学

「政治現象理解のために」 4単位 通年
【文経法商医理】 粕谷 祐子

【授業科目の内容】

政治現象の「なぜ」を理解したい人のための入門的講義。有権者・政治家個人や集団の行動、政治制度の機能、政府政策、国際社会における国家の行動、などを理解するための分析道具を提供する。具体的には、これらの政治現象に関し、現代の政治学においてなにが研究され、どのようなものの見方が存在し、なにが研究者間の通説として確立しているのか（しかしそれが「真理」であるかどうかはわからない）そして、一般理論をどのように個々の現実政治分析に応用できるのか、に焦点をあてる。春学期は主に国内政治（domestic politics）について、秋学期では、前半に国内レベルの政策決定過程を、後半に国家間の政治（inter-national politics）について

講義する（事例研究の週が2回あるが、ここでは講義ではなくケース・スタディ・メソッドを用いる）。特定の国の政治解説はしないが、理論や分析枠組みの説明をよりわかりやすくするため、あるいは理論の応用力をつけるための事例として、世界各地の政治に言及する予定である。本講義を通じ、現在進行形でおこっている政治現象を批判的に考察する能力を身に付けてもらうことを目標とする。

【教科書】

特になし。講義資料は粕谷祐子のホームページよりダウンロードできるようにする。

【参考書】

随時紹介する。

生物科学（法政）／生物学（文経商）

「ニュースの中の生物学」

6単位 通年

【文経法政商】

秋山 豊子

【授業科目の内容】

毎日のように、生物科学関連の話題がニュースの中に取り上げられています。いまや、生物学も時代とともにあるという実感があります。ヒト・ゲノム解析、遺伝子診断、遺伝子治療、遺伝子鑑定、遺伝子組み替え作物などの遺伝子関連の話題、クローン、キメラ、臓器移植、非配偶者間人工受精、代理母などの生殖工学関連の話題、ガン・エイズ・狂牛病とプリオン・様々な成人病や老化の原因解析、環境ホルモン・ダイオキシン・産業廃棄物や放射性物質による環境汚染の話題などなど、これらの話題は現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、生物科学の入門編ではありますが、体系的な概論ではなく、これらのトピックを各回一話完結型で取り上げ、基礎用語から解説し、映像資料や教材を加えて、最後に法律・政治的な視点も加えた社会的問題点のdiscussionをしてゆきたいと考えています。このため、予備知識が無くても理解できるようにプログラムされています。隔週に行われる実習は、できるだけ身近な生き物を対象とし、生命現象を具体的に理解する助けになるように用意されており、動物の行動、動・植物の形態と機能、ヒトの血液細胞、ヒトの染色体解析、遺伝子DNAの抽出、自分自身の酸素活性を調べる実験や、無菌培養法などがその主なものです。実習の前に目的や手順を説明し、手順のプリントを配布します。講義の始めに、年間授業予定を検討しますので興味のあるテーマを提案してください。

参考HP <http://web.hc.keio.ac.jp/akiyama>

【教科書】

使用せず。

【参考書】

適宜提示。

生物科学（法政）／生物学（文経商）

「遺伝子から見たヒトの生物学」

6単位 通年

【文経法政商】

小野 裕剛

【授業科目の内容】

近年の遺伝子研究の進歩にはめざましいものがあり、そこで生み出される知識や技術は、専門家以外の人には簡単に理解できるものではありません。だからといって文理学部の皆さんが知らなくて良いわけではありません。これらの技術は医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動に深く関与しているので、これからの時代を生きてゆく時に求められる判断の材料に必要と考えられるからです。講義では新聞などに取り上げられているトピックスに触れながら、その根底にある遺伝子関連技術と考え方を基礎から解説します。実習では実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを目指します。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

特に必要ではありませんが、手ごろなものとして以下のものをあげておきます。

左巻恵美子（他）著『ヒトの遺伝の100不思議』東京書籍（2003年 1600円）

生物科学（法政）／生物学（文経商）

「ヒトと環境」

6単位 通年

【文経法政商】

金谷 信宏

【授業科目の内容】

講義の目的は、ヒトはどのようにして誕生し、どのような生き物であるのか、また、生きている状態とはどのようなものであるかを、自然科学的に理解すること、そしてヒトが環境の悪化にどのように対応しているのかを理解することです。実験は講義内容の理解を深めるために、細胞の観察、酵素反応、DNAの抽出、体細胞分裂、ヒトの染色体、染色体異常試験などのテーマで隔週行われます。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業の時に紹介します。

生物学

「どうして私たちは、今ここにいるのか？」

生物進化と身体のみならず

6単位 通年

【文経法政商】

金子 洋之

【授業科目の内容】

あなたたちは、「私って、いったい何？」そして「どうして、今、ここにいるの？」といった疑問を持ったことがあるだろうか？この2つの問いは、現在、そして未来を生きていくあなたたちに、生き物としてのヒトを強

烈に意識させる大変重要なテーマである。何故なら、あなたたちの身体の中には、生物進化の歴史が確実に刻まれており、あなたたちが如何に精緻な生き物であるかという事実を、壮大な時間軸の視点から理解させることになる。この理解は、己の潜在的な能力だけでなく、逆にその脆さをも、日々の生活の中で意識させる。それゆえ、急速に変化を遂げている人間社会へ無意識的に埋没させられがちな状況からの回避、そして、個人としての自立のための知的根拠を提供する。さらに、あなたたちは、人間社会のみでなく、地球家族の一員でもあり、ヒトのみが行うようになった自然破壊の危険を心の底から自覚するようになると思われる。

少し生物進化を紐解いてみたい。地球が46億年前に誕生し、細胞のプロトタイプが出来てきたのが38億年前。現在のバクテリア様の生き物であったと考えられている。そのうちに、あるものは酸素を利用し、またあるものは酸素を放出するシステムを獲得し、約20億年という気が遠くなるような膨大な時間をかけて、現在のあなたたちを構成する細胞と似たものになってきた。最初は、これらの生き物は個々に生活していたが、そのうちに互いが融合することなく、集合した状態の多細胞の生き物が現れた。約8億年前のことである。多細胞生物は多様な形や生活様式を可能にするようになったと思われ、約5億年前のカンブリア紀と名付けられている時期では、約1万種と推測される「形」の創出を試みた生き物たちが海の中に生存していた。そのうちの1種、ピカイアは私たちの先祖であり、他の多くの種は滅んでいった。やがて、海から川を経由して、魚の一部が陸に上がり、最初は水辺で生存していたが、代謝システムを発達させ、次第に陸の奥深くまで進出していった。繁栄を窮めた恐竜の中で冴えない連中が哺乳類への進化を遂げた。この過程でも、多くの生き物は絶滅し、ほんの一部が地球環境の変化の荒波に偶然生き残り、さらなる進化の道を辿り、哺乳類の一部は、リスからサルへ、そしてヒトへと分かれていった。地球46億年の歴史の中で、カンブリア紀以降の進化は加速している。現在地球上に見られる多種多様な生き物は、絶滅の危機を回避しているものであるが、ヒトはその1種にしか過ぎない。

生物進化の歴史は、あなたたちの身体の中に、その構造や機能する生体システムとして息づいている。クラゲの身体の構造が、2段階ほど複雑になったのがあなたたちであり、そのボディプランは、ハエやミミズと一緒である。一方、脊椎動物でもあるあなたたちは、無脊椎動物の生体防御システムを踏襲しながら、日吉のバクテリアと三田のバクテリアを区別して攻撃できる精緻な防御システムを備えており、家族間での移植手術も不可能な程の生き物としての独自性を持っている。さらに、脊椎動物の中でも最大に発達したヒトであるあなたたちの脳は、崇高あるいは本能的な愛を遂行する器官であり、また思考を介しての柔軟な記憶回路をも備えている。機能的な無駄もあることは分かっているが、約60兆の細胞からなるあなたたちの身体は、知れば知るほど良く出来ている。

本講義では、生き物が有している様々なダイナミクス

を切り口に、生物進化と身体の成り立ちに軸足を置き、「どうして私たちは、今ここにいるのか？」というテーマで基礎的学問である生物学の教養を伝えたい。具体的な講義の内容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。また、実習では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義ではカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

【教科書】

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

【参考書】

『Oh 生き物!』、『目で見る生物学』

生物学

「生物多様性と地球環境危機」

6単位 通年

【文経法政商】

岸 由二

【授業科目の内容】

私たちの時代は、自然と共存する持続可能な未来を目指して、文明次元の転換を体験しつつある。この講義では、この時代を善く生きる基礎教養として、生物多様性（バイオディバーシティ）にかかわる生物学的な視野と、地球環境危機を主体的・構造的に理解するための基本ツールを提示する。講義と隔週で実施される実験では、多様な生きものにふれ、生態系の基本特性を改めて理解する機会を提供する。

【教科書】

なし。

【参考書】

岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店（1996年）

生物学

「ヒトの生物学」

6単位 通年

【文経法政商】

長沖 暁子

【授業科目の内容】

講義と実習を通して、生物としての「ヒト」と科学技術に依存して生きる「人間」と自然のかかわり、科学技術とのかかわりを考え、多様性をベースにした自然・人間観を知るところをテーマにします。

【教科書】

使いませんが、必要に応じて資料・プリントを配布します。

【参考書】

テーマに応じて紹介します。

生物学

「現代（いま）をいけることを生物学から考える」

6単位 通年

【文経法政商】

中島 陽子

【授業科目の内容】

生命科学・技術の驚異的な進歩は、毎日のように生命の仕組みに関するあらたな情報を付け加え、経済や政治

までも動かすようになりました。しかし現実には、臓器移植で新たな生を得る人がいる一方で、母からエイズのウイルスも受け継いで生まれてくるアフリカの子供たちがいます。豊かな生活の結果出されるごみを燃やすときに出される物質が、内分泌かく乱物質として、生き物の営みをかき乱すと心配されています。技術は地球の距離を縮めましたが、人の世界では富と技術の恩恵を受ける機会にかつて無いほどの偏りを、自然の世界には環境の危機をもたらしました。このような現在（いま）をいみるとは、どのようなことなのでしょう。それを生物学の目で見てみようと思います。

文系の総合教育科目ですから、授業では生物学の枠組みにこだわらずに、できる限り広い視野でこのことを考えていきたいとおもいます。この授業が目指していることのひとつは、柔軟な目で物事を多面的に見ることができるようになるということです。たとえば、エイズについて原因ウイルスや免疫システムについて知ること大切ですが、否応無くそのウイルスにさらされてしまう人たちのいる社会の問題にまで目配りをしてはじめて、この病気の理解に近づいたことになるのではないのでしょうか。日本では薬害エイズで幼い子供が命を失いました。これは、血友病の治療薬がエイズウイルスに汚染されていた、それを未然に防げなかったためにおきた悲惨な事件です。愛するわが子の命を助けようと血液凝固剤を注射したお母さんは、自分の手で自分の息子の体内にエイズウイルスを送り込んでいたということになるのです。その口惜しさにまで想いを致してみようということです。

生命の仕組みを学ぶことは、私達人間はヒトという生き物の一種であることを改めて気づかせてくれるはずです。どんなに進んだ技術をもってしても、わたしたちがもつ生物的側面を切り離すことはできません。むしろ36億年のいのちの歴史を受け継ぎ、相互に関係しあいながら未来へそれを引き継ぐ多くの生き物たちの一員であるという認識こそが、いま私達が抱えている生命倫理や環境問題を解く鍵になるのではないかと。これが現代（いま）を生きることへ生物学を通して私が得た提案のひとつです。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

講義参考プリントの配布、参考書籍類の紹介を随時する予定です。

小比賀・中島著『現代生命科学入門』慶應大学出版（講義の内容と直接は関連しませんが、現代社会で避けて通れない生命科学技術の理解のための解説読み物として紹介します。）

生物学

「生命の科学」

6単位 通年

【文経法政商】

根岸寿美子

【授業科目の内容】

我々が住む地球上には36億年の進化により生き残ってきた多数の生物が存在し、それらの一員である人類は繁

栄の頂点に達している観がある。しかし一方でこの繁栄がいつまで続くのか危ぶまれる多数の未解決の問題を抱えている。HIV、環境ホルモン、遺伝子組み換えなど日常生活に密接に関連する問題について、理解の範囲を広げることがこの講義の目的である。そこで、我々の体をよく知るという意味から、前半は免疫機構とその異常症、発ガンのメカニズム、遺伝子治療、遺伝子変異による病気などを中心に生体内の調節について講義する。さらに、後半は生体内の信号伝達機構という面から、内分泌作用、内分泌攪乱作用、脳でのシグナル伝達および記憶のメカニズムなどについて講義する。

【教科書】

特になし。

【参考書】

『古くて新しい生物学』宣教社
その他毎回紹介する。

生物学

「ヒトに見る生物学」

6単位 通年

【文経法政商】

長谷川由利子

【授業科目の内容】

最近、生命科学に関係する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられ、文系の人たちにとっても無関心ではいられなくなってきました。講義と実習を通して、近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を養うことがこの授業の目的です。講義と実習は、1年を通じて隔週に行われます。講義では、現在話題になっているトピックスとそれに関連した生命科学の基礎知識について、ビデオ教材やOHPなども使って、高校で生物を履修していない学生でも理解できるように概説します。実習は、講義に関連したテーマで構成されています。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します。

【参考書】

講義のときに、関連した図書を紹介します。

生物学

「生命のしくみ：基礎（遺伝子）から

応用（バイオ技術）まで」

6単位 通年

【文経法政商】

福澤 利彦

【授業科目の内容】

ヒト遺伝子の構造と機能が解明され、バイオの知識と技術が社会で応用されるにつれて、バイオが社会にもたらすインパクトは飛躍的に大きくなっている。バイオの知識と技術が我々に恩恵をもたらす一方で、「何をどこまでやるか」ということが大きな問題となっている。これからの時代においては、「生命とは何か」という本質的な問いかけに一人一人が真剣に向き合い、自分の“生命観”を持つことが必要になる。そこで本講義では、生

命現象を多角的に捉えてもらうために、生命の本質的な問題からホットなトピックに至るまで、いろいろな話題を提供する。講義と平行して、多様なテーマで実習（実験）を行うことにより、生命の不思議を実感してもらう。自分の頭で生命について深く考えてもらうことが授業の目的である。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

生物学

「多様な生物の世界」

6単位 通年

【文経法政商】

福山 欣司

【授業科目の内容】

未知種も含めると地球上に暮らす種（species）の数は一千万から三千万種に達するのではないかとされています。これらの種は、程度の差はあるものの、お互いに異なった形態と異なった生活手段を持っています。言うならば、生物の世界には三千万通りもの多様な形態や生活様式があるわけです。

この授業では、こうした生物の多様性がどのように進化してきたかを理解し、生物と環境あるいは生物間の調和のとれた関係をマクロな視点から理解することを目的とします。また、生物の世界に与える人間活動の影響という観点から地球環境問題についても考えてみたいと思います。内容的には、細胞レベルの現象にはあまり踏み込まず、個体レベルや集団レベルといった、いわゆる「生き物まるごと」を扱うような授業になります。授業は、講義と実習を隔週で行います。講義では、通常の講義以外に新聞などを材料に生物・医療・環境などの分野から今日的な話題を取り上げ、グループ発表を行います。実習では毎回テーマに沿った実験や観察を行い、授業時間内にレポートを提出します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

特になし。

生命現象の分子科学

2単位 秋学期

【商理】

柳川 弘志

【授業科目の内容】

現在の生物では遺伝情報の流れは、DNA RNA（リボ核酸） タンパク質となっている。これはセントラルドグマ（中心教義）と呼ばれている。DNAの情報がいったんmRNA（メッセンジャーRNA）に転写され、それからその情報がタンパク質に翻訳される。情報は核酸が、機能はタンパク質が担っている。核酸はタンパク質の働きによってつくられ、そのための情報は核酸がもっている。どちらが先に出現したのだろうか。本講では、分子生物学の立場から、生命の基本的な性格や特徴、仕組み（遺伝子の複製、転写、翻訳）、起源（RNAワールド）

ド）進化、種々の現象（発生、分化）などについて解説する。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

柳川弘志著『遺伝子情報は人類に何を問うか』ウエッジ選書、ウエッジ

柳川弘志（共著）『新しい地球史・46億年の謎』有隣堂

柳川弘志著（共著）『地球惑星科学入門』岩波講座・地球惑星科学第1巻、岩波書店

生命の科学

「生命科学の最前線の現況と問題」

2単位 春学期

【文経商医】

竹内 勤 秦 順一

*医学部生は履修できません

岡野 栄之 相磯 貞和

末松 誠 大前 和幸

小安 重夫 中谷比呂樹

池田 康夫 鹿島 晴雄

【授業科目の内容】

最近の生命科学の進歩には著しいものがあるが、それにつれて人文、社会科学などとの接点が次第に複雑、多面化しつつある。従って、相互の理解を推進することは益々重要になってきている。このような状況に鑑み、本科目においては現在の生命科学のうち最も先端的なテーマを選定し、人文、社会、理工など他領域との接点に配慮しながら、医学部の専門研究者が平易な解説を行う予定である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

世界の政治

「現代中国をめぐる諸問題」

2単位 秋学期

【経商医理】

望月 敏弘

【授業科目の内容】

20世紀を中心に、現在までの中国の政治社会を歴史的に概観した後、今日の中国が抱える難問のいくつか 民主化・貧富の格差・少数民族・台湾・日中関係などを検討していきます。ビデオ教材なども利用しながら、巨大国・中国の実像に接近してみたいと思います。

【教科書】

とくに使用しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

小島朋之『中国現代史』中公新書、1999年

天児慧『中国とどう付き合うか』日本放送出版協会、2003年。

戦争と社会 2単位 春学期
【経商】 松村 高夫 矢野 久

【授業科目の内容】

20世紀は<戦争の世紀>といっても過言ではないほど、戦争や虐殺がおこなわれ、地域紛争もたえなかった世紀であった。20世紀の戦争は、戦争の手段、技術あるいは規模といった点で、19世紀までの戦争とは根本的に異なる性格をもっているようにも思われるほどである。

本総合講座は、戦争にかかわるさまざまな問題を社会に関係させて考えてみようという試みである。政治、経済、社会、文化、民衆、宗教などさまざまな要因がからんでいるし、また、戦争と社会といっても、多様な考え方があつた。本講座では、さまざまな領域で活躍する人を学内外から招いて、それぞれの立場から、戦争と社会の問題を論じてもらうことをねらいとしている。

経済学部のスタッフでは柳沢遊、小淵昭夫などを中心にそれぞれの専門分野から問題提起をしていただく予定である。

造形・デザイン論
 「工芸作品から見る日本の造形デザイン・日本の美意識」
 2単位 秋学期
【経商医理】 木下 京子

【授業科目の内容】

美術の中でも特に工芸は、各国・各時代の文化の諸相、ひいては為政者の文化に対する理解の深さや「好み」が作品に色濃く反映される。またその時代の科学技術力や経済力、貿易状況を知る上でも重要な鍵となる。本講義では日本が中国や朝鮮半島の陶磁器文化を摂取し、国内で発展する過程を概観する。日本の陶磁器は茶の湯と密接な関係にあることから、並行して喫茶文化の受容や茶の湯の流れを見ていく。そして最終的には、陶磁器に見える「日本の美意識」について考察したい。

【教科書】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

矢部良明監修『日本やきもの史』美術出版社

造形・デザイン論
 「ヴィジュアルの意味」
 すぐれた造形、良いデザインとは？」 2単位 秋学期
【経商医理】 児島やよい

【授業科目の内容】

「造形・デザイン」を広くとらえ、日常接するもの、メディアで目にするものから、美術、建築、ファッション、映像なども含め、「ヴィジュアル」の意味を考えてみましょう。そのヴィジュアルはなぜカッコイイのか？なぜ人の心を打つのか？と。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。授業時にプリントを適宜配布します。

地域研究 スペイン事情
 「大西洋を往来する人たち」 4単位 通年
【文経医】 八嶋由香利

【授業科目の内容】

人は古代から移動し他者と接触するなかで新しい生活の場を切り開いてきた。しかし、19～20世紀にかけてヨーロッパが経験した大量移民という現象はそれまでの歴史に類を見ない大規模な移動であった。授業ではスペインを構成する各地域を取り上げ、その近代化の過程でラテンアメリカへ新天地を求めて移住していった人々の姿を追ってみたい。

地域研究 中国事情
 「近現代中国の歩み」 2単位 春・秋学期
【文経商医】 宇 振領

【授業科目の内容】

1840年、中国がアヘン戦争で負けた。その年から中国が二千年以上も続いた封建社会が終わり、半植民地・半封建社会に入った。それまで、「天朝大国」とうぬぼれていたほど、その敗戦よりの恥辱感がひどかった。アヘン戦争から第二次アヘン戦争、清仏戦争、日清戦争、八国連合軍の北京占領...、敗戦の連続だった。敗戦の恥をそそぎ、外国列強の抑圧から抜け出す熱望は近現代中国の底流になっている。

当講義では、中国近現代史で大きな役割を果たした人物また事件を語ることによって、いまの中国に対する理解を深め、また日中間に横たわる問題が何処にあるかも指摘する。

【参考書】

姫田光義他編『中国近現代史』(上・下) 東京大学出版会
 坂野正高『近代中国政治外交史』東京大学出版会

地域研究 北米事情
 「文化地理への入門」 2単位 春学期
【文経商医】 近藤 光雄

【授業科目の内容】

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。全米各地の文化地理を紹介します。将来旅行、留学、滞在を考えている学生には特に有益な授業になると思います。

【教科書】

なし。

【参考書】

井出義光『アメリカの地域』弘文社(1992年)

地域研究 北米事情

「多様なアメリカ文化」

2単位 秋学期

【文経商医】

近藤 光雄

【授業科目の内容】

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。現在のアメリカ社会の多様性についての文化・歴史背景を探って、アメリカ社会をまとめているものは何かを探っていきます。合衆国の人びとのもつどのような価値観からアメリカ合衆国がなぜ世界や日本にたいし現在にいたる態度をとるのか。アメリカ合衆国を中心に北米社会の種々な問題を歴史、言語、文化、エスニックの巨視的観点から論じ講義をすすめます。(北米事情を履修していない学生も履修してもかまいません)

【教科書】

なし。

【参考書】

Luther S Luedtke 『Making America』(1988年)

鈴木透 『実験国家：アメリカの履歴書』慶應義塾大学出版会(2003年)

地域生態文化論

「自然と共存する都市の作り方」

2単位 春・秋学期

【文経商】

岸 由二

【授業科目の内容】

自然と共存する地域や都市の形成は、環境回復の時代を拓く大きなテーマのひとつである。本講義は流域を中心とする自然ランドスケープ、ならびに生態文化複合という概念を手がかりとして、都市における自然環境保全、あるいは自然共生型都市づくりのモデルや実例を学ぶ。

【教科書】

なし。

【参考書】

岸由二 『自然へのまなざし』紀伊国屋書店(1996年)
岸由二 『リバーネーム』リトル・モア(1994年)、慶應義塾経済学部編『かわりゆく共生空間』弘文堂(1999年)、本間義人『国土計画を考える』中公新書(1999年)

地域文化論

「オーストリア研究入門」

2単位 秋学期

【経商医理】

鈴木 伸一

【授業科目の内容】

現在のオーストリアは人口800万人の小国ですが、第一次世界大戦まではハプスブルグ帝国の中心として、ヨーロッパでも政治的・文化的・社会的に重要な役割を担っていました。そのような「過去の栄華」は、今でもウィーン等で視覚的に体験することが出来るだけでなく、オーストリアのナショナル・アイデンティティの形成にも影響を与えています。一方で、こうしたイメージが増幅されて再生産されることにより、オーストリアの「実

像」が隠蔽されてしまう傾向もみられます。

従って、本講義の主眼は、現代のオーストリアについて歴史的、文化的、社会的側面から多角的にアプローチしていくことにより、ステレオタイプ化されたイメージとは異なるオーストリアの「実像」に迫ることにあります。その際、以下のような項目を中心として複合的に検証を加えていく予定です。

1. 観光立国としてのオーストリア：商品化されたイメージ
2. 世紀末ウィーンの社会と文化：19世紀から20世紀初頭のオーストリア
3. 現代オーストリアの文化：クラシック音楽と大衆音楽、カフェ文化の今昔など
4. 都市と地方
5. ナショナル・アイデンティティの形成：ドイツとオーストリア、民族問題など
6. 過去の清算：ナチズムと戦後のオーストリア
7. オーストリアの政治

【教科書】

教科書は使用せず、資料等を適宜配布します。

【参考書】

必要に応じて、授業の中で紹介していきます。

地域文化論

「シュルレアリスムのパリ」

2単位 春・秋学期

【経商医理】

宮川 尚理

【授業科目の内容】

パリの屋根つき商店街パサージュは、ベンヤミンが19世紀を考察するときの出発点でした。一方で、パサージュは20世紀前半の前衛運動シュルレアリスムの主要な舞台のひとつでもあります。ベンヤミンの『パサージュ論』をひとつの手掛かりに、パリを舞台にした文学作品を紹介し、19世紀後半から20世紀前半までのパリという都市の変貌を追います。『眠るパリ』、『ファントマ』など、パリを舞台にした初期の無声映画も紹介する予定です。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

ベンヤミン 『パサージュ論』岩波現代文庫、ブルトン 『ナジャ』岩波文庫など、授業の中で指示します。

「地域文化論」の履修ガイド

「地域文化論 ～ 」は、特定の国や地域の問題を扱う際、専攻領域を問わず要求される基礎知識や背景の知識を学べるように法学部に設置された人文科学科目で、その地域の文化・社会・歴史に対する総合的な理解を深めるのが目的です。入門篇の「地域文化論 ・ 」に接続するより高度な内容の授業が、「地域文化論 ・ 」、「人文科学研究会」という名称で設置されていますので、外国研究コースとして系統立てた履修も可能です。今年度開講の授業は次の通りです。

〔A群〕 一・二年生対象

地域	科目名	担当者
イギリス	「地域文化論 」	太田
	「地域文化論 」	武藤
アメリカ	「地域文化論 」	奥田
	「地域文化論 」	奥田
ドイツ	「地域文化論 」	坂口
	「地域文化論 」	坂口
フランス	「地域文化論 」	笠井
	「地域文化論 」	笠井
ロシア	「地域文化論 」	山田
	「地域文化論 」	山田
スペイン	「地域文化論 」	渡邊
	「地域文化論 」	斎藤
ラテンアメリカ	「地域文化論 」	大久保
	「地域文化論 」	田島
中国	「地域文化論 」	林
	「地域文化論 」	安田

〔B群〕 原則として二年生対象（各論的であり高度な内容なので、「地域文化論 ・ 」を履修済であることが望ましい）

イギリス	「地域文化論 」	横山
	「地域文化論 」	横山
アメリカ	「地域文化論 」	常山
	「地域文化論 」	鈴木
フランス	「地域文化論 」	鶴崎
	「地域文化論 」	鶴崎

〔C群〕 三田設置のゼミ形式の授業

イギリス	「人文科学研究会」	横山
イギリス	「人文科学研究会」	太田
イギリス	「人文科学研究会」	小屋
イギリス	「人文科学研究会」	武藤
アメリカ	「人文科学研究会」	井上
アメリカ	「人文科学研究会」	鈴木
アメリカ	「人文科学研究会」	奥田
ドイツ	「人文科学研究会」	岩下
ドイツ	「人文科学研究会」	許
ドイツ	「人文科学研究会」	斎藤
ドイツ	「人文科学研究会」	三瓶
フランス	「人文科学研究会」	アンリ
ロシア	「人文科学研究会」	山田
ラテンアメリカ	「人文科学研究会」	大久保
中国	「人文科学研究会」	安田
歴史	「人文科学研究会」	平林

上級学年用の授業を将来履修したい人は、なるべく一年生時に自分の希望する地域の「地域文化論 ・ 」の履修を済ませて下さい。法学部以外の学生も履修できますが、履修希望者が多い場合、法学部生が優先されることがありますので、担当者の指示に従って下さい。

地域文化論
「イギリス地域研究入門」 2単位 春学期
【経法政商医】 太田 昭子

【授業科目の内容】

日吉で開講される、イギリス地域研究の「地域文化論～」の入門講義として、イギリス社会の様々な側面を検討します（詳細は授業計画を参照して下さい）。

イギリス社会を立体的に捉えるために、歴史的展望という縦軸、他の諸国との比較という横軸を念頭において、双方からの考察を進めます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

参考文献表などを随時配布します。

地域文化論
「イギリス的想像力とイギリス社会」 2単位 秋学期
【経法政商医】 武藤 浩史

【授業科目の内容】

主として映画を題材として、必要に応じて音楽、文学などそれ以外の芸術作品も交えながら、第二次世界大戦後のイギリス的想像力の諸相と政治・社会・文化との関係を探ってゆきたい。もっとも、戦後は戦前と繋がっているから、戦前のイギリス文化の伝統がどのように受け継がれ、どのように断絶しているかも、合わせて検討することになるだろう。中心を成すのはビートルズを核として世界を席卷した1960年代のイギリス発「文化革命」論である。

地域文化論
「アメリカ研究入門」 2単位 春学期
【経法政商医】 奥田 暁代

【授業科目の内容】

今後とも日本にとって重要な国であり続けるであろうアメリカを理解するには、統合化と多様化という相反するベクトルがこの国の推進力としてどのように作用しているのかを把握する必要があります。この授業では、アメリカに関わる問題を扱う際に欠かせない基礎知識や背景的知识を整理しながら、これら二つのベクトルを軸に実験国家としてのアメリカ文化・社会の特質を考えます。アメリカ史の概略も理解できるよう、各回のテーマを組んであります。

【教科書】

鈴木透著『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』慶應義塾大学出版会（2003年 2400円）

地域文化論
「アメリカ南部」 2単位 秋学期
【経法政商医】 奥田 暁代

【授業科目の内容】

一般的に知られる「アメリカ合衆国の歴史」とは、ピューリタン社会にその始まりを位置づけるアメリカ北部中心のものです。とくに南北戦争後は、北部のイメージがアメリカのイメージとして定着してしまいました。この授業では、このような「アメリカ史」とは異なり、アメリカ南部の変遷と、南部が抱えるジレンマに焦点を当てます。南部に内在する諸問題はアメリカの諸問題でもあるということを前提に、おおまかに年代を追いながら、南部のさまざまな出来事を取り上げ、現代のアメリカ社会と照らし合わせながら講義を行います。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

授業の中で紹介します。

地域文化論
「ドイツ文化入門」 2単位 春学期
【経法政商医】 坂口 尚史

【授業科目の内容】

ドイツ連邦共和国、オーストリア共和国、スイス連邦が現在のドイツ語圏であり、これら三ヶ国の文化について春学期は概論を述べます。ドイツ人の祖先であるゲルマン民族の文化からはじめて、神聖ローマ帝国の成立と中世キリスト教文化、ルネッサンスと宗教改革、パロック時代、市民文化の頂点となる18世紀19世紀の文化まで。

【教科書】

特に指定しない。

地域文化論
「リヒャルト・ワーグナーの思想と芸術」 2単位 秋学期
【経法政商医】 坂口 尚史

【授業科目の内容】

19世紀ドイツ最大の芸術家、文化人の一人であるリヒャルト・ワーグナー（1813-1883）の生涯と芸術について述べます。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

三光長治著『ワーグナー』新潮文庫

地域文化論
「フランス文化入門（中世から18世紀まで）」 2単位 春学期
【経法政商医】 笠井 裕之

【授業科目の内容】

いかなる時代また分野に属すものであれ、フランス文

化の所産に関心をもつ諸君を対象に、これだけは欠かせないと思われる基本的知識を習得してもらうことがこの講義の目的である。時代を画し、あるいは時代を変革するにいたった重要な文化事象を年代記的に取りあげていく。各自が今後フランス文化を考えていく上で、多少とも有益な見取図を描くことができればと考えている。

〔教科書〕

指定しない。

〔参考書〕

授業中に適宜、紹介する。

地域文化論

「フランス文化入門（19世紀・20世紀）」 2単位 秋学期
 〔経法政商医〕 笠井 裕之

〔授業科目の内容〕

地域文化論〔春学期〕に続いて、19世紀・20世紀をとりあげる。われわれの時代により近い、近現代の所産となれば、諸君にもおそろくなじみのある芸術家の名が数多く登場することになるだろう。ただ、単なる知識の確認作業に終わらせず、各自の体験にもとづく考察の端緒となるように、主な作品に断片的にならざるをえないとしても、教室で実際に触れる機会を増やし、諸君のあらたな発見を手助けできればと考えている。とくに、20世紀初頭のパリを舞台にあらゆる芸術ジャンルを巻きこむ形で展開したロシア・バレエ団（バレエ・リュス）の活動の軌跡をたどり、現代の文化・芸術を特徴づける要素のひとつといえる「異質なものの交錯によって生まれる創造力」を生みだしたモデル・ケースとして考察する。

〔教科書〕

指定しない。

〔参考書〕

授業中に適宜、紹介する。

地域文化論

「ロシア」 2単位 春学期
 〔経法政商医〕 山田 恒

〔授業科目の内容〕

ロシア文化が日本のさまざまな芸術に大きな影響を与えたことは良く知られていますが、その影響は常に部分的、例えば、文学なら文学への影響として語られることが多く、ロシア文化そのものの総合的な紹介はあまり行われていないのが現状です。

この講義ではロシア民族の誕生からキリスト教の受容、さらに女帝の時代を象徴するエカテリーナ女帝、そして19世紀までのロシア文化を概観してゆきます。中心となるのはロシア・フォークロアとロシア正教です。つまりロシア文化の基本を勉強することになりますが、さまざまな側面にも言及する予定です。また日露文化交流史についても、ロシアの代表的な民芸作品であるマトリョーシカと日本の入れ子細工との関わり、さらに石川啄木とロシアなどにも触れます。

〔教科書〕

残念ながら、存在しません。

〔参考書〕

授業で触れるテーマ毎に、ペーパーを配布します。例えばエカチェリーナ女帝なら、漫画から学術的な研究書まで紹介します。

地域文化論

「ロシア」 2単位 秋学期
 〔経法政商理〕 山田 恒

〔授業科目の内容〕

基本的には春学期の継続ですが、秋学期からの履修者を考慮して講義を進めます。一度に花開いた感のある19世紀から20世紀初頭のロシア文化が中心です。ロシアの文学、演劇、バレエ、映画などを紹介します。注意してほしい点は理論や論理的な展開が行われる講義ではないことです。

もちろん、一つのテーマに4回の授業ですので、その精華のみを紹介することになります。ただし出欠を兼ねたアンケートを実施し、履修者の希望が多い領域に出来るだけ多くの時間を割きたいと思っています。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

講義時間ごとにペーパーを配布し、その中でテーマに関連する参考書を紹介します。

地域文化論

「スペイン文化入門」 2単位 春学期
 〔経法政商医〕 渡邊 千秋

〔授業科目の内容〕

現代のスペインでは、いわゆるスペイン語（カスティール語）の他、ガリシア語、バスク語、カタルーニャ語など、様々な言語を母語とする人々が暮らしており、社会文化的にみて非常に多様で豊かな要素が存在しています。しかし、この多様性は一方で、歴史上さまざまな紛争を呼び起こす要因の一つともなりました。また地理的な面からみれば、ヨーロッパとアフリカの間に存在することによる様々な影響を指摘することができます。

この授業では、受講生の皆さんに現代スペインの文化・社会・政治的状况に関する知識を深めてもらうことを目的とします。

〔教科書〕

指定なし。

〔参考書〕

立石博高他編『スペインの歴史』昭和堂（1998年）
 立石博高他編『スペイン・ポルトガル史』山川出版社（2000年）
 他、参考文献は授業内で適宜紹介します。

地域文化論

「人物を通して見るスペイン」 2単位 秋学期
 【経法政商医】 齋藤 華子

【授業科目の内容】

スペインは歴史上、様々な民族が侵入、錯綜した地であり、カタルーニャ、ガリシア、バスク等、多様な、そして独自の風土、文化、言語を持つ地方が集まっている国といえます。このような多様性の中からは、画家、建築家、作家等、実に個性的な奇才と呼ばれるような人物が数多く生まれてきました。

この授業では、スペインの歴史に登場するこれらの魅力あふれる人物を毎時間取り上げ、彼らの残した言葉、作品、エピソード等を通してスペインの文化に触れ、また彼らが活躍した時代の背景を学んでいきたいと思えます。

【教科書】

使用しません。適宜プリントを配布します。

地域文化論

「中米・カリブ海地域とメキシコ」 2単位 春学期
 【経法政商医】 大久保教宏

【授業科目の内容】

一口にラテンアメリカと言っても、あまりにも広大な地域であり、国の数も多いため、当地域文化論では便宜的にパナマより北の部分扱います。そこには世界でも有数の小国地帯かつ「文化混淆地帯」である中米・カリブ海地域が広がっています。この地域に着目することで、大国、先進国中心の現代世界の捉えられ方を相対化し、「ラテンアメリカは本当にラテン文化圏なのか」という具合に地域と文化の関連を問うことも可能です。併せて、「ラテンアメリカの大国」メキシコについても学ぶことで、同じラテンアメリカという地域内での対照性を見ることができるとでしょう。取り上げるテーマは、宗教、人種、言語、運河、鉄道、バナナ、コーヒー、さとうきび、海賊、地震、火山、国立公園、遺跡、革命、内戦、非武装中立、ノーベル平和賞、経済統合など様々です。これらを通して国をこえた地域としての連続性とその内部での多様性、地域内各国の個性について考察していきます。

学期末に語句説明、論述の試験を行います。また、「国と地域」という視点から講義を進める関係上、ラテンアメリカ、カリブ海地域33か国の場所、国名、首都名くらい覚えておいてもらわないと話がしにくいので、これらについて中間試験を行います。スリナムの首都はパラマリボで、アンティグア・バーブダの首都はセントジョンズだ、といったことを覚えてもらいます。くだらないと思われるかもしれませんが、たとえば首都がロンドンであることを知らずにイギリスのことを、イタリア、スペイン、ドイツなどと接していることを知らずにフランスのことを語れないのと同じと考えてください。

なお、秋学期地域文化論を担当される田島久歳先生

はパナマ以南の南米、特にブラジル、パラグアイの歴史、地域研究の専門家ですので、とを継続して履修することにより、ラテンアメリカ、カリブ海地域全体が学べるようになっていきます。

地域文化論

「南アメリカ地域」 2単位 秋学期
 【経法政商医】 田島 久歳

【授業科目の内容】

ラテンアメリカ・カリブ諸国・地域の歴史を学び、今日の多様な民族集団から成る社会・文化がいかなる過程を経て形成されたかを理解することを目指す。

まず、地域を構成する民族のアイデンティティにとって重要である彼らを指す名称の限界と問題点について学ぶ。つづいて、時代・時期区分をしてラテンアメリカ諸国の形成過程について分析する。

今年度は、先住民を通して見る他者と自己をキーワードに、ヨーロッパ人との遭遇と接触に伴う文化、社会、宗教、生活の変容と魂の征服のトラウマについて考える。そして19世紀以降の政治的独立に伴う近代国民国家形成とナショナル・アイデンティティの創造について考察する。講義では、パラグアイにおける象徴表象を分析することによって植民地時代にネガティブに評価されていた先住民の文化がポジティブに再評価・再解釈されていく過程を浮き彫りにすると同時に、それとは対照的にブラジルにおいてはヨーロッパ的な象徴表象をナショナル・アイデンティティとして再創造していく過程を検討する。

【教科書】

遅野井茂雄・田島久歳他編『ラテンアメリカ世界を生きる』新評論（3200円）

【参考書】

齋藤晃『魂の征服』平凡社、ナタン・ワシュテル『敗者の想像力』岩波書店、ツヴェタン・トドロフ『他者の記号学』法政大学出版会、上谷博・石黒馨編『ラテンアメリカが語る近代』世界思想社、エリック・ホブズボーム『創られた伝統』紀伊国屋書店、ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』リポレポート、網野徹哉・高橋均編著『ラテンアメリカ文明の興亡』中央公論社、Mary Louise Pratt『IMPERIAL EYES - Travel (Writing and Transculturation)』ROUTLEDGE

地域文化論

「中国政治と人々の暮らし」 2単位 春学期
 【経法政商医】 林 秀光

【授業科目の内容】

中国はその悠久の歴史に育まれてきた民俗、文化、政治が多様かつ変化に富んだものであったため、観察の対象としてそれ自体は不思議な国であるが、日本では中国に親近感を持つ人となんとなく中国が好きになれないあるいは反感を持つ人に分かれるというのも不思議である。中国の歴史や文化のロマンに惹かれつつも、今日の

中国の政治体制に違和感を覚えたり、アジアまたは世界で影響力を増していく中国の姿が威圧に感じたりする、というのも理解できることである。そこで、この授業は中国社会への接近を図るべき文化、民俗、政治、社会問題の幾つかのトピックを取り上げ、人々の暮らしや考え方がいかに政治の揺れ動きと関係して変化してきたかを解説します。折に触れて、日本との比較を行い、中国をより身近な国に捉えられるようにするのが本講義の目標です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

各授業の前に適宜指定する。

地域文化論

「現代中国の軍事と安全保障」 2単位 秋学期

【経法政医】 安田 淳

【授業科目の内容】

現代中国が、その歴史的な要因、多様な環境、地理的位置関係などいずれの点においても、世界の安全保障環境に大きな影響を与え、また国際関係から大きな影響を受けていることは改めて言うまでもない。なかでも中国の軍事については、まだ不明な点も多く、また理解も不足している。中国の、またひいては東アジアの安全保障を考察する際に無視することのできない中国の軍事についての理解を深め、併せて中国の安全保障にかかわる諸問題についての基礎的な知識を習得することが、この講義の目的である。

【参考書】

講義中に適宜、提示する。

地域文化論

「シェイクスピア、時代と国境を越える」 2単位 春学期

【経法政医】 横山 千晶

【授業科目の内容】

誰でも聞いたことのある名前、シェイクスピア。そして皆さんの多くは、彼の作品を読んだり、舞台上で観たりしたことがあるでしょう。しかし、シェイクスピア作品のおもしろさは、なかなか一回読んだだけでは、そして一回観ただけではわからないものです。今まで多くの演出家や芸術家たちが、16世紀という時代もイギリスという文化圏をも越えて、彼の作品をスクリーンの上や舞台の上、あるいはキャンパスの上で表現し続けてきたのもその尽きせぬ魅力と、あらゆる文化的背景を抱き込みつついく通りもの読みを許す奥の深さゆえです。この授業では、主に映画と絵画を中心に、そういった人々の「読み」を考察してみます。数々のシェイクスピア作品を通して、最後には皆さん自身でシナリオの解釈と謎解きをして見ましょう。

授業は講義とディスカッションの二本だてで進めます。また、より深く作品を知るために、作品の背景についての研究発表や、実際にセリフを読んだり演じたりす

るワークショップも取り入れていくつもりです。

【教科書】

第一回目の授業でお知らせします。

【参考書】

参考文献や視聴覚資料については、随時授業の中で紹介していきます。

地域文化論

「世界の中のイギリス、イギリスの中の世界」 2単位 秋学期

【経法政医】 太田 昭子 武藤 浩史

横山 千晶

【授業科目の内容】

イギリスの中の世界。それはたとえば、紅茶という最もイギリス的とされる飲物を考えてみれば分かるだろう。そこには原産国としての半植民地化した中国、生産国としての植民地インド、そして紅茶文化には欠かせない砂糖の生産国としてのカリブ海植民地が骨がらみで繋がりあっている。イギリス的なものを考えることは世界を考えること、イギリスと世界の間接性を考えることと繋がっていきなくては意味がない。

イギリスという国は常に雑種のだった。ウェールズ、スコットランド、アイルランドを併合していった国の成り立ち、その国旗ユニオン・ジャックの構図からも明らかだ。19世紀にはさらに世界一の強国となって世界中に進出して世界一の帝国を築いた。世界がイギリスになったのである。イギリスのアイデンティティは大英帝国のアイデンティティと重なって、「007」をその末裔とする帝国冒険小説などさまざまな文化が花開いた。しかし第二次世界大戦後には逆の流れが起きてくる。旧植民地の独立とともに現地の非白人の多くがイギリス本国に移住して、イギリスに非ヨーロッパ系の文化が生まれるとともに人種問題が始まった。また1931年に発足した英国とその旧植民地からなるイギリス連邦（Commonwealth of Nations）には白人系植民地（オーストラリア、ニュージーランド、カナダ）も加わっており、これらの国とイギリスとの関係もまた大変重要である。

もちろんわが国をはじめ、直接イギリスの統治を受けてこなかった文化圏にも、これらの植民地を媒介としてイギリスの文化や思想が流れ込み、多大な影響を与え続けて現在にいたっていることはいうまでもない。

本講座は、以上の問題意識を共有して塾内外で活躍する第一線の研究者を招いて、世界とイギリスとの関わりについて多彩な角度からオムニバス形式の授業を提供するものである。旅行者的なイメージにとどまらず、イギリスを通して世界を考えたい者、世界を通してイギリス的なものを考えたい者の受講を待ち望んでいる。

【教科書】

毎回ハンドアウトとしてプリントを配布します。

【参考書】

参考文献やその他の視聴覚資料については、毎回授業の中で紹介していきます。

地域文化論

「アメリカ演劇の文化史 植民地時代から9.11以後まで」
2単位 春学期
【経法政医】 常山菜穂子

【授業科目の内容】

「演劇」は社会をもっとも強く反映する芸術形態である。日本語で「演劇」とひとことで言っても、それは「drama（戯曲テキスト）」と「theater（興業、上演）」の両要素からなっており、特に「theater」は時代の流れと観客の要求に合わなければ生き残れないからである。その意味で、現在知りうる演劇史はある時代の鏡であり、過去の生き証人と言えよう。演劇の考察は、その文化を生み出した風土、国民、政治・経済、精神を知る手がかりを提供する。本講義では、戯曲テキストの作品解釈を行うのではなく、演劇文化活動を社会的視座から広く取り上げて、text（戯曲）とcontext（社会的文脈）を突き合わせるにより、その内に意識的・無意識的に織り込まれた「アメリカ」の姿をたどる。本年度は、17世紀植民地時代から独立・建国期、19世紀、20世紀、そして現代まで時系列を追いながら、その時々演劇がいかにアメリカ社会と国民を映し出してきたかを考え、社会と文化の相互関係を探る視点を養う。

【教科書】

毎回プリント資料を配布し、映像作品を使う。

【参考書】

常山菜穂子著『アメリカン・シェイクスピア』国書刊行会（2003年）、Walter J. Meserve『An Outline History of American Drama』Freedback Theatrebooks（1994年）ほか授業中に指示する。

地域文化論

「アメリカ文化の中の性と暴力」 2単位 秋学期
【経法政医】 鈴木 透

【授業科目の内容】

セクハラや中絶論争、銃の氾濫や幼児虐待など、現代アメリカは性と暴力をめぐる様々な社会問題を抱えています。しかし、元来この国が異なる背景の人々による人為的な集団統合、及び、それに伴う集団内の対立をいかに解消するかという二つの課題を背負ってきたことを考えれば、性の問題は前者、暴力の問題は後者に通ずる、見逃せない重要な社会現象といえますし、深刻さを増している家族や家庭の問題は、性と暴力の両方の領域の接点として捉えることもできるでしょう。この講義では、内容に関連したビデオを何本か交えながら、アメリカにおける性や暴力をめぐる諸問題の法的、政治的、文化的、歴史的側面を総合的に検討し、性や暴力に対する人々の意識からみたこの国の特質を考えます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴

史にみる統合と多元化の軌跡』慶應義塾大学出版会（2003年）

地域文化論

「第二帝政期のパリ 近代都市生活と芸術」 2単位 春学期
【経法政医】 鶴崎 明彦

【授業科目の内容】

第二帝政期（1852-1870年）は、ナポレオン三世の独裁体制のもと、パリが空前の大改造によって壮麗な近代都市に変貌し、また万国博の開催によって世界中の人々を引き寄せるスペクタクル都市となった時代です。こうしたパリの町、社会と風俗の急速な変化は、うつろいゆく同時代の諸相を描く、芸術における現代性（モデルニテ）の追求を促し、新しい表現を目指す芸術家たちは、旧来の芸術との激しい葛藤を経ながら近代芸術を生み出していったのです。そうした、新旧文化の渦巻く過渡期であった第二帝政期のパリの社会・風俗・文化を、できるだけ多くの映像資料を使用しながら考察していきます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

開講時に参考文献一覧を配布いたします。

地域文化論

「ベル・エポックのパリ」 2単位 秋学期
【経法政医】 鶴崎 明彦

【授業科目の内容】

19世紀末から第一次世界大戦までのフランスは、「ベル・エポック」（麗しの時代）と呼ばれ、世紀末の退廃的な華やかさと新しい時代の幕開けを感じさせる享樂的な文化が爛熟した時代です。

「ベル・エポック」は、19世紀を通じて進展した科学文明の所産である数々の発明・発見が実用・応用の段階に入り、日常生活の様式を物質的にも精神的にも大きく変えた時代です。こうした科学文明のシンボルが、1889年のパリ万博で建設されたエッフェル塔でした。また、万博が象徴するように世界の一体化が進んだ時代であり、パリは異文化との出会いが新たな創造を生む磁場となりました。日本美術との出会いは印象派の絵画やアール・ヌーヴォーを、アフリカ芸術との出会いはキュビズムを生む起爆剤となりました。

しかし、一方で「ベル・エポック」は、今日まで尾を引く現代史の負の部分も形成された時代でもあります。普仏戦争の敗北の後、フランスではナショナリズムが異常なまでに高揚し、傷ついた威信を回復するため植民地帝国の道を進んでいきます。「人権宣言」を謳ったフランス革命の後継である第三共和制と植民地主義の矛盾。またドレフュス事件はフランス社会に深刻な分裂を引き起こすと同時に、20世紀のユダヤ人迫害の前兆ともなりました。

このような様々な矛盾を抱えた「ベル・エポック」の

パリの社会・風俗そして文化を、できるだけ多くの映像資料を使用しながら考察します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

開講時に参考文献一覧を配布いたします。

地学

「地球と生命の歴史」

4単位 通年

【文経商理】

大路 樹生

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

地球温暖化やオゾン層の破壊など、地球環境の危機が社会的関心を集め、人類はこの危機にどのように対処すべきか、判断を求められている。しかし現在の多くの議論に欠けていることは、長大な時間軸にわたって地球表面環境を形成してきた地質学的、生物学的な背景の考察である。当講義では、過去46億年間地球環境がどのように変遷し、その中で生命がどのような歴史をたどってきたのかを理解することを目指す。

講義では、まず地球の基本構造の理解を、なじみ深い現象（地震、火山など）から学び、この地球がダイナミックな動きを持つ特異な惑星であることを理解する。続いて生物進化を中心とした地球史をたどり、生命現象がどのように地球環境に影響を与えながら、いわゆる「共進化」してきたのかを考える。

高校で地学を履修しなかった学生にも配慮し、基礎的な所から分かりやすく講義するつもりである。受講者には積極的に授業に参加する態度を期待する。

【教科書】

大路樹生著『進化古生態学』東京大学出版会（出版予定）資料集を実費販売します。

地学

「地球システムの科学」

4単位 通年

【文経商理】

鹿園 直建

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

授業の目的は以下の通りである。

1. 地球システムを構成する物質（岩石、水、大気）についての理解を深める
2. 地球システムを構成する物質間の相互作用についての理解を深める
3. 人間 自然システム間の相互作用（資源、環境問題、自然災害）についての基本的事項を理解する
4. 地球システムの時間的変動（進化）について理解する

【教科書】

鹿園直建著『地球システム科学入門』東大出版（1992年）

【参考書】

鹿園直建著『地球システムの化学』東大出版（1997年）、鹿園直建著『廃棄物とのつきあい方』コロナ社（2001年）

地学

「大気科学と宇宙の科学」

4単位 通年

【文経商理】

坪田 幸政

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

気象分野

- ・気象衛星画像の原理と見方
- ・高層気象データの見方と使い方
- ・天気図の種類の見方と使い方
- ・天気予報の原理と使い方
- ・台風情報の見方と使い方
- ・気候分類の原理とやり方
- ・都市化による温暖化と地球温暖化
- ・エルニーニョ現象と異常気象
- ・オゾンホール

天文分野

- ・自然観の変遷
- ・力学的宇宙観
- ・太陽と太陽系
- ・銀河と銀河系
- ・観測天文学
- ・恒星の一生
- ・宇宙論
- ・特殊相対論
- ・一般相対性理論

【教科書】

坪田幸政・吉田優著『インターネット気象学』クライム、坪田幸政訳『宇宙の科学』丸善

【参考書】

高橋庸哉・坪田幸政訳『ワクワク実験 気象学』丸善、加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

地学

4単位 通年

【文経商理】

中田 正隆

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

地球に関する科学は、急速な勢いで進展している。それは、近年、急激に人間が自然とかわる問題が顕在化し、人々が地球の危機を強く認識するようになってきたからである。このような観点から、本講義は、地球に関する科学及び人間生活に対するその応用についての基本的な知識を与えることを目的にする。

【教科書】

鹿園直建『地球システム科学入門』東京大学出版会

【参考書】

鹿園直建『地球システム化学』東京大学出版会

地球科学概論
「大気科学」 2単位 春学期
【商理】 坪田 幸政

【授業科目の内容】

地球の大気、大気の構造、大気の熱力学、降水過程、大気における放射、大気の力学、気象現象、気候変動など大気科学全般。

【教科書】

浅井富雄・新田尚・松野太郎著『基礎気象学』朝倉書店

【参考書】

小倉義光著『一般気象学』東京大学出版会

地球科学概論
「インターネット気象学」 2単位 秋学期
【商理】 坪田 幸政

【授業科目の内容】

- ・気象衛星画像の原理と見方
- ・高層気象データの見方と使い方
- ・天気図の種類の見方と使い方
- ・天気予報の原理と使い方
- ・台風情報の見方と使い方
- ・気候分類の原理とやり方
- ・都市化による温暖化と地球温暖化
- ・エルニーニョ現象と異常気象
- ・オゾンホール
- ・気象と経済
- ・気象と人間

【教科書】

坪田幸政・吉田優著『インターネット気象学』クライム

【参考書】

高橋庸哉・坪田幸政訳『ワクワク実験 気象学』丸善

朝鮮文化・文学の歴史 4単位 通年
【文】 [春学期] 野村 伸一
[秋学期] 申 明直

【授業科目の内容】

朝鮮民族の文化と文学を歴史のなかで考える授業です。

前期は前近代に成立した民衆文化という枠組のなかで考えます。取り上げるものは民俗宗教と儀礼、仮面戯、人形戯、語り物の歴史などです。これらはさいわい今日なお伝承されているので、その一端を映像で提示します。

後期は、近代の文化、文学の歴史を取り上げます。西欧列強との葛藤、新興日本帝国による侵略といった難しい状況下、人びとの文化的な営みはどのような状況に置かれたのか、知識人の模索した近代はどのような作品を生みだしたのかを提示します。

【教科書】

毎回プリントを配布。

【参考書】

講義時にプリントで提示。そのほか、ウェブサイト <http://www.flet.keio.ac.jp/shnomura/> (慶應義塾大学アジア基層文化研究会)に掲載されたものを参照のこと。

地理学

「地図と文化の地理学」 4単位 通年
【文経法商医理】 青山 宏夫

【授業科目の内容】

さまざまな時代のさまざまな地域の人々が、自己あるいは他者の住む世界をそれぞれに捉え、それぞれに記載してきた。地図作製の営みもその重要な1つである。古今東西のさまざまな文化のなかで生まれた数多くの地図は、大地を記載することを語源とするgeography(地理学)にとって、その根幹にかかわるとさえいえる。ここでは、これらのさまざまな地図を紹介しつつ、それらを文化との関連において考察するとともに、それらの地理学的意義について考えたい。

【教科書】

講義資料プリントを配布します。

地理学(水曜)
「日本とイギリスの地域的対照性」 4単位 通年
【文経法商医理】 高木 勇夫

【授業科目の内容】

日本の東北日本と西南日本、イギリスの北と南に見られるさまざまな地域的事象の比較を通して、大陸の両端に位置する島国の地域的対照性を明らかにし、地域的対照性を形成するに至った背景を考え、地域とは何かを考察する。

【教科書】

使用しない。

地理学(土曜)
「開発・災害・環境」 4単位 通年
【文経法商医理】 高木 勇夫

【授業科目の内容】

21世紀は環境の世紀と言われ、地球環境問題が重要な課題の一つとして論議されている。この講義では、環境問題は災害問題であるという立場から、災害・環境問題が人類の生活・生産の営みとの関連で、どのように発生し、展開し、変容していくのかについて歴史的な視座と、地理的な視座から眺め、災害・環境問題が複合的・重層的な構造になっていることを考察する。

【教科書】

使用しない(年間30枚 A3判 表裏プリントの配布)

地理学(火曜)
「災害の地理学的解析」 4単位 通年
【文経法商医理】 松原 彰子

【授業科目の内容】

人類は、長年にわたって、気象災害、地震・火山災害などの被害を受けてきた。近年では、これらに加えて地盤沈下や海岸侵食なども、新たな災害として問題になっている。本講義では、災害の原因や実態を解説すると共に、災害と地理的条件（特に地形条件）との関係について考察し、災害予測のための基礎資料を示す。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業中に紹介する。

地理学（金曜）

「自然地理学的視点から見た地球環境変動」4単位 通年
【文経法商医理】 松原 彰子

【授業科目の内容】

近年の地球環境問題を理解する上で、広域的な視野に立ち、長時間スケールで自然環境の変動を把握することが、きわめて重要である。本講義では、自然地理学の立場から、第四紀（約200万年前から現在までの最も新しい地質時代）後期における、地球環境変遷を中心とした環境変動の原因と実態を解説する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業中に紹介する。

地理学

「日本と世界の農業地域」 4単位 通年
【文経法商医理】 水嶋 一雄

【授業科目の内容】

この講義は、低密度地域の持続的発展に関わる方策を考える上で、日本と世界の農業地域の現状と変化、問題点を地理学的視点から具体的な地域事例によって理解することを目的にしている。最初は、日本について講義する。第一段階は食料自給の現状と問題点を解説する。第二段階は環境保全型農業（持続的農業）の考え方と問題点、定着状況について解説する。第三段階は水田開発の過程を、沖積平野と台地などの地形と水の関わりを考慮しながら、時系列的に解説する。第四段階は近年における農業地域の現状と変化、とくに土地利用型・施設型・工場型農業についての事例を解説する。次に、世界について報告する。第一段階は日本農業に大きな影響を与えているカリフォルニア州の農業地域を報告する。第二段階はアジアの農業地域の現状について報告する。以上の講義内容を補足するために、ビデオやスライド使用する。

【教科書】

使用せず。

【参考書】

春学期と秋学期の最初の時間に資料集を配布。

地理学

「現代の地域問題を地理学から考える」 4単位 通年
【文経法商医理】 宮地 忠幸

【授業科目の内容】

この授業では、今日の地域問題に対する地理学からのアプローチの方法について考えてみたいと思います。戦後の日本経済・社会の動向とそれを支えた社会的条件について学びながら、大都市圏、地方都市、農山村において多様に顕現してきた諸問題の実態を、問題の形成要因とともに解説していききたいと思います。また、地理学が多様な地域問題をどのように捉えてきたのかについて、その代表的な研究成果を取り上げながら、そこにみられる地域や地域問題の認識方法について考えてみたいと思います。その上で、現代の地域問題を考えるために必要な視角について考察したいと思います。

【教科書】

特に指定しません。配布資料を用意します。

【参考書】

岡田知弘・川瀬光義・鈴木誠・富樫幸一『国際化時代の地域経済学 改訂版』有斐閣アルマ（2002年）、松原宏編『先進国経済の地域構造』東京大学出版会（2003年）、富田和暁『地域と産業 - 経済地理学の基礎 - 』大明堂（1996年）

哲学

「知識と心の哲学」 4単位 通年
【文経法政商医理】 安藤 道夫

【授業科目の内容】

この授業では、哲学がどのような事柄を問題として取り上げ、それらをどのように解決しようと試みてきたのかを検討することによって哲学の思考方法の基礎を身につけることを狙いとする。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布します。

【参考書】

授業中に指示します。

哲学

「哲学の諸問題」 4単位 通年
【文経法政商医理】 木原 弘行

【授業科目の内容】

哲学で問題となっているトピックに関して、いったいなぜそれが問題となるのか、どう考えれば答えられるのか、といったことを論じていきたいと思います。考えるのは学生のみなさんなので、決してどの哲学者がどんなことを言ったかを暗記するものではありません。下記の問題のうち一つでも興味をもって、自分の考えを論じてもらえるようにするのが、本講義の目標です。

【教科書】

特に指定しません。

〔参考書〕

西脇与作著『現代哲学入門』慶應義塾大学出版会
また、内容にあわせて授業中に紹介します。

哲学

「フランス現象学と他者問題」 4単位 通年
【文経法政商医理】 関根 小織

〔授業科目の内容〕

フランスの現代思想の担い手たちの多くは現象学の受容解釈とそれへの批判によってそれぞれの思想を形成しており現象学との関係は根深い。本講義はフランス現代思想、主にフランス現象学における他者問題を中心にして、現象学のフランス的発展のなかにみられる諸問題（主体性、感性、言語など）について考察する。フランスの現象学の展開は、サルトル、メルロ＝ポンティなどの第一期と、いわゆる「現れないものの現象学」と称されるレヴィナス、デリダ、マリオンなどの第二期とに分けられる。この区分は現代思想の重要な傾向変化に対応する為、講義はこれに即して進める。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

H・スピーゲルバーグ著『現象学運動（上）（下）』世界書院（2000年）

哲学

「アリストテレス哲学入門」 4単位 通年
【文経法政商医理】 中村 公博

〔授業科目の内容〕

この講義の目的は、過去の哲学者が書いたものを実際に読み、理解し、解釈しながら、哲学的に考えるための基本的な視点を得てもらうということにあります。

そこでこの講義では、アリストテレスの著作の翻訳を実際に取り上げながら、これに註釈・解説を加えていきたいと思えます。もちろん、取り上げられるのは、膨大な著作群の一部に限られますが、それぞれの部分に付随する哲学的諸問題についても適宜解説します。

「万学の祖」と呼ばれるように、アリストテレスの哲学が、皆さんが知っている現在の多くの学問の基礎を築いたことは間違いないでしょう。しかし、その著作群を実際に読んでみますと、一般的には完成した体系であるかのように語られるアリストテレスの哲学が、実際には彼の絶えざる思索そのものであって、決して完成されたものではないということがわかります。彼の著作とは、そうした思索の軌跡に他ならないのですから、読者にわかりやすく読ませることを主眼としたものではありません。したがって、読みやすいものではないでしょう。しかし、その著作を、翻訳ではあっても直接に読んで、講義を参考にしながら、アリストテレスが考えたことを理解し、彼と共に考えようとすることは、意義あることではないかと思われま。

〔教科書〕

プリントを配布します。

〔参考書〕

必要があれば、授業中に紹介します。

哲学

「イスラーム思想史」 4単位 通年
【文経法政商医理】 野元 晋

〔授業科目の内容〕

イスラームは最近の政治的事件とその周辺の事柄で語り尽くせるものではありません。イスラームとその文明は古代文明の地である中東で生まれ、ギリシアなど周辺の文明の成果を吸収しつつ、現代に至るまで豊かな知の営みを展開しています。この講義では、ほぼ1400年に及ぶイスラーム的な知の歩みを、哲学を中心に、コーランと預言者ムハンマドの言行、そして神学、法的制度、神秘思想、政治思想、分派の教義、ユダヤ教、キリスト教など他の宗教との関係、さらには政治や社会との関わりなどから学んでいきます。一年の終わりには、皆さんはメディアの伝えるイメージとは異なるイスラーム像をそれぞれに獲得しているでしょう。

〔教科書〕

特に指定しませんが、ほぼ毎回講義資料のプリントを配布します。

〔参考書〕

予備知識を得るために、東長靖著『イスラームのとりえ方』山川出版社、小杉泰著『イスラームとは何か』講談社現代新書、井筒俊彦著『イスラーム文化』岩波文庫、などが有益です。その他の参考書はそのつど紹介します。

哲学

「哲学とは何か」 4単位 通年
【文経法政商医理】 樋笠 勝士

〔授業科目の内容〕

「哲学」とは何か。この直接的な問題に迫りたい。

一般にphilosophyという語は説明的には「知への愛」と訳される。その点では「哲学」は正確な訳ではない。しかし、仮に「知への愛」を理解したとしても、未だ分からない。というのも、この営みを「知ることへの欲求」と見なして、あたかも好奇心などと連続して考えてよいものかどうか明確ではないからである。もし、好奇心と連続するのなら、「哲学」はいつでもどこでも誰にも関わる万人の営みということになるであろう。また、もし連続していないならば、「知への愛」における「知」や「愛」が、他の言葉に言い換えて済むような単純なものではないことを示していることになる。更には、もし「連続」ということへの問題意識自体が問題であるならば、問い方そのものを考え直さなければならない。こうして最後には「問い方」が問われることになる。

ところで、このような問い・問い方・営みが、大学の中に他にあるだろうか。

問題は、大学という組織やそこで「哲学」という一科目に関わる我々自身にかかっているのである。これに

える議論の素材は西洋の古代・中世の古典にある。philosophyが始まったとされる場だからである。

本講座では、かかる直接的な問題に対して、西洋哲学の出発点を基にして迫っていきたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

松本正夫著『西洋哲学史』慶應出版、中川純夫編『西洋哲学史』ミネルヴァ書房

哲学

「哲学的な問題の立て方と考え方」 4単位 通年

【文経法政商医理】 福田 敦史

【授業科目の内容】

「哲学とは考えることである」と言われることがあります。しかし、とにかく何でもいから考えていけば哲学と見なせるわけではなく、哲学的な考え方というものがあるように思われます。この哲学的な考え方を修得する一番の方法は、これまでいろいろと議論されてきた哲学的な問題について考えてみることでしょう。そこで授業では、いくつかの具体的な哲学的問題をとりあげ実際に皆さんに考えてもらいます。そして、御自分の考えを数回のレポートというかたちで表現してもらい、それを更に検討することも交えたいと考えています。取り上げる予定の問題は、1) 時間や時間の流れを理解するとはどういうことなのか、2) ある時点における人物の別の時点における人物が同の人物であることを、どのような根拠に基づいて判断するのか、3) 「心」と「身体」の関係はどうなっているのか、4) 私たちの自由な行為や責任はどのようなものであるのか、といったものです。

哲学に関する予備知識は必要ありません。問題やその背景を説明しますので、皆さんは自分でしっかりと考えて下さい。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

トマス・ネーゲル『哲学ってどんなこと?』昭和堂、野矢茂樹『哲学の謎』講談社現代新書
他にも参考書はその都度紹介します。

哲学

「知識の哲学 合理主義と経験主義」 4単位 通年

【文経法政商医理】 町田 一

【授業科目の内容】

「理解する」とは何をすることであろうか。「知ること」と「信じる」ことの違いは何か。このようなわれわれの認識にかかわる問題について考えたい。参加者の発表を必須とするので漫然と座っているだけの態度は許されない。

【教科書】

用いない。

【参考書】

授業時に指示する。

哲学

「英国古典経験論の哲学入門」 4単位 通年

【文経法政商医理】 真船 えり

【授業科目の内容】

17・18世紀の「英国古典経験論」と呼ばれる、ロック、バークリ、ヒュームの論じた、いくつかの哲学の問題をとりあげ、哲学の基本的な概念を理解していただき、哲学の問いの立て方やそのさまざまな解決の仕方について一緒に考えていただくことを目的とします。春学期は主として知識の哲学、秋学期は主として心の哲学を扱います。

【教科書】

プリントを配布する予定です。

【参考書】

授業中に紹介します。

哲学

「フランス哲学による哲学入門」 4単位 通年

【文経法政商医理】 村瀬 鋼

【授業科目の内容】

フランスの代表的な哲学者たちの思想を紹介しながら、そこに見られる諸主題について論じ、受講者を哲学へと促すことを試みる。第一の狙いは、今まで哲学書を繙いたことがなかったかもしれず今後も繙くことがないかもしれないあなたが、確かに持っているはずの哲学する力、これを開拓し耕すことである。第二の狙いは、今後西洋哲学の諸領域に踏み込んでいくための一つの十分な入口ともなりうるだけの、フランス哲学の基礎知識の習得である。

具体的には、簡単な導入の後、まずデカルトに沿って、彼の見出した 私 の意味内実の理解に努めてみよう。次いで、そのデカルト的 私 の視点から現代哲学の方向を眺めてみて、そこに浮かび上がってくる幾つかの主要な問題 身体、他者、時間 を、現代に近い数人の哲学者たちに沿って論じていくことにする。その他、全体を通じて、受講者の実態にも応じて、上記の狙いに沿うかぎりでの様々な話題を折込みたい。

【教科書】

用いない。読むべきものは授業時に資料として配布する。

【参考書】

授業内に適宜紹介する。

哲学

「物的世界における心のあり方」 4単位 通年

【文経法政商医理】 室田 憲司

【授業科目の内容】

哲学にはさまざまな側面がありますが、この講義では特に、その論証的な側面を強調します。こうした立場が

ら、世界の一般的なあり方について、なかでも、物的世界における心のあり方について考えていきたいと思いません。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布する予定です。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

哲学

「自然を哲学する 東西自然観の諸相」 4単位 通年
【文経法政商医理】 八巻 和彦

【授業科目の内容】

今日、環境問題などに関わって、自然に対する関心が深まっていますが、本講義では、そもそも「自然」とは何か、「自然破壊」といわれるような事態はいかなる思想的基盤から生じているのか、「自然保護」とはいかなることを意味しうるのか、自然にやさしいと自認している日本人は本当にそうなのか。このような問題意識をもちながら、古代から現代までの東洋と西洋の様々な自然観を検討します。

講義では、配付する資料をベースにしながら、皆さんと共に考えてゆきたいと思えます。一年たつて講義が終わる頃には、受講生の皆さんの各自に深い自然観が形成されていることを期待します。

この講義で扱う諸テーマの中でも、とくに<書物としての自然>という思想は、一般にあまりなじみのないものですが、それは、西洋自然科学を成立させ、科学技術を発展させる上で重要な役割を果たしたものだと考えられます。従って、これについては特に秋学期に詳しく検討することにしています。

【教科書】

なし。プリントを教室で配付します。

【参考書】

授業で紹介いたします。

天文学

「宇宙の中の人間」 4単位 通年
【文経商理】 加藤万里子

*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

宇宙は波瀾万丈で、ダイナミックな出来事に満ちている。私たちはなぜ地球に生まれたのか、宇宙の中で地球と人間のおかれた位置を明らかにすることがこの講義の目的である。まず、宇宙観が歴史的にどのような変遷をとげたかを見る。アリストテレスの宇宙から、現代のビッグバン宇宙にいたるまでのいろいろな発見と試行錯誤の歴史に注目したい。宇宙は高温高密度の大爆発で始まり、次第に冷えていく中で、銀河や星ができた。星はいまでも生まれている。星は核融合反応のエネルギーで光っており、最後には超新星爆発など劇的な現象を引き起こす。そのとき星の中にあつたいろいろな元素が宇宙にまき散らされる。太陽系には地球型惑星と木星型惑星が

ある。地球型惑星は岩石と金属からなる星で、わたしたち生物はそこで生まれて進化してきた。からだを作っている元素は、むかし星の中心部で核融合反応により作られたものである。太陽系で起こったことは、宇宙のどこかでもやはり起こった可能性がある。宇宙のどこかにいるかもしれない知的生命とめぐりあうことはあるのだろうか。

グループ発表や絵本製作を行うので、初回の講義に出て説明をうけること。過去の履修者が作成した絵本は<http://sunrise.hc.keio.ac.jp/mariko/astro.html>にある。

【教科書】

加藤万里子著『新版 100億年を翔ける宇宙』恒星社

日本の政治

「現代日本の政治過程」 2単位 春学期
【経商医理】 水戸 克典

【授業科目の内容】

周知の通り、わが国の憲法では主権在民がうたわれています。しかしながら、実際に誰が政治の実権を握り、政策を決定しているかについては、ほとんどの国民にとって闇の中にあるといっても過言ではありません。

本講義では具体的事例を取り上げながら、日本政治についていわれている様々な特質を解説し、わが国における政治力学を多面的に検討していきます。

【教科書】

授業中に適宜指示します。

【参考書】

授業中に適宜指示します。

比較文化論

「比較文化の視点から見た「自己」と「他者」の概念」 4単位 通年
【文経商医】 石井 康史(コーディネータ)
溝部 良恵 村上由見子
佐谷眞木人

【授業科目の内容】

「自分とは何者なのか」を考えることは、「自分ではないもの」、いわゆる「他者」を決定することにもつながります。今年度は比較文化論の立場から、「自己」と「他者」の概念がどのように形成されているかを、異なる地域から具体例をとりあげて考察します。「自己」と「他者」の識別は、論理的に言うところのあいだに厳密な境界線があつて初めて可能になる作業のはずですが、自己と他者の境界線を言語によって思考することじたい決して容易ではありません。「自分とは何者なのか」にたいする回答を「他者」によって与えられることもありえますし、また神話的世界においては、他者が必ずしも人間ではなく魔物であることさえあります。さらに、自他の識別は個人によってなされることもあれば集団によってなされることもありえます(例えば「自国民」と「他国民」)。いわば、自己と他者の問題は世界をどのように理解するかという大問題のひとつの変奏なのです。それ

ゆえ、ある個人ないし社会（およびその文化）が「自己」と「他者」の概念をいつ、どのように構築したかを考えることで、その個人や社会の歴史に新しい視点を獲得できるのではないのでしょうか。

通年の授業を4名で担当し、春学期が石井、溝部、秋学期が村上、佐谷の順序です。石井は19世紀ラテンアメリカの人々にとっての自己と他者、溝部は中国における日常の世界と怪異の世界の歴史的関係、村上は19～20世紀における欧米にとっての他者としての「日本」のイメージ、佐谷は日本民俗学の創始者柳田国男にとっての西欧体験、をテーマに講義をします。

19世紀ラテンアメリカ文学の「自己」概念と「他者」概念（担当者 石井康史）

19世紀初頭、主なラテンアメリカ諸国では政治的な独立とともにヨーロッパと異なる、自分たち独自の文化・自然に表現を与える作業が本格的に始まる（キューバはまだスペイン領）。「ヨーロッパ、とりわけスペインではないわれわれ」という、新独立共和国としての自己定義に、言語によって具体的な形式を与えること、というのが文筆家・知識人たちの課題となった。しかし描くべき人間・環境（例えば風景）は旧宗主国スペインと大きく異なる一方、言語は同じスペイン語であり、それゆえ彼/彼女らにとって、言語は思考の対象とすべき問題となる。またヨーロッパから特権的知識を絶え間なく受容しつつけることが、「ヨーロッパではないわれわれ」としての問題にもなっていく。本講義では19世紀ラテンアメリカ諸国において、個人や集団の「自己」と「他者」がどのように描かれているかを具体的に俯瞰することを通じて、19世紀的な国民国家の言語表現という問題を考察する。

中国志怪の変遷（担当者 溝部良恵）

中国では孔子が「怪力乱神を語らず」と語り、超自然や虚構を用いた話を記すことを抑制してきた。しかし一方で六朝時代（3世紀～6世紀）には「志怪（しかい）＝怪を志（しる）す」とよばれる鬼神（幽霊）や怪異について書かれた書物が大量に出現する。以後中国の知識人達は、孔子の言葉に縛られ、後ろめたさを感じながらも、怪異とそれに相対する人間に興味を持ち、記すことを連続と続けていく。例えば中国近代文学の道を切り拓いた魯迅も志怪を好んだことはよく知られており、彼の代表作である『阿Q正伝』のQとは「鬼＝Quei」を表すという説もある。そこで本講義では、各時代の怪異観の変化に留意しながら、中国の人々にとっての怪異を記すという営みの意味を考察し、また具体的な作品の紹介を通して、正史や詩など正統的な視点からではとらえられてこなかった、中国の歴史と文化の一側面を探っていきたくて考えている。

世紀転換期の欧米文化に見る 日本 の衝撃（担当者 村上由見子）

19世紀、ヨーロッパでは「他者」との遭遇にあふれていたが、その中でも「日本」はどのように受容され表象されたかを、様々な観点から振り返ってみたい。舞台ファッション、絵画、文学に現れた「日本」からは、ヨーロッパ自身がオリエントに託した 欲望 が読み取れる。

また、日本側からの自己オリエンタリズムの媚態も多分に 共犯性 を帯びていた。ジャポニズムは大西洋を越えてアメリカへと及んだが、世紀末オリエンタリズムから生まれた米小説「蝶々夫人」も、奇妙な変遷を遂げていく。20世紀初頭、新たに誕生したメディア産業ハリウッドもまた同じバンドワゴンに乗った…。授業はビデオ、デジタル映像など視聴覚資料をふんだんに使用。

ナショナリズムと民俗学 柳田国男の西欧体験を視座として（担当者 佐谷眞木人）

柳田国男は一般には日本民俗学の創始者として名を知られているが、大正10年（1921）から同13年にかけて、日本で最初の国際連盟委任統治委員に任命され、二度の渡欧によって外交の最前線に立ったことは意外と知られていない。もともと農商務省の官僚から貴族院書記官長へと、外交とは無縁の経歴を持つ柳田が、いきなり国際政治の檣舞台に引き出されることになったのは、なぜだろうか。また、国際連盟で柳田はどのような経験をしたのか、そしてそれは柳田の学問にどのような影響を与えているのだろうか。そこからは、日本の国内事情だけでなく、当時の日本が置かれている西欧諸国との関係を主とした国際的な立場や、日本の近代化の問題が浮かび上がってくる。柳田の西欧体験を切り口として、西洋の近代と日本の近代、植民地主義と日本のナショナリズムという問題について考えてみたい。それは今日に続く国際問題や、日本とは何かを考えるきっかけともなるであろう。

【教科書】

追って指示する。

【参考書】

村上由見子『イエロー・フェイス ハリウッド映画にみるアジア人の肖像』朝日選書
その他追って指示する。

美術 「日本の近世絵画」	4単位 通年
【文経法政商医理】	金子 信久

【授業科目の内容】

安土桃山時代から江戸時代にかけての絵画を取り上げます。近世は、精神や文化の担い手の状況が大きく変化した時代です。この時代の絵画には、華やかさや楽しさ、親しみやすさがあり、現代の私たちが率直に楽しむことのできる作品も少なくありません。しかし、同時に、現代とは異なる生活や社会を背景とした、その時代独特の表現があることにも注意しなければなりません。

近世に活動した多様な画派について、代表的な画家を取り上げながら、それぞれの特徴を概観します。さらに、社会や精神的背景と絵画芸術との関係について考えることによって、作品元来のありようを想像する力を養いたいと思います。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

その都度紹介します。

美術
「スペイン美術史」 4単位 通年
【文経法政商医理】 木下 亮

【授業科目の内容】

16世紀から19世紀のスペイン美術史を、エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤを中心に概観し、さらに20世紀の前衛芸術に深くかかわったピカソ、ミロ、ダリの作品について考察する。スペイン美術の特徴を理解するために、スペインと他のヨーロッパ諸国との美術における影響関係についても適宜ふれていきたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

講義の中で紹介する。

美術
「20世紀の美術」 4単位 通年
【文経法政商医理】 近藤 幸夫

【授業科目の内容】

20世紀美術史の講義です。内容としては、今世紀初頭のパリにおいて美術にどのような革新がおこったかマティス、ピカソなどを中心に考えます。

この講義では近・現代美術を見る上での基本的な知識の修得を目的としますので、時系列的に出来事の脈絡を考えたり、重要作品や語句を暗記することが求められます。あえて教科書は使用しませんが、各自が積極的に関連文献を調べ、開催中の展覧会をみて実際に作品と接することを望みます。

【教科書】

ありません。

【参考書】

適宜、授業中に参考文献を挙げます。

美術
「日本の仏教美術」 4単位 通年
【文経法政商医理】 塩澤 寛樹

【授業科目の内容】

美術史を総合的に理解するには、建築、彫刻、絵画、工芸などの各ジャンルをくまなく知ることが望まれるが、限られた時間の中でこれらを各時代にわたって網羅的に取り上げることは難しい。

そこで本講では、日本美術の中でも最も主要なジャンルである仏教美術を学習の中心に据え、その中でも古代から近世に至るまで連続と通史的に流れを追うことが可能で、かつ各時代を通じて豊富な作例に恵まれている仏教彫刻史を中心にして日本美術史をたどり、それを通して日本美術の特質の一端を理解することを目指す。また、美術史は背景としてその当時の政治・経済状況や宗教事情なども密接にかかわっており、こうした周辺分野についても触れながら幅広い視点での把握を目指す。

【教科書】

特に定めない。ただし、授業計画に即して項目ごとに、プリントを配布する。

【参考書】

倉田文作『仏像のみかた』第一法規出版、佐和隆研『仏像図典』吉川弘文館、『日本美術史事典』平凡社

美術
「イギリスの「風景画」」 4単位 通年
【文経法政商医理】 杉村 浩哉

【授業科目の内容】

自然とのかかわりを示すイギリスの美術についての講義です。中心となるのは18～19世紀の風景画ですが、新しい形態をとる20世紀以降の美術についても考えます。個々の作品を歴史的な脈絡の中でとらえる力を身につけることを目的とします。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

講義の中で適宜指示します。

美術
「キリスト教図像学入門：聖母マリアの場合」 4単位 通年
【文経法政商医理】 遠山 公一

【授業科目の内容】

西洋美術の伝統的テーマといったならば、キリスト教主題が挙げられる。その中でキリストに次いで聖母マリアは最も多くの造形作品に登場するだろう。美術史において、主題研究を図像学（イコノグラフィ）と呼ぶが、今年度は聖母マリアに関連する図像を軸にすえ、特に中世・ルネサンス・バロックの絵画・彫刻を見て行く。

【教科書】

特に指定せず。スライドリスト、資料プリントを毎回配布。

【参考書】

『聖書』、『黄金伝説』人文書院、『西洋美術解説事典』河出書房新社、『世界美術事典』新潮社など。

美術
「19世紀美術史概要（西洋）」 4単位 通年
【文経法政商医理】 富田 章

【授業科目の内容】

西欧の19世紀は、社会構造が大きく変化した時代であった。美術の世界にもその影響は及んでいる。美術が広い層に受け入れられるようになったことによって、受容層の趣味が多様化し、その結果、多彩な主題がとりあげられるようになった。このことは、アカデミーを頂点とする美術界の制度にも改変を迫ることとなった。アカデミーにおいては、歴史画を最も価値あるものとする絵画ジャンルのヒエラルヒーが厳然と存在していたからであ

る。一方で科学の発展は、人々の生活を一変させた。これは主題の変化を促すと同時に、美術の技術や手法にも変化をもたらした。そして、個人と個性とを尊重する傾向が強まっていったことが、これらの変化を促進することになった。

本講義では、19世紀美術の流れを概観しつつ、以上のような主題、手法、制度などにおける変化の様相について検討し、その中で制作された個々の作品の意味について考えていく。20世紀美術に影響を与えたフランスの革新的な傾向の美術を中心に講義を進めるが、保守的なアカデミズムの美術や、ラファエル前派、20人会といった地域性の強い運動についても触れ、19世紀西洋美術の本質と同時にその多様性をも理解できるよう配慮する。

【教科書】

なし。

【参考書】

必要に応じて指示する。

人の尊厳(社会と人権)

2単位 秋学期

【文経商】

関場 武 安藤 寿康

【授業科目の内容】

われわれを取り巻く国内外の情勢を眺めたとき、今日ほど人の尊厳の基盤が危機に瀕している時代はないのではないだろうか。国際情勢においては民族間の葛藤と危機が、国内には少年犯罪や同和問題、性差別や児童虐待、さまざまなハラスメント、いじめなどの諸問題が、また科学の領域では遺伝子情報や生命操作に絡む倫理的危機が、そしてわが心のうちには自分自身の尊厳を見いだすことができずにさまようわれわれ一人一人の精神的・思想的危機がある。これらは一見別々の問題のようでありながら、実は互いに連動しあっている。この講義は「知識を得る」ための授業ではない。これら多様な問題に自ら立ち向かっておられるさまざまな分野の専門家に毎回登場いただき、自らの経験や問題状況を語っていただく。学生諸君には、これらの問題について考え、さらにはみずからふり返って自分自身の考え方や生き方を問い直すきっかけをつかんでいただくことが、この講義の目的である。

表象文化論

4単位 通年

【文経商医】

小淵 昭夫(コーディネーター)

石井 康史 藤崎 康

七字 眞明

【授業科目の内容】

「映画を撮る リュミエールから現在まで」(小淵昭夫)

映画を撮る立場から、映像・音声・ことば(セリフ)を考え、作り出すことを主眼としたい。短編・ドキュメンタリー・現代フランス映画を中心に考察したい。

「落語 音声、身振り、物語」(石井康史)

物語(ナラティブ)が軸となるパフォーマンス芸術として、この講義では東京の落語をとりあげます。この授業の目標は、落語の分析を通じて、音声言語によって語

られる物語にどのような特質があるのかという、そんなごく一般的な問題にかんする批判的理解の端緒を提供することです。落語には滑稽噺(ばなし)のみならず、怪談噺、人情噺、芝居噺、さらに新作など、さまざまな演目があり、その出自も多様ですが、今回取り上げる演目は江戸・東京下町方言によるいわゆる古典のみ、演者は20世紀を代表する名人たちです。講義と並行して手に入る限りの音声・映像資料を見てもらうつもりですが、しかし語りの芸術としての落語はパフォーマーと聴衆が協同で作り上げるものですから、その実体験なしに理解することは不可能です。講義期間中に最低一回、実際に聞きに行ってください。

「映画史の名作を奪還せよ！」(藤崎 康)

ヒッチコックや小津安二郎すら知らない若い人がふえてしまった。まあそれは、「時」の経過による風化作用であるゆえ、致し方なからう。が、だからこそ今、ヒッチや小津を、あるいは相米慎二を(きみはあの美しい『セーラー服と機関銃』を観たか!?)、黒沢清を(きみはあの戦慄的な『CURE』を観たか!?)、カール・ドライヤーを、ジョン・フォードを、マックス・オフルスを、「発掘」せねばなるまい。アーカイブや図書館を断じて廃墟や「死体置場」にするな! 『マトリックス』など観ている場合ではないのだ、本当に! 参考書等は教室で指示する。授業では、映画をビデオなどで紹介し、あわせて、映画史、撮影技法、演出などについて、超ディープな講義をする。映画を撮るのも結構だが、ラングモアルドリッチも観ずにロクな映画を撮れると思うな。質問、相談は教室で受けつける。

「写真/地図/絵画」(七字眞明)

世界の一場面を一瞬のうちに切り取り、それを二次元平面上に再現する「写真」。その切り取り方は、カメラを手にする人間の個性そのものです。20世紀のドイツ語圏の写真家の作品を主たる考察対象とし、同じく平面上に再現される絵画との比較も念頭におきながら、写真というメディアが持つ多様な表現の可能性を考えていきます。取り上げるテーマとしては、

1. 「写真」という「表象」 記録される記憶
(シュテファン・モーゼス、トーマス・シュトルート、ゴットフリート・ヘルンヴァイン、他)
2. パウハウスと写真 新しい「視覚」
(ラスロ・モホイ＝ナジ、ウンボ、ヴァルター・ペーターハンス、他)
3. 類型論・人間 「演習用の地図」
(アウグスト・ザンダー)
4. 物の形態 即物性へのパトス
(カール・ブロースフェルト、アルベルト・レンガー＝パッチュ)
5. 類型論・構築物 シリーズ・フォト
(ベルント&ヒラ・ベッヒャー)
6. 写真/地図/絵画 世界というパノラマ
(ゲルハルト・リヒター)

などを予定しています。それぞれの写真家独自のコンセプト、その背景となる思想を皆さんとともに検討してみたいと思います。

【教科書】

(石井康史) 山本進編『落語ハンドブック改訂版』三省堂(2001年)
(七字眞明) 特に使用しません。

【参考書】

(石井康史) 安藤鶴夫『わが落語鑑賞』ちくま文庫(1993年)、関根黙庵『講談落語今昔譚』平凡社(東洋文庫652 1999年)、延広真治他編『落語の世界』(全3巻)岩波書店(2003年)
(七字眞明) 参考文献は授業中に紹介します。

物理学

「素粒子物理と宇宙」 6単位 通年
【文経法政商】 青木健一郎

【授業科目の内容】

ものを構成するもっとも基本的な部分は何であるのか、宇宙はどのようなところであるのか、というのは有史以来、あるいは有史以前からの人間の常なる疑問です。その疑問に対する理解が大きく進展したのは比較的最近で、原子の存在も銀河の存在でさえも確立したのは20世紀初頭です。2002年のノーベル賞がニュートリノ宇宙物理へ与えられたことに象徴されるように、最小のスケールを扱う素粒子物理と最大のスケールを扱う宇宙物理の関係は密接になりつつあります。現在の素粒子物理と宇宙物理による世界像を理解するのが本講義の最終的な目標です。現代物理の基礎となる量子力学と相対性理論は時間をとって説明します。

物理学では講義と実験を隔週ごとに行います。実験は簡単なものばかりなので恐れることはありません。実験から結果をどのような過程を経て導くかを体験して初めて物理的な考え方が実感できると思います。

物理の本質は「なぜ」という問題に答えるところだと思います。なぜそのような現象が起きるのかの仕組み、なぜその理解が正しいと主張できるのかの根拠、そしてなぜそのような理解に至ったのかの経緯、といった面を意識して講義を進めていきます。抽象的な概念は常に具体例を使って考えます。

【教科書】

【講義】特にありません。

【実験】慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』

【参考書】

適宜紹介します。

物理学

「相対性理論・素粒子物理・宇宙物理」 6単位 通年
【文経法政商】 表 實

【授業科目の内容】

物理学は、講義と実験実習からなる6単位の科目です。講義の内容は、相対性理論と素粒子物理学および宇宙物理学を中心に、自然界の時間・空間・物質と宇宙の基本的な構造について、現代物理学の考え方を紹介することを目的としています。相対性理論は、時間と空間に関する

従来の考え方を根本的に変革し、人類の自然観に大きな影響を与えました。素粒子物理学は、人類にとってギリシャ以来の謎である物質の基本的な構成要素とマイクロ世界の物理法則を解明してきました。また宇宙物理学は、現代物理学の成果を用いて宇宙の過去・現在・未来について、興味深い研究成果を成し遂げつつあります。現代物理学で得られた自然界の構造に関する知見は、人類が獲得した大きな成果と言えるでしょう。この機会にこれらの偉大な成果に触れてみることを進めたいと思います。

実験実習は自らの手で、地球の引力の強さや音の伝わる速さなどの基本的な物理量の測定を経験することによって、観測と実験の意義を理解すると同時に、自然界の構造に親しみを深めることを目指しています。実験は二人で協力して行う基礎的なものです。

【教科書】

講義については特に指定しません。実験実習については、慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』をテキストとして使用します。

【参考書】

特に指定しません。

物理学

「身の回りの物理」 6単位 通年
【文経法政商】 小林 宏充

【授業科目の内容】

皆さんは身の回りで起こっている現象の裏に潜む物理法則に興味はないでしょうか？例えば、昼間の空は青いが、夕暮れには空が赤くなるのはなぜでしょう。これは、光の散乱に関する法則から説明されます。飛行機が飛ぶのはなぜか。これは、カーブボールが曲がるのと同じ物理法則で説明できる。電子レンジを使うと冷めた料理が温められるのはなぜか。これは、テレビやラジオさらには携帯電話などで使われている電磁波が関係している。

このように講義では、身の回りの物理現象を取り上げ、その現象はどのような物理法則に支配されているかを明らかにしていく。自然現象に潜む物理法則を見つけ出し、その法則を科学技術に応用してきた偉大な科学者たちの功績を理解し、身の回りの現象に「なぜ」と疑問を持って、そこにはどのような法則が働いているのかという物理的な考え方を講義および実験から学んでいただきたい。

本授業では、講義と実験を隔週で行い、それぞれ出席点とレポートにより評価をする。実験は、物理学教室編集のテキストに従って、毎回異なるテーマについて行う。実験定員は60名。

【教科書】

【講義】特になし。

【実験】慶應義塾大学日吉物理学教室編『実験の物理』

【参考書】

特にありませんが、必要があれば適宜紹介します。

物理学

「素朴な疑問に答える物理学」 6単位 通年
【文経法政商】 下村 裕

【授業科目の内容】

実験と講義を隔週におこなう通年の授業です。物理学的なものの見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験」にある様々なテーマを二人一組単位で行います。講義では、誰もがいなく素朴な疑問に対して物理学がどのように答えるのかを解説します。夏休みに、各自興味のある身近な現象を実証的に調べる自由研究を行い、その成果をレポートとして提出することを課します。そして後期の講義時間中にその内容を本人が発表し、皆で議論する予定です。

【教科書】

慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』（1000円）

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

物理学

「物理と技術」 6単位 通年
【文経法政商】 諸隈 之彦

【授業科目の内容】

物理学の授業は、隔週で講義と実験を行います。実験では、日吉物理学教室編『物理の実験』を使用します。実験は2人1組で行い、文系の学生でも自らの力で行えるように配慮してあります。レポート提出時に面接し、実験の物理学的意味や物理法則などについて説明したいと思います。講義は、春学期は実験に関連した内容を取り上げます。秋学期は我々の生活に深く関わっている新技術とその根底にある物理を取り上げます。

【教科書】

慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』

物理学

「多様な現象を通して物理の基本法則を理解する」 6単位 通年
【文経法政商】 吉澤 徹

【授業科目の内容】

実験と講義を隔週に行う通年の授業です。高校で学習した物理の初歩的な知識の復習から始め、直感的に物理現象を理解することをめざします。

サッカーなどの球技に見られる身近な事象も星の生成に関連して観測される宇宙ジェットのような天文学現象も、物理学の基本法則を理解することによって、それらの本質をかいま見ることができます。講義では、直感的な見方をよく初等的な数学で補いながら多様な現象を考え、物理の基本法則を理解することを試みます。

【教科書】

【講義】特にありません。

【実験】慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』

【参考書】

適宜紹介します。

文学

「舞踊論」 4単位 通年
【文経法政商医理】 石井 達朗

【授業科目の内容】

現代社会における様々な舞踊表現を考察する。シャーマニズム、祭祀、民族舞踊からモダンダンス、ポストモダンダンスまで。身体表現とセクシャリティの領域も含む。舞踊に興味ある学生の参加を望む。単位を取るためだけの履修は時間の浪費である。ビデオ使用のため欠席・遅刻は厳禁。数回のレポート、小試験等がある。履修希望者は必ず第一回目の授業に出席のこと（簡単なレポートを提出しなければならない）。

【教科書】

石井達朗『アジア、旅と身体のコスモス』（青弓社）を春学期に、石井達朗『アクロバットとダンス』（青弓社）を秋学期に使う。

【参考書】

石井達朗『男装論』青弓社、石井達朗『異装のセクシュアリティ』新宿書房、元藤子『土方巽とともに』筑摩書房、土方巽『病める舞姫』白水社、ロデリック・ランゲ『舞踊の世界を探る』音楽之友社、イサドラ・ダンカン『芸術と回想』富山房、海野弘『モダンダンスの歴史』新書館、市川雅『ダンスの20世紀』新書館、マーサ・グレアム『血の記憶』新書館、ダンスマガジン編『ダンス・ハンドブック』新書館

文学

「フランス文学（フランス象徴主義を読む）」 4単位 通年
【文経法政商医理】 大出 敦

【授業科目の内容】

本講義では、19世紀末に勃興したフランスの象徴主義について文学を中心に解説します。象徴主義という文学運動はあるひとつの理念にしたがってまとまったものではなく、多様な要素が渾然一体となっているので、まず象徴主義とは何か、という問題から出発し、象徴主義の歴史を概観し、マラルメ、ランボー、ヴェルレーヌなどの作品を通じてそこに見られるさまざまなテーマを解説します。また文学だけでなく音楽・絵画などとの関連を概観し、象徴主義をひとつの社会現象としてとらえていきます。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

『マラルメ全集』（第 - 巻）筑摩書房、宇佐美育訳『ランボー全詩集』筑摩書房、ジュール・ユレ（平野威馬雄訳）『詩人たちとの対話 フランス象徴詩人へのアンケート』弥生書房、宇佐美育編著『象徴主義の光と

影』ミネルヴァ書房

文学

「文学を文化史的に読み解く」

4単位 通年

【文経法政商医理】

小倉 孝誠

【授業科目の内容】

文学、とりわけ小説というジャンルは、それが書かれた時代と社会を映し出し、同時に人々の考え方や感じ方を変えていきます。革命以後、20世紀初頭までのフランスは、いろいろな変化と革新を体験しましたから、それが文学の領域にそれまでなかったようなテーマと技法をもたらしました。この講義は、近代フランス文学に即しながら、文学をとおして歴史、社会、文化を読み解くことを目的としています。

【教科書】

講義資料プリントを配布。

【参考書】

都立大学フランス文学研究室（編）『フランスを知る』法政大学出版局（2003年）、小倉孝誠『19世紀フランス愛・恐怖・群集』人文書院（1997年）

文学

「シェイクスピア講義」

4単位 通年

【文経法政商医理】

小菅 隼人

【授業科目の内容】

ウィリアム・シェイクスピア（1564～1616）の生涯・時代背景を概観した後に、いくつかの劇作品を題材に、最終的にその演劇美としての価値を探る手掛かりを与えることを目的として講義をおこないます。

今日、シェイクスピアの作品は様々な芸術分野にモチーフを提供する一方、英語圏のみならず他の国々の文化にも浸透しつつあります。その意味で、彼の劇作品は文化的背景を異にする人々が芸術・思想を語り合う上での「共通言語」と言えます。同時に、シェイクスピアの作品が400年たった今日でも現代芸術としての力を持っているという事実は彼の作品が比類ない美的価値を持っていることを示しています。したがって、この講義では、基本的な知識を伝達するとともに、シェイクスピアの演劇美としての価値を分析的に考える方法を講じます。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

『ベスト・ブレイズ』白凰社（2000年 4500円）

文学

「『ファウスト』の世界に遊ぶ」

4単位 通年

【文経法政商医理】

小林 邦夫

【授業科目の内容】

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ（1749-1832）が著した不朽の名作「ファウスト」を、一年間かけてじっくり読んでゆきたい。「ファウスト」が問題と

して提起する事柄は、現代とも直結する、普遍的な価値を持っている。「ファウスト」が世界文学の一つと呼ばれている所以である。そこには「殺し文句」とも言うべき台詞がふんだんにあり、まさに「名言集」の感すらある。また、ビデオによる演劇としての「ファウスト」の鑑賞も行う。尚、実際に「ファウスト」の上演を観てみたい、と言う諸君にはその機会が与えられている。スイスのドルナッハの「ゲーテアヌム」に於て本年四月より八月まで上演されている。

【教科書】

手塚富雄訳『ファウスト』（第一部、第二部（上、下）計3冊）中公文庫

【参考書】

柴田翔著『ゲーテ『ファウスト』を読む』岩波セミナーブック

文学

「異説・ドイツ文学史」

4単位 通年

【文経法政商医理】

識名 章喜

【授業科目の内容】

「ドイツ文学」と聞いて、思わず「???」と反応してしまう人。ゲーテの『若きウェルテルの悩み』やカフカの『変身』を読まされて、頭が「???」だらけとなった人。ミヒャエル・エンデを読んで素直に感動し、ヘッセを読んで「青春」しているそのあなた。この講義は、ちょっと視点をずらした作品の選択と思いきり個人的な（悪）趣味で、あなたの乏しい読書経験から導かれるであろう「ドイツの文学」なるイメージを、ぶち壊してやろうという、かなり底意地の悪い試みである。ユートピア思想と科学的奇想、恐怖と戦慄、モダンと伝統といった問題枠を通して正統派文学史を裏読みしてみようと考えている。

【参考書】

初回に文献一覧を配布します。

文学

「近代日本の小説を読む」

4単位 通年

【文経法政商医理】

鈴木 啓子

【授業科目の内容】

近代日本の短編小説の講義講読を行います。時代・作者・スタイルの異なる十数編の短編小説をとりあげ、その個別のテキストの精読と鑑賞を通して、小説はいかにして読めば面白いのか、われわれにとって文学テキストを読むとはいかなる行為かを、具体的に考察していきます。

【教科書】

随時、講義資料プリントを配布し、夏休み前に文庫本の購入を指示します。

【参考書】

特にありません。授業の中で紹介します。

文学
「シェイクスピアと音楽」 4単位 通年
【文経法政商医理】 高橋 宣也

【授業科目の内容】

シェイクスピアは、音楽と関わりの深い劇作家です。彼の芝居には歌や音楽演奏の場がたくさん出てきますし、またその作品は後世の作曲家たちの創作意欲を刺激し、数限りない舞台音楽やオペラや歌曲が書かれてきました。この授業では、大きく豊かなシェイクスピアの世界に、そうした音楽という取っ掛かりから触れて、親しんでいこうと考えています。文学と音楽が互いに刺激し合う創造の例を見ることになるでしょう。

文学 4単位 通年
【文経法政商医理】 (春学期) 竹内美佳子
(秋学期) 朝比奈 緑

【授業科目の内容】

「アフリカ系アメリカ人の歴史と文学」(春学期)
民主主義国家アメリカは、奴隷制度という大きな矛盾を抱えて歴史を歩み始め、奴隷解放後も一世紀にわたって差別制度を温存し続けた。本授業では、アメリカの理念の実現を求めるアフリカ系アメリカ人の闘いの歴史を概説しながら、文学者の創造力がいかに政治性をもって歴史と関わってきたかを考察する。

「アメリカ詩を読む」(秋学期)
アメリカの詩を読む。対訳のかたちで紹介する。アメリカの歴史や文化を、詩というジャンルから読み解いていきたい。また可能なかぎり、CDやビデオを用いて、詩人の生の声を味わい、詩の言葉の魅力そのものを伝えたい。

【教科書】

プリント

【参考書】

(春学期) 本田創造『アメリカ黒人の歴史』岩波新書
(秋学期) 授業時にリストを配布する。

文学 4単位 通年
「シュルレアリスム再訪」 田中 淳一
【文経法政商医理】

【授業科目の内容】

20世紀は前衛芸術の台頭めざましい時代でしたが、シュルレアリスムは他の前衛運動とはちがって、表現形態や技法だけでなく人間の思考・精神そのものに関する大きな問いをひらき、その答えのいくばくかを示唆しました。一個の芸術運動としての歴史が終わったあとも、その問いの射程は驚くほど遠くに及んでいます。この講座では、シュルレアリスムの核心を示すいくつかの文を読み、実際の作品に触れながら、この運動との関わりにおいて現代の文学・芸術を捉える視点を提示したいと思います。

【教科書】

アンドレ・ブルトン『ナジャ』岩波文庫(700円)
内容からして「教科書」ではありませんが、全員に読んでもらう本です。他に適宜プリントを配布します。

【参考書】

トピックに合わせて適宜紹介します。

文学(水2・水3)
「和歌文学の歴史」 4単位 通年
【文経法政商医理】 寺澤 行忠

【授業科目の内容】

和歌は、万葉の時代から現代に至るまで、長い年月にわたり、歌いつがれ、よみつがれてきた。その和歌文学の歴史を、主要な作品あるいは歌人に焦点を合わせながら辿る。近世までを範囲とし、歌謡や俳諧などにも言及する。

できるだけ多くの例歌をとりあげ、文学史の理解を深めたい。また、理解に便ならしめるため、各回プリントを配布する。

【教科書】

『日本詩歌選』新典社

文学(金2・金3)
「百人一首をよむ」 4単位 通年
【文経法政商医理】 寺澤 行忠

【授業科目の内容】

かつては、正月になると、どの家庭でも『百人一首』を楽しみ、多くの人が、百首の歌を誦じていたものである。長い年月にわたり、国民に広く愛され、日本人の教養の基盤を形成してきた。だから、『百人一首』は、日本人が必ず知っておかなければならない、最も重要な古典の一つなのである。

この『百人一首』は、藤原定家が、王朝和歌の精髓を集めたものである。これを一首ずつよみ解いていく中で、王朝歌人たちの詩と真実を考えていきたい。

歌は変体仮名によってよんでみることにしよう。変体仮名は、少し練習すれば読めるようになるから心配はいらない。開講時に参考文献のリストを配布する。

【教科書】

『百人一首』笠間書院、『字典かな』笠間書院

文学
「ギリシア文学」(春学期)
「ロシアとウクライナ文学」(秋学期) 4単位 通年
【文経法政商医理】 (春学期担当) 西村 太良
(秋学期担当) ナコルチェフスキー, アンドリイ

【授業科目の内容】

春学期

古代ギリシア文学入門。紀元前5世紀に上演された悲劇「アンティゴネー」(ソポクレス作)を読むことを通じて古代ギリシアにおける文学のあり方、悲劇という

ジャンルの特質などを検討し、この劇が今日のわれわれにつきつける様々な問題、例えば国家と個人、神々と人間、男性と女性、生と死などについて考えてみたい。

秋学期

ロシアとウクライナの19 - 20世紀の文学作品を通じてその国々の歴史と文化の基本的な知識を身につけることが本講義の目標です。

【教科書】

春 / 秋学期 特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

春学期 授業中に紹介します。

秋学期 特に指定しません。

文学

「物語・自己・歴史」

4単位 通年

【文経法政商医理】

武藤 浩史

【授業科目の内容】

人は言葉を発するとそれは大抵物語を作り上げます。「今日は雨が降っていやな日だった」も「今日は雨にぬれたけれどもかえって気持ちよかった」もすでに1つの物語です。人はそうして大量の物語を作り、又、大量の物語を外から受容しながら自己との関係、他者との関係を作り、物語の中に自己・社会・歴史を屈折させながら反映してゆきます。つまり、皆さんは知らず知らずの内にたくさんの物語の中で生きながら自己像や社会・歴史像を作っているのです。

そこで、皆さんが否応なくその中で生きている物語とは何か、みなさんが無意識の内にどのような物語を作った中で生きているのか、その中で生きることによってどのような自己、社会、歴史像が生まれるのか、物語ることによって混沌の中からどのような秩序が生まれ、又、どのような秩序が破壊されるのか、そして物語れないこととは何かなどについて、さまざまな芸術作品にふれながら考えてゆきたいと思います。

【教科書】

岡崎京子『リバーズ・エッジ』、ミヒヤエル・エンデ『モモ』

文学

「近代作家の原稿を読む」

4単位 通年

【文経法政商医理】

宗像 和重

【授業科目の内容】

いま、格闘技がブームになっているけれども、文学は（書き手にとっても読み手にとっても）いわば言葉との格闘技である。とくに近代の作家たちは、原稿用紙の四角い枠目と格闘しながら、それぞれの言葉を紡ぎだしてきた。たとえば夏目漱石や太宰治は、どんな用紙や筆記具を使って、どんな筆跡で彼らの「作品」を書いていたのだろうか。作家の原稿は、ただ物珍しいだけではなく、執筆や推敲の過程を教えてくれる貴重な資料でもある。この授業では、実際の原稿（の複製やコピー）に触れる

ことで、従来とは異なった角度から、近代文学やものを書くことの意味について考えてみたい。

【教科書】

講義資料プリントを配布する。

【参考書】

教室でその都度紹介する。

文学

「東西の詩」

4単位 通年

【文経法政商医理】

森 英樹

【授業科目の内容】

詩はその時代や文化の具体的な反映であり、また批判でもあります。詩は感情の表現であるとともに深い思想をふくんでおり、個人の心の内面的衛生法でもあります。そうした観点から、ギリシャやインド、アラビアやペルシャの詩、中国の漢詩や日本の和歌・俳句・近代詩、またフランスを主とするヨーロッパの詩を、テーマに沿って紹介します。多くの詩を“感じる”ことによって広がる認識の世界を探求してください。

【教科書】

森英樹訳・編『東西の詩・アンソロジー編』

【参考書】

森南仙『南柯の四季』、森英樹著『パルナッシアン詩句抄』

文学

「ゲーテ時代の小説と読者」

4単位 通年

【文経法政商医理】

山本 賀代

【授業科目の内容】

18世紀後半から19世紀前半のいわゆるゲーテ時代におけるドイツ小説史の流れと、フランス革命に対してドイツの「読書革命」とまでいわれる近代的読書の成立事情との関係を考察します。文学と言えはすぐに小説が連想され、そして読書離れに対する警鐘が後を絶たない現代とは異なり、「小説を読むことは有害なこと」という見方がまだ根強かった当時のドイツ社会・文化事情を、ゲーテの小説などを手がかりに検証します。

【教科書】

授業内でプリントを配布。

【参考書】

授業内で指示。

文学

「20世紀イギリス劇作への入門」

4単位 通年

【文経法政商医理】

レイサイド、ジェームズ (James Raeside)

【授業科目の内容】

20世紀ではイギリス文学のジャンルのなかで一番繁栄したのは恐らく演劇だと思われます。特に戦後のイギリス人の劇作家の活躍が目撃されました。そのためにロンドンの劇場街が世界的に有名になりました。

シェークスピア以外にイギリス演劇についてもっと知りたい学生の為に現代イギリスの舞台を紹介するつもりです。できるだけビデオなどを沢山利用して、言葉上の説明だけではなく、実際の出演、演出仕方も見せる予定です。

春学期では、20世紀初期から50年代までの作品と作者について話します。主にはショー（Shaw）、カウアード（Coward）、オズボーン（Osborne）、ベケット（Beckett）。

秋学期になると60年代から90年代までの若い世代の劇作家を取り上げます。ピンター（Pinter）、ストップパード（Stoppard）エイクボーン（Ayckbourn）、シェイファー（Shaffer）、ヘア（Hare）など。

【教科書】

なし。

【参考書】

学年が始まる前にイブセン（Henrik Johan Ibsen）の作品をせめて一遍を読んでおくことが望ましい。

文学

「書物と文化」

4単位 通年

【文経法政商医理】

川上新一郎

【授業科目の内容】

書物は文化を伝える有力な手段である。本講義では書物が文化の成立や伝播にどのように関わっているかを考える。担当者の専攻は国文学（古典和歌）・書誌学であるので、その領域を中心とするが、必ずしもそれにこだわらず話を進める。

文化人類学

「異文化理解の歴史と方法」

2単位 秋学期

【経商医理】

坂本 邦彦

【授業科目の内容】

人類が地球上に誕生してから今日までの間、さまざまな民族によって多種多様な文化がつくられてきた。現在、世界には6000をこえる言語があるといわれる。これは、また、それだけの異なった民族によって世界が構成されているということにほかならない。人間は、自ら生まれ育った文化の中だけで世界を完結させてきたわけではない。異なった文化に触れ、人類が積み重ねてきた知の多様性をさまざまな形で理解しようとしてきたのである。

本講では、これまで文化人類学が研究対象としてきたさまざまな社会に関する民族誌をもとに、文化のコンテクストにそって異文化を理解するとはどういうことかを考えていく。アフリカに関するデータを中心に、アジア、オセアニアなどからの研究データも取り込んでいく予定である。

【教科書】

使用せず。

【参考書】

随時紹介する。

文化人類学

「物質文化からみた近代」

4単位 通年

【文経医】

桜井 準也

【授業科目の内容】

本年度も様々な学問分野において重要なテーマである近代化の問題をとりあげる。本授業ではまず春学期で近代化をめぐる様々な思想や視点について概観する。秋学期では近代の生活財に焦点をあてながら、近代化に伴う生活変化の実態がいかなるものであったか、モノに付加された意味をいかに読み取るかといった問題を具体的な生活財資料や映像資料などを用いて解説する。このような研究分野は文化人類学においては物質文化研究として位置づけられるが、モノという媒体を通じて近代がいかなる時代であったかを考えてもらうことが本授業のねらいである。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

必要に応じて指示する。適宜プリントを配布する。

文化人類学

「異文化理解の歴史と方法」

2単位 春学期

【政】

坂本 邦彦

【授業科目の内容】

人類が地球上に誕生してから今日までの間、さまざまな民族によって多種多様な文化がつくられてきた。現在、世界には6000をこえる言語があるといわれる。これは、また、それだけの異なった民族によって世界が構成されているということにほかならない。人間は、自ら生まれ育った文化の中だけで世界を完結させてきたわけではない。異なった文化に触れ、人類が積み重ねてきた知の多様性をさまざまな形で理解しようとしてきたのである。

本講では、これまで文化人類学が研究対象としてきたさまざまな社会に関する民族誌をもとに、文化のコンテクストにそって異文化を理解するとはどういうことかを考えていく。アフリカに関するデータを中心に、アジア、オセアニアなどからの研究データも取り込んでいく予定である。

【教科書】

使用せず。

【参考書】

随時紹介する。

文化人類学

「伝統と現在」

2単位 秋学期

【政】

坂本 邦彦

【授業科目の内容】

文化人類学 に続き、文化を相対的に見るとはどういうことかについて、さまざまな事例をもとに考えていく。また、文化人類学が現代社会の多様な動向を読み解く

えでどのような視点を提供できるかも考えていきたい。

【教科書】

使用せず。

【参考書】

随時紹介する。

文明学説史

「由来学と福沢学」

4単位 通年

【経商】

松村 宏

【授業科目の内容】

戦国末に日本文明は頂点に達し、各独立職業人の業績が成立した。絵画、茶、軍学、剣術、易学活用など、とくに上級武士道に結集して近世近代の新方法原理を創出した。上泉信綱やのちの家康参謀将校群を原形とする由来学そして「文明論之概略」まで学習研究すること、これがこの講義演習の目的である。彼らの業績と文章は弟子と後人によって理解しがたいもので、これをテキストの新規校訂、草稿と写本の段階判定などを行いつつ、テキストの正確な復元した訓読を重ねて理解をすすめる。古典古代から近現代までの各言語に応じるが、学生の実力以上の要求はしない。講義方法は自ら体得する知力を減衰させるので、別にわざの練習による実力養成の方式につとめる。(本講を発展させた「日本文明学説史」は、三田で土曜日に開講している。)

【教科書】

『文明論之概略』岩波文庫、吉川幸次郎『論語』(上、下)朝日新聞社、ウェーバー『職業としての学問』岩波文庫、プリント資料配布

【参考書】

丸山真男『文明論之概略を読む』(上、中、下)岩波新書、日本思想体系『荻生由来』岩波書店

法学(憲法を含む)

「法の主要分野の基本的問題の検討」

4単位 通年

【文経/法商医理】

石渡 哲

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法は、国家と個人、国家相互、個人相互などの関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方を考察することである。本講義では、この考察を憲法、民法、刑法といった主要な法分野の基礎的問題を素材として行う。

【教科書】

石渡哲・大下すみ著『実定法の基礎(第2版)』成文堂、六法(出版社は問わない)

【参考書】

井上薫著『法廷傍聴へ行こう』法学書院
その他、講義の中で適宜紹介する。

法学(憲法を含む)

「法および法律についての基礎知識」

4単位 通年

【文経/法商医理】

河村 好彦

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。たしかに現代のように社会が複雑になってくると、それを規律する法もまた複雑なものにならざるを得ないから、できれば避けて通りたいと感じるのも無理はないであろう。

しかし、社会において生活していくためには、人は好むと好まざるとにかかわらず、法とつきあっていかなければならない。たとえば電車に乗る行為も、パンを買う行為も、下宿を借りる行為もすべて法的側面をもつことから、法から逃げることはできないのである。とすれば、われわれは法的問題に対処するために、むしろ法に立ち向かい、法についての正確な知識、認識をもたなければならぬ。

また、そもそも法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、どのような法があり、それらがどのようにわれわれの生活に影響しているかを知ることにより、よりいっそう豊かな生活をおくることができる。

本講義は、このような視点から法についての基礎理論を説明したうえで、憲法および民法を中心として、具体例などを挙げて、市民として、また国民として知っておかなければならないと考えられる基本的事項について解説を加えることを目的とする。

【教科書】

石川明編著『法学入門30講』酒井書店

法学(憲法を含む)

【文経/法商医理】

4単位 通年

河原田有一

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

最新の判例、事例を通じて日本国憲法を考察し、同時にアメリカ合衆国憲法との比較を通じて、その相違点についても解説していきたい。また、授業期間中におきうる様々な判例、事例を新聞記事を資料として使用することで、いかに法が日常生活の中で根づいているかを実証していきたい。

【教科書】

石川明編『みづかな法学入門』木磨書房(2500円)

【参考書】

講義資料プリントを配布します。

法学(憲法を含む)

【文経/法商医理】

4単位 通年

藤田 祥子

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義は、これから法律学を学ぼうと考えている学生に対し、法律学の基礎知識の獲得を目的とすると共に、人間と法律とのかかわりを考える場としたい。

【参考書】

倉沢康一郎『プレップ法と法学』仏文堂

法学（憲法を含む）

「法学の基礎および日本国憲法」 4単位 通年

【文経法商医理】 本田 耕一

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法学の基礎及び日本国憲法について講義する。まず、法学の基礎として、諸種の社会規範との関係における法の特徴、近代法の成立とその性格、成分法（憲法・法律・命令・規則・地方自治法規・条約）及び不文法（慣習法・判例法・条理）とその効力、法の実用的ないし理論的な分類、法の解釈等を取扱う。また、日本国憲法に関して、これにより保障される基本的人権や、統治機構、地方自治、平和主義と国際関係等を取扱う。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

必要に応じて講義の際に指示します。

法学（憲法を含む）

「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの見方」 4単位 通年

【文経法商医理】 山田美枝子

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常生活を送るなかで、意識するとなしにかかわらず、また好むと好まざるにかかわらず、法律関係に立ち入ってしまっています。大学入学、学生生活、就職、婚姻、育児、老後、死亡に至るまで、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。「法学」は、より良い社会を築くために、また、各人が幸せな一生を送るために、不可欠の学問であると言えます。

本講義の目標は、人生の各場面において身近に起きている出来事を取り上げて、法律を実践的に学び、法的なものの見方を身につけることです。

【教科書】

最初の授業で指示。

【参考書】

『新六法』（2004年版）三省堂

法学（憲法を含む）

4単位 通年

【文経法商医理】 頼松 瑞生

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

春学期

法にはどのような種類のものがあるのかということ概要的にみたと、社会において法がどのようにして成立するのかという問題を中心に説明します。

秋学期

憲法を中心にして、基本的に重要とされる法の内容を学びます。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

法学（憲法を含む）

「法の基本と現代的課題」 4単位 通年

【文経法商医理】 渡辺 真男

*法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

1. 司法制度論

a) 裁判所の種類と「三審制」 b) 刑事裁判と民事裁判 c) 事実審と法律審 d) 法曹三者（裁判官・検察官・弁護士） e) わが国の裁判制度の問題点 司法改革の動向

2. 日本国憲法

a) 基本原理 b) 平和主義と自衛隊をめぐる諸問題 c) 男女の平等と男女雇用機会均等法（就職差別・セクハラ） d) 「一票の格差」と定数は正訴訟 e) オウム真理教に対する解散命令と信教の自由 f) 家永教科書訴訟と学問の自由 g) 統治機構（国会・内閣・裁判所） h) 日本国憲法の特異性（制定過程上、構成上、日本人の憲法観）

3. 民法

a) 民法の基本原理 b) 法律行為と《契約》 c) 不法行為と損害賠償・慰謝料 d) 家族法と結婚・離婚をめぐる諸問題 非嫡出子の財産相続・違憲訴訟

4. 刑法

a) 刑法の基本原則と罪刑法定主義 b) 犯罪論 構成要件・違法・責任 c) 刑罰論 刑罰の意識・目的とその種類 d) 死刑存廃論

5. 現代における法の使命と残された課題

a) 自衛隊の海外派兵の是非と国連の安全保障委員会常任理事国入り b) 相次ぐ金融不祥事と預金者の法的保護・当事者の法的責任の追求 c) 東海大学付属病院安楽死事件 安楽死の是非と、殺人罪・囑託殺人罪の成否 d) 大阪千里救命救急センター&九州大学付属病院脳死肝移植事件 死の判定基準（脳死・心臓停止・呼吸停止）と医師の説明義務（インフォームド・コンセント）等 e) 政治犯罪・政治汚職 続発する「贈収賄事件」

の構造とその背景 f) ハロウィン殺人事件 正当防衛と誤想防衛、拳銃の規則

【教科書】

石川明編『みづかな法学入門』(信山社)不磨書房

【参考書】

小型の六法...たとえば『コンパクト六法』岩波書店など。

ラテンアメリカ研究

「ラテンアメリカにおける革命・反乱・抵抗」 4単位 通年

【経商医】

工藤多香子(コーディネーター)
清水 透 石井 康史
八嶋由香利 山本 純一
横山和加子 安井 伸

【授業科目の内容】

オムニバス形式で進められるこの授業では、学内のラテンアメリカ研究者が一堂に会して、それぞれがもっとも得意とする専門領域から「ラテンアメリカ」という地域にアプローチして講義します。今年度は、歴史的に知られた革命・反乱ばかりではなく、日常的に実践される抵抗表現にも焦点をあてながら、ラテンアメリカ諸地域の歴史的・社会的特性を考えていきます。

【参考書】

授業で適宜紹介します。

倫理学

4単位 通年

【文経法政商医理】

大久保正健

【授業科目の内容】

最初に「倫理とは何か」ということを説明し、その上で「徳」、「正義」、「価値」、等の倫理のトピックを取り上げ、思想史をふまえて、基本的議論を紹介していく。適宜、哲学の古典を引証するが、「医療倫理」や「環境思想」については、現代の議論にも言及する。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中に紹介する。

倫理学

「西洋倫理学の歴史」

4単位 通年

【文経法政商医理】

柘植 尚則

【授業科目の内容】

倫理学は哲学の一部門であり、倫理(道徳)について、つまり善・悪、正・不正、徳・悪徳などについて哲学的に考察するものである。この講義では、西洋倫理学の歴史によりながら、倫理学における様々な立場や思想を理解し、現実の倫理問題を考察するための基礎を習得することを目標とする。具体的には、下記の教科書に沿って以下の内容で講義を行なう。

【教科書】

リチャード・ノーマン著『道徳の哲学者たち 倫理学

入門(第二版)』ナカニシヤ出版(2001年 3800円)

【参考書】

講義の中で紹介する。

倫理学

「国際倫理の検討」

4単位 通年

【文経法政商医理】

中川 雅博

【授業科目の内容】

倫理学は人々や社会や国家の行動規範を検討する学問です。とりわけ、昨今、国際問題で倫理、価値観、多元主義という言葉がマスターキーのように出現します。しかし、そうした言葉が氾濫すればするほど、その意味内容はますます空虚なものになってきました。こうした状況をみすえて、現実の現象と対話の中で、人々や社会や国家は、どのような行動規範に従って行動しているのかを考察することで、私の専門とする国際倫理学をとともに考えていきます。

【教科書】

購入の必要はありませんが、Mark R. Amstutz『International Ethics: Concepts, Theories, and Cases in Global Politics』(ISBN-0847691535)他を予定していません(ただし変更の可能性もあります)。

【参考書】

必要な時に適宜、授業中およびHPにて指示します。

倫理学

「道徳の根本問題～もう一つの倫理の可能性」

4単位 通年

【文経法政商医理】

二見 千尋

【授業科目の内容】

社会性に囚われた我々にとって、社会(共同体・国家)の構築や保持、対他関係の維持や円滑化を目的とする道徳の役割は看過出来ないものと言えましょう。しかし、自己を含めた全体の利害調整を行うことのみが、道徳に求められる役割なののでしょうか? 道徳には、全体性から離れたもう一つの別の顔が、即ち「私だけの道徳」といったものが在るのではないか? 本講義の主眼は、従来の倫理学理論を批判・検討することで、道徳に潜むもう一つの可能的在り方を探ることにあります。本講義が受講者各々の自らの道徳を探究する道標になればと思っています。

【教科書】

永井均著『倫理とは何か』産業図書(2003年 2200円本体)

【参考書】

講義中に指示します。

倫理学

「倫理学入門～科学技術と倫理」

4単位 通年

【文経法政商医理】

山本 剛史

【授業科目の内容】

前期は倫理学史の講義を通して、倫理学の基本となる用語、方法論の初歩を習得することを目標とする。

後期は、応用倫理学の中から環境倫理と工学倫理を概説し、そこで論じられている問題をさらに原理的に探求するためのキーワードとして「責任」をとりあげ、倫理学理論の新しい展開を考えてみる。

【教科書】

プリント配布。

【参考書】

講義の中で紹介してゆく。

倫理学

「倫理学入門講義」

4単位 通年

【文経法政商医理】

吉田 量彦

【授業科目の内容】

倫理的問題をうまく整理して考えるための 最低限の予備知識と 取り組み方のコツ、この2つを身につけていただくのがこの授業の目的です。倫理的問題は結局「どうすべきか」「どう生きるべきか」という自分自身への問いかけに発するものなので、誰もがいつも、既に、何らかの形で抱えているものです。従って、哲学科への進学を考えている文学部生だけでなく、あらゆる学部、あらゆる専攻の学生を視野に入れた幅広い入門講義を行うつもりです。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

必要に応じて講義中に指示します。

歴史

「中国の明清王朝と民衆社会」

4単位 通年

【文経法政商医理】

浅井 紀

【授業科目の内容】

中国の明清時代（1368～1912）における王朝支配体制と、民衆社会との関係を論ずる。明王朝と清王朝は皇帝を頂点とする中央集権統一国家を形成した。地方政治においても伝統的な州県制のもとで、民衆を里甲制や保甲制によって組織し支配した。一方、明清時代は、民衆社会が顕著に発展した時代でもあった。ことに明代には民間宗教が新たな発展を見せ、多くの民間宗教結社が生まれた。また清代末期には会党と呼ばれる秘密結社の発展があった。これらの民間宗教結社と秘密結社は民衆を組織する上で大きな歴史的役割をはたした。この講義は明清両王朝の支配と民衆社会との関係を、主として民間宗教結社の歴史的展開を通じて論じたい。

中国の代表的宗教は儒教・仏教・道教のいわゆる三教であるが、明清時代には三教一致の考え方が広がり、それにつれて民間宗教が特異な発展を見せた。中国の歴史を知るためには、民間宗教の歴史を知らなければならない。民間宗教は儒教・仏教・道教の教義を根底に置き、それらを組み替えて独特の教義を創り出した。民間宗教には中国人とくに民衆の世界観・宗教観・救済観がよく

表れており、これがいかなるものであるのか、王朝の政党教学たる儒教の観念との比較もまじえて、明らかにしたい。

講義では順序立てて論じ、内容に前後の脈絡があるので、受講生はできるだけ欠席しないようにして欲しい。

【参考書】

窪徳忠著『道教史』（世界宗教叢書9）山川出版社、1977年

玉城康四郎著『仏教史』（世界宗教叢書8）山川出版社、1983年

戸川芳郎等著『儒教史』（世界宗教叢書10）山川出版社、1987年

野口鐵郎著『明代白蓮教史の研究』雄山閣出版、1986年

浅井紀著『明清時代民間宗教結社の研究』研文出版、1990年

馬西沙・韓乘方著『中国民間宗教史』上海人民出版社、1992年

馬西沙著『民間宗教志』（中華文化通志9）上海人民出版社、1998年

『アジアの歴史と文化』4『中国史 - 近世』同朋舎出版、1994年

歴史

「上海と香港の20世紀史」

4単位 通年

【文経法政商医理】

岩間 一弘

【授業科目の内容】

20世紀の東アジアにおいて、上海と香港はビジネスと文化の中心地になりました。二つの巨大都市で暮らした人々の運命は、東アジアの国際情勢や中国の政治変動に大きく左右されてきたのです。

この授業では、上海や香港の人々が体験した様々な社会変化を見ていきます。また、都市間のネットワークにも目を向けて、ヒト・モノ・カネ・情報・知識がなぜ、どのように動いたのかを考えます。民族・国民論（中国人論や「日中友好」など）とは異なる地域に密着した視点から、東アジアの人々の暮らしや交流の歴史を理解したいと思います。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

姫田光義他『中国20世紀史』東京大学出版会、などがありますが、他にもテーマごとに紹介していきます。

歴史

「古代豪族論」

4単位 通年

【文経法政商医理】

加藤 謙吉

【授業科目の内容】

5世紀から7世紀に至る日本の古代国家形成期に、中央や地方の豪族、および大陸から移住して来た渡来人と呼ばれる人々は、どのような展開・変化をたどって、大和政権の支配機構の中に組み込まれていったのであろう

か。本年度の講義は、豪族たちの存在形態を探り、彼等がウジとして王権に奉仕するようになる過程を具体的に検討することにより、大和政権そのものの性格や構造を解明したい。

【教科書】

なし。

【参考書】

加藤謙吉著『大和の豪族と渡来人』吉川弘文館（2002年 1700円）

歴史

「ヨーロッパの修道制」 4単位 通年

【文経法政商医理】 神崎 忠昭

【授業科目の内容】

ヨーロッパを歩くと、どんな小さな都市であろうとも、あるいはどんな僻地であろうとも、必ずキリスト教の教会に出会います。また、かつてほどの力はないにしても、さまざまなところにキリスト教の影響を感じます。キリスト教はヨーロッパ文明の根本的な構成要素をなしているのです。本講義は、そのようなキリスト教の一つの実践である修道制を概観することを目的とし、起源から17世紀頃までのヨーロッパにおけるその展開を対象とします。

歴史

「近世・近代の日本と朝鮮の関係」 4単位 通年

【文経法政商医理】 木村 直也

【授業科目の内容】

江戸時代の日本と朝鮮との関係は、対馬藩をはじめとする関係者の努力もあって、比較的平和的・安定的な「交隣」の関係にありました。一方、近代になると日本が朝鮮に対して「征韓」を行う関係になりました。それはどのような日朝関係の転回があったからでしょうか。この授業では近世の日朝関係を確認したうえで、「交隣」から「征韓」への転回を考察し、朝鮮の植民地化を展望したいと思います。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布します。

【参考書】

授業の中で適宜紹介します。

歴史

「ヨーロッパ近代史に学ぶ」 4単位 通年

【文経法政商医理】 清水 祐司

【授業科目の内容】

この授業の第一の目的は、「歴史は暗記物」くらいに考えている人の歴史のイメージを変えることです。第二の目的は、歴史を見るとときに念頭においてもらいたいいくつかの事柄について近代ヨーロッパの歴史事例にそくして理解してもらうことです。第三の目的は、できるだけたくさん歴史関係の本を読んでもらうことです。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

「読書リスト」を渡します。講義、資料プリントを渡します。

歴史

「感染症の歴史」 4単位 通年

【文経法政商医理】 鈴木 晃仁

【授業科目の内容】

過去の人々はどのような病気にかかっていたのでしょうか？そしてどのようにして病気に対処していたのでしょうか？この授業では、人間の身体と、それをとりまく自然環境・社会環境の歴史を、ヨーロッパの事例を中心に講義します。時代的には、古代から21世紀まで触れますが、主な力点は近代以降におかれます。取り上げる病気は、らい病、ペスト、コレラ、結核、AIDSなどです。授業はウェブ上で公開する資料を中心に講義形式で進めます。政治、経済、文化、医学などのさまざまな領域にわたる総合的なアプローチで、病気を通じて過去と現代の人間のあり方を考察する授業になります。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

歴史

「長崎奉行と貿易都市長崎」 4単位 通年

【文経法政商医理】 鈴木 康子

【授業科目の内容】

遠国奉行の一つである長崎奉行の創設をその役割について考察するとともに、その後の歴史の長崎奉行による貿易都市長崎の統治・施政について述べる。また18世紀前後には、長崎奉行の特質に変化がみられるようになる。そこで、その背景にある幕府の経済政策を考えつつ、幕府勘定所と長崎との関わりを考察する。このように、本講義では、長崎奉行を中心として、近世における幕府の外交・通商の場としての長崎について考えてゆく予定である。

歴史

「アジアのなかの日本史」 4単位 通年

【文経法政商医理】 関 周一

【授業科目の内容】

未曾有のボーダレス化が進んでいる今日、日本の内側から狭くみるのではなく、外の世界との関わりの中で広い視野から理解していく必要性が、ますます高まってきている。本講義は、日本の中世（9～16世紀）を対象に、海域史・比較史の視点を取り入れながら考察を進める。具体的な史料・資料を検討することで、歴史研究の方法や、歴史的思考について理解することを目標とする。

【教科書】

村井章介著『中世日本の内と外』筑摩書房（1999年1200円）

【参考書】

荒野泰典他編『アジアのなかの日本史』（全6巻）東京大学出版会（1992～93年）、『日本の中世』（全12巻）中央公論新社（2002～03年）

歴史

「フランス歴代の国王とその権力の特質」 4単位 通年
【文経法政商医理】 高橋 暁生

【授業科目の内容】

中世盛期から1789年の革命までのフランス歴代の国王を中心に検討することによって、フランス史の基礎知識を身につけると同時に、フランスの宮廷社会、国王権力のあり方などについて学びます。

【教科書】

特に指定しません。講義のためのプリントを配布します。

【参考書】

講義内容にあわせて、その都度参考書等を紹介しします。フランスの通史としては福井憲彦編『フランス史』（新版 世界各国史12）山川出版社（2001年）。

歴史

「都市と農村の社会史 江戸町触の世界から」 4単位 通年
【文経法政商医理】 戸沢 行夫

【授業科目の内容】

高校までの暗記を中心にした「年表の歴史学」から脱皮して、史料に基づく歴史学を学ぶ。「史料をして語らしめよ」を基本にすえて、史料批判、史料の読み方などの史料論を講義。具体的な素材には江戸町触などを利用して都市生活史の断面から話すことになる。本講義では実証研究の大切さ、客観的事実の把握などを学びとってもらいたい。

【教科書】

講義プリントと史料を配布する。

【参考書】

『日本の近世』中央公論社、『江戸町触集成』塙書房、中井信彦著『歴史学的方法の基準』塙書房、その他授業で紹介する。

歴史

「ペルシャ文化史論」 4単位 通年
【文経法政商医理】 中村 公則

【授業科目の内容】

イスラーム期イランの政治的変遷を大まかに述べながら、ペルシャ文化の特質を一つ一つ解き明かしていきたい。思わぬ新発見もあるであろう。カセットテープを鑑賞したりスライドを観たり、映画を見て貰った際には必ず感想文を提出して貰い、総合成績に加味すべく評価す

る。前期は夏休みに何かペルシャ文学のうちから一作品読んで貰うこととする。後期は定期試験を行う。

【教科書】

本田實信著『イスラム世界の発展』講談社

【参考書】

カイ・カーウース著『カーブスの書』平凡社

歴史（火3）

「十九世紀フランス・バレエの歴史」 4単位 通年
【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、演劇、文学、音楽、絵画など、様々なジャンルの芸術を視野に入れて論じる。個別のバレエ作品として特に詳細に扱うのは、『ラ・シルフィード』、『ジゼル』、『海賊』、『 Coppélia』である。

【教科書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應大学出版会（2000年）

歴史（火4・5）

「バレエの歴史」 4単位 通年
【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエの起源から現代バレエまでを講じる。

バレエの基礎知識、古代・中世の舞踏、宮廷バレエ、バレエ・ロマンティック、ロシアにおけるバレエ、チャイコフスキー、現代バレエが、主要なテーマである。

【教科書】

平林正司著『胡桃割り人形論』三嶺書房（1998年）

【参考書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應大学出版界（2000年）

歴史

「日本古代史」 4単位 通年
【文経法政商医理】 藤村 東男

【授業科目の内容】

わが国の古代史は、古事記、日本書紀などの国内文献史料、魏志倭人伝などの国外の文献史料、七支刀、広開土王碑などの金石資料、遺跡、遺物などの考古学資料を組み合わせ成り立っている。このうち、との資料は新発見が続き、定説の訂正が行われている。授業は毎時間ごとにテーマを設けて、最新の研究成果の紹介を行いたい。

【教科書】

毎時間ごとに、プリントを配布する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

歴史（金2）

「近代ヨーロッパの旅」

4単位 通年

【文経法政商医理】

宮崎 洋

【授業科目の内容】

人の行う旅はさまざまな文化と制度的システムを創造してきた。本講義ではどのような目的の旅があるのか、種類別に旅を知り、旅を可能にしたさまざまな条件と環境を検討し、旅のもつ意義を多角的に理解できるようにします。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業で紹介する。

歴史（金4・5）

「フランス革命史」

4単位 通年

【文経法政商医理】

宮崎 洋

【授業科目の内容】

近世ヨーロッパにおけるフランス革命の重要性は今さら言うまでもなく、多くの普遍的な人類へ貢献する成果をもたらしたのであった。本講義では、1789年から1799年まで足かけ11年の革命史を詳説したい。多くの学生諸君は1つのテーマについて1年かけて全体像を構築する気の長い作業を覚悟してもらいたい。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業で紹介する。

歴史（月4）

「イスラームとイスラーム世界の歴史」

4単位 通年

【文経法政商医理】

湯川 武

【授業科目の内容】

西暦7世紀にアラビア半島の一隅に誕生した「イスラーム」という宗教は、それを採用したアラブの政治的拡大とともに、中東から北アフリカ、さらに中央アジア、南アジア、東南アジア、アフリカへと広がり、現在では、地理的に世界の広い部分に分布する約15億人に近い信徒人口をもつようになっている。イスラームとイスラーム世界の存在は、あらゆる意味で、わたしたち日本人にとっても、世界全体にとってもきわめて重要である。本講義は、そのイスラームとイスラーム世界についての理解を深めることを、歴史的な概観を通じて目指すものである。

【教科書】

教科書は特に指定しない。

【参考書】

授業で参考文献リストを配布する。

歴史（金3）

「アラブの歴史」

4単位 通年

【文経法政商医理】

湯川 武

【授業科目の内容】

1991年の湾岸戦争、混迷の度をますます深めるパレスチナ問題、数々の「テロ」問題、2003年春の「イラク」戦争とそれに続くイラクと国際社会の混乱。どれをとっても現代の世界にとって、重要かつ困難な問題です。日本は従来、アラブ世界を重要なエネルギー源としての石油の供給地としてしか見てこなかったが、日本を含めて世界にとって、それをはるかに超える重要性和意味を、この地域が持っていることは明らかです。それにもかかわらず、アラブ世界について、日本ではまだまだ理解が不足していることは、たびたび指摘されるとおりです。

そもそも、「アラブ」とはどのような人々なのか。現在はいくつもの国に分かれて、それぞれの固有の状況の下に生きているが、それら別々の国の人々が、「アラブ」という共通の意識を持っているのはどうしてなのだろうか。そのことは、現在および将来の世界に、どのような意味を持つのだろうか。このようなことについては、私たちはあまり深く考えてきませんでした。

本授業の目的は、そのようなアラブ地域とそこに住む人々（アラブ人）の現代に至るまでの歴史を広く深く見ることにある。政治・経済・社会の現状分析とは異なる観点からの理解を深めることにより、アラブ世界に対する理解はいつそう高まることでしょう。

通年授業であるが、春学期は19世紀までの前近代を、秋学期は19世紀以降の近現代を扱う。

春学期の主要なテーマは、西暦7世紀のイスラームの勃興から「アラブ」世界が拡大し、アラビア語人口が増大し、広い地域に「アラブ」が居住するようになり、地域の独自性とイスラームとアラビア語を基調とする文明を共有するようになっていく過程を見ていきます。

秋学期は、18世紀末以来の「西洋の衝撃」により、そして内部的な変化の過程により、現代に至るまで各地域がどのように変化発展してきたか、また地域および国ごとの個別の変化発展と並行する形で、あるまとまりをもった「アラブ」という意識はどのように維持され変化してきたのかということを見ていきます。

【教科書】

特に指定する教科書はありません。

【参考書】

次の2書は参考著として薦めます。

佐藤次高編『西アジア（アラブ）』（世界各国史）山川出版社（2001年）、A. ホーラーニー（湯川監訳）『アラブの人々の歴史』第三書館（2003年）

論理学

4単位 通年

【文経法政商医理】

飯田 隆

【授業科目の内容】

論理学はもともと哲学と密接な関係にある学問です

が、現代の論理学は数学の基礎にかかわる問題をきっかけに生れ、現在では計算機科学の重要な部分でもありません。

論理学を学ぶことは、ひとつの言語を学ぶことと似ています。この授業の目標は、さまざまなことを論理学のことばで表現できるようになること、そして、論理学のことばを用いて推論ができるようになることです。

【教科書】

リチャード・ジェフリー『形式論理学』産業図書

論理学

「論理的推論の理解とその応用」 4単位 通年

【文経法政商医理】 (春学期)岡田 光弘
(秋学期)長谷部浩二

【授業科目の内容】

命題論理及び述語論理の論証理論(証明論)及び意味論を中心に、現代論理学の基本的な考え方を学習していく。又、論理学の種々の分野への応用(例えば、情報科学や言語学や言語分析哲学等への応用)についても具体例を用いながら解説を加えたい。

【教科書】

プリント(小冊子)を実費で日吉コピーセンターより購入して下さい。

【参考書】

必要に応じて授業中に指示します。

論理学

「われわれはいかに論理的でありうるか?」4単位 通年

【文経法政商医理】 串田 裕彦

【授業科目の内容】

古典命題論理及び古典術後論理の意味論と構文論(証明論)を学習することを通して、現代論理学の基礎を学びます。そして、直観主義論理や様相論理などの非-古典論理を取りあげ、その意義を考察します。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

使用しません。

論理学

「形式論理学入門」 4単位 通年

【文経法政商医理】 佐々木昭則

【授業科目の内容】

推論は思考活動の中で最も基本的なものである。推論には、演繹と帰納の二つがあるが、本講義では主に前者を扱う。形式論理学は演繹的推論を形式的・数学的に扱う学問である。本講義では、形式論理学の基礎を勉強していく。真理値分析、自然演繹等の技術を演習問題を解くことによって習得してもらう。形式論理学の形式的な考え方・手法を理解することが本講義の主要目的である。

【教科書】

特に指定せずプリントを配布。

【参考書】

教場で適宜指示。

論理学

「推論の科学」 4単位 通年

【文経法政商医理】 星野 慎吾

【授業科目の内容】

論理学は「推論の構造」を研究の対象にします。推論するという知的行為は、人間のさまざまな行為のうちで最も基本的なもののうちの一つです。証明する、論証する、議論する、理論(学問)を構成する等の知的行為は、すべて正しい推論を用いることで行われます。したがって、論理学は諸学問を形成するのに必要不可欠なものになり、また道具になるともいえます。

以上のような性格をもつ論理学を初心者を対象にして講義します。

【教科書】

大出・高野著『論理学』慶大出版会

論理学

「記号論理学入門」 4単位 通年

【文経法政商医理】 弓削 隆一

【授業科目の内容】

現代の論理学では、論理式の意味や推論の妥当性の基準が厳密に定義された人工言語の体系を構成することを通じて、論理を捉えようとする。この講義では、こうした論理学の人工言語の代表的なものである命題論理、述語論理について解説する。双方について、標準的な意味論と、自然演繹の証明を取り扱う。

【教科書】

講義資料プリントを作成する。

【参考書】

授業時に適宜指示する。

論理学序論

「思考形式の科学」 2単位 春学期

【経商医理】 星野 慎吾

【授業科目の内容】

論理学の研究課題は「推論の構造」の解明である。日常生活の分野での推論の展開から始まって、学問領域における論理的思考までが、どのような考え方と方法で論理学として統一的に形成されているかについて概説する。

【教科書】

なし。

【参考書】

大出晁著『論理の探求』慶大出版社

論理学本論

「思考形式の科学」

2単位 秋学期

【経商医理】星野 慎吾

【授業科目の内容】

現代論理学の方法と考え方に基づいて考察し、思考の形式である「推論の構造」がどのような性質を持ち、その特徴がいかなるものとして明らかにされているかについて概説する。

【教科書】

なし。

【参考書】

大出・高野共著『論理学』慶大出版会

少人数セミナー形式授業科目

ここからは、各学部で設置されている少人数セミナー形式の授業科目について紹介します。各学部で開講されている少人数の特色ある科目を、できるだけ多くの学生に共有してもらいたいという願いから、2003年度から、相互に、他学部の学生に授業を開放しています。他学部に開放された授業では、所属学部の学生の履修が優先された上で、履修人数に余裕のある限り、他学部の学生が履修することができます。

他学部の少人数セミナーを履修した場合、下記科目の単位となります。

文学部 : 総合教育科目の系列外科目
経済学部 : 総合教育科目(系)
法学部 : 自主選択科目
商学部 : 総合教育科目(・類)
医学部 : 自由科目
理工学部 : 自由科目

時間割には科目設置学部が開講する少人数セミナー科目のみが掲載されています。

【文学部設置の少人数セミナー形式科目】
総合教育セミナー （各2単位）

主として、文学部1年生を対象に開講する少人数、セミナー型講義科目です。担当するのは、文学部の日吉所属教員で、三田所属教員が開講している「特論」とよく似た形態です。いわゆる教員が壇上で講義をしていく形態の総合教育科目とは違って、各教員が専門とする研究に沿って討論、対話、輪講などの形式で進められます。内容・講義形式等については、各担当教員が自由に設定しますので、必ず第1回目の授業に出席して、内容等を確認してください。なお、秋学期開講科目については、ガイダンスを行う科目のみ文学部掲示板でお知らせいたします。

科目名は、ゴシック（太字）部分です。（ ）カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考（証明書などに記載されない科目名）です。

総合教育セミナー （科学の発展を振り返って）
 「20世紀の科学の発見」 2単位 春学期
【文】 大場 茂

【授業科目の内容】

科学はどのようにして発展してきたのだろうか。世界の常識を覆すような発見や発明が、どのようになされたのであろうか。近代の科学の発展を振り返り、その時代背景や基礎的な科学の概念を学ぶ。

【教科書】

毎回プリントを配布します。

総合教育セミナー （人類学）
 「動物園・水族館で進化を学ぶ」 2単位 春学期
【文】 高山 博

【授業科目の内容】

現在、生きている動物を観察することで、人類の進化についての基礎知識を学ぶ機会としたい。今年度は、特に爬虫類以降の動物に注目して観察していきます。

講義時間外に、動物園・水族館等へでかけますので、休業日（日・祝）も講義の一環となります。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜指示します。

総合教育セミナー （英米文学）
 「Critifiction」 2単位 春学期
【文】 吉田 恭子

【授業科目の内容】

この授業では、文学作品への批評的応答として、感想・評論の執筆ではなく、新たな作品の創作を試みる。

全体では、短編小説や、詩、創作的批評の実例を英語で読み進めつつ、参加者は各自の興味に従って読書を進め、英語、日本語の両方で、作品を執筆する。作品は合同批評の対象となる。

【教科書】

J.M. Coetzee 『Letter of Elizabeth, Lady Chandos, To Francis Bacon』など、プリント配布

総合教育セミナー （細胞行動データベースの作製）
 「細胞行動・高次生命現象・そして人間社会」

2単位 秋学期

【文】

金子 洋之

【授業科目の内容】

文系の学生諸君にとって、細胞行動、高次生命という言葉からどういった状況が思い浮かべられるだろうか？生物の構成単位である細胞が擬人化され、何らかの振る舞いを行い、ダイナミックな細胞社会が構築され、その結果が高次生命現象として捉えられるのでは？との答えで十分正解である。多細胞生物の身体で生じる多彩な細胞行動が、ダイナミックな細胞社会を存在させていることは事実である。これらの知見を体系化できれば、人間行動と人間社会を新たな視点から考察できないだろうか？本講義では、理系と文系の学際領域の開拓を目指し、生命科学が明らかにしてきた多くの知見を平易に解説しつつ、細胞行動の情報収集を試行しつつ、高次生命現象理解のための細胞行動データベースを作成する。

【教科書】

指定しない。教材は教員が準備する。

【参考書】

指定しない。推薦図書を講義中に知らせる。

総合教育セミナー （スペイン・ラテンアメリカ）
 「スペイン・ラテンアメリカ文化概論」 2単位 秋学期
【文】 坂田 幸子 禪野 美帆

【授業科目の内容】

スペインならびにラテンアメリカの国々の社会・文化・歴史について概観し、基礎的な知識を習得します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中に指示する。

総合教育セミナー （人類学）
 「骨に聞く、骨を読む」 2単位 秋学期
【文】 高山 博

【授業科目の内容】

人体骨格についての基礎知識を習得しながら、人類学（骨格人類学）の基礎にふれる機会としたい。実際に人骨に触れることもあるので、物見遊山のな受講はお断り。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜指示します。

総合教育セミナー（英米文学）

「映画学」

2単位 秋学期

【文】

宮尾 大輔

【授業科目の内容】

古典的ハリウッド映画を題材に、映画言語、映画理論、映画史の基礎を学ぶ。このセミナーでは特にフリッツ・ラングの映画を精密に分析し、特に映画における時空間の表象方法、フィルム・ノワールやメロドラマなどの映画ジャンル理論、そして都市の表象やモダニティなどのアメリカ映画史における諸問題について検討する。比較対象として小津安二郎の映画の分析も行う。

【教科書】

Andrew M. Butler 『Film Studies』(London: Pocket Essentials, 2002, \$6.95)

【参考書】

David Bordwell and Kristin Thompson 『Film Art: An Introduction, 7th edition』(New York: McGraw-Hill, 2003, \$66)、Tom Gunning 『The Films of Fritz Lang: Allegories of Vision and Modernity』(London: BFI, 2000, \$19.57)

【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】

自由研究セミナー

「国際経済の計量分析」

4単位 通年

【経】

秋山 裕

【授業科目の内容】

貿易、為替レート、直接投資など、国際経済における経済現象について、回帰分析を中心とした簡単な計量分析を履修者が行なえるようになることがこのセミナーの目標です。国際経済分野ならびに計量経済分野で唯一の自由研究セミナーです。授業は 担当者による講義とコンピュータを用いた演習と 履修者の発表からなります。春学期は計量分析手法を中心に、秋学期は国際経済での応用分析を中心に学んでいきます。セミナーを効率的かつ活発で楽しいものにするため、演習、発表ではグループによる共同作業も行ないます。(2003年度のクラスでは、日本経済新聞社主催の学生円ダービーや日経ストックリーグなどのコンテストにもチームを編成して参加しました。)そのため、授業時間以外で準備の時間、課題をこなすための時間がある程度必要となります。

【教科書】

『通商白書2003』および『通商白書2004』(春学期中に発行の予定)

【参考書】

随時、担当教員から指示がある。

自由研究セミナー

「音楽 作曲の基礎としての対位法」

4単位 通年

【経】

石井 明

【授業科目の内容】

対位法は、西洋の古典的な作曲技法の1つで、ルネッサンス期の教会音楽において最盛期を迎えたものです。16世紀後期に活躍したパレストリーナによるミサ曲などにその手本を見ることができます。17世紀の初頭におけるオペラの誕生により対位法は、作曲技法の主流から遠ざかるようになりました。しかしながら、その後も対位法は、常に作曲の基礎として多くの音楽家によって学ばれてきました。モーツァルト、ハイドン、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームスなどの作曲家達も対位法を学びました。そこでこのセミナーでは、基礎的な対位法を実践という形で基礎から学びます。単旋律の概念から始め、2声による学習的な対位法を経て、2声フーガの作曲を試みます。それと同時に、過去の作曲家達がどのように対位法を作り上げていったのかということと、対位法とどのように接してきたのかということを経史的に検証していきます。最終プロジェクトでは、1つの作品を完成させるだけでなく、その作品が持つ技術的な特徴などを、歴史的な作品と比較して分析します。

自由研究セミナー

「Introduction to Film Studies」 4単位 春学期集中
【経】 石井 康史 エインジ, マイケル

【授業科目の内容】

Motion pictures were invented at the end of the nineteenth century as a further development of the pre-existing visual-recording technology, namely, photography. Even "talkies" were merely a combination of existent photographic and phonographic technologies. In this sense, the motion picture was not a fundamentally new invention. Also, most movies' narrative structure borrowed extensively from literature, especially the theatrical arts. In fact, however, movies ushered in a totally new perception experience to human; with movies, humans achieved a new form of expression unimaginable to people in the past.

In this course, the two instructors will present a variety of approaches to cinema, with focus on sight, sound and narrative. Students will be given an opportunity to learn and to apply various ways to analyze and discuss films. Thirteen films comprise the major course content, chosen not for their entertainment value but for their value as research materials.

There will be two discussion sessions per week, on Wednesdays and Fridays, in addition to weekly Monday-evening screenings. Attendance at all discussion sessions is mandatory, while students who cannot attend screenings may watch films on their own account. There will also be substantial amount of reading assigned, selected to support the development of students' understanding of, and skills in analyzing, each film.

【教科書】

To be announced at the first meeting.

【参考書】

To be announced at the first meeting.

自由研究セミナー

「「リアル」な現実描写とは何か アウエルバハ『ミメーシス
 ヨーロッパ文学における現実描写』を読む」 2単位 秋学期
【経】 石井 康史

【授業科目の内容】

文字をつかって自分が知覚している現実を描写すること、いわば「事実」を単に「正確」なだけでなく「リアル」に伝えること。これは、ジャーナリズムのみならず、大学のレポートでも、普通の日常生活においてもしばしば求められる課題。しかし自分が見た・聞いたこと、あるいは見た・聞いたと思ったことの、その「リアル」さを、果たしてどうすれば伝えることができるのか。そ

の理解の仕方は歴史のなかで大きく変化して来た。

このセミナーではエーリッヒ・アウエルバハ『ミメーシス』を教科書に、「現実を描写する」とはいかなる作業なのかを、ヨーロッパ文学を例に考察する。古代ギリシャ以来、ヨーロッパ文学は「現実描写」という作業にさまざまな形式を与えてきたが、この「現実描写」という問題の歴史を、アウエルバハの『ミメーシス』は「現実的」「real」といった形容の指し示す内容の変遷として描き出している。秀れた入門書である同書はまた、20世紀における文学研究の画期的業績であり、今日でもそのスリリングさは失われていない。「現実描写の仕方」という視点からのすぐれたヨーロッパ文学史であるとともに、言語による現実描写とは一体全体何なのかという根本的な問題にかんする思考の、長期にわたるその記録でもある。

「リアル」であるとは何かという素朴な疑問に対する解答を、半年かけて探してみようとする参加者に思考と議論の場を提供することを目標とする。文学作品を国籍によらずに考える方法、いわゆる比較文学に関心のある参加者にとっては、比較文学方法論の入門ともなるはず。教科書は英語版、日本語版どちらでもよい。秀れた翻訳だが、複雑な箇所は英語の方が理解しやすいはず。毎週指定されるページ数は決して多くないので、必ず読んでくること。教科書には各作品の断片が引用されているが、その断片に興味をもった時は、ぜひ通読してほしい（多くは文庫本で手にはいる）。参加者が各章の内容を発表形式で報告する形式で授業を進める。

【教科書】

エーリッヒ・アウエルバハ『ミメーシス ヨーロッパ文学における現実描写』上 および 下、ちくま学芸文庫、筑摩書房、1994年（上巻1200円、下巻1400円）、またはErich Auerbach. Mimesis: The Representation of Reality in Western Literature. Princeton University Press, 2003 (\$19.95)

【参考書】

各章が取り上げている断片の原作品。

自由研究セミナー

「余白の美学 壁の空白を装飾する目」 4単位 通年
【経】 伊藤 行雄

【授業科目の内容】

ヨーロッパではよく家庭の居間などにところ狭しに絵が掛けられている光景を目にすることがある。ところが日本人の家庭では伝統的な様式の家でも現代的な建築であっても居間などの壁面に整然と絵画をいくつも並べて家族で楽しむなどという習慣はあまり見受けられない。むしろ絵を掛けるにしてもせいぜい一幅の絵で壁面を飾り、壁の余白はそのまま手をつけずに遊ばしていることのほうが多い。余白とか空白とかは、何かによって埋め尽くされるか、補われる場である、ということ以上に、そこに掛けられている「絵」や「書」などの創造的なイメージをふくらませるための自由な場所であるともいえる。残滓としての余白ではなく、創造力をはぐくみ、

イメージを飛躍させる場としての空白・余白というところからは日本の文化を考えていくとき、見過ごすことのできない興味あるテーマである。

この研究会ではヨーロッパの人びとと日本人の空間意識や生活感覚の差異を通して、東西の文化にまつわる諸問題を、建築、都市、または芸術などを含めた多方面からのテキストを使用しながら分析していきたいと思う。

研究会は参加者のレポートの発表と討論によって進められる。同時に発表やレジュメの作成などの基礎的なトレーニングも行い、実際に後半からは研究発表の計画、実施をめざす。

【教科書】

和辻哲郎『風土』岩波文庫、芦原義信『続・町並みの美学』岩波現代文庫、ブルノー・タウト『日本美の再発見』岩波新書、多木浩二『生きられた家』岩波現代文庫、谷崎潤一郎『陰翳礼讃』中公文庫

自由研究セミナー

「開発経済学入門」

4単位 通年

【経】

大平 哲

【授業科目の内容】

先進国から途上国への援助、途上国内部にある特有の経済構造がひきおこす問題など、開発経済学のトピックを扱う。各自が興味をもつ国、テーマについて自分で調査し、調べた結果を授業内で報告する。その報告をめぐって参加者全員で議論をしながら授業をすすめる。

くわしい情報を<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/tets/kougi/jsseminar>に掲載する。

自由研究セミナー

「都市・映像・音響・メディア」

4単位 通年

【経】

小淵 昭夫

【授業科目の内容】

都市のメディア性を日常生活から芸術作品まで広くかつ深く探究したい。前半はマクルーハン『メディア論』を輪読する。後半は、学生諸君が自分のテーマを決めて、それについて、プランを立て、資料を収集し、考察し、パワーポイントでプレゼンテーションを行う。

【教科書】

マクルーハン『メディア論』みすず書房（メディア・センターのリザーヴ・ブック）

自由研究セミナー

「経済分析の理論的方法」

4単位 通年

【経】

長名 寛明

【授業科目の内容】

経済現象は、自然現象や社会現象と同様に複雑であって、どのような要因がどのように作用し合っているか、理解するのが必ずしも容易ではない。これを理解するためには、当面の問題に直接関係がないと思われる要因を思い切って捨象して考えることが有益である。不

必要と思われる要因を捨象して残ったものが、経済分析に使われるモデルあるいは理論である。モデル（模型）が実物と異なることは当然であるが、経済学を学び始める者の中のある者は、理論が現実と乖離していることに驚き、経済学への興味を失う。これは学問を始めようとする者にとって極めて不幸なことであると思われるが、かなり多くの者に観察されるようである。これは一種のアレルギー反応といえるものであり、理論の理解と共に消失する。

また経済理論は、かなり本質的な部分において数学的分析を必要としており、したがって、この分析方法を習得しないと十分な理解に達することが難しい。

この自由研究セミナーでは、ミクロ経済学の主要項目について演習形式で理解を深めることを目指す。必要な数学的分析方法についても訓練する予定である。

【教科書】

H. R. Varian 『Intermediate Microeconomics, Norton (6th Edition)』(2002)

【参考書】

神谷和也・浦井憲著『経済学のための数学入門』東京大学出版会、その他必要に応じて指示する。

自由研究セミナー（火曜午前）

「自然・環境保護の思想を読む」

4単位 通年

【経】

岸 由二

【授業科目の内容】

自然環境保全の課題は、技術論・実理論と同時に倫理や文化の観点からもさまざまに論議されている。この講義では、通常環境倫理学の基本や、共存すべき自然をめぐる新しい思考様式などに注目しつつ、読書（輪読形式とする）と討論を通して、環境思想の大きな流れを体験していただく。

【教科書】

加藤尚武『環境倫理学のすすめ』丸善ライブラリー、岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店、R. カーソン『センス・オブ・ワンダー』新潮社

【参考書】

オギュスタン・ベルグ『地球と存在の哲学』筑摩書房

自由研究セミナー（火曜午後）

「ナチュラリスト入門」

4単位 通年

【経】

岸 由二

【授業科目の内容】

環境問題に適切に対応できるセンスや知識をはぐくむためには、概念的・技術的・思想的な理解だけでなく、地域にかかわる具体的な自然・環境体験が重要である。本講義はキャンパスとその周辺地域をフィールドとして、エコロジーと文化の視点を総合した自然・風土体験の機会を学生たちに提供する。晴れた日はフィールド散策を通して生物多様性やランドスケープを学び、雨天は室内で日吉の自然にかかわる各種の文献や論文を読み、意見交換を行う。成果は毎回レポートとして提出し、別

に年間の体験をエッセーとしてもまとめていただく。

【参考書】

そのつど紹介する。

自由研究セミナー

「共同で放送劇を作る」 4単位 通年
【経】 クナウプ, ハンス・ヨアヒム

【授業科目の内容】

福澤諭吉を題材にしなが、放送劇を作成するという試みにチャレンジします。放送劇作成に使用する言語は主に日本語やドイツ語です。従って、ドイツ語についての知識が十分でなくても、発音指導などは授業のなかで指導しますので、このセミナーの課題である放送劇作成に参加することができます。福澤諭吉に関する理解も当時の国際関係からみていきたいと思ひます。

さまざまなメディアを駆使しますので、メディアに関心のある人には興味深いと思ひます。メディアの操作方法も指導しますが、真剣に共同作業に取り組むことができることが、授業参加の条件です。

【教科書】

プリントで配布。

自由研究セミナー

「スミスとマルクスの経済学を読む」 4単位 通年
【経】 神代 光朗

【授業科目の内容】

私の自由研究セミナーは、開設以来、伝統的に社会科学、とくに経済学史上の古典文献を学生諸君と熟読、討論することを中心としてきた。今年度は、アダム・スミスの『国富論』とカール・マルクスの『資本論』をテキストとしてとりあげる。今日、日本経済はもとより、世界経済もまた、いわゆる資本主義市場経済のグローバル化にともなう様々の危機的状況に長期にわたり陥入っていることは周知のことである。その中で、経済のみでなく、文化の危機、又、経済学の危機もいわれて久しい。今年、この二大古典を（経済学と歴史認識 経済思想）

「自由」とは何か？に焦点をあて、経済学の入門として読みたい。

【教科書】

アダム・スミス『国富論』（全3巻）中公文庫、カール・マルクス『資本論』（第一巻中）新日本出版新書（主に 、 、 分冊）

【参考書】

講義（輪読）の進行に応じ適宜指示するが、J. S. ミル『自由論』岩波文庫、ヘーゲル『歴史 哲学講義』岩波文庫、なども参照のこと。

自由研究セミナー

「自由」と「民主」の源流を読む」 2単位 春学期
【経】 坂本 達哉

【授業科目の内容】

「自由」と「民主」という言葉ほど分かったようで分からない言葉も少ない。とくに、「自由民主党」なる政党が半世紀にわたって事実上の一党独裁体制を謳歌してきた戦後の日本において、これほど空虚に響く言葉も少ない。しかし、実際にはそれらは空虚な言葉ではなく、また、そのようにしてもいけない。この授業では、自由主義と民主主義の古典中の古典を取り上げ、問題の根本に迫りたい。授業は報告者による共通テキストの講読を軸とするが、参加者による活発な討論を何よりも重視する。

【教科書】

J. J. ルソー『社会契約論』岩波文庫

【参考書】

藤原保信『自由主義の再検討』岩波新書

自由研究セミナー

「世界の中の日本経済」 4単位 通年
【経】 島田 晴雄

【授業科目の内容】

目標

私の自由研究クラスでは、現在の日本経済ならびに世界経済が直面している諸問題をテーマに選び、経済理論と分析方法をふまつつも、自由な発想による議論をつうじてグループ研究（あるいは個人研究）を進め、経済に対する問題意識を養うことを目的とする。

とりわけ、大きな歴史的転換を経つつある日本経済をめぐって、内外に発生しつつある重大な構造問題を展望し、その解決策などを考えてゆきたい。

授業内容

私の自由研究は原則的に2年生を対象とするが、1年生が履修してもよい。その場合、学力の開きはグループ研究を活用して補うようにしたい。

通常の授業は有益な書物を選んで各人がレポートを提出し、それにもとづいて皆で討論をしながら理解を深める形で進める。ディベート、ディスカッション・フォーラム、シンポジウム、実務家との対話、英語による討論など参加者の必要と興味に応じて多様なプログラムを工夫したい。

【教科書】

島田晴雄『生活産業が日本を救う』NTT出版、島田晴雄『マーケット・パワー』PHP、島田晴雄『産業創出の地域構想』東洋経済新報社、島田晴雄『日本再浮上の構想』東洋経済新報社、島田晴雄『法人課税改革』東洋経済新報社、島田晴雄『労働市場改革』東洋経済新報社、島田晴雄『安全と安心の経済学』岩波書店、島田晴雄『日本経済 勝利の方程式』、島田晴雄『明るい構造改革』、島田晴雄・吉川洋『痛みの先に何があるのか』、島田晴雄『住宅市場改革』、その他適宜選定する。

自由研究セミナー

「地域振興策を考える」

4単位 通年

【経】

高木 勇夫

〔授業科目の内容〕

地域に内在する問題を発見し、その問題を解決すべき命題としての課題を設定し、その課題を実現・実行するための方策を検討・提示するまでの、一連の問題発見から問題解決方策の提示までの技法の習得を目指す。

〔教科書〕

使用しない。

自由研究セミナー

【経】

4単位 通年

高草木光一

〔授業科目の内容〕

「異質な他者との共生」のあり方を考えるセミナーとしたい。春学期には、慶應義塾大学経済学部編『マイノリティからの展望 市民的共生の経済学2』（弘文堂）を輪読する。参加者は、本書の少なくとも1つの章を担当し、そのレジュメをつくり、また論点を提示する。秋学期の輪読テキストは、春学期の終わりに参加者と相談して決める。

〔教科書〕

慶應義塾大学経済学部編『マイノリティからの展望 市民的共生の経済学2』弘文堂

〔参考書〕

授業の際に指示する。

自由研究セミナー

「正史『三国志』を読む」

4単位 通年

【経】

竹内 良雄

〔授業科目の内容〕

『三国志演義』と比較しながら、正史『三国志』を読む。

〔教科書〕

プリント（中華書局版『三国志』）

〔参考書〕

『三国志演義』

自由研究セミナー

「理性による世界史の発展行程とは何か」

4単位 通年

【経】

蔦木 能雄

〔授業科目の内容〕

今年度はヘーゲルの『歴史哲学』を取り上げる予定。私たちを取り巻いている歴史の現実には「混迷と混乱」に満ち溢れています。ヘーゲルは「理性が世界と世界史を支配し続けている」と語っていますが、そうした「理性への確信」を基礎にしたヘーゲルの思想を通して歴史の発展を考えてみようとするのが授業の目的です。

〔教科書〕

ヘーゲル著（長谷川宏訳）『歴史哲学講義』（上・下）

岩波文庫

自由研究セミナー

「啓蒙思想とは何か」

2単位 春学期

【経】

蔦木 能雄

〔授業科目の内容〕

今年度は福澤諭吉の『学問のすゝめ』を取り上げて「啓蒙思想とは何か」を受講生諸君と一緒に考えてみたい。福澤の『学問のすゝめ』は余りに有名ではあるが、本書の内容を熟読吟味してみると「今日の問題」を考察する上でも古典的輝きを失っていない。

『学問のすゝめ』は明治5年（1872）2月から同9年（1876）11月にかけて執筆されたものであるが、授業では本書の輪読を進めながら、「明治初年」期の諸問題ばかりでなく「日本と世界」における「今日的課題」を考察してみたい。

〔教科書〕

福澤諭吉著『学問のすゝめ』岩波文庫版

〔参考書〕

富田正文著『考証福澤諭吉』（上・下）岩波書店（1992年）

自由研究セミナー

「日本とアジアの人口、家族、経済」

4単位 通年

【経】

津谷 典子

〔授業科目の内容〕

本科目は、人口増加と経済発展（population growth and economic development）、人口増加と環境・資源（population growth and the environment）、人口高齢化と高齢者介護（population aging and care of the elderly）、出生・家族形成（fertility and family formation）、結婚とその解消（marriage and marital disruption）、死亡・保健・衛生（mortality and health）、労働力と就業（labor force and employment）、家族・世帯（family and household）、ジェンダー（gender relations）など、人口学や経済学が取り扱う様々なトピックや問題についての英文文献を読み、それらに関するクラスでの発表と討論を通して、人口問題と経済に関する知識・理解を深めることを目的とする。人口変動と経済変動は密接に関連しており、人口変動はまた環境・資源の最も重要な決定変数の1つである。人口は重要な政策的課題でもあるため、本科目では各トピックの政策的含意についても検討する。

〔教科書〕

教科書は特に指定しない。なお、本科目で取り上げる論文は、比較的平易かつ具体的内容をもつものを、現在わが国および国際社会が置かれている状況を考慮して、適切であると思われるものを講師が予め選別する。

〔参考書〕

河野稔果『世界の人口』（第2版）東京大学出版会（2000年）

自由研究セミナー

「日本の財政」 4単位 秋学期集中
【経】 土居 丈朗

【授業科目の内容】

この自由研究セミナーは、日本の財政を理解する力を養うことを目的とします。近年では、国債の累増、地方分権改革、年金改革、特殊法人改革、郵便貯金改革など、財政にまつわる諸問題が国民的な議論を呼び、大きな関心を集めています。これらの問題を正しく理解するためには、経済理論に裏打ちされた考え方と、財政の現行制度に関する知識が必要です。このセミナーでは、そうした考え方や知識を学んでいきます。

通常の授業は、数人の参加者に、取り上げる文献に関するレポートを発表してもらい、それに基づいて皆で議論をしながら理解を深める形で進めます。このセミナーに関連する情報について、インターネット上で検索・閲覧することを積極的に試みたいので、受講する学生はインターネットが閲覧でき、電子メールが使えることが望まれます。

セミナーには毎回積極的に出席できることが前提で、そこでの議論を基に学年末に提出するレポートで評価します。より詳細については、最初の授業で説明します。

【教科書】

井堀利宏・土居丈朗『財政読本（第6版）』東洋経済新報社

【参考書】

土居丈朗『財政学から見た日本経済』光文社新書
 その他、授業の進行に合わせて紹介します。

自由研究セミナー

「数量経済史入門」 4単位 通年
【経】 友部 謙一

【授業科目の内容】

経済史のアプローチは多様である。その多様性のひとつとして、数量経済史を考える。情報技術の進展に伴い、量的／質的データの区別を問わず、マシン・リーダブルなデータの範囲は広まり、数量的な分析手法を習得する必要性が高まっている。それについて、歴史資料から数的処理可能なデータを作成する過程とそれらを基礎データとするデータベースの形成、そして分析へという一連の経済史分析を具体的に議論したい。

【教科書】

方法論や歴史統計分析については、以下を教科書とする。
 Feinstein, C. & Thomas, M. 『Making History Count - a primer in quantitative methods for historians.』
 Cambridge; Cambridge University Press (2002)

近世・近代日本経済を舞台とした研究事例については、適宜講義で紹介する。

【参考書】

適宜講義の中で、紹介する。

自由研究セミナー

「魯迅を読む 魯迅と日本・中国の近代」 4単位 通年
【経】 長堀 祐造

【授業科目の内容】

魯迅は近代中国文学の父とよばれる文豪です。1902年から7年間日本留学を経験した魯迅は、弟の北京大学教授、周作人とともに日本通でもありました。そして、魯迅の小説は日本の教科書に、戦後一貫して教材として収録されてきたのです。学生諸君も中学、高校で「故郷」などの作品に接してきたことでしょう。

この自由研究セミナーでは、魯迅という人物について、伝記的事実を知り、また実際にその作品を読むのを通じて、日本と中国の近代及び近代文学、さらには伝統というものについても考えていきます。

【教科書】

魯迅著（竹内好訳）『狂人日記・阿Q正伝』岩波文庫

【参考書】

藤井省三著『魯迅事典』三省堂書店

自由研究セミナー

「文化／社会／歴史／文学、その発想と感覚」 4単位 通年
【経】 西尾 修

【授業科目の内容】

何でもいいから、興味あることについてしゃべる（喋る）そういった授業です。

担当者の専門領域は19世紀のフランス文学ですが、別段それにこだわるつもりはありません。

日本のこと、現代のこと、あるいはそれ以外の世界のこと、硬質なものから軟弱なものまで何でも、テーマ選びには地域、時代を問いません。授業に参加する諸君個々人が、それぞれに関心を抱くテーマをまずは持ち寄って、そのテーマについて、皆でとにかく自分の考えていることを口にする、そういった授業です。真面目ぶっていえば、議論する、討論するという経験を通して、通常それ以外のコミュニケーション手段で得られるものとはまた別のナニモノかを得られれば格別。この授業が参加者諸君の自己発見、自己開発の一助になれば、と願っています。

授業は、毎回、メンバーの誰かがあるテーマについて発表し、その後、皆で議論するという形式で行います。詳しくは第1回目の授業で説明します。

自由研究セミナー

「写真への接近」 4単位 通年
【経】 林 栄美子

【授業科目の内容】

写真が発明されたのは1839年のことである。人間の長い歴史の中に置いてみれば、つい最近のこととさえ言えるだろう。しかし人間が手にした最初の「映像」である写真は、飛躍的な進歩をとげ、今や誰もが写真を撮り、

撮られるという体験が日常的なこととなり、無数の写真に取り巻かれて我々は生きている。氾濫する写真は、我々の世界の捉え方にまで多大な影響を与えている。

「写真」とはいったい何か？そのことを具体的に考えるために、写真を撮るという行為、それを見せるという行為と、写真のさまざまなありようの考察とを、意識的に並行して行ってみよう。写真史を概観することもその助けとなるだろうし、写真家たちの作品にふれることも必要になるだろう。ただし、写真についての知識や体験は問わない。ただし、これは写真をうまく撮れるようになるための講座ではない。あくまでも「写真について考える」こと、それを通じて「見ること」「感じること」「人やものと接すること」を考え直す場だと思ってもらえればいいだろう。

カメラを手にして歩いたり、自分で写真展に出かけたりする実践作業の好きな人、議論しながら考えることの好きな人を歓迎する。

【参考書】

飯沢幸太郎著『現代写真・入門』JICC出版、など授業中に紹介する。

自由研究セミナー

「カエル学入門」

4単位 通年

【経】

福山 欣司

【授業科目の内容】

このセミナーはカエルをモチーフにして「人と生き物との関わり」について考察していこうという授業です。一般的にはカエルのイメージは、気持ち悪い、汚い、などマイナスであることが多いようです。ところがその一方で、カエルは私たちの生活や文化の中に頻りに登場します。子どものおもちゃ、日用雑貨、文具、広告、オブジェ、絵画、写真、書物、音楽など、さまざまな場面で私たちはカエルと遭遇しています。マイナスのイメージのある生き物が何故頻りに登場するのでしょうか。カエルのイメージがどのように扱われているかを実際の例に当たりながら、人はカエルをどう見ているのかを考えてみたいと思います。また、現実のカエルは日本を含む世界各地で急激に減少しています。授業では環境問題としてのカエルも取り上げる予定です。

自由研究セミナー

4単位 通年

【経】

藤田 康範

【授業科目の内容】

この自由研究セミナーでは、新聞・雑誌等の経済記事に関心をもつようになること、その内容を平易に説明すると同時に論評できるようになることを第一の目標とします。無理なく丁寧に進める予定です。必要なことについては随時説明しますので、特別な予備知識は不要です。様々な背景をもつ人たちが接して知識を共有し、経済問題や経済学への理解を深める場にしたいと考えています。

詳細については初回に説明します。

【参考書】

藤田康範『よくわかる経済と経済理論』学陽書房

自由研究セミナー

「地球環境と人間」

4単位 通年

【経】

松原 彰子

【授業科目の内容】

講義・学生発表（春学期と秋学期の2回）・実習を通して、地球環境変化の実態を把握し、その中での人間活動の位置づけを考えることを目的とする。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

適宜紹介する。

自由研究セミナー

「中国の抒情とエロス」

4単位 通年

【経】

村越貴代美

【授業科目の内容】

愛情やエロスの表現は、民族の伝統や文化によって実はさまざまである。最近の中国は急速に欧米化しているが、少し前の映画や文学作品には、伝統的な儒教や道教に基づく独特な恋愛の形態、愛情表現が垣間見られたものである。実はこのテーマは、昨年度の「比較文化論」の講義（オムニバス形式、全5回を担当）で、「中国における恋愛と性愛」というタイトルで取り上げた。だが、作品をじっくり読むほどの時間はなかったので、今回は作品（古典の文学作品から現代の映画等まで）を中心に、分析・鑑賞してみたい。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

授業で紹介する。

自由研究セミナー

「日独文化交流史」

4単位 通年

【経】

八木 輝明

【授業科目の内容】

このセミナーでは、日本とドイツの文化交流の歴史を19世紀から、明治維新をはさんで、20世紀初頭までを中心にたどってみたい。この時代、近代国家日本は法政的、軍事的な面でも多くのことをドイツから学んだ。また近世から近代にかけてドイツ人、オランダ人、オーストリア人が日本文化に多大な足跡を残した。またかれらが日本をどのように見ていたかを知ることも重要だ。まずは日本側からの受容のあり方を探るため、『坂の上の雲』（全八巻。司馬遼太郎著）を取り上げ、近代日本の黎明の姿をとらえ、当時のドイツの歴史的状況と比較対照し、考察していきたい。森鷗外の伝記による両文化の文学的アプローチなどもこのセミナーで試みていきたい。

【参考書】

ヨーゼフ・クライナー著『江戸・東京の中のドイツ』講談社学術文庫、その他の参考資料、ゼミの進め方などは4月はじめの時間に説明します。

自由研究セミナー
「オルテガを読む」 4単位 通年
【経】 八嶋由香利

【授業科目の内容】

20世紀は大衆社会が成立した時代でもありました。そこで20世紀を代表する著作とされるスペインの哲学者オルテガの『大衆の反逆』を読み進めながら、高等教育も大衆化した現代社会のなかで、自分を取り巻く環境とどう関わり合っていけばよいかを考えてみたいと思います。

【教科書】

ホセ・オルテガ・イ・ガセー（寺田和夫訳）『大衆の反逆』中央公論新社

【参考書】

授業中に配布します。

自由研究セミナー
「戦後日本社会を生きたひとびと
企業家・知識人・庶民の足跡」 4単位 通年
【経】 柳沢 遊

【授業科目の内容】

本セミナーは、第2次世界大戦後の日本社会を生きたさまざまな人々の生活、仕事、業績を多面的に考察します。戦後復興期から高度経済成長期（1960年代）にかけて、「ふつうの人々」が、どのような課題に直面し、どのような経済的営為によって「暮らし」をなりたててきたか。私達の祖母・祖父の時代をふりかえります。

【教科書】

大門正克・安田常雄・天野正子編『戦後経験を生きる』吉川弘文館

【参考書】

アンドリュー・ゴードン編『歴史としての戦後日本』（上・下）みすず書房

自由研究セミナー
「国際比較から考える日本の社会保障」 4単位 通年
【経】 山田 篤裕

【授業科目の内容】

年金制度や医療制度に代表される社会保障にかんする費用は景気動向とかかわりなく、毎年伸び続けている。2001年度の日本の社会保障給付費は81兆円で、これは対国民所得費の約2割を占めている。つまり、「市場経済」以外の方法で分配される所得が2割もあり、それが増え続けているということである。

日本にかぎらず、先進諸国は1970年代以降30年間にわたり、増大する社会保障給付費と、人口高齢化、経済成長率の鈍化および財政圧力とをどのように両立させるか

について試行錯誤を繰り返している。はたして社会保障は維持可能なのだろうか。

当自由研究セミナーでは、諸外国の社会保障を比較研究した文献を輪読形式で読むことを通じて、日本の社会保障の将来について国際比較の視点から考えなおすことを目的とする。

【教科書】

G. アンデルセン（渡辺雅男・渡辺景子訳）『ポスト工業経済の社会的基礎』桜井書店（2000年5月）、OECD『ケアリング・ワールド 福祉世界への挑戦』黎明書房（2001年4月）

【参考書】

『先進諸国の社会保障』シリーズ 東京大学出版会、国立社会保障・人口問題研究所『季刊社会保障研究』および『海外社会保障研究』（学術雑誌）

自由研究セミナー
「ゲーテの『若きウェルテルの悩み』を読む」 4単位 通年
【経】 山本 賀代

【授業科目の内容】

ひとつの文学テクスト 今年度はゲーテの『ウェルテル』を取り上げて、文学作品を研究する際の基本的なアプローチ方法を学習します。受講者にはそれぞれの視点から作品解釈を試み、発表し、互いに議論しあってもらいます。テーマに適った参考文献を紹介してもらったり、部分的にはドイツ語原文にあたってもらうこともあるでしょう。

【教科書】

ゲーテ著（竹山道雄訳）『若きウェルテルの悩み』岩波文庫

【参考書】

Die Leiden des Jungen Werther（Reclam）など。授業内で指示。

【法学部設置の少人数セミナー形式科目】

自然科学研究会 ・
「ヒトと生物環境との共存を考える」 2単位 春・秋学期
【法政】 秋山 豊子

【授業科目の内容】

現在社会は、しばらく続いた景気低迷に加えて多発同時テロにより、日本を含め広い範囲でマイナス成長となってきました。良い意味では、消費を押さえてリサイクルをし、シンプルな生活へと向かっているように思われます。そして、自然志向に見られるように、豊かな自然への回帰現象の中にあるようにも思われます。環境ホルモンやダイオキシンなど様々な環境汚染が話題になり、自然環境への配慮が求められています。さらに、野生動物の保護、バイオテクノロジーのもたらす恩恵と問題点、エイズなど感染症の防御とその人権問題、脳死や臓器移植、尊厳死の問題などへも現代人は無関心ではられない状態にあります。ヒトは動物の1種であるとの認識に立ち、他の多様な生物との共存の道を考察するという視点から、現代社会での自然科学の問題点を考えてゆきたいと考えます。少人数のメリットを生かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点の提案と決定、討議など授業の進行も行います。校外活動、資料収集、観察、臨海実習など必要に応じて柔軟な形式も考えています。自ら学び、討議や発表をとおして主体的に授業に取り組みたい学生の履修を望みます。この形式のため、約20名までを適正規模といたします。尚、履修にあたっては、〔春学期〕・〔秋学期〕共に履修されることが望ましいため、希望者多数の場合は、共に履修する希望者を優先いたします。

参考HP <http://web.hc.keio.ac.jp/akiyama>

【教科書】

使用せず。

【参考書】

使用せず。

自然科学研究会 ・ 2単位 春・秋学期
【法政】 小野 裕剛

【授業科目の内容】

生物学に関連するトピックスの中からいくつかを選択して情報収集とプレゼンテーションを実践します。履修者と相談の上で基礎専門レベルの教科書講読や学術論文講読にも対応します。また、可能な範囲で遺伝子研究の現場を視察・体験することもあります。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

履修者と相談の上、紹介します。

自然科学研究会 ・
「植物を知ろう」 2単位 春・秋学期
【法政】 金谷 信宏

【授業科目の内容】

地球上に植物が存在することにより、我々は生存できるのです。この植物という重要な生き物について、もっと良く知ることがこの研究会の目的です。植物について不思議に思っていること、関心のあるテーマについて、各自が自分で調べて、他の履修者の前で発表し、全員で討論することにより植物のもつ様々な面を、より深く知ることができるでしょう。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業の時に紹介します。

自然科学研究会
「化学の言葉で自然の不思議をひも解け」 2単位 春学期
【法政】 小瀬村誠治

【授業科目の内容】

改札をぬけると、そこには眩いばかりのイチョウ並木が広がる。小わきに分厚い履修案内を抱えていても、その新緑の美しさに心を奪われていないだろうか。やがて秋の訪れとともに、黄色く色づき風に舞うイチョウの葉。

さて、“なぜ”イチョウの葉は黄色く色づき、風に舞うのだろうか。これは一例であるが、自然現象に接して“なぜ”と考えた時、諸君はその答えを見つけることができるであろうか。講義では、氷はなぜ水に浮くのか、リンゴはなぜ赤いのか、などの不思議をひも解き、また後半の授業では、諸君が自然に接して“なぜ”と感じたことを自ら調べ発表してもらおう。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

自然科学研究会 ・ 2単位 春・秋学期
「エネルギーと環境」 2単位 春・秋学期
【法政】 小林 宏充

【授業科目の内容】

21世紀は、ますます環境問題やエネルギー問題が議論される時代になって行きます。地球温暖化を抑制するために二酸化炭素の排出量を減らすためには、火力発電を減らして、原子力発電主導にする必要がありますが、それでよいのでしょうか？ 今後、原子力発電を増やすのは住民の同意を得ることは難しく、他の代替エネルギーに頼る必要がでてきます。では、太陽電池はどうでしょうか？ それだけで、今のエネルギーを賄うことができるのでしょうか？ また、循環型社会をめざしていますが、リサイクルは経済的にみあうものなのでしょうか？ で

は、どのようにすればそれが達成されるのでしょうか？エネルギーや環境の問題には、法律の話が必ず関係してきますし、政治的な判断で決まる問題も多いのが現状です。地球規模の問題では、国際関係などの知識も必要となります。本研究会では、自然科学の目からそれらを総合的に判断することを目指します。

人数は、約10名とします。自分の興味のあるテーマを見つけてもらい、それについて調べ、考えてきたことを、発表してもらいます。1人1回程度の発表とします。成績は発表の点数と出席点で決めます。

【教科書】

特になし。

自然科学研究会

「自然科学で考える」

2単位 秋学期

【法政】

志村 正

【授業科目の内容】

情報があふれ、それに振り回されている感のある現代社会。その中に身をおいていると、どんなことでも知っているかのような錯覚に陥ります。分かっているようで実は何も分かっていない。例えば、環境破壊が一向に収束する気配がないのも、その仕組みが周知されていないからなのです。それこそが最大の問題なのではないでしょうか。

この授業は、履修者ひとりひとりがテーマを持ち寄って研究発表し、全員で議論して、知識を深めることを目的としています。併せて、自然科学的な考察を行うことにより、その発想と思想を身につけていただきます。

人文科学特論

「マニエリスム・バロック入門 マニエリスム・バロックとは何であり、何であったか？（総論・井田）および各国のマニエリスム・バロック美術・音楽（および哲学）の鑑賞（講読）と検証（分析）（各論・受講者）」

2単位 春学期

【法政医】

井田 三夫

【授業科目の内容】

いわゆる“マニエリスム/バロック現象”は、16世紀後半から18世紀前半にかけて美術、音楽、文学などの多くの領域に共通して現われた歴史的現象であり、この意味では特定の時代に限定された様式概念である。他方、これを古典主義（ルネサンス様式）と対立する歴史的な単なる様式概念と見ず、ヨーロッパ全歴史（精神史）にあってと古典主義と交互的に、これと対立して現れるあらゆる反古典主義的（反自然主義的）傾向を指す普遍的な様式概念として、それも単に美術のジャンルのみでなく、音楽、文学、思想といった精神生活のあらゆる領域をも規定する一つの時代思潮として包括的に捉える考え方も提出されてきた。バロックやマニエリスムをこのように広義・包括的に考える見方は、前者にあっては例えばベネデット・クローチェやエウヘーニオ・ドールスがおり、後者では例えばE・R・クルティウスやアーノル

ド・ハウザーあるいはG・R・ホッケといったドイツ系の学者がいる。またこうした広義の見方を支持する立場から、“20世紀芸術・文学におけるバロック/マニエリスム（性）”と“マラルメ（あるいはカフカ）におけるマニエリスム”といった問題提起も行われてきた。そこでこの授業では、前半ではまず総論として、私が“マニエリスム/バロック”とは何か、といった本質論をはじめ、両者の関係あるいはルネサンス（古典主義）様式（精神）との関係、さらにはその相違点と共通点などについて検討してみたい。またマニエリスム/バロック現象を16-18世紀の歴史事象と見た場合、これを現出させ成立させた真の要因ないし経済的・社会的あるいは精神的背景は何であったかといった問題についても検討してみたい。後半では、受講生各自が1人または2~3人のグループとなって予め発表期日を決め、各国における（広義の）マニエリスム・バロック美術あるいは音楽さらには哲学・思想の傾向を持っていると思われる芸術家・音楽家あるいは哲学者・思想家を選び、その時代背景やマニエリスム・バロック的特徴を、美術の場合は画像や写真を、音楽の場合はCD・MDなども使って、発表してもらい、その後で質疑応答を行い、最後に私が講評、さらに掘り下げるべき点や再考すべき点あるいは修正・補足すべき点などを指摘するといった授業の仕方を考えています。各自が研究・発表したものを、質疑応答や私のコメントを踏まえて、試験に代わるレポートとして各自で仕上げ、期末に提出すること。

【参考書】

アーノルド・ハウザー『マニエリスム ルネサンスの危機と近代芸術の始源』岩崎美術社、グスタフ・ルネ・ホッケ『迷宮としての世界 マニエリスム芸術』美術出版社、下谷和幸『マニエリスム芸術の世界』講談社、『バロック・コレクション（第1巻：バロックの愉しみ、第2巻：バロック的理性と女性原理、第3巻：天使の饗宴、第4巻：歪んだ真珠）』筑摩書房、エウヘーニオ・ドールス『バロック論』筑摩書房、若桑みどり『マニエリスム芸術論』岩崎美術社、イヴ・ボヌフォア『バロックの幻惑』国書刊行会

マニエリスム・バロック関連文献はこれ以外にも、日本語で読めるものだけでも多数あるので欧文文献も含め、授業中に紹介します。

人文科学特論

「マニエリスム・バロック入門 各国文学におけるマニエリスム・バロック的作品の発見・鑑賞と検証（受講者）およびフランスマニエリスム・バロック詩の鑑賞と分析（井田）」

2単位 秋学期

【法政医】

井田 三夫

【授業科目の内容】

秋学期は、各論で初講日から2回目の間に出席者のほぼ全員が1人でまたは2~3人でグループとなって行う発表の期日を予め決定します。その上で例えばモンテーニュ、コルネイユ、パスカルといったフランスの作家・思想家やミルトン、シェイクスピア、ジョン・ダンといっ

たイギリス作家、セルヴァンテス、ゴンゴラと言ったスペイン作家、さらに清少納言、上田秋成、三島由紀夫、泉鏡花といった我が国の作家など、受講者各自が（広義の）マニエリスムの／バロック的と考える作家・詩人を各自の発表日までに自ら「発見」し、その生涯・作品を調べ、その表現（文体）および思想（精神）におけるマニエリスムないしバロック的傾向（特質）を抽出、発表してもらい、それについて皆で質疑・応答し、最後に私が講評、さらに掘り下げるべき点や再考すべき点あるいは修正・補足すべき点などを指摘するといった授業の仕方を考えています。初回と第2、3回の授業では、春学期を履修しなかった受講生のために、マニエリスム・バロックについての総論・概論を話し、以後は各時間（発表者が多い場合は隔週）の三分の程度を使って私が翻訳のほとんどないフランスマニエリスム・バロック詩の実例を上げながら、鑑賞、分析するといった授業を考えています。

【参考書】

アーノルド・ハウザー『マニエリスム ルネサンスの危機と近代芸術の始源』岩崎美術社、グスタフ・ルネ・ホッケ『迷宮としての世界 マニエリスム芸術』美術出版社、グスタフ・ルネ・ホッケ『文学におけるマニエリスム』現代思潮社、藤井康生『フランス・バロック演劇研究』平凡社、倉田信子『フランス・バロック小説の世界』平凡社、ジャン・ルーセ『フランスバロック期の文学』筑摩書房、高山宏『奇想の饗宴』青土社、河村錠一郎『マニエリスムとバロック』青土社

マニエリスム・バロック関連文献はこれ以外にも、日本語で読めるものだけでも多数あるので欧文文献も含め、授業中に紹介します。

人文科学特論

「グスタフ・マーラーを考える」 2単位 春・秋学期
【法政医】 岩下 真好

【授業科目の内容】

グスタフ・マーラーの作品世界を、その創作のイマジネーションの源泉となったドイツ・ロマン派の文学やニーチェの思想、あるいはマーラーの生きた時代の状況や時代思潮との関連で考察する。作品をただ聴くだけでなく、関連する書物を数多く読んでもらいながら進めてゆく。また、授業担当者の最新の研究および批評家としての仕事のなかから、テーマに関連したホットな話題を選んで提供してゆくつもりである。授業の一環としてじっさいにコンサートに行くこともあるかもしれない（1回1500円～2000円程度の学生席利用）。たくさん聴き、たくさん読み、その上で濃い密度で語り合う授業と考えているので、履修者は多くて10名程度を理想と考えている。とりあえず交響曲第3番から入るつもりだ。

【参考書】

岩下真好著『マーラー その交響的宇宙』、キューン／クヴァンダー編（岩下真好編訳）『グスタフ・マーラー その人と芸術、そして時代』、ジルバーマン著（山我哲雄訳）『グスタフ・マーラー事典』、シュライバ

一著（岩下真好訳）『マーラー』など。また、ニーチェ著『ツァラトゥストラはこう言った』（翻訳は各種あり）も必読の参考書。その他、必要に応じて指示する。

人文科学特論

「近代日本対外関係史研究」 2単位 春学期
【法政医】 太田 昭子

【授業科目の内容】

幕末から明治時代を中心に、日本の対外関係史、日本人の対外意識のあり方を、主として社会的・文化的交流史の視点から検討します。文庫版・新書版などで簡単に入手できる文献を読み、当時の日本人の視点や議論の特徴を探りたいと思います。近代日本の対外観における連続性と非連続性、ナショナリズムのあり方などを一緒に検討しましょう。時間に余裕があれば、横浜開港資料館や日本新聞博物館の見学なども行ないたいと考えています。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

文献表を、ガイダンス・ウィーク翌週の初回授業に配布します。

人文科学特論

「妖しい映像～視覚の放蕩」 2単位 春学期
【法政医】 許 光俊

【授業科目の内容】

妖しい映像、具体的には映画・テレビ映画を研究する。傾向としては耽美的で暗示に満ちたもの。

なお、この授業に参加する者は、後期の「妖しい文学」も併せて履修すること（同じ曜日、時限）。しかし、すでに2003年に私の「文学」か「人文科学特論」を履修した者は、この前期のみ履修可能。

18歳未満禁止。良家の子女は親や世間に隠れて履修すること。

人文科学特論

「妖しい文学～観念の放蕩」 2単位 秋学期
【法政医】 許 光俊

【授業科目の内容】

漱石しかり、鷗外しかり、そもそも文学なんて妖しいものである。その奥底に不気味にうねっている情念や悪を知れば、こんなものが学校で教えられているとは、何かの間違いじゃないかという気すらしてくる（いや、真のやばさを隠すために教えられたり、はては紙幣にされたりしているのかもしれない）。その間違いにつけ込むのがこの授業だ。

18歳未満禁止。良家の子女は親や世間に隠れて履修すること。

【教科書】

許光俊『教科書には載せられない文学』（本年度刊行

予定)

人文科学特論 ・
「外から見た日本語」 2単位 春・秋学期
【法政医】 小屋 逸樹

【授業科目の内容】

この授業では、世界の中の日本語という視点から、日本語の特徴を文構造、文学、音声などにわたって、英語や他言語と比較しながら検討します。英文法は知っているが、日本語の文法は知らない(例えば、日本語のbe動詞は何か、といった問題)という学生や、我々の母語である日本語が他の言語と比べどのような仕組みになっているのか、といったテーマに関心のある学生の参加を望みます。演習形式の授業なので、受講希望者が多い場合は最初の授業にて選抜を行いません。

【教科書】

安藤貞雄著『英語の論理・日本語の論理』大修館

人文科学特論
「星の王子さま」を4か国語で鑑賞する試み」 2単位 春学期
【法政医】 齋藤 文雄

【授業科目の内容】

フランスの作家サン・テグジュペリAntoine de Saint-Exupéryの「星の王子さま」Le Petit Princeをフランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語の4か国語で読み合わせるにより、他言語・他文化への目を開く契機を与えることを目指す。担当者自身の語学力は、フランス語niveau avancé (université de Savoie) イタリア語livello Avanzato (Società Dante Alighieri - Comitato di Siena) スペイン語nivel Avanzado (Universidad de Salamanca)である。今後も学生諸君と共に切磋琢磨しながら学び続けていきたいと考えており、意欲ある諸君を歓迎したい。授業形態は、毎回可能な限り出席者全員に訳読をしてもらうが、1年生については発音と簡単な文法的質問に留め、平常点とレポートにより成績評価を行う。今年度は一応の目安として、XI - XIII章を読む予定である。

【教科書】

(仏)『Le Petit Prince』Collection folio/Gallimard (900円予価)、(独)『Der kleine Prinz』Karl Rauch Verlag (900円予価)、(伊)『Il piccolo principe』TASCABILI BOMPIANI (1200円予価)、(西)『El principito』El libro de bolsillo 348 (900円予価)

【参考書】

(英)『The Little Prince』A Harvest Book/Harcourt Brace & Company、(日)『星の王子さま』岩波書店
(注)自分の選択する言語のテキストは各自購入することが望ましいが、他言語についてはコピーを配付する。

人文科学特論
「星の王子さま」を5か国語で鑑賞する試み」 2単位 秋学期
【法政医】 齋藤 文雄

【授業科目の内容】

フランスの作家サン・テグジュペリAntoine de Saint-Exupéryの「星の王子さま」Le Petit Princeをフランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語で読み合わせるにより、他言語・他文化への目を開く契機を与えることを目指す。担当者自身の語学力は、フランス語niveau avancé (université de Savoie) イタリア語livello Avanzato (Società Dante Alighieri - Comitato di Siena) スペイン語nivel Avanzado (Universidad de Salamanca)である。ポルトガル語は今年秋学期開始時点で学習歴丸1年(8月にリスボン大学にて1カ月間語学研修予定)と浅い。しかし学生諸君と共に切磋琢磨しながら学び続けていきたいと考えており、意欲ある諸君を歓迎したい。

授業形態は、毎回可能な限り出席者全員に訳読をしてもらうが、1年生については発音と簡単な文法的質問に留め、平常点とレポートにより成績評価を行う。今年度は一応の目安として、XIV - XV章を読む予定である。

【教科書】

(仏)『Le Petit Prince』Collection folio/Gallimard (900円予価)、(独)『Der kleine Prinz』Karl Rauch Verlag (900円予価)、(伊)『Il piccolo principe』TASCABILI BOMPIANI (1200円予価)、(西)『El principito』El libro de bolsillo 348 (900円予価)、(ポ)『O Principezinho』Caravela (1400円予価)

【参考書】

(英)『The Little Prince』A Harvest Book/Harcourt Brace & Company、(日)『星の王子さま』岩波書店
(注)自分の選択する言語のテキストは各自購入することが望ましいが、他言語についてはコピーを配付する。

人文科学特論 ・ 2単位 春・秋学期
【法政医】 辻 幸夫

【授業科目の内容】

感覚・知覚、運動系、記憶、意識、推論、言語など、人は日々、認知的活動を営み生きている。本特論では最新の認知科学によって得られた知見を土台に、そこから敷衍・深化した諸問題について演習形式にて考察します。履修希望者は必ず初回の授業に出席して下さい。なお、履修人数は講座の性質上やむを得ず20名以内としますがどうかご理解下さい。

【教科書】

藤永保『ことばはどこで育つか』大修館(2001年)
(前期の数回のみ)

【参考書】

辻幸夫編『ことばの認知科学事典』大修館(2001年)
辻幸夫編『認知言語学キーワード事典』研究社(2002年)
辻幸夫編『認知言語学への招待』大修館(2003年)

人文科学特論

「Shakespeare in Performance: As You Like It」 2単位 春・秋学期

【法政医】 マクリン, ニール B.

【授業科目の内容】

In this course students will get the chance to develop their own interpretation of Shakespeare's Comedy, As You Like It. We shall work through the play, devoting on average one class to each scene: each week several students will have to prepare ideas to 'direct' a portion of this scene, and they will then put their ideas into practice during class. Each class will be divided into three sections: first we shall do some warm-up activities all together, then we shall divide into groups and each group shall rehearse under the leadership of their student directors, and finally each group shall perform 'their version in front of the others.

We shall use the original text of Shakespeare but students are welcome to use a Japanese translation if they prefer. English ability is an advantage but is not absolutely necessary; acting experience is also very welcome but is by no means required. The indispensable qualifications are energy, enthusiasm and a willingness to cooperate with other class members.

【教科書】

William Shakespeare 『As You Like It』

【商学部設置の少人数セミナー形式科目】

総合教育セミナー履修案内

総合教育セミナーのすすめ

大学における教育は多くの場合、講義という形態をとります。先人から受け継いだ知識を正確に教師から学生に伝達することが大きな目標のひとつですが、これを達成する効率的な方法として講義は優れています。しかし、講義の弱点は、学生が積極的に考え始め、教師と議論をしたり、さらに学生同士が意見の交換をしなくなった時にはあまり小回りがきかないことです。また、積極的な議論を誘発する雰囲気には乏しくなる傾向があることもあげられます。

この弱点を補うために、商学部では総合教育セミナーと呼ばれる授業形態を提供しています。教師と学生、あるいは学生同士との交流が授業時間内に活発に行われるようにとの配慮で、少人数のクラスとなっています。商学部の学生の資質として、自分の考えを論理的にまとめることができ、その考えを的確な日本語あるいは外国語のことばや文章で表現でき、さらに他人のことばや文章の意味を正確に理解でき、その上で有益な議論が展開できる能力が求められています。この能力を養うことが総合教育セミナーの主な目的なのです。

総合教育セミナーとして開講されるトピックスには様々なものがあります。積極的に参加してください。君達の興味に最も合うものを選びたいと思います。総合教育セミナーに参加し、教師や学友と親しく接することにより、大人として生きるかぎり陰に陽に問われる君たちの人生観や価値観を形成するきっかけも得られるかもしれません。

総合教育セミナーの履修上の注意

この科目は、選択必修科目ではありません。

また**仮登録が必要な科目でもありません。**(エントリーシート提出不要)

以下の講義要綱は、『外国語科目・総合教育セミナー履修案内(2004年)』に記載されている内容と同一です。

少人数のゼミという形態の授業ですので、担当者によって、履修人数の制限がされることがあります。

履修希望者は、必ずオリエンテーション期間中にある初回の授業に出席してください。出席できない場合は、履修できないこともあります。

総合教育セミナー(類)

「天体観測と天文学」

4単位 通年

【商】

表 實

【授業科目の内容】

夜空を眺めれば無数の星が光輝いていますが、これらの星の正体は…。宇宙には数々の謎があります。

本セミナーでは、これらの謎について考えると同時に、実際に天体観測を経験し、そのデータに基づいて天体の

構造について議論します。天体観測は、リモート望遠鏡にインターネットを経由して行うものと、望遠鏡を用いた直接の天体観測を行う予定です。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。

総合教育セミナー（類） 4単位 通年
【商】 木島 伸彦

【授業科目の内容】

心理学に関連したテーマを選出し、そのテーマに基づいて、参加者がそれぞれ独自の視点で調べ、まとめ、発表する、という一連の知的作業の訓練を行う。

今までのテーマは、「不登校」、「サイコパス」、「遺伝と教育」であったが、2004年度は、心理学の知見を如何に現在の日本の政策に影響を与えるのか、という点に着目して、心理学の知見を活かした自分なりの政策を作成することを目標とする。

海外での心理学の研究成果、あるいは政策について自分で調べてもらうので、英語の読解力があることを前提として授業を進める。

また、参加希望者が多い場合、木島の心理学を受講した学生を優先する。

【教科書】

毎回の講義で指示する。

【参考書】

毎回の講義で指示する。

総合教育セミナー（類）
「ゲーム理論入門」 4単位 通年
【商】 小宮 英敏

【授業科目の内容】

このセミナーではゲーム理論の入門編を学習します。ゲーム理論は経済学、社会学、政治学などの社会科学のさまざまな分野で使われています。特に、経済学においてはその市民権をほぼ獲得し、最近の教科書の多くはゲーム理論の解説にかなりの部分を割くようになってきています。従って、早いうちからゲーム理論の考え方に慣れておくことは将来の勉学を考えた場合かなり有利になることと思われます。また、ゲーム理論を学習する過程で確率的な思考も必要となります。確率的な思考は統計学の基本ですので、統計学の理解にも少なからず補助になると思います。ゲーム理論は統計学と同様社会科学における意思決定の基本的な道具です。この機会にゲーム理論の基礎を学んでみませんか。

なお、教科書は英語で書かれたものを使います。中学高校と6年間英語を学び続けた諸君には英語で新たな知識を得る能力はすでに備わっているはずですが、ある主題を英語で学ぶことが初めての諸君が多いかもしれませんが、トライする価値があると思います。

【教科書】

J. Watson 『Strategy An Introduction to Game Theory』 W.W. Norton & Co. (2002)

【参考書】

武藤滋夫著 『ゲーム理論入門』 日本経済新聞社

総合教育セミナー（類）
「環境問題を考える」 4単位 通年
【商】 根岸寿美子

【授業科目の内容】

人類へのさまざまな課題を抱えて始まった21世紀に、我々を取り巻く環境条件はいよいよ厳しさをましている。先進国と開発途上国の環境会議での対立は依然として残されている。そして場合によっては先進国のエゴのみが目立つようになっている。オゾン層破壊、地球温暖化等による地球環境の悪化により、人類を含めた動物、植物の種の保存が危機にさらされている。このような多種多様な地球環境問題は、経済的、社会的に国を超えた問題であり、ひとつの国では解決不可能で、地球規模での対策が必要とされていることがわかる。これから我々がそれらの問題を解決していくためには、過去の歴史的な経緯を十分に理解し現状を正確に把握することが必要と考えられる。そこで我々の住む地球環境を快適なものにするための方策を見つけ出すことがこのセミナーの課題となる。

【教科書】

なし。

【参考書】

必要に応じて紹介。

総合教育セミナー（類）
「生命科学技術を考える」 4単位 通年
【商】 長谷川由利子

【授業科目の内容】

最近の生命科学技術の進歩は著しく、その成果が医学・薬学・農学・水産学などさまざまな方面に応用され、ビジネスの面からも注目を浴びています。しかし、その一方で、社会的・倫理的問題も提起されています。このセミナーでは、生命科学技術がもたらす恩恵と問題を把握し、それらに対してどのように対処したらよいかを考えることを目的としています。また、文献の探し方、発表や討論の仕方、レポートのまとめ方などを身につけることも目的としています。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。

【参考書】

新聞・雑誌・学術書・インターネットなどから最新の資料を収集することもセミナーの大事な一部なので調査に必要な資料は自分で探すことを原則としますが、相談にはのります。

総合教育セミナー（類）

「素数の世界」

4単位 通年

【商】

深谷太香子

【授業科目の内容】

様々な文献等から、素数は昔から人々が関心を寄せる対象であった事がうかがわれます。私は数学者ですが、数学においては素数やそれに関わる世界は重要な研究対象です。奥の深い真理が解明され、驚かされる事が多くあります。また、実社会へも素数は暗号理論等を通じて応用があります。

本セミナーでは、学生の皆さんに実際に計算、本の輪読、更にテーマを見つけ、考え、調べて発表をしてもらう事を通じ、素数の世界の奥深さを実感しながら学ぶ事を目的とします。具体的なセミナーの進め方、内容については、話し合いもしながら初回のセミナーで説明します。興味の対象が広がった結果としての、数学の枠を越えた発表も歓迎します。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

初回に紹介。一例として、リーベンボエム（Paulo Ribenboim）著『素数の世界・その探索と発見』共立出版。

総合教育セミナー（類）

「バイオテクノロジー・バイオビジネスを探る」 4単位 通年

【商】

福澤 利彦

【授業科目の内容】

今やバイオの時代である。バイオ技術は飛躍的に進歩し、それに伴ってさまざまなバイオビジネスが出現している。このセミナーでは、バイオ関連の話題の中から、各自興味のあるテーマを決めて、発表（プレゼンテーション）してもらう。具体的には、各自がテーマに関する文献調査・研究を行い、発表する内容をパワーポイントにまとめ、プレゼンテーションおよび質疑応答を通して、議論を深める。また、プレゼンテーションした内容は、レポート（報告書）にまとめてもらう。このセミナーでは、バイオに関する多角的な議論を深めることはもちろんであるが、社会に出てから必要とされる情報発信・コミュニケーションに関するスキルを鍛錬することも大きな目標である。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

総合教育セミナー（類）

「最先端の技術」

4単位 通年

【商】

諸隈 之彦

【授業科目の内容】

21世紀の技術として、「バイオテクノロジー」、「情報

技術」、「ナノテクノロジー」、「環境のための技術」などが考えられています。本セミナーでは、これらの最先端技術に関し各自がテーマを決定し、調査研究して論文にまとめます。完成した論文をコピーして論文集を作成します。

総合教育セミナー（類）

「数学と文化と社会」

4単位 通年

【商】

渡部 睦夫

【授業科目の内容】

数理的な考え方の諸科学への浸透はめざましいものがあります。現在では、理工学、情報科学はもちろんのこと経済学、経営学、社会学、心理学といった分野にも大きな広がりを見せています。近い将来、数学的素養は教養の重要な条件の一つになるかもしれません。

数理科学のエンジンとなっている数学を生み出すものは何なのでしょう。未知なるものへの好奇心もあるでしょうし、数学の内発的な力もあるでしょう。さらに、外界である他の諸科学・文化・社会に触発されて、新しい考え方を発見したり、新しい視点に出会ったりすることもあるでしょう。

このセミナーでは、数学・文化・社会に焦点をあてて、メソポタミアから現代にいたる歴史的流れの中において、これらの相互作用を概観し、“無知”との戦いがいかになされてきたかを数学を通してみることを目的とします。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

最初の授業のときに説明する。

総合教育セミナー（類）

「イメージの魔術・魅力の構造」

4単位 通年

【商】

足立 典子

【授業科目の内容】

映画や音楽・ゲームなどさまざまな表現、あるいはプロモーション、広告などに使われるイメージ戦略の力について考えます。

スピード感、清潔感、自由、健康、若さ、かわいさ、笑い、あるいは暴力と破壊、男らしさなど、私たちの日常を取り囲んでいるイメージの「魅力」はどのように作られているのか。また、ある物語に感動するとき、感情移入はどのような仕組みで起こるのか、物語に隠されたメッセージやトリックはないか。

参加者全員による発表と議論を中心に分析を試みます。

総合教育セミナー（類）

「近代ヨーロッパ文化論・入門篇」

4単位 通年

【商】

石光 輝子

【授業科目の内容】

このセミナーの目的は二つある。

- (1) 近代ヨーロッパの文化に関する基礎的文献を講読して、ヨーロッパの文化に対する広汎な知見を養う。扱う予定の文献はベンヤミン、マックス・ウェーバー、シヴェルプシュ、シドニー・ミンツ、フィリップ・アリエス、上山安敏など。外国文献は翻訳で読む。
- (2) 大学の演習における基礎的な技法（文献の調べ方、口頭発表の仕方、論文の書き方など）を習得する。何よりも、文献を緻密に読んで、そのテーマについて考え、自分の考えを的確な表現で述べる訓練をする（読む訓練、考える訓練、書く訓練）。

【教科書】

文献が新書または文庫のものは購入してもらう。それ以外はプリントにして配布する。

総合教育セミナー（類）

「西洋古典紹介」

4単位 通年

【商】

入野田義人

【授業科目の内容】

西洋古典に興味をもってもらうため、その文学・哲学・社会学等の分野の古典を紹介する。分野については受講する諸君の希望をできるだけ取り入れたい。授業では、さまざまな著作の一部を、邦訳あるいは英語のテキストを用いて、講読、解説を行う。受講する諸君は、随時、本人が自主的に選択した本（岩波文庫などから選択）について、レポートを作成し、提出する。また、中休みとして、CD、ビデオを使用し、古典音楽、古典映画も紹介したい。

書物を批判的に読む力と、自分の主張をレポートにまとめる力を習得することを目標とする。

【教科書】

原書のコピー、文庫、等。授業の際に配布する。

【参考書】

なし。

総合教育セミナー（類）

「文学」を読む」

4単位 通年

【商】

大畑 純一

【授業科目の内容】

何はともあれ本を読むことが好きという人の参加を希望します。目標は、いわゆる「文学」と呼ばれているものを精読し、それを通して「深く思考する」ということで、場合によってはそこからさらに、今のようなこんな時代に「文学」が何の役に立つのか、などという話になるかもしれません。具体的には、普段あまり読む機会のない作品も含めて、小説、詩、戯曲など幅広く読んでいくつもりです。折にふれて単なる「読書感想文」よりも少し踏みこんだものを書いてもらい、それについて検討を加えるということもします。「文学」は単なる「気晴らし」以上のものでありうるのかどうか考えてみましょう。

総合教育セミナー（類）

「近代日本のコミュニケーションの歴史」 4単位 秋学期集中

【商】

小野 修三

【授業科目の内容】

私はかつてラジオ少年で、『初歩のラジオ』を愛読し、真空管のラジオを組み立て、ついに第1級アマチュア無線技士の資格を取るに至りました。そうした私にとって『日本無線史』という、昭和26年電波管理委員会の発行になる書物はかつての自分を再発見すると同時に、戦前の植民地統治の実態を知る上でも貴重な書物であると感じています。

本年度はこの時間は秋学期の集中なので、一日2時限を連続して運営される変則的な総合教育セミナーですが、上記『日本無線史』のほかに『日本航空史』（日本航空協会、昭和59年）『郵便創業談』（前島密、昭和11年）『日本放送協會史』（昭和14年）などを一緒に読み、朝鮮半島、台湾、満州、南太平洋を含めた近代日本における、無線、放送、航空輸送、郵便事業等のコミュニケーションの歴史の一端を勉強したいと思います。

【教科書】

なし。

【参考書】

参考文献に関しては、開始後に逐次指示する。

総合教育セミナー（類）

「中国の現代小説を読む」

4単位 通年

【商】

櫻庭ゆみ子

【授業科目の内容】

現代に生きる中国人と日本人は重なりあう部分があるだけあるだろうか、と、あえて粗っぽい問いを立て、これを文学の角度から考えてみようというのがひとつの目的。

1920年前後から今日までの中国文学をひとまとまりとしてとらえ、昨今のテキストから1919年までのものへと時代をさかのぼって読みを行う。授業では、小区分した時代ごとに概説を行った後、こちらの指定するテキストを担当者にレポートしてもらう。レポートを行うに当たって必要となるテキストをめぐる歴史的、社会的背景を調べる訓練、要約してまとめる訓練、適切な日本語で表現する訓練をすることも授業のひとつの目的である。

【教科書】

資料配布。

【参考書】

授業時に紹介。

総合教育セミナー（類）

「うた」の研究」

4単位 通年

【商】

佐藤 望

【授業科目の内容】

われわれが普段楽しんで聴いている音楽は、さまざま

な理論的・知的な力に支えられおり、かつ人間の思考や文化、歴史を写す鏡でもある。

本年度は「うた」をテーマに研究を行う。「うた」にはさまざまな種類のものがある。歌曲、歌謡曲、唄、民謡、声楽、合唱、ソング、リート、シャンソン、流行歌、国家、賛歌、詩歌、詩などなど、さまざまな語でわれわれは「うた」を呼んでいる。人間は人間の歴史のなかで、文化のなかで「うた」とどう向き合ってきたかを問う。

本セミナーでは、「うた」にかんする調査研究を通じて、アカデミックな方法に則り調査し、自ら考え、表現する能力を総合的に身につけてもらいたい。すなわち、文献調査、読解、情報整理、実地調査、文章作成、プレゼンテーション、ディスカッションといった、あらゆる学問に共通する基本を学ぶことがこのセミナーのねらいである。

【教科書】

適宜指示する。

【参考書】

適宜指示する。

総合教育セミナー（類）

「イベリアとイペロアメリカの歴史と文化」 4単位 秋学期集中

【商】 瀧本佳容子

【授業科目の内容】

スペイン・ポルトガルのイベリア両国は、8世紀初頭から7世紀以上に及ぶイスラム支配を経験した結果、他のヨーロッパ諸国と共通の基盤を持ちつつも、きわめてユニークな文化を築き上げました。レコンキスタが終結した15世紀末には、近代国家としての原型を整えると同時に、アメリカとアジアに進出して大航海時代の立役者となり、世界史に決定的な方向転換をもたらしました。

欧米諸国主導という現代世界の勢力図のもとができたのは、この大航海時代だといえます。日本にも、コロン（コロンブス）の航海から約半世紀後にポルトガル人が到来しますが、この最初の西洋文明との接触において日本は、世界史上でもまれな2世紀に及ぶ鎖国の道を選びました。

このセミナーでは、以上のようなことを念頭に入れつつ、イベリアとイペロアメリカの文化と歴史について、各自テーマを見つけてレポートを書いてもらいます。

なお、1週間に2コマ（2限連続）開講で、秋学期のみの集中講義となります。

*参考までに、今までにこの授業で提出されたレポートのテーマをあげておきます。

「大航海時代の中での日本と西洋の出会い 織田信長とルイス・フロイスを中心に」

「16世紀初頭におけるスペイン植民地社会の形成 メキシコにおける植民地支配」

「スペイン黄金時代」

「ポルトガル・アヴィース朝の王たち」

「スペイン近代初頭の経済について」

「イスラム支配下のイベリア 異なる宗教の共存」

「植民地帝国としてのスペイン史における海賊」

「カタルーニャ・ナショナリズム ～カタルーニャ語の復権」

「アントニオ・ガウディ - サグラダ・ファミリア聖堂 -」

「16～17世紀のポルトガル ～併合から再独立とセバステアニズム～」

「キリスト教の伝来 ～宣教師の活動～」

「スペイン内戦に対する各国の動向」

【教科書】

（ともにコピーを配布しますので、購入する必要はありません）

R. A. ストラドリング・M. ヴィンセント著（小林一宏監修、瀧本佳容子訳）『図説世界文化地理大百科 スペイン・ポルトガル』朝倉書店（1999年）、増田義郎『物語 ラテン・アメリカの歴史 未来の大陸』中公新書（1998年）

【参考書】

授業中に指示します。

総合教育セミナー（類）

「現代中国入門」 4単位 通年

【商】 段 瑞聡

【授業科目の内容】

本セミナーは、現代中国に関する基礎知識を身につけるための場を提供するものである。同時に日中関係をめぐる諸問題に対しても検討を加えたいと思う。

1949年10月に中華人民共和国が成立して以来、中国共産党は一貫して政権の座に就いてきた。2002年11月に共産党の第16回全国代表大会が北京で開かれ、胡錦濤総書記をはじめとする新しい指導部が選出された。会議では、私営企業主の入党が正式に認められ、党規約にまで書き込まれた。それまで主として労働者と農民を支持基盤にしてきた共産党はこれをもって変質してしまうのではないかと国際社会で注目されている。

2003年春には第10期全国人民代表大会（国会）が召集された。そこでは胡錦濤を国家主席、温家宝を國務院総理（首相）とする新しい国家指導部が選ばれた。彼らは毛沢東・鄧小平そして江沢民に次ぐ第四世代指導者と呼ばれており、今後少なくとも在任期間の5年間13億人を有する中国の舵取りをすることになる。経済発展と政治的安定が再優先課題とされているが、地域および個人所得の格差の問題、失業問題、環境問題、党官僚の腐敗問題などは先決課題となるのであろう。中国政府はそれらの問題にどのように対処するのかを中心に検討していきたい。

春学期は、高井潔司・遊川和郎編著『現代中国を知るための60章 第2版』を輪読し、現代中国が抱えている諸問題を検討する。

秋学期は、家近亮子著『日中関係の基本構造』を輪読し、日中関係を取り巻く諸問題を考える。

【教科書】

高井潔司・遊川和郎編著『現代中国を知るための60章 第2版』明石書店（2003年）、家近亮子著『日中関係の基

本構造』晃洋書房（2003年）

【参考書】

授業中、適宜紹介する。

総合教育セミナー（類）

「SEMINAR IN LEADERSHIP, STRATEGY, AND CHANGE IN GLOBAL ORGANIZATIONS」4単位 通年
【商】 トビン, ロパート I.

【授業科目の内容】

This course examines current issues in global business leadership, strategy, and organizational change. Topics will include entrepreneurship, marketing, joint ventures, leadership styles, market entry, and human resource development.

The course will be conducted as a seminar with lecture-discussions, student group presentations, case studies, video segments, experiential class activities, and research assignments.

【教科書】

Learning To Lead, Bennis and Goldsmith, Management by Joan Margreta and either First Break All The Rules by Buckingham et. al. or Good To Great By Jim Collins

【参考書】

I urge you to read as much as possible in English, including Fortune, Business Week, the Economist, Asian Wall Street Journal, and to watch CNN, CNBC and BBC. Student rates are available for Business Week

総合教育セミナー（類）

「イギリス研究」 4単位 通年
【商】 西川 正二

【授業科目の内容】

ガーデニングの流行や、イギリスに関する本の出版ブームは、今の日本に欠けているなにかを、イギリスを通して得ようとしている、現代日本人のこころの反映かもしれません。自分でイギリスに関する興味のあるテーマを見つけて、発表し、レポートにまとめることが、この授業の目的です。一見学問的でないようなテーマのものでも、興味に従って、自由に選択して下さい。自発的な学習習慣をつけるのも、この授業の目的です。履修するには必ず最初のガイダンスウィーク中の授業に出席すること。

【教科書】

なし。

【参考書】

小林滋監修『読んで旅する世界の歴史と文化 イギリス』新潮社（1992年）

総合教育セミナー（類）

「ハリウッドを遠く離れて 日本映画の場合」 4単位 通年
【商】 橋本 順一

【授業科目の内容】

小津安二郎を始め、溝口、成瀬、山中、マキノ、川島、木下といったキラ星のような巨人たちを中心に、日本映画の歴史を駆け足で回顧し、現代の我々が忘れてしまった（かのような）その鉅脈の豊かさを自らの眼で再発見してもらうことがこの授業の目的です。

【参考書】

塩田長和『日本映画五十年史』藤原書店（1992年）

総合教育セミナー（類）

「消費社会の成立と展開」 4単位 通年
【商】 平野 隆

【授業科目の内容】

今日わたしたちは無数の商品に囲まれ、それらを購入・消費して生きている。わたしたちが行う消費活動は、単なる生命維持や生理的欲求の充足ではなく、他人とのコミュニケーションという側面をもつ。つまり、わたしたちは消費を通じて見られたい自分を演出したり、他人にさまざまなメッセージを発信したりするのである。消費社会とは、このような意味における消費が大衆レベルにまで広がった社会ということができる。

この演習では、消費社会はいつ頃どのような過程を経て成立したのか、それは人々の生活をどのように変えたのか、近代小売業（デパート、スーパー等）、広告、ブランド、ファッションなどは消費社会の展開とどのような関係をもつのか、また消費社会はどのような社会問題を招いたのか、というようなトピックを、多様な視点（歴史学、社会学、経済学など）から検討することを目的とする。

このセミナーのもう一つのねらいは、基本的なアカデミック・スキル（文献の探し方・読み方、口頭発表の仕方、ディスカッションの仕方、論文の書き方など）を身につけることである。このような技術は、自分で問題を設定し解決するという主体的学習に必要な不可欠であり、三田の研究会でも（どのような専攻分野であれ）大いに役立つものであろう。

【教科書】

取り上げる文献は授業中に指示する。

【参考書】

過去のセミナーで取り上げた文献を以下にあげておく。

間々田孝夫『消費社会論』有斐閣（2000年）、鹿島茂『デパートを発明した夫婦』講談社現代新書（1991年）、常松洋『大衆消費社会の登場』山川出版社（世界史リブレット）（1997年）、松原隆一郎『消費資本主義のゆくえ：コンビニから見た日本経済』ちくま新書（2000年）、石井淳蔵『ブランド：価値の創造』岩波新書（1999年）

総合教育セミナー（ 類）
「世界の今を考える」 4単位 通年
【商】 湯川 武

【授業科目の内容】

本授業の目的は、さまざまな問題や課題がうずまく現代世界を、社会や経済、文化など多面的、重層的に考え検討し理解を深めるとともに、それに並行して、履修者各人が、自らの問題意識に基づいてテーマを見出し、最終的にはそのテーマで小さいながらも論文を書くことにある。したがって、テーマを選択し、それについてデータを集め、整理し、まとめそして発表するという基本的なスキルのトレーニングも、この授業の重要な目的となる。

【教科書】

教科書は特に指定しない。

【参考書】

河野哲也『レポート・論文の書き方入門』慶應義塾大学出版会（2002年）慶應義塾大学日吉メディア・センター編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会（2002年）

総合教育セミナー（ 類）
「ラテンアメリカを考える」 4単位 通年
【商】 横山和加子

【授業科目の内容】

2004年度の「ラテンアメリカを考える」では、現在のラテンアメリカ社会に見られるさまざまな特徴や事象の背景に、どのような歴史的過程があったかについて扱ってみたい。

インディオと総称される先住民族の文化の過去と現在、メキシコシティやサンパウロなどの巨大都市の問題、人種のるつぼといわれる社会の実態、貧困・麻薬・テロ・内戦、一般市民の生活、文学・音楽・美術、宗教と伝統などなど、参加者は自分の関心に応じてテーマを選択し、文献の検索のし方、資料の使い方、レポートの書き方を身につけつつ、年度末に、それらの事象の実態と歴史的背景について小論文をまとめ提出する。

教室では、春学期にいくつかの参考文献を輪読しながらラテンアメリカ社会の諸相を展望し、秋学期には各自の調査経過を順次報告しつつ、選択した課題にどのように取り組むべきかを、一緒に考えてゆきたい。

【教科書】

中川文雄他著『ラテンアメリカ研究への招待』新評論（1997年）

【参考書】

授業の中で適宜に指定する。

総合教育セミナー（ 類）(火5)
「21世紀の商店街」 4単位 通年
【商】 田上 竜也 牛島 利明
小湊 昭夫 石井 明

【授業科目の内容】

この授業では、皆さんが学ぶ日吉キャンパスの後背地である「日吉」および他の地域の商店街についてフィールドワークしながら、都市計画、商店街の運営、文化的イベントによる活性化などの考察、提言を行い、さらにその実現を図っていきます。大学の立地する地域を、単に生活したり消費する場所と捉えるばかりではなく、魅力ある「学生街」としての文化を創出しようと試みる、意欲ある学生の参加を歓迎します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業で指定。

総合教育セミナー（ 類）(木5)
「留学生セミナー」 4単位 通年
【商】 田上 竜也

【授業科目の内容】

このセミナーは留学生の皆さんの日本語能力を高めるとともに、皆さんの日本での生活を把握し、支援していくことを目的とします。また、日本人の学生も若干名参加して、相互の交流を進めることもその意義の一つです。日本と出身国の文化の違いを議論したり、レポートにまとめたりということを通じて、日本語を勉強するという形をとります。したがって商学部留学生は必ずこのセミナーを受講しなければいけません。また、留学生との交流を希望する日本人学生諸君の受講も歓迎します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業で指定。

総合教育セミナー（ 類）
「留学生セミナー」 4単位 通年
【商】 種村 和史

詳細については後日掲示等で案内します。

総合教育セミナー（ 類）
「荘内藩致道館徂徠学」 4単位 通年
【商】 松村 宏

【授業科目の内容】

日本中でめずらしく存続している上級武士文化人集団の伝統たる致道館徂徠学と一緒に学習研究する。彼らの教養と強健と品格を求めて体得すれば今の世界市民ビジネス上層青年に文化的中軸を与える。その古典主義の新

たな創造的体現への練習を積むことが、ここでの我々の目的であり方法でもある。初心者が対象なので素養は問わない。出席者に応じたレベルから出発する。題目は文字通りの無骨でも、内容は、狩野永徳の絵をどう見るか、京都派の雅楽はどう演奏されていたか、古流剣道の形(かた)は、どういう呼吸であるかという部類の問題である。(具体的方法は、授業内容に示す)

【教科書】

すべて原資料を複写して配布。

【参考書】

各回毎に指示。

【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】
総合教育セミナー〔春学期〕・〔秋学期〕

本科目は知的探求の基本である論理的思考とその口頭ならびに記述による表現力の養成を目指します。20人以下の少人数クラスで、教員と学生、そして学年同志の密なコミュニケーションを通し、調査、発表、ディスカッション、レポート作成など、学問の基本的手順・在り方を体験してゆきます。設けられた多様なテーマの中から自分が関心のあるものを選び、積極的に授業に参加して下さい。

総合教育セミナー

「レゴでロボットを作ろう！」

2単位 春学期

【理】

池原 雅章

【授業科目の内容】

理工学離れが言われて久しい昨今、その理由は様々ですが、大きな理由の一つは、子供の頃に物を作る喜びを味わっていないからだと思います。高度な科学技術を修得する前に、理工学の基本である何か新しい物を作るという喜びを味わって欲しい、それが一番の目的です。

本セミナーでは、作る人のコンセプトを比較的短時間で組み込むことのできるレゴ(マインドストーム)を使って、学生諸君の創意工夫によってどのようにも進化できるロボットを作り、作ることの喜びを感じて欲しいと考えています。小さな子供達が自分で考えたことを母親に話したがるように、自分の工夫によってできたものを、人に見せたい、話したい、これがプレゼンテーションの原点だと思います。

総合教育セミナー

「日本の経済 - われわれはどこにあり、どこに向かうべきか - 」

2単位 春学期

【理】

井出 亜夫

【授業科目の内容】

日本経済の現状及びその推移

これを構成する各セクター(産業、企業、政府、消費者)の状況

世界経済との関わり

を觀察し、

日本の経済社会の今後

について考える。

【教科書】

『日本経済図説(第3版)』岩波新書

【参考書】

『日本経済図説(第2版)』岩波新書 『世界経済図説(第2版)』岩波新書

総合教育セミナー

「自分を読むための一つのヒント」 2単位 春学期
【理】 猪股 光夫

【授業科目の内容】

自分を読むための方法はたくさんありますが、ここでは古典的な精神分析の方法をヒントにして、子供時代の親子関係や、兄弟関係、友人関係などを考えることによって、現在の自分のありようを再検討してみたいと思います。

このような方法が有効な理由の一つは、私たちが現在の人間関係の中で、全く知らないうちに過去の人間関係を繰り返して演じているからです。このことはその人の知性や意識の持ち方を越えたところで再演されてしまうため、私たちはあまり考える機会を持たないまま暗闇の中に放置してしまいます。たとえば私たちが友人や先輩や恋人との関係で、今経験している愛や憎しみや嫉妬や挫折感や悲しみや怒りといった情動は、過去に母親や父親のような身近な人達との関係の中で何度も味わったことのあるものにちがいないのです。このような過去の繰り返しのなかにいる限り、私たちはどんなに新しい人と出会おうとも、深い部分では決して新しい出会いも感動も経験もなく、過去を虚しく繰り返しているだけになってしまいます。

過去の反復から少しでも自由になるためには、まず自分の過去の人間関係を分析して、言語化し意識化する必要があります。なぜなら私たちは意識化できないものこそ反復する傾向があるからです。

過去の自分を考えるためのヒントをあたえてくれるテクストとして、アリスミラー（Alice Miller）の著作を第一候補と考えていますので、まずその一部を読んで、批判検討する予定です。彼女によれば、私たちは大抵自分の子供時代を、幸福なものであったと思っているけれども、実はそれはとんでもない嘘であり、当時の親子関係の不幸をおおいかくすための幻想にすぎない。子供は親の期待や欲望に忠実であることを強制され、親の愛を失う恐怖によって、親に忠実な良い子になり、その結果社会のルールに忠実な良い大人になっていくのだ、ということになるのです。良い子になる過程において、子供は自分の欲望を捨て、他者の欲望だけで生きようになり、それでも本人は自分の欲望で生きていると思い込むようになる。自分では自分の欲望を生きているナルシストだと思っても、そのような人は自分の核を失った、自己愛障害者なのだと言っています。これは特殊な家庭の出来事ではなくて、ごく普通の、いわば立派な家庭におけるドラマであるため、大抵の人がかれ少なかれ自己愛障害（narcissistic disturbance）を生きており、本当の意味で自分を生きて、愛することが出来ずに、虚しさを反復することになります。

【教科書】

プリント教材。

総合教育セミナー

「エコロジカルに学ぶ。生きる。～地球環境問題を考える～」
2単位 春学期
【理】 長田 紀子

【授業科目の内容】

「環境の世紀」と呼ばれる21世紀。この世紀を生きる市民として、地球環境問題をどのように捉え、取り組んで行けば良いのだろうか。

この授業は、地球環境という視点から各自のテーマを決め、調査研究・発表・レポート作成を中心に進めていく。

この授業への参加を通して、問題発見、口頭・記述による表現、協働作業等の能力を養うことを目指す。さらに、今世紀を生きる学生・研究者・市民として、自分自身の座標軸を確立することを目的とする。

【教科書】

課題図書：石弘之『地球環境報告』岩波新書（1998年）
その他の課題図書は授業中に紹介する。

【参考書】

授業中に紹介する。

総合教育セミナー

「理想の国語辞書とは？：身近な言葉を分析してみよう」
2単位 秋学期
【理】 小原 京子

【授業科目の内容】

日頃私達は日本語を使いこなしてはいますが、日本語について気付いていない事柄もたくさんあります。たとえば、「言う」と「話す」の違いを外国人に説明できますか？「越す」と「越える」はどう使い分けますか？

そんな時国語辞書を見ても、あまり参考にはなりません。それは、今の国語辞書が、言葉の意味についての説明や他の言葉での置き換えを主に載せていて、その言葉の使用法に関する知識やナマの生きた用例を充分載せていないからです。

このセミナーでは、普段何気なく使っている単語の使用法に関する、日本語ネイティブスピーカーが持っている知識について分析してみます。特に、外国人やコンピュータが作文できるようにその言葉を説明するには、という観点から考えてみます。その際コーパス（体系的に収集されコンピュータに蓄積されたテキストの集合体）を使って、自分以外の日本語ネイティブスピーカーがその単語を実際にどのように用いているかを探ります。

このような作業を通じて既存の国語辞書にはないけれども、日本語ネイティブスピーカーにとっても読んで楽しい記述、日本語学習者やコンピュータにとって是非必要な情報について皆さんと考えてみようと思います。

【教科書】

授業中に指示します。

【参考書】

国広哲弥著『理想の国語辞典』大修館書店（1997年）

2500円) 仁田義雄著『辞書には書かれていないことばの話』岩波書店(2002年 1500円) その他国語辞典授業中に指示します。

総合教育セミナー

「笑いについて」 2単位 春学期
【理】 金田一真澄

【授業科目の内容】

笑いは、人間とサルのみが持つ特徴です。

「笑い」について、人間と笑いとの関係、笑いの研究史、笑いの原因など、様々な問題を議論します。

学生には、笑いについて書かれた文献リストを渡し、それらを利用して文献を読み、様々な角度から笑いを検討します。最後に各自レポートとしてまとめ、提出します。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業でリストを渡します。

総合教育セミナー

「ユング心理学の世界に遊ぶ」 2単位 春学期
【理】 小林 邦夫

【授業科目の内容】

近代文明の科学とその知識は、人間の外側へと向かい、多大なる恩恵とそしてその弊害をもたらした。反面、人間の内側へと向かう科学の発展は遅々として進まず、我々は、我々自身のものであるはずの我々の「こころ」について、何も知らないに等しい。C. G. ユングの心理学は、近代合理主義を背景とする科学文明の枠組みから外れた、諸分野を堂々と取り上げ、考察し、そして現代の精神的危機を救済すべき「拠り所」として我々に突き付けている。以下の「授業の計画」を参照。これらの分野は、「非科学を科学する」とも表現できるし、「迷信に近い似非科学の世界」とも表現できよう。しかしユング心理学の魅力はまさにそこにこそあるのであり、現代人の抱える諸問題を解明してくれるものなのである。

【教科書】

文・大住誠、イラスト・田島薫美『ユング』(FOR BEGINNERSシリーズ65) 現代書館(1236円)

【参考書】

アンソニー・ストー編著(山中康裕監修)『エッセンシャル・ユング』創元社(3914円)

総合教育セミナー

「美術作品について論述する」 2単位 春学期
【理】 近藤 幸夫

【授業科目の内容】

この授業は、口頭発表やレポートを通じて、20世紀美術および現代美術をみるうえでの知識の習得を目的とします。

具体的には、各自テーマを設定し、それに沿って美術

展を見学したり資料を調べるなどして、その結果を口頭発表、ディスカッション、レポートなどで発表します。特に理工学部の学生にとっては、如何に他分野の資料にアクセスするかという練習にもなります。

【教科書】

ありません。

【参考書】

授業で見学した展覧会のカタログなど。

総合教育セミナー

「推理小説論を読む(1)」 2単位 春学期
【理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

「推理小説」というジャンルについて書かれてきたさまざまなものを読み、このジャンルに固有の問題を理解することを目指します。また、このテーマをめぐって、口頭発表やレポートで自分の見解を表現する練習をします。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

教室で指示します。

総合教育セミナー

2単位 春学期
【理】 富田 豊

【授業科目の内容】

講義ノートを作る。

【参考書】

『科学技術日本語案内』慶應大学出版

総合教育セミナー

「化学でのぞく神秘の世界」 2単位 春学期
【理】 平林 義彰

【授業科目の内容】

工学における『化学』は、衣料品や医薬品、生活用品、ハイテク製品、住宅関連資材など、我々の身の回りの衣・食・住に関わる材料や製品を作るときの「道具」として考えることができます。

ここでは「ものをつくる」という観点から『化学』をとらえ、プラスチック光学材料研究室の見学やガラス細工の実験を体験しながら、実際に見学記や実験レポートを作成し、科学的表現法や科学技術文章の書き方などを学びます。また、新聞の科学記事の中から上に述べた「道具」としての『化学』の話題を検索し、それを書いた新聞記者の立場になって発表して、プレゼンテーションの基本的な方法を身に付けることを目標とします。

科学技術文章の特徴は、「事実」と「意見」をはっきり分けて書くことです。実験レポートを書くときにこの書き方の基本をおろそかにしますと、内容の不明瞭なレポートになり、再提出ということになってしまいます。

この科学技術文章の書き方が卒業論文、ひいては研究論文の書き方の基本となります。

時間割の関係で春学期に履修できないときは、秋学期の総合教育セミナー〔秋学期〕平林義彰を履修してください。ほぼ同じ内容で実施する予定です。

【教科書】

必要に応じて講義資料プリントを配布します。

【参考書】

山崎信寿他『科学技術日本語案内 新訂版』慶應義塾大学出版会（2002年）、相吉英太郎編『理工系大学生のための日本語文書知的作成法』（非売品）慶大理工学部（1998年）、木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社（1981年）、高木誠司『理科系の論文作法』丸善（1997年）、山口喬『エンジニアの文章読本』培風館（1988年）

総合教育セミナー

「道具について考える よい道具とは何か？」

2単位 春学期

【理】

森 泉

【授業科目の内容】

私達は日頃から様々な道具を使って生活しています。ドライバーのようなごく簡単な工具からコンピュータのような高度の電子機器に至るまで、私達は道具に囲まれて生きていると言っても過言ではないでしょう。このセミナーでは普段見過ごされてしまいがちな身近な道具を観察し、色々と考えてみたいと思います。

【教科書】

佐貫亦男『ドイツ道具の旅』（光人社NF文庫）

【参考書】

佐貫亦男『道具の再発見』（講談社ブルーバックス）

教科書として挙げたものと同じ著者の本である。データが古く、その点で現状にそぐわなくなっていることを除けば、道具の本質を語るという意味で本書の方が優れている。一読の価値あり。但し絶版なので図書館、古書店などで探して欲しい。

総合教育セミナー

「新時代生活支援機器のデザイン」

2単位 春学期

【理】

山崎 信寿

【授業科目の内容】

新製品企画、ロボット、人間、生活、社会、家具、建築、デザインに興味を持つ人向きです。自分で決めたテーマについて、調査し、発表し、議論し、考える機会を設けます。このような作業を通じて多面的な見方と論理的思考ができるようになるのが、このセミナーの目標です。また、書くことと話すことに慣れ、自分の考えを表現できるようになることを目指しています。

【教科書】

特に指定しません。関連資料は配付します。

【参考書】

木下是雄『理科系の作文技術』中公新書（1981年）、日本機械学会編『生活を変えた技術』技報堂出版（1997

年）

総合教育セミナー

「Electronics Design」

2単位 秋学期

【理】

池原 雅章

【授業科目の内容】

学生の皆さん、今までハンダづけをしてラジオ等の電子工作をしたことがありますか？

工学の基本は物作りであり、ハードを知ってこそ、真に有効なソフトが開発できるのです。

本セミナーでは、実際にハンダづけを行って、トレーサーロボットを製作しながら電子部品の動作を理解し、自分の手でものを作ることの真の喜びを感じて欲しいと考えています。製作を通じて分かったこと、苦労した点、今後の課題等文章としてまとめる能力も高めていきたいと考えています。

総合教育セミナー

「生命を考える」

2単位 秋学期

【理】

加藤万里子

【授業科目の内容】

生命全般について、ビデオや議論を通じて考えていきます。自分の命は自分だけのものか？延命治療や臓器移植、なぜ自分は地球に生まれてまわってきたのか？地球外生命は存在するのかなど、分野にとらわれることなく、さまざまな面からとらえていきます。文章添削のほか、ショートスピーチを繰り返し、人前で話すことに慣れる訓練もします。

総合教育セミナー

「日本文化の生成 異文化の受容とその展開」

「自国の文化・他国の文化について改めて考えてみよう」

2単位 秋学期

【理】

木下 京子

【授業科目の内容】

日本は主に中国や朝鮮半島の文化を摂取し、開国後は欧米諸国の影響を強く受け今日に至っています。けれども身近な例を挙げると、「バレンタインデー」のように異なった意味で採択された習慣もあれば、「あんぱん」のように「パン文化」が移入されて独自の展開を果たしたものもあります。逆に日本の文物が思わぬ形で海外諸国に受容されていることもあります。そこで本セミナーでは、受講者各自が日本文化において興味ある事項を調査し、諸外国との比較検討を行い、さまざまな角度より考察してもらいます。その成果を授業時に口頭発表し、文章にまとめる練習をします。できればこの機会に、パワーポイントを駆使しての発表を試みてほしいと思います（希望者のみ）。壮大なテーマではありますが、日本文化を形づくる特性の一片でも見つけることを期待しています。

【教科書】

プリントを配布。

【参考書】

木下是雄『理科系の作文技術』中央公論新社

総合教育セミナー

「現代における言葉のあり方」 2単位 秋学期
【理】 金田一真澄

【授業科目の内容】

時代とともに言葉は変わってきました。単に単語レベルだけでなく、音韻論、シンタックス、語用論のレベルでも変わりました。最近の携帯電話を使つてのEメールなど、コミュニケーションの道具によつても変わります。その時代の急激な変化に日本語が追いつかなくなっているように思います。では現代の言葉はどうあるべきか、それを一緒に考えてみたいと思います。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

総合教育セミナー

「ユング心理学の世界に遊ぶ」 2単位 秋学期
【理】 小林 邦夫

【授業科目の内容】

近代文明の科学とその知識は、人間の外側へと向かい、多大なる恩恵とそしてその弊害をもたらした。反面、人間の内側へと向かう科学の発展は遅々として進まず、我々は、我々自身のものであるはずの我々の「こころ」について、何も知らないに等しい。C. G. ユングの心理学は、近代合理主義を背景とする科学文明の枠組みから外れた、諸分野を堂々と取り上げ、考察し、そして現代の精神的危機を救済すべき「拠り所」として我々に突き付けている。以下の「授業の計画」を参照。これらの分野は、「非科学を科学する」とも表現できるし、「迷信に近い似非科学の世界」とも表現できよう。しかしユング心理学の魅力はまさにそこにこそあるのであり、現代人の抱える諸問題を解明してくれるものなのである。

【教科書】

文・大住誠、イラスト・田島薫美『ユング』(FOR BEGINNERSシリーズ65)現代書館(1236円)

【参考書】

アンソニー・ストー編著(山中康裕監修)『エッセンシャル・ユング』創元社(3914円)

総合教育セミナー

「美術作品について論述する」 2単位 秋学期
【理】 近藤 幸夫

【授業科目の内容】

この授業は、口頭発表やレポートを通じて、20世紀美術および現代美術をみるうえでの知識の習得を目的とします。

具体的には、各自テーマを設定し、それに沿って美術展を見学したり資料を調べるなどして、その結果を口頭発表、ディスカッション、レポートなどで発表します。特に理工学部の学生にとっては、如何に他分野の資料にアクセスするかという練習にもなります。

【教科書】

ありません。

【参考書】

見学した展覧会のカタログなど。

総合教育セミナー

「推理小説論を読む(2)」 2単位 秋学期
【理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

「推理小説」というジャンルについて書かれてきたさまざまなものを読み、このジャンルに固有の問題を理解することを目指します。また、このテーマをめぐって、口頭発表やレポートで自分の見解を表現する練習をします。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

教室で指示します。

総合教育セミナー

2単位 秋学期
【理】 二瓶 栄輔

後日掲示または別紙で案内します。

総合教育セミナー

「身近な化学を調べよう」 2単位 秋学期
【理】 平林 義彰

【授業科目の内容】

科学文章の特徴は、「事実」と「意見」をはっきり分けて書くことです。実験レポートを書くときにこの書き方の基本をおろそかにしますと、内容の不明瞭なレポートとなり再提出ということになってしまいます。この科学技術文章の書き方が卒業論文や修士論文、ひいては研究論文の書き方の基本となります。

工学における『化学』は、衣料品や医薬品、生活用品、ハイテク製品、住宅関連資材など、我々の身の回りの衣・食・住に関わる材料や製品を作るときの「道具」として考えることが出来ます。

ここでは「ものをつくる」という観点から『化学』をとらえ、高分子化学研究室の見学やガラス細工の実験を体験しながら、実際に見学記や実験レポートを作成し、科学的表現法や科学技術文章の書き方を学びます。また、新聞の科学記事の中から上に述べた「道具」としての『化学』の話題を検索し、それを書いた新聞記者の立場になって発表して、プレゼンテーションの基本的な方法を身に付けることを目標とします。

時間割の関係で秋学期に履修できないときは、春学期の総合教育セミナー〔春学期〕平林義彰を履修してください。ほぼ同じ内容で実施する予定です。

【教科書】

必要に応じて講義資料プリントを配布します。

【参考書】

山崎信寿他『科学技術日本語案内 新訂版』慶應義塾大学出版会（2002年）、相吉英太郎編『理工系大学生のための日本語文書知的作成法』（非売品）慶大理工学部（1998年）、木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社（1981年）、高木隆司『理科系の論文作法』丸善（1997年）、山口喬『エンジニアの文章読本』培風館（1988年）

総合教育セミナー

「ドイツの工業製品を味わう その長所と短所」

2単位 秋学期

【理】

森 泉

【授業科目の内容】

ドイツ製というと、少なくともこれまで日本では信頼性の高い製品というイメージがありました。最近はMade in Germanyといえども、必ずしも高品質の証にはならないという声も聞きます。それでもなお自動車をはじめとしてドイツ製品信仰は根強くあるようです。ところで、実際のところドイツの工業製品の優れたところはどんなところにあるのでしょうか？このセミナーではカタログデータではなく、使い易さ合理性といった面から身近なドイツの工業製品について考えてみたいと思います。

【教科書】

佐貫亦男『ドイツ道具の旅』（光人社NF文庫）

【参考書】

佐貫亦男『道具の再発見』（講談社ブルーバックス）
教科書として挙げたものと同じ著者の本である。データが古く、その点で現状にそぐわなくなっていることを除けば、道具の本質を語るという意味で本書の方が優れている。一読の価値あり。但し絶版なので図書館、古書店などで探して欲しい。

学部独自設置授業科目

1 文学部

科目名は、ゴシック(太字)部分です。() カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考(証明書などには記載されない科目名)です。

人文科学特論(英米文学)

「英米文学・英語学における『笑い』と『涙』」 4単位 通年
大串 尚代 河内 恵子
松田 隆美

【授業科目の内容】

みなさんはイギリス文学やアメリカ文学にどのようなイメージを持っているでしょうか。イギリス文学なら『モーリス』『眺めのいい部屋』『ジェイン・エア』など映画化された数々の作品を、アメリカ文学ならポール・オースターやドン・デリーロなどの現代文学作品を思い出す人が多いでしょう。文学や映画の他にも音楽や芸術などの文化的側面で、イギリスやアメリカは常にわたしたちの視野に入ってくる国です。また「英語」という言葉は、長年わたしたちがもっとも親しんできた外国語のひとつでもあります。

この講座では、英米文学・英語学の基礎的なことについて、オムニバス形式で授業をすすめます。今年度は「英米文学・英語学における『笑い』と『涙』」を全体のテーマとし、文学やことばにまつわる文化的な背景をさぐります。人が笑い、涙することは、どのように表象されてきたのか。また西洋文化において笑いや悲しみはどのような意味があるのかについて、一緒に学んでいきます。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業中に指示します。

人文科学特論(音楽)

「管弦楽法」入門」 4単位 通年
三宅 幸夫

【授業科目の内容】

本講義は、18世紀後半に確立された「オーケストラ」の基本構造とその拡大、さまざまな楽器の導入とその効果について、管弦楽曲の名作(オペラやバレエもふくむ)を実例として論じます。われわれは音の「高さ」や「長さ」については敏感ですが、管弦楽法による「音色」の変化については、いささか鈍感なように見受けられます。したがって本講義がオーケストラを楽しむための一助になれば幸いです。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業時に適宜指示します。

人文科学特論(国文学)

「日本語・日本文芸の諸相」 4単位 通年
関場 武 岩松研吉郎
川村 晃生 佐藤 道生
藤原 茂樹 松村 友視
石川 透

【授業科目の内容】

国文学専攻の専任教員によるオムニバス形式の授業。古事記・万葉集から伊勢物語・御伽草子・仮名草子、軍記物語・説話文学、森鷗外や泉鏡花等を材料として、日本文芸やことばについて、各々の立場で講義を行う。一方、折口信夫や平安朝日本漢文学を取り上げ、日本人の心性を、民俗学的・比較文学的側面から探ると共に、現在その対応が焦眉の急となっている環境問題を、古典和歌を題材に考察する。また、国語辞典や英和・和英・仏和辞典等を題材に、辞書編纂の歴史やことばの変遷を辿る。

【教科書】

なし。コピーや映像資料を適宜使用。

【参考書】

授業時に各講師より紹介。

人文科学特論(古典読書会)

「プラトンと現代 美感的教育論との関連において」 4単位 通年
小松 光彦

【授業科目の内容】

「人間は言葉の完全な意味で人間であるときにのみ遊ぶのであり、また遊んでいるときにのみ完全に人間である。」という、フリードリッヒ・シラーの一見逆説的にも思える命題の根底には、人間の自由が内包する道徳と自然との二元性およびその克服という、古代から現代にまで及ぶ西洋思想史の伝統を貫く問題が横たわっている。本授業では、古典のテキスト(邦訳)の読解を通じて、この遙かな射程をもつ問題を展望しつつ、学生諸君の間に創造力豊かな対話的思考を促すことをねらいとしたい。

【教科書】

シラー著『人間の美的教育について』(石原達二訳、富山房百科文庫11、シラー著『美学芸術論集』(1977年刊)所収)、プラトーン著『饗宴』(新潮文庫)、プラトン著『パイドロス』(岩波文庫)

【参考書】

プラトン著『ゴルギアス』、『国家(上・下)』(いずれも岩波文庫)

その他、必要に応じて指示、もしくはコピーを配布。

人文科学特論（西洋史）

「歴史を学ぶために 特に西洋史のために」 4単位 通年
神崎 忠昭

【授業科目の内容】

歴史を学ぶことは、年号や事実を丸暗記することではありません。明解な問題を設定して、調査・研究の結果、説得性ある結論に達することが重要なのです。本講義は、そのために必要なことを身につけるための初歩的な訓練です。最終的には、西洋史について、文献リストと注のついたレポートを作成できるようになることを目的にします。

【教科書】

E・H・カー著『歴史とは何か』（岩波新書 1962年）、澤田昭夫著『論文の書き方』（講談社学術文庫 1977年）、ジョン・H・アーノルド著『歴史』（岩波書店 2003年）を用います。さらにそのあとで、別の文庫あるいは新書をテキストとして用います。

人文科学特論（西洋史）

「歴史に学ぶ」 4単位 通年
清水 祐司

【授業科目の内容】

この授業は次のことを目的とします。

- (1) 「歴史は暗記物ではない。それは主体的で知的な営為である」との認識を深めること。
- (2) 「アカデミックな読書・探究とはどのようなものであるか」を理解してもらうこと。
- (3) 英語で書かれた西洋史の文献を読む練習。

【教科書】

浜内 譲著『現代史に学ぶ』（岩波新書）、杉本良夫、ロス・マオア著『日本人論の方程式』（ちくま学芸文庫）

【参考書】

「読書リスト」を渡します。

人文科学特論（中国文学）

「中国文化を考える」 4単位 通年
岡 晴夫

【授業科目の内容】

中国の文化（言語・文学・歴史・芸術・演劇芸能・飲食・風俗習慣等々）についてその概略をのべ、受講生諸君と一緒に考えていきたい。

【教科書】

特になし。

【参考書】

随時指示する。

人文科学特論（哲学）

「西洋哲学入門」 4単位 通年
納富 信留

【授業科目の内容】

西洋哲学の主な著作を、プラトンから始めていくつか翻訳で読み、分析と議論を通じて「哲学とは何か」を考えていく。プラトンの『ソクラテスの弁明』『ゴルギアス』を春学期に、デカルト、カント、ニーチェなどを秋学期のテキストとして考えている。担当者による報告と議論を適宜おりまぜていく。

【教科書】

納富信留著『プラトン』（NHK出版）、他は授業時に指示する。

【参考書】

授業時に紹介する。

人文科学特論（哲学）

「レヴィナスを自分のことばで語るために」 4単位 通年
堀江 聡

【授業科目の内容】

当代流行のフランス現代思想のなかでも、近年各方面で関心が高まりつつあるレヴィナスの主著を取りあげる。ゼミナール形式で参加者が自発的に意見を述べ合うのを助けるのが私の役目と心得る。最低限の古典的知識は伝えるつもりだが、今年度はどこまで余計な口をはさまないでいられるか自分を試してみたい。

【教科書】

エマニュエル・レヴィナス著『全体性と無限』、合田正人訳、国文社、1989年

【参考書】

レヴィナスの概説書は手軽にかなり多くのものが入手可能です。各自読み進めて下さい。

人文科学特論（東洋史）

「イスラーム世界史入門」 4単位 通年
長谷部史彦

【授業科目の内容】

中東を中心としたイスラーム世界を歴史的に理解したいと考えている学生諸君を対象とした入門講義です。日本語で書かれた文献をいくつか選んで購読し、毎回ではありませんが発表形式も取り入れ、自由に討論しながら進めてゆくつもりです。具体的には、日本語で読める数少ない「原典史料」であるイブン・バットゥータの『大旅行記』、イブン・ハルドゥーン『歴史序説』、それにオスマン帝国、近現代のイスラーム思想・運動、イスラーム都市論などに関する研究文献を幅広く取り上げ、一緒に読んでゆきたいと思っています。

イスラーム世界に関する固定的なイメージに揺さぶりをかけることがこの授業のねらいのひとつです。イスラーム世界史に少なからず興味があり、指定の文献（コピ

一を配る場合もあります)を通読し、積極的に授業に参加し続けられる人であれば、基礎知識がなくても歓迎します。

人文科学特論(独文学)

「ドイツ学事始」 4単位 通年
〔春学期担当〕平田栄一郎
〔秋学期担当〕桑川麻里生

〔授業科目の内容〕

ドイツ語圏に関するあらゆる事象を研究する学問を「ドイツ学Germanistik」といいます。本講義ではこの地域の文化・芸術・メディアの特徴を文献や映像資料などから理解してもらい、ドイツ学への手ほどきをします。詳細については第1回目の講義で説明しますので、関心のある向きは必ず出席してください。

人文科学特論(日本史学)

『日本書紀』を読む 東アジアの中の日本」 4単位 通年
長谷山 彰

〔授業科目の内容〕

『日本書紀』巻20～22の講読を通して、6世紀後半から7世紀前半の日本の内政と外交の両面について考察する。

〔教科書〕

坂本太郎他校注『日本書紀』(四)岩波文庫1995年

〔参考書〕

笹山晴生著『日本古代史講義』東京大学出版会、井上光貞著『飛鳥の朝廷』(小学館版日本の歴史3)

人文科学特論(美術)

「日本絵画の見方・学び方」 4単位 通年
〔春学期担当〕河合 正朝
〔秋学期担当〕林 温

〔授業科目の内容〕

日本絵画の代表的作品について、多角的に検討することによって美術作品の見方と美術史研究の基礎的方法を学ぶ。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

そのときに対象となる美術作品に応じて適宜指示する。

人文科学特論(仏文学)

「20世紀フランス文学と思想」 4単位 通年
市川 崇

〔授業科目の内容〕

20世紀のフランス文学・思想の中から、主に20年代末から50年代までに活躍した、作家・思想家を取り上げ、彼らが対峙していた社会、思想史上の問題について考え

たいと思います。

講義全体を2部に分け、第 部では、シュールレアリスム、「ドキュマン」誌などに参加した前衛的芸術家達における「30年代の危機」意識を確認した後、40年代の「実存主義哲学」の誕生の過程を辿ります。

第 部では、ジャン＝ポール・サルトル、ジョルジュ・バタイユ、モーリス・ブランショらの批評作品を、また同時にその論考の対象となっている文学作品を検討しながら、文学の社会的機能に関するさまざまな考え方を比較対照することになります。

〔教科書〕

授業時間内にプリントを配布します。

〔参考書〕

モーリス・ブランショ著『文学空間』現代思潮社、『フランス文学講座5思想』大修館書店、ジャン＝ポール・サルトル全集『シチュアション』人文書院

人文科学特論(民族学考古学)

「民族学考古学入門」 4単位 通年
杉本 智俊 山口 徹
佐藤 孝雄 安藤 広道

〔授業科目の内容〕

この科目は、考古学及び民族学がどのような関心を持ち、成果を上げてきたのかを簡潔に紹介することを目的としている。文学部史学科民族学考古学専攻の教員4名がそれぞれの専門領域について基礎的な講義を行うので、最終的にはこれらの研究の全体像が大づかみで理解できるようになると期待される。担当は、それぞれ杉本が古代オリエント考古学、安藤が日本考古学、佐藤が環境考古学、山口が民族学である。

〔教科書〕

特に使用しない。

〔参考書〕

講義中に随時指示する。

人文科学特論(倫理学)

「進化論的倫理学への誘い」 4単位 通年
石井 敏夫

〔授業科目の内容〕

J. デューイによれば、1859年に公刊された『種の起源』は、それまで二千年のあいだ続いてきた自然と知識についての哲学、つまりは「知識の論理」を転換させ、従って「道徳や政治や宗教の扱い」を転換せざるをえない思考様式を導入しました。それは一つの「知的転回」だったのです。この授業の目的は、この「知的転回」が「道徳の扱い」にもたらした影響を考察することにあります。そこで、まずは、面倒でも、『種の起源』そのものを読んでみることから始めたいと思います。『種の起源』は岩波文庫で上下二巻本で出ていますので、聴講希望者はあらかじめ購入しておいて下さい。

〔教科書〕

チャールズ・ダーウィン著『種の起源』岩波文庫

〔参考書〕

授業の中で紹介します。

社会科学特論（教育学）

「アウシュヴィッツ」以前・以降のドイツ社会と教育」

4単位 通年
真壁 宏幹

〔授業科目の内容〕

春学期は、フロム『自由からの逃走』をともに読みながら、「アウシュヴィッツ」を生みだしてしまった心理の問題を、社会と教育の観点から考察し、秋学期は、『ヴァイツゼッカー大統領演説集』を読みながら、戦後ドイツ社会が、どのように「アウシュヴィッツ」と向きあってきたかを考えようと思います。

〔教科書〕

E・フロム著『自由からの逃走』（東京創元社）

R・ヴァイツゼッカー著『ヴァイツゼッカー大統領演説集』

〔参考書〕

講義中に適宜指示します。

社会科学特論（社会学）

「分厚い本を読んで歴史感覚を分厚くする」4単位 通年
浜 日出夫

〔授業科目の内容〕

私たちは流れ去る時間の一点に立っているだけではない。降り積もり、積み重なった分厚い時間の堆積の上に立っている。この講義は戦後史について書かれた分厚い本を読むことによって、この時間の厚みに関する感覚を取り戻すことを目的とする。

〔教科書〕

ジョン・ダワー著『敗北を抱きしめて（上）（下）』岩波書店、小熊英二著『民主と愛国』新曜社

社会科学特論（図書館情報学）

「情報社会、知の公共領域、情報アクセス」4単位 通年
田村 俊作

〔授業科目の内容〕

春学期は、Webster, Frank. "Information: a skeptical account." *Advances in Librarianship*. Vol. 24, 2000, p.1-23. をテキストに、情報化が進む中で、これまで知の公共領域に関わるとされてきた教育、マスメディア、図書館といった制度が、どのように変化してきているのかを考える。図書館・情報学の講義なので、図書館については特に重点的に取り上げる。また、輪読と平行して、図書館のしくみやたらしきについて解説してゆきたい。

秋学期は、話題を変えて、図書館のOPACやインターネットのサーチエンジンといった情報アクセスのしくみについて考えてみる。PCを使ってこれらを実際に検索するだけでなく、効果的な検索を可能にするために、どんなしくみが考案されているのかを見てみる。また、実

際に検索のしくみの試作を試みる。

〔教科書〕

Webster, Frank. "Information: a skeptical account." *Advances in Librarianship*. Vol. 24, 2000, p.1-23

〔参考書〕

Webster, Frank. 著『「情報社会」を読む』青土社 2001

佐藤俊樹著『ノイマンの夢・近代の欲望』講談社 1996（講談社選書メチエ）

関口礼子編著『新・生活の中の図書館』学文社 2000

社会科学特論（人間科学）（木曜3・4限）

「人間と社会を考える」

4単位 春学期集中（2時限連続授業）

鹿又 伸夫

〔授業科目の内容〕

急速に変貌する現代社会では、人々の意識や行動も変わり、解決すべきさまざまな課題・問題も生じている。この科目では、そうした人間や社会について、人間科学の立場から多角的・多面的・学際的に考える。授業では、グループワークを中心におこなう。つまり、さまざまなテーマについて、自分たちで資料・論文・専門書などで調べ、その材料にもとづいて自分たちの意見をぶつけ合う。

〔教科書〕

岩井紀子・佐藤博樹編『日本人の姿 - JGSSにみる意識と行動』有斐閣

自然科学特論（心理学）

「快感をさぐる」

2単位 春学期

渡辺 茂

〔授業科目の内容〕

快楽を実験心理学、行動薬理学、神経科学によって解明しようという至極真面目な授業である。一方的な講義ではなく参加型にする積りなので「楽」な科目ではない。

〔教科書〕

広中直行著『人はなぜハマるのか』岩波書店

〔参考書〕

渡辺茂著『ヒト型とハト型脳』講談社

自然科学特論（心理学）

「実習による知覚心理学入門」

2単位 秋学期

増田 直衛

〔授業科目の内容〕

私たちが環境の中で生活していくためには、環境や自己の状態に関する適切な情報を獲得する必要があります。これは、感覚、知覚と呼ばれている人間の基本的な機能の一つです。感覚や知覚の領域は、心理学の歴史の中でも、もっとも初期の頃から、物理学、生物学などの先輩の自然科学を手本として、私的な体験事実の客観化を目指してきました。私たちは、感覚受容器を通して知

覚している世界をごく当然のように受け入れています
が、これは決して自明のことではありません。具体的な
体験を通して、どのように理解したらよいか考える機会
としてみよう。

私たちの知覚世界について、比較的平易な英文で書か
れているテキストを読み解き、そこで述べられている現象
について、実際に体験をしてみて問題点を論じていき
ます。

【教科書】

資料プリントを配布します。

【参考書】

R. L. グレゴリー著、近藤倫明・中溝幸夫・三浦佳
世訳『脳と視覚—グレゴリーの視覚心理学』ブレン出版

G. カニツア著、野口 薫監訳『視覚の文法 ゲシ
ュタルト知覚論』サイエンス社

W. メッツガー著、盛永四郎訳『視覚の法則』岩波書
店

辞書の世界（辞書・事典万華鏡） 2単位 春学期

関場 武	西村 太良
野村 伸一	吉田 恭子
坂田 幸子	山下 輝彦
隈部まち子	住吉 朋彦
喜田 浩平	平田栄一朗
ジョエ, イニャツィオ	

【授業科目の内容】

辞書・事典には長い編纂の歴史がある。辞書・事典は
その時々言葉や文化を如実に写す鏡であり、また規範
性を持った鑑でもある。そして、辞書というものは、あ
らゆるものを調べるための基本的なツールである。今回、
文学部の学生諸君を対象にオムニバス形式で行うこの講
座は、語学の辞書を中心に、文化史や歴史・芸術等を含
め、各々関係する分野の辞書の様相を眺めようというも
ので、辞書史研究者や各国語のスペシャリスト、文化史
研究者がガイド役を務めるほか、評論家の方々もお招き
する予定である。

印刷された書物の形になったものが中心になるが、所
謂電子辞書・電脳辞書・シソーラスについても勿論取り
上げる。本講座を聴き、幅が広く奥行き深い辞書の世界
を知り、辞書・事典を色々な場面で有効に使いこなせ
るようになってほしい。単位のために履修するというの
ではなく、今まで知らなかった辞書の世界を覗き遊んで
みたいという諸君の積極的な履修を望む。

【教科書】

なし。コピー等を適宜使用する。

【参考書】

授業時に各講師が指示する。

書物の世界（書誌学の愉しみ）	2単位 秋学期
関場 武	佐藤 道生
松田 隆美	長谷部史彦
荻野 安奈	斎藤 太郎
石川 透	田村 俊作
鈴木 貞雄	武藤 康史
高橋 信裕	佐々木孝浩
高橋 智	

【授業科目の内容】

本講義は、文学部1年の学生諸君を対象に、日頃書物
や諸種の文献・文書(もんじょ)を扱い慣れている手だ
れ達が、蘊蓄(うんちく)を傾けて、奥行き深い本の世
界の一端を垣間見せ、学生諸君と共にその愉しみを味わ
おうというもので、国文学、中国文学、英米文学、独文学、
仏文学、東洋史学、図書館・情報学、教育学等文学部に
所属する専任教員のほか、他学部、付属研究所斯道(し
どう)文庫等の教員や、国立の国文学研究資料館、他大
学の教員、それに評論家達がオムニバス方式で担当する。

近年、本の世界もデジタル化が起ってきているが、
忘れてならないのは書冊としての原本である。言うまで
もなく書物には色々な形態のものがある。洋装本、和装
本、絵巻物、卷子本、折本、帖装本、ヴェラムやパーチ
メントの豪華な書写本(マニユスクリプト)、和綴じの
瀟洒な冊子、仮綴じの片々たる小冊子、ポケットどこ
か手のひらにスッポリと収まってしまおうような小型本、
豆本。二、三人がかりで運ばないと無理な程、重くて大
きな本等々、実に様々である。

そういった原本、原資料をどう取り扱って行ったらよ
いのか、印刷の歴史はどうだったのか、ベストセラーは
どうやって作られるのか、書誌はどうやって採るのか
等々の問題を共に考え、文学や歴史の面白さ、言葉の世
界の楽しさも合せ知って、本を手にする愉しみ、書誌研
究の愉しさを実感してほしいと考えている。

【教科書】

なし。コピーや映像資料を適宜使用する。

【参考書】

内容に応じて講師より適宜指示する。

基礎情報処理(A)～()

各2単位 春または、秋学期

(A)～(C)	色川 進 (春学期)
(D)～(F)	井垣 竹晴 (春学期)
(G)～(H)	名倉 正剛 (春・秋学期)
()	宮本 忠 (秋学期)

【授業科目の内容】

コンピュータや各種アプリケーションの使い方を学び
ながら、情報を処理する際に必要な「考え方」やネット
ワークを介したコミュニケーションを行う際に必要な
「倫理」について解説します。コンピュータを利用して
情報を扱う基礎知識を身につけ、大学での活動や今後の
社会生活に役立たせることを目的としています。

2 経済学部

ガイダンス科目

経済学の視点と方法 2単位 春学期
駒形 哲哉 玉田 康成

〔授業科目の内容〕

この講義は、新入生諸君に今後4年間で学ぶことになる、「経済学」の全体についての概観を得てもらうために設けられている。

経済学と一言でいっても、その中身は、経済理論・計量経済学・経済史・経済政策論と多岐にわたっている。その全体についてある程度の見通しを得てもらうために、各分野の専門家に毎週、1人それぞれ1回ずつの講義をおこなってもらうのである。又、図書館の情報を有効に利用するための講義も、1回組み込まれている。

なお、この講義では、毎回レポートあるいは「ノート」の提出が義務づけられ、成績評価にも用いられるので注意すること。

基礎教育科目

微分積分
「経済学を学ぶための基礎となる微分積分」 2単位 春学期
厚地 淳 池田 薫
桂田 昌紀 小林 正史
佐古 彰史 竹中 淑子
戸瀬 信之 西岡久美子
船越 正太 宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

この講義は1年生（履修タイプ ）の学生のためにある。微分積分は経済学を学ぶ上で必須の知識といえる。特に2年生の必修科目のミクロ経済学初級、 を学ぶ際に必要となってくる。高校における数学 の微分積分の内容をうけつぎ、1変数関数の微分積分、多変数関数の微分について講義する。

- 1 初等関数
連続関数、指数関数、対数関数、三角関数
- 2 微分法
微分係数、導関数とその公式、合成関数の微分、Taylorの定理
- 3 多変数関数の微分
偏微分、空間曲面の接平面の方程式、全微分、極大（小）、条件付き極大（小）

学生諸君に望まれるのは自主的にたくさんの演習を解くことである。地道なトレーニングをしないですむ学問はないはずである。

関連科目について

この講義の内容を、問題演習を通じてより実際のなも

のとし、応用力をつける目的で「微分積分演習」という科目が準備されている。また本講義は、「微分積分」という科目名であるが、積分に関して教える余裕がないのが実状である。高校2年生までの積分では2次関数までの積分しか学んでいないので、2年生での必修科目である「統計学」を学ぶ上で支障が生じる。そこで、春学期、秋学期に総合教育科目「積分入門」(2単位科目)を開講している。できる限りこれを履修するのが望ましい。1年生は「微分積分」を学んだ後、秋学期に学ぶのがいいだろう。2年生は、統計を学びながら春学期に履修するのがいいだろう。

2年生になったら、この講義の続きの内容は「経済数学 A」、「経済数学」で学ぶことになる。履修タイプの学生は、これら2年生の専門科目受講のためにも1年生の間に「微分積分」を合格するようにすることが望ましい。

〔教科書〕

授業中に指定する。

〔参考書〕

授業中に指示する。

線形代数

「経済学を学ぶための基礎となる線形代数」 2単位 秋学期
厚地 淳 池田 薫
桂田 昌紀 小林 正史
佐古 彰史 竹中 淑子
戸瀬 信之 西岡久美子
船越 正太 宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

この講義は1年生の履修タイプ および履修タイプ のためにある。線形代数は、高校数学のベクトル演算をうけつぐもので、微分積分とともに、大学での基礎数学の2大分野を構成する。単純に言えば、ベクトルと行列の数学が線形代数である（数学Cを高校で履修した諸君はすでに行列も学んだかもしれない）。多変数の極値問題を考えるときなど高度な微分積分とも密接に関連する。2年時に開講の「経済数学 B」、「経済数学」を学ぶ際に必要となってくることに注意しよう。経済学では、計量経済学などで用いる高度な相関解析を学ぶのに行列を知らないと困難に感じるようになるだろう。

1. ベクトルと行列
ベクトルとその演算、ユークリッド空間、行列とその演算
2. 連立一次方程式
基本行列、行列の階数、連立一次方程式の解法、逆行列
3. 行列式
行列式とその性質、余因数展開、クラメル公式
4. 線形空間と線形写像

線形空間と線形写像、次元、次元定理

学生諸君に望まれるのは自主的にたくさんの演習を解くことである。地道なトレーニングをしないですむ学問はないはずである。

履修タイプ の学生（1年、2年）に対する注意

履修タイプ の学生にとって、この科目は必修科目でも選択必修科目でもないが、履修し合格すると基礎教育科目として卒業単位に算入される。

関連科目について

この講義の内容を、問題演習を通じてより実際的なものとし、応用力をつける目的で、「線形代数演習」という科目が準備されている。さらに上でも述べたが、線形代数は計量経済学などで実証的なデータ分析を用いる場合に必要となる。多変量解析の入門としても総合教育科目「データ解析入門」、が開講されている。2年生で学ぶ統計学の入門としても役にたつであろう。2年生は総合教育科目「データ解析」、の履修も考えるといいだろう。2年生になったら、この講義の続きの内容は「経済数学 B」、「経済数学」で学ぶことになる。

【教科書】

授業中に指定する。

【参考書】

授業中に指示する。

微分積分演習

「微分積分をよりよく理解し、使えるようになるための演習」

1単位 春学期

厚地 淳	池田 薫
桂田 昌紀	小林 正史
佐古 彰史	竹中 淑子
戸瀬 信之	西岡久美子
船越 正太	宮崎 直哉

【授業科目の内容】

講義科目「微分積分」では主に理論を解説することに多くの時間が割かれるが、この「微分積分演習」においては、授業時間中に多くの問題演習を行い、解答の解説や類題の演習などを中心に、講義の内容に対する実際的な運用能力を高めることを主眼とする。従って先行する講義内容の大まかな理解が前提となるが、講義だけでは理解がどうもおぼつかないという人にとっても、この「微分積分演習」の受講は極めて有益であろう。

微分積分の学習においては、数多くの演習問題を解くことで、理論への理解が深まると同時に、実際的な応用の力が練磨され、ますます学習することの面白味が感じられるようになる。ところが、初めて大学の微分積分を学ぼうとする人にとって、テキストにある多くの問題を前に、どこから手をつけて良いのかわからず、途方に暮れてしまうといった体験をする人が少なからずいることも事実である。そこでこの科目では、先行する講義内容を振り返ることから始めて、微分積分の問題を解くための初歩的・具体的な手ほどきを行い、受講者自らが手を動かして問題を解決する体験を積み重ねることにより、微分積分が「わかった」と感じられる瞬間が出来るだけ

多く持てるよう授業を展開する。さらに、こうしたプロセスを積み重ね、ある程度実力がついてきた段階で、より難易度の高い問題にアプローチするとともに、講義で扱われた内容を発展させた題材について、演習の形を通して学ぶ機会を設けたい。

この科目を通じて微分積分の理論および応用に習熟することは、その後の経済学部における専門科目などの学習において、極めて大きな糧となることだろう。

【教科書】

原則として「微分積分」と同じ

【参考書】

原則として「微分積分」と同じ

線形代数演習

「線形代数をよりよく理解し、使えるようになるための演習」

1単位 秋学期

厚地 淳	池田 薫
桂田 昌紀	小林 正史
佐古 彰史	竹中 淑子
戸瀬 信之	西岡久美子
船越 正太	宮崎 直哉

【授業科目の内容】

この科目は「微分積分演習」と対を成すものである。講義科目「線形代数」では、主に理論を解説することに多くの時間が費やされるが、この「線形代数演習」においても、「微分積分演習」と同様、授業時間中に多くの問題演習を行い、解答の解説や類題の演習などを中心に、講義の内容に対する実際的な運用能力を高めることを主眼とする。先行する講義内容の大まかな理解は前提となるが、講義だけでは理解がどうもおぼつかないという人にとっても、この「線形代数演習」の受講はやはり極めて有益であろう。

微分積分に比べて、線形代数の内容はどちらかというとも易しく思われ、演習の必要性を感じない人も多いかもしれない。また、行列の変形の計算や連立一次方程式を解くことなどは単調に思われ、実際に自分で手を動かしてみることが億劫に思う人も居ることだろう。この科目ではそういった人たちにも線形代数の問題を解くことに面白味が感じられるよう配慮し、問題演習を行いつつ自然に線形代数の理論が体得出来るよう、授業を展開する。さらに、実力がある程度ついてきた段階で、より難易度の高い問題にアプローチする機会を設けるとともに、講義で扱われた内容を発展させた題材について、演習の形を通じて学ぶ機会を設けることは「微分積分演習」と同様である。

この科目を通じて、線形代数の理論および応用に習熟することは、その後の経済学部における専門科目などの学習において、極めて大きな糧となることだろう。

【教科書】

原則として「線形代数」と同じ

【参考書】

原則として「線形代数」と同じ

数学概論 2単位 春学期
光 道隆

〔授業科目の内容〕

経済の成長や市場メカニズムなどの、経済の基本的な事項を記述するのに、数学が用いられている。そのため、経済学を理解するのに、数学、特に微分積分の考え方が必要になってくる。数学概論 では高校ではあまり数学を勉強してこなかった学生諸君を対象にして、マクロ、ミクロ経済学で必要になる数学を準備する。

数学概論 では高校の復習をしながら1変数の関数の微分について学ぶ。

〔教科書〕

講義の冒頭で指定する。

〔参考書〕

須田宏『初学者のための微分積分入門』培風館
河添健『大学で学ぶ数学』慶應義塾大学出版会
戸瀬信之『経済学のための微分積分』エコノミスト社

数学概論 2単位 秋学期
光 道隆

〔授業科目の内容〕

数学概論 で扱った1変数の関数 $f(x)$ は変数 x の値が決まると1つの値 $f(x)$ が決まるような関数であった。しかし、実際の現象では1つの要因によって決まるということは珍しく、2つ以上の要因によって値が決まることが多い。そこで、数学概論 ではマクロ、ミクロ経済学で必要になる多変数の関数の微分について学ぶ。

〔教科書〕

講義の冒頭で指定する。

〔参考書〕

須田宏『初学者のための微分積分入門』培風館
河添健『大学で学ぶ数学』慶應義塾大学出版会
戸瀬信之『経済学のための微分積分学』エコノミスト社

世界経済の現状と問題
「日本の通商政策入門」 2単位 春学期
馬田 啓一

〔授業科目の内容〕

本講義では、最新かつ重要な世界経済の諸問題を平易に解説します。講義を通じて、世界経済の実際の展開に対する学生諸君の関心と理解を大いに高めたいと思う。このため、単なる基礎的な経済理論の説明にとどまらず、いま論議を呼んでいる世界経済のトピックス、例えば、貿易摩擦、海外直接投資、通貨危機、WTO交渉、地域統合の動きなどをできるだけ講義のテーマに取り上げて、わかり易く解説していく方針です。

〔教科書〕

青木健/馬田啓一編著
『日本の通商政策入門』東洋経済新報社(2002年 2800円)
なお、毎回、簡単なレジュメを配布します。

〔参考書〕

青木健/馬田啓一編著
『提言/日本の対アジア経済政策』日本評論社(2004年 2800円)
池間誠/大山道広編著
『国際日本経済論』文真堂(2002年 2800円)
青木健/馬田啓一編著
『経済検証/グローバリゼーション』文真堂(2001年 3300円)
青木健/馬田啓一編著
『ポスト通貨危機の経済学』勁草書房(2000年 3800円)
青木健/馬田啓一編著
『地域統合の経済学』勁草書房(1999年 2900円)
青木健/馬田啓一編著
『WTOとアジアの経済発展』東洋経済新報社(1998年 2800円)
青木健/馬田啓一編著
『日本企業と直接投資』勁草書房(1997年 3200円)
青木健/馬田啓一編著
『日米経済関係』勁草書房(1996年 3000円)
白石孝/馬田啓一編著
『為替レートと日本経済』東洋経済新報社(1996年 2700円)

世界経済の現状と問題 2単位 秋学期
竹森 俊平

〔授業科目の内容〕

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必用であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

〔教科書〕

竹森俊平著『世界経済の謎』東洋経済新報社

日本経済の現状と問題
「戦後から今日の日本経済の動き」 2単位 春・秋学期
大村 達弥 島田 晴雄

〔授業科目の内容〕

このコースは、初めて経済学を学ぼうとする一年生を対象に、日本経済の実態を経済データや経済理論を用いて解説することである。特に、戦後の復興、高度成長、二度にわたる石油危機、プラザ合意とバブル経済、平成不況、金融危機といった、戦後から今日に至る日本の経済の動きを歴史的に勉強する。その中では、どのような要因によって日本経済が動いているのか、それぞれの時期でどのような経済政策(財政・金融政策)が採られ、その効果はどのようであったのかを解説する。「世界経済の現状と問題」と合わせて履修し、経済を学ぶことへの知識と興味を持つことを期待したい。

具体的な講義内容と講義の編成は、講義担当者によって異なる。

主な講義内容：

経済と経済学をいかに学ぶか

- 1 経済現象をいかに理解するか
- 2 経済データの読み方
- 3 経済理論の意義と実証分析の方法

世界における日本経済

- 1 世界における日本経済の大きさ
- 2 さまざまな経済システムと日本経済
- 3 国際協力と日本経済

日本経済の発展と変動

- 1 日本経済発展の軌跡
- 2 日本経済発展のメカニズム
- 3 日本経済の景気変動と経済政策

日本経済の構造変化と政策課題

- 1 日本経済社会の構造変化と経済・社会政策
- 2 日本の行政システムと政策決定
- 3 日本経済の政策課題

〔教科書〕

各担当者が指定する。

情報処理履修上の注意事項

履修にあたっての学則上の制約などについて

1. 卒業するためには「情報処理」「情報処理」のいずれか1科目2単位を履修し、合格しなければなりません。
2. ただ、これは一科目のみしか履修できないことを意味するわけではなく、複数の情報処理科目を履修することができます。
3. また違うサブタイトルのものであれば同一名称の科目であっても履修することが可能です。たとえば同じ「情報処理」であってもサブタイトルの違う「C言語プログラミング」と「WWWによる情報発信とサービス提供」の両方を履修できます。(もちろん履修単位上限44単位の範囲を超えて履修はできません。)
4. ただし同一名称の情報処理科目を複数履修する場合、2科目めからは自由科目として履修します。進級や卒業要件として算入される単位数には制約がありますので、注意してください。

進級単位

第2・3学年に設定されている基礎教育科目の進級条件には、「情報処理」2単位、「情報処理」2単位までが含まれます。

卒業要件

- a. 違うサブタイトルの同一科目(「情報処理」「情報処理」「情報処理」)を複数履修した場合は、2科目めからは自由科目としての履修となり、卒業要件には含まれません。
- b. 「情報処理」「情報処理」の片方だけを履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目として卒業要件に認定されます。
- c. 「情報処理」「情報処理」の両方を履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目に、残りの2単位分は卒業単位認定科目として認定されます。
- d. 「情報処理」は履修し合格すると1科目2単位分が基礎教育科目の選択科目として卒業単位認定科目に認定されます。

どのような科目を履修すればよいか

経済学部において「情報処理」は基礎教育科目として位置づけられています。今後、諸君が経済学部で必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的としています。もちろん必要最低限の知識を修得するだけでなく、さらに高度な知識を得られるような科目も用意されています。

諸君は、自らの興味と必要を満たすためにどの科目を受講すべきかを考えて、履修科目を決めましょう。

ただし、科目によっては、ある程度の知識を前提として必要とするものがあります。何も無い状態で教室に来てすべてがわかるほど学問というものはいません。それは段階を追って必要な科目を履修することによって(もしくは自分で知識を得ることによって)得られるものです。たとえばある科目を履修したいと思ったならば、その科目を履修するために必要な知識は何かを見極め、それを得るために必要な科目を履修したのちに自分がターゲットとする科目を履修する、という**履修プラン**をたてましょう。

各科目を履修するために必要な知識については、各科目の講義要綱に記載されています。また科目によっては、はっきりとある科目の履修を前提としている場合もあります。これらについても講義要綱に記載されています。まず、講義要綱を熟読することが大切です。(以下にも表としてまとめられていますが、これはあくまでサマリーです。詳細については講義要綱を見てください。)

過去、時間割の「選択必修科目」という項目だけを見て、わけもわからず高度な内容の講義の教室に学生が多数殺到するという情けない状況が見られました。**自分のレベルはどの程度なのか、そして、自分がどういった知識を身につけたいのか、をきちっと把握してから、科目を選択しましょう。**

まずレベルについてですが、ただし初心者であればあるほど、自分のレベルは見極めにくいものです。だいたい次の表を目安としてください。

レベル	科目
まったくさわったことがない	情報処理 (Windows入門)
パソコンを使ったことがあるけれども ・ゲームで遊ぶだけ ・ホームページ*を見る程度	
Windowsパソコンで ・Eメールの文章の編集・送受信 ・WWWページを見る ・ワープロでの文章作成 をやったことがある	・情報処理 (Windows入門 既習者) ・情報処理 (UNIX入門) ・情報処理 の各科目

*) ちなみに世間一般に「ホームページ」と呼ばれているので、わかりやすくするためにこう書きましたが、これは誤用です。

次に前提とする知識ですが、どの科目をあらかじめ履修すべきかは各科目の講義要綱に記されています。また、必ずしも前提条件というわけではありませんが、関連する知識を提供する科目であるため、履修しておく、別の科目の理解が容易になる、という科目もあります。これらをまとめておきます。

科目名	前提となる科目	関連する知識を提供する科目
情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)		情報処理 (UNIX入門)
情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)	情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)	情報処理 (UNIX入門) 情報処理 (C言語プログラミング) 情報処理 (fortran言語による統計データ処理)
情報処理 (C言語プログラミング)		情報処理 (UNIX入門)
情報処理 (C言語プログラミング)	情報処理 (C言語プログラミング)	
情報処理 (fortran言語による統計データ処理)	統計学 (並行して履修すること)	
情報処理 (fortran言語による統計データ処理)	情報処理 (fortran言語による統計データ処理) 統計学 統計学 (並行して履修すること)	
情報処理 (Excelによる統計データ処理)	情報処理 (Windows入門) (もしくはそれ相当の知識) 統計学 / (並行して履修すること)	

以上の表と各講義の講義要綱をよく読んで、情報処理科目の履修プランをたてた上で、今年度の履修科目を決めましょう。

履修制限について

情報処理の各科目は講義とともにPCを使った演習を伴うため、配当された教室の定員が履修者数の上限となります。したがって、履修希望者が教室の定員を超えた場合、履修制限を実施することになります。

事前登録

1. クラス指定がある科目(情報処理 (Windows入門))については、定員を超えることはありませんが、クラス指定のない科目(情報処理 (UNIX入門) 情報処理 (Windows入門 既習者)、情報処理、情報処理)で履修希望者が定員を超えた場合には事前登録に基づいた履修制限を行います。
2. 事前登録は、各科目の第1回目の講義(科目ガイダンス週間中)の際に行いますので、履修希望者は必ず出席するようにしてください。なお、事前登録をし、履修を許可された者は必ず履修申告しなければなりません。
3. 履修制限を行う場合、この事前登録を行ったものを優先的に扱うこととなります。(ただし事前登録者数が教室定員を超えてしまった場合には、事前登録者の中から抽籤を行うこととなりますので、事前登録者が必ず履修できるわけではないことをご承知おきください。)

情報処理 (Windows入門) 2単位 春・秋学期
 コーディネーター 赤林 由雄
 久野 禎子 中西はるみ 他

【授業科目の内容】

諸君が大学において研究を進めていくにあたっては、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。たとえばさまざまな統計からデータを引っ張ってきたり、さまざまな情報を収集・検索したり、計算をしたり、グラフを描いたり、文献の整理をしたり、大量の文章を書いたり、編集したりする必要がでてくるだろう。しかし扱うべき情報が膨大な場合、できるだけ効率よくおこなっていかなければ、時間はいくらあっても足りなくなる。手と電卓と鉛筆と定規と紙のカードだけで対処しようとしたら日が暮れてしまう。コンピュータはそのような情報処理をおこなうための強力なツールの一つである。

経済学部における経済学・統計学・数学・専門科目などの講義においてもこれらのツールを活用することが求められることは言うまでもない。

また研究の過程において、ネットワークを通じたさまざまな形での情報の受発信をしなければならない局面が発生する。ここで諸君はネットワークを介して(極端に言えば)全世界と対峙することになるわけだが、さまざまな危険から我が身を守らなければならなくなることは覚悟しなければならない。と同時に自らが無意識のうちに加害者とならないように常に心がける必要もあるのである。

経済学部の情報処理科目は、今後、諸君が経済学部で研究や情報の受発信をするために必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的として設置されている。

その情報処理科目において、この「情報処理」は、**コンピュータをまったく扱ったことがない者を対象**として、コンピュータを使った情報処理の第一歩、すなわちWindows搭載のパーソナル・コンピュータ上での文書処理(作成・編集・加工など)・データ処理(計算・グラフの作成など)・情報の受発信(Eメール・WWWなど)の方法を講義し、演習を行う予定である。また、それと同時に、ネットワーク社会の中で自らを守り、加害者にならないための基礎知識も身につけてもらうことになる。

【教科書】

最初の講義で指示する。

【参考書】

最初の講義で指示する。

情報処理 (Windows入門 既習者) 2単位 春学期
 経験者向けクラス 赤林 由雄

【授業科目の内容】

諸君が大学において研究を進めていくにあたっては、

さまざまな形の情報を処理していかなければならない。たとえばさまざまな統計からデータを引っ張ってきたり、さまざまな情報を収集・検索したり、計算をしたり、グラフを描いたり、文献の整理をしたり、大量の文章を書いたり、編集したりする必要がでてくるだろう。しかし扱うべき情報が膨大な場合、できるだけ効率よくおこなっていかなければ、時間はいくらあっても足りなくなる。手と電卓と鉛筆と定規と紙のカードだけで対処しようとしたら日が暮れてしまう。コンピュータはそのような情報処理をおこなうための強力なツールの一つである。

経済学部における経済学・統計学・数学・専門科目などの講義においてもこれらのツールを活用することが求められることは言うまでもない。

また研究の過程において、ネットワークを通じたさまざまな形での情報の受発信をしなければならない局面が発生する。ここで諸君はネットワークを介して(極端に言えば)全世界と対峙することになるわけだが、さまざまな危険から我が身を守らなければならなくなることは覚悟しなければならない。と同時に自らが無意識のうちに加害者とならないように常に心がける必要もあるのである。

経済学部の情報処理科目は、今後、諸君が経済学部で研究や情報の受発信をするために必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的として設置されている。

その情報処理科目において、この「情報処理」は、**コンピュータをまったく扱ったことがない者を対象**として、コンピュータを使った情報処理の第一歩、すなわちWindows搭載のパーソナル・コンピュータ上での文書処理(作成・編集・加工など)・データ処理(計算・グラフの作成など)・情報の受発信(Eメール・WWWなど)の方法を講義し、演習を行う予定である。また、それと同時に、ネットワーク社会の中で自らを守り、加害者にならないための基礎知識も身につけてもらうことになる。

と、ここまで読んだ範囲では、この講義が他の情報処理(Windows入門)とほとんど変わらないように思えるだろう。しかし、他の「情報処理(Windows入門)」が手取り足取り教えてもらいたいようなまったくの初心者を対象としているのに対し、この授業では少し違う層を想定している。

もう既に若干の経験があって、電源の入れ方・マウスの使い方から教えるようなまったくの初心者を対象とする情報処理Iでは物足りない。かといってバリバリC言語やらfortranやらでプログラミングをいきなりやるのは辛い。もしくは、まったくの初心者ではあるが、短期間にバリバリ使えるようになりたい。私の担当するこの情報処理IIは、そういった学生を想定して、他の授業より少し(かなり?)ハードに、かついろいろなことやってみたいと思っている。

他の授業でも「使える」ようになることを目指すことは言うまでもない。しかし**本当に使える**ようになるのは実はそう容易なことではない。この講義が行われるのは

あくまで大学である。街のいわゆる「パソコンスクール」のようにインストラクターがマンツーマンについて手取り足取り教えたりはしない。半期のたった12～13回しかない講義で諸君はさまざまなことを修得しなければならないのである。もちろんソフトのすべての機能について講義の時間内に触れるわけにはいかないのだ。

そのような制約の下で「使える」ようになるために、この授業ではどうするのか。もちろん授業中には概略を説明するだけである。あとは各自で参考書を読みながら自分で考え、悩み、苦しみながら大量の演習を授業時間外にこなしてもらうことになる。また、そういうプロセスを経なければまともに使えるようにはならないというのが永年にわたる経験の示すところである。くどいようだが、ここは大学であり、諸君は大学生である。教えてもらわなければわからないとか、習った範囲以外の演習はこなせない、というのではあまりにも情けない。示唆をうけたら自分で調べてやってみる。いろいろ自分なりに工夫してみる。これが使えるようになる唯一無二の道である。

過去数年にわたって私の授業は学生からはきびしいという評価を受けてきている。それは簡単にはできない課題が毎回のように出される（と学生は感じるらしい。実は3回に2回の割合なのだが）からである。しかし簡単に答えがでるようなものやってみたところで「使える」ようにはならないし、つまらないだけである。自分の頭で考えぬき、試行錯誤を繰り返したうえでクリアできてこそおもしろいのではないかと私は信じている。そしてそれらの課題はあとあと必ず直面するような問題に役立つものを厳選してある。諸君を虐めるために無駄にきびしくしているわけではない。

しかしながらこのやり方になじむ学生はそう多くない。だが受講してみても本当に使えるようになったという学生も少なからずいることも確かである。一応この講義の位置づけとしては、パーソナル・コンピュータを使用した経験のある学生が主な対象ということになっているが、私の心づもりとしては、まったくの初心者でもわかるような、しかしかなりハードな授業という位置づけである（初心者が受講するにはかなりの覚悟が必要であるが）。もちろん経験者にとってもよい復習となるだけでなく、新たな技巧や知識の修得の機会となるだろう。

とはいうものの、やることはWordやExcelを使ったものに限られるわけであるし、初心者の少し上をターゲットとした講義であるから、WordとExcelについてある程度の知識がある学生にとっては既知のことばかり教えられることになる可能性がある。それがいやな学生は別の情報処理科目を履修すべきだろう。

【教科書】

最初の講義で指示する。

【参考書】

最初の講義で指示する。

情報処理（UNIX入門） 2単位 春・秋学期
北川 尚 丸山 文綱

【授業科目の内容】

この授業では、通常のパソコン（WindowsまたはMacintosh）しか扱ったことのない学生を対象にして、コマンドラインからコンピュータを操作する方法を、ワークステーションを通して学びます。ワークステーションのオペレーティングシステムの1つであるUNIXの基礎を学び、簡単なアプリケーションの利用を紹介します。Windows等のウィンドウシステムを通さない、従来の基本的なコンピュータの操作方法を会得することによって、コンピュータの理解が進むでしょう。また、プログラミング言語を用いたアプリケーションの開発・拡張が容易になるでしょう。

パーソナルコンピュータは、構成や仕組みを知らなくてもひととおり「道具」として使えるようになっています。そして多くの人が仕組みを知らずに便利な道具として使っています。

しかし、自分で新しい作業を始めようと思ったり、トラブルに自分で対処しなければならなくなったり、トラブル防止のために保守作業を自分でするためには、コンピュータの仕組みについての基本的な知識が必要になります。

WindowsでもMacintoshでも、オペレーティングシステムやアプリケーションは、UNIX等の、コマンドラインから命令を与えて処理をする、という環境がもとになっています。

したがって、コンピュータ本来の扱いを、UNIXを通してひととおり体験しておくことは、コンピュータの理解、さらにはコンピュータを使って自ら新しい処理作業に取り掛かる際の助けになるでしょう。

情報処理（Excelによる統計データ処理）

2単位 秋学期
赤林 由雄

【授業科目の内容】

諸君には「統計学」が必修科目として課せられている。経済を分析するためには統計学の知識は不可欠だと考えられているからである。（経済現象だけではなく、さまざまな現象を計量的に分析しようとするための作法として統計学は必須の知識である。）

ところが統計学では、時間数に比して学ぶことが多く、実際のデータを用いた演習が不足しがちである。（もちろん担当者による差異はある。）また、演習の際には大量の計算が必要であるが、そのために用いられているのは電卓であることが多いようである。（これには学生全員がパーソナルコンピュータを教室に持ち込める環境ではない、という事情もある。）

しかしながら、諸君が三田に来て直面するのは、実際に大量のデータを使った分析であり、その際には電卓での計算などはほとんど考えられず、多くの場合はコンピ

ュータを駆使して計算せざるをえなくなるはずである。

この授業では、統計学の知識に基づいて（...と書いても現実には忘れてしまっている学生が多いので、復習をかねた話を混ぜながら）統計学で学んだことをコンピュータで処理する方法、さらには、その前後で必要となるさまざまな処理法（たとえば、経済データを日経NEEDSなどの各種データベースから収集する方法など）について身につけてもらうことを目的としている。この授業を通じて、統計学の知識をより確実なものにし、実際のデータ分析にも強くなってもらおう、というのが、担当者のねらいである。

情報処理（C言語プログラミング）

2単位 春・秋学期

情報処理（C言語プログラミング）

北川 尚 丸山 文綱

【授業科目の内容】

春学期の情報処理（C言語プログラミング）では、これまでC言語を学んだことのない学生を対象にして、C言語の基礎的な内容を紹介します。また秋学期の情報処理（C言語プログラミング）では春学期の情報処理の内容を前提としてさらに高度な内容を紹介します。

プログラミングを通して、コンピュータの処理（或はコンピュータを通した論理的思考の演習）を十分理解すれば、自前のアプリケーションの作成や開発もできるようになるでしょう。

【教科書】

授業で毎回プリントを配布します。

【参考書】

最初の講義で指示します。

情報処理（fortran言語による統計データ処理）

2単位 春・秋学期

情報処理（fortran言語による統計データ処理）

赤林 由雄

【授業科目の内容】

諸君が大学において研究を進めていくにあたって、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。その際、強力なツールになるのはコンピュータであり、その処理の多くはワードプロセッサや表計算ソフト、統計処理パッケージなどのアプリケーションソフトで対処できるものである。しかしながらそこではあくまでお仕着せの処理であり、必ずしもかゆいところに手が届くような仕様になっているとは限らない。自分が本当にやりたいことをコンピュータにやらせるためには自分でプログラムを組む必要がある。そのためには何か一つ言語を習得しておくことが必須の条件である。

また自分でプログラムを組むことにより、コンピュータがさまざまな処理をどのようにおこなっているかの一端が理解できるようになる。これは決して無駄なことではない。この経験はアプリケーション・ソフトを使用

している際に発生するさまざまなトラブルに遭遇したときに生きてくる。コンピュータでの一般的な処理がわかればある程度の対処の仕方がわかってくるのである。

私が担当する情報処理では、fortran言語を使ったプログラミングを扱う。

このfortranはコンピュータが実用化した当初からあるプログラミング言語であり、主に科学技術計算に使われている。計算機科学の専門家にはいつも時代遅れというレッテルを貼られ、まもなく廃れるであろうと言われ続けながらもしぶとく生き残ってきている言語である。それは大型コンピュータでもパーソナル・コンピュータでもそれほど使い勝手が変わらず、**初心者にとっては理解が容易な言語だから**というのがその理由の一つである。おそらく実際の処理に使える段階に到達する速度は他の言語よりもかなり早いのではなからうか。

諸君はこの言語によるプログラミングを通じて、コンピュータで情報を処理するためにはどのような手順をふむべきかを修得してほしい。ここで一つの言語と処理の手順をものにできれば、他の言語での処理の修得はかなり楽なものになるだろう。

また経済学部の学生がよく使う**計量分析用のパッケージTSP**はもともとfortran言語で開発されたという経緯があり、fortran言語に近いコマンド体系をとっている。したがってfortranを学ぶことにより、TSPを違和感なく高いレベルで使えるようになるだろう。

春学期の情報処理ではプログラミング言語fortranの基本的な文法と基本的なアルゴリズム（処理の手順）の修得を目的とする。これはあくまで基本である。この基本を前提として、秋学期の情報処理では諸君が経済学の研究を行っていくうえで実際に遭遇するであろうさまざまな事例を解決していくためのプログラミング技法の修得を目的とする。実際のデータを扱う場合、さまざまなデータの性質をふまえて処理をする必要がある。数値計算をするとき、統計処理をするとき、また大量のデータを効率的に処理しようとするとき、その場面に応じて必要となる技法がある。それらを具体例に即して覚えていき、この講義が終わったときには使えるプログラムを組めるようになることがこの講義の目標なのである。

【教科書】

浦 昭二編『FORTRAN77入門』培風館

【参考書】

William H. Press, et al. NUMERICAL RECIPES - The Art of Scientific Computing -, Cambridge

茨城俊秀・福島雅夫著『岩波コンピュータサイエンス FORTRAN77最適化プログラミング』岩波書店

情報処理（WWWによる情報発信とサービス提供）
「HTMLによる情報発信（HTMLとスタイルシート）」

2単位 春学期

細川 達己

【授業科目の内容】

当科目では、Webページを作成できるHTML関連の知識を習得することを目的とする。ただし、いわゆる個

人の趣味的なページの作成に必要な能力ではなく、企業や各種団体のページなど、より公的な意味を持つページを作っていく技術の習得に目標を置き、Web関連の技術と方法論について学んでいく。

このようなWebページでは、単に画面のデザインや内容だけではなく、サイトのトータルデザインや、さまざまな環境における使いやすさ、そして視覚障害者への対応など、個人のWebページをつくる以上に考慮すべき事項が多くあり、またそれらは必ずしも「技術的」なものではない。

当科目では、日吉ITCの使用権(アカウント)を持っていることを前提としている。これらの計算機やWebブラウザに関しても、基本的な操作の知識を持っていることが望まれる。また、テキストエディタ(Windowsなら「メモ帳」でもよい)を使ってテキストファイルを作成することができることが望まれる。

当科目の対象は、例えば次のような人である。

- ・Webページを作ったことはあるが、より実際のWebページの作り方に興味がある
- ・はじめてWebページを作ってみたいと思っており、HTMLの書き方に興味がある
- ・CGIなどを将来的に作ってみたいと思っている

なお、当科目では、各種プラグイン等のHTMLにあまり関係のない話題はあえてテーマから外し、HTMLとスタイルシートに話題を絞る。また、いわゆるHTMLエディタは使用せず、HTMLを直接テキストエディタで記述することで、HTMLの持つ意味を理解しながら学習していく。そして最終的にはHTMLエディタのようなツールをよりよく使えるようになることや、CGIを作成する基礎となるHTMLの知識を得ることを目的とする。

まずは「Webのコンテンツを書き、インターネット経由で公開する」ということが、従来の印刷による出版やワープロによる文章作成とどのように異なる性質を持つかという、もっとも根本的な問題からはじめ、その性質を踏まえてHTML(とスタイルシート)の使用法、活用法を学習していく。

【参考書】

神崎 正英著『ユニバーサルHTML/XHTML』毎日コミュニケーションズ(2000年)

情報処理 (wwwによる情報発信とサービス提供)
「CGIによるサービス提供」 2単位 秋学期
細川 達己

【授業科目の内容】

HTMLによる静的なWeb情報提供サービスに動的な要素を加えたのはCGIであり、他にもさまざまな動的コンテンツに関する技術が出て来た現在でも、もっとも重要な技術のひとつである。

CGIはインターネットに対して、計算機資源を用いたサービスを公開する技術であり、従来であればネットワークプログラミングの経験豊かなプログラマが行なうことが多かったものである。このため、CGIを製作するに

は、ネットワークのセキュリティに対する一般的な知識も重要である。

また、情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供) で取り上げたさまざまなHTMLに関する知識を前提として、より公的なサービスに適用できるCGIの作り方を取り上げていく。

CGIのプログラミング言語としては、基本的にPerlを使用する。WebサーバとしてApache httpdをインストールしたUnixサーバを利用し、その上で演習を行なう。当科目は、情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供) を前提とする。

対象となるのは、例えば以下のような人である。

- ・CGIの作り方に興味がある、プログラミングに興味がある
- ・Webサーバの管理をしたいと思っている、あるいはする予定がある
- ・ネットワークの管理者となる可能性がある

【参考書】

秋本 祥一, 古川 剛著『CGIプログラミング入門 第二版』翔泳社(2002年)

統計学

「データの記述・統計的推測・仮説検定」 2単位 春学期
赤林 由雄 秋山 裕
河井 啓希 中妻 照雄
宮内 環

【授業科目の内容】

- (1) 統計的記述(実際のデータをどのように捉えるか)
- (2) 統計的推測(標本から母集団の特徴をどのように推定するか)
- (3) 統計的検定(理論的主張をどのように検定するか)を学ぶことにより統計的分析の基礎を身につける。
講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いた統計処理の解説も行う。

【教科書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

【参考書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

統計学

「回帰分析・社会科学分野における応用・統計学の数理的基礎」 2単位 秋学期
赤林 由雄 秋山 裕
河井 啓希 中妻 照雄
宮内 環

【授業科目の内容】

- (1) 回帰分析(複数の変数の間の因果関係についての分析)を学ぶことにより、経済理論の実証の基礎を身につける。
- (2) 応用分析(様々な経済・社会現象を統計的に分析)を学ぶことにより、統計学を現実社会で幅広く応用する力を身につける。

(3) 統計学の数理的基礎を学ぶことにより、より高度な統計的分析に備える。

講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いた統計処理の解説も行う。

【教科書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

【参考書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

専門教育科目

経済史	2単位 春学期
	飯田 恭 中野 忠 松村 高夫 安元 稔 矢野 久

【授業科目の内容】

経済史の入門的講義を行う。三田で欧米経済史、日本経済史、アジア経済史等を学ぼうとしている学生に対して基礎的知識を与え、また、理論、政策を中心に、学ぼうとしている者に対しては、その視野を広めることを目的とする。講義の大意は下記の通りであるが、地域的には欧米を主に扱うことにする。

1. 経済史の方法と課題
2. 近代以前の社会と経済
3. 近代化の過程
4. 産業革命と工業化
5. 工業化の波及
6. 国際経済の展開
7. 現代の経済と社会

【教科書・参考書】

担当者が個別に指定する。

経済史 「アジア・日本経済史」	2単位 秋学期
	小室 正紀 杉山 伸也 友部 謙一 古田 和子 柳沢 遊

【授業科目の内容】

15世紀～20世紀の中国・日本を中心とするアジアの経済史について入門的講義を行う。この講義の目的は、経済学を学習するために必要な歴史的視野の拡大と、日本経済史およびアジア経済史についての基礎的な知識を習得してもらうことにある。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

長岡新吉・太田和宏・宮本謙介編『世界経済史入門：欧米とアジア』ミネルヴァ書房（1992年）

マクロ経済学初級	2単位 春学期
	伊藤 幹夫 瀬古 美喜 中澤 敏明 山田 太門

【授業科目の内容】

国民所得あるいは国民総生産の大きさは、国民の経済活動の水準を示す指標である。その高さや変動の有様が、雇用と物価を定め、国民の暮らし向きに影響を与える。国民総生産、失業率、物価などの指標を見ながらそれらの統御を目指す政策をマクロ経済政策という。「マクロ経済学初級」では、まず経済学の基本的な考え方を説明した上で初歩のマクロ経済学を説き、経済変動とマクロ経済政策の問題を考えるための基礎を与える。

【教科書】

授業内で指示する。

【参考書】

ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ 入門経済学』東洋経済新報社（1999年）

ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ マクロ経済学』東洋経済新報社（1995年）

N. グレゴリー・マンキュー著（足立他訳）『マンキュー マクロ経済学（1）入門篇・（2）応用篇』東洋経済新報社（1995年、1996年）

オリヴィエ・ブランシャール著『マクロ経済学 上・下』東洋経済新報社（1999年、2000年）

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』（第3版）日本経済新聞社（2000年）

瀬古美喜・渡辺真知子著『完全マスター・ゼミナール経済学入門』（3版用）日本経済新聞社（2000年）

マクロ経済学初級	2単位 秋学期
	塩澤 修平 白井 義昌 須田 伸一 前多 康男

【授業科目の内容】

「マクロ経済学初級」で習得する知識を前提として、引き続きマクロ経済学の講義を行う。

【教科書】

授業内で指示する。

【参考書】

参考書については、「マクロ経済学初級」を参照のこと。

ミクロ経済学初級	2単位 春学期
	玉田 康成 津曲 正俊 中村 慎助 丸山 徹

【授業科目の内容】

「ミクロ経済学初級」では、ミクロ経済学の入門的内容を講義する。消費者と生産者の選択が成立させる需要法則と供給法則を分析すると同時に、希少資源の配分問題を解く一つの経済メカニズムである「市場機構」の分析手法を学ぶ。これらの分析を通じて「市場機構」

の機能に関する理解を深めることを目標とする。

【教科書】

授業内で指示する。

【参考書】

- (1) 入門書（経済学部以外の学生をも対象としたもの）
 ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ ミクロ経済学』（第2版）東洋経済新報社（2000年）
 伊藤元重著『ミクロ経済学』日本評論社（1992年）
 矢野誠著『ミクロ経済学の基礎』岩波書店（2001年）
 矢野誠著『ミクロ経済学の応用』岩波書店（2001年）
 奥野正寛著『ミクロ経済学入門』（新版）日本経済新聞社（1990年）
 石井安憲・西條辰義・塩澤修平著『入門・ミクロ経済学』有斐閣（1995年）
 塩澤修平著『経済学・入門』有斐閣（1996年）
- (2) 中級（経済学部教養過程）
 福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』（第3版）日本経済新聞社（2000年）
 瀬古美喜・渡辺真知子著『完全マスター・ゼミナール経済学入門』（3版用）日本経済新聞社（2000年）
 西村和雄著『ミクロ経済学入門』（第2版）岩波書店（1995年）
 武隈慎一著『ミクロ経済学』新世社（1989年）
 ハル・R・ヴァリアン著（佐藤隆三監訳）『入門ミクロ経済学』勁草書房（2000年）
- (3) 中級以上（経済学部教養過程あるいはそれ以上）
 奥野正寛・鈴木興太郎著『ミクロ経済学』岩波書店（1985年、1988年）
 根岸隆『ミクロ経済学講義』東京大学出版会（1989年）
 Hal R. Varian, 『Microeconomic Analysis 』(3rd ed.)(Norton, 1992.)

ミクロ経済学初級

2単位 秋学期

川又 邦雄 グレーヴァ香子
 津曲 正俊 中村 慎助

【授業科目の内容】

「ミクロ経済学初級」で習得する知識を前提として、引き続きミクロ経済学の講義を行う。

【教科書】

授業内で指示する。

【参考書】

参考書については、「ミクロ経済学初級」を参照のこと。

経済思想の歴史

2単位 春学期

飯田 裕康

【授業科目の内容】

現代はまさしく経済思想の不毛の時代といってよいかもしれない。近代以降創り上げられてきた経済思想の多くは自己破綻をきたし、あらたな思想形成への苦闘が、

それぞれの経済の「現場」でくりひろげられている。市場原理主義の幻想が横溢するなかで、真に受け継ぐにたまるものが何かをつかむために、ここでは近代以降の経済の現場とそれにかかわった主要な思想の形成・展開の歩みをひとまずはたどってみることとしたい。そして人々がいかに近代の労働や「仕事」を、そしてそれと密接にかかわる社会的「知」を、伝統的社会のそれに対決しそれを乗り越えるために称揚したかを見てゆきたい。そしてそのなかに、現実をこえて希望への大きな信頼が貫いていることも併せて考えてみたい。

経済思想の歴史

「経済思想の古典的世界」

2単位 春学期

坂本 達哉

【授業科目の内容】

アダム・スミスからJ.S.ミル、K.マルクスまでの経済思想の古典的展開を、歴史・思想・理論の3者関係を軸として講義する。

【教科書】

ロバート・L・ハイルブローナー著『入門経済思想史・世俗の思想家たち』ちくま学芸文庫（2001年）

【参考書】

ロバート・L・ハイルブローナー著『私は、経済学をどう読んできたか』ちくま学芸文庫（2003年）

経済思想の歴史

「古典派経済学からマルクスへ」

2単位 春学期

佐藤 有史

【授業科目の内容】

この講義では、経済学という人文諸科学のうちで比較的に「新しい科学」が、いかにして生まれ、どのように発展し、そしてその結果、いかにして人文諸科学のうちの「第一級の科学」として社会に認知されることになったのかを、そうした認知をまさにもたらした「古典派経済学」の生成と展開とに即してできるだけ生き生きと論じてみたいと思っている。本講義は、単に経済学がこれまで歩んできた歴史をなぞることを目的とはしない。そうではなくて、本講義は、かつて存在した経済学、今ある経済学、これからあるべき経済学を、学生諸君一人一人に再考していただく1つの契機を与える場となりうることを目的としているのである。

【教科書】

特に用いない。講義中に印刷物を配布しテキストに代える。

【参考書】

大友敏明・池田幸弘・佐藤有史編『経済思想にみる貨幣と金融』三嶺書房（2002年）永井義雄・柳田芳伸・中澤信彦編『マルサス理論の歴史的形成』昭和堂（2003年）その他講義中に指定する。

経済思想の歴史

「経済思想へのイントロダクション」 2単位 秋学期
池田 幸弘

〔授業科目の内容〕

ミクロ経済学、マクロ経済学の成立について講ずる。現代経済学の全体について、又他の領域との関係について見通しを与えることが講義の目的である。

〔教科書〕

特に用いない。

〔参考書〕

西沢保編『経済政策思想史』有斐閣

経済思想の歴史

2単位 秋学期
小室 正紀 蔦木 能雄

〔授業科目の内容〕

この講義は、日本における経済思想史を扱う。学期の前半は、小室が担当し、江戸時代から明治初期までを扱い、後半は、蔦木が担当し明治時代から大正時代頃までを対象とする。

広く経済現象や経済問題についての考え方は、時代とともに変化するとともに、もちろん、国・地域・文化圏によっても相互に異なる。現代のように情報や知識が瞬時に世界を駆け回る時代においてさえも、国により経済についての考え方の違いはあるが、時代をさかのぼればさかのぼるほど、その違いは一層大きい。それは、それぞれの国や地域により社会形態が異なり、また特定の知性・学問・宗教などの伝統もあり、経済思想もその影響を受けざるを得なかったからである。そして、このような歴史的な相違は、単に過去の問題にとどまらず、現代の思想にも深く影響し、現実世界における経済思想の違いを形づくっていると言える。

そのような中で、日本の経済思想の特質を歴史的に把握することは、日本に特別な関心を抱く者の単なる興味を越えて、世界的に極めて大きな意義をもっている。従来、経済思想の歴史は、欧米における展開を中心に論じられてきた。それは、近代資本主義が世界に先駆けて成長したのが欧米であったからである。しかし、現代世界は、欧米のみでなく、多くの文明圏に資本主義経済が存在し、またそれを目指している国々が至る所にある。そして、日本は、非欧米世界の中で、最も早く、近代資本主義へと進んだ国であった。日本が歴史的に経験した、固有の経済思想の展開と、欧米から導入された思想や経済システムとの軋轢・融合の経過は、単に日本のみの問題ではなく、多くの非欧米圏の経済思想の問題でもある。そして、このような非欧米の事例を考えることなしに、現代世界の経済をグローバルな視点で理解することもまた出来ないのである。

なお、講義を江戸時代から始めるのは、その時期に、日本独自の経済社会の始動とともに、中国の思想の影響を受けつつも、日本独自の経済思想が形成されてくるからであり、それが、明治以降の経済思想の隠れた原型を

なしていると考えるからである。また明治初期については、小室が主に江戸時代から見る視点で扱い、蔦木が、明治以降の出発点としての視角から扱い、両者が取り上げることになる。講義の最後は、大正期ないし昭和恐慌の開始前に置かれる。これは、その時期をもって、「日本の近代化」に一応の区切りがつけられると考えるからである。

〔教科書〕

使用せず。

〔参考書〕

逆井孝仁・藤原昭夫他編『日本の経済思想四百年』日本経済評論社（平成12年）、テッサ・モリス・スズキ『日本の経済思想』岩波書店（平成3年）、杉原四郎・長幸男編『日本経済思想史読本』東洋経済（昭和54年）

経済数学 A

「経済学のための微分積分」 2単位 春学期

厚地 淳 池田 薫
桂田 昌紀 竹中 淑子
戸瀬 信之 西岡久美子
宮崎 直哉

〔授業科目の内容〕

この科目の目的は1年生の「微分積分」(履修タイプ)と「数学概論」(履修タイプ)に引き続き多変数の微積分を学ぶことにある。1年生のときは、2変数の関数の偏微分、全微分、極値問題、そして1制約条件下のLagrangeの未定乗数法を学んだ。この科目では、さらに3変数以上の場合を学ぶとともに、時間が許せば1変数の積分と2変数の重積分を学ぶ。

1. 2次元、3次元を中心に行列式の復習
2. 偏数分、接平面、全微分可能性、微分の変数変換公式(2変数の復習からはじめる)
3. 多変数の極値問題(3変数に重点をおく)
4. 陰関数定理、逆関数定理(使い方に重点をおく)
5. 条件付極値問題(2変数1制約条件、3変数1制約条件、3変数2制約条件の場合に重点をおく)
6. 1変数の積分、2変数の積分

履修タイプ の学生に対する注意

「数学概論」に合格していない学生の履修を妨げる理由はないが、推奨はできない。

関連する講義について

時間の制限もあって、最後の積分の内容まで教えることができるかはわからない。それでも、積分を学ぶことは経済学部生にとってますます必要になっている。統計学をちゃんと理解する上でも積分は必須である。三田にあって、計量経済学や確率・統計を学ぶ上でも積分の基礎は不可欠であろう。そこで、2年生諸君には「統計学」を春学期に学ぶと同時に総合教育科目「積分入門」(2単位科目)を学ぶことを推奨する。

最近、金融機関では確率論をもとにしたファイナンスを多用するようになってきている。興味がある諸君は、総合教育科目「ファイナンス数学」を受講するとよいだろう。「ファイナンス数学」では「経済

数学 A、B」の応用となる内容を含む。

「経済数学 A、B」の内容の経済学者による視点からの解説を含む総合教育科目「経済数学入門、」が開講される。興味がある諸君は多数受講されることを望む。

単位について

秋学期に開講する「経済数学 B」と両方を履修してもよい。春学期、秋学期の経済数学を両方合格して、3、4年生で理論経済学、計量経済学を学ぶ数学的な準備が整うことに注意しよう。

【教科書】

授業中に指定する。

【参考書】

授業中に指示する。

経済数学 B

「経済学のための線形代数」 2単位 秋学期

厚地 淳	池田 薫
桂田 昌紀	竹中 淑子
戸瀬 信之	西岡久美子
宮崎 直哉	

【授業科目の内容】

この科目の目的は1年生の「線形代数」に引き続き、線形代数のさらに深い内容を学ぶことにある。1年生の「線形代数」では、行列、ベクトルの演算、線形方程式の解法（掃き出し法）、線形独立性、行列式の内容を学んだ。計算が中心で論理的な構成に関しては少しおろそかになっている。そこで、この科目では線形独立性、部分空間とその基底、次元などの解説を行った後に、固有値問題とその応用に関して詳しく解説する。

1. 線形独立性、部分空間、基底、次元、行列式
2. 固有値、固有ベクトル、行列の対角化
3. ベクトルの内積、行列の転置の意味、最小自乗法、グラム・シュミットの直交化、直交行列
4. 対称行列の直交行列による対角化、2次形式とその標準系
5. 線形微分方程式、線形差分方程式

履修タイプ の学生に対する注意

この講義を履修する前に、必ず、1年生の秋学期において「線形代数」を履修することが必要である。

履修タイプ の学生に対する注意

1年生の時に「線形代数」が不合格であったものは、秋学期に同時に「線形代数」を履修すること。

関連する講義について

総合教育科目「データ解析入門、」「データ解析、」では、線形代数が統計学と一緒に応用されている内容を学ぶことができる。経済学部でなぜ線形代数を学ぶのか、その必要性がこれらの講義で理解できるであろう。

最近、金融機関では、確率論をもとにしたファイナンスを多用するようになってきている。興味があるものは、総合教育科目「ファイナンス数学、」を受講するとよいだろう。「ファイナンス数学、」では「経

済数学 A、B」の応用となる内容を多く含む。

「経済数学 A、B」の内容の経済学者による視点からの解説を含む総合教育科目「経済数学入門、」が開講される。興味がある諸君は多数受講されることを望む。

単位について

春学期・秋学期の経済数学を両方合格して、3、4年生で理論経済学、計量経済学を学ぶ数学的な準備が整うことに注意しよう。

【教科書】

授業中に指定する。

【参考書】

授業中に指示する。

経済数学

「位相数学、確率論、ゲーム理論の基礎」 2単位 秋学期
グレーヴァ香子

【授業科目の内容】

三田でのミクロ経済学理論、ゲーム理論およびそれらの応用（契約、産業組織論等）への数学的準備をする。基礎的な位相数学、確率、および動的計画法を講義と演習で学ぶ。演習では経済学への応用を重視する。これらの数学は実は全く基礎がない学生でも学ぶことができるが、経済数学もあわせて履修すれば、最適化もマスターでき、望ましい。

【教科書】

なし。

【参考書】

丸山徹著『経済数学講義』慶應義塾大学出版会
神谷和也、浦井憲著『経済学のための数学入門』東京大学出版会

経済数学

「最適化とゲームの数理」 2単位 秋学期
中山 幹夫

【授業科目の内容】

この講義では、経済学に必要な数理的思考法と分析力を身につけ、最適化理論とゲーム理論の初歩について学びます。

【教科書】

特に指定せず、適宜、講義資料を配布します。

【参考書】

より詳細な数学的基礎の勉強にはたとえば
岡田章著『経済学・経営学のための数学』東洋経済新報社（2001年 3200円）などがよい。

経済と環境

2単位 春学期
大沼あゆみ 松原 彰子

【授業科目の内容】

今日の環境問題を、経済学と自然科学の立場から概観する。地球環境の変化と人間の活動とのかかわりを、い

くつかの具体的問題から説明する。

【教科書】

なし。

【参考書】

環境庁編『環境白書 最新版』

ターナー他著『環境経済学入門』東洋経済新報社

石弘之著『地球環境報告、地球環境報告』岩波新書

慶應義塾大学経済学部環境プロジェクト編『ゼミナール地球環境論』

ブラウン『地球白書』(最新版)ダイヤモンド社

(以上 大沼担当分)

経済と環境

「自然環境と人間」

2単位 春学期

寺出 道雄 長沖 暁子

【授業科目の内容】

現代の重要問題である「経済と環境」のかかわりについて、自然環境と人間という幅広い視点から入門的に講義する。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業中に指示する。

経済と環境

「そのとらえ方と諸問題」

2単位 秋学期

大沼あゆみ 寺出 道雄

【授業科目の内容】

現代社会の重要問題の一つである経済と環境のかかわりについて、分かりやすい入門的な講義をおこなう。

【参考書】

授業中に指示する。

経済と環境

2単位 秋学期

武山 政直 福山 欣司

【授業科目の内容】

前半

生物多様性と生態系をキーワードに、生物の関わる地球環境について解説を行う。基本的な事項の説明とともに、実際の地球環境にどのような問題が生じているのかを概観する。

1. 地球環境の成り立ち
2. 生物多様性とは何か
3. 生物多様性の危機
4. 生命を支える生態系
5. 生態系に対する人為的な攪乱
6. 自然環境の未来

後半

知識集約化やグローバル化にともなって生じる経済・社会の変化について、特に経済活動をとりまく諸環境に焦点を当てて議論する。

1. イノベーションとビジネスの環境
2. アイデンティティと仕事の環境
3. 世代文化と消費の環境
4. 情報技術とサービスの環境
5. 経済環境にみられる創発性
6. 総括

【参考書】

[前半]

地球白書2004-05(ワールドウォッチ研究所 家の光協会発行)

[後半]

授業中に適宜指示。

計量経済学概論

「経済分析における統計的方法」

2単位 秋学期

河井 啓希

【授業科目の内容】

計量経済学(Econometrics)とは、観察可能な経済データからその資料の発生メカニズムを経済理論にもとづいて推測する方法を示すものである。一般に経済分析に登場するデータは自然科学のように条件をよくコントロールされた実験データではないため、経済分析固有の統計的問題がおりうる。この授業では、統計学で学んだ知識を確認しながら、経済分析固有の問題を実例を交えて紹介していく。

【教科書】

浅野哲・中村二朗著『計量経済学』有斐閣

【参考書】

山本拓著『計量経済学』新世社

袁谷千鳳彦著『計量経済学(第3版)』東洋経済

計量経済学概論

2単位 秋学期

田中 辰雄

【授業科目の内容】

計量経済学の基礎を講義する。単回帰、重回帰、t値、決定係数、ダミー変数、構造変化、F検定までを講義する。計量経済の学習では実践が不可欠なので、2回に1回はパソコンを使って演習を行う。演習によって身体で覚えることを重視しているのが、本講義の特徴である。

【教科書】

なし。

【参考書】

浅野哲・中村二朗『計量経済学』有斐閣、白砂提津耶『例題で学ぶ・初歩からの計量経済学』日本評論社

計量経済学概論

「市場の科学：経済学における

法則把握の作法と統計学の適用」

2単位 秋学期

宮内 環

【授業科目の内容】

この「計量経済学概論」では、市場の機能に関する法

則把握を目的とした経済学の方法を、科学全般の中で位置づけて講義を進める。こうした科学の方法において、統計学の適用は不可欠であるが、多くの統計学的方法は主に生物学、農学や心理学などの実験科学において開発されてきた。これに対し、観測者が観測する経済学的現象は実験の結果ではない場合が多い。したがって、統計学を経済現象に適用するにあたっては、統計学が前提とする観測資料の発生の仕組みと、経済現象における資料発生の仕組みとの関係についての考察が不可欠である。「計量経済学」では主にこの点に焦点をあて、日吉での「統計学」の知識を確認しながら、回帰分析を中心に計量経済学の入門的講義を行う。なお、計量経済学的分析に用いるソフトウェアとして、TSPの使い方の基礎についても講義の中で紹介する。

【教科書】

小尾恵一郎著『計量経済学入門』日本評論社

【参考書】

適宜講義の中で示す。

マルクス経済学	2単位	春学期
	飯田 裕康	北村 洋基
	駒形 哲哉	

【授業科目の内容】

カール・マルクスの主著『資本論』は、資本主義社会という「近代社会の経済的運動法則を解明すること」を目的として、資本主義経済のメカニズムを構造的・体系的に分析している。同書が出版されて以来1世紀以上たつが、資本主義経済の特質を一貫した論理によって総体的に明らかにした著書として、現在においても輝きを失っていない。

もちろんその間、マルクス経済学の理論研究も進展してきたことはいままでのない。今日の資本主義はマルクスの時代とはかなり様相が変わっているが、現代経済の諸問題を批判的・原理的に認識し解明する上でもマルクス経済学は重要な理論的基礎となる。それゆえ、マルクス経済学、の講義は『資本論』の内容を基礎としつつも、その単なる解説ではなく、資本主義の段階的变化をふまえたマルクス以後の研究成果を織り込んで、現代の資本主義を総体として把握し理解するための授業として行われる。

【教科書】

常盤・井村・北原・飯田共著『経済原論』有斐閣

マルクス経済学	2単位	秋学期
	飯田 裕康	北村 洋基
	駒形 哲哉	

【授業科目の内容】

「マルクス経済学」は、「マルクス経済学」の履修を前提として、より具体的・現象的なレベルにおける資本主義の理論的解明を行なう。

【教科書】

常盤・井村・北原・飯田共著『経済原論』有斐閣

簿記

「財務諸表作成の基礎」

4単位 通年

鷹野 宏行

【授業科目の内容】

企業は、その経済活動を継続的に記録し、それを加工して、定期的に報告していかなければならない。この一連の流れは、ふつう、企業会計と呼ばれている。企業会計が、企業を取り巻く利害関係者への一種のコミュニケーションの手段であるということに注目すると、企業会計は、ことばの体系にたとえることができよう。このようにたとえた場合、簿記は、さしずめ企業会計の文法規約であると考えられるであろう。

【教科書】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

簿記	4単位	通年
「財務諸表の技術的基礎」		李 精

【授業科目の内容】

現代社会は様々な「装置」から成り立っているが、その中であって大きな役割を果たしているのが複式簿記である。複式簿記が誕生したのは今からおよそ500年前のことであるが、かのMax Weberが述べたように、1つの形式合理性として資本主義社会の発展に大きく寄与してきた。この計算技術装置を通して企業活動の経済的側面を一望に収めることができるのである。

複式簿記とは、企業の行う経済活動を帳簿に複式記録することによって、企業の財政状態と経営成績を明らかにするものである。財政状態は貸借対照表（バランスシート）、経営成績は損益計算書によって示されるが、これらは複式簿記の手続きを経て誘導的に作成される。貸借対照表や損益計算書は企業の決算書類であるが、財務諸表とも呼ばれる（財務諸表は他にキャッシュフロー計算書、利益処分計算書などがある）。

本講義は複式簿記の基礎知識を提供するものであり、決算に至るまでの一巡の簿記手続きの理解を図ることを目的としている。

【教科書】

講義の最初に指示する。

【参考書】

山樹忠恕著『複式簿記原理（新訂版）』千倉書房

総合教育科目

経済数学入門	2単位	春学期
	戸瀬 信之	中村 慎助

【授業科目の内容】

本講義においては、高校程度の数学の復習から出発して入門的な数学を経済学への応用を中心として取り扱うこととする。厳密で詳細な証明は他授業で学ぶことを前提に、数学的なトピックの紹介と、経済学において実際にどのように使われているのかを概観することが講義の中心となる。経済学で用いられることの多い計算問題にも可能な範囲で時間を割くこととしたい。主なトピックは、秋学期に「経済数学入門」を履修することを前提に、以下の内、前半を取り扱う。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

西村和雄著『経済数学早わかり』日本評論社
西村和雄著『入門経済学ゼミナール』実務教育出版

経済数学入門 2単位 秋学期
戸瀬 信之 中村 慎助

【授業科目の内容】

本講義においては、高校程度の数学の復習から出発して入門的な数学を経済学への応用を中心として取り扱うこととする。厳密で詳細な証明は他授業で学ぶことを前提に、数学的なトピックの紹介と、経済学において実際にどのように使われているのかを概観することが講義の中心となる。経済学で用いられることの多い計算問題にも可能な範囲で時間を割くこととしたい。主なトピックは、春学期に「経済数学入門」を履修することを前提に、以下の内、後半を取り扱う。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

西村和雄著『経済数学早わかり』日本評論社
西村和雄著『入門経済学ゼミナール』実務教育出版

積分入門 2単位 春・秋学期
鈴木 達夫 光 道隆

【授業科目の内容】

この講義では経済学部生にとって必要と思われる積分のエッセンスについて解説する。最近の経済学の中で確率論がよく使われるようになっている。社会にでると金融派生商品（デリバティブ）を理解するには、確率的なものの考え方が必須である。そのためにも、基礎となる積分を学ぶことは諸君の一生の財産となるに違いない。経済学部では統計学、が必修であり、積分を理解することは統計学を理解する上でも重要である。

講義を受ける前提として、高校2年生までに学ぶべき積分を仮定する。高度な微分法を学んでいないことを考慮しながら、まず1変数の積分のイメージをしっかりと教える。その後、様々な公式、部分積分、変数変換の公式を教える。さらには、多重積分を実践的に教える。すなわち、2重積分の定義を教えた後、Fubiniの定理、変数変換の具体的な公式（線形座標変換、極座標変換など）について解説する。その中で、統計学を学ぶ上で必要な

積分の計算についても解説する。

【教科書】

講義の冒頭で指定する。

【参考書】

講義の冒頭で指定する。

データ解析 2単位 春学期
「線形モデルとデータ」 今泉 忠

【授業科目の内容】

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。そこでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要がある。その場合、収集されたデータを分析するだけではなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、説明変数と被説明変数が想定される場合のデータ解析について講義する。受講者が、
(1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
(2) 多変量データについて統計分析が可能となることを目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

【教科書】

講義リプリントはwebサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析 2単位 秋学期
「特徴の抽出」 今泉 忠

【授業科目の内容】

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。そこでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要がある。その場合、収集されたデータを分析するだけではなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、多変量データが得られた場合に、それを要約する場合のデータ解析について講義する。受講者が、
(1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
(2) 多変量データについて統計分析が可能となることを目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

【教科書】

講義リプリントはwebサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析入門

「データを探る」

2単位 春学期

今泉 忠

【授業科目の内容】

ある事柄についてデータをもとに分析する機会が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、1変数の場合のデータ解析について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

- (1) データから基礎的な統計推論が可能となる
- (2) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる

【教科書】

講義リプリントはwebサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析入門

「データによるモデル構成を行うには」

2単位 秋学期

今泉 忠

【授業科目の内容】

ある事柄についてデータをもとに分析する機会が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、2変数の場合について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 2変数間の関係について、仮説構築、検討、評価を行うことができる

【教科書】

講義リプリントはwebサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

ファイナンス数学

「ファイナンス数学の基礎（離散形アプローチ）」

2単位 春学期

伊藤 幹夫

【授業科目の内容】

この講義と秋学期に開講されるファイナンス数学では、近年ますます重要となっている金融工学の初歩を、微分積分と線形代数の知識を前提として、わかりやすく解説する。春学期のファイナンス数学は、直感的に把握しやすい離散モデルを主題とする。

具体的には、現代の金融システムを簡単に解説したのち、直感的に理解しやすい離散モデルで確率の基礎を講義する。その上で、個別主体の行動としてのポートフォリオ選択の理論を示す。次に、経済学における需給均衡とならぶ重要性をもつ、ファイナンスにおける根本原理

である「無裁定」の考え方を数理的に整理する。さらに、株式オプションなどの金融派生商品の価格が、無裁定を基礎にしてどのように決定されるかを示す。最後に離散的な確率過程をツリーモデルを使って示し、秋学期のファイナンス数学につなげる。

【教科書】

津野義道著『ポートフォリオ選択理論入門』共立出版
刈屋武昭・小暮厚之著『金融工学入門』東洋経済新報社
レジュメは講義後、HPにおいて公開する。

【参考書】

伊藤幹夫・戸瀬信之訳『デリバティブの数学入門』共立出版

戸瀬信之・伊藤幹夫著『経済数学』エコノミスト社

田畑吉雄著『数理ファイナンス論』牧野書店

日本銀行金融研究所編『あたらしい日本銀行』有斐閣

ファイナンス数学

「ファイナンス数学の基礎（連続形アプローチ）」

2単位 秋学期

伊藤 幹夫

【授業科目の内容】

この講義と春学期に開講されるファイナンス数学では、近年ますます重要となっている金融工学の初歩を、微分積分と線形代数の知識を前提として、わかりやすく解説する。秋学期のファイナンス数学は、応用が広い連続モデルを主題とする。

具体的には、春学期に開講されるファイナンス数学で学んだリスク中立確率測度を復習したのち、離散形モデルと連続形モデルがどのように関連するかをながめる。次に、不確実な現象を表現するための手段としてのブラウン運動についての基礎を講義する。その後、ブラウン運動で表現される原資産価格とデリバティブ（金融派生商品）価格の関係を計算するために必要な確率積分と伊藤の公式を学ぶ。有名なブラック・ショールズ公式を導出したのち、リスク中立確率測度が連続形でもデリバティブ価格決定に重要な位置を占めることを再確認する。

【教科書】

蓑谷千鳳彦『よくわかるブラック・ショールズモデル』東洋経済新報社

レジュメは講義後、HPにおいて公開する。

【参考書】

伊藤幹夫・戸瀬信之訳『デリバティブの数学入門』共立出版

ネフツィ著『ファイナンスへの数学（第2版）』朝倉書店

3 法学部

数学・統計・情報処理科目

基礎数学

「初等整数論」

2単位 春学期

山内 憲一

〔授業科目の内容〕

平成6年10月ついにフェルマーの大定理「 n が3以上の自然数ならば、 $x^n+y^n=z^n$ を満足する自然数 x 、 y 、 z は存在しない」の証明が完成したというニュースが、新聞に掲載していましたが、この問題は過去350年間にわたって数学者を悩ませてきた大問題でした。整数論にはこの他にも未解決の問題が沢山あります。この講義では整数論に於て、今までどのような問題が考えられ、それらがどのように解決されたのか、あるいはまた未だに解けていないのかを話題にしながら、初等整数論の基本的事項を取り扱う。なるべくいい証明をつけます。我々が普段、無意識に使用している定理にも意外と深い真理を見出してきっと感銘をうけられるでしょう。

予備知識は前提としないが、教科書をよく読み積極的に授業に参加してもらいたい。尚、便宜上科目名は基礎数学となっておりますが、他の数学の授業と同じレベルであることを申し添えておきます。“基礎”という文言にこだわらないで下さい。

〔教科書〕

北村泰一著『数論入門(改訂版)』槇書店

基礎数学

「整数の合同と平方剰余の相互法則」

2単位 秋学期

山内 憲一

〔授業科目の内容〕

この講義は基礎数学（初等整数論）と密接に関連しているが、予備知識や基礎数学の内容を前提としないで授業を進めて行く。

我々は7で割って余りが同じであるような日付け（たとえば4月2日、9日、16日、...）には、同じ曜日を当てる。このようなことは時刻を表わすときにも生じる。（今度は7の代わりに12が基準となる。）これらのことを抽象化して、整数の合同という概念が得られる。これは整数論ばかりでなく、代数学に於ても基本的な役割を果たす。

平方剰余の相互法則はガウスによって証明された。それまではクイズ的な性格をもった整数論を、ガウスはこの定理を証明することによって学問的な水準にまで引き上げた。1920年高木貞治博士が類体論を証明したが、平方剰余の相互法則はこの類体論の原形をなすものである。またこれはフェルマーの大定理の解決にも深くかかわっている。このように平方剰余の相互法則は整数論に於て本質的な意味をもっている。証明も時間をかけてで

きるだけいいにするので、その定理の意味するところをよく理解してもらいたい。また理解を助ける意味で沢山の例題や計算問題を扱う予定である。尚、便宜上科目名は基礎数学となっておりますが、他の数学の授業と同じレベルであることを申し添えておきます。“基礎”という文言にこだわらないで下さい。

〔教科書〕

北村泰一著『数論入門(改訂版)』槇書店

基礎統計学

2単位 春学期

中野 文平

〔授業科目の内容〕

コインを何回か振ったとき表が出る回数は、およそ $1/2$ と予想されるが、実際、10回程度振ったとき、いつも振った回数の $1/2$ だけ表が出るとは限らない。しかし、多数回振れば、表が出る回数は、 $1/2$ にだんだん近くなるであろう。このような現象は、私たちの身の回りにいるいるあり、たくさんのデータがあつて初めてその様子が分かる現象である。ここでは、多数あるデータの取り扱いの基礎を解説する。

1章 順列・組み合わせ

(1)順列 (2)組み合わせ (3)二項定理と組み合わせ

2章 確率

(1)専門用語と記号 (2)和の法則 (3)乗法定理
(4)余事象の定理 (5)ベルヌイ試行 (6)メレの臨界値

3章 確率変数と確率分布

(1)離散型確率変数 (2)連続型確率変数
(3)確率の平均 (4)分散・標準偏差 (5)確率変数の変換

4章 代表的な確率分布

(1)二項分布 (2)二項分布の平均・分散・標準偏差
(3)大数の法則 (4)正規分布 (5)標準化正規分布
(6)標準化正規分布とその応用

5章 データの整理

(1)頻度分布 (2)頻度分布表 (3)累積分布関数
(4)資料の代表値

〔教科書〕

勝野恵子著『確率・統計入門』八千代出版

〔参考書〕

福井幸男著『知の統計学』共立出版

基礎統計学

2単位 秋学期

中野 文平

〔授業科目の内容〕

基礎統計学では確率の基礎とデータ整理まで学んだので、後期では体重と身長の関係などの扱い方、シミュレーション実験の基礎としての乱数の発生と使い方、標本調査の話などを解説する。基礎統計学を学んでいることを前提として進める。

6章 相関関係

(1) 共分散 (2) 相関関係 (3) 相関係数 (4) 回帰直線

7章 確率現象のコンピュータシミュレーション

(1) 乱数とは (2) 一様乱数 (3) 正規乱数 (4) 二項乱数
(5) Excelを用いた様々な乱数の発生と分布の作成

8章 母集団と標本

(1) 母集団 (2) 標本調査 (3) 確率変数の一次結合の平均と分散 (4) 中心極限定理

9章 推定

(1) 点推定 (2) 不偏推定量 (3) 母平均の区間推定
(4) 分布 (5) 母比率の区間推定 (6) カイ自乗分布
(7) 母分散の区間推定

10章 仮説検定

(1) 帰無仮説 (2) 片側検定と両側検定
(3) 平均値の検定

【教科書】

勝野恵子著『確率・統計入門』八千代出版

【参考書】

福井幸男著『知の統計学』共立出版

数学

「微分と積分」

2単位 春学期
山内 憲一

【授業科目の内容】

この講義の中心テーマは微分法と積分法である。微分法の基本的な考え方は関数のある点の近くにおける行動を一次関数で近似するという、幾何学的に言えば直線で近似するということである。この単純なアイデアが大変有効で、経済学やその他の分野において大いに応用されている。

また積分法に関して言えば、長さ、面積、体積などを求める求積法はギリシャ時代からいろいろと考えられている。しかし17世紀にニュートンとライプニッツにより微分法が発見されてからは、微分法の逆演算を用いれば求積問題が統一的に解けることがわかり、それによって求積法が長足の進歩を遂げた。微分法の逆演算が積分法であり、積分法は求積問題だけではなく多くの問題を解決するのに利用されている。

この講義では理論的な厳密さよりも多くの具体的な問題を解くことによって基本的な考え方を理解してもらうように努力する。

【教科書】

渡部隆一・深見哲造著『文科系の数学(第4版)』森北出版

数学

「線形代数入門」

2単位 秋学期
山内 憲一

【授業科目の内容】

この講義の中心テーマはベクトル、行列と行列式である。

社会科学における数学的モデルでは、1つの数値では

なく、いくつかの数値の組によって表現される量がしばしば登場する。そのような量はベクトルで表し、日常接している平面や空間にあてはめて考えると直感的でわかりやすい。我々はまず平面ベクトルと空間ベクトルについて学び、その応用として基本的な図形の方程式やその性質を調べることにする。

さらに進んで一般のベクトル空間を定義する。そうすれば平面上(或いは空間上)の向きと大きさをもった量の集まりはベクトル空間になるし、 $m \times n$ 型行列の全体もベクトル空間になる。これら以外にもベクトル空間の例は社会現象の中に沢山存在する。このことは形式的で公理的な取り扱いが可能であることを意味するものである。

また行列は行列式とも深く関係している。行列式の発見は連立一次方程式の研究に端を発している。重要なことは線形代数のさまざまな概念は行列式を用いることにより簡潔に記述されることである。

多くの具体的な問題を解くことにより明確に内容を理解してもらうように努力する。

【教科書】

渡部隆一・深見哲造著『文科系の数学(第4版)』森北出版

数学

「行動科学における数学(集合論)」

2単位 春学期
松岡 勝男

【授業科目の内容】

数学は、自然科学、工学はもとより、社会科学、人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の現代化にも著しい影響を与えている「集合論」
- (2) 確率論をはじめとして、物理学、工学、統計学、制御理論、学習理論、ORなど、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済、社会、政治、などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」

などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

【教科書】

特に指定しません。

数学

「行動科学における数学(エントロピーとマルコフ連鎖)」

2単位 秋学期
松岡 勝男

【授業科目の内容】

数学は、自然科学、工学はもとより、社会科学、人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の現代化にも著しい影響を与えている「集合論」
- (2) 確率論をはじめとして、物理学、工学、統計学、制御理論、学習理論、ORなど、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済、社会、政治、などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」
- などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

【教科書】

特に指定しません。

統計学

「データの視覚的呈示法と読み取り方」 2単位 春学期
広田すみれ

【授業科目の内容】

情報化の進んだ現代においてコンピュータによるデータの計量的分析は必須の教養となりつつある。統計学はその基礎であるが、文系にとっては数学の一分野としての印象が強く、ともすれば敬遠しがちなことも事実である。そこで、本講義は「文系のための」社会科学の実証研究の基礎としての統計学の講義を行う。

内容は法学部の学生が調査・分析をしようとする際の入門的知識のうち、特にデータ収集とデータの基本的なまとめ方を中心に講義を行う。また雇用や犯罪などの社会統計を例に、様々なデータの読み取り方や嘘の見破り方、図表による効果的な呈示法など、データの読み方・記述の基礎を視覚的に示しながら講義する。

【教科書】

広田すみれ著『読む統計学 使う統計学(仮題)』慶應義塾大学出版会(2004.3発行予定)

【参考書】

上田尚一著『統計グラフの賢い見方・作り方』講談社ブルーバックス(1988)

統計学

「データの記述と予測、推測の基礎」 2単位 秋学期
広田すみれ

【授業科目の内容】

情報社会の進展に伴いインターネット等の媒体を通じ定量的情報を入手できる機会が飛躍的に増大した。これに伴い、これら莫大なデータをコンピュータを利用し適切に処理・理解し、有効利用する能力の重要性もまた高まっている。本講義では調査や実験において収集されるデータを記述・理解する方法について、人口・雇用・環境などの社会統計/国際統計を利用しながら統計学よりやや踏み込んで、具体的な手法から説明する。また、コンピュータでこれらの手法を実行する方法についても簡単に講義する。受講生諸君には「データを解読する楽しみ」を知ってほしい。

【教科書】

広田すみれ著『読む統計学 使う統計学(仮題)』慶

應義塾大学出版会(2004.3発行予定)

【参考書】

鳥居泰彦著『はじめての統計学』日本経済新聞社、福井幸男『知の統計学(第2版)』共立出版

統計学

「推測統計学の基礎」 2単位 春学期
大森 貴秀

【授業科目の内容】

統計学の基礎知識(記述統計・確率分布)を持つ学生を対象に、推測統計の論理と基本的な統計検定の手法を解説します。ばらつきを持ったデータを用いてどのようにして事象の白黒を判断できるのかという検定の論理を理解し、実際の個々の検定法の使い方を実習を通じて身につけてもらうことを目指します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

P. G. ホーエル著『初等統計学』培風館(1981 1650円)
白旗慎吾著『統計解析入門』共立出版(1982 2400円)
その他、講義内で適宜を紹介します。

統計学

「多変量解析の基礎」 2単位 秋学期
大森 貴秀

【授業科目の内容】

統計検定の基礎知識を持つ学生を対象に、より複雑で多数のデータに対しておこなう多変量解析の主な手法について、その論理を中心に解説します。また、実際のデータを用いた実習を通して、どのようなデータがあるときに、どの分析法を選び、どうやって分析をおこない、どのように結果を解釈するのかについても学んでもらいます。

【教科書】

特になし。

【参考書】

田中豊・脇本和昌著『多変量解析法』現代数学社(1983 2900円)
その他、講義内で適宜紹介します。

情報処理

2単位 春学期

情報処理

2単位 秋学期

「情報処理の基礎」

恩田 憲一 木元 宏次
遠山 朋子 福岡 秀也
松永 賢次 吉舗 紀子

【授業科目の内容】

日吉ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的で

はなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、の仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについても理解することが大切である。

【教科書】

講義のはじめに指示する。

【参考書】

講義中に適宜指示する。

情報処理

「研究・ゼミに活かすデータの基本的分析法」 2単位 春学期
湯浅 壘道

【授業科目の内容】

本科目では、大学3年次・4年次に行う「ゼミ活動」や各種の「研究発表」に活かすためのデータの基本的分析法を修得する。受講者は、「Word」を使用した基本的文書作成、「Excel」を使用した簡単な表・グラフ等の作成についての基本的なスキルをすでに身につけていることが前提となる。本科目では、具体的なテーマに沿って、データを利用した簡単な分析を行う。法律学科、政治学科のいずれの学生も歓迎する。若干の統計学的内容を扱うが、数学の知識は一切不要であり、データの分析法の習得が主な目的である。

【教科書】

特に使用しない。講義資料をダウンロードするウェブページのURLは、ガイダンスの際に指示する。

情報処理

「研究・ゼミに活かすデータの基本的分析法」 2単位 秋学期
湯浅 壘道

【授業科目の内容】

本科目では、大学3年次・4年次に行う「ゼミ活動」や各種の「研究発表」に活かすためのデータの基本的分析法とプレゼンテーションの技法を修得する。法律学科、政治学科のいずれの学生も歓迎する。データの分析法を習得した後、グループまたは個人別に実際にテーマを決めて分析を行ってもらい、その結果を、PowerPointを用いたプレゼンテーションにより発表してもらう予定である。

【教科書】

特に使用しない。講義資料をダウンロードするウェブページのURLは、ガイダンスの際に指示する。

法律学科

法学（憲法を含む）

4単位 春学期集中
霞 信彦

【授業科目の内容】

本講義は、今後「法」との長い関わりをもつことになるであろう諸君達が、そのスタートにあたって、どうしても知っておかなければならない最も基礎的かつ必須の事項について、共通知識をもってもらうことを目的として開講される。本講義では、まずわが国において「法」を学習するために必要な諸種の基本情報を提供したいと思う。すなわち、現行司法制度の概要と問題点、司法制度改革の内容（国民の司法参加と陪審・参審制および法曹養成を中心に）、法典近代化の経緯、法律関係基本文献、「六法」の利用方法、法と言葉の諸問題、といった内容を講じるつもりである。さらに「法律学」に取り組むための基礎知識として、法の存在形式、法の種類、法の効力、法の解釈と適用等について、逐次述べていきたいと思う。併せて、上掲各項目の説明を進めるなかで、必要に応じて、わが国の法の歴史や、明治期以降の重要著名判例についても紹介する機会をもちたいと考えている。半期の集中的講義を通じて、学生諸君の「法」への、より強い興味が喚起できればと望んでいる。

【教科書】

霞・原『法学講義ノート』慶應義塾大学出版会（2004年刊行予定）

授業出席に際しては、必ず「六法」を持参すること（ただし最初の授業において「六法」についてのガイダンスをするので、それを聞いてから選択をすることをすすめる）。

【参考書】

講義において必要に応じて指摘する。

法学（憲法を含む）

「法学入門としての法の基礎理論」 4単位 春学期集中
森 征一

【授業科目の内容】

これから法学を専門に学ぼうとする者が、「法とは何か」という法学の究極的な問いに対する答えを探し求めて旅立つ前に、先ず知っておかなければならない法の基本的な知識を学び、また、考えておかなければならない法の基本的な問題を論じます。

【教科書】

特に指定しません。その都度、講義内容に即した資料プリントを教材として配布します。

【参考書】

五十嵐清『法学入門』（一粒社）池田真朗他『法の世界へ』（有斐閣）倉沢康一郎『プレップ 法と法学』（弘文堂）P. カラマンドレーイ（小島・森訳）『訴訟と民主主義』（中央大学出版局）

憲法
「憲法原理と基本的人権」 4単位 秋学期集中
小林 節

【授業科目の内容】

国家生活の基本法たる憲法の基本原則とその憲法が私達に保障している基本的人権について、標準的な見解を体系的に語る。

【教科書】

小林節・園田康博著『憲法』（全訂版）南窓社

【参考書】

小林節・平沢勝栄著『憲法危篤！』KKベストセラーズ

憲法
「憲法と統治機構」 4単位 春学期集中
小林 節

【授業科目の内容】

政治の基本法たる憲法と統治機構の在り方について、標準的な見解を体系的に語る。

【教科書】

小林節・園田康博著『憲法』（全訂版）南窓社

【参考書】

小林節・平沢勝栄著『憲法危篤！』KKベストセラーズ

憲法 4単位 春学期集中
小山 剛

【授業科目の内容】

日本国憲法の統治機構について、制度あるいは憲法条文の解説・解釈に重点を置き講述する。

講義で扱う順番は憲法の章立てのとおり、国会、内閣、裁判所、憲法訴訟、地方自治となるが、統治機構の学習においては、異なる機関の類似の権限等の比較も有益である。国会議員と地方議員の身分保障、裁判所の自律性と議員の自律性、議員の会議の公開と裁判の公開、法律と条例の関係・法律と政令の関係の比較などがその例となろう。

本講義では、このような日本国憲法内の比較に加え、(限られた範囲であるが)外国の統治制度との比較を行うことによって、受講者の理解の助けにしたいと考えている。

【教科書】

高橋ほか著『憲法』有斐閣

【参考書】

芦部ほか編『憲法判例百選（第4版）』有斐閣

民法 4単位 通年
齋藤 和夫

【授業科目の内容】

民法総則（民法1条から 174条12）中の重要な諸問題や論点について、講義しています。民法典の体系や構造、

そして重要な法解釈論上の問題点について、講義は1回ごとの完結した形をとりたい（第1講 第20講）と考えています。今後4年間にわたる法律学の勉強のスタートとなるわけですから、できるだけわかりやすく、興味をもってもらえるよう、努めていきたい、と思っています。法律学ってとてもおもしろいな、民法学って興味をもてそうだな、と受講生の皆さんに感じてもらえたならば、私の講義の目的はかなりの部分達せられたものと思います。あとは各人の目的や志向に応じて、様々な機会や講義を得て、自己の勉学を進めていけばよい、と考えます。

【教科書】

私の教科書は現在順次公刊中（民事研修468号・470号・472号・473号・474号・476号・478号・480号・482号・484号・486号・488号・490号以下...法務省総合研究所）ですが、齋藤和夫編『レーアブーフ民法（総則）』中央経済社

【参考書】

遠藤浩編『民法注解財産法（第1巻民法総則）』（消滅時効制度齋藤執筆）青木書院

民法

「民法の基本原則と民法総則の基礎理論」 4単位 通年
松尾 弘

【授業科目の内容】

この授業では、民法の基本原則と民法総則の基礎理論を、できるだけ身近な具体的事例に引き寄せながら、かつ体系的に理解することを目的とする。それによって法律学の基礎知識をしっかりと身に付け、法的思考方法の基本をマスターするとともに、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。

民法は、私人間の法律関係において、誰に、どのような権利が帰属するのかを決定する実体法の一般原則を定めている。そこには、権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についての基本ルールが含まれている。日本民法はこれらを、総則、物権、債権、親族および相続の5つの部分に分けて規定している。民法は、このうちの総則に重点を置きつつ、法律学の基本概念や民法の基本原則についても解説する。

【教科書】

松尾弘『民法の体系 市民法の基礎（第3版）』慶應義塾大学出版会（2003）

【参考書】

内田貴著『民法（第2版・補訂版）』東京大学出版会（2000）

川井健著『民法概論1（民法総則）（第2版）』有斐閣（2000）

民法

「民法・物権法における物件変動と物件の形態」 4単位 春学期集中
阿久沢利明

【授業科目の内容】

民法の物権法は、私権の変動の中でも、物に対する人

の支配権という物権の内容、変動を定めるものである。これは、債権法と並ぶ重要な法分野であるが、任意規定を主体とする債権法に対して、強行規定が多いため、厳格ないし画一的な構成を必要とする。本講は、このテーマについてできる限りわかりやすく講述するものである。具体的な項目は、次の通りである。

1. 物権法の意義
2. 物権の客体
3. 物権法定主義
4. 物権の種類と内容
5. 物権の効力
6. 物権変動
7. 物権の公示
8. 不動産登記の効力
9. 対抗問題
10. 動産の対抗要件
11. 動産の即時取得
12. 占有の意義
13. 占有権の内容と効力
14. 所有権の意義
15. 所有権の内容と効力
16. 用益物権

【教科書】

教科書、その他の文献については、開講時明らかにする。

民法

「物権法の基礎および諸問題」 4単位 春学期集中
武川 幸嗣

【授業科目の内容】

民法の物権法分野に関する講義を行なう。物権とは、特定の物を支配することにより財産的利益を享受する権利であるが、その種類、内容はどのようなものであるか、いかなる規律が設けられているか、その運用をめくり、どういった問題が生じているか。これらを明快に説きながら、基本的理解の確立と問題思考力の養成を図りたい。講義は、担当者作成、配布によるレジユメにしたがって行なう。

【教科書】

- 有斐閣アルマ 民法2物権（有斐閣）
有斐閣アルマ 民法3担保物権（有斐閣）

【参考書】

山野目章夫著『初歩からはじめる物権法』日本評論社

民法

「債権各論」 4単位 秋学期集中
平野 裕之

【授業科目の内容】

本講義では、講学上「債権各論」と呼ばれる、民法典の契約の部分から不法行為まで（521条から724条まで）の部分の講義する。専門的な法的知識や応用能力などは、法科大学院で習得することになっているので、ここでは、

法科大学院の入試で既習者として認定してもらうための十分な知識を習得できるよう、要領よく判例・学説を説明していく。2年生を対象としているため、なるべく事例を挙げながら分かりやすい講義に勤めたい。

【教科書】

私の教科書で恐縮であるが、平野裕之著『基礎コース民法』（新世社）を用いて、これをベースメーカーとして進めていく。現在、改訂中であり、改訂が間に合えば改訂版を用いる。

【参考書】

特に指定しない。判例ものは教科書の副読本として必ず何かを用意し、講義の予習・復習の際に目を通していただきたい。『民法判例百選』（百選と俗称されるシリーズ。有斐閣）、『新判例マニュアル債権各論』（三省堂）、『判例講義民法 債権』（悠々社）は解説つきであるが、『民法判例集（債権各論）』（有斐閣）は解説がない。教科書と併読するのであれば、解説のない後者で十分である。学説を詳しく知りたい者には、司法試験受験生に支持されている内田貴『民法 債権各論』（東大出版会）をとりあえずあげておく。

民法

「債権各論」 4単位 秋学期集中
北居 功

【授業科目の内容】

債権各論は債権の発生原因を扱う部分で、契約・事務管理・不法利得・不法行為からなる。本講義は、原則として条文に沿って、契約から順次進めていくことを予定している。しかし、債権各論の分野は条文数が圧倒的に多い部分でもあり、すべてを網羅することは困難である。場合によっては、時間との関係で割愛せざるを得ない部分もあることを予めご承知おき願いたい。なお、教科書は指定せず、適宜参考文献を指示することとしたい。

刑法

「刑事法入門」 4単位 通年
井田 良

【授業科目の内容】

犯罪と刑罰に関連する法的なルールをまとめて「刑事法」と呼ぶ。刑事法に関わる学問分野としては、刑法、刑事訴訟法、犯罪学、刑事政策、犯罪者処遇法などの広範な諸領域がある。この講義は、刑法、刑事訴訟法、犯罪学、刑事政策、犯罪者処遇法などの刑事法の諸分野それぞれのおおよその内容と基本的な考え方を明らかにしようとするものである。学生諸君が後にそれぞれの科目の本格的な勉強に取り組もうとするとき、スムーズにこれを開始できるようにするための刑事法全体への入門としての意味を持つような講義にすることを旨としたい。

【教科書】

井田良著『基礎から学ぶ刑事法〔第2版〕』有斐閣（2002年）

【参考書】

井田良＝丸山雅夫著『ケーススタディ刑法〔第2版〕』
日本評論社（2004年）

刑法 4単位 通年
加藤 久雄

〔授業科目の内容〕

刑法 で学ぶ基本的問題点と学習の仕方：

刑法 では、刑事法学 刑法、刑事訴訟法、少年法、
行刑法、犯罪者処遇制度、刑事特別法など と言われる
領域の諸問題を総合的に学習する。最近の拙著「加藤久
雄『医事刑法入門』新訂増補・3版・2004年・東京法令
出版」を素材にして、刑事法学に関する基礎的知識を学
んで行く。わたしの講義は、「刑事法学は人間学である」
というテーゼからスタートする。わたしの「刑事法学」
研究のアプローチは、学祖福澤諭吉先生の現場主義、人
道主義に基礎を置いたものである。刑法の目的・機能と
は何か、刑法はどのような法益（国家・社会・個人）を
保護することにより犯罪の予防と防止、社会の安全の確
保をしようとしているのか、などについて学んでいく。

刑法を学ぶ上での基本的視点として、人道主義的な刑
事政策の「最後の手段性」（ウルティマ・ラティオ）と
いう性質から派生する（1）罪刑法定主義、（2）責任主
義、（3）刑法の謙抑性・補充性の原則を尊重するところ
にある。これらの重要なキーワードである「罪刑法定主
義」とは、「責任主義」とは何かなどについて具体的判
例・学説について学んでいく。

刑法の基礎判例の徹底的研究：例えば、（1）信頼の原
則（最高裁昭和42年10月13日）、（2）刑法における生命
の「始期」と「終期」：末期医療における刑法の介入
（東海大学病院殺人被告事件判決＜横浜地裁1995年3月28
日・懲役2年・執行猶予2年・確定）、（3）統合失調症
（精神分裂病）犯罪者の刑事責任能力の判定（元自衛官
の殺人・殺人未遂事件：最高裁第2小法廷判1978年3月24
日刑集32巻2号408頁以下・無期懲役・確定）などの基本
的判例の分析・検討の仕方を学ぶ。

隣接諸科学の研究の必要性：科学鑑定と刑事司法制度
運用の科学化に関して、例えば、（1）刑事訴訟手続きに
おけるDNA鑑定、（2）染色体異常と刑事責任能力、（3）
SIDS（乳幼児突然死症候群）訴訟と司法鑑定制度など
のテーマを検討することにより隣接諸科学への関心を広
げ、刑法の研究対象となるテーマを学際的に研究してい
く方法を学ぶ。

比較法的アプローチの重要性：ボーダーレス社会にお
ける刑法解釈論にとって大切なのは、日本人のみに通用
する独り善がりの狭い価値観に基づく法解釈を克服する
ために国際的な視野を身に付けることである。この国際
比較法的アプローチにとって重要なのは、マスメディア
などの情報だけに頼らず情報のオリジナリティーを求め
るのは当然であるが、可能なかぎり、現場主義に基づい
て情報の正確性や客観性を確認するか、その情報の時代
背景、著者の基本的立場、他の関連著作や情報との比較
を行って、参考にしていく必要がある。法学に入門した
ばかりの諸君には、まだこうしたアプローチの方法は難

しいので、国際経験に基づくわたしの講義を通してこう
したアプローチの方法を身につけて、「刑事法学」は
「人間」を理解するために必要な法領域であることを学
んでほしい。

参考文献：加藤久雄「人格障害犯罪者と社会治療」
（成文堂・2003年）

〔教科書〕

加藤久雄著『医事刑法入門』東京法令出版（2004年刊
行）

〔参考書〕

加藤久雄著『人格障害犯罪者と社会治療』成文堂
（2003年）

刑法 4単位 通年
「現代社会における刑法各則の解釈」 伊東 研祐

〔授業科目の内容〕

この講義では、刑法典各則に規定される「罪」の内の
主要な犯罪類型について、いわゆる解釈論を展開する。
各犯罪類型の法益その他の要件の定義について、伝統的
な解釈論を踏まえ、それを謂わば単に精密化するのみな
らず、現代社会において現実に果たしている機能、また、
果たすべき機能等の観点から批判的に考察し、新たな解
釈論（解釈の域を超えるところでは立法論）を共に考え
ることとしたい。各則の条文に関する知識の蓄積は本講
義の目的の一部ではあるが、それよりも、現実社会に生
成する事象の刑事法的分析力とそれに対する蓄積した法
的知識の適用力を養成することを主眼とする。

〔教科書〕

伊藤研祐著『現代社会と刑法各論（第2版）』成文堂
（2002年 3700円）

『刑法判例百選 各論（第5版）』有斐閣（2003年
2200円）

〔参考書〕

講義の進行に伴い紹介する。

刑法 4単位 通年
「刑法各論の重要問題」 高橋 則夫

〔授業科目の内容〕

刑法総論が犯罪の一般的成立要件すなわち構成要件該
当性・違法性・責任を中核とする犯罪論体系を問題とす
るのに対して、刑法各論は個々の具体的な犯罪（殺人罪、
窃盗罪など）の成立要件を問題とする。

刑法各論は、各構成要件上保護される法益によって、
その対象を区分する。すなわち、個人的法益、社会的法
益、国家的法益の三分類がこれである。この中でもとく
に重要な領域は財産犯であり、財産犯については体系的
に全体を包括する形で勉強することが望ましい。

刑法各論における解釈論の基本的視点は次のとおりで
ある。

各規定の解釈論の現状を明確に把握する必要がある。

そのためには、判例と学説を整理して学習し、よく検討し、自分が採用したいと考える説を選択し、自説の根拠づけと反対説に対する批判を熟考しなければならない。

各犯罪の解釈に際して、現実的な意味、機能および実益という観点から考察することも必要である。

総論における基本的アプローチ、とくに行為無価値と結果無価値の対立が各論における解釈にどのように反映しているかを考える必要がある。

憲法との関係・接点を意識して各論の解釈を展開する必要がある。刑法の憲法的前提を解釈の枠組みとして設定する必要がある。

そして、最後に、処罰の限界を明確化させなければならない。

【教科書】

高橋則夫著『刑法各論講義ファイル』成文堂、大谷實著『新版刑法講義各論（追補版）』成文堂

【参考書】

『刑法判例百選 各論（第5版）』有斐閣

民法演習

「初学者のための民法総則の基本知識の取得と事例分析力の修得」

4単位 通年
浅井 隆

【授業科目の内容】

授業の目的は、民法総則分野の、(1)基礎知識の習得と、(2)事例を考えることによって応用力を身につけることです。

そして授業は、当初の数ヶ月間は基礎知識の習得を重点に、その後は事例中心に行う予定です。事例を考えることで学生のみなさんが、裁判官、弁護士等法律実務家に興味を持つことを期待しています。

教科書は、内田貴著『民法』（総則・物権総論）を使用し、事例問題についても、同教科書にある事例を中心に使います。

各授業は、対象範囲をあらかじめ指定しますので、事前にその部分を読んで参加すると、より効果が上がるようになってます。なお、六法は、必ず用意して授業に出席してください。

【教科書】

内田貴著『民法』（総則・物権総論）東京大学出版会

【参考書】

六法（模範六法がよりベター）

民法演習

4単位 通年
加々美光子

【授業科目の内容】

民法第一編総則を対象とします。

民法総則は、民法のみならず、私法全体の基礎をなす最も基本的かつ重要な法分野ですが、他方抽象的概念も多く、初学者には取り組みにくい面もあります。そのため基本的な事項や解釈の理解が図れるよう授業を進めた

と思います。受講者数の規模により、講義の部分が多くなると思われますが、法律行為や代理の所などは、具体的事例を介しての分析、検討、解釈が不可欠と考えますので、できるだけ基本的ケース問題も取り上げて、問い答え形式で進めるなど、法律的思考を養うようにしたいと思います。

詳細については、第一回目の講義の時に話します。

【教科書】

特に指定しませんが、自分に合ったものを1冊持つこと。第一回目講義の時にいくつか紹介します。

民法演習

4単位 通年
流矢 大士

【授業科目の内容】

民法をこれから学習しようとする諸君を対象とし、「法律的なものの考え方」「民法的なものの考え方」の基本を習得することを目的とします。

教科書として、内田貴著『民法（第2版）』補訂版（東京大学出版会）を指定します。基本書を精読して行きますので、各自で用意して下さい。

最初は、教科書に従って、基本的な概念、用語の意味、制度趣旨・立法趣旨の把握等に主眼をおいて進めますが、それと共に、実際の判例や演習問題を題材として、紛争解決に向けての心構え、考え方、結論の出し方等をみんなで考えて行きます。したがって、受講生一人ひとりの考え方を聞いて行きますし、場合によっては2班に分け、ディベート形式で議論を進めて行くこともあります。

なお、毎回出席を取ります。

【教科書】

内田貴著『民法（第2版）』（補訂版）東京大学出版会

【参考書】

我妻栄著『新訂民法総則』（民法講義）岩波書店

民法演習

4単位 通年
小坏 淳子

【授業科目の内容】

民法の物権法（担保物権を含む）について、基本をおさえることを目標とします。授業では、基礎知識についての講義を行うとともに、具体的な事例問題について考え、討論する中で、法律家らしい考え方を身に付けてほしいと思います。

【教科書】

『六法』、内田貴著『民法（第2版 補訂版）』東京大学出版会

民法演習

「前半は物権総論・用益物権、後半は債権総論、担保物権」

4単位 通年
栗林 美保

【授業科目の内容】

2年生の終りまでに民法全体を理解し、民法の総合的な事例問題に対応できるようになることを目指します。

手続法や商法と、民法とのつながりを理解できるようにします。

これまでに身に付けた知識をもとにして実際の判例を時間をかけて読み、理解できるようにします。

【教科書】

特に指定しません。必要に応じ資料を配布します。六法は持参すること。

【参考書】

内田貴著『民法 総則・物権総論』（2版 補訂版 3200円） / 『民法 債権総論・担保物権』（改訂版）東京大学出版会（2004年2月出版予定）

民法演習 4単位 通年
澤田 和也

【授業科目の内容】

物権法、担保物権法について、実務に関する話をまじえながら解説をします。

【教科書】

内田貴著『民法 総則・物権総論（第2版補訂版）』東京大学出版会、同『民法 債権総論・担保物権』（同）

【参考書】

星野英一・平井宣雄・能見善久著『民法判例百選 総則・物権』（第5版）有斐閣

法学情報処理 2単位 秋学期
池田 真朗 高山 正也 他

【授業科目の内容】

この講義においては、法学研究および生涯学習に必要な各種の学術情報源、情報処理方法、図書館利用法について説明するとともに、法学関係資料・文献の利用法、法学論文の書き方などについて解説する。各テーマにつき、本塾大学文学部教授（図書館・情報学専攻）高山正也、法学部法律学科の池田真朗、井田良ら（担当者には追加変更があり得る）がそれぞれ講義を担当し、メディアセンター職員が図書館利用法について説明を行う。

【教科書】

web site 上におかれている「資料検索法テキスト」を利用する。

<http://www.slis.keio.ac.jp/takayama/library/> で教科書（「資料検索法テキスト」）にアクセス可。

【参考書】

いしかわよりこ＝村井のり子＝藤井康子『リーガル・リサーチ』日本評論社（2003年）

団体法

「財産法分野における団体の生成と存在」 2単位 春学期
阿久沢利明

【授業科目の内容】

権利の主体は、自然人と法人に分かれる。われわれは、民法その他の法分野における法律関係を考えるとき、自然人という個人を念頭において考えがちである。しかし、人の人たるゆえんは、団体に結合することにあると言われるように、個人の限界を意識して、人と人とが重合して大きな力を発揮する団体の存在が歴史を支えてきたことも事実である。われわれは、自然人個人に対してもう一方の法主体である法人を中心とした団体について、その存在の意義と内容および使命・課題を十分理解しておく必要があるであろう。

本講義は、そこで、以下のようなことを明らかにしたい。

1. 個人の財産関係から共同財産関係へ、さらには団体的財産関係への発展
 2. 民法上の組合の成立
 3. 社団（権利能力なき社団）の成立
 4. 法人格取得の意味
 5. 社団法人と財団法人・公益信託
 6. 公益法人
 7. 中間法人
 8. 営利法人
 9. 法人の機関と組織
 10. 民法における法人規定（権利能力の範囲、法人をめぐる法律行為、不法行為能力、表見代理責任）
 11. 法人の消滅
- 参考書その他講義の内容については、開講時明らかにする。

法制史（基礎） 4単位 秋学期集中
霞 信彦

【授業科目の内容】

法律学という学問に取り組み、これから長い期間にわたる法との関わりをもつであろう学生諸君にとって、古代より近代までのわが国の法の変遷を承知することは、法に対する知見を広げ、現行法理解に向けて豊かな基礎力を涵養するために、有効な手段のひとつであると考えられる。そこで本年度日吉では、古代を中心として、主に、国家制度・刑法・刑事裁判・刑事政策に焦点を定め、日本法の足跡をたどり論じてみたいと思う。なお、本講義は、三田において霞が担当している「法制史（日本）」に連続するものであり、中世以降近代に至る間を対象とした三田での講義を聞くことを通じて、学生諸君は、通史的に、わが国の法の流れを俯瞰することができることとなる。

さて、具体的な内容であるが、まず上古における「つみ」とはいかなるものであったのか、記紀にみる神話の世界にも視野を広げつつ、考えてみたい。次いで、聖徳

太子の手になるといわれる「憲法十七条」をとりあげ、制定にいたる背景や各条の内容が置かれた意味について、同法の具体的な条文を読みながら分析するつもりである。さらに、古代律令制発祥の原点ともいべき大化改新という政変をとりあげ、その経緯にふれ政変成功後に示された「改新詔」の内容について論じてみたい。そして最終的には、古代法制史の題材として中心的位置を占める、中国法継受の結果わが国にもたらされた「律令」をとりあげ、その編纂過程や具体的な内容を概観するとともに、特にそこにおける官僚制度の仕組みを明らかにし、併せて刑罰規定がいかなるものであったのか、それを適用しての裁判はどのようにおこなわれたのか等を、でき得る限り多面的に明らかにするつもりである。ちなみに、わが国古代の国家基本法である「律令」は、中世へと時代が移る中で、その役割を完全に終えてしまったかのような認識があるが、明治維新後、近代化の波が押し寄せるなかで、わが国が最初に定めた「新律綱領」と名づけられた国家統一刑法典は、まさに律系のものであった。そうした意味で、古代法制への認識をもつことは、単に過去の事実にもふれるに留まらず、現行法制定までの法継受の過程を正しく知る上でも有用であろう。

【教科書】

霞・漆原・浜野著『日本法制史 史料集』慶應義塾大学出版会（2003年 2000円）

【参考書】

講義において必要に応じて指摘する。

法制史（基礎）

「法と文化の歴史的展開」 4単位 秋学期集中
森 征一 岩谷 十郎

【授業科目の内容】

秋学期集中科目として設置された本講義の前半部分では、「書かれた法」のみならず「描かれた法」を素材として取り上げ、法および法律学をその背景としての歴史や文化との関連から語り出す視点を提示してみたい。古来より西洋では法はどのようにイメージされ図像として残されてきたのか。さらにその西洋法との接触の中で形成されていった近代日本の法はどのようなシンボルを歴史の中に産み落としたのか。本講義は、「図像の中の法」の比較を通して、西洋と我が国における法観念、法文化の異同に受講者の関心を拓くことを目的としている（以上は、下記のテキスト1を用いる）。

また本講義の後半部分では視点を变えて、近代日本におけるお雇い法律顧問が、日本法の近代化に果たした役割について解説する。アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オランダといった西洋諸国から招かれた異文化の法律家たちが、異国の日本にどのように生き、また近代日本の法制度の形成にいかに関わったのか、具体的な出来事や人物をあげて説明する。なお、授業では、慶應義塾における法学教育の歴史にも言及し、福澤諭吉の法思想についても時間を割いて解説する（下記のテキスト2を購入され受講されたい）。

【教科書】

教科書1：森征一・岩谷十郎他編著『法と正義のイコノロジー』慶應義塾大学出版会

教科書2：森征一・安西敏三・岩谷十郎編著『福澤諭吉の法思想』慶應義塾大学出版会

【参考書】

授業内で適宜紹介する。

政治学科

社会科学科目

社会学 4単位 春学期集中
澤井 敦

〔授業科目の内容〕

本講義の目標は、受講生諸君が「社会学」という「道具」をもちいて現代社会を考え理解することができるようになるための、イントロダクションとなることである。

全体の内容を大きく2部（1時限と2時限）にわけて授業をすすめていく。第1部「社会学理論の基礎」（1時限）では、社会学的な思考の本質をつかむために、いくつかの社会学理論を具体的な分析事例とともに紹介していく。第2部「社会分析の基礎」（2時限）では、現代社会（とりわけ日本社会）の状況に関する基礎知識を、誕生、結婚、仕事と家事、老いと死といった人生の場面に即して学んでいく。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

授業中に紹介する。

社会学
「社会学の基礎」 4単位 春学期集中
霜野 寿亮

〔授業科目の内容〕

我々は社会のなかで生活すると共に社会を支えている。社会学が扱うのは、人間と社会とが織りなす、この相互関係である。行為・集団・構造・変動など、社会学に特有の理論を紹介しながら、現代社会についても考察を加えていきたい。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

文献表プリントを配布します。

法学（憲法を含む）
「生活に身近な問題と関連させながら
法律の基礎知識を学ぶ」 4単位 春学期集中
鈴木 貴博

〔授業科目の内容〕

医療過誤や交通事故、公害問題やビジネス紛争、様々な犯罪に絡む事件報道などにみられるように、法律問題はわたしたちの日常生活にとって密接・不可欠な存在といえる。そして、わたしたちがよりよい生活を営むために法律を学ぶ重要度は増しているといえる。そこで、この講義では、日常生活における法律の役割に関心をもってもらうことを目的として、さまざまな制度のうちいくつかについて身近な問題と関連させながら解説す

る。その際、法律知識の細かな説明に立ち入ることは避けつつ、生活のあり方について法的観点から考える契機となることを企図している。

〔教科書〕

石川明編『はじめて学ぶ法学』（三嶺書房、四訂版、2002年）¥2500

〔参考書〕

講義の内容・進捗状況に応じて紹介する。

法学（憲法を含む）

「法的な問題解決の「切り口」を学ぶ」 4単位 春学期集中
武川 幸嗣

〔授業科目の内容〕

身近な素材を中心に、法律学の諸問題を多角的に取り扱う、法的な問題解決のしかたとは何か。「法的に物を思考する」とはどういうことか。社会に生起する問題解決に向けて、さまざまな切り口があるが、法律学のそれはどのようなものか、政治学との異同にも留意しながら、テーマの一つ一つを平易に説いていきたい。なお、講義は担当者作成・配布によるレジュメにしたがって行なう。

〔教科書〕

野村豊弘編『法学キーワード』有斐閣

〔参考書〕

森泉章編『法学』有斐閣

憲法
「立憲主義を通して見た日本国憲法」 4単位 秋学期集中
青柳 卓弥

〔授業科目の内容〕

この講義では、近代立憲主義の憲法に内在する基本原理についての基礎的理解を得ることを目標に、現代社会の中で私たちが実際に直面する様々な憲法問題をどう解決していったらよいか、具体的に考察します。

〔教科書〕

大沢秀介著『憲法入門（第三版）』成文堂（2003年 3000円）

〔参考書〕

大沢秀介編『はじめての憲法』成文堂（2003年 2200円）

憲法
「立憲主義、人権、統治機構」 4単位 秋学期集中
大沢 秀介

〔授業科目の内容〕

この授業では、法学部政治学科の学生として理解しておくことが望ましい日本国憲法について、一通りの基本的な知識を身に付けることを目的とする。具体的な項目としては、基本的人権を中心に、国民主権、平和主義、国会、内閣などをとりあげる。

〔教科書〕

大沢秀介著『憲法入門（第三版）』成文堂、野中俊

彦・江橋崇編著『憲法判例集』有斐閣、六法（小型のもの）

【参考書】

芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第三版）』岩波書店

民法

「民法総則・物権法」 4単位 春学期集中
小西 飛鳥

【授業科目の内容】

この講義では、まず前半部分で民法総則について扱い、後半部分で物権法について扱います。民法総則は、法律科目の基礎となる大切な分野といえるでしょう。なぜなら、民法総則は民法全体の基本原則にかかわってくるだけでなく、民法以外の法律にも適用される共通の原則を定めているからです。物権法は、物と人の関係を定めた法といえますが、この講義では、担保物権を含め、その全体像がつかめるようにしたいと思います。

【教科書】

斉藤和夫編『レーアブーフ民法』中央経済社（2000年 2300円）

【参考書】

授業の中で適宜、指示します。

民法

「民法入門、民法総則および物権法」 4単位 春学期集中
片山 直也

【授業科目の内容】

民法は、私人間の法律関係を規律する私法のうち最も基本的な法である。私人間の法律関係は、財産関係と家族関係に二分されるが、民法典の総則編、物権編、債権編が財産関係、親族編、相続編が家族関係に対応する。政治学科では、民法で総則編、物権編、民法で債権編、民法で親族編、相続編の講義を行う。

民法は、民法、民法、商法、商法などの私法関連の科目のうち最初に配当される科目であるから、総則編、物権編の説明に先立って、民法ひいては私法の入門講義を行う。

【教科書】

オリジナルのレジュメを用いる（各自コピーセンターで購入すること）。

【参考書】

- ・内田貴『民法』（第2版）補訂版（東京大学出版会・2000年）
- ・我妻栄＝有泉亨＝川井健『民法 総則・物権法』（勁草書房・2003年）
- ・甲斐道太郎＝乾昭三＝椿寿夫編『新民法概説（1）総則・物権』（改訂版）（有斐閣・2001年）など（詳細は初回の講義の際に解説する。）

民法

「債権法」 4単位 秋学期集中
北居 功

【授業科目の内容】

民法の債権法は、膨大な分量と内容を有しており、その全般を限られた時間内で講義することは不可能であるから、その骨格部分を要領よく説明することを目指したい。従って、民法の条文順ではなく、債権の成立から債権の消滅に至るまで時系列に沿って講義を進める予定である。その際、債権法の基礎的な知識を踏まえて、民法解釈論の考え方を理解できるよう配慮していきたい。なお、教科書は指定せず、適宜参考文献を指示する予定であるが、六法は必ず持参して欲しい。

講義の大意は、以下の通りである。

第一章 債権法序説	第六章 債務不履行
第二章 不法行為法	第七章 売買法
第三章 契約の成立	第八章 賃貸借法
第四章 債務の内容	第九章 消費貸借法
第五章 債務の履行	

民法

「債権法の基礎」 4単位 秋学期集中
武川 幸嗣

【授業科目の内容】

民法は、民法典の中の第三編 債権における諸制度を主要な対象とする。債権法は、債権総論と各論とに分かれているが、本講義では、それらの全体像を効果的に概観すると共に、主要な諸制度につき、わかり易く解説していくよう、心がけたい。

講義の際にはレジュメを配布する予定である。受講にあたっては、六法全書を必ず持参されたい。

成績評価は学期末試験の結果に基づいて行う。

なお、民法の講義は、民法を受講しているか、それに相当する学習がされていることを前提として行う。

【教科書】

池田真朗著『スタートライン債権法』日本評論社

【参考書】

森泉章編『入門民法』有斐閣、笠井修ほか『はじめての契約法』有斐閣

行政法

「行政の活動、行政救済、国家補償」 4単位 通年
竹之内一幸

【授業科目の内容】

基本的な行政理論と行政救済制度の理解を目的とします。行政法の択一問題（地方上級程度）が解けるようになることを念頭に置いています。

【教科書】

見上崇洋ほか『レクチャー行政法』法律文化社（2001年 2300円）

芝池義一編『判例行政法入門』（第3版）有斐閣（2001年 2000円）

刑法

「人間学としての刑法学」 4単位 秋学期集中
船山 泰範

〔授業科目の内容〕

刑法の全体を講ずる。刑法が目指しているのは犯罪のない明るい社会である。ところが、その適用場面である刑事司法は、拷問・免罪などの矛盾を抱えている。人間の視点から刑法のあるべき姿を検討したい。

〔教科書〕

船山泰範著『刑法』弘文堂

〔参考書〕

船山泰範著『人間の目である刑法』こぶし社
船山泰範著『刑法がわかった（改訂第2版）』法学書院

国際法

「国際関係における法秩序の構造と機能」 4単位 春学期集中
児矢野マリ

〔授業科目の内容〕

現代の国際関係を支える法秩序・法制度の構造と機能について解説する。授業の目的は、受講生が国際関係を法的に把握するための基本的な能力を養うことである。

〔教科書〕

杉原高嶺『現代国際法講義（第3版）』（有斐閣 2003年）
大沼保昭・藤田久一編集代表『国際条約集2004年版』（有斐閣 2004年）

〔参考書〕

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法（第2版）』（東信堂 2002年）
山本草二他編集『別冊ジュリスト 国際法判例百選』（有斐閣 2001年）

経済原論

「マクロ経済学入門」 4単位 秋学期集中
麻生 良文

〔授業科目の内容〕

経済学はマクロ経済学とミクロ経済学に分かれるが、マクロ経済学では、GDPや物価水準、失業率、経済成長率などのマクロ経済変数がどのように決まるかが議論される。一方、ミクロ経済学は、個人や企業がどのように行動するかというミクロ的視点で分析を行なう。

現代のマクロ経済学は、ケインズ経済学と古典派マクロ経済学の二つの対立がある。こうした対立があることを踏まえてマクロ経済学の入門的講義を行なう。主な講義の内容は以下の通り。

1. マクロ経済学とは何か。
2. 長期均衡（古典派モデル）
3. 物価水準の決定と貨幣数量説
4. 短期均衡（乗数理論、IS-LMモデル、フィリップス

曲線とAD-ASモデル）

5. 財政金融政策の効果
6. 経済成長モデル

〔教科書〕

特定の教科書は使用しない。講義ノートは次のホームページを参照のこと。

<http://www.law.keio.ac.jp/aso/>

〔参考書〕

マンキュー『マンキュー経済学 マクロ編』東洋経済新報社（入門用）
マンキュー『マクロ経済学 ・ 』東洋経済新報社（中級）

経済原論

「マクロ経済学入門」 4単位 秋学期集中
岡崎 哲郎

〔授業科目の内容〕

マクロ経済学の入門的講義を行う。マクロ経済学は、経済全体の経済活動について分析する。具体的には景気、物価、財政・金融政策の効果等が分析の対象となる。講義の内容としては以下のものを予定している。

1. 経済学について 古典派経済学とケインズ経済学（計1回）
2. 国民所得勘定（計1回）
3. ケインズ経済学（計6回）
 - a. 有効需要の原理
 - b. IS-LM分析
 - c. AD-AS分析
4. インフレ率とフィリップス曲線（計1回）
5. 古典派経済学（計2回）
 - a. セイの法則
 - b. 貨幣数量説
6. 国際収支とマクロ経済の均衡（計2回）

〔教科書〕

特に定めない。

〔参考書〕

講義の中で指示する。

経済原論

「ミクロ経済学入門」 4単位 春学期集中
麻生 良文

〔授業科目の内容〕

ミクロ経済学の入門的講義を行う。租税政策、国際貿易政策、競争政策、環境政策など、さまざまな公共政策の目的や効果を理解するために、ミクロ経済学の習得は不可欠である。マクロ経済学が経済全体の変数（GDPやインフレ・失業率など）に注意を集中するのに対し、ミクロ経済学では消費者や生産者が価格や政策にどのように反応するかという個別の意思決定の問題を明示的に扱う。ミクロ経済学を学ぶことによって、市場メカニズムがどのように機能し、そしてその限界がどこにあるのかを理解できるようになる。講義内容は以下の通り。

- 1) 経済学入門
- 2) 市場メカニズムの機能と限界
- 3) 消費者行動の理論
- 4) 生産者行動の理論
- 5) 独占・寡占

【教科書】

特定の教科書は使用しない。講義ノートは次のホームページを参照のこと。

<http://www.law.keio.ac.jp/aso/>

【参考書】

スティグリッツ『スティグリッツ ミクロ経済学』東洋経済新報社

ヴァリアン『入門ミクロ経済学』勁草書房

奥野正寛『新版ミクロ経済学入門』日経文庫

経済原論

「ミクロ経済学入門講義」 4単位 春学期集中
田中 宏

【授業科目の内容】

ミクロの経済理論の初歩を解説。中級への橋渡しとなるように配慮する。そのために、図、式、言葉の対応に注意しながら説明する。

【参考書】

講義の中で適宜指示。

政治学科目 - 基礎科目（必修）

政治学基礎

「政治学の基礎概念・理論・アプローチ」 2単位 春学期
萩原 能久

【授業科目の内容】

この講義では政治学の基礎概念、理論、アプローチについて、以下のような順序でできるだけわかりやすく説明していくつもりです。

- 1) 権力、権威、正統性、イデオロギー
これらの諸概念について、特に相互の関連に留意して説明し、いくつかの理論を紹介します。
- 2) 国家
ネーション・ステートおよびナショナリズムの成立・展開と現在におけるその問題点を示し、未来の世界への展望を考えます。
- 3) 民主主義
近代民主主義の成立と現代における様々な民主主義・民主化理論を検討します。
- 4) 戦争と平和
平和の構築という課題の重要性と、政治学の関係について様々な角度から考えます。

【教科書】

特に用いませんが、Web上に置いた、関連する様々な私の文章をあらかじめ読んで受講すれば理解がしやすいでしょう。

【参考書】

逐一、講義・レジュメのなかで示していきます。多いです。

政治学基礎

「政治学入門 Who gets what from government.」

2単位 春学期

河野 武司

【授業科目の内容】

この講義では、日本のような代議制民主主義という政治システムを前提としながら、政策決定に関与している様々な政治的アクターの行動を規定する諸制度、及び各アクターの行動、特に政治社会の主役である有権者の投票行動に関する理論と現実とについて、説明します。

【教科書】

小林良彰『選挙・投票行動』（東京大学出版会 2000年 2500円）などを考えていますが、具体的には開講時に指示します。

【参考書】

随時、授業の中で示します。

政治思想基礎

「西欧政治思想史概説 近代を中心に」 2単位 春学期
田上 雅徳

【授業科目の内容】

西欧政治思想史の入門講義を行います。

授業の中心は近代となります。これは、受講者の関心が例えば「日本」や「現代」の政治（思想）にあるとしても、近代ヨーロッパに登場した著名な政治思想家たちの理論を理解しておくことは（引照基準を設定する意味でも）極めて大切だと、担当者が考えているからです。

また授業では、思想家たちが生きた時代状況の説明にも少なからぬ時間を割く予定です。思想の学習で大切なのは、思想内容を把握し性急にその是非を論じることよりも、個々の思想家が自分を取り巻く環境の中にかなる問題を見出したのか・そしてそれにどれだけ真摯に答えようとしたのか、そのことへの理解にあると思われるからです。「理論としては矛盾だらけだが、問題意識は恐ろしく一貫している」、時にはこういう事例をも紹介しながら、受講者に思想を学ぶ面白さをお伝えできればと思っています。

【参考書】

授業中に適宜紹介していきますが、さしあたって福田 歓一『政治学史』（東京大学出版会）、佐々木・鷲見・杉田共著『西洋政治思想史』（北樹出版）をあげておきます。

政治思想基礎

2単位 春学期

堤林 剣

【授業科目の内容】

次のテーマにそって、政治思想史全般についての入門

的講義を行います。

プレモダンの政治思想 「政治」の発見

1. 神話世界の崩壊とロゴスの発見
2. ギリシア・ローマ時代の政治の観念
3. 中世ヨーロッパ社会の政治原理
4. プレモダンの終焉 ルネサンスと宗教改革の意図せざる帰結
5. 絶対主義の台頭 政治権力観の変容

近代の政治原理

1. 近代的人間類型の形成
2. 主権論の展開
3. ホブズ、ロック、ルソーの社会契約論
4. 市民社会と国家

近代政治理論の問題点

【参考書】

福田歓一『政治学史』東京大学出版会（1985年）（『福田歓一著作集』第3巻）

佐々木毅・鷲見誠一・杉田敦『西洋政治思想史』北樹出版（1995年）

田中治男『西欧政治思想』岩波書店（1997年）

S. ウォーリン、尾形典男・福田歓一他訳『西欧政治思想史』福村出版（1994年）

中谷猛・足立幸男編著『概説西洋政治思想史』ミネルヴァ書房（1994年）

藤原保信・白石正樹・渋谷浩編『政治思想史講義』早稲田大学出版部（1998年）

福田歓一『近代の政治思想』岩波新書（1970年）（『福田歓一著作集』第5巻）

松本礼二・川出良枝『近代国家と近代革命の政治思想』放送大学教育振興会（1997年）

日本政治基礎

「政」「官」関係のゆくえ」

2単位 秋学期

笠原 英彦

【授業科目の内容】

日本政治を日本の政治体制、日本の政治過程、日本の政治文化を中心に体系的理解が得られるよう講義する予定である。

本年度はとりわけ「政」「官」関係の変遷とそのゆくえに照準を合せ解説してゆきたい。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

授業時に適宜紹介する予定である。

日本政治基礎

「日本政治の制度と文化」

2単位 秋学期

玉井 清

【授業科目の内容】

日本の政治を、政治過程、政治制度、政治文化、政治思想の観点から多角的に、さらに過去から現代まで種々の具体的事例を取り上げるにより実証的に講義する

予定である。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中に適宜紹介する予定である。

地域研究基礎

2単位 秋学期

粕谷 祐子

【授業科目の内容】

自分の興味惹かれる国・地域を研究対象とする地域研究は（特にフィールド・リサーチは）やっつけて楽しい。しかし、政治学の徒として、地域研究を「学問として」楽しむためには、研究に関する最低限の作法、概念、理論を習得する必要がある。本講義は、これらを習得することで、皆さんが（恐らく現時点では）漠然として持っているある地域に対する興味関心を、政治学的な探求心に再構成してもらうことを主な目標とする。

講義では、ある特定の地域を政治学的に研究する際に知っておくべき主要な概念や理論枠組みと、地域研究者が利用できるさまざまな研究手法を紹介する（各回のテーマについては授業計画参照）。個別の地域の政治を特に解説することはしないが、理論の応用のしかたを身につけてもらうことを目的とした事例研究（途上国、先進国の両方を含む）を多くとりあげる。

【教科書】

特になし。講義資料は粕谷祐子のホームページよりダウンロードできるようにする。

【参考書】

随時紹介する。

地域研究基礎

2単位 秋学期

横手 慎二

【授業科目の内容】

この授業は、具体的にどこかの地域を勉強する前に理解しておくべき基本的問題を説明するためのものです。

【参考書】

授業中にあげます。

国際政治基礎

2単位 秋学期

添谷 芳秀

【授業科目の内容】

戦後国際政治の変遷について講義する。個別的出来事に関する知識を深めることと併せて、国際政治の構造を見極めその変動過程を理解するための分析視角や枠組みを重視して講義する。基本的には戦後国際政治の展開を時系列的に整理するが、適宜それぞれの時代潮流のなかで注目を浴びた理論についても解説する。

こうした理解の仕方は、高校時代までの暗記型の勉強とは本質的に異なることを踏まえておきたい。たとえば、AとBという有機的に関連した二つの出来事に関して、それぞれの年号を覚えていればどちらが先に起きたかを

間違えることはないだろう。しかし、単に丸暗記しただけのものはそのうち忘れる。それに対して、Aという出来事の結果Bという事件が起きたのだとすると、一度その相互の関連性を理解すれば、年号を忘れてもどちらが先に起きたかを間違えることは一生無いだろう。

そうした理解を積み重ねていけば、国際政治を体系的に理解できるようになる。そして、やがて国際政治構造への視角も生まれてくるだろう。

参考文献は適宜、講義の中で紹介する。

国際政治基礎 2単位 秋学期
山本 信人

〔授業科目の内容〕

本講義では国際政治学・国際関係論の基本的な考え方・視点について紹介する。また、現実に変化しつつある国際関係の現状についても適宜講義のなかで事例として触れる予定である。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

適宜授業のなかで紹介する。

政治学科目 - 選択科目

行政学 2単位 春学期
大山 耕輔
「『独立自尊の行政学』は可能か」

〔授業科目の内容〕

行政学（public administration）の前半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学 とセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「独立自尊の行政学」の可能性と限界について考察してみたいと考えています。

〔教科書〕

村松岐夫『行政学教科書（第2版）』（有斐閣 2001）

〔参考書〕

西尾勝『行政学（新版）』（有斐閣 2001）、福田耕治・真淵勝・縣公一郎共編著『行政の新展開』（法律文化社 2002）、拙著『行政学入門 CDブック』（慶大通信教育部 2000）等

行政学 2単位 秋学期
大山 耕輔
「『独立自尊の行政学』は可能か」

〔授業科目の内容〕

行政学（public administration）の後半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学 とセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」

を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「独立自尊の行政学」の可能性と限界について考察してみたいと考えています。

〔教科書〕

村松岐夫『行政学教科書（第2版）』（有斐閣 2001）

〔参考書〕

西尾勝『行政学（新版）』（有斐閣 2001）、福田耕治・真淵勝・縣公一郎共編著『行政の新展開』（法律文化社 2002）、拙著『行政学入門 CDブック』（慶大通信教育部 2000）等

近代日本政治史

「明治立憲政治の確立とその展開」 2単位 春学期
玉井 清

〔授業科目の内容〕

日本政治史研究の方法と課題を指摘した上で、近代日本における立憲政治導入の意義を、伊藤博文を中心に推進された明治憲法制定の過程と、当時の我が国を取り巻く国際環境との関連から検証する。さらにかかる明治立憲体制下において、政党の勢力拡張がいかに進展したか、藩閥政府を中心とする非政党勢力との確執とその克服の観点から明らかにしてみたい。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

授業中に適宜紹介する予定である。

アフリカ現代史

「植民地支配期におけるアフリカ」 2単位 春学期
井上 一明

〔授業科目の内容〕

19世紀末のヨーロッパ列強による植民地化から、1960年代初頭の時期における植民地の独立までのアフリカにおける「植民地時代」を中心に講義をおこなう。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

講義のなかで紹介する

国際政治論

「東アジア国際関係史」 2単位 春学期
小笠原高雪

〔授業科目の内容〕

第二次大戦から今日までの東アジア国際関係を、アメリカの東アジア政策を主要な切口として講義する。東アジアの現状を理解するには過去半世紀間の理解が決定的に重要であり、過去半世紀間の東アジアにおいてはアメリカの果たした役割がきわめて大きかったからである。

〔教科書〕

特に定めない。

〔参考書〕

授業中に随時紹介する。

社会変動論

「多文化交錯社会における市民意識の動態」 2単位 春学期
関根 政美

〔授業科目の内容〕

現代世界はグローバリゼーションの影響を経験し、大きな文化・社会変動に見舞われている。「グローバリゼーション」は、近年日本でも盛んに使われるようになった言葉だが、グローバリゼーションそのものは複雑・多様な現象であり、一筋縄ではその実態をつかむことが難しい。本授業では、人口移動のグローバリゼーションに焦点を当てて、国民国家の多文化・多民族社会化の動きと、その社会的影響について考察を加えたい。さらに、

多文化・多民族化する社会において、受け入れ諸国の国民がもつべき市民意識（この場合は多文化・多民族社会適応的な市民意識）がどのようになっているのかについて考えたい。本授業では、多文化主義を支持するような意識のあり方を多文化・多民族社会適応的な市民意識とみなしたい。1980年代にそれは、カナダやオーストラリア、米国・英国や北欧諸国において展開しはじめたが、1990年代後半から現在にかけて経済グローバリゼーションの展開とともに逆風を受けはじめた。むしろ、移住制限の強化を望む気持ちや反多文化主義的で外国人排斥的な意識が強まっている。それは、今日では異文化の人々の間の「文明衝突」であるとか「文化戦争」と呼ばれているが、なぜそのような事態が発生するのかについて論じたい。

〔教科書〕

関根政美『多文化主義社会の到来』朝日新聞社（2000年）

〔参考書〕

関根政美『エスニシティの政治社会学』名古屋大学出版会（1994年）

梶田孝道編『国際社会学（改訂版）』名古屋大学出版会（1996年）

政治文化論

「テクノロジーの発達と政治文化の変容」 2単位 春学期
陸山 宏

〔授業科目の内容〕

「政治文化」の在り方はテクノロジーの発達によって大きく変容する。ヨーロッパに題材をとり、「近代」から「現代」への転換期において「政治文化」がどのように変容していったのかを、「鉄道」、「複製メディア」、「戦争」などとの関連で個別に検討する。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

主なものは、シベルプシュ『鉄道旅行の歴史』法政大学出版局、ベンヤミン『複製技術の時代の芸術作品』

晶文社、藤田省三『全体主義の時代経験』みすず書房

西洋外交史

2単位 春学期
細谷 雄一

〔授業科目の内容〕

本講義では、近代国際社会の成立から第二次世界大戦勃発までの、近代ヨーロッパ外交史を検討することになる。主要なテーマは、以下の通り。

1. 外交史とは何か
2. 近代国際社会の成立
3. ウィーン体制と欧州協調
4. ビスマルク体制と勢力均衡
5. 帝国主義外交と植民地問題
6. 第一次世界大戦の起源
7. パリ講和会議と戦後秩序
8. ロシア革命と共産主義の登場
9. ロカルノ体制と国際安全保障
10. 世界恐慌と国際関係
11. ナチスの台頭
12. ミュンヘン会談と宥和政策
13. 第二次世界大戦勃発

外交史を学ぶことは、現代の国際政治の複雑なる諸問題を理解する上での、重要な基礎をつくることになる。歴史的な視座から国際政治を学ぶことは、現代世界を時間的そして空間的に相対化する作業でもある。戦争の原因、平和構築の困難、危機管理の成功と失敗、軍事力行使の意味、政治と経済の連関などというような問題意識をもって、第二次世界大戦勃発に至る外交の史的な展開を考えていただきたい。

〔教科書〕

・渡邊啓貴編『ヨーロッパ国際関係史』有斐閣

〔参考書〕

・キッシンジャー『外交（上）』日本経済新聞社

・ルネ・ジロー『国際関係史』未来社

・クレイグ＝ジョージ『軍事力と現代外交』有斐閣

・石井修『国際政治史としての二十世紀』有信堂

・ジョセフ・S・ナイ『国際紛争』有斐閣

* 授業時に詳細な参考文献リストを配布する。

中国政治史

2単位 秋学期
高橋 伸夫

〔授業科目の内容〕

アヘン戦争から辛亥革命に至る近代中国政治史について講義する。戦争、反乱、革命といった伝統的な政治史にとっては馴染みの重要な諸事件が話の中心となるが、社会・経済構造や文化の変化といったテーマも重視する。その意味では、社会史に接近した政治史といえるかもしれない。

〔教科書〕

特に指定しない。

日本外交史
「明治から昭和へ」 2単位 秋学期
服部 龍二

【授業科目の内容】

幕末明治期から昭和戦前期に至る日本の対外関係を、主として外交の面から論じます。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

池井優『日本外交史概説』慶應義塾大学出版会（1992年）

井上寿一『日本外交史講義』岩波書店（2003年）

服部龍二『東アジア国際環境の変動と日本外交 1918-1931』有斐閣（2001年）

細谷千博『日本外交の軌跡』日本放送出版協会（1993年）

増田弘、木村昌人編『日本外交史ハンドブック』有信堂（1999）

マス・コミュニケーション論
「政治とメディアの相関図」 2単位 春学期
小川 恒夫

【授業科目の内容】

極めて遠く離れた場所に、ただちにメッセージを送ったり、また何百人もの人々に同じような意味を伝達するといった、今日われわれがもっている驚くべき能力は、私達にとってきわめてなじみ深いものであるために、ともするとそのような能力を当然のことのように見なしてしまう。しかし、このような能力が、個人的に、あるいはまた集合的に、われわれにどんな影響を与えているのか、またこれがわれわれの未来をどのようなものにしていくのか、こうしたことについて明確な予測をすることは難しいのが現状である。

本授業の中心的課題は、これらの問題に答えるべく、これまでに現われてきた主要な論述を概観し、1) マス・コミュニケーションはどのようにして発生したか、その結果、2) 個人や社会秩序に対してどのような結果がもたらされたかの点について考察を行うことにある。

【教科書】

指定なし。

【参考書】

大石裕『コミュニケーション研究』慶應大学出版会

民主主義思想論
「人権の政治理論」 2単位 秋学期
鷲見 誠一

【授業科目の内容】

前半で人権思想に言及し、後半で人権を実現し易い政治体制としての「市民参加の政治」すなわち民主主義政治体制を述べる。

【教科書】

なし。

【参考書】

樋口陽一『人権』三省堂

鷲見誠一『人権の政治理論・事始』『近代国家の再検討』所収 慶應義塾大学出版会

政治学科目 - 集中学習科目

演習 2単位 春学期
小笠原高雪

【授業科目の内容】

国際政治学の基本を学ぶ。前半は教科書として挙げた書物を講読する。具体的には、学生による報告、自由討論、教員によるまとめ、の三部構成を基本とする。後半の進め方は参加者と相談して決定する。

【教科書】

中西寛『国際政治とは何か』中公新書（2003年 860円）

【参考書】

授業中に随時指示する。

演習

「マス・コミュニケーション論の基礎」 2単位 春学期
小川 恒夫

【授業科目の内容】

この演習の授業では、10人程度の受講者を前提に輪読と討論形式で進めるつもりである。具体的なテキストは、コミュニケーションに関する初歩的ないくつかの候補の中から、初回に履修者諸君の意向も聞いて決定したい。最終目標は、マス・コミュニケーションに関する基礎モデルをなるべくビジュアルに把握し自分のモノにすることにある。基礎的なキー概念についてはすべて英語表記で押さえ、原書購読時の手助けとなるサブノートをみんなで討論しながら作成していきたいと考えている。

【教科書】

初回にこちらで用意した印刷物を配布する。

【参考書】

授業内で指定する。

演習

「伝記で学ぶ近代日本政治史 近代日本の政治家の個性とそのリーダーシップ」 2単位 春学期
奥 健太郎

【授業科目の内容】

この授業では、『近代日本の政治家』、『近衛文麿 運命の政治家』という二冊の伝記（評伝）を輪読する。前者は近代日本を代表する伊藤博文、大隈重信、原敬、犬養毅、西園寺公望の五名の政治家の性格と、そのリーダーシップを分析した文献である。後者は、昭和戦前期

が国の進路を決定づける重要な国策決定を行った、近衛文麿の生涯を描いた伝記である。この授業は、これらの政治家の個性とリーダーシップを検討することを通じ、概説書とは異なる角度から近代日本政治史の理解を深めることを目的としている。

【教科書】

岡義武『近代日本の政治家』岩波現代文庫（平成13年 1100円） 岡義武『近衛文麿 運命の政治家』岩波新書（昭和47年 780円）

【参考書】

岡崎久彦『陸奥宗光とその時代』PHP文庫（平成15年） 岡崎久彦『小村寿太郎とその時代』PHP文庫（平成15年） 岡崎久彦『幣原喜重郎とその時代』PHP文庫（平成15年） 岡崎久彦『重光、東郷とその時代』PHP文庫（平成15年）

演習 「読書と社会科学」 2単位 春学期
蔭山 宏

【授業科目の内容】

テーマについて専門的に研究する場合、読書は不可欠であるが、ただ読みさえすればいいというものでもない。いかに読むか、読む過程でいかに主題を深めていくかが重要である。本演習は社会科学へのイントロダクションとして、いかに読むか、読書という営みの精神的意味について、すぐれた文献を手がかりにともに考えてみたい。

演習 「政党政治の実証分析」 2単位 春学期
粕谷 祐子

【授業科目の内容】

「政党」は謎の多い政治組織である。民主主義の規範理論では、政党は、民主的な代議政治にとって必要不可欠な制度であり、市民と公共政策とを結ぶ「要」であるというコンセンサスがある。しかし、実証政治学における政党研究を概観すると、いまだ研究者の間で論争され、「謎」とされている点が多い。例えば、そもそもなぜ政党という組織がつけられるのか。なぜある国の政党は政策志向が強く「クリーン」なのに、他の国の政党は汚職にまみれているのか。なぜ一部の政党には党内派閥が存在するのか。なぜ、一見不利に見える少数派内閣を形成する政党があるのか。より身近な例では、なぜ1993年選挙改革後の日本の政党政治は二大政党化しそうでしないのか。このような、理想ではなく現実の政党をめぐるさまざまな疑問について考えようとするのが本演習の目的である。より具体的には、(1)最近の比較政治学における政党研究の主要な分析枠組みを学び、(2)それらの枠組みを現実の政党政治分析に応用する能力を身につける、の二点をめざす。毎回の授業の進め方は、まず、報告担当者が教科書の1章分の理論をまとめ、各章の最後にある「設問」のなかから、あるいは独自に興味のある論点に関して簡単なプレゼンテーションをし、その後クラス全体でディスカッションをおこなう。期末

レポート（A4ダブルスペースで5枚程度）では、授業で学んだ理論を自分の興味のある国・地域での政党政治に応用した分析をおこなってもらおう（対象国は途上国、先進国、どこでも可）。

【教科書】

川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙』有斐閣アルマ 2000年 1800円（各自購入してください）

【参考書】

随時紹介する。

演習

「現代日本行政の分析」 2単位 春学期
桑原 英明

【授業科目の内容】

政策評価、行政評価から自治体の政策形成について理解を深めるようにします。政策形式の基礎理論を身につけると同時に受講生が政策研究に取り組みます。

【教科書】

桑原英明・増田正編著『自治体行政評価の基礎』創開出版社

【参考書】

松谷明彦・藤正巖『人口減少社会の設計』中公新書

演習

「現代国際政治を考える」 2単位 春学期
阪田 恭代

【授業科目の内容】

ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』(Joseph S. Nye, Understanding International Conflicts: An Introduction to Theory and History)を読み、国際政治の基礎概念を踏まえて、現代の戦争と平和、安全保障をめぐる諸問題について考える。文献を読むだけでなく、時事問題などもとりあげて、クラスで議論を行う。

【教科書】

ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』有斐閣（2003年 新版 2700円）

【参考書】

加藤秀次郎・渡邊啓貴編『増補版 国際政治の基礎知識』芦書房（2002年）

河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第3版』慶應義塾大学出版会（1000円）

その他、適宜紹介する。

演習

「現代日本の政治過程を考える」 2単位 春学期
佐々木孝夫

【授業科目の内容】

現代日本の政治過程について政治学の基本をまなびながら一緒に考えます。この演習の履修によって毎日の新

聞記事の内容を十分理解できるようになると思われ
ます。政治・社会現象の解説に関する基礎力を身につける
ことが本講義の目標です。

【教科書】

最初の講義で詳細を説明します。

小林良彰『現代日本の政治過程』東大出版会（1997）

【参考書】

講義中に指示

演習

「社会理論で読みとく現代社会の様相」 2単位 春学期
澤井 敦

【授業科目の内容】

本演習では、教科書（下記）の各章を素材としつつ、
身近な社会現象を、社会理論という「道具」をもちいて
読みとくことを試みる。授業は毎回、原則として、報告
担当者による報告と質疑応答、討論というかたちですす
めていく。参加者各自に少なくとも教科書のひとつの章
についての報告を義務づける。報告にあたっては、その
内容を紹介したうえで、他の文献や資料、あるいは自ら
の体験をふまえて、各自の視点からの考察を展開するこ
とを期待したい。教科書の各章のテーマは、たとえば以
下のようなものである。アイデンティティ、スティグマ、
正常と異常、ジェンダー、規範と制度、コミュニケーション
の自己準拠、社会のなかの権力、イデオロギー、共
同体、国家と市民社会、ユートピアと想像力。

【教科書】

友枝・竹沢ほか著『社会学のエッセンス 世の中のし
くみを見ぬく』（有斐閣 1996年 1700円）

【参考書】

授業中に紹介する。

演習

「グローバリゼーションと多文化交錯社会
における市民意識の動態」 2単位 春学期
関根 政美

【授業科目の内容】

本授業では、履修者の自発的な調査報告とそれらを土
台に討論を行う演習授業を実施したい。履修者の数にも
よるが、毎回2、3名の報告者による競争的報告を行っ
てもらい、それらを土台に討論をしてゆきたい。また、必
要に応じて本授業のテーマに沿ってビデオを見て討論し
たいと思っている。

授業のテーマは以下の通り。現代世界はグローバリ
ゼーション（国際化）の影響を経験し大きな文化・社会変
動を経験している。「グローバリゼーションは」、近年日
本でも盛んに使われるようになった言葉だが、グロー
バリゼーションそのものは多様な現象であり、一筋縄では
その実態をつかむことが難しい。本授業では、人口移動
のグローバリゼーションに焦点を当てて、国民国家の多
文化・多民族社会化の動きと、その社会・文化的影響に
ついて議論しながら考察を加えたい。

【教科書】

未定（最新のものを利用したいので、未定である。著
書の墓に論文の輪読も予定している）。

【参考書】

関根政美『多文化主義社会の到来』朝日新聞社（2000年）
D・ヒーター（田中・関根訳）『市民権とは何か』岩
波書店（2003年）

演習

「アイデンティティ、ナショナリズム、
そして東アジア国際秩序」 2単位 春学期
徐 承元

【授業科目の内容】

1990年代以降各国で再び浮上したナショナリズム的な
動きは、東アジアの地域統合において最大の制約要因と
なっている。この授業では、アイデンティティ、ナショ
ナリズム、そして東アジア国際秩序に関する英語文献な
どを購読しながら、ナショナリズムと地域主義の相関関
係について討論していきたい。

【教科書】

テキストは、コピーして授業中に配布する。

【参考書】

参考文献は、必要に応じてプリントなどを配布する。

演習

「ナショナリズムを考える」 2単位 春学期
萩原 能久

【授業科目の内容】

この演習ではまずナショナリズム論の古典であるJ.
E. ルナン『国民とは何か』、J. G. フイヒテ『ドイツ
国民に告ぐ』（抄訳）およびB. アンダーソン『想像の
共同体』を全員で読んで討論し、以降、履修者の希望に
あわせて何冊かのナショナリズム関連書籍を渉猟しま
す。たとえばイ・ヨンスク『国語 という思想』、加藤
典洋『敗戦後論』、阿部潔『彷徨えるナショナリズム』、
香山リカ『ぶちナショナリズム症候群』、小森陽一・高
橋哲哉『ナショナル・ヒストリーを超えて』などはいか
がでしょうか。「ナショナリズムは他の 主義 とは違
って、そのホップズもトクヴィルも、マルクスもウェー
バーも、いかなる大思想家も生み出さなかった」（アン
ダーソン）と言われるように、思想的には貧困なもので
すが、政治的影響力という面では、すべての 主義 に
まさる力を持ちます。その秘密をさぐってみると同時に、
最終的にはそのような 貧困なる精神 に負けないため
の 人間の条件 を皆さんと一緒に考えてみたいと思
います。

【教科書】

上記の書物を含め、最低でも二週に一冊、最終的に五
冊以上は文献を読むこととなります。学生時代の乱読は
財産となります。ただし、労多くして、ただの二単位で
す。

【参考書】

必要だと思ふ文献は議論のなかでアドバイスしていきます。

演習

「現代日本の都市」 2単位 春学期
真下 英二

〔授業科目の内容〕

現代の日本の都市は数多くの問題を抱えている。この演習では、討論を通じてこれらの問題を明らかにし、その解決方法について考察していく。

〔教科書〕

授業中に指示。

〔参考書〕

授業中に指示。

演習

「政府の役割・市場の役割」 2単位 秋学期
遠藤 崇浩

〔授業科目の内容〕

この演習では「政府の役割・市場の役割」というテーマに関連した文献を選び、それを基に報告・討論を行います。特に「小さな政府」という考え（「民営化」「市場経済化」「グローバル化」とも呼ばれる考え）について、その論拠、長所・短所、実現に必要な方策などを理論的に考察します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

ミルトン・フリードマン（熊谷尚夫・西山千明・白井孝昌共訳）『資本主義と自由』マグローヒル好学社（1975年）など

演習

「古代日本における政治発展」 2単位 秋学期
笠原 英彦

〔授業科目の内容〕

主として7世紀の政治変動に力点を置き、諸々の政治的事件などを理解することをめざす。

〔教科書〕

笠原英彦『天皇と官僚』PHP新書

演習

「日英同盟と日本のメディア」 2単位 秋学期
玉井 清

〔授業科目の内容〕

日英同盟は、明治から大正期にかけ、日本外交の基軸となり、極東の新興国家であった日本にとり安全保障や貿易等の面で多大の寄与をしたことは、よく知られている。また、当該同盟は、世界に植民地を有する白人の大国と、極東の黄色人種国家との対等同盟という点でも、

世界史上において画期的出来事であった。

この授業では、かかる日英同盟締結が、当時の日本人にいかにつえられていたかを、同時代の新聞や雑誌から考察を試みるものである。

〔教科書〕

岡義武『西力東漸』と民族的危機感（『岡義武著作集6』岩波書店）

玉井清研究会『日英同盟と日本のマスメディア・近代日本政治資料』

演習

「旧ソ連における体制転換」 2単位 秋学期
宮澤 秀爾

〔授業科目の内容〕

スターリン主義体制成立以降の旧ソ連における体制変化とソ連崩壊後の民主主義、市場経済への体制転換について学びます。また、体制転換の分析に有用な新制度派政治経済学アプローチの基礎を理解できるようにします。

〔教科書〕

袴田茂樹『現代ロシアを読み解く』ちくま新書（2002年 700円）、ティモシー・J・イーガー（青山繁訳）『新制度派経済学入門』東洋経済新報社（2001年 2600円）

演習

「事例を通して考える人種・民族・エスニシティ」 2単位 秋学期
矢澤 達宏

〔授業科目の内容〕

近年、人種・民族・エスニシティの顕在化という傾向が世界的に見られ、それは政治にも様々なかたちで投影されている。この演習では、各地の具体的事例を材料として、人種・民族・エスニックグループ間の関係や対立・紛争、およびその政治との関わりの諸相について考えてみたい。なお、事例に関しては途上地域のものを中心にとりあげる予定である。エスニック紛争、人種間格差、ナショナリズム、ディアスポラ、共存の模索といったものが議論の主要なテーマとなろう。

〔教科書〕

授業では様々な書籍、雑誌から一部分をコピーして使用するので、授業全体を通じた特定の教科書はない。

〔参考書〕

参考文献は必要に応じて指示する。

演習

「ゴフマネスクへの招待」 2単位 秋学期
吉瀬 雄一

〔授業科目の内容〕

アーヴィング・ゴフマンの著作の講読と、それに基づく徹底的なディスカッションを通じて、「演じる自己」としての人間と、「演じる場」としての現代社会につい

での理解を深める。そのさい、英国滞在で得た経験も踏まえ、できるだけ身近な話題を盛り込んでゆくことにしたい。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

講義中に指示する。

演習

「現代の権力論」 2単位 春学期
石川 晃司

〔授業科目の内容〕

この授業では、現代思想の成果なども射程に入れながら、また政治領域に限らずより広いコンテキストで政治権力を捉えながら、現代の政治権力の諸相に触れてみたい。テキストは以下を使用するが、これを手がかりにしながら自由に「越境」して議論を進めたいとおもう。

〔教科書〕

星野智『現代権力論の構図』情況出版 3200円

〔参考書〕

授業時に随時指摘する。

演習

2単位 春学期
井上 一明

〔授業科目の内容〕

Current History、およびEconomistなどの雑誌から、アジア、アフリカ、ラテンアメリカそして中東などのいわゆる発展途上国における政治、経済、社会そして開発の問題に関するできるだけ新しい論文ないしは特集記事を取り上げて輪読する。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

授業のなかで紹介する。

演習

「政府の役割・市場の役割」 2単位 春学期
遠藤 崇浩

〔授業科目の内容〕

この演習では「政府の役割・市場の役割」というテーマに関連した英語文献を選び、それについて報告・討論を行います。前半部分では自由主義 小さな政府を支持する考え に関する基本文献を読み、後半部分ではそれを足がかりに*The Economist*、*Wall Street Journal*などに掲載された政府規制・規制緩和の実例について、その是非を討論します。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

演習

「戦間期におけるアメリカの対日イメージ」 2単位 春学期
玉井 清

〔授業科目の内容〕

「真珠湾への道」を考える際、日本の動向とともに、アメリカが日本の政治や外交をどのように認識していたかも重要な鍵になる。その一端を明らかにするため、満州事変から対米開戦に至るまでのアメリカの対日イメージを同時代の資料を通じて種々の角度から検討するのが本演習の目的である。

〔教科書〕

文献コピー。

演習

「イラク戦争をめぐる国際政治」 2単位 春学期
細谷 雄一

〔授業科目の内容〕

2003年3月にはじまったイラク戦争は、冷戦後の国際秩序に多大な影響を及ぼした。戦争が終わった後もその余波は、イラク復興、国連改革、米欧関係の修復、アメリカ外交のユニラテラリズムといった様々な問題と連動している。この演習では、イラク戦争をめぐる諸問題について戦争に至る過程と戦後の混迷を含めて、国際政治学的に再検討することを目的とする。

演習

「ロシアにおける民主主義・市場経済への移行」 2単位 春学期
宮澤 秀爾

〔授業科目の内容〕

共産主義体制崩壊後のロシアにおける民主主義、市場経済への移行が持つ様々な側面を理解できるようにします。

〔教科書〕

Thane Gustafson, 『Capitalism Russian Style』 (Cambridge University Press, 1999) のコピーを配布します。それに加えてプリントも用います。

演習

「途上地域の政治について考える」 2単位 春学期
矢澤 達宏

〔授業科目の内容〕

この演習では、途上地域の政治の具体的事例を扱った英語の論説、記事を材料に、その実態や特質についておもに比較政治学の観点から考えてみたい。事例に関しては、サブサハラ（サハラ以南）アフリカ、ラテンアメリカ地域のものを中心にとりあげる予定である。

〔教科書〕

授業では様々な書籍、雑誌から一部分をコピーして使用するので、授業全体を通じた特定の教科書はない。

〔参考書〕

参考文献は必要に応じて指示する。

演習

「民主化の比較政治学」 2単位 秋学期
粕谷 祐子

〔授業科目の内容〕

民主化の諸理論について学び、それを参加者各自の興味のある国・地域の分析に応用してみるセミナー。「なぜ、いかに民主化するのか」を問う民主化研究は、近代政治学における伝統的な研究分野である。とはいえ、1970年代以降に多くの国が権威主義体制から民主主義体制へと移行したことから、最近の政治学における民主化研究は百花繚乱の観を呈している。本セミナーでは、ややもすると散逸しがちな民主化研究の理論体系をまず概観する（第1週から第5週、毎回担当者に指定文献の要約をおこなってもらい、その後クラス全体で討議）。その後、これら理論を応用して、参加者各自が興味をもっている国・地域の民主化経験を分析し、口頭発表してもらう（第7週から第12週）。また、学期末には、事例研究発表を基にしたレポート（A4ダブルスペースで10枚程度）を提出してもらう。レポートの書き方に関しては、第6週に講義形式で指導する。本演習は民主化一般をテーマとしているが、同時に、本演習でのさまざまな活動を通して、「民主主義体制」をとる現代日本の市民であるとはどういうことなのかについても考えたい。

〔教科書〕

特になし。必要な資料は授業時に配布する。

〔参考書〕

随時紹介する。

演習

「政策波及研究の現状と課題」 2単位 秋学期
桑原 英明

〔授業科目の内容〕

政策波及に関する英語の基礎的な文献を読み、ディスカッションを日本語で行ないます。政策波及の基礎的な知識についての理解を深めるようにします。初回の授業でプリントを配布します。

〔教科書〕

特に定めない。

〔参考書〕

伊藤修一郎『自治体政策過程の動態』慶應義塾大学出版会

演習

「東アジアの国際関係」 2単位 秋学期
阪田 恭代

〔授業科目の内容〕

東アジアの国際関係をめぐる諸問題について、英語文献を読みながら、議論する。下記教材ならびに、新聞、

雑誌など、その他の時事英語文献も利用する。

〔教科書〕

Dean W. Collinwood, ed. Global Studies: Japan and the Pacific Rim. 7th edition. McGraw-Hill/Dushkin Company. (<http://www.dushkin.com>)

〔参考書〕

河野哲也『レポート・論文の書き方入門 第3版』慶應義塾大学出版会（1000円）

授業にて、適宜紹介する。

演習

「日本の地域主義政策 戦前、戦中、そして戦後」 2単位 秋学期
徐 承元

〔授業科目の内容〕

21世紀に入り、東アジア地域においても地域連携の構想が語られている。かくした動きを念頭におき、この授業では、日本の地域主義政策に関する英語文献などを購読しながら、討論する。

〔教科書〕

テキストは、コピーして授業中に配布する。

〔参考書〕

参考文献は、必要に応じてプリントなどを配布する。

演習

2単位 秋学期
添谷 芳秀

〔授業科目の内容〕

戦後アジア太平洋の国際関係に関する英文を読む。学術的な論文から時事解説的なものまで幅広く題材として取り上げたい。受講生による文献の内容発表をベースにして、戦後アジア太平洋の国際関係の変遷に関する理解を深めるための議論にも重きをおく。文献は適宜講義のなかでコピーを配布する。

演習

「問題史としての政治思想史」 2単位 秋学期
田上 雅徳

〔授業科目の内容〕

政治思想史に関する英語の文献を講読します。

その際、古典古代から始まる通史ではなく、「自由」「秩序」といった個々のトピックに思想家たちがどのように立ち向かったかを描く「問題史」の構成を採用したテキストを用いたいと思います。

〔教科書〕

John Morrow: History of Political Thought: A Thematic Introduction (Macmillan, 1998).

演習

「現代中東論に関する英語文献の講読」 2単位 秋学期
富田 広士

〔授業科目の内容〕

現代中東論に関する次の英語文献の中から一部をコピーして、講読する。

- (1) Brown, L. Carl (1984), *International Politics and the Middle East: Old Rules and Dangerous Games*, Princeton University Press, US
- (2) Karsh, Efraim, ed. (1997), *From Rabin to Netanyahu: Israel's Troubled Agenda*, Frank Cass, UK
- (3) Kurzman, Charles, ed. (1998), *Liberal Islam: A Sourcebook*, Oxford University Press, US
- (4) Reich, Bernard, ed. (1998), *Handbook of Political Science Research on the Middle East and North Africa*, Greenwood Press, US
- (5) Kienle, Eberhard (2001), *A Grand Delusion: Democracy and Economic Reform in Egypt*, I.B.Tauris, UK

【教科書】

文献コピーの求め方は初回授業時間に指示する。

演習

「現代の都市と政策」 2単位 秋学期
真下 英二

【授業科目の内容】

グローバル化の進む現代にあって都市は様々な形で変革を迫られているが、諸外国の都市ではどのような状況におかれ、そしてどのような対策をとっているのか、外書の論読を通じて考察していく。

【教科書】

授業中に指示。

【参考書】

授業中に指示。

演習

「国家と政治空間」 2単位 秋学期
山本 信人

【授業科目の内容】

本演習では、国家と政治空間に関する英文テキストを読むことで政治学の基本概念と考え方を学ぶ。テキストは国際／比較政治学の基礎単位および概念である国家を批判的に捉え直す論考を集めて構成されている。テキスト裏表紙の謳い文句はつぎのようになっている。

“ During the last three decades, inherited geographies of state power have been significantly unsettled.

The primacy of forms of government organized along traditional, Westphalian lines has been undermined by the unprecedented rise of supranational and subnational levels of state power and by the proliferation of new forms of governance. This groundbreaking, interdisciplinary volume brings together diverse analyses of these ongoing transformations of state space. The contributions explore state restructuring on multiple spatial scales,

and form a wide range of theoretical, methodological, and empirical perspectives,” 以下省略

【教科書】

Neil Brenner, Bob Jessop, Martin Jones, and Gordon MacLeod, eds.,

State/Space: A Reader(Blackwell Publishers,2003)より抜粋した論文

【参考書】

Kenneth Minogue, *Politics: A Very Short Introduction* (Oxford UP, 2000)

演習

「冷戦史を読む」 2単位 秋学期
横手 慎二

【授業科目の内容】

冷戦の時代はどのような時代であったのか。比較的コンパクトな本を読んで、この問題を考えたい。現代史（第二次大戦後の時代）に関心のある学生の参加を望む。本は授業を開始するまでに用意する。

4 商学部

基礎科目 類

商学概論	2単位 春学期
コーディネータ(2限)小野 晃典	
(3限)吉田 栄介	
(4限)谷口 和弘	

〔授業科目の内容〕

商学部の新入生に、学部の専攻の4大分野(経営、会計、商業、経済・産業)のうち経営、会計、商業分野の概要を示すことによって、学問的アイデンティティを確立させ、学習目標を与えることを目的とする。内容の詳細については「授業の計画」を参照のこと。

〔教科書〕

教科書は使用しない。

〔参考書〕

経営学・商業学については、もしあれば各担当教員が授業等を通じて紹介する。

会計学については、下記の文献を参考書とする。

神戸大学会計学研究室編『会計学基礎論』(第3版)

経済学

「マクロ経済学・ミクロ経済学の基礎」	4単位 通年
井原 哲夫 桜本 光	
牧 厚志	

〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する。

〔教科書〕

井原哲夫・牧厚志・桜本光・辻村和佑著『経済学入門』日本評論社(2003年)

〔参考書〕

牧担当のクラスのみ：牧厚志著『日本人の消費行動』ちくま新書(1998年)

基礎科目 類 A群

簿記論	
「企業の成果計算システム」	4単位 通年
	坂口 博

〔授業科目の内容〕

この講義では、複式簿記のシステムについて学びます。複式簿記は企業の簿記です。現代社会で、企業は社会に財貨サービスを供給する重要な役割を持っています。その企業活動の実態を記録しどれだけの経営成果が得られたかを測定するシステムが複式簿記システムです。会計はビジネスの言葉といわれ、簿記は会計の計算ルールです。将来産業界で活躍する人も公務員を目指す人も、社

会に出れば簿記会計の重要性を実感するはずですが、学生時代に簿記会計の基礎を学ぶことは将来必ず役に立つはずですが。

〔教科書〕

坂口博『現代企業の簿記会計提要』泉文堂刊

〔参考書〕

日本商工会議所編『日商簿記検定試験3級、2級問題集』(自習用)

簿記論

「複式簿記論」	4単位 通年
	佐藤 康廣

〔授業科目の内容〕

複式簿記の処理手続を体系的知識として修得することを目的とする。このため、講義資料により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために記帳練習を行う。

〔教科書〕

講義資料プリントを配布します。

〔参考書〕

新検定簿記ワークブック3級(中央経済社) 簿記検定試験問題集3級(日本商工出版)

簿記論

「財務諸表作成の基礎」	4単位 通年
	鷹野 宏行

〔授業科目の内容〕

企業は、その経済活動を継続的に記録し、それを加工して、定期的に報告していかなければならない。この一連の流れは、ふつう、企業会計と呼ばれている。企業会計が、企業を取り巻く利害関係者への一種のコミュニケーションの手段であるということに注目すると、企業会計は、ことばの体系にたとえることができよう。このようにたとえた場合、簿記は、さしずめ企業会計の文法規約であると考えられるであろう。

〔教科書〕

初回の講義時に指示する。

〔参考書〕

初回の講義時に指示する。

簿記論

	4単位 通年
	吉田 栄介

〔授業科目の内容〕

簿記は財務諸表の作成システムです。簿記は、企業の財務管理に役立ち、経営成績・財政状態を明らかにします。ですから、すべてのビジネス・パーソンにとってその理解は必要不可欠なものだと考えます。

簿記の習得のためには、講義を受けているだけではな

く、時間をかけて、自ら練習を積むことが必要です。そこで、この授業では、授業中に練習問題を使用した演習を行います。

1. 簿記の基本原則
 - 簿記の意味・目的・種類
 - 簿記の基礎概念
 - 取引
 - 勘定と仕訳
 - 帳簿の記入
 - 決算と財務諸表
2. 諸取引の処理と決算

【教科書】

加古宜士・渡部裕巨編著『新検定簿記講義3級』中央経済社

加古宜士・渡部裕巨編著『新検定簿記ワークブック3級』中央経済社

社会科学の考え方 4単位 通年
〔春学期〕榊原 研互
〔秋学期〕木島 伸彦

【授業科目の内容】

この講義の目的は、一般に社会科学と呼ばれる学問の基本的な考え方の特徴を明らかにすることにある。そのために、まず春学期では、「科学的な知識とは何か」という根本的な問題から説き起こし、科学一般の方法について考察した上で、自然科学と社会科学の相違や、経済学、経営学などの個別学科における方法論上の諸問題について考察する。次に秋学期では、社会科学の1例として、心理学における考え方と研究方法を紹介する。春学期を榊原が、秋学期を木島が担当する。

【教科書】

各学期の初回の講義で指示する。

【参考書】

各学期の初回の講義で指示する。

情報処理 4単位 春・秋学期集中
 「情報処理入門」 (未定)

【授業科目の内容】

ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わりを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要ならば加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立つことが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについて理解することが大切である。

授業計画については講義担当者によって細部に違いがあるが、全般的な内容を次に示す。なお、春学期は5月、

秋学期は10月に、メディアセンターにおける文献検索などについての講義を行う。

【教科書】

山本喜一著『入門情報処理』(Office XP版) J.B.企画 (2100円)

【参考書】

慶應義塾大学日吉メディアセンター編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会 (1200円)

情報処理 (既習者)
 「情報処理入門」 4単位 秋学期集中
山本 喜一

【授業科目の内容】

情報処理 の他の講義と同様に、ITCのパソコンを利用してコンピュータを使った情報処理について講義と演習を行う。

この講義は、中学または高校で情報関連の科目を既に履修し、パソコンを一通りは使える諸君を対象とする。したがって、情報処理 の他の講義とは異なり、パソコンの利用に関する詳細は省略する。ほとんど毎回課題を与えるので、実習の時間内あるいは空いた時間を利用してレポートを提出する必要がある。

【教科書】

Webに講義資料をアップしてある。

【参考書】

山本喜一著『入門情報処理』(Office XP版) J.B.企画 (2100円)

慶應義塾大学日吉メディアセンター編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会 (1200円)

情報処理 4単位 春学期集中
 「表計算応用」 木戸 一夫

【授業科目の内容】

EXCELの機能はあまりに豊富で、全てを予め覚えることは不合理である。こういうことをしたいという問題が生じた時に、最後までくじけずに試行錯誤し、自分の力で解決法を探すことを身につけたい。このような状況は予め解答が用意されていない世の中では必ず発生するものであり、この授業を通じて、一生を通じて役に立つ問題解決能力養成を目指す。最後までがんばれば、立派なEXCEL使いになっていることも必然である。

【教科書】

清水 誠著『データ分析 はじめの一步』講談社ブルーバックス

情報処理 4単位 通年
 「初めてのプログラミング」 岡田 謙一

【授業科目の内容】

プログラミングの未経験者もしくは初心者を対象とし

て、Cによるプログラミングの基礎を学ぶ。講義では主に文法の基礎を、コンピュータを操作しながら学ぶ。授業後半の演習では、ほぼ毎回プログラミングレポートを提出する。

【教科書】

岡田謙一、屋代智之：改訂新版C/C++教科書（ソフトリサーチセンター）

【参考書】

岡田謙一、重野寛他：C/C++ワークブック（ソフトリサーチセンター）

情報処理 4単位 通年
新保 一成

詳細については別紙または掲示板にて案内します。

情報処理（DELPHI）
「DELPHIによるオブジェクト指向プログラミング入門」
4単位 通年
田村 高幸

【授業科目の内容】

DELPHIを通して、WINDOWSプログラミングおよびオブジェクト指向プログラミング（現代のネットワーク社会を支えている重要な手法・思考法の一つ）を学びます。

【教科書】

三原 幸一『基礎からわかるDELPHI 6』秀和システム

【参考書】

塚越一雄『DELPHI オブジェクト指向プログラミング』技術評論社

情報処理（ネットワーク活用）
「コンピュータネットワークセキュリティ入門」
4単位 通年
田村 高幸

【授業科目の内容】

コンピュータネットワークセキュリティの基礎となるTCP/IPプロトコルを中心にコンピュータネットワークにおける重要なプロトコルについて学び、それらが、コンピュータネットワークセキュリティに果たしている役割について、学びます。

【教科書】

栗林克明『TCP/IPのわかる本』毎日コミュニケーションズ

【参考書】

久米原栄『TCP/IPセキュリティ』ソフトバンクパブリッシング

基礎科目 類 B群

解析 2単位 春学期
佐藤 健治

【授業科目の内容】

この講義では、1学年配当の「微分法」の続きとして、積分について学びます。積分は微分の逆の操作と考えることもできますが、本来は面積や体積を小さな部分に分けて求める区分求積法を極限の概念を通じて発展させたものです。

【教科書】

最初の授業のときに説明する。

【参考書】

最初の授業のときに説明する。

解析 2単位 秋学期
佐藤 健治

【授業科目の内容】

一定の条件の下で関数が最大となる点を求める理論を「最適化理論」と呼びます。最近では、ミクロ経済学だけではなくマクロ経済学にも、最適化理論が応用されるようになりました。この講義は、経済学に応用された最適化理論を理解するための、数学的準備を整えることを目的とします。

【教科書】

最初の授業のときに説明する。

【参考書】

最初の授業のときに説明する。

数学基礎 2単位 春学期
渡部 睦夫

【授業科目の内容】

商学部の学生として社会科学を学び、自らの考えを発信してゆくためには、テーマの展開の筋道が論理的・体系的に成り立っていなければなりません。論理的・体系的に考えるということは、実は、数学的に考えていることに他ならないのです。

この講義では、高等学校の数学を前提として、数と図形を基本的な素材に初歩的な数学をその考え方に重点をおいて解説します。“ある数・量が他の数・量に限りなく近づく”という考え方を直観的に捉えることにより、どんなことが解るのでしょうか。数学的厳密さに多少目をつぶれば、多くの数学的事実が見えてきます。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

最初の授業のときに説明する。

数理計画法

「与えられた制約条件のもとで最適解を求める手法」

2単位 春学期

新井 益洋

〔授業科目の内容〕

数理計画法は、与えられた制約条件のもとで目的関数の値を最大あるいは最小にするという最適化手法であり、具体的な解を求めることを目的にしている。その代表的なものには、線形計画法、非線形計画法、整数計画法、動的計画法、多目的計画法、ネットワーク計画法、階層分析法などがある。これらの手法は、実際の問題解決のために広く利用されている。数理計画法の理論には多くの変数と式が現れ、数学の立場からすると線形代数と多変数解析学を結合した応用数学といえる。また、問題を実際に解くためには、その理論だけでなく、その問題を効率よく解くためのコンピューターの利用を前提とした算法（アルゴリズム）も必要であり、学ぶべき課題の1つである。

半期授業であり、時間数が少ないので、すべての手法を網羅的に紹介することはできない。具体的な問題、役立ちそうな事例を中心に、その問題解決の考え方、解くための手法について講義する。

〔教科書〕

使用予定はない。

線形代数

2単位 春学期

渡部 睦夫 小宮 英敏
深谷太香子 中島 晴久
菅原 昭博 野沢 宗平

〔授業科目の内容〕

社会科学のかなりの分野で、その理論が数学を用いて記述されたり、数学的手法により問題解決が図られたりして、数学の知識の必要性が増してきている。この講義では、線形代数の中でも、特に、行列の理論を中心に講義する。行列は経済学、経営学においても用いられているので、この講義を通して、行列を自由に使いこなせるようになることを期待したい。

〔教科書〕

渡部睦夫著『線形代数とその応用』培風館

〔参考書〕

最初の授業のときに説明する。

微分法

2単位 秋学期

渡部 睦夫 小宮 英敏
深谷太香子 中島 晴久
菅原 昭博 野沢 宗平

〔授業科目の内容〕

社会科学のさまざまな学問において、その理論が数学を用いて記述されたり、数学的手法を用いて問題解決が図られたりする。さらに、問題そのものが数学的構造を

内包しているなど、社会科学においても数学の知識がかなりの割合で必要とされてきているのが近年の傾向である。専攻科目の基礎となる経済学、経営学などを、数学を用いて理解するときに必要とされる基礎的な数学の一分野が、この「微分法」である。

〔教科書〕

担当者が指示する。

〔参考書〕

担当者が指示する。

基礎科目 類 C群

統計学

「統計学入門コース」

2単位 春学期

新保 一成 早見 均
吉岡 完治

〔授業科目の内容〕

統計学 および統計学 を通じて、統計学の基本的知識のうち特に重要と思われるものを選んで、可能な限り易しく講義する。統計学 と の二つの講義で統計学の基本がカバーされるので、統計学 および統計学 の両方を履修することを強く希望する。

〔教科書〕

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』（第2版）東洋経済新報社

〔参考書〕

小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環『統計学』NTT出版

統計学

「統計学基礎コース」

2単位 秋学期

新保 一成 早見 均
吉岡 完治

〔授業科目の内容〕

統計学 に引き続き統計学の基本的知識のうち特に重要と思われるものを選んで、可能な限り易しく講義する。統計学 と で統計学の基本がカバーされるので、統計学 および統計学 の両方を履修することを強く希望する。

〔教科書〕

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』（第2版）東洋経済新報社

〔参考書〕

小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環『統計学』NTT出版

専攻科目 類

経済史
「近現代日本経済史入門」 4単位 通年
平野 隆

〔授業科目の内容〕

開港・明治維新期から21世紀初頭までの時期を対象として、日本の経済・社会の歴史的展開を概観することによって、現代の様々な経済・社会問題の背景を理解するための視野と基礎的知識を提供する。

〔教科書〕

特定の教科書は使用しないが、次の資料集を講義中に参照するので準備すること。

安藤良雄編『近代日本経済史要覧』（第2版）東京大学出版会

〔参考書〕

三和良一『概説日本経済史・近現代』東京大学出版会
中村隆英『日本経済』（第3版）東京大学出版会
梅村又次他編『日本経済史』（全8巻）岩波書店
尾高煌之助・斎藤修編『日本経済の200年』日本評論社
その他の参考文献は講義中に適宜紹介する。

経済史
「戦後日本経済の復興・発展とその諸側面」 4単位 春学期集中
吉田 正樹

〔授業科目の内容〕

第二次世界大戦後の復興期から1990年代までの日本の経済発展の特徴を理解してもらいます。集中講義前半は敗戦の混乱とGHQ主導の経済民主化政策から説明を始め、技術革新によって国際競争力を形成した1970～90年代までを講義します。後半は前半の理解のうえに、日本の経済再建、発展過程の最も特徴的な側面をテーマ別にして講義していきます。

〔参考書〕

安藤良雄編『近代日本経済史要覧』東京大学出版会

私法基礎
「民事法の基礎知識」 4単位 通年
本田 耕一

〔授業科目の内容〕

民法、商法および民事訴訟法など民事法についての初歩的な知識を身につけることをめざして講義します。

〔教科書〕

池田真朗著『民法への招待』税務経理協会

〔参考書〕

必要に応じて講義の際に指示します。

私法基礎
「市民法の基本概念と基礎理論」 4単位 通年
松尾 弘

〔授業科目の内容〕

この授業では、家族、財産、契約などを柱とする市民法の基本概念と基礎理論を、できるだけ身近な具体的事例に引き寄せながら、かつ体系的に解説することを目的とする。それにより、法律学の基礎知識と法的思考方法の基本をマスターし、市民社会を支える最も基本的な法制度の特色を理解することを通じて、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。

私法は、民法、商法、その他の特別法を通じて、誰に、どのような私法上の権利（人格権、物権、債権、家族法上の権利などの私権）が帰属するのかを決定する実体法を中心部分を占めている。そこには、私法上の権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についてのルールが含まれている。

私法基礎では、こうしたルールの基本的な仕組みに焦点を当て、民法を中心にして、その全体像を明らかにすることを目標にする。

〔教科書〕

松尾弘『民法の体系 市民法の基礎』（第3版）慶應義塾大学出版会（2003）

〔参考書〕

道垣内弘人『ゼミナール民法入門』（第2版）日本経済新聞社（2003）
二宮周平『家族法』新世社（1999）

社会経済学 4単位 通年
赤川 元章

〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史的・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地理的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなる。本講義は以下の順序で行う予定である。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

なし。

専攻科目 類

会計学

「財務会計論、管理会計論、会計史、監査論の基礎」 4単位 通年
友岡 賛 伊藤 眞
前川 千春 吉田 栄介

〔授業科目の内容〕

会計というのは、企業における経済活動ないし資本運動を組織的体系的に記録し、最終的に、企業資本がどれだけ増減したかということ、および、企業資本がどのような構成状態にあるのかということ、それぞれ損益計算書および貸借対照表によって総合化するプロセスである。今日、企業には多くの利害関係者が存在するが、彼等にとり企業の実状を知るための源泉は、主として、企業から公表される財務諸表(損益計算書・貸借対照表等)であり、彼等は、これに基づいてその行動を決定している。

現代社会における企業の重要性を考えるならば、会計は、今日、動的な経済秩序を形成する基礎的要因をなすまでに至っており、その社会的意義は飛躍的に増大している。会計学は、そうした企業会計を研究対象として、その歴史的生成を跡づけつつ、その統一的な説明原理を探究する学問領域である。

本講義は、原則的には簿記論を習得した学生を対象にして、会計学全般に関する基礎的理解を与えることを目的としているが、春学期および秋学期の講義内容は、次のとおりである。

企業会計をその機能に従って分別すれば、企業外部の利害関係者への報告を目的とする財務会計と、企業内部の利害関係者への報告を目的とする管理会計とに大別できる。春学期は、この2領域に関わる理論を概観する。

秋学期は、まず会計の歴史を扱う。とりわけ複式簿記の成立から期間損益計算の成立にいたるまでが、概観される。また、企業外部の利害関係者に公表される財務諸表は、社会に与える影響の大きさから、単に有用な情報内容を含んでいるだけではなく、他方で信頼できるものでなくてはならない。そうした信頼性の検証を遂行するものが、正に監査に他ならない。そこで、最後に監査に関わる理論および制度を概観する。

〔教科書〕

友岡賛著『歴史にふれる会計学』有斐閣アルマ(秋学期前半)

〔参考書〕

笠井昭次著『会計の論理』税務経理協会
鳥羽至英著『監査基準の基礎』白桃書房
友岡賛著『株式会社とは何か』講談社現代新書(秋学期前半)
千代田邦夫著『会計学入門』中央経済社(秋学期後半)

経営学

4単位 通年
榊原 研互 佐藤 和
前田 淳

〔授業科目の内容〕

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐にわたっている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

〔教科書〕

初回の講義で指示する。

〔参考書〕

初回の講義で指示する。

産業経済論

4単位 通年
コーディネータ(2限)辻 幸民
(3限)中条 潮

〔授業科目の内容〕

本講義は、商学部の4大専攻分野のひとつである「経済・産業」に属する諸分野の総合的な入門講義である。他の3分野(経営、会計、商業)については、専攻科目類にそれぞれ入門的な講義が用意されているので、日吉の学生諸君にも比較的なじみがあるものと思われる。しかし、その他の分野、すなわち、国際経済、労働経済、社会保障、財政、金融・証券、保険、産業組織、交通・公共政策、企業倫理、産業史・経営史については、必ずしも十分には知られていないのが実情である。いずれも経済学(とくにミクロ経済学)を基礎とする学問であるという点は共通性を持つが、取り上げる題材は異なり、アプローチの仕方も一様ではない。そこで、各分野の担当者による入門講義を集中的に組むことで、これらの学問に対する認識を深めてもらい、あわせて三田でそれらを学ぶのに必要な基礎知識を身につけてもらうというのがこの講義のねらいである。

〔教科書〕

本講義に関する統一の教科書はない。文献は必要に応じて各担当者が講義中に指示する。

〔参考書〕

本講義に関する統一の教科書はない。文献は必要に応じて各担当者が講義中に指示する。

商業学

「ミクロおよびマクロ・マーケティング論の基本問題」
4単位 通年
高橋 郁夫

〔授業科目の内容〕

本講義はミクロおよびマクロ・マーケティング論より構成される商業学の基本問題を体系的に論じることによ

って、マーケティング学への理解を深めることを目的としている。このことは、同時に、より専門性の高い三田設置の商業学・マーケティング関連科目への橋渡しという役割をもつことを意味する。

【教科書】

高橋郁夫著『消費者購買行動 小売マーケティングへの写像』(増補版)千倉書房

【参考書】

講義のなかで、必要に応じて指示する。

商業学

4単位 通年
濱岡 豊

【授業科目の内容】

身のまわりには、ブランド、新製品、店舗や商店街などマーケティングに関わる現象が多く生じている。この授業では、これらマーケティング現象を分析するための概念を紹介する。複雑にみえる現象をより深く理解・分析し、よりよいマーケティング意思決定ができるようになってもらうことが、この授業の目的である。

【教科書】

指定なし。

講義資料は濱岡のホームページからダウンロード可能。
<http://news.fbc.keio.ac.jp/hamaoka/>

【参考書】

上記の資料を参照

商業学

「商品の社会的移動にかかわる制度および行為」 4単位 通年
堀越 比呂志

【授業科目の内容】

本講は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とする。商業学は、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果と、個別経済主体に焦点をあてたミクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をマクロ・マーケティング論、後者をミクロ・マーケティング論と呼んでいる。本講では、この双方の研究成果の概観とその基礎的知識を提供することを目的とする。内容としては「商品の社会的移動の取引的側面」にウエイトを置く、流通論、マーケティング論、商業経営論における成果に焦点を置いたものとなる。

【教科書】

特に使用しない。講義資料は適宜配布する。

【参考書】

久保村隆祐・荒川祐吉編『商業学』有斐閣、大学双書
村田昭治・田内幸一『現代マーケティングの基礎理論』同文館

佐藤肇著『日本の流通機構』有斐閣

P. コトラ著『マーケティング・マネジメント』(邦訳の4版、7版、ミレニアム版のどれでもよし)

理論経済学

「専門課程へ向けてのわかりやすい経済学」 4単位 通年
中島 隆信

【授業科目の内容】

本講義は「わかりやすさ」をモットーに、三田の専門課程で各種応用経済学(計量経済学を含む)を選択する学生のための経済学の授業である。経済学の理論を勉強することの意味は経済学を現実に当てはめる能力を身につけることにある。すなわち、本講義では、1年生で一通り学んだ経済学の知識を前提とし、「世の中を観察し、ひとつの角度から切る」ための視点、あるいは「世の中の出来事を深く考えるための道具」としての経済学を学生諸君にマスターしてもらうことを主眼とする。

【教科書】

黒田昌裕・中島隆信『テキストブック入門経済学』東洋経済新報社

理論経済学

「現実社会や政策を理解するための経済理論の考察」 4単位 通年
樋口 美雄

【授業科目の内容】

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、ミクロ経済学、マクロ経済学の両面から考察する。たとえば近年交通事故件数が急増しているが、こうした現象は経済要因と深く係わっている。交通事故死亡者の統計を見ると、確かにここ数年、毎年新記録を更新しているが、実は第1次石油危機前の昭和40年代後半にも事故死亡者の多かった時期があった。それが50年代になって減少していったのである。

交通事故件数は自動車の保有台数、自動車1台あたりの年間走行距離、走行距離あたりの事故発生件数の各要因に分解することができる。これらの要因は直接的にはスピードの出しすぎ等に左右されるのであるが、その背後では景気の動向や所得、ガソリン価格が強く影響していることがわかる。はたしてこれらの要因が交通事故件数といった具体的現象にどのように結びついていくのか。

この授業では経済学の分析ツールを学ぶのと同時に、身近な問題にそれらをどのように応用したら問題の本質に近づけるのかを考えていく。春学期では完全競争、独占、寡占市場における企業行動、家計行動といったミクロ経済学を、秋学期では経済成長や景気変動、インフレ、失業、経常収支といったマクロ経済学を中心に授業を進めていく。

【教科書】

樋口美雄著『労働経済学』東洋経済新報社

【参考書】

中馬宏之・樋口美雄著『労働経済学』岩波書店

総合教育科目（ 類）

社会との対話 ・

「短期インターンシップ科目」	4単位 通年
木戸 一夫	友岡 賛
英 知明	新保 一成
梅津 光弘	宇津木愛子
	安井 伸

〔授業科目の内容〕

この授業は商学部2年生を対象に、平成11年度に設置されました。他の授業との最大の違いは、夏休み中の2週間ないし3週間に企業・機関で実地研修を受けるという点にあります。

開講の趣旨

商学部では、これまでもカリキュラムの抜本的改革を通して、学生の自主性を引き出す試みを様々に展開してきましたが、大学で学ぶ理論と自らの社会的体験の不一致に起因するところに問題の根本が存在しているように思われます。このような事態を克服し、社会に占める自らの位置を確認し、学外での実地研修を通じて大学における教育内容と現実問題との関連を自覚的に把握できる機会を新たに提供する目的で、短期インターンシップ科目「社会との対話」を平成11年度から開講し、毎年向上心の強い学生が参加しています。

学生に現実の業務を体験させるという実施形態は、近年増えてきた「ビジネスインターンシップ」と類似していますが、当学部が設置する「社会との対話」は、以下の点で「ビジネスインターンシップ」とは根本的に異なります。

- (1) 学業へのフィードバックを目的とするものであり、その後の研究・勉学、学生生活の改善、目的意識の明確化などに役立てることが期待されており、実地研修により就職の適性を確認することは副次的目的に過ぎません。また、学業へのフィードバックを目的とすることから、対象を2年生としています。
- (2) 学生は与えられたテーマを年間をとおして研究・検討し、改善案を提示することを要求されます。したがって、実地研修は重要な構成要素であるとはいえ、年間授業のあくまでも一部にすぎません。事前教育、実地研修、事後教育をきっかけにしてテーマに対する理解を段階的に深め、粘り強く自主的に研究を進める事により、総合的な問題解決能力を高めていく授業であることを理解しておいてください。
- (3) 上記(2)の理由により、実地研修だけで成立する科目ではないので、7名の商学部専任教員が、研修計画の決定から、研修先の訪問、学生の事前教育、事後教育、最終報告会までキメ細かい指導を行います。
- (4) 人気の高い大企業だけではなく、中小の特徴ある優良企業、成長著しい新興のベンチャー企業、非営利組織など、多様な企業・機関に研修先を求めています。

授業の概要

設置学年

商学部2年生

単位数

「社会との対話」(秋学期・2単位)、「社会との対話」(通年・4単位)

(注意)同一研修先に希望者が集中した場合には、事前教育の結果に基づいて選考(マッチング)を行います。実地研修に派遣されることが決定した場合には、「社会との対話」(通年・4単位)を履修することになります。マッチングが成立しなかった場合には実地研修には派遣されません。しかし、十分な意欲と能力があると認められた場合には、年間をとおして事前・事後教育に出席し、実地研修を除くすべての課題を達成した場合には、「社会との対話」(秋学期・2単位)が取得可能となります。詳細については第一回目の授業で説明します。

学生への報酬

無給

講義概要

事前・事後教育および研修先での実地研修からなります。

研修時期と期間

8月16日(月)~9月3日(金)を中心とする2週間ないし3週間

研修先によって研修期間が若干異なる場合があります。

実施規模

履修学生30名~40名程度

研修先として30~40社・機関を予定しています。

開設曜日・時限

火曜日4限。ただし、授業は4・5限を使って行います。

〔教科書〕

特に指定しません。

〔参考書〕

特に指定しませんが、各自が年間を通じて取り組むテーマに応じて、多くの参考図書を自分で見つけて内容を良く理解する必要があります。

日本の産業と経営

2単位 秋学期

コーディネータ(2限)前川 千春

(3限)深尾 光洋

〔授業科目の内容〕

日本の産業と経営に関する諸問題あるいは課題について、下記(予定)のテーマごとに、それぞれの専門家がオムニバス形式で講義をおこなう。本講義の目的は、商学部で勉強をはじめにさいし、当学部の研究対象がいかに多様かつ興味ある課題をかかえているかを知り、問題意識をもってもらうことにある。したがって、各講演者は、興味深い話題の選択と、1回ずつの講義が完結したものとなるように配慮している。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

なし。

自主選択科目

アラビア語	2単位 通年 高田 康一
-------	-----------------

【授業科目の内容】

アラビア語は、中東・北アフリカに広がるアラブ諸国の国語である。それと同時にイスラームの聖典コーランの言葉として、イスラームという宗教で用いられる言語であり、ひいてはイスラームの文明の言語である。

従って、イスラーム文明が膨大な文化遺産（ここではアラビア語で記された書物のこと）を残しているだけでなく、現在も世界中のムスリムによって学ばれ使用されており、文明の伝統が守られている。

以上の点から世界の歴史や文化を学ぶに際し、必要不可欠な言語のひとつと言っても過言ではない。

この初級の授業では、アラビア語の基礎的な文法の習得を目標とする。

アラビア語の文語文法は、千年以上にわたって維持されてきた整然とした体系を持ち、それを学べば、コーランも現代の新聞も読むことが可能である。その妙味に触れていただきたい。

【教科書】

担当者作成の教材を配布する。

【参考書】

授業中に指示する。

イタリア語入門	2単位 通年 白崎 容子
---------	-----------------

【授業科目の内容】

イタリア語を初歩から学びます。文法項目ごとに順を追って授業をすすめ、あわせて日常的によく使われる短いフレーズを使いこなせるようになることを目指します。

【教科書】

『らくらくマスターイタリア語 初歩から使いこなすまで』郁文堂

【参考書】

辞書『ポケットプログレッシブ伊和・和伊辞典』小学館

『1からはじめるイタリア語練習』白水社

『イタリア語を学ぶ』PHP新書

5 医学部

【第1学年】

基礎科学必修科目

数学

「微分積分学」

4単位 通年

竹下 彬 鈴木 由紀

【授業科目の内容】

1変数関数および多変数関数の微分積分に関する基礎理論とその応用を学びます。極限と連続関数、微分、偏微分、重積分、級数を理解できるようにします。

【教科書】

難波 誠著『微分積分学』裳華房

数学

「線形代数学」

2単位 春学期

竹下 彬 鈴木 由紀

【授業科目の内容】

線形代数の基礎理論を学びます。

線形空間、行列、行列式、線形写像、内積空間、固有値問題を理解できるようにします。

【教科書】

青木利夫・大野勝寛・川口俊一共著『改訂 線形代数要論』培風館

物理学（未習）

4単位 通年

古野 泰二

【授業科目の内容】

物理学では、数少ない原理や法則から出発し、多くの自然現象を理解し予測できることを学ぶ。考え方ひとつで、答えが簡単に見つかることもあるし、量の間の関係を数学的に表現しさえすれば、あとは方程式を解くだけで解を導き出せることもある。数学の解がなぜ現実を表現できるのか、考えると不思議であるが、物体の落下や振り子の振動など、方程式を立てて解いてみると解が実際の現象を正しく表現していることが分かる。1) 物理法則とは何か、2) 物理的な考え方とは何か、3) 物理量の関係を方程式で表現するとは何か、これらについて理解してもらうのがこの講義の目標である。

週1コマ1年間の授業なので高校教科書にあるような広い分野を扱うのは難しい。物理学入門の基礎である力学と電磁気学を中心とするが、生物物理学やナノテクノロジーにおける最近の話題も紹介する。

【教科書】

川久保達之 他著『生命科学のための基礎シリーズ「物理」』実教出版

ほぼ毎回プリントを配布する。

【参考書】

原 康夫著『力学と電磁気学』学術図書

物理学（既習）

「具体例で学ぶ自然現象の定量的理解」

4単位 通年

三井 隆久

【授業科目の内容】

生命を含む自然現象は複雑であり理解しがたいように思えるが、自然現象の中の幾つかは物理法則として既に説明されており、厳密な記述が容易に可能である。容易に記述できることについて無意味な苦勞や誤解をしないため、物理学の基本法則を理解している必要がある。

この講義では、力学、熱物理学、電磁気学を基礎として前半で説明し、後半では応用としてx線CTと磁気共鳴イメージング装置について述べる。これらを具体例として習得しつつ、自然現象を数式により表現・理解する方法について学んでいただきたい。

【教科書】

講義内容の復習を容易にするため、講義に沿ったテキストを毎回講義の前に配布するので、教科書を購入する必要はない。

【参考書】

以下に参考書を示すが、講義で興味を持ち深く調べてみたい場合に、図書館などで利用してほしい。

- (1) ファインマン、レイトン、サンズ著『ファインマン物理学』岩波書店
- (2) 戸田盛和著『力学（物理入門コース）』岩波書店
- (3) エンリコ フェルミ著『フェルミ熱力学』三省堂
- (4) キッテル著『熱物理学』丸善
- (5) 長岡洋介著『電磁気学（物理入門コース）』岩波書店

化学

「現代化学の基礎」

4単位 通年

〔春学期〕久保田真理

〔秋学期〕小林 常利

【授業科目の内容】

春学期の講義では、一般に物理化学とよばれる化学の理論的分野を学ぶ。物理化学の理論は、微視的観点からのものと巨視的観点からのものに大別できる。微視的観点からの理論としては、量子力学が代表格であるが、その量子力学に立脚して原子の電子構造や化学結合のメカニズムについて考える。また、巨視的観点からの理論である化学反応速度論と化学熱力学の基本的考え方についても学ぶ。

秋学期の講義では、有機化学の基礎について学ぶ。化学反応は、結局は、電子の働きによって起きる。本講義では春学期に学んだ定性的量子論の考え方を早速活かし

て、有機化学反応のメカニズムを量子論的に考えてゆく。また、有機化学の構造決定には、現代では、分子分光学的手法が盛んに用いられるので、分子分光学の基本的考え方についても解説する。

【教科書】

通 年

小林常利著『基礎化学結合論』培風館

秋学期

J. マクマリー著『有機化学概説』東京化学同人

【参考書】

通 年

(1) 玉虫伶太他編『エッセンシャル化学辞典』東京化学同人

春学期

- (1) 吉岡甲子郎著『化学通論』裳華房
 (2) 児島邦夫他著『基礎物理化学(上、下)』朝倉書店
 (3) P. W. アトキンス著『アトキンス物理化学(上、下)』東京化学同人
 (4) 原田義也著『化学熱力学』裳華房

秋学期

補助教材：『HGS分子構造模型B型セット』丸善

生物学

4単位 春学期

長井 孝紀 鈴木 忠

【授業科目の内容】

私達は地球上で様々な生き物に囲まれて生活している。この生き物に対して、諸君は子供のころに素朴な疑問、たとえばオタマジャクシの尻尾はどこへ行ってしまうの？というようなことを考えたことがあるに違いない。生物学はこのような疑問を科学として発展させたものである。その対象は生物個体ばかりでなく、細胞の次元、もっと小さな分子の世界へと、あるいは逆に地球全滅へと広がる場合もある。その広がりのゆえ、また科学としての進歩の急速さのゆえ、現代の生物学はそのほかの自然科学の学問領域からの知識を統合したものとなっている。したがって学ぶべき項目は非常に多い。しかし、よく整理して学べば恐れることはない。整理された生物学の知識は医学での基礎専門分野である解剖学、生理学などを学ぶために不可欠である。学習内容の量、詳細さ、常に最新の知見に基づき更新されている現状などを考え、海外で出版されているものを教科書として使用する。

【教科書】

N. A. Campbellほか著『Biology(最新版、2003)』Benjamin/Cummings(春学期開始時まで購入すること)

物理学実験

1単位 通年隔週

古野 泰二 三井 隆久
 浜野 明子

【授業科目の内容】

多くの諸君は、将来、信濃町あるいはそれ以後において、短期あるいは長期に亘って実験研究を経験する筈である。発見・発明・理論の検証など、創造的な研究はと

ても楽しいものであるが、すぐにこのレベルに達するのは困難である。そのための導入・練習として、日吉での実験科目が用意されている。

物理学実験では、長さの測定から始まり、オシロスコープによる電圧変化、パソコンを使った計測からプロテイングラフィックスまで、1年間に12課題を設定している。高校や大学の物理学講義で習った現象も出てくるし、物理法則や演繹法の有用性が実感できるので面白いはずである。長さ・質量・温度・時間など、必要な物理量を測定で求め、電卓を使ってそれらを数式に代入し、得られた結果をグラフ用紙にプロットし曲線でつないでみる。場合によっては、まったくのばれぬ値や奇妙なグラフになってしまい、大いに悩むこともあると思われるが、「まずは自分で手を動かしてやってみる」、これが実験の基本であり、とても大切である。

【教科書】

慶應義塾大学医学部物理学教室編「物理学実験」実験初日に配布。

【参考書】

特に指定しないが、必要に応じて図書館備え付けの物理教科書および物理学実験書。

化学実験

1単位 通年隔週

小林 常利 久保田真理
 椎野 三洋

【授業科目の内容】

春学期には、無機陽イオンの定性分析を題材として、化学実験の基本操作と実験のマナーを身に付けると共に、無機化学の各論的分野を主体的・体験的に学ぶ。

秋学期は、有機化学実験を行う。有機化合物の抽出・分離精製・同定、定性分析とスペクトルによる構造決定、有機化合物の合成を行う。基礎的な有機化学実験を通して有機化学の理解を深めると共に、有機化合物の取扱法、安全に実験を行うために注意すべき事項などを学ぶ。

【教科書】

秋学期

J. マクマリー著『有機化学概説』東京化学同人

【参考書】

通 年

- (1) 阿部光雄編『分析化学実験』裳華房
 (2) 木下是雄著『理科系の作文技術』中央公論新社
 (3) 泉美治他監『化学のレポートと論文の書き方』化学同人
 (4) 玉虫伶太他編『エッセンシャル化学辞典』東京化学同人

春学期

- (1) 松浦二郎他著『無機半微量分析』東京化学同人
 (2) 高木誠司著『定性分析化学(上、中、下)』南江堂
 (3) F. A. コットン、G. ウィルキンソン著『基礎無機化学』培風館
 (4) F. B. ヘスロップ、K. ジョーンズ著『無機化学(上、下)』東京化学同人
 (5) F. A. コットン、G. ウィルキンソン著『無機化

学(上、下)』培風館

秋学期

- (1) 畑一夫、渡辺健一著『基礎有機化学実験』丸善
- (2) L. F. フィーザー、K. L. ウィリアムソン著『有機化学実験』丸善
- (3) R. M. シルバースタイン、F. X. ウェブスター著『有機化合物のスペクトルによる同定法』東京化学同人
- (4) J. R. ダイヤー著『有機化合物への吸収スペクトルの応用』東京化学同人
- (5) 日本化学会編『実験化学講座』丸善

生物学実験

2単位 通年

長井 孝紀 鈴木 忠
中沢 英夫

【授業科目の内容】

生物学は生き物を対象とした学問である。まずは実物を見てみよう。最近の生物科学の進歩の即応し、高校での生物学はかなり高度な内容になっているが、その高度さのため実物を見る機会が逆に得にくくなっている。観察は自然科学の基本であるが、生物学ではとくに観察対象での変化が連続的で長時間におよぶ場合が多い。忍耐も対象を正確に捉えるために必要である。見たものをスケッチすることはきわめて初歩的で、現代ではカメラがその役割をしてくれると思うかもしれない。しかし、19世紀の博物学者や解剖学者が描いたスケッチを見たことがあるであろうか。当時の光学機器をもってしては観察できそうもない細部が、実に詳細に描かれている。見ていただけではない。頭を使って観ているのである。

生物学実験ではアメーバ、ゾウリムシなど単細胞生物から始まって、マウス(ラット)までが観察対象として用意される。顕微鏡観察のために標本化された試料を観察する場合もあるが、その他に多くの生きた材料が提供される。動き回る精子、そして卵細胞が細胞分裂する瞬間を観て欲しい。そして観たものには、それを同定する和名、英名、ラテン名を与えてやって欲しい。3つの表記を用いなければならないのは、我が国の自然科学者の宿命である。自らの手を動かすことで、記憶の脳細胞は活性化される。

【教科書】

- (1) 医学部生物学教室編『生物学実験』(春学期に配付する)
- (2) 木村雄吉著『動物の解剖と観察(再改版)』成文堂(春学期開始時までに購入すること)

医学基礎教育科目

基礎分子細胞生物学

「基礎医学科目への準備と入門」 4単位 秋学期

末松 誠(医化学)他

【授業科目の内容】

基礎分子細胞生物学 は高校で十分な生物学教育を受けなかった学生が第2学年から信濃町キャンパスで基礎教育科目の専門的で且つ広範な領域での勉学についていけるよう、ごく基本的な生命現象の物質論的理解と総合的把握を目ざすために設けられた科目である。教科書はMolecular Cell Biologyを用いるが、全24章の網羅的読破を目的とするのではなく、各章内の重要な概念や生命活動の「しくみ」をピンポイントに理解してもらい、第2学年以降の専門教育の礎としていただきたい。講義ではVisual Aidsとハンドアウトを使用する。

【教科書】

『Molecular Cell Biology 4th Edition』WH Freeman & Company

医療科学

4単位 通年

樽井 正義 他

【授業科目の内容】

医療はもとより自然科学としての医学研究も、それに関わるのは人です。人を自然科学とは異なる視点から考察する人文科学系の文献を講読し、報告と討議を行い、レポートを作成することを通じて、人と社会についての理解を深めることが、この授業の課題です。(1)人を理解する多様な視点を得ること、(2)医療や科学が生活のなかで占める位置、担っている課題を検討する基礎を得ること、(3)医師や研究者として診療や研究の場で人とどう関わればよいのかを考える基礎を得ることを目標とします。

【教科書】

春学期のテキストは、掲示にて通知する。

EEP

「本格的医学教育前の早期医療現場体験実習」

1単位 春学期特定

戸山 芳昭(EEP小委員会委員長)

鹿島 晴雄 棚橋 紀夫

木村 彰夫 里宇 明元

古野 泰二 山岸 敬幸

新井 康通 村松 太郎

川城 丈夫 大塚 宣夫

【授業科目の内容】

施設内の見学、高齢者・肢体不自由者・知的障害者の食事、排泄、移動、着脱衣、起座および入浴の介助。必要者の清拭およびオムツ交換。便・尿器交換。居室巡回。夜勤実習。患者さんとの話し相手。業務補助。など
SBO:

- (1) 医療の実態、患者に求められている医師像などについて自分の考えを説明できる。
- (2) 医師による治療以外に、実際の医療現場で行われていることを説明できる。
- (3) 医師以外の医療関係者の仕事内容を説明できる。
- (4) 高齢者や重症心身障害者などに必要とされる介護などについて説明できる。

6 理工学部

第1学年

数学A1 (学門1, 3, 4, 5)

「微分法の基礎と応用」

2単位 春学期

石川 史郎	太田 克弘
加藤 剛	菊池 紀夫
小松 建三	塩川 宇賢
田村 要造	中野 實
前島 信	宮崎 琢也
	森吉 仁志

〔授業科目の内容〕

1変数関数および多変数関数の微分法に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を身につけるのが本講義の目的です。

〔教科書〕

慶應義塾大学理工学部数理科学科 編「数学 A1・B1」
(生協で購入可能)

数学A2 (学門1, 3, 4, 5)

「線形代数」の入門としての行列 (特に2次行列) の理論とその応用」

2単位 春学期

石井 一平	小田 芳彰
亀谷 幸生	仲田 均
前田 吉昭	森吉 仁志

〔授業科目の内容〕

線形代数の基礎を2次行列の計算を通して習得する。また、線形微分方程式の解法を通して、「線形性」の重要性を理解する。その過程で行列の対角化と線形微分方程式の解を求める計算の基礎が身に付くようにする。

〔教科書〕

指定のテキスト (生協で販売)

数学A3 (学門2)

「解析学の基礎その1」

2単位 春学期

下村 俊 谷 温之

〔授業科目の内容〕

解析学の基礎理論を講義する。この講義においては論理的厳密性にもかなりの重点をおく。

1. 実数の定義、性質 (上限、下限、実数の連続性)
2. 数列とその極限 (収束の定義、コーシー列、基本性質)
3. 級数 (定義、収束性、絶対収束)
4. 1変数関数の連続性とその性質 (最大値の定理、中間値の定理)
5. 定積分の定義、計算
6. 1変数関数の微分法 (平均値の定理、逆三角関数)

7. 微分積分法の基本定理

〔教科書〕

微分積分学 伊藤雄二 朝倉数学講座

数学A4 (学門2)

「線形代数」

2単位 春学期

石井 一平 小松 建三

〔授業科目の内容〕

線形代数とは、ベクトルや行列を扱う数学の分野であり、理工学の数学の基礎の大きな部分を占めるものである。この講義では線形代数の基礎概念である「ベクトル」「ベクトル空間」「行列」「行列式」「線形変換」などを学び、また実際の計算方法を習得する。

〔教科書〕

「線形代数入門」中岡稔、服部晶夫 著、紀伊国屋書店

数学B1 (学門1, 3, 4, 5)

「重積分の基礎と応用」

2単位 秋学期

石川 史郎	太田 克弘
小田 芳彰	菊池 紀夫
小松 建三	塩川 宇賢
田村 要造	中野 實
前島 信	宮崎 琢也
	森吉 仁志

〔授業科目の内容〕

1変数および多変数関数の積分に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を習得することが本講義の目標です。

〔教科書〕

慶應義塾大学理工学部数理科学科 編「数学 A1・B1」
(生協で購入可能)

数学B2 (学門1, 4, 5)

「線形代数の基礎を学んだ学生がさらに深くその内容を理解するためのコース」

2単位 秋学期

小田 芳彰	亀谷 幸生
仲田 均	前田 吉昭

〔授業科目の内容〕

数学A2で2次行列で学んだ線形代数の基本計算を3、4次行列で習得し多元連立方程式を解けるようにする。さらに多変数関数の極値問題を固有値問題と共に理解し、具体的計算法を身につける。

〔教科書〕

指定のテキスト (生協で販売)

数学B3 (学門2)

「解析学の基礎その2」

2単位 秋学期

下村 俊 谷 温之

【授業科目の内容】

数学A3の続き

1. ベキ級数 (収束性、収束半径)
2. テーラー展開 (剰余項の評価、初等関数の展開)
3. 多変数関数 (連続性、偏微分、全微分)
4. 多変数関数のテーラー展開
5. 極値問題

【教科書】

微分積分学 伊藤雄二

数学B4 (学門2)

「線形代数」

2単位 秋学期

石井 一平 小松 建三

【授業科目の内容】

春学期の数学A4に引き続き、線形代数の基礎を学ぶ。この講義の主な内容は、「固有値」「固有ベクトル」および「行列の対角化」である。

【教科書】

「線形代数入門」中岡稔、服部晶夫 著、紀伊国屋書店

物理学A (全学門)

2単位 春学期

齋藤 幸夫 能勢 修一
福田礼次郎 他

【授業科目の内容】

高校時代の力学とは異なり、ニュートン方程式を微分方程式と捉えて、すべての力学の法則はここから出てくるといふ、力学はまさに近代的な物理の理論の始まりといわれるゆえんを味わっていただく。

微分、積分、ベクトルなどの基本的な知識を仮定する。

【教科書】

教科書として次のものを用いる。

佐川弘幸、本間道雄著「力学」(シュプリンガーフェアラーク東京)

【参考書】

特に指定しません。

物理学A (全学門)

「物理現象を数理的に優美な形にモデル化し、その数理モデル(微分方程式)の解を見出すことによって、物理現象を数学的に理解するという解析的手法を修得することを目的としています」

2単位 春学期

志澤 一之 他

【授業科目の内容】

全ての自然科学法則の出発点をなす古典力学(特に質点の力学)について学びます。高校で学んだ物理学との

違いは、ニュートンの運動方程式を微分方程式としてとらえ、高校で学んだあらゆる力学公式がニュートンの運動方程式から導かれることを理解する点にあります。講義内容の理解を助けるため、講義と講義の間に計5回の演習を入れてあります。

【教科書】

教科書として次のものを用います。

佐川弘幸、本間道雄著「力学」(シュプリンガーフェアラーク東京)

【参考書】

一例として次のようなものが挙げられます。

喜多秀治・他4名著『力学』学術図書出版社。

物理学B (全学門)

「真空中の静電磁気学と電磁誘導」

2単位 春学期

小原 實 神成 文彦
高野 宏 日向 裕幸 他

【授業科目の内容】

電界、電位、磁気密度、電流、起電力など電磁気学の基本概念を学びながら、例えば対称性のよい電荷分布による電界の計算法などを身につける。さらに、流体力学、弾性体力学などの背景にある「場」というものの概念も身につける。

【教科書】

「物理学 B & D」(プリント)

毎年更改されますので、2004年度版を生協で購入のこと。

【参考書】

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

物理学C (全学門)

2単位 秋学期

杉浦 壽彦 齋藤 幸夫
能勢 修一 福田礼次郎 他

【授業科目の内容】

物理学Aに続いて、力学の後半を学ぶ。主に、中心力の場の中の運動、多粒子系の運動、剛体の運動である。

【教科書】

教科書としてつぎのものを使用する。

佐川弘幸、本間道雄著「力学」(シュプリンガーフェアラーク東京)

【参考書】

特に指定しません。

物理学D (全学門)

「物質中の電界・磁界からマクスウェル方程式まで」

2単位 秋学期

小原 實 神成 文彦
高野 宏 日向 裕幸 他

【授業科目の内容】

誘電体にはどういった電界ができるか、磁性体中にはどういった電界ができるか、ということを理解する。さらに、電磁気学の基本法則を微分形で表してマクスウェル方

程式を導出したのち電磁波についての基本知識を身につける。同時にベクトル解析の基礎を身につける。

【教科書】

「物理学 B & D」(プリント)

毎年更改されますので、2004年度版を生協で購入のこと。

【参考書】

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

化学A (全学門)

「原子や分子の電子構造論と化学結合論入門」

2単位 春学期

伊藤 正時	中嶋 敦
藪下 聡	山元 公寿
	吉岡 直樹

【授業科目の内容】

原子構造論の基礎として、1s、2s、2pなどの原子軌道および原子の電子配置と周期律の関係を理解します。また簡単な分子の電子状態についても学び、1年生秋学期の化学B、あるいは化学C、Dの基礎となることを目指します。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

教科書として特に指定はしませんが、以下の参考書の中から自分に合ったものを買っておくと便利です。

伊藤正時ら、「物理化学演習」裳華房

中田宗隆、「量子化学」東京化学同人

ウィンター著、西本吉助訳、「フレッシュマンのための化学結合論」(化学同人)

田中政志・佐野充著、「原子・分子の現代化学」(学術図書出版社)

小林常利著、「基礎化学結合論」(培風館)

平尾公彦・加藤重樹著、「化学の基礎」(講談社サイエンティフィック)

化学B (学門1, 2, 4, 5)

「無機化学、物理化学、有機化学の基礎 (化学全般におけるものづくりの基礎)」

2単位 秋学期

伊藤 正時	千田 憲孝
磯部 徹彦	須貝 威
今井 宏明	中田 雅也
栄長 泰明	

【授業科目の内容】

理工学部1年生においては、数学、物理、化学を基礎科目として全員履修します。化学は「もの」づくりの基本となる分野であり、私達の身の回りにたくさんある「もの」を、サイエンスの立場から理解するためには、化学全般に渡る知識が必要です。講義の前半では無機化合物を、後半には有機化合物をとりあげ、サイエンスの化学的基礎知識、ものづくりの基礎知識を修得することを目標としています。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

茅幸二著『物理化学演習』裳華房

太田博道著『コンパクト基本有機化学』三共出版

化学C (学門3)

「初等物理化学」

2単位 秋学期

美浦 隆

【授業科目の内容】

1. 分子科学の基礎

- 1.1 結合エネルギー
- 1.2 結合のイオン性と原子の電気陰性度
- 1.3 分子の極性と誘電分極
- 1.4 分子間相互作用
- 1.5 実在気体の状態方程式

2. イオン結晶

- 2.1 イオン配列の規則性
- 2.2 クーロンポテンシャルとイオン間平衡距離
- 2.3 イオン半径
- 2.4 イオン半径比と配位数
- 2.5 イオン結晶の溶解(溶媒和)とイオン伝導

3. 金属・半導体

- 3.1 等大球の充填と最密充填; 金属結晶
- 3.2 異種原子の混在: 合金
- 3.3 自由電子と束縛された電子
- 3.4 価電子帯・禁止帯・伝導帯
- 3.5 不純物半導体
- 3.6 電子伝導率の温度変化

4. 錯体・錯イオン

- 4.1 配位共有結合と配位子
- 4.2 配位子場中のd軌道電子
- 4.3 d軌道を含む混成
- 4.4 不対電子と常磁性
- 4.5 吸光スペクトルと分光化学系列

5. 化学熱力学の基礎

- 5.1 系と外界
- 5.2 系の内部エネルギー
- 5.3 系の状態変化とエネルギー保存則
- 5.4 熱が状態量となる条件; エンタルピー
- 5.5 可逆過程での熱とエントロピー変化
- 5.6 自発変化の判定条件
- 5.7 純化学変化の自発性判定条件; 自由エネルギー
- 5.8 H、S、Gの温度変化
- 5.9 体積仕事以外の仕事も関わる化学変化

6. 化学反応速度論の基礎

- 6.1 応速度式: 微分形と積分形
- 6.2 気体分子間の衝突反応
- 6.3 活性錯体
- 6.4 反応速度定数の温度変化

【教科書】

なし。

【参考書】

一般に「物理化学」に分類される書籍。

特定のもは推奨しないが、アトキンス、パーローなどが著名。

どうせ購入するなら英語リプリント版の方が安価で、後々の役に立つ。

化学D (学門3)

「有機化学の基礎。有機化合物と反応」 2単位 秋学期
西山 繁

【授業科目の内容】

炭素原子を中心に構成される有機化合物に特有の電子配置と立体化学を解説します。さらに、有機化合物の変化(反応)にともなう電子の動きを理解できるようにします。以上のような基本事項は、生命現象に関わる生体反応の仕組みを理解する上で非常に重要な手がかりとなります。

【教科書】

なし。必要に応じて、PDFファイルとして配布します。

【参考書】

ボルハルト・ショアー著「現代有機化学」(上・下)
化学同人
ストライトウィーザー著「有機化学解説」(1、2) 廣川書店

生物学序論

「ヒトの理解を目指して」 2単位 春学期 / 秋学期
金子 洋之 鈴木 忠
長井 孝紀 中島 陽子
星 元紀 松本 緑

【授業科目の内容】

科学や技術を通じて次の時代を担う人材となることが期待されている理工学部の学生にとって、基礎的な生物学の知識(敢えていえば、生命のしなやかさとしたたかさをもたらず複雑なシステムの理解)は欠くことの出来ない素養であり、それ無しには人類が解決すべき諸問題に立ち向かうことはおぼつかないといっても過言ではない。生物は、歴史的に獲得した情報を内包している遺伝プログラムの枠組みのうちで、環境からの刺激に应答しながら、複雑な系を安定な状態に維持することのできる統合システムとしてとらえることができる。このような柔軟な統合システムの考え方・見方を学ぶことは、理工学部の学生にとっては特に意義深いものと考えられる。また、すべてのテクノロジーはヒトによって担われ、最終的にヒトを対象としたものであり、生物としてのヒトという観点を抜きにしたテクノロジーは本来ありえない。

生物学序論はこのような認識に基づいて昨年度より新たに開講されたもので、細胞と個体を中心にすえて生命現象の多様性と共通性を見るとともに、それぞれのシステムの成り立ちとその活動の基本的な機構を学ぶことによって、生物の“しなやかさ”と“したたかさ”、およびそれらの裏返しでもある“もろさ”を理解し、その延長としてヒトHomo sapiensのより深い理解を目指す。

それぞれのテーマにつき、典型的なあるいは理解しやすい具体例を用いて説明するが、さらに深く学ぶために、関連する書籍等を随時紹介する。

【教科書】

指定せず。

【参考書】

随時紹介する。

自然科学実験

「科学の基礎に関する物理および化学実験」
2単位 春学期 / 秋学期
西山 繁 他

【授業科目の内容】

自然科学実験は、物理学編と化学編から構成されています。物理学編は、重要な物理現象と基本的な測定技術習得を目的として各テーマを置いています。また、化学編は化学の基礎を理解する上で役立つ「ものを作る実験」と「物の性質を調べる実験」を中心にテーマを組み立てています。この実験を受講することで、あらゆる分野に関連する科学の基礎知識を習得します。

【教科書】

自然科学実験 物理学編および化学編の2冊があり生協で購入して下さい。

【参考書】

特にありません。

情報処理同実習

「パソコンを使いこなす」 2単位 春学期
大野 義夫 小川 邦康
佐藤 春樹 篠沢 佳久
高田 眞吾 中西はるみ
中丸 幸治 萩原 将文
三田 彰 宮本 泰行
山本 喜一

【授業科目の内容】

これからの科学者、技術者にとってコンピュータを使いこなせることはもっとも基礎的な技術です。この科目では、ITCのパソコンを利用して、コンピュータに馴れ、その特徴を知るところを目的としています。このため、コンピュータ・リテラシー(コンピュータの基本的な使い方)を短期間に密度濃く実習します。

【教科書】

教科書は講義のはじめに指示します。また、Webに講義資料を載せておきます。

理工学概論

2単位 春学期 / 秋学期
山田 邦博 松本 智

【授業科目の内容】

理工学の諸分野にわたる12回の講演を行う。このうち少なくとも、クラスによって指定された隔週6回の講演を聴講し、毎回1通のレポートを提出しなければならない

い。このほか、クラスによって指定された情報リテラシーの授業1回をうけ、レポートを提出しなければならない。

本必修科目の主眼は、

- (1) 最先端の内容を含んだ講演からの新しい知的情報の獲得
- (2) 未知情報源の検索方法の体得
- (3) 他人に読ませる・見せることを前提としたインパクトある情報発信（レポート）の練習にある。

以上のように、本科目は理工学各分野に対する履修者の視野拡大を図ると同時に、情報のInput、Outputに関わる実技科目的な色彩も濃く、少なくとも参加（聴講、レポート提出）しなければ単位は与えられない。

第2学年

アルゴリズム同演習	2単位 秋学期
大野 義夫	今井 倫太
	中丸 幸治

〔授業科目の内容〕

コンピュータを用いて解きたい問題には、いくつかの典型的なパターンがあります。また代表的なパターンの問題の多くに対しては、解法の定跡が確立しています。

この科目では、定跡となっているアルゴリズムやデータ構造を学ぶとともに、アルゴリズム同士の定量的な比較の仕方についても考えます。

またC言語を用いて、代表的なアルゴリズムのプログラミングとともに、春学期の「プログラミング第一同演習」に続く、中級程度のプログラミングを学びます。

〔教科書〕

杉山行浩『C で学ぶデータ構造とアルゴリズム』東京電機大学出版局

アルゴリズム論	2単位 秋学期
	櫻井 彰人

〔授業科目の内容〕

さまざまな問題解決の場で利用することになるアルゴリズムの基本的な考え方と手法を学ぶ。また、これらアルゴリズムの現実の場での利用についても話をします。

〔教科書〕

講義資料を毎週Webページ（<http://www.sakurai.comp.ae.keio.ac.jp/>）に載せるので、講義前に各自ダウンロードして持参することを推奨する。

〔参考書〕

講義の中で示す。

位相数学 「トポロジー」	2単位 秋学期
	亀谷 幸生

〔授業科目の内容〕

トポロジー（位相）は、場所（Topos）の概念を美しく抽象化した学問です。高度の抽象化により大幅に適用範囲が広がり、あらゆる数理科学分野に欠くことのできない礎となっています。ここでは、「もの」の中の点や集合の間の位置関係の基礎諸概念を実例をあげつつ学びます。たとえば、点と点の近さ（距離）、点と点が線をつなげるか（連結性）、集合の中の点が無限小に動いたとき外にはみ出るか（開集合）、与えられた写像が、入力を無限小に動かせば出力も無限小に動くか（連続性）、さらに、他分野で極めて重要な応用をもつコンパクト性、分離性、完備性を学びます。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

松坂和夫『集合・位相入門』(第4章～)岩波書店

インダストリアル・エンジニアリング

「作業システムの分析と改善」 2単位 秋学期
松本 俊之

〔授業科目の内容〕

経営工学の上で中心的役割を果たすインダストリアル・エンジニアリング(IE)の諸手法を、歴史的な観点や哲学的な観点を加えながら説明する。

〔教科書〕

藤田彰久著 『IEの基礎』 建帛社

〔参考書〕

川瀬武志著 『IE問題の解決』 日刊工業新聞社

応用解析第1

「常微分・偏微分方程式」 2単位 春学期
朝倉 浩一

〔授業科目の内容〕

化学及び物理現象の解明に必要な種々の微分方程式に対する解析法の基礎を学びます。単に数学としての講義ではなく、化学及び物理現象と関連させて説明します。

〔教科書〕

志水・鈴木著『常微分・偏微分方程式ノート』コロナ社、1995年

応用解析第1

「常微分・偏微分方程式及び関数解析・変分問題への入門」 2単位 春学期
菊池 紀夫 志水 清孝

〔授業科目の内容〕

常微分及び偏微分方程式の初期値問題及び境界値問題、積分方程式、Fourier展開、変分問題。

〔教科書〕

担当教員による講義原稿を配布。

〔参考書〕

高橋陽一郎「微分方程式入門」東京大学出版会

応用解析第1

「微分方程式の理解とその解法/ベクトル微分演算の基礎」 2単位 春学期
澤田 達男 松尾亜紀子

〔授業科目の内容〕

本講義は大きく2つに分けられる。

(a) 微分方程式の解法、(b) ベクトルの微分演算、の2つについてそれぞれ6回の講義が行われる。演習・宿題を数多く取り入れ、理解が深まるようにする。

担当教員も(a)松尾、(b)澤田、が行う。

(a) 微分方程式の解法では、常微分方程式・偏微分方程式の性質を理解し、その解法をマスターすることが目標である。

(b) ベクトルの微分演算では、添字表示に基づくベクトルの微分演算法をマスターし、微分演算の物理的性質を理解することが目標である。

〔教科書〕

無し。

〔参考書〕

無し。

応用解析第2

「線形システム解析の基礎理論」 2単位 秋学期
国松 昇

〔授業科目の内容〕

線形常微分方程式で記述される対象(現象)すなわち、線形動的システムの基礎的理解を深めることを目的とし、線形システム理論、回路網理論、制御理論等への準備と位置付けられる。線形代数の基礎、ラプラス変換、Z変換を履習したあと、常微分方程式、差分方程式の解法、解析へ向かう。したがって、応用解析第一の履修を前提としない。

〔教科書〕

『線形システム解析入門』高橋進一、高橋徹 共著
(培風館)

応用化学計算基礎

「コンピュータ操作のスキルアップと化学計算へ適用法」 2単位 秋学期
寺坂 宏一 吉岡 直樹

〔授業科目の内容〕

化学分野においてもコンピュータは必要不可欠な道具となっており、実験結果の整理および論文作成、実験操作の支援、反応装置の開発や設計を目的とした数値計算あるいは分子構造のシミュレーションなどを行う機会が非常に多くなってきました。

そこで、応用化学分野においてコンピュータ計算を必要とする例題を、Windows上の表計算ソフトやプログラミング言語を用いた実習の中で解きながら、コンピュータの操作方法や応用方法について理解を深めます。

表計算ソフトの実習ではExcelを用い、主としてデータの整理法および公的論文や報告書のグラフ様式として不都合のない作図法について学び、さらにマクロやVBAを使ったプログラミングへの入門へ導きます。

プログラミング言語の実習ではVisual Basic for Applicationsを用い、主としてコンピュータ処理の流れおよびコンピュータ言語に共通のプログラミング技術の基礎に関して学習します。

履修学生は学内に設置されたパソコン等を利用し、普段からキーボードやマウス操作に十分慣れ、また興味のある学生はWindows上にインストールされている各ソフトのヘルプや専門書籍を参照し、実習で用いなかったソフトや機能などについても体験しておくことを望みます。

〔教科書〕

毎回プリントを配布します。

【参考書】

『かんたんプログラミングVBA 基礎編』、大村あつし、
技術評論社

応用確率論

「確率の基礎から確率過程まで」 2単位 春学期
中川 正雄

【授業科目の内容】

本講義は確率の基礎から確率過程まで、豊富な応用と例題を示しながら解説する。雑音、音声信号、画像信号、電話の呼び、カオス、量子雑音などを共通に表現するのは確率論のなせる業である。実に確率は広い分野で利用され、情報理論、通信理論、ネットワーク工学、信号処理、制御などの工学から文科系の分野まで利用される。

【教科書】

中川正雄、真壁利明著「確率過程」培風館

応用確率論

2単位 秋学期
本田 郁二

【授業科目の内容】

電子工学科の応用確率論は熱電子や気体分子運動、情報信号などにみられる物理的な不規則現象を確率的に理解することを目標とする。特に不規則現象の時間発展を記述するために具体的な確率分布の発生メカニズムと確率過程の考え方に重点をおくこととする。

【教科書】

用いない。補充プリントを配布する。

【参考書】

必要に応じて参考書を紹介する。

応用確率論

「モンテカルロ・シミュレーションへの応用」
2単位 秋学期
横井 康平

【授業科目の内容】

質点の運動はおなじみの運動方程式で表され、初期条件さえ決まれば完全に決定できます。しかし、我々が現実に出会う現象には、とても解けないほど数の多い気体分子の運動や、複雑な要因がからんで解が決定できない射的的当てやサイコロ投げなどの確率的に扱わなければならないものがあります。ミクロの世界では、量子効果のため現象の記述に本質的に確率が使われます。ここでは、このような確率現象をどのように取り扱うかということと、このような現象を理工学の問題に応用する方法について解説します。まず、確率の基礎を説明し種々の確率分布になじんでもらい、統計手法への応用を扱います。ついで、乱数を用いた確率論的なモンテカルロ・シミュレーションでいくつかの自然科学現象を調べます。そこでは確率を自由にコントロールしてその現象と同じ確率をもつ「粒子」を発生させ、その振る舞いを観

察します。このように確率論と統計学の基礎知識をもとにして、計算機を用いる研究手法の一つであるモンテカルロ法の基本的手法を理解します。そして、その手法を物理現象へ応用できるようにすることにより、物理現象の理解を助ける道具として、また、それを研究する道具として利用できるようにします。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

応用数学

「ラプラス変換、フーリエ解析と偏微分方程式の基礎」
2単位 秋学期
眞田 幸俊

【授業科目の内容】

理工学における現象解明の言葉となるものが応用数学です。この授業では、微積分、関数論を学んだ皆さんを対象に、振動、波動現象を理解するための数学、具体的にはラプラス変換、フーリエ級数、フーリエ解析、偏微分方程式などの入門解説を行います。またこのとき、単なる数学の授業とならないように、具体的な応用例をあげ、理工学との接点を意識して配慮したいと考えています。

【教科書】

初回講義時に紹介する。

応用数学

「デジタル情報処理のための数学」 2単位 春学期
斎藤 英雄

【授業科目の内容】

【講義項目】

1. フーリエ級数
2. フーリエ変換
3. ラプラス変換
4. z変換

画像や音声等のマルチメディア情報を解析・処理するために必須となる数学の基礎として、フーリエ・ラプラス変換を用いた信号解析法について講義します。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布します。

【参考書】

- ・キーポイントフーリエ解析 船越満明 岩波書店
ISBN4-00-007869-0
- ・ラプラス変換とフーリエ解析要論 田代嘉宏 森北出版
ISBN4-627-02610-2
- ・フーリエ解析とその応用 洲之内源一郎 サイエンス社
ISBN4-7819-0134-4
- ・信号解析のための数学 三谷政昭 森北出版
ISBN4-627-78521-6
- ・フーリエ解析・ラプラス変換 寺田文行 サイエンス社
ISBN4-7819-0893-4

- ・フーリエ解析 大石進一 岩波書店 ISBN4-00-007776-7
- ・現代複素関数通論 樋口、田代、瀧邊 倍風館 ISBN4-563-00572-X

応用電気電子回路

「実践的な電気回路・電子回路演習」 2単位 秋学期
松本 佳宣

【授業科目の内容】

【概要】

電気回路と電子回路に関して、身の回りや研究で良く用いられている回路を中心に概説して、演習問題等を通して各種回路理論を理解する。また、回路の設計論と実際の回路の限界などについても説明する。

【学習の目標】

電気回路と電子回路の基礎知識をもとにして、様々な用途の回路の具体例を理解しながら、実際に道具として使いこなせるように回路理論を修得する。また、身近にある電気機器の仕組みがある程度わかるようにする。

【教科書】

プリント配布。

【参考書】

授業中に適宜紹介する。

応用電磁気学同演習

2単位 秋学期
畑山 明聖

【授業科目の内容】

1年次及び2年春学期までに得た電磁気学の基礎知識・基礎的理解を復習し、より確かなものとすることを目標とします。さらに、それに基づき、電磁気学の実践的な問題への応用力を養うことを目標とします。そのため、次の2つアプローチ：

- 1) 基本的かつ平易な問題を数多く解く、
- 2) 電磁気学が実際に役立っている例、或いは、複合的な問題を提示し、それを時間を掛けて、自分自身でモデル化し、定式化し、解を求める、

ことを考えています。

最終的には、

- ・マックスウェルの方程式がきちんとかけ、各々の物理量と式の意味する物理現象、基本法則がしっかりと理解できるようになること、
- ・電磁気学の実践的な問題を自分で記述・定式化できるようになること、
- ・また、それを解くための数学的方法に関する知識を身に付けること、
- ・さらに、自らが解くことができるようになることを目標とします。

【教科書】

特に指定しません。各回、講義及び演習プリントを配布予定です。

オペレーションズ・リサーチ第1

「計画の科学としてのORのアプローチ」 2単位 秋学期
森 雅夫

【授業科目の内容】

オペレーションズ・リサーチ (OR) とは、システムの計画や管理の主として計量的な側面に焦点を当て、社会や企業の諸システムの中に内在する法則性を知り、その情報を意思決定の一助とするための“道具”であると云えます。システムの大規模化・複雑化に伴って、ORの管理技法を有効に活用することは、適正な意思決定を下すためにも、また、意思決定の根拠を他の人々に理解してもらうためのコミュニケーションのツールとしても、重要な“道具”である。いわば、物理学が諸工学のbasisであるように、ORは社会や経済などの人間活動の諸問題を科学的に解明するbasisと云えます。それでは、新聞や世間でORの手法やその活躍ぶりが、なぜ喧伝されないのでしょうか？しかし、開発された手法やそれを用いたソフトが、すでに多くのシステムに組み込まれ、知らず知らずのうちに社会で利用されています。身近なところでは、コンビニの商品の無駄の少ない在庫の管理や、適切なタイミングでの配送の計画などなど…。OR第1では、ORの考え方や、ORの方法についての基礎を習得することを目的とする。まず、問題を理解する上で、対象を“モデル化”して考えます。その造ったモデルにいろいろな手法を適用して思考実験を行います。これらのプロセスについて学習します。モデルには、大きく分けて“確定的なモデル”と偶然現象をも考慮するための“確率的なモデル”があります。ことにOR第1では、主として、確定的なモデルに対するアプローチである「数理計画法」の基礎について学習します。

【教科書】

特に定めなし。プリントを配布する。

【参考書】

授業のときに、案内する。

解析力学

2単位 春学期
江藤 幹雄

【授業科目の内容】

「物理学A」、「物理学C」で学んだニュートン力学は、変分原理に基づいて解析力学と呼ばれる新しい形式に体系化されます。それは現代物理学の理論体系の基礎となるものです。本講義では、解析力学のうち、「ラグランジュの運動方程式」と「ハミルトンの正準方程式」について解説をします。それを用いてエネルギーや運動量などの保存法則の物理的な意味を考えます。解析力学を使うと力学の演習問題を見通しよく、容易に解くことができますが、その力を身につけることを目指します。

【参考書】

- ランダウ、リフシッツ『力学』(東京図書)
- 小出昭一郎『解析力学』(岩波書店)

回路とシステム第1

「電気回路の表現と解析」

2単位 春学期

大森 浩充 浜田 望

〔授業科目の内容〕

電気工学の中心的な理論である回路論の体系化された表現法・解析法・設計法は、電磁気現象がその他の物理現象と類似していることから、力学、化学、生物学など他の工学分野へ広く導入され、それぞれの分野で独自の理論へと発展している。このように、電気回路理論の概念は、多くの工学理論の根底を支える重要な考え方となっている。講義では、電気回路を用いてシステムを表現するセンスを養うことをひとつの目的とし、その基礎として、回路素子の性質と回路に関係する諸定理を述べ、回路方程式による表現法を習得した後、回路解析法として過渡応答解析法と交流回路解析法を習得する。授業は理論的内容を具体的に直ちに理解・確認できるように、演習・例題を含めた構成とする。

〔教科書〕

システムデザイン工学科配布のテキストを使用する。

〔参考書〕

浜田望著 電気回路 森北出版(株)
 森真作著『電気回路ノート』(コロナ社)
 森真作、南谷晴之著『電気回路演習ノート』(コロナ社)など。

回路とシステム第2

「回路とシステムのアドバンスな内容」

2単位 秋学期

浜田 望

〔授業科目の内容〕

- ・回路解析手法のオーバービュー
- ・回路の電力・エネルギーと受動性
- ・3相交流回路と電力伝送
- ・2端子対回路 - 回路の特性表示 -
- ・演算増幅器(オペアンプ) 便利な機能素子
- ・分布線路 - 回路における波動現象 -
- ・周期信号に対する回路の解析
- ・信号処理機能としての回路
- ・非線形回路とシステム
- ・動的システムのアナロジー 電気回路と他の動的システム

化学統計熱力学

2単位 春学期

中嶋 敦 平島 碩

〔授業科目の内容〕

- (1) 気体分子の運動と分布則、分配関数、分子のエネルギー準位と熱エネルギー、状態数とエントロピー
- (2) 熱力学第1法則
熱と仕事、可逆過程、エンタルピーと内部エネルギー、熱化学
- (3) 熱力学第2法則

エントロピーの古典的表現、熱力学の基本方程式、自由エネルギー

(4) 開いた系

相平衡と化学平衡

これらの講義に付随した演習を行う。

〔教科書〕

アトキンズ 『物理化学』 東京化学同人

〔参考書〕

バーロー 『物理化学』 東京化学同人
 ライフ 『統計熱力学の基礎』 吉岡書店
 その他、講義の進行に合わせて紹介する。

化学統計熱力学演習

1単位 春学期

中嶋 敦 平島 碩 他

〔授業科目の内容〕

「化学統計熱力学」の講義に対応して、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーといった重要な新しい考え方を中心として、これらの理解を具体的な問題を解くことを通じて深めるために演習を行なう。講義「化学統計熱力学」と進度をあわせて補足・先取りしながら進めるので、効果的な学習が期待できる。

〔参考書〕

アトキンズ 『物理化学』 東京化学同人
 バーロー 『物理化学』 東京化学同人
 ライフ 『統計熱力学の基礎』 吉岡書店

化学平衡論

「内部エネルギー、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギー、化学ポテンシャル、物理平衡、化学平衡、状態図、蒸気圧、束一的性質」

2単位 秋学期

木村 敏夫

〔授業科目の内容〕

物質に起こる変化には、融解や蒸発のような物理的状态の変化と、化学反応のような化学的状态の変化があります。温度や圧力などの外的な因子が変化したときに、物理的状态がどの方向に変化するか?(液体から気体へ、あるいはその反対)や、化学反応がどこまで進むか?を決める原理を理解することが、この講義の第1の目標です。つぎに、この原理を純物質と溶液に適用し、物質の状态変化の方向を判断する方法を身につけることが第2の目標です。この講義を受講した結果、物質の状态の安定性について理解することができ、所望の性質を持つ物質(材料)を合成する方法を考える基礎が身につきます。

〔教科書〕

アトキンズ物理化学(上)第6版(東京化学同人、2001年)

講義資料(プリント)を配布します。

〔参考書〕

多くの「物理化学」という名前の教科書が出版されていますが、教科書を含め、どれか1冊を読むとよいでしょう。

確率

「統計解析の基礎として」

2単位 春学期
竹内寿一郎

〔授業科目の内容〕

統計学の基礎として、不確実な現象を数学的にどのように扱うか、確率論の基礎概念を学ぶ。講義では数学にありがちな定理、証明、定理、証明という形式ではなく、例をあげ、一緒に問題を解きながら進んでゆきたいので、そのつもりで聞いて欲しい。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

清水良一著「確率と統計」新曜社、1980

確率

2単位 春学期
増田 靖

〔授業科目の内容〕

不確実な現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を学ぶ。社会的・工学的現象への応用についても議論する。

〔教科書〕

清水良一著「確率と統計」新曜社、1980

講義資料プリントはwebサイト<http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masuda-hp/lectures.htm>よりダウンロードできます。講義は概ね講義資料プリントに従いますが、テキストも参照してください。

〔参考書〕

伏見正則著「確率と確率過程」講談社、1987

関数論第1同演習

「複素変数関数についての微積分学」

3単位 秋学期
下村 俊 田中 孝明

〔授業科目の内容〕

関数論の基本事項について解説する。これらが自由自在に活用できるようになることを目標にする。

1. 複素平面、複素関数、数列、級数
2. 正則関数、べき級数の正則性
3. コーシーの積分定理、コーシーの積分公式とその応用
4. テーラー展開、一致の定理
5. 有理型関数、留数
6. ローラン展開、孤立特異点

〔教科書〕

解析関数 田村二郎 裳華房

学外実習第1

2単位 秋学期
佐藤 智典

〔授業科目の内容〕

定められたカリキュラム以外に理工学部外、塾外の大学等での授業の履修、あるテーマに関する講習会等の受

講、企業・研究機関等での一定期間以上の実習等の内容が専門基礎科目の単位として相応しい内容を有するものであると認定されたとき、本学科目の単位として認定する。すなわち、内容（場所・時間等を含む）については学生自身が企画することになる。

管理工学基礎演習

1単位 春学期
篠崎 信雄 他

〔授業科目の内容〕

管理工学における基礎的な方法や手法について演習を通して理解を深める。演習は、全体を2班に分け、原則として各班隔週で2時限連続して行なう（班分けは事前に掲示する）。また、最終回に演習内容全般についての試験を行なう。なお、各回電卓は必要であるので持参すること。

〔教科書〕

演習で使用するテキストは、慶応コピーセンターで購入すること。

このテキストには、演習で使用する用紙などが綴じこまれているので、毎回持参すること。

〔参考書〕

特になし。それぞれのテーマの参考書については担当者に尋ねること。

管理工学基礎演習

1単位 秋学期
篠崎 信雄 他

〔授業科目の内容〕

管理工学における基礎的な方法や手法について演習を通して理解を深める。演習は、全体を2班に分け、原則として各班隔週で2時限連続して行なうが、そうでないものもあるので注意すること。班分けについては事前に掲示する。また、最終回に演習内容全体についての試験を行なう。なお、各回電卓は必要であるので持参すること。

〔教科書〕

演習で使用するテキストは、慶応コピーセンターで購入すること（管理工学基礎演習第1で購入するテキストの後半部分）。このテキストには、演習で使用する用紙などが綴じこまれているので、毎回持参すること。

〔参考書〕

特になし。各テーマの参考書等については、各担当者に尋ねること。

管理工学用数学第1

「管理工学のための線形数学」 2単位 春学期
森 雅夫 小澤 正典

〔授業科目の内容〕

1年生のときに線形代数の基本的なことは勉強していると思いますが、これから管理工学を学ぶ上で、線形代数が大事な用具・方法となります。この授業では、線形代数の幾何学的なイメージを養い、アルゴリズムを学ぶ

ことを主眼とし、その工学や統計への応用、最適化の考え方などについて紹介し、講義＋演習の形でしっかりと修得してもらうことを狙っています。

【教科書】

適宜、プリントを配布する。

【参考書】

授業のときに紹介する。

機械工学創造演習

「自主的実験・加工体験による創造力と表現力の向上」

2単位 秋学期

山崎 信寿 他

【授業科目の内容】

各人の興味や才能に基づき、自らの発想でテーマを決め、創造力を発揮しながら自らのアイデアで実験や物作りを行います。これにより、各専門科目と実際の現象や物作りとの関連を体験的に理解すると共に、ポスター発表や報告書作成によって表現力を身につけることを目的にしています。

【教科書】

機械工学創造演習ハンドブック（2004年度版）

7月に配布します。

【参考書】

テーマ別に紹介します。

機械力学の基礎

「機械を動かすための仕組みと運動の力学」

2単位 春学期

山崎 信寿 杉浦 壽彦

森田 寿郎

【授業科目の内容】

目的とする動きを実現するための機構要素と、そのために必要な力やモーメントの計算方法を学びます。これにより、ある機能を達成するにはどのような仕掛けにすればよいのか、それが動くときにはどのような力が加わるのか、あるいはどのような運動が起こるのかがわかるようになることを目指します。機構の発想力や運動の解析力を養うために、毎回演習を行います。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

（講義の前半）森田均：機構学、サイエンス社

（講義の後半）S・ティモシェンコ・D・H・ヤング、渡辺茂・三浦宏文訳：応用力学（動力学編）、好学社

基礎化学実験

2単位 秋学期

鈴木 孝治 他

【授業科目の内容】

化学実験の基礎となる操作、考え方並びに専門知識を修得するため、以下の内容について、少人数単位の実験実習を行う。

実験ガイダンス

過マンガン酸カリウムによる酸化還元滴定

アルカリ金属の原子発光分析

遷移金属錯体の可視スペクトル

電解質溶液の電導度

臭化アルキルの生成反応速度

D グルコースの変換光速度

アズラクトンの合成と同定

ポリマー粒子の作製と粒度分布

【教科書】

専門の実験テキストを生協で販売する。

基礎生物学

2単位 春学期

星 元紀

【授業科目の内容】

生物の世界は、地球のごく表面を占めるに過ぎず、物理量としても微々たるものであるが、数千万種あるいは数億種からなる多彩な世界である。しかし、そのような多様性を示すにもかかわらず、生命体の基本構造やその営みの素過程は、驚くほどに共通性が認められる。この講義では、現代生物学の基礎知識として、生命活動の基本単位である細胞の構造と機能、生命活動を支える物質およびエネルギーの流れ、個体としての統一性を支える情報の処理と統合、個体性の認識、生命の連続性を支える生命情報の流れ、につき学習する。

【教科書】

指定せず。

【参考書】

Molecular Biology of the Cell（細胞の分子生物学）等を随時紹介する。

基礎生命情報実験

2単位 秋学期

井本 正哉 他

【授業科目の内容】

生命現象を理解するには、化学、生物、物理・情報の総合的な理解が必要である。

本講義では、実験を通してそれらの基礎を習得することを目的とする。

空間設計製図A

3単位 秋学期

岸本 達也 他

【授業科目の内容】

設計製図の基礎と空間構成手法を習得する。平面図、立面図、断面図、立面図の描き方、パース（透視図）の描き方、建築図面の各種表現手法を学び、さらに用途を限定した小建築、小住宅の設計を通して空間構成手法の基礎を体得し、製図の基礎から小建築における空間構成手法までを習得することを目標とする。

【参考書】

『建築製図の基本と描きかた』フランシス・D.K. チン、彰国社

『コンパクト建築設計資料集成』日本建築学会編、丸善

『建築設計資料集成』日本建築学会編、丸善
 『建築設計資料』建築思潮研究所編、建築資料研究社
 建築雑誌（新建築、GA JAPAN、建築文化、A+Uほか）

経営管理論

「組織体における経営管理とは何か」 2単位 春学期
 福川 忠昭

【授業科目の内容】

組織体の経営管理活動に関する理解を深めるために、ここでは企業を代表例として取り上げます。企業は財やサービスなどの社会的な価値の生産と分配に携わる経済主体であるとともに、複数の構成員からなる組織体でもあります。そこで、経営管理活動に関わる経済的、財務的、社会心理的諸側面の基本的概念の理解や知識の習得を図るとともに、組織構造的な側面と組織行動的な側面とから経営管理活動のあり方、およびそれらの活動を支える経営管理システムのあり方を学びます。

【教科書】

テキストは特に指定しません。
 講義資料は、毎回の講義の折に配布します。

【参考書】

適宜、講義の中で示します。

計算機科学同実習

「コンピュータ言語入門」 3単位 秋学期
 野寺 隆

【授業科目の内容】

マルチメディアやバーチャルリアリティなど、インターネットを使ったサイバースペースの世界が次々に出現している。このような現代社会で、新たに人とコンピュータのコミュニケーションを考えることは重要な事柄である。本講義は、最初に数式を含む文書処理の入門として、LaTeXの基本概念について実習を通して学習する。次に、コンピュータのプログラミングの入門として、C言語を利用し、その実習を通してアルゴリズムの構成法やコンピュータの役割などについて学習する。C言語は、ワークステーション用のオペレーティングシステムUNIXの記述に利用され、高水準プログラミング言語の持つ「構造化」と呼ばれる機能を持ち、コンピュータの金物（ハードウェア）としての機能を充分発揮できるように考えられた高級言語である。この講義では、C言語の学習を通してコンピュータの持つ力を各自の情報処理の仕事に充分発揮できるための基礎的な素養を育成することにある。

【教科書】

なし。

【参考書】

野寺隆志著 『楽々LaTeX（第2版）』 共立出版
 野寺隆志著 『これだけは知っておきたい数学ツール』 共立出版
 浦昭二、原田賢一共著 『C入門』 培風館
 B.W.カーニハン、D.M.リッチー著、石田晴久訳 『ブ

プログラミング言語C』 共立出版

計算機基礎

「デジタル回路、情報の表現、ノイマン型計算機、プログラミング」 2単位 春学期
 矢向 高弘

【授業科目の内容】

文書整形や表計算、通信などの情報リテラシに計算機を利用するだけならば、ソフトウェアの使い方だけ知っていれば十分であろう。しかし、研究の現場では計算機を研究装置に接続して制御する能力や計算精度に対する検討能力が必要とされており、単に既存のソフトウェアが利用できるだけでは十分ではない。研究に必要な基礎知識としての計算機を学習してもらうため、本講義では現在主流の計算機の動作の仕組みを全般的に取り扱い、プログラミングの初歩的な概念についても講義する。

【教科書】

矢向高弘、村上俊之、大西公平共著 数理工学基礎シリーズ5 『コンピュータの数理』朝倉書店

計算機基礎

「ブール代数、デジタル回路、コンピュータアーキテクチャの基礎」 2単位 春学期
 山崎 信行

【授業科目の内容】

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するための基礎知識を演習を行いながら学習する。

【教科書】

特に指定しません。
 以下のURLから授業で使用するパワーポイントのスライドをPDF形式で配布します。
<http://www.ny.ics.keio.ac.jp/>

【参考書】

相磯秀夫、松下温共著 電子情報通信学会編 『電子計算機I 基礎編』 コロナ社

計算機構成同演習

2単位 秋学期
 天野 英晴

【授業科目の内容】

マイクロコンピュータのCPUをHDL（Hardware Description Language）を用いて設計しながら、その内部構造を理解する。16bit RISC型CPU（パイプライン化されていないもの）の設計までを半期で行なう。1コマの授業の後に1コマの設計演習を行なう。具体的には、（1）加算、減算回路、パレルシフトを含むALUの設計ができる。（2）アキュムレータマシンの設計ができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。（3）16bit RISCに独自の命令を付け加えることができ、アセンブラで簡

単なプログラムができる。を目標とする。

【教科書】

天野、西村 『作りながら学ぶコンピュータアーキテクチャ』培風館

計算論理学

「論理と計算のつながり」

2単位 秋学期

岡田 光弘

【授業科目の内容】

計算機科学や情報工学の理解のために必要な論理的基礎を与えることを目的とする。論理的言語及び論理的知識表現論、論理的意味論、ルールベースの推論システム、証明論等の基礎理論を与える。又、それらと計算モデル理論（チューリングマシンやラムダ計算等）、プログラム言語理論、フォーマルメソッド、AI分野等で提案されてきた推論エンジンモデル等との関係を示す。計算機や計算理論の基礎は論理学分野で確立されたが、それらの歴史的経過についても解説する。

【教科書】

教材については秋学期開始時に授業及び掲示で指示する。

【参考書】

授業の中で紹介する。

形状情報の表現

「三次元物体を二次元の図面に表現する方法、技術内容の指示方法等の習得」

2単位 秋学期

徳岡 直静 井上 全人
小川 邦康 前野 隆司
志澤 一之 赤木 三昌

【授業科目の内容】

図面は、設計技術者の世界共通言語である。将来、機械技術者として自ら設計を行う場合は、自分が意図した機械等の構造や形状、精度、特性等を図面上に自由に表現するとともに、他の技術者の意図を自由に読み取ることができなければならない。また、直接設計に携わらない場合でも、製品の良否を判断する上で、図面内容を適確に把握できる能力が必要である。特に、グローバル化された現在、世界的に活躍するためには国際基準の図面を作成する能力が必要である。本講義では、グローバルに活躍できる技術者になるために、図面に記入すべき項目や国際基準に準拠した指示方法等を、CADを使った実習を通して教授する。

【教科書】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

日本機械学会編「機械実用便覧（常に持参してください）」

計測工学

「電気計測を中心とする「はかる」ことの方と技術」

2単位 秋学期

内山 孝憲

【授業科目の内容】

はかるということは、観察・調査・実験などに基づいて、自然・事物・対象についての知識を手に入れることです。私達が科学的に物事を進めようとする場合、まずははかることから始めます。これを称して「計測なくして科学なし」といいます。もちろん、科学のみでなく、技術の発展にもはかることは欠かすことができません。この講義では、個別の測定法や測定装置もあげますが、それを通じて優れた計測システムの構成方法を理解できるように進めます。

【教科書】

なし。

講義に関する資料は、随時。

<http://www.appi.keio.ac.jp/uchiyama/text/>

に掲載する（学内からのみアクセス可）

【参考書】

南谷晴之・山下久直著『よくわかる電気電子計測』オーム社
真島正市・磯部孝著『計測法通論』東京大学出版会

光学基礎

2単位 秋学期

木下 岳司

【授業科目の内容】

光技術は現在最も急速に発展している技術の一分野です。レーザを応用した多くのハイテク機器が身近に使われています。光の波としての性質と代表的な応用例について講義します。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

左貝潤一著『光学の基礎』コロナ社
Eugene Hecht 著『Optics』Addison- Wesley
（丸善から和訳3冊組があります）
大頭仁、高木康博著『基礎光学』コロナ社
大坪順次著『光入門』コロナ社

光学システム

「Optics System」

2単位 秋学期

内山 太郎

【授業科目の内容】

1. 光学の基礎
2. 幾何光学の基礎
3. 特殊な媒質中の光線伝搬の行列表示
4. 球面光学系での結像理論
5. 波面光学
6. 単色収差
7. 光導波と分布屈折率レンズ

8. 波動光学の基礎

9. 干渉の基礎

【教科書】

『光学の基礎』

工学数学

2単位 春学期

大西 公平 野口 裕久

【授業科目の内容】

工学をシステム論から解析し、設計しようとするれば、必ず数学の助けが必要になる。本講では、級数、微積分、複素解析、ベクトル解析等を横断的に取り上げ、総合的な見方が出来るよう講義を行う。

【教科書】

資料プリント配布。

高分子化学基礎

「分子レベルから材料レベルまでの“高分子”」

2単位 秋学期

川口 春馬

【授業科目の内容】

‘高分子とは’から始め、「構造」「構造をつくり出す方法」「構造がもたらす物性」「物性に由来する機能」を学び、「高分子を理解しながら使いこなす」能力をつける。同時に、高分子を題材として、科学する力を培う。

1. 序論

- 1.1 概念と定義
- 1.2 1次構造
- 1.3 凝集エネルギー密度

2. 物理的な状態と転移

- 2.1 物理的状态
- 2.2 融点とガラス転移温度
- 2.3 可塑化
- 2.4 結晶性と結晶化

3. 高分子の合成

- 3.1 Functionality
- 3.2 速度論からみた重合法
- 3.3 連鎖重合
- 3.4 逐次重合
- 3.5 共重合
- 3.6 生合性と天然高分子
- 3.7 ポリマーの改質・高分子反応
- 3.8 分解・劣化

4. 高分子の分子量

- 4.1 平均分子量
- 4.2 理論的予測と実際の結果
- 4.3 分子量分布の測定
- 4.4 平均分子量の測定

5. 高分子溶液

- 5.1 高分子溶液の熱力学
- 5.2 希薄溶液の粘度と分子の大きさ
- 5.3 濃厚溶液の粘度

6. 材料物性

6.1 機械的変形に関する術後と定義

6.2 ゴム弾性

6.3 半結晶性プラスチックの性状におよぼす温度、分子量の影響

6.4 粘弾性

【教科書】

教材印刷物を配布。

【参考書】

成智聖司他著 基礎化学シリーズ3 『基礎高分子化学』
朝倉書店
蒲池幹治著 『高分子化学入門』NTS

コンピュータ実習

「UNIXの基礎」

2単位 春学期

斎藤 博昭

【授業科目の内容】

現在のコンピュータには様々な種類がある。その中にUNIXに基づいて動くものがあるが、UNIXはコマンドラインを中心としたものであり、Windowsと異なる部分が多々ある。本講義では、UNIXを利用する際の基本的なコマンドや基本的なソフトウェアを実習することにより、UNIXに関する基本の習得を目指す。

【教科書】

講義の初めに指示する。

【参考書】

講義の初めに指示する。

コンピュータ実習

「UNIXの使い方の基礎」

2単位 春学期

寺岡 文男

【授業科目の内容】

情報工学科の2年次、3年次にはUNIXを利用してプログラミング言語やアルゴリズムを学習する講義がいくつかある。この講義では実習を交えてUNIXの基本的な使い方を学習する。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

(UNIXの使い方については多数の本が出版されている。)

コンピュータシミュレーション同実習

「数値計算アルゴリズムのプログラミングによる体験と理系文書作成練習」

2単位 秋学期

本田 郁二

【授業科目の内容】

コンピューターシミュレーションは現実の現象をモデル化して計算機によって数値的に研究する技術で数値実験ともいう。いわゆる数値解析や数値計算より広く、数式にのらない物理現象や経済現象なども扱われる。しかし特に体系化されたものではなく個々の問

題をモデル化し計算すること一般をさしているようである。この授業では春学期に学んだC言語を用いた実際のプログラミングを行い、レポートを作成することによりシミュレーションを学ぶ。

〔教科書〕

特に用いないが、課題の書かれた補充プリントを配布する。

〔参考書〕

授業中に参考書を紹介する。

コンピュータアナリシス

「コンピュータを使った数値計算および実習」

2単位 秋学期
泰岡 顕治

〔授業科目の内容〕

本科目では主に以下の内容をおこなう。

A：基本的なコンピュータ言語の習得

B：ワークステーションの利用

C：簡単な数値計算のプログラムの作成・実行

ソフトウェアとしてMATLABを用い、数値計算のプログラムを作成・実行できるようになることを目的とする。3年生の計算力学演習、熱流体の数値解析、分子動力学、機械工学実験の結果の整理をはじめ4年生の卒業研究の基礎につながる実習をおこなう。コンピュータ（UNIX）に関する知識は前提としない。

〔教科書〕

戸川隼人著『ザ・数値計算リテラシ』サイエンス社

〔参考書〕

戸川隼人著『ザ・FORTRAN』サイエンス社

『矢上キャンパスIT利用バイブル』慶應義塾大学理工学インフォメーションテクノロジーセンター

芦野隆一、Remi Vaillancourt共著『はやわかりMATLAB』共立出版

細胞生物学第1

2単位 秋学期
井上純一郎

〔授業科目の内容〕

生命を分子レベルで研究する上で必要な分子細胞生物学の基礎知識を教科書に沿って学ぶ。

〔教科書〕

『分子細胞生物学』第4版 上巻 東京化学同人

材料力学の解法

「骨組構造物の要素（はり軸）に関する強度、変形の実例と解法」

2単位 春学期
志澤 一之

〔授業科目の内容〕

必修科目である「材料力学の基礎」では構造部材である棒材の伸縮、曲げ、あるいはねじりに関して講義を行います。本科目「材料力学の解法」では、その復習と練習問題の解法について、同じ教員が毎週解説をします。

選択科目ですが、是非履修することが望ましい科目です。「材料力学の基礎」で学んだ原理あるいは定理を用いて、実際の構造物を解析する上での解決能力を養うことを目的としています。実際の計算の例題を豊富に提示し、個々人に対して教員とTAが丁寧に説明することになるので、「材料力学の基礎」に関するより深い理解が得られるように構成されています。

〔教科書〕

教科書は特に定めませんが、材料力学のテキストには市販のものが多くあるので個別に参照することが可能です。ただし、本授業独自の内容も多いので、授業を基に理解を進める必要があります。なお、必要な演習問題および模範解答はプリントとして毎回配布します。

〔参考書〕

特に指定しません。

材料力学の解法

「はり軸の強度・変形に関する実例と解法」

2単位 春学期
宗宮 詮

〔授業科目の内容〕

必修科目「材料力学の基礎」と表裏を成す科目であり、選択科目であるが、是非履修を勧めたい。本科目では「材料力学の基礎」で学んだ原理あるいは定理を用いて、実際の構造物を解析する上での解決能力を養うことを目的としている。すなわち機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材に関する理解を演習を通じて深めることになる。個々人に対して丁寧な説明を行いながら演習問題を解説する。実際の計算の例題を豊富に提示することになるので、「材料力学の基礎」の良き復習となるように構成されている。内容は「材料力学の基礎」と同様であり、下記の項目である。教科書、参考書は特に定めませんが、必修科目である「材料力学の基礎」の講義の同じ週に、本科目で例題を解くことになるので、「材料力学の基礎」の授業を良く把握して望むことが好ましい。

〔教科書〕

特に定めない。

〔参考書〕

特に定めない。

材料力学の解法

「はり軸の強度・変形に関する実例と解法」

2単位 春学期
高橋 邦弘

〔授業科目の内容〕

必修科目「材料力学の基礎」と表裏を成す科目であり、選択科目であるが、是非履修を勧めたい。本科目では「材料力学の基礎」で学んだ原理あるいは定理を用いて、実際の構造物を解析する上での解決能力を養うことを目的としている。すなわち機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材に関する

理解を演習を通じて深めることになる。

個々人に対して丁寧な説明を行いながら演習問題を解説する。実際の計算の例題を豊富に提示することになるので、「材料力学の基礎」の良き復習となるように構成されている。

内容は「材料力学の基礎」と同様であり、下に示す項目である。教科書、参考書は特に定めないが、必修科目である「材料力学の基礎」の講義の5日後に、本科目で例題を解くことになるので、「材料力学の基礎」の授業を良く把握して望むことが好ましい。

材料力学の基礎

「骨組構造物の要素（はり軸）に関する変形と強度」

2単位 春学期

志澤 一之

【授業科目の内容】

機械・構造物の構成要素として最も基本的で重要な部材は棒材です。本授業では、棒材が圧縮、曲げ、あるいはねじりを受けた場合の力と変形について学びます。強度と剛性について理解し、その数値的な予測を可能とする力学的検討を行います。棒材に関する基本的考え方、基本原理を解説し、3年次以降の固体力学関連科目を学ぶ上での基礎固めを行います。基本事項の理解を深めることを主要課題とするとともに、計算に慣れることも重要な課題です。力の釣合いを基本とする立場と同時に、エネルギー法による立場も重視して講義を行います。同時に開講されている選択科目「材料力学の解法」では、この「材料力学の基礎」における講義内容を基に、練習問題を解くこととなります。「材料力学の解法」では個々人に対し丁寧に解説を加えるので、併せて履修することで深い理解に至るよう工夫されています。

【教科書】

教科書は特に定めませんが、材料力学のテキストには市販のものが多くあるので個別に参照することが可能です。ただし、本授業独自の内容も多いので、授業を基に理解を進める必要があります。

【参考書】

特に指定しません。

材料力学の基礎

「はりの強度と変形」

2単位 春学期

宗宮 詮

【授業科目の内容】

機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材を取り上げる。はりのような棒材における力と変形、あるいは応力とひずみについて解析する。材料力学の基本的考え方、基本原理を解説し、3年次以降の材料力学関連科目を学ぶ上での基礎固めを行なう。基本事項の理解を深めることを主要課題とするとともに、計算に慣れることにも力を入れる。同時に開講されている選択科目「材料力学の解法」では、この「材料力学の基礎」における講義内容を基に、練習問題を

を解くことになる。「材料力学の解法」では個々人に対し丁寧に解説を加えるので、併せて履修することにより深い理解が得られる。教科書、参考書は特に定めないが、材料力学のテキストには市販のものが多くあるので個別に参照することが可能です。ただし本授業独自の内容も多いので、授業を基に理解を進める必要があります。

【教科書】

特に定めず。

材料力学の基礎

「はり軸の強度と変形」

2単位 春学期

高橋 邦弘

【授業科目の内容】

機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材を取り上げる。はりや軸のような棒材における力と変形、あるいは応力とひずみについて解析する。材料力学の基本的考え方、基本原理を解説し、3年次以降の材料力学関連科目を学ぶ上での基礎固めを行なう。

基本事項の理解を深めることを主要課題とするとともに、計算に慣れることにも力を入れる。同時に開講されている選択科目「材料力学の解法」では、この「材料力学の基礎」における講義内容を基に、練習問題を解くこととなる。「材料力学の解法」では個々人に対し丁寧に解説を加えるので、併せて履修することにより深い理解が得られる。

教科書、参考書は特に定めないが、材料力学のテキストには市販のものが多くあるので個人的に参照することが可能であろう。ただし本授業独自の内容も多いので、授業を基に理解を進める必要がある。

酸塩基及び酸化還元

「あらゆる化学現象を理解するための基礎的概念」

2単位 春学期

大坂 武男

【授業科目の内容】

化学全般の基礎である「酸・塩基反応」および「酸化・還元反応」を理解できるようにします。

【教科書】

特に用いない。毎回、講義内容のプリント（A4用紙10枚程度）を配布し、同じ内容のOHPを用いて講義する。

【参考書】

「物理化学」関連の参考書

藤永太郎訳「酸塩基の理論」化学同人

曾根興三著「酸化と還元」培風館

システム制御論

2単位 秋学期

富田 豊

【授業科目の内容】

1. 人間・機械と制御

2. 機械制御とプロセス制御
3. 制御系の数学的記述
4. 制御系の時間応答
5. 制御系の周波数応答
6. 制御系の特性改善
7. システムの安定

【教科書】

森政弘・小川鑛一共著 『基礎制御工学』 東京電機大学出版局

システムデザイン工学概論 2単位 春学期
北川 良和 矢向 高弘

【授業科目の内容】

「システムデザインとは何か」について、特別講義、課外講義を通して学ぶ。

システムデザイン工学が目指すものは何か、何をどのように学ぶべきか？ システムデザイン工学に関して、学内の講義のみではない課外講義を含む活力ある形式により、その理念とその視点からの先端技術の状況を講義する。

この講義では、人類（社会・経済・文化）と自然との調和を考えた工学の必要性、情報化社会に適したシステムづくり、複雑そして総合的なシステムを扱える工学の確立など、社会で本学科が果たす役割を理解して、既成の分野に拘らない広い学識を持ち、新しい発想から新分野を開拓できる、横断的な思考と学際的な発想からシステムデザイン目指して学ぶその動機づけを与えることを目的としている。

機能を追求するだけでなく、現象の本質をグローバルな視点で解析するとともに取り巻く環境との調和にも十分配慮してシステムデザインすることを学びひとりひとりが積極的にシステムデザイン工学そのものを創造することを目指してほしい。

システムデザイン工学基礎演習 1単位 秋学期
浜田 望 他

【授業科目の内容】

本科目は、システムデザイン工学科2年生春学期に開講した「熱流体システム第1」「力学的モデリング」「電磁気工学」「回路とシステム第1」なる4つの基礎必修科目に関する理解を深めさせ、学生に十分にその内容を身に付かせることを目的として設置した演習科目であり、基礎的な問題に対処できるようになることと、これら基礎科目に関する分野横断的な側面もカバーしている。春学期に履修した授業内容の演習を秋学期に行うことで、さらなる習熟度向上が期待され、同時に、秋学期に履修しているアドバンスな関連科目に関する理解向上に貢献することもねらいである。本演習科目は、上記基礎必修科目の担当教員8名による2クラス制のオムニバス形式で開講される。

【教科書】

『熱流体システム第1』『力学的モデリング』『電磁気

工学』『回路とシステム第1』のテキスト

社会・経済と工学

2単位 秋学期
青山藤詞郎 長島 昭

【授業科目の内容】

科学技術を道具として出発したコンピューターを例にとれば、単なる計算道具でなく、経済活動や社会システムまでも変えてしまう、予期しなかった大きな影響を生み出している。あるいはエネルギーの例に見れば、生活を豊かにしただけでなく、地球温暖化や資源競争など、国際・法律・社会心理へも及ぶ広い影響がある。科学技術者には、一方では技術の波及効果について社会的責任を求められる機会が増えており、また、他方では経済や社会の広い知識と問題意識を持つ人が社会で求められている。この講義では、一部は外部専門家の話を依頼して、現在の具体的な事例を挙げることにより、科学技術の影響の広がりを知り、将来の対応の糸口を考える。

周期表の化学基礎

「元素各論」 2単位 春学期
山元 公寿

【授業科目の内容】

宇宙と地球における元素の誕生と分布の過程を知る。また、周期表にしたがって各元素の特性を把握し、それが化学物質の構造や性質にどのように反映されているかを理解する。特に、類似の性質を持つ元素群（族）に分類して、具体的な特徴を解説する。

1. 元素の誕生
2. 周期律
3. 元素各論

【参考書】

コットン、ウイルキンソン、ガウス著、中原訳『基礎無機化学』培風館
田中政志、佐野充著『原子、分子の現代化学』学術図書
井口洋夫『元素と周期律』裳華房

周期表の化学第1

「無機化学、錯体化学、配位子場理論、群論入門、群論の化学への応用」 2単位 秋学期
伊藤 正時

【授業科目の内容】

無機化学の基礎となる配位子場の考え方、配位結合について述べます。無機化合物を学ぶ上で最も大切な基礎を扱います。

【教科書】

特になし、プリントを配布する。

【参考書】

木田茂夫『無機化学』裳華房
F. Basolo, R.C. Johnson (山田祥一郎訳)『配位化学』化学同人

集合論

「数学の基礎的手法」

2単位 春学期
石井 一平

【授業科目の内容】

素朴であったはずの「集合」の概念も、ちょっと立ち止まって考えてみると、それを支えるには非自明な理性や態度が要求されることに気がきます。特に要素が無限個ある無限集合に対してそこで行う数学的演算の実在性や性質をどうやって認識しかつ表現していくのか、その方法をはっきりさせることは有用でしょう。現在、数学的な文章の記述にごく普通に用いられている記号法や議論の方法について慣れましょう。後半ではもう一つ距離空間の話題を扱います。単純なゆえに様々な場面で利用できる距離の概念についてその公理を紹介し、それから派生する位相的諸性質について説明します。

【参考書】

内田伏一『集合と位相』裳華房
松阪和夫『集合・位相入門』岩波書店
齋藤正彦『数学の基礎 集合・数・位相』(基礎数学14)
東京大学出版会

情報経済学

2単位 秋学期
増田 靖

【授業科目の内容】

この科目では、企業活動・管理工学を経済的側面から考察する。伝統的な経済分析では市場の分析の主体であるが、ここでは、市場分析だけでなく、企業間・企業内活動も経済分析の対象とする。具体的には、二つのテーマを取り扱う。第一のテーマは、価格機構・価格設定である。価格機構・価格設定は、市場だけでなく企業内の物・サービスの分配でも重要な働きをする。企業の行動に焦点をあて、市場と企業組織内部の両方に対する価格の役割を調べる。第二のテーマは、不確実性と情報である。意思決定者が不確実性にどのように取り組むかという問題を、モデル分析を通じて検討する。そのために不可欠な道具である期待効用理論を学び、危険回避行動を議論する。典型的な応用問題として保険を扱う。

【教科書】

教科書は指定しません。講義資料はwebサイト
<http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masuda-hp/lectures.htm>
よりダウンロードできます。

【参考書】

奥野正寛・鈴村興太郎著「ミクロ経済学」、岩波書店、1985、1988
H.R.ヴァリアン著、佐藤隆三・三野和雄訳「ミクロ経済分析」勁草書店、1986
P.ミルグローム・J.ロバーツ著「組織の経済学」NTT出版、1997

情報数学概論

「計算機科学に使われる数学」

2単位 春学期
太田 克弘

【授業科目の内容】

計算機科学でよく使われる数学概念を概説する。とくに、論理的推論、同値関係、半順序集合、グラフ、組合せ論、簡単なアルゴリズムなどに重点をおく。広い範囲の話題を扱うので、それぞれの話題についてはあまり深入りせずに、具体的な例を通じて概念や記法を理解してもらうことに主眼をおく。

【教科書】

使用せず。

情報通信工学基礎

2単位 春学期
小沢 慎治

【授業科目の内容】

情報・通信分野の基礎を統括する科目として、以下の項目の概要が把握でき、重要な術語が理解できることを目的とする。また3年で設置される、情報・通信関連科目の関連、系統が理解できるように配慮する。

【参考書】

授業で用いるスライドのコピーを配布する。

情報理論

「情報を把握するための第一歩」

2単位 秋学期
中川 正雄

【授業科目の内容】

情報とは何か、情報の量とは何か、情報をどう伝えるのか等、情報の本質に迫ります。情報理論は確率の基礎がわかれば、きわめて簡単な法則ですので理解の容易な分野です。以下に目次を示します。

1. 情報理論の背景
2. 離散的情報源の性質
3. 離散系における情報量(エントロピー)
4. 情報の伝送(通信路)
5. 離散的情報源の符号化
6. 連続的情報源の情報量

【教科書】

藤田広一著『基礎情報理論』昭晃堂

振動と波動

2単位 春学期
下村 晋

【授業科目の内容】

振動と波動は、力学以外にも様々な物理系においてあらわれる現象である。本講義では、振動・波動現象を共通する性質としてとらえ、その考え方を理解することを目的とする。また、フーリエ級数、フーリエ変換について学び、その応用にもふれる。

【教科書】

特に指定しません（参考書の欄を参照してください）。

【参考書】

いくつか良いと思われる教科書をあげます。

「振動と波」 長岡洋介 裳華房

「振動・波動」 小形正男 裳華房テキストシリーズ

フーリエ級数・変換については、物理数学の教科書を含め数多く出ていますが、例えば、「フーリエ解析」大石進一 岩波書店

振動波動論

2単位 秋学期
大橋 良子

【授業科目の内容】

私達の身の回りには機械の振動、水の波、音、光（電磁波）など色々な種類の振動波動現象が見られます。これらはそれぞれ異なった原因で起こる現象ですが、そこには物質の一部や電場、磁場など対象が時間的、空間的に周期的な変化をするという共通の性質があります。振動波動論では、この共通する性質を统一的に把握する方法を身につけ、現象を横断的に理解するための数学的手法に慣れることを目的の一つとしています。

【教科書】

特に指定しない。プリントを配布する。

【参考書】

講義の中で紹介する。

数学解析第1

2単位 春学期
石川 史郎 谷 温之

【授業科目の内容】

数学A1、B1及び数学A3、B3にひきつづき解析学の基礎を学ぶ。

数学A1、B1を履修したクラスでは解析の基本的な概念を学ぶ。予定している主な内容は、数列の収束性と極限、関数の連続性及びその基本的性質、関数列の収束性と極限、級数、ベキ級数等である。

数学A3、B3を履修したクラスでは陰関数定理と積分論を主に学ぶ。予定している内容は、陰関数定理とその応用、重積分と累次積分、変数変換、線積分と面積分、積分定理、ベクトル解析等である。

演習はレポート提出の形で行なう。

数学解析第2

2単位 秋学期
石川 史郎

【授業科目の内容】

微分方程式（常微分方程式）についての基礎的な内容を講義する。微分方程式はいろいろな力学的現象や電気的現象などの数学的な記述として現れ、応用上も重要であり、もちろん数学の様々な分野でも基礎的な概念となる。

この講義の主な内容は次の通りである。なお、履修者は「線形代数」、「数学解析第1」を既に履修していることが望ましい。

1. 微分方程式の基礎概念（定義、解、解の延長など）
2. 解の存在と一意性
3. 線形常微分方程式（独立解、一般解、解空間の構造）
4. 定数係数同次線形常微分方程式の解法
5. 定数係数非同次線形常微分方程式の解法（定数変化法）
6. 線形常微分方程式の級数解

数学解析第2

「常微分方程式の解法」

2単位 秋学期
中野 貴

【授業科目の内容】

自然現象や化学反応、電気回路、伝染病の感染などは微分方程式で表される。そこで、基本的な微分方程式の解法、応用例について学ぶ。

【教科書】

技術者のための数学の要点 4「常微分方程式の解法」理工図書刊

【参考書】

特には無い。

数理科学基礎第1

2単位 春学期
田村 要造 高山 正宏

【授業科目の内容】

1年生で学んだ数学の内容の復習を中心に、解析学、線形代数の基礎事項に関し演習を中心にして学ぶ。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

数理科学基礎第2

「数理科学の論理基礎」

2単位 秋学期
仲田 均

【授業科目の内容】

数理科学の基礎となる下記の内容について、演習を中心に学ぶ。

- (1) 命題・論理
- (2) 集合・順序・同値
- (3) 位相構造
- (4) 代数構造

【教科書】

なし。

【参考書】

特に指定せず。

数理計画法

「Mathematical Programming」

2単位 秋学期
佐野 昭

【授業科目の内容】

与えられた目的関数の最小値または最大値を求めるために必要となる数理的最適化の手法の基礎を身につけ、さらにそれを応用できる能力を修得することが目的であ

る。講義内容は、最適化問題を取り扱うために必要な基礎的な数学、線形計画法の原理とその応用、拘束条件のない非線形計画法およびその繰り返し計算法、拘束条件のある非線形最適化問題へのアプローチ、さらに時間を含む工学システムや物理システムに関連した多くの最適化問題を、変分法やダイナミックプログラミングからアプローチする。また最近の話題にも触れる。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

各内容の理解のための参考書をそのつど紹介する。

図形情報処理

2単位 春学期
小茂鳥 潤 他

【授業科目の内容】

設計を行う際に必要となる図形情報の表現・伝達に関して、講義および演習を行う。具体的には、まず、CAD/CAM/CAEの製品開発における位置づけ、ならびにその現状と動向に関して、基礎知識の解説を交えて講義する。つぎに、図形情報の表現・伝達に関する基本スキルの修得を図るべく、CADおよび簡単なCGの演習を行う。さらに、その基本スキル習得のために不可欠な立体表現能力の養成に関して、スケッチや概案図などの演習を通じて試みる。

【参考書】

とくに指定はしていない。

生化学

「生命現象を分子のレベルで理解する」 2単位 春学期
松本 緑

【授業科目の内容】

複雑な生命現象を分子レベルで理解するために必要な基礎を習得する。生命活動の基本である細胞を作っている分子とそこで働いている分子の構造と機能およびそれらの代謝過程を理解する。

【教科書】

特に指定しませんが、講義資料はプリントを配布します。

【参考書】

『細胞の分子生物学 第3版』トッパン
『ヴォート基礎生化学』東京化学同人

生体計測論

「電気・電子回路を用いた生体計測方法の理解」
2単位 秋学期
岡 浩太郎

【授業科目の内容】

本講義では生命現象を解析する計測方法のうち、特に電気回路を利用した計測方法を理解するための基礎的な知識について講義する。まず電気回路を構成する基本的な受動素子（RCL）について理解を深め、回路網を記述する方法と電気回路の諸定理について説明する。また能

動素子の例としてトランジスタとオペアンプに着目し、加算減算、微分・積分回路を取り扱う。生体信号の取得はノイズとの戦いでもあるので、フィルタ回路（受動・能動）についても詳述する。また生命現象との関係として、生体膜等価回路としての電気回路についても述べる。本講義を履修することにより、基礎生命情報実験で扱う電子回路の動作についても理解が深まるものと考えている。

【教科書】

毎回プリントを配布する。

【参考書】

安藤繁『電子回路 基礎からシステムまで』培風館
伊藤正夫他『応用システム数学』共立出版
藤原修『電子回路A』オーム社

生体物質の化学

「生化学の基礎と最近のトピック」 2単位 秋学期
梅澤 一夫

【授業科目の内容】

以前の生物学が主に事実の集積であったのに比べ、現代の生物学は、有機化学、物理化学で多くの部分が説明される、系統的に整理された科学になった。本講では生体分子の構造と機能を中心に、生物学の骨子を解説する。生命科学における最近のトピックも合わせて紹介する。

1. 蛋白質の構造と機能
2. 酸素の構造と作用機構
3. 脂質の構造と機能
4. 糖質の構造と機能
5. 生体エネルギーの生成
6. 核酸の生化学

生体分子合成

「分子レベルの生命科学のための有機化合物の合成と反応入門」
2単位 春学期
太田 博道

【授業科目の内容】

1年生の化学B、Dで有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだことを基礎に、重要な官能基について個々に合成法、反応性を解説する。

遺伝子の情報とは要するにどのようなタンパク質を創り出すかという情報である。そのタンパク質は他の分子との相互作用によって生命体の機能を制御したり、生体内のあらゆる物質変換を触媒する。したがって生命機能を語る時、有機化学の基本的知識無しには理解することは難しい。生命体の中で起こる化学反応の理解に最低限必要なことをていねいに論述する。また、生命機能を理解したり、物質変換に応用するときには有機化学との相互作用が必要になることが多い。有機化学分野との会話を可能にする最小限の「知識と言葉」は身に着ける必要がある。そこへ到達することを目標としたい。

各化合物間の相互関係についても考察し、体系化した視点から俯瞰的に有機化学全体を眺めることの面白さも

忘れないようにしたい。

【教科書】

太田博道、西山繁著 『ビギナーのための有機合成反応』三共出版

生体分子構造論

「生命を支える有機化合物の構造化学」 2単位 秋学期
小川誠一郎

【授業科目の内容】

生命現象を支える有機化合物分子の構造と構造に密接に関わる化学的性質について概説する。

1. 有機化合物の命名法、構造化学、結合論
2. 生体有機化合物概論：アミノ酸、脂質、糖質の分類と命名法、構造、化学
3. 多糖類と糖複合体、細胞表層のオリゴ糖鎖および核酸類の構造化学
4. 脂質および糖脂質の構造化学
5. ペプチド、タンパク質および糖タンパク質の構造化学

【参考書】

ライフサイエンスの有機化学。

生物量子化学

「化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動、生物量子化学基礎」 2単位 秋学期
藪下 聡

【授業科目の内容】

現在、量子化学を代表とする分子科学における理論的手法は非常に高度に発展し、そのターゲットはより複雑な化学現象に向かっている。生命現象に関わりをもつ分子の構造や機能を解明する手段としても、近い将来大いに威力を発揮するものと予想出来る。この授業では、化学的な視点から量子論の基本的な考え方を論じ、分子中の電子の運動（分布）および分子の振動回転運動を概説し、化学現象との関わりを述べる。取り扱う内容は、

- (1) 古典力学の復習。ハミルトンの運動方程式。
- (2) シュレーディンガーの波動方程式と、簡単な系への応用。不確定性原理。波動関数の直交性、対称性など。
- (3) 軌道角運動量、水素原子、および多電子原子。
- (4) 二原子分子の電子状態。LCAO 近似。
- (5) 多原子分子とヒュッケル分子軌道法。HOMO-LUMO 相互作用と反応性。
- (6) 分子の振動回転運動と分子分光法入門。
- (7) 生物量子化学。分子軌道法の応用。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントはwebサイト <http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html> よりダウンロードできます。

パスワードなどは最初の授業でお知らせします。

【参考書】

田中政志、佐野充 『原子・分子の現代化学』学術図書
茅幸二編著 『物理化学演習』裳華房
朽津耕三・濱田嘉昭 『量子化学』放送大学教育振興会

小林常利 『基礎化学結合論』培風館

藤永茂 『入門分子軌道法』講談社サイエンティフィック
平尾公彦・加藤重樹 『化学の基礎』 講談社サイエンティフィック

生命系の数学

2単位 春学期
富田 豊 岡 浩太郎

【授業科目の内容】

生命現象を記述するのに必要な数学、すなわち線形代数および微分方程式を学ぶ。主要な項目は、

1. 量の演算（次元解析）
2. 線形システムの数学（線形システムとは何か、行列、1次独立と1次従属、逆行列、基底と基底変換、固有値、部分ベクトル空間、システム変数の並び替え、グラフの行列表現）
3. 連続システムの数学（常微分方程式、定常解と周期解、解の安定性、偏微分方程式、熱伝導・拡散・波動・膜振動の方程式）
4. 確率的モデル
毎週演習（宿題）できるよう、プリントを配布する。

【教科書】

『応用システム数学』 共立出版社

生命系の量子力学

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」 2単位 春学期
川村 清

【授業科目の内容】

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

【教科書】

川村清「量子力学I」(産業図書)

生命物理化学

「生命現象を理解するための論理を学ぶ」 2単位 春学期
岡 浩太郎

【授業科目の内容】

化学A、化学Bでの物質の物理的・化学的側面に関する知識を前提として、生命現象を物理学の基本原理解に基づいて理解するために、熱力学（化学反応でのエネルギー変化、エントロピーと反応の進む方向、自由エネルギー、化学平衡）輸送過程と膜現象、反応速度論（酵素反応速度論を含む）電気化学を中心に講義を行う。特に生命現象を定量的に把握することに重点を置き、適宜

演習を行う予定である。本講義と共に生化学、生命系の量子力学、生物量子化学を受講することにより、生命系に必要な物理化学について全般の知識を取得することが可能となる。

【教科書】

早川勝光、白浜啓四郎、井上亨 『ライフサイエンス系の基礎物理化学』 三共出版

【参考書】

猪飼篤 『生物工学基礎コース 物理化学』 丸善

線形代数

「線形空間の理論と行列の標準化（対角化とジョルダン標準形）」 2単位 春学期
小田 芳彰

【授業科目の内容】

線形空間の基礎的な概念と計算をマスターすることを目標とします。具体的には、線形代数が単にベクトルと行列の話にとどまらずに幅広い応用があることを理解することと、対称行列の対角化やジョルダン標準形の計算ができるようになることが目標となります。

【教科書】

永田雅宜著 『線形代数の基礎』 紀伊国屋書店

【参考書】

佐武一郎著 『線型代数学』 裳華房
斎藤正彦著 『線型代数入門』 東京大学出版会
川久保勝夫著 『線形代数学』 日本評論社

線形代数

「対称行列の対角化問題」 2単位 春学期
亀谷 幸生

【授業科目の内容】

【目的】

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

【内容】

ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をする。内積と直交行列の性質を調べる。線形空間の基本的性質について。行列の固有値・固有ベクトル。対称行列の対角化。2次形式の標準形と応用問題。ジョルダン標準形。

【教科書】

中岡稔・服部昌夫著 『線型代数入門』 紀伊国屋書店

【参考書】

斎藤正彦著 『線型代数入門』 東京大学出版会

線形代数

「対称行列の対角化問題」 2単位 春学期
前田 吉昭

【授業科目の内容】

【目的】

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

【内容】

ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をする。内積と直交行列の性質を調べる。線形空間の基本的性質について。行列の固有値・固有ベクトル。対称行列の対角化。2次形式の標準形と応用問題。ジョルダン標準形。

【教科書】

中岡稔・服部昌夫著 『線型代数入門』 紀伊国屋書店

【参考書】

斎藤正彦著 『線型代数入門』 東京大学出版会
斎藤正彦著 『線型代数演習』 東京大学出版会
佐竹一郎著 『行列と行列式』 裳華房

ソフトウェア工学

2単位 春学期
櫻井 彰人

【授業科目の内容】

アセンブリ言語を通じて、コンピュータの基本的な機能、構成あるいはその可能性と限界などを修得する。

【教科書】

プリントを配布。

【参考書】

なし。

代数学基礎同演習

「群論の基礎理論と実践」 3単位 秋学期
田中 孝明 塩川 宇賢

【授業科目の内容】

正多角形や正多面体をみたとき、回転させたり折り返したりという操作、つまり対称性があるということは経験的にいかにも意味がありそうです。またパズルみtainな有限個の物の並べ換えの操作や、もうすこし高級な感じでは代数方程式の解の間に考えられる置き換え操作（互いに共役という感じ）をとらえるものとして、「群」の概念はわれわれの前にも出現し、その後実に様々な場所で応用されてきました。幾何学的にも運動群の作用という姿で、群論的な考え方はまったく色んなところにかたくもやわらかくもできます。理論にまとめられたのは19世紀半ばくらいからで、それからおよそこの講義で

扱うような内容が定式化、文字化されてきました。なかなか根源的であるゆえに結構高級な概念ですが、がんばってやれば不思議といろいろ調和のとれていることに気付き、ゲームみたいで面白いです。演習もがらがらやって下さい。

【主なトピック】

群とその間の写像の定義、群の作用と幾何学、有限群の数え上げの性質と構造、有限生成アーベル群の基本構造定理

【参考書】

- 永尾汎『代数学』朝倉書店
 今井淳、寺尾宏明、中村博昭『不変量とはなにか』講談社ブルーバックスB1393
 原田耕一郎『群の発見』（数学、この大きな流れ）岩波書店

ダイナミカルシステム

「ダイナミカルシステムのモデリングと制御」

2単位 秋学期
江上 正

【授業科目の内容】

現在の状態が過去の入力に依存して変化するシステムがダイナミカルシステム（動的システム）であり、メカニカルシステムの多くはダイナミカルシステムです。ダイナミカルシステムを制御するためには、まずこのダイナミカルシステムを数式を用いてモデル化し、そのモデルを解析して、特性を調べる必要があります。

本講義ではこのダイナミカルシステムのモデル化の方法や、その特性について述べます。さらにこの特性を望みのものに変えるフィードバック制御系の基礎について論じます。

【教科書】

土谷武士・江上正『新版現代制御工学』産業図書

【参考書】

土谷武士・江上正『基礎システム制御工学』森北出版
 溝田喬・中溝高好『自動制御の講義と演習』日新出版

ダイナミカルシステム

「Dynamical Systems」

2単位 秋学期
佐野 昭

【授業科目の内容】

工学システムを構成する力学系、電気系、熱系、化学系などのアナロジー（相似性）を通して線形システムのダイナミクスの表現とその性質や構造の共通点や相違点など関連性を理解し、ダイナミクスを表現し解析する手法として、ラプラス変換、システムの入出力表現、微分方程式や状態変数表現、安定性の解析、状態空間の構造などの基礎知識を修得することを目標とする。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

関連する参考書については授業で紹介する。

通信システム

2単位 秋学期
重野 寛

【授業科目の内容】

通信ネットワークの基礎的な概念や技術とともに、電話網、ISDN、ATMネットワーク、移動体通信網などの構成や仕組みについて学びます。

【教科書】

松下温著『図解 通信ネットワークの基礎』昭晃堂
 講義資料はwebサイトで提供します。

【参考書】

講義の中で適宜紹介します。

デジタル回路

2単位 秋学期
天野 英晴

【授業科目の内容】

現在のIT産業で不可欠なデジタル回路のデバイスレベル、回路レベルの設計技術を習得する。ブール代数等の論理回路の基礎は「計算機基礎」で、ハードウェア記述言語によるRTL（Register Transfer Level）設計は「計算機構成」でそれぞれ習得するため、この授業では、それらの技術により設計されたデジタル回路が動作するデバイスの特性、利用法に関してが中心となる。今後、情報工学科で行なうLSI設計関連の基礎科目である。具体的には、（1）CMOS回路の動作を判別でき、簡単なゲートのレイアウトを行なうことができる（2）規格表を見て、動作レベル、消費電力を見積もることができる（3）規格表から簡単な順序回路のSTA（Static Timing Analysis）ができる（4）バス構成用の素子の記号と意味を判別する（5）SRAM回路を設計できる（6）FPGA、GPLDの分類を知り、簡単な回路の設計ができる。を目標とする。

【教科書】

天野『デジタル設計者のための電子回路』コロナ社

デザインリテラシー演習

2単位 春学期
青山藤詞郎 他

【授業科目の内容】

工業図面を正確に読みとりかつ作成できることは、物づくりの基本能力の一つである。この講義では、工業図面情報の理解とその記述を行うための基礎知識を教授する。すなわち、工業図面の機能と規格、投影法、公差、はめあい、部品の簡略図法などについて具体的な解説を行い、実際の機能部品を図面上に記述する能力を養う。また、演習においては、CAD（コンピュータ援用設計）システムを利用して、機能部品の設計を行い、部品の形状・寸法を、2次元図面情報あるいは3次元図面情報として記述するトレーニングを行う。

【教科書】

独自の資料を使用する。

デジタル基礎

「計算機を構成するデジタル回路の基礎」

2単位 春学期
内山 孝憲

【授業科目の内容】

計算機の内部では、どのように数が扱われているのか、またそれらはどのように計算されているのかについて学びます。

【教科書】

Floyd 『Digital Fundamentals』, Prentice Hall International

【参考書】

なし。

電気回路基礎

「電気回路理論と回路解析の基礎を学ぶ」

2単位 春学期
津田 裕之

【授業科目の内容】

この科目では電気、電子、情報、通信などの諸分野に共通した基礎である電気回路についてその基本的な部分を中心に解説します。また、理解を深めるために演習を行います。回路解析に必要な微分方程式の解法についても理解できるようにします。

1. キルヒホッフの法則
2. 回路素子の性質
3. 基本回路の性質
4. ラプラス変換
5. 正弦波定常状態の解析
6. 回路方程式
7. 回路における諸定理

【教科書】

森真作著『電気回路ノート』コロナ社

【参考書】

森真作、南谷晴之共著『電気回路演習ノート』(コロナ社)

電気回路基礎

「電気回路の基本的性質」

2単位 春学期
南谷 晴之

【授業科目の内容】

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用して下さい。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述

することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方向的に聴くだけのものにならないよう、各時間の1/3を演習にあて学習効果が上がるようにしています。

【教科書】

森真作、南谷晴之共著『電気回路演習ノート』コロナ社

【参考書】

森真作著『電気回路ノート』コロナ社

電気回路同演習

「電気回路の基本的性質」

2単位 春学期
南谷 晴之

【授業科目の内容】

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用して下さい。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方向的に聴くだけのものにならないよう、各時間の1/3を演習にあて学習効果が上がるようにしています。

【教科書】

森真作、南谷晴之共著『電気回路演習ノート』コロナ社

【参考書】

森真作著『電気回路ノート』コロナ社

電気回路理論

2単位 秋学期
池原 雅章

【授業科目の内容】

春学期の電気回路基礎に続く科目であり、電気・電子系に必要とされる回路に関するより高度な内容について講義する。

1. 複雑な回路の初期値
2. 2端子対回路
3. 三相交流回路
4. 分布定数回路
5. 波形解析

【教科書】

高橋進一著『定常回路解析』オーム社

【参考書】

末崎輝雄、森真作、高橋進一著『回路理論例題演習』コロナ社

電気電子工学セミナー

「エレクトロニクスの基礎と実際」 1単位 春学期
黒田 忠広

〔授業科目の内容〕

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどうよう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらうのが目的である。セミナーは、電気メカ等の見学による課外講義と講演を軸に行う。講演は、電子工学科教員が順番に自分の専門分野を例にとり、産業界における技術開発と講義を通しての学問習得の関連を平易に解説する。また、企業見学に関連して企業から講師を招き、わかりやすく産業界の動向を講演いただき、同時に大学時代の勉学の姿勢を含めてアドバイスをいただく。

電気電子工学セミナー

「エレクトロニクスの展望」 1単位 秋学期
黒田 忠広

〔授業科目の内容〕

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどうよう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらうのが目的である。セミナーは、電気メカ等の見学による課外講義と講演を軸に行う。講演は、電子工学科教員が順番に自分の専門分野を例にとり、産業界における技術開発と講義を通しての学問習得の関連を平易に解説する。また、企業見学に関連して企業から講師を招き、わかりやすく産業界の動向を講演いただき、同時に大学時代の勉学の姿勢を含めてアドバイスをいただく。(基本的に電気電子工学セミナーの継続である。)

電子回路基礎

2単位 春学期
小沢 慎治

〔授業科目の内容〕

トランジスタ等の素子を含む回路の動作についての講義を行う。電気・電子回路における現象の解析法ととも

に、増幅回路、演算増幅器などについて学ぶ。また2年秋学期に開講される「デジタル回路」への導入とする。

〔教科書〕

竹村裕夫著『電子回路の基礎』コロナ社

〔参考書〕

一部、授業で用いるスライドのコピーを配布します。

電子回路基礎

「アナログ回路の基礎と等価回路による解析」

2単位 秋学期
岡田 英史

〔授業科目の内容〕

非線形な特性をもつトランジスタ回路を、小信号等価回路で表現することで線形回路として解析する方法について解説します。トランジスタやオペアンプを利用したアナログ電子回路(増幅回路、発振回路)の基本動作を解析できるようになることをめざします。

〔教科書〕

電気・電子・情報工学系テキストシリーズ3
電子回路(高橋進一・岡田英史共著)培風館

電子回路同演習

「トランジスタと演算増幅器を用いた能動回路」

2単位 秋学期
宮下 照夫

〔授業科目の内容〕

増幅機能を持つ素子をふくんだ基本的な電子回路を取り上げて、能動回路の解析方法や実用回路の設計方法を易しく解説します。また、講義の中でしめされる演習問題を各自が解くことによって回路の動作を理解し、解析方法を身に付けるとともに応用力を養います。講義は、「電子回路基礎」の講義内容に含まれる受動回路の知識を踏まえて、トランジスタ素子や演算増幅器の回路要素としての特性を解説し、更にこれらを用いた実用的な能動回路網の特性解析や設計方法を、例題を用いて説明します。

〔教科書〕

プリントを配布します。

電磁エネルギー変換工学

「モータ、アクチュエータの原理と解析法」

2単位 秋学期
沢 孝一郎

〔授業科目の内容〕

物理現象の中には、圧電効果、Seebeck効果などエネルギー変換に関する様々な現象が存在する。特に、電磁エネルギーから機械エネルギーへの変換は産業の発展に関わる重要な工学分野であり、現在の科学文明を支える分野といっても過言ではない。こうした観点から、電気-機械エネルギー変換の基本原則からはじめ電気機械系システムの統一的解析手法までを概説し、電気機

械エネルギー変換システムの基本を知る。

【教科書】

村上 他著『電磁気工学』培風館と配布プリント

【参考書】

宮入庄太『大学講義最新電気機器学』丸善
難波江章『電気学会大学講座 基礎電気機器学』電気学会

電磁気学第1

「Maxwell方程式に立脚し真空・物質中の電磁場を解析する」

2単位 秋学期

宮島 英紀

【授業科目の内容】

電磁気学は1年生の物理学B・Dで、現象や分野別に勉強してきた。これらの電磁気学の諸現象は、物理学の中で最も美しい方程式、Maxwell方程式として集約される。物理学B・Dとは逆に電磁気学第1では、Maxwell方程式を出発点として、主として時間に依存しない静的な電磁気現象、回路素子の特性、および物質の電磁氣的性質などについて解説する。なお、時間を陽に含んだ動的な電磁気学は、3年次に電磁気学第2で講義する。

【教科書】

毎回プリントを配布し、これをもとに講義を行う。

【参考書】

1年生のときの教科書「物理学B、D」
後藤憲一、山崎修一郎共編「詳解電磁気学演習」(共立出版)
両者とも生協の書籍部で入手できる。

電磁気学同演習

2単位 春学期

畑山 明聖

【授業科目の内容】

本講義・演習では、第一学年で学んだ電磁気学を基礎として、電磁気学に対する理解をさらに確実なものとし、秋学期の応用電磁気学への足がかりを築く。以下の3点を、履修が終わった時点での達成目標とする：1) Maxwellの方程式がきちんとかけること、2) 方程式中の物理量及び方程式が記述する物理現象、基本法則の意味がしっかりと理解できていること、及び、3) 電磁気学の基本的な問題を自分自身で記述・定式化し、かつ、解くことができること。

【教科書】

ファインマン、レイトン、サンズ著、宮島龍興訳
『ファインマン物理学 電磁気学』(岩波書店)

電磁気学同演習

3単位 秋学期

野口 晃

【授業科目の内容】

物理学B、Dでの基礎的電磁気学をさらに深め、専門科目にも十分対応できる電磁気学を身につける。理解を確かなものとするため演習も同時に行う。

【教科書】

砂川重信著『電磁気学』岩波書店

電磁気工学

「Electromagnetic Engineering」

2単位 春学期

内山 太郎 村上 俊之

【授業科目の内容】

現代の産業機器システムの動力メカニズムは力学と電磁気学にその基礎を置いているといっても過言ではない。本科目はそのうち電磁気現象について電磁気力、電磁エネルギーに重点を置き、さらに電磁波までを理解することを目的とする。電磁気学は、とかく物理現象の解釈に偏りがちであるが、ここではとくに工学的視野に立って、具体例をあげてわかりやすい身近な学問としてシステムの設計に役立つ電磁気学を身につける。

1. 電荷と力
2. 電界中のエネルギーと力
3. 電流と力
4. 磁界中のエネルギーと力
5. 電磁界

【教科書】

『電磁気工学』培風館

電子デバイス・材料基礎

「電気・電子材料」

2単位 春学期

山下 久直

【授業科目の内容】

電子デバイスには多くの種類が用いられています。これらの材料は最先端の科学技術を支える重要な基盤となるものです。この講義では、電子工学科の基盤分野の基礎として、材料の種類、特性、応用などについて、解りやすく概説します。

統計解析

「データ解析のための基礎としての統計的推測」

2単位 秋学期

篠崎 信雄

【授業科目の内容】

標本データを記述するための基礎的概念・道具としての平均や分散の議論から始め、分割表、散布図、相関係数といった2次元データの記述について学びます。その上で、標本分布、推定・検定の統計的推測の議論に進みます。現実の問題に適用し情報を引き出すためには、統計学のものの見方・考え方を正しく理解することが必要であり、その修得に努めます。基本的な信頼区間や仮説検定の手法を使いこなせるようになり、その意味を正しく理解できるようになることをめざします。

【教科書】

篠崎信雄著『統計解析入門』サイエンス社

【参考書】

鷲尾泰俊著『日常のなかの統計学』岩波書店

東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』東京大学出版会

統計力学基礎

2単位 秋学期
中村 義春

〔授業科目の内容〕

われわれが目にする物理現象、たとえば、気体が示すさまざまな熱・力学的性質（気体の圧力や拡散など）やコンピュータ内の電子回路素子の動作特性（金属や半導体の電気伝導など）、さらには、物質の磁氣的性質はその根底に非常に多数の粒子の運動がかかわっています。粒子の数が多いため1つ1つの粒子の運動方程式からその全体の現象を解明することは不可能ですが、逆に、粒子数の多いことを利用し確率論の助けを借りることで、多数の粒子が作る現象の全体像を粒子固有の性質から解明することができます。この講義では統計力学の最新の展開について述べることはできませんが、さまざまな応用例をなるべくたくさん織り込んで統計力学の基本的な考え方を紹介します。それが今後皆さんが会うさまざまな問題を理解する助けになれば幸いです。参考書を下を選んでおりますが、特に統計力学に関してはすぐれた図書がたくさん出版されていますので、ここにあげた書物以外にも目を通し、幾通りかの説明・記述を比較しながら理解を深めることを是非奨めます。

〔参考書〕

市村浩著『統計力学』裳華房
朝永振一郎著『物理学とは何だろう(上・下)』岩波新書
長岡洋介著『統計力学』岩波書店

熱物理

「巨視的な現象の理解の基礎をかためよう。」
2単位 秋学期後半
藤谷 洋平

〔授業科目の内容〕

操作論的に平衡熱力学を講義する。ケルビンの原理、カルノーの定理を解説し、エントロピーを導入し、エントロピー原理を説明する。多成分の話には立ち入らない。なにが仮定で、どういう前提条件でなにが結論されるのかを、明確に講義したい。古典統計力学と熱力学との関係にもふみこみたい。

〔参考書〕

熱力学（培風館、田崎晴明著）

熱力学

2単位 秋学期
田島 圭介

〔授業科目の内容〕

以下に示す順序で講義を行う。

1. 熱力学の基礎概念
2. 熱と分子運動
3. 熱力学第一法則
4. 熱力学第二法則

5. エントロピー

6. 熱力学関数と平衡条件

7. 熱力学第3法則

8. 相転移と相平衡

また、演習時間も設ける。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

三宅哲：熱力学（裳華房） 同名の著者、本名、出版社の演習書もあるので注意。

演習書として、久保亮五編：大学演習 熱学・統計力学（裳華房）

熱力学の基礎

2単位 秋学期
小川 邦康

〔授業科目の内容〕

熱力学は機械工学の体系を支える重要な柱であり、広く工学全般の基礎となる学問分野である。日常的に経験しにくい内容や実感の伴いにくい量をあつかうことが多いので、なるべく平易に分かりやすく講義を行う。また、講義の理解を助けるために講義時間内に簡単な演習を行う。主要な講義の内容を以下に示す。

- (1) 熱と力学的エネルギーの関係について学び、熱と温度の概念を理解する。
- (2) 熱力学におけるエネルギーの保存則にあたる第1法則を学び、熱と仕事の等価性を理解する。
- (3) 本講義で主として対象とする理想気体の性質について学び、理想気体の状態変化と仕事、熱の出入りについて学ぶ。
- (4) 自然界の変化の方向とその不可逆性を表した第2法則を学ぶとともに、自然現象の不可逆性の尺度であるエントロピーの概念を理解する。また、変化の進む方向と平衡の条件についても理解する。
- (5) 実在気体について理想気体との違いについて理解し、相の変化と平衡、実在気体の状態方程式を学ぶ。

〔参考書〕

谷下市松著『工学基礎熱力学』

熱力学の基礎

「熱力学の基礎となる第一、第二法則、実在気体と理想気体」
2単位 秋学期

川口 修

〔授業科目の内容〕

熱力学は機械工学の体系を支える重要な柱であり、広く工学全般の基礎となる学問分野である。日常的に経験しにくい内容や実感の伴いにくい量をあつかうことが多いので、なるべく平易に分かりやすく講義を行う。また、講義の理解を助けるために講義時間内に簡単な演習を行う。主要な講義の内容を以下に示す。

- (1) 熱と力学的エネルギーの関係について学び、熱と温度の概念を理解する。

- (2) 熱力学におけるエネルギーの保存則にあたる第1法則を学び、熱と仕事の等価性を理解する。
- (3) 本講義で主として対象とする理想気体の性質について学び、理想気体の状態変化と仕事、熱の出入りについて学ぶ。
- (4) 自然界の変化の方向とその不可逆性を表した第2法則を学ぶとともに、自然現象の不可逆性の尺度であるエントロピーの概念を理解する。また、変化の進む方向と平衡の条件についても理解する。
- (5) 実在気体について理想気体との違いについて理解し、相の変化と平衡、実在気体の状態方程式を学ぶ。

【参考書】

谷下市松著『工学基礎熱力学』

熱力学の基礎

「熱力学の基礎となる第一、第二法則、実在気体と理想気体」

2単位 秋学期
泰岡 顕治

【授業科目の内容】

熱力学は機械工学の体系を支える重要な柱であり、広く工学全般の基礎となる学問分野である。日常的に経験しにくい内容や実感の伴いにくい量をあつかうことが多いので、なるべく平易に分かりやすく講義を行う。また、講義の理解を助けるために講義時間内に簡単な演習を行う。主要な講義の内容を以下に示す。

- (1) 熱と力学的エネルギーの関係について学び、熱と温度の概念を理解する。
- (2) 熱力学におけるエネルギーの保存則にあたる第1法則を学び、熱と仕事の等価性を理解する。
- (3) 本講義で主として対象とする理想気体の性質について学び、理想気体の状態変化と仕事、熱の出入りについて学ぶ。
- (4) 自然界の変化の方向とその不可逆性を表した第2法則を学ぶとともに、自然現象の不可逆性の尺度であるエントロピーの概念を理解する。また、変化の進む方向と平衡の条件についても理解する。
- (5) 実在気体について理想気体との違いについて理解し、相の変化と平衡、実在気体の状態方程式を学ぶ。

【参考書】

谷下市松著『工学基礎熱力学』

熱流体システム第1

2単位 春学期
佐藤 春樹

【授業科目の内容】

イントロダクション；熱流体システムの基礎的概念；流れを記述する方法；輸送性質の基本法則；熱流体システムの基礎方程式；集中定数系とダイナミクス；準静的過程とスタティクス；理想気体とその準静的な過程；相変化と線図の利用；熱力学の第2法則と不可逆過程；エントロピーと有効エネルギー；ガスサイクル；蒸気サイ

クル；最先端の熱流体システム

【教科書】

「熱流体システム第1」システムデザイン工学科

熱流体システム第1

「モデリングと熱力学」

2単位 春学期
長坂 雄次

【授業科目の内容】

熱および流体の関わる問題を、総合的に理解するための基礎的な科目である。従来の熱力学、流体力学を部分的に講義するのではなく、非平衡開放系からスタートし、熱流体システムにおける基礎方程式とモデル化の基本を教える。身近なテーマの演習問題やアニメーション等を利用して、本講義内容がデザインにどのように役立つかを強調する。熱流体システム第2とは内容が連続している。

【教科書】

学科で作成し配布するテキスト。

【参考書】

JSMEテキストシリーズ、「熱力学」、(日本機械学会、2002年、1886円)

熱流体システム第2

2単位 秋学期
佐藤 洋平 谷下 一夫

【授業科目の内容】

システムデザインに即座に適用できる、流体力学及び流体工学に関して授業を行う。

【教科書】

システムデザイン工学科用意

パターン情報処理

「学習理論と計算機科学の基礎」

2単位 秋学期
榊原 康文

【授業科目の内容】

コンピュータを用いてデータの中から特徴的なパターンや規則を抽出する技術をパターン認識という。本講義では、パターン認識について理論的にアプローチする学習理論を中心に説明する。帰納的推論、極限における同定、確率的近似学習などの話題を取り上げる。また、パターン認識を勉強する上で必要とされる計算機科学や人工知能の基本的なことからについても説明する。

【教科書】

なし。

【参考書】

榊原・小林・横森著『計算論的学習』培風館
石井健一郎 他著『パターン認識』オーム社

反応速度論

「化学反応の起こりやすさと仕組み」 2単位 秋学期
仙名 保

〔授業科目の内容〕

すぐれた機能を持つ材料を作り、エネルギーを使いやすい形に変え、物を有効に再利用して地球をこれ以上汚さないようにするにはどうしたらよいか、といった大切な問題の核心には、必ず化学反応が関係しています。目的に合った化学反応を、効率よく起こさせるためにはまず、それぞれの反応の仕組みを知る必要があります。原子や分子が、どのように出会ってその姿を変えていくかは、反応の速さが、温度と共にどのように変化していくかを詳しく調べることから、だんだんと解っていきます。その際、反応が起こるときにどうしても越えなければならないエネルギーの山？活性化エネルギー？の正体を理解することが大切です。反応速度論という、ちょっといかめしい名前の講義の中味は、実はこのような原子や分子の出会いと別れのドラマです。反応の速さはどうやったら測れるか、分子の衝突と反応速度とはどのような関係があるかなど、現象と理論の両面から、たくさんの実例やイラストを使って、できるだけわかりやすく解説します。

〔教科書〕

指定しませんが、毎回プリントを配布します。

〔参考書〕

最近10年以内に書かれた物理化学のテキストを一冊持っている、ハンドブック代わりにもなって便利です。具体的には、最初の授業のときに示します。

反応有機化学

「有機化学反応をいかに理解するか」 2単位 秋学期
山田 徹

〔授業科目の内容〕

複雑で膨大な数の有機化学反応を反応形式で分類し、電子密度の片寄り、立体規制などの基本原理にもとづく理解を目指す。有機反応の基礎・酸と塩素・求核置換反応・脱離反応・求核付加反応・求核付加・脱離反応・求電子付加反応・芳香族求電子置換反応・芳香族求核置換反応「曲がった矢印」で電子の流れを記述できること、反応を理解することを学ぶ。

〔参考書〕

参考書：

ボルハルト・ショアー、古賀・野依・村橋監訳『現代有機化学』化学同人

ストライトウィーザー、湯川泰秀監訳『有機化学解説』廣川書店

畑一夫著『有機化合物の命名 - 解説と演習 - 』培風館、ISBN 4-563-04222-6

演習書：

吉原・神川・上方・藤原・鍋島共著『有機化学演習』三共出版

ヒューマン・ファクターズ

「人間の諸特性に関する管理工学的基礎」 2単位 秋学期
行待 武生

〔授業科目の内容〕

サブタイトルと授業の計画の欄を参照のこと。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

関連する書名の本は沢山ありますが、大体、机上の空論で役に立ちません。というわけで、参考書は事実上ありません。

複素解析

「正則関数とその応用」 2単位 春学期
国松 昇

〔授業科目の内容〕

いままで学んできた実変数関数に対して、この講義では複素数を独立変数とする『複素微分可能な関数（正則関数）』について学ぶ。正則関数は実微分可能関数ではみられなかった様々の性質を備えており、それゆえに応用上も非常に重要である。

〔教科書〕

州之内治男・猪俣清二共著『関数論』サイエンス社
R.V.チャーチル、J.W.ブラウン共著、中野實訳『複素関数論入門』サイエンティスト社
(担当者により指定される。)

複素解析

「正則関数とその応用」 2単位 春学期
中野 實

〔授業科目の内容〕

いままで学んできた実変数関数に対して、この講義では複素数を独立変数とする『複素微分可能な関数（正則関数）』について学ぶ。正則関数は実微分可能関数ではみられなかった様々の性質を備えており、それゆえに応用上も非常に重要である。

〔教科書〕

R.V.チャーチル、J.W.ブラウン共著、中野實訳『複素関数論入門』サイエンティスト社

〔参考書〕

特には無い。

複素解析

「複素変数複素数値関数の微分積分」 2単位 春学期
本田 郁二

〔授業科目の内容〕

複素関数の微分積分計算が行えるようになることを当面の目標とします。

そのために原則として毎回講義の後に演習を行います。

【教科書】

使いません。補充プリントを配布します。

【参考書】

補充プリント内で提示します。

物質の精製分析

「相平衡の物理学」

2単位 秋学期

山元 公寿

【授業科目の内容】

物質の機能や物性を正確にしかも効率よく引き出し利用するために、分離・精製して高純度の物質を得ることは極めて大切である。物質の分離・精製の過程は相平衡を基盤にしているものが多く、これを中心に物理化学の立場から平易に解説する。次の項目について演習も含めて講義する。

- 1) 相平衡
- 2) 分配平衡 (溶媒抽出)
- 3) 沈殿平衡 (沈殿、再結晶)
- 4) クロマトグラフィー
- 5) 蒸留による分離 (気液平衡)
- 6) 結晶化による分離 (固液平衡)

【教科書】

なし。

【参考書】

プリント配布。

物理学演習第1

1単位 秋学期

能勢 修一

【授業科目の内容】

「量子力学第1」の演習をおこなう。したがって本科目の受講者は上記の講義を受講しているものと仮定して授業をおこなう。量子力学の具体的な問題や、その解法に必要な数学の問題を解くことで、講義の理解を深めることを目的とする。

物理学演習第2

1単位 秋学期

能勢 修一 光武亜代理

【授業科目の内容】

電磁気学第1の講義、物理数学 (複素解析、フーリエ変換、ラプラス変換、特殊関数など) に関する演習を行う。従って、本科目の受講者は電磁気学第1、複素解析の講義を受講しているものと仮定して、授業を行う。また、振動波動論、応用数学、応用解析第1を受講していることが望ましい。

【参考書】

電磁気学 (学部生の時に、下記の参考書または自分が気に入った本を読むことを望みます。)

後藤憲一、山崎修一郎著「詳細電磁気学演習」(共立出版)
砂川重信著「理論電磁気学」(紀伊国屋書店)

後藤尚久「なっとくする電磁気学」(講談社)

砂川重信著 物理テキストシリーズ「電磁気学」(岩波書店)

砂川重信著 物理テキストシリーズ「電磁気学演習」(岩波書店)

ファインマン著ファインマン物理学 「電磁気学」(岩波書店)

ランダウ=リフシッツ「電磁気学」(東京図書株式会社)

ジャクソン著「ジャクソン 電磁気学(上)」(吉岡書店)

物理数学 (下記の参考書から問題を出す場合が多い)

弥永守著「理工学部のための応用数学」(朝倉書店)

後藤健一、山本郁夫、神吉健著「詳細 応用物理数学演習」(共立出版)

神部勉、有馬朗人「物理のための数学入門 複素関数論」(共立出版)

物理情報数学A

2単位 春学期

大橋 良子

【授業科目の内容】

様々な物理現象の理解とその工学上の応用の基礎として重要となる 複素解析、および フーリエ解析の基礎を学ぶ。

【教科書】

特に指定しない。プリントを配布する。

物理情報数学B

「数理から物理まで横断的に「線形の数理」を学ぶ」

2単位 春学期

相吉英太郎

【授業科目の内容】

大学での「線形代数」という科目で初めて「線形」という用語に接しますが、小学校で習う「1次関数」から、高校で習う「ベクトルや行列」や「微分・積分」まで、そして高校の物理で習う「運動方程式」から「電気回路」に至るまで、これらすべてに「線形」という共通した性質があります。つまり、これまで習得してきた数学や物理の多くの事柄が、場合によっては経済現象や社会現象までも「線形現象」として、統一的に把握できます。そして、これらの性質が工学的に利用され、様々な技術を生み出してきました。この科目では、小学生以来大学1年生までに習得したことを、「線形」という概念の「横糸を通す」ことによって、統一的に把握してその知識を工学の分野に応用できるようにし、1冊の教科書には書けない、きわめて横断的な数理的知識を学習します。

【教科書】

数回に1回の割合でプリントを配布します。この授業およびプリントの内容は非公開としますので、プリントのコピー・転用・他人への譲渡を厳禁とします。

【参考書】

授業全体の参考になるような1冊を紹介することは不可能ですので、授業中に適宜紹介します。

プログラミング演習

「システムデザインのためのプログラミング技法」

2単位 秋学期

大森 浩充 大槻 真嗣

〔授業科目の内容〕

物理システムを対象として、高性能な計測制御システムを総合的に構築するには、実際の物理モデルと整合性のあるプログラムの作成法を習得し、情報の処理・変換・伝送などをマイクロコンピュータに実行させる必要がある。本講義では、単にソフトウェアを使用した情報の取り扱い手法を習得することよりも、物理システムとマイクロコンピュータ間の情報のやりとりを通して最適なシステムをデザインすることを目的としたプログラミングの方法論の習得に重点が置かれている。具体的には、計測制御用コンピュータを理解する上で基礎となる計算機の基本構成、入出力インターフェースの基礎を理解し、C言語を用いたプログラミング実習により、計算機ユーザとして必要とされるシステム計測・制御と画像処理等の情報処理の基礎知識およびプログラミング技法を習得する。

〔教科書〕

SD配布のテキストを利用する。

〔参考書〕

特に指定しないが、C言語の参考書は多く販売されている。

プログラミング演習

「システムデザインのためのプログラミング技法」

2単位 秋学期

中澤 和夫 矢向 高弘

〔授業科目の内容〕

物理システムを対象として、高性能な計測制御システムを総合的に構築するには、実際の物理モデルと整合性のあるプログラムの作成法を習得し、情報の処理・変換・伝送などをマイクロコンピュータに実行させる必要がある。本講義では、単にソフトウェアを使用した情報の取り扱い手法を習得することよりも、物理システムとマイクロコンピュータ間の情報のやりとりを通して最適なシステムをデザインすることを目的としたプログラミングの方法論の習得に重点が置かれている。具体的には、計測制御用コンピュータを理解する上で基礎となる計算機の基本構成、入出力インターフェースの基礎を理解し、C言語を用いたプログラミング実習により、計算機ユーザとして必要とされるシステム計測・制御と画像処理等の情報処理の基礎知識およびプログラミング技法を習得する。

〔教科書〕

配布資料。

プログラミング基礎同演習

「C言語によるプログラミング入門」 2単位 秋学期

田中 敏幸

〔授業科目の内容〕

C言語を用いて、コンピュータシミュレーションに必要なプログラミング技法の基礎を習得することを目的とする。各講義時間の後半に、その日に習ったC言語文法を用いたプログラミング実習を行い授業内容の理解を深める。また、実習は短時間でできる簡単な題材を扱うため、3週に一度程度の割合でプログラミングに時間のかかる課題を宿題とし、結果を提出してもらう。課題の作成によってそれまでに習ったC言語文法を体系的に理解し、いろいろな問題を解決できるようになる。授業の内容は次のようになっている。

〔教科書〕

田中敏幸著『C言語によるプログラミングの基礎』
コロナ社

プログラミング言語

「C言語の学習と実践」

2単位 春学期

榊原 康文

〔授業科目の内容〕

C言語の学習と実践を通して、プログラミングの基本的な考え方と、技術を習得することを目標とする。C言語は、現在もっとも広く使われている実際的なプログラミング言語である。まずはじめに、プログラムの制御構造と基本的なデータ型、及び関数の使い方を学習する。次に、より実際的なプログラミング技術を習得することを目指し、関数の再起処理やポインタ、ファイル処理などを学習する。毎回、講義中にプログラミングの演習を行う。成績評価は、4回くらいを予定しているレポートと期末試験により行う。プログラミングの勉強は、とにかく自分でプログラムを作成して、何度も間違いを起こすことを通じて、プログラミング技法を覚えていくことが重要である。

〔教科書〕

石田晴久他著『入門ANSI-C』実教出版

〔参考書〕

カーニハン・リッチー著 石田訳『プログラム言語C
(第2版)』共立出版

プログラミング言語

「コンピュータのプログラムを作ってみよう」

2単位 春学期

櫻井 彰人

〔授業科目の内容〕

自分でコンピュータのプログラムが書けるようになるためのプログラムの基礎を学ぶ。プログラミング言語はJava言語を使用する。授業時間外にパソコンでプログラムを作成し、レポートとして提出する。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

Java入門書がたくさん書かれています。自分の気に入ったものを選びたい。また、WWW上にも多くあります。

プログラミング実習 2単位 春学期
江藤 幹雄 古池 達彦

【授業科目の内容】

物理学における計算機の役割は、最近ますます重要になって来ている。複雑な現象を解明する理論研究の手段として、実験結果の解析の道具として、計算機を使用する機会は非常に多い。この授業では計算機のプログラミングを初歩から解説し、その実習を行う。言語はFORTRANを使用する。物理学の基本的な問題を中心に課題を与え、各自がプログラムを作って計算する形の実習を行う。

【教科書】

浦昭二『FORTRAN77 入門』(改訂版) 培風館

プログラミング第1同演習 2単位 春学期
「初めてのプログラミング」 岡田 謙一

【授業科目の内容】

プログラミングの未経験者もしくは初心者を対象として、Cによるプログラミングの基礎を学ぶ。講義では主に文法の基礎を、コンピュータを操作しながら学ぶ。演習では若干進んだプログラミング技法を説明し、毎回プログラミングレポートを提出する。

【教科書】

岡田謙一、屋代智之：改訂新版C/C++教科書(ソフトリサーチセンター)

【参考書】

岡田謙一、重野寛他：C/C++ワークブック(ソフトリサーチセンター)

プログラミング第3同演習 2単位 秋学期
「C言語中級コース」 斎藤 博昭 山崎 信行

【授業科目の内容】

C言語を正確により深く理解するとともに、C言語を用いたプログラミング能力を磨く。

【教科書】

独自のものを販売します。

【参考書】

授業時に紹介します。

プログラム実習

「プログラミング言語Cとその応用」 2単位 春学期
真田 幸俊 中野 誠彦

【授業科目の内容】

コンピュータを用いて問題を解決するためのアルゴリズムとそのプログラミング言語での記述について講義および実習を行う。プログラミング言語にはC言語を用いる。初回の講義は全体で行うが、実習は原則としてプログラミング言語の習熟度に応じたグループに分けて行うことにする。

【参考書】

中野 誠彦『プログラミング言語C』

分子生物学第1 2単位 秋学期
柳川 弘志

【授業科目の内容】

生物の全ゲノム塩基配列情報を基礎として、全ゲノム機能の解明を目指すゲノム生物学(統合化生物学)の確立は、21世紀の生命科学の大きな命題である。このようなゲノム生物学時代にさしかかる今、分子生物学はその基盤をなす学問である。具体的には、分子生物学は生命を遺伝子、分子、細胞の三つの主要な構成要素の切断面で理解しようとする学問である。生命の中心教義であるセントラルドグマを構成している遺伝情報の伝達、遺伝物質DNAの構造、DNAの複製、DNAの修復と組み換え、突然変異、遺伝子発現とその調節、DNAの転写とRNA合成、RNAの成熟化とスプライシング、RNAの多様な触媒機能、翻訳反応の機構と制御、等を中心に解説する。

【教科書】

『分子細胞生物学』(上)第4版、H. Lodishら著、野田春彦ら訳、東京化学同人

分析化学

「Analytical Chemistry」 2単位 秋学期
鈴木 孝治

【授業科目の内容】

前提科目である「分析化学基礎」の授業で、化学物質に関する十分な知識を身につけた。また、物質を分離する手法や理論的思考方を学んだ。この授業では、物質を検出する手法を学ぶことを中心に、分離分析の実際と使う機会の多い汎用の機器分析の基礎を講義とビデオで学ぶ。

1. 化学分析と機器分析の基礎
2. 分離分析
3. 光関連分析
4. 磁気関連分析
5. 電子関連分析
6. 分析化学トピックス

【教科書】

毎回プリントを配布する。

分析化学基礎

「Basic Analytical Chemistry」

2単位 春学期
鈴木 孝治

〔授業科目の内容〕

物質を分離し、同定し、定量する。この操作を確実に
行うためには、先ず様々な物質そのものの性質や特性を
十分理解していなければならない。このことを念頭に置
き、本科目では物質化学に立脚した分析化学および機器
分析の基礎について学ぶ。

- ・分析化学体系
- ・化学物質の性質と見方
- ・化学物質の平衡
- ・物質の分離と検出

必要に応じて演習を行う。

〔教科書〕

毎回プリントを配布する。

〔参考書〕

基礎化学コース『分析化学I』丸善

分布系の数理

2単位 秋学期
本多 敏

〔授業科目の内容〕

【概要】

物理現象を情報として扱うということはシンボル/記
号化するということから始まります。物理的变化を担う
媒質が空間的に連続に分布しているような、物理学工学
のいろいろな分野で現れる連続体の問題を、線形分布定
数系という共通性に着目して理解できるようにします。
数学的には応用偏微分方程式論に相当する内容ですが、
物理的工学的意味を物理情報として理解できるようにし
ます。

【学習の目標】

講義計画に示した毎回の演習を通じて

- ・放物型・楕円型・双曲型偏微分方程式が表現する拡
散、熱移動、対流、振動、波動、ポテンシャル等の物
理現象が理解できる。
- ・現実のそれらの問題を境界条件も含めて定式化でき
る。
- ・あたえられた問題を、変数分離法、積分変換法等を用
いて解くことができる。
よくなることをめざします。

〔参考書〕

スタンリー・ファーロウ(伊理訳)『偏微分方程式』
啓学出版

無機化学

「無機化合物の構造と性質を理解するための基礎」

2単位 秋学期
井上 秀成

〔授業科目の内容〕

無機化学は100以上の元素とそれらの化合物を対象に
しますが、この講義では時間的な制約から無機化学を理
解するために必須な事柄のみを扱うことにする。まず、
水素原子のSchroedinger方程式から出発して水素原子の
電子構造、多電子原子の電子構造、元素の周期律につ
いて復習する。その上で、二原子分子および簡単な分子の
電子構造を分子軌道法により把握する。この分子軌道法
を結晶あるいは連続体に適用して、固体の電子状態(あ
るいはバンド構造)を理解する。また、無機化学に登場
する分子や金属錯体の幾何学的構造を群論の初歩によ
りとらえる。この分子の対称性の知識に基づいた配位子場
理論により金属錯体の電子状態を解釈する。これらの無
機化学の基礎を修得した後、d およびf ブロック元素
とそれらの化合物について解説する。具体的には、各元
素の精錬法、金属錯体、工業的用途、材料としての利用、
生物との関わりなどについて説明する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

D.F.Shriver,P.W.Atkins,C.H.Langford 著(玉虫、佐藤、
垣花 訳)『無機化学』(上・下)東京化学同人、
1998年
福田、海崎、北川、伊藤 編『詳説無機化学』講談社
サイエンティフィック、1997年

有機化学基礎

「有機化合物の合成と反応入門」

2単位 春学期
山田 徹

〔授業科目の内容〕

1年生の化学Dで有機化学の電子論、立体化学を総論
的に学んだことを基礎に、重要な官能基について、個々
に合成法、反応性を解説する。各化合物間の相互の関
係についても考察し、体系化した視点から俯瞰的に有機
化学全体を眺めることの面白さをも忘れないようにした
い。内容を箇条書きにすると以下のようである。

〔参考書〕

ボルハルト・ショアー著『現代有機化学』(第3版
上・下)化学同人
畑一夫著『有機化合物の命名 解説と演習』培風館、
ISBN 4-563-04222-6

有機反応論

「有機化学、反応機構」

2単位 秋学期
宮本 憲二

〔授業科目の内容〕

有機化合物の反応がどのように進行するかを予測する
こと、反応の結果をきちんと解釈し理論的な説明を付け
ることは非常に重要である。新しい化学反応を見出すと
いう有機化学的な意味だけではなく、生体内の様々な生
合成反応、代謝反応も有機化学の反応理論によって説明
できる。したがって生命機能、生命システムを理解する
上で必須の素養である。有機化合物の反応はおよそ以下

の要素に支配されていることを様々な場面で応用できるよう理解を深めていきたい。

- (1) 電子の片寄りの度合い
- (2) 立体化学の高高さ
- (3) 立体化学的な形

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

右田俊彦、永井洋一郎「有機反応機構」、裳華房

有機立体化学

「三次元でみた有機化合物の構造と反応性」

2単位 秋学期
只野 金一

【授業科目の内容】

天然より見出される多種多様な有機化合物も、実験室で化学合成される有機化合物も、それらの大半は三次元立体構造をもつ。Sp³混成をした炭素原子が、正四面体構造をとる事に由来した結果である。酵素などの生体触媒により司られる生体内での化学反応の本質を理解するためにも、機能性分子を創製する際にも、研究目的とする有機分子を三次元構造で捉えねばならない。2001年度のノベル化学賞が我が国の野依良治博士に授与されたが、この快挙は「有用な有機化合物を望む三次元構造をもつものとして化学合成する」という野依博士の研究業績が評価された結果である。本講義ではまず有機化合物を立体構造の視点から説明し、ついで有機化合物が行う化学反応を立体化学的な見地から考察し、さらには三次元構造をもつ有機化合物を実際に合成合成する手段について順次講述していく。受講者に、有機化合物を三次元構造で捉えることに慣れ、また有機化学反応を立体的に考えるようになってもらうことを講義の目的・目標としていく。

【教科書】

特に指定はしません。

理工学基礎実験

2単位 春・秋学期
富田 豊

【授業科目の内容】

春学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABCを、また、秋学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABDの組合せによって全12課題について実験、レポートの提出、討論を完結する。

- A実験： 1. トランジスタ増巾回路
2. 熱の移動
3. 機械加工
4. 応力およびひずみの測定
5. 流体の流動
- B実験： 1. 音波の干渉
2. 偏光
3. 分光測定
4. 回路の共振

5. マイケルソンの干渉計

- C実験： 1. 吸光度法による銅の定量
2. ガスクロマトグラフ法
3. pHと電離平衡
4. 可逆電池の超電力と平衡定数
- D実験： 1. 表示系のヒューマンインターフェース
2. コンピューションコンプレキシティ
3. 経営意思決定問題
4. グラフィカルデータ解析
5. 幾何学的確率の実験

【教科書】

『理工学基礎実験』(慶應義塾大学理工学部編)

流体力学の基礎

2単位 秋学期
植田 利久 澤田 達男
益田 重明

【授業科目の内容】

地球や惑星大気の運動、海流、河川の流れ、建物周辺の風や室内の気流、液体金属や液晶、血液、呼気の流れ、大気圏を飛行する物体の運動や発熱、自動車エンジンや蒸気タービン内部のガスや蒸気の流れ、ミクロな粒子やバクテリアの運動など、我々の身の回りには流れの問題があふれている。しかも、それらは大抵の場合、システムにとって致命的なほど重要である。様々な流れの問題を力学的に解決する学問が流体力学で、その骨組みの部分をこの「流体力学の基礎」および3年春学期の「流体力学」において学ぶ。

【教科書】

F.M.White 『Fluid Mechanics 5th Edition』, McGraw-Hill International Editions

量子化学基礎

「化学結合論、分子軌道法、分子の震動回転運動」

2単位 秋学期
藪下 聡

【授業科目の内容】

化学的な視点から量子論の基本を学び、分子中の電子状態および分子の振動回転運動を題材に、様々な化学現象にとって量子論の考え方がなぜ必要なのかを理解する。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントはwebサイト <http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html> よりダウンロードできます。

パスワードなどは最初の授業でお知らせします。

【参考書】

田中政志、佐野充『原子・分子の現代化学』学術図書
茅幸二編著『物理化学演習』裳華房
朽津耕三・濱田嘉昭『量子化学』放送大学教育振興会
小林常利『基礎化学結合論』培風館
藤永茂『入門分子軌道法』講談社サイエンティフィク

平尾公彦・加藤重樹『化学の基礎』講談社サイエンティフィック

量子力学基礎同演習

「『エレクトロニクス』を学ぶための基礎物理の1つ」
3単位 春学期
梅垣 真祐

〔授業科目の内容〕

本科目は、電磁気学、統計力学と共に、20世紀後半の技術社会の根幹を成した「エレクトロニクス」を理解する上で不可欠な基礎物理の1つである。21世紀は、さらに発展させた「電子技術」と、20世紀後半になって現れたレーザーを基とする「光技術」とを融合した「フォトンクス」の時代と言われる。レーザーもまた基礎物理に立脚した電子技術の産物である一方、将来の電子デバイス、光デバイスにおいては量子効果を十分に発揮させたデバイスが多用されるものと予想される。授業は教科書中心に進めるが、上述の応用を念頭におき、固体物理、レーザー物理さらには量子化学との関連を理解するため、随時、参考書の内容についても触れる。教科書の範囲外の内容についてはプリントを配布する予定であるが、教科書の範囲内の内容についても教科書だけに頼らない自習を勧める。そのための参考書等は、授業を進めていく中で紹介する。また、自習できるという学生諸君には授業への出席は強要しないが、3回のテスト形式の演習以外にもほぼ毎回、小演習を実施する。学生の講義への理解を深めるだけでなく、学生の理解度を教員が知っておく必要があるからである。

〔教科書〕

砂川重信著『量子力学の考え方』岩波書店（物理の考え方シリーズ4）

〔参考書〕

朝永振一郎著『量子力学I、II』みすず書房
R.H.Pantell and H.E.Puthoff, John『Fundamentals of Quantum Electronics』Wiley & Sons, Inc.
山下次郎他訳『キッテル固体物理学入門(上・下)』丸善
原田義也著『量子化学』裳華房

量子力学第1 2単位 秋学期
福田礼次郎

〔授業科目の内容〕

本格的な量子力学の履修の始まりと考える。
量子力学の基本原理解、数学的な構造、観測と観測値、シュレーディンガー表示とハイゼンベルグ表示、対称性と保存則、(できれば群論との関係) 時間発展と定常問題、角運動量、など。

〔参考書〕

特に指定しない。

量子力学入門

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」
2単位 春学期
川村 清 齋藤 幸夫

〔授業科目の内容〕

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

〔教科書〕

川村清『量子力学』(産業図書)

量子力学入門 2単位 秋学期
椎木 一夫

〔授業科目の内容〕

原子、分子などのミクロな世界を支配する物理法則は日常世界における常識とは必ずしも相いれない。ミクロ世界の法則を理解して、ここから情報を得て制御する、つまり新しい機能性材料を開発したり電子波デバイスなどの先端素子を研究する、その準備段階として、量子力学の基礎を学ぶ。演習を行い、勉強した内容が使えるようになることを目標にする。

〔教科書〕

椎木一夫著『工科系 量子力学』裳華房

力学的アナリシス 2単位 秋学期
野口 裕久 吉田 和夫

〔授業科目の内容〕

静力学と動力学に関するモデリングの基礎を力学的モデリングで学んだ後、その特性と応答解析の基礎を学ぶために設けられた科目である。機械工学、建築工学、土木工学の基礎としての静力学、動力学、機械力学、材料力学などの基礎知識を習得でき、基礎的で重要な科目である。近年制御工学、ロボット工学などの学際的な分野においても、対象は力学系であることが多く、エンジニアリングの広範な分野の基礎を学ぶことができる。

〔教科書〕

自作テキスト

〔参考書〕

坂田勝著『工学力学』共立出版
下郷、田島著『振動学』コロナ社
日本機械学会『機械システムのダイナミクス入門』丸善

力学的モデリング 2単位 春学期
野口 裕久 吉田 和夫

〔授業科目の内容〕

システムデザイン工学科のカリキュラムの一つの重要な柱として、静力学および動力学がある。これらの基礎知識はエンジニアにとって必須の基礎学力である。本科目は、静力学と動力学の学問的な基礎を学び、それらの知識を基にして物理現象のモデリングの方法を学ぶために設けられた基礎科目である。なお、力学を横断的に学ぶことができるように縦割りの内容を講義するのではなく、静力学と動力学を融合した教育を行う。以下の項目について講義する。

〔教科書〕

自作テキスト

〔参考書〕

坂田勝著『工学力学』共立出版

『L.Meirovitch Introduction to Dynamics and Control』Wiley

総合教育科目

遺伝子の科学 2単位 春学期
梅澤 一夫

〔授業科目の内容〕

1950年代にWatson-Crickのモデルが提唱され、分子レベルの生物学が盛んになった。1970年代にはDNAの操作技術が飛躍的に進歩して、現在では生物学のほとんどすべての分野で、DNAがかかわって研究が行われるようになった。本講ではDNA操作の実際(ビデオ使用)、最近の生物学と医療をDNAの役割を中心に説明してゆきたい。

1. 生体物質入門
2. 生命の情報の流れ
3. 遺伝子の構成
4. 遺伝子操作
5. ノックアウトマウス
6. その他のトピック

初学者用に「生体物質入門」を入れ、遺伝子は実際にどんな風に扱われているかをビデオで説明。

宇宙科学 2単位 春学期
「宇宙人はいるだろうか」 加藤万里子

〔授業科目の内容〕

この講義では、現代天文学が明らかにした宇宙の姿を解説する。

宇宙はビッグバンで始まり、大規模構造や銀河、最初の星が形成された。星は今でも生まれたり死んだりしている。星の中では核融合反応により重い原子核ができ、

超新星爆発などの折りに宇宙にまきちらされる。太陽系は宇宙誕生後100億年たってから誕生した。惑星の形成についてもかなりわかってきている。それらの知識をふまえて、宇宙人はいるのかについても考えたい。

〔教科書〕

加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

現代物理学概論

「素粒子物理学の過去・現在・未来」 2単位 秋学期
平田 光司

〔授業科目の内容〕

素粒子物理学は、物質の根源的な存在形態を研究する分野である。物質を細かくしていくと、原子、原子核、核子(陽子や中性子、中間子)そして核子を構成する基本粒子クォークにいきつく。現在では、クォークとレプトン(電子やニュートリノ)そしてそれらの相互作用を媒介するゲージ粒子によって、(重力を除く)すべての現象が理解されている、と信じられている(素粒子の標準理論)。素粒子物理学は理論と観測、そして実験のための装置である加速器によって構成される。20世紀後半における理論、観測、加速器の進歩によって、どのように標準理論が構築されてきたか、その歴史的な経緯を追うことによって、人類が到達した物質の極限の世界を紹介する。また、どのような政治的、社会的背景のもとで、そのような研究が推進されたのか、そこを考えることにより、現代社会と基礎科学との関係についても議論したい。講義は(1)素粒子の理論(2)実験の手法(3)加速器(4)社会との関係について、それぞれ解説する。歴史的には、これらすべてが半ば独立に、なかばもつれあって進んできたので、これら4つのテーマを別個にあつかうことはできないが、最低限、それぞれについての基本的な知識を持つように、授業を進めたい。

〔予備知識〕

高校までの数学、物理学の知識は必要に応じて復習するようにします。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

レーダーマン・シュラム『クォークから宇宙へ』東京化学同人
平田光司『加速器とビームの物理』(岩波講座・物理の世界) 岩波書店

人体の生理

「人体調節の分子機構とその破綻」 2単位 秋学期
河上 裕

〔授業科目の内容〕

担当教員：河上裕・桑名正隆・桜井敏晴・藤田知信・松崎ゆり子・住本秀敏・塚本真

医学部先端医科学研究所では生体防御機構の一つである免疫システムの研究を行っている。免疫系はリンパ球などの様々な血液細胞がネットワークを形成して、細菌

やウイルスなどの微生物から体を守っている。AIDSでは、HIVによりリンパ球が破壊されるために、通常ではかからない微生物や癌におかされてしまうことは、免疫機構の重要性を示している。また、免疫ネットワークは神経・内分泌・免疫と呼ばれるように、神経系による情報伝達や内分泌系の各種ホルモンとも相互作用を行っている。このように、人体は、外界からの影響に対して、様々な制御システムにより、その恒常性が維持されているが、それが破綻したときに病気となる。例えば、免疫機構の異常により、免疫系が自己の体を障害してしまう自己免疫疾患や、外来分子に異常に反応してしまうアレルギーなども起こる。本講義では、人体の恒常性維持機構に関して、マクロな生理学から、細胞生物学としての細胞間相互作用、細胞内での遺伝子、蛋白質などの分子調節機構まで、その概要を解説する。正常調節機構の破綻による病気の一つとして、癌や自己免疫疾患などの病態も紹介する。現在、多くの生命現象が分子レベルで説明できるようになってきたが、まだ、不明なことだらけである。そのために、多くの病気の発症機構は明らかでなく、よい治療法も存在しない。これらを解決していくためには、今後の分子レベルでの、さらなる研究が必要である。そこで、最近、話題のヒトゲノム計画も含めて、現代の医学研究の手法についても紹介したい。理工学部の学生にとっても、このような生物の巧妙なシステムとその破綻による異常、またその研究方法を知っておくことは、役立つのではないかと思う。知的好奇心旺盛な熱意のある方の受講を希望します。

【教科書】

特定の教科書は指定しませんが、生理学、細胞生物学の薄い本を読むことを勧めます。

【参考書】

必要であれば講義で紹介します。(オックスフォード生理学、丸善など)

心理学

「個性・発達」

2単位 春学期

村瀬 旻

【授業科目の内容】

今日の心理学は自然科学・人文科学・社会科学の領域を含む大きな学問体系です。そうしたなかで、私は自分のバックボーンとなっているカウンセリング心理学と実験心理学を反映した講義を行います。講義は「私たちの日常生活を心理学の目(心理学の概念)で見ることができるようになること」をねらいとし、生活のなかでのさまざまな出来事と心理学研究での知識とを結びつけて、人間の心理への理解と生活への応用とを考えていきます。

心理学 は私の学んだカウンセリング心理学を背景としています。人間の生涯にわたる発達と個性の形成をテーマとし、出生から死去まで、私たちがまわりの人たといかにかわり合い成長発達していくかを考えていきます。

心理学 では授業の進め方としてグループ・ディスカ

ッションを多く用います。これはテーマにしたがって“個性”を知り、まわりの人たちとのかわり合いを知ることだけでなく、心理学 が春学期科目であり、履修者の多くが1年生であることから、お互いを知り合い、キャンパスライフにできるだけ早く馴染めるようにと考えて行っています。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

講義内容に応じて紹介します。

心理学

「学習・認知」

2単位 秋学期

村瀬 旻

【授業科目の内容】

講義は、心理学 と同様に、「私たちの日常生活を“心理学の目”(心理学の概念)で見ることができるようになること」をねらいとし、生活のなかでのさまざまな出来事と心理学研究での知識とを結びつけて、人間の心理への理解と生活への応用とを考えていきます。

心理学 は私の学んだ実験心理学を背景としています。(心理学 のテーマである、人間の生涯にわたる発達と個性の形成のもとにある)私たちが経験から学ぶこと(学習) またそこから自分自身や自分のまわりの世界にたいする見方・考え方を形成していくこと(認知)とをテーマとし、そのことについて主に実験心理学的な手法によって得られた知識を紹介していきます。

内容として心理学 の後に心理学 を履修することを標準に考えていますが、心理学 を先に履修しても理解できるように、また心理学 だけの履修であってもまともな計画されています。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

講義内容に応じて紹介します。

生物科学入門

「ヒトの生物学：疾患を分子で捉える」 2単位 春学期

中村真理子

【授業科目の内容】

生体を1つの宇宙と見なすと、その中で起こっていることは無数のランダムなイベントの結果であることがわかります。近年問題になっている抗生物質に対する耐性菌の問題、免疫系の多様性を説明するclonal selection theoryなどは、まさに生物がランダムな事象から成り立っていることを示しています。

21世紀の医学では、病気の原因と治療について考える際に生体反応を分子や細胞のレベルで考えることは必須であります。病気とは、前述の様なランダムな偶然が重なり、遺伝子が先天的あるいは後天的に極端に振れる結果として生じるわけですから、逆に病気は正常を知るための良いモデルとなるわけです。このように医学を生物

科学の一部として捉えて、疾患の病態から最終的には分子へと向かうreverse biologyを展開していきたいと思えます。

社会のグローバル化、生態系の変化と共に、SARS、AIDS、エボラなどの新興感染症の出現がめまぐるしく、人類に脅威を与えています。感染症の古典的な理解は同じ病気に2度かからないという免疫の基本を教えてください。自己免疫疾患、アレルギー、糖尿病や高血圧など体質依存性といわれている疾患や悪性腫瘍などのいわゆる難病には、生体防御系としての免疫反応が強く関与しています。さらにこれら疾病の発病に関して遺伝子変異に起因する部分と環境因子が作用した結果であることが知られています。さらに、細胞の分化誘導と幹細胞の再生医療への応用可能性の模索、gene chipを用いた診断法の確立など最近の生物学に関する手法の進歩は著しく、以前には未知の世界と思われていた事象も次々に明らかにされてきました。今後の10年を考えるならばその進歩はさらに加速されるに違いなく、現時点では想像もできないような世界が拓かれている可能性が大きいと言わざるを得ません。こうした内なる宇宙への探索の旅に携えるべき知恵と知識を求めての講義を進行させたいと考えています。

オリエンテーションとして生物学の基本言語について説明しながら、AIDS、癌、再生医療を中心に、最新の知見も加えながら生物学について学びます。その際に微生物（特にウイルス）という観点から病気の理解をしてゆきたいと考えています。なぜならば、今日の分子生物学の発展はウイルスに焦点を絞った研究に端を発しているからであり、生物の内包する原理を理解するための最もシンプルな実験系として当時の科学者がウイルスを選択したその視点も、今後の私たちの真理追究へのヒントを与えてくれると感じるからであります。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

必要に応じて随時紹介します。

生物学実験

「生物のかたち、機能、メカニズムの理解 細胞を中心として」

2単位 春学期
金子 洋之

【授業科目の内容】

生物が持つ多様なかたち、機能、それらを裏打ちするいくつかの巧緻なメカニズムを理解するためには、それらの構成単位となる細胞をいろいろなテーマのもとで体験することが重要である。本実習では、種々の生物を材料に、細胞のかたちや動態を観察する。また細胞を構成する分子の同定操作も行う。これらの過程で、本質を見抜く眼力、柔軟な思考をトレーニングしたい。この科目は教職科目の「生物学実験（コンピュータ活用を含む）」との併設である。

【教科書】

指定しない。教材は教員が準備する。

【参考書】

指定しない。推薦図書を講義中に知らせる。

生物学実験集中

「臨海実習」 2単位 春学期集中
星 元紀 松本 緑
佐藤 寅夫

【授業科目の内容】

生物世界の多様性と豊饒性を体験するとともに、分類体系の基本を理解することを目標にして、三浦半島西海岸のほぼ先端に位置する東京大学三崎臨海実験所において、7月31日～8月4日（4泊5日）に実施する。各種採集法により自ら集めた磯の生物、プランクトン、ベントス等を材料にして観察と同定、ならびに初期発生の観察を行う。4月中旬に行うガイダンスに参加すること、上記の全期間参加することが条件。収容人員は20名以内。ガイダンス日程は別途掲示参照のこと。

【教科書】

指定せず。

【参考書】

随時紹介する。

世界の経済

2単位 秋学期
竹森 俊平

【授業科目の内容】

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必要であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。なお、講義にあたり、拙著「世界経済の謎」（東洋経済新報社）を教科書として使うので、各自、準備されたい。

なお、昨年の講義内容は以下の通りである。本年度はこれに適宜必要事項を付け足していくものとし、詳細については最初の講義で指示する。

第一部 国際取引の5つの動機

プロローグ 日本の開国

- 第1章 貿易から生まれる利益
- 第2章 異なった時点に行われる支出の交換
- 第3章 経常収支が決定されるメカニズム
- 第4章 危険回避の方法としての国際資本取引
- 第5章 保険業にとってさまざまな危険
- 第6章 裁定 価格差からのもうけを狙った行動
- 第7章 投機
- 第8章 バンド・ワゴン効果と1人勝ちの世界
- 第9章 オプション価格理論

エピローグ デリパティブと巨大損失 ペアリングスからLTCMまで

第二部 経済組織における「ねずみ講」的な仕組み

プロローグ	アルバニアのねずみ講
第10章	ねずみ講とバブルの理論
第11章	バブルは現実に起こるか
第12章	貨幣の3つの機能
第13章	インフレ税とハイパー・インフレーション
第14章	銀行業と信用創造
第15章	金融危機と貸し渋り
第16章	日本と経済不振、アジアの経済不況
まとめ	銀行業を巡る政策論争の焦点
エピソード	ジョン・ロウとミシシッピー・バブル
第17章	公的年金と人口趨勢 重複世代モデル
終章	社会保障制度の政治経済学

【教科書】

「世界経済の謎」(東洋経済新報社)

天文学

「重力の不思議」

2単位 秋学期

加藤万里子

【授業科目の内容】

重力は宇宙の現象の中で重要な位置をしめている。星の形や進化、宇宙膨張や宇宙空間の曲がり、ブラックホールなど重要な現象にかかわっている。ここでは重力という観点から宇宙をみていく。「宇宙科学」はいろいろな天文現象を広く浅くとりあつかうが、この天文学では、テーマをしばって、やや深く考えることを目的とする。

【教科書】

加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

【参考書】

プリントを配布します。

日本の経済

2単位 秋学期

飯田 裕康

【授業科目の内容】

この講義のねらいの一つは、日本経済の現状に関して、基礎的理解を持つことにある。現状の分析とともに、それがなぜ生じたのかを歴史的にふり返ってみることも重要な部分をなす。日本経済の現状は、不況から抜け出すきっかけをつかめないまま推移している。これまで有効だとされた経済政策、とくに景気政策の有効性にも少なからぬ疑念が提示されている。なぜ、こうした状況に立ち至ったか。この講義では、それをバブル現象に帰結し、かつその破綻をもたらした最近20年間の日本経済の歩みを中心に、見てゆきたい。

今ひとつこの講義の主題として、現代の日本経済と科学技術との関わりについて、概観しておきたいということである。1960年代以降、わが国の科学技術の進歩には著しいものがある。しかし、そのすべてが自前の開発によるものではなく、主として米国からの技術移転に基づくものであったことも否定できない。現代経済における技術の問題には、一国経済を越えた国際的な経済の連携が大きく作用している。こうした問題を通して、技術がいかに社会的要因によって規定されているのかを理解す

ることも、この講義の重要なテーマである。

【要項】

1. 経済学的なものの考え方 - - 自然科学との関連で
2. 経済社会への基本的切り口とは
3. 日本経済の現状
 - a. 歴史的概観
 - b. もの主導の揭示から「かね」主導の経済へ
 - c. 「バブル」の原因とその帰結
 - d. デフレ不況の諸相
 - e. 市場万能主義への継承 - 共生社会を目指して

詳細な要項ならびに文献は、開講時に配布する。

【教科書】

教科書はとくに使用しない。

比較文化論

「中国文化とフランス文化」

2単位 春・秋学期

森 英樹

【授業科目の内容】

中国文化とフランス文化、この二つの文化伝統の性格の対比ないし相互の交渉を、さまざまな個別的テーマのもとに考察することによって、われわれの生活の基盤である文化や文明への幅広い視野を獲得します。

【教科書】

森 英樹(南仙)著 『比較文化論・講義要旨』

物性科学

「物性工学入門 - 身のまわりで用いられている材料の性質の理解 - 」

2単位 春学期

佐藤 徹哉

【授業科目の内容】

我々の身のまわりの電子機器の基になる様々な素子は、金属、半導体、磁性体や誘電体といった材料を用いて作られています。物性科学では、我々の生活を豊かにしてくれる電子機器等に用いられる素子などが、材料のどのような性質を利用しているのだろうか、という点を理解してもらうことを目的に勉強を進めていきます。高校の物理と化学の知識のみを前提として、実演やビデオなどの視覚教材を積極的に取り入れて分かりやすく講義します。物性科学の考え方が、将来ものを考える時の基礎として使えるように授業内容を工夫する予定です。

【教科書】

プリントを毎時間配布します。

【参考書】

参考書は最初の時間に紹介します。

研究所設置講座、履修案内

1 メディア・コミュニケーション研究所

【メディア・コミュニケーション研究所とは】

メディア・コミュニケーション研究所 (Institute for Media and Communications Research) は、昭和21年 (1946年) に産声を上げた新聞研究室を母体とする歴史の長い研究所です。新聞研究室は、後に新聞研究所と名称を改め、平成8年 (1996年) に50回目の誕生日を迎えました。まさに、研究所は日本の戦後とともに歩んできたこととなります。新聞研究所は、第2次世界大戦前と戦争中、新聞報道を中心とする日本のマスメディアが軍国主義に迎合した報道姿勢をとったことを憂いた連合軍占領軍が、戦後の民主化に新聞を中心とする言論報道機関の果たす役割の大きさを考慮して、その役割の遂行に貢献しうる人材の育成とともに、マス・メディア研究を行いうる研究機関の設置を幾つかの日本の大学に求めました。選ばれた大学の一つが慶應義塾であり、後に法学部の学部長になった米山桂三教授に研究所の運営が任されることになったというのがその発端であると伝えられております。

既述のとおり、当初、新聞研究所は新聞研究室として出発しましたが、後に研究機能の重視を目的に研究所に名称を改めました。かつては、新聞を実際に発行して実習授業を盛んに行っていましたが (当時発行された新聞はマイクロフィルム化されていますので読もうと思えば読めます)、今日では実習的な側面よりも研究生 (新聞研究所に入所した学生はこう呼ばれます) にはマス・メディアおよびマス・コミュニケーション研究の基礎的教育を行い、専任教員を中心として基礎的な研究に力を入れてきました。メディア業界からは、生半可な業界情報や近視眼的でテクニカルな知識や技術を身に付けた人間よりは、基礎的な知識や思考能力そして人間関係能力に裏打ちされ、しっかりとした考えと独創的な発想力をもつ人材が求められており、そうした要求に沿った教育と、各種メディア・コミュニケーション産業にとり有益な研究成果を提供することに新聞研究所は力を入れてきました。

しかし、時代は急速に変わりつつあります。戦後50年の情報通信技術の革新の動きは目覚ましく、新聞研究所がスタートした頃の報道機関といえば活字メディアが中核で、ラジオがそれに多少付け加わっているだけでした。その後、テレビ放送が本格化しメディアの中核は電気通信・放送へと移行して行きました。近年では地上波だけではなく、衛星放送・衛星通信、ケーブルテレビなど多面的かつグローバルにコミュニケーションが展開する時代になってきました。また、スーパー情報ハイウェイとインターネットを中核とし、パソコン通信ネットワークを土台にマルチ・メディアの展開が叫ばれ、コンピュータ・メディアの時代へと大きく変化し、新聞、ラジオ・テレビの融合現象も注目されるようになりました。と同時に、かつては一方向的な伝達を中心であったものが、

コンピュータ・メディアの発達により双方向的なものとなると同時に、その情報通信範囲もパーソナルなレベルからグローバルなレベルへと拡大し、コミュニケーション能力の著しい発展と質的な変化は驚くべきものとなりました。また、多チャンネル時代を迎え、放送内容も多様なものになり、アイデアや創造力がメディア業界に働く人々に要求される度合いも格段に高くなりました。

こうなってくると、新聞研究所という名称はさすがに古めかしさを感じさせるようになったため、平成8年 (1996年) には、研究所50年の記念式典を行い翌平成9年度より名称を変更いたしました。それが、メディア・コミュニケーション研究所出発の経緯です。新しいメディアの発展による新しいコミュニケーションの時代に合致した名称に変更したというわけです。もっとも、メディア・コミュニケーションの形態・技術は変化しても、報道ジャーナリズムの健全な発達のため、つまり、民主主義的で自由で公正なる報道を行うための前途有為な人材育成の目的はそのままです。そして、そのための少人数精鋭教育のためのカリキュラム変更も行いました。研究生には、報道ジャーナリズムやマス・コミュニケーション研究の基本を学び、新しいメディア (とくにコンピュータ・メディア) をある程度理解した上に自由に使いこなせるだけの能力も身に付けて欲しいと思っています。そのために、平成11年 (1999年) 10月より、この方面のメディア・リテラシー向上を求めて、「メディア・ワークショップルーム (MWR)」を開設致しました (本格的稼働は平成12年4月より)。今ではインターネット放送もはじめました。間もなくオンライン新聞の発行をはじめの予定です。そして、<http://www.>に慣れてください。学生との連絡にEメールも利用しています。

1996年秋に新聞研究所は記念式典を実施し、その際に新しい名称を与え新たなスタートを切りました。基本的な研究所の研究生教育とメディア・コミュニケーション研究は変わりませんが、新たな名称のもとに生まれ変わった研究所の次の50年の発展が大変期待されます。現在のスタッフは所長、専任および兼任所員、事務職員総勢でも10名に満たない小さな研究所ですが、非常勤講師の諸先生のご協力を得て研究生150名 (2~4年生) の教育を行いつつ、新たな研究に邁進する決意をしております。本年入所される研究生を含め現在の研究生は、新たな歴史を刻む当事者となります。再出発にふさわしい成果を生むために大いに頑張りたいと思います。

なお、メディア・コミュニケーション研究所の名称は長いので、通常は「メディア・コム」と呼ばれます。

平成16年度 カリキュラム

1 設置科目について

研究所には、基礎科目、研究会、特殊研究、基礎演習の4つの講義群がある。

このうち、基礎科目は研究生以外（2年生以上）でも履修可能なオープン科目となっている。但し、2年生以上で、三田設置科目を含めて履修可能であるが、学部によっては履修できない場合もあるので、学部履修要項等で確認すること。また、学部での単位の取扱いは、学部履修要項を熟読すること。

- ・基礎科目（オープン科目）
メディア・コミュニケーション研究に必要な基礎的知識を提供する講義群。
- ・研究会（研究生のみ対象）
研究所における学習の中心となる科目で、2年生より履修できる。
- ・特殊研究（研究生のみ対象）
少人数の講義で、実務家を中心とした特殊講義と大学教員による特殊研究がある。
- ・基礎演習（研究生のみ対象）
メディア・コミュニケーション関連分野の調査方法の学習を目的とした講義群。

2 研究生制度

研究所には研究生制度がある。研究生制度は、メディア・コミュニケーションの研究、あるいは将来マス・メディアへの就職を希望するものに総合的な教育を行い、

同時に研究の場を与えるために設けられている。

例年12月中旬に行われる入所選考に合格し、研究生となることを許可された者は、修了までに合計28単位以上取得しなければならない。所定の単位を取得した研究生には修了証書が与えられる。各学部の授業科目で研究所が認めたものは修了単位に含めることができるが、それでも一般の塾生より余分な科目を履修しなければならず、それだけ余力のあることが入所の条件といえる。

- (1) 入所説明会（入所申込書配布）11月中旬三田、日吉、藤沢の各キャンパスで行う。これについては掲示する。
- (2) 入所試験（選考）12月中旬三田で行う。

3 修了単位について

研究生が研究所の課程を修了するためには、以下の各群から所定の単位を合計28単位以上取得しなければならない。

- ・基礎科目 10単位以上
- ・研究会 8単位以上
- ・特殊研究 4単位以上
- ・基礎演習 2単位以上
- 合計 28単位以上

2～4年春学期までに研究会I～Vを順番に履修し6単位以上取得する。4年秋学期には必ず研究会VI（論文指導）を履修すること。すなわち、研究会I～IIIと研究会VIIは全員が履修するが、研究会IVとVは必修ではない。

3～4年では原則として同一研究会を履修すること。

平成16年度慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所基礎科目（オープン科目）一覧

*基礎科目（オープン科目）研究生以外も履修可能

設置場所	科目名	単位数	講師
三田設置科目	マス・コミュニケーション論 ・（法学部併設）	春2 / 秋2	大石 裕
三田設置科目	マス・コミュニケーション発達史 ・（法学部併設）	春2 / 秋2	大井 眞二
三田設置科目	国際コミュニケーション論 ・（法学部併設）	春2 / 秋2	内藤 耕
三田設置科目	メディア法制 ・	春2 / 秋2	林 紘一郎
三田設置科目	ジャーナリズム論 ・	春2 / 秋2	玉木 明
三田設置科目	世論 ・	春2 / 秋2	河野 武司
三田設置科目	情報行動論 ・	春2 / 秋2	福田 充
三田設置科目	異文化間コミュニケーション	秋2	手塚千鶴子
三田設置科目	メディア文化論	春2	鳶 信彦
三田設置科目	メディア文化論	秋2	白水 繁彦
三田設置科目	メディア産業と政策 ・	春2 / 秋2	菅谷 実
三田設置科目	情報産業論	春2	宿南達志郎
三田設置科目	情報産業論	秋2	内山 隆
日吉設置科目	メディア・コミュニケーション論 ・	春2 / 秋2	伊藤 高史
日吉設置科目	マス・コミュニケーション論（法学部併設）	春2	小川 恒夫
日吉設置科目	社会心理学 ・（法学部併設）	春2 / 秋2	萩原 滋

日吉キャンパスに設置されている「特殊研究」および「基礎演習」の科目（研究生以外は履修不可）についての講義内容等は、メディア・コミュニケーション研究所で配布される案内を参照のこと。

メディア・コミュニケーション論

「メディアと公共性の変容と情報社会」 2単位 春
 【日吉設置科目】 伊藤 高史

【授業科目の内容】

メディア・コミュニケーションという言葉は、個人と個人が顔をつけあわせて行う「対面的」コミュニケーション（パーソナル・コミュニケーション）に対して使われる言葉です。ですから、まずは、対面的コミュニケーションとメディア・コミュニケーションの関係などについて議論から講義を始めます。そして、情報社会と言われる今日において、両者の関係がどのように変化しつつあるのか、また、メディア・コミュニケーションそのものがどのように変容しつつあるのかについて、社会学および法律学的な観点から解説します。

【参考書】

鶴木眞編『客観報道』成文堂、阿部潔著『公共圏とコミュニケーション』ミネルヴァ書房

メディア・コミュニケーション論

「情報社会時代の情報操作と表現の自由」 2単位 秋
 【日吉設置科目】 伊藤 高史

【授業科目の内容】

秋学期は特に、メディアの送り手という視点に立って、メディアコミュニケーションについて講義します。昨今では、個人がインターネットを利用して、一般に向かって広く情報発信をすることが容易になりました。その一方で、欧米での政治キャンペーンの場などでは、既存のマスメディアを利用する広報専門家「スピンドクター」の存在が大きな関心を呼んでいます。情報化社会になり、誰でもが情報発信できる時代だからこそ、有力なメディアを利用する能力が必要になっているのかもしれませんが、こうした状況の変化について、表現の自由に関する議論や既存のマスメディア研究、ジャーナリズム研究の視点を踏まえて、講義をしていきます。

【参考書】

津金澤聡廣、佐藤卓己編『広報・広告・プロパガンダ』ミネルヴァ書房

マス・コミュニケーション論

「政治とメディアの相関図」 2単位 春
 【日吉設置科目】 小川 恒夫

【授業科目の内容】

極めて遠く離れた場所に、ただちにメッセージを送ったり、また何百人もの人々に同じような意味を伝達するといった、今日われわれがもっている驚くべき能力は、私達にとってきわめてなじみ深いものであるために、ともするとそのような能力を当然のことのように見なしてしまう。しかし、このような能力が、個人的に、あるいはまた集合的に、われわれにどんな影響を与えているのか、またこれがわれわれの未来をどのようなものにして

いくのか、こうしたことについて明確な予測をすることは難しいのが現状である。

本授業の中心的課題は、これらの問題に答えるべく、これまでに現れてきた主要な論述を概観し、1) マス・コミュニケーションはどのようにして発生したか、その結果、2) 個人や社会秩序に対してどのような結果がもたらされたかの点について考察を行うことにある。

【参考書】

大石裕著『コミュニケーション研究』慶応大学出版会

社会心理学

「社会的認知と対人行動」 2単位 春
 【日吉設置科目】 萩原 滋

【授業科目の内容】

自分たちの社会的環境をいかにして把握するかという問題、すなわち「社会的認知」と呼ばれる研究領域を中心に、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会心理学の代表的な理論枠組について概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を詳しく紹介する。また対人魅力など、対人行動の基礎となる問題も取り上げることにする。

【参考書】

適宜、指示する

社会心理学

「メディアとコミュニケーション」 2単位 秋
 【日吉設置科目】 萩原 滋

【授業科目の内容】

対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション」の過程を取り上げるが、前者に関しては「説得的コミュニケーションと態度変容」、後者に関しては「テレビの社会的機能、対人的影響」に焦点を当てて、新旧取り混ぜて社会心理学的研究の成果を紹介する。

【参考書】

適宜、指示する

2 体育科目（体育研究所）

体育学講義

体育学講義

「スポーツの効用を多目的にみる（スポーツ総論）」
佐々木 玲子 近藤 明彦
吉田 泰将

〔授業科目の内容〕

身体活動を行うことは人にとって必要不可欠です。スポーツ活動はこの身体活動を「楽しむ」ことですが、身体に関する知識を得ることも大いに役に立ちます。身体活動を通じた教育である「体育」は、人文社会・自然科学の総合的な応用科学といえます。本講義は、体育・スポーツの効用をテーマに、諸科学を基礎にした解説をオムニバス形式で行います。スポーツ実施・指導および教育場面に幅広く役立つ内容（教職や体育会・スポーツサークルのリーダーを目指す人に適切な内容）を提供します。

〔教科書〕

特になし。

〔参考書〕

授業中に随時紹介します。

体育学講義

「アウトドアを考える」

野口 和行

〔授業科目の内容〕

1999年8月に神奈川県の大倉川で起こった事故を覚えているだろうか。河原でキャンプを楽しんでいた人々が折からの大雨に伴う増水によって流され、行方不明者を含め13名もの犠牲者を出す大事故となってしまった。本来楽しいものであるべきアウトドアでの活動がなぜこのような事態を引き起こしてしまうのだろうか。

「アウトドアブーム」も落ち着きを取り戻しつつあるが、休日ともなると思い思いのキャンプ道具や遊び道具を車に積んで出かける人たちが高速道路は大渋滞を繰り返す。町に出ればパタゴニアやノースフェイスなどのアウトドアブランドに身を包んだ人々が闊歩している。彼らは「アウトドア」に何を求めているのだろうか。

私たちにとって「アウトドア」が魅力的なものであることも事実である。ある調査では、都会の人間の7割以上が自然に対して「出かけるのが好き」「中にいるとほっとする」「安らぎの場である」と感じている。本講義では、「アウトドア」をブームで終わらせず、Quality of Life（生活の質）を高めるライフスタイルのひとつとして享受していくために何をすべきかを一緒に考えていきたい。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学講義

「健康と運動の科学」

近藤 明彦 齊藤 郁夫
辻岡三南子 森 正明

〔授業科目の内容〕

高度な文明化が達成された現代を生きる我々が健康な生活をおくるために必要な知識を体系的に学んでいく。本講座では、人体の主要な臓器の機能、健康と生活習慣（運動、食事、喫煙、飲酒など）との関連を学び、健康な生活習慣が健康の保持増進に必要であることを理解する。疾病に関しては、青年期に正確な知識を身につけておくことが特に重要なものを取りあげる。さらには運動が健康とどのように係わるかについて理解する。

〔教科書〕

指定しない。

体育学講義

「アスリートのためのスポーツ科学」

近藤 明彦 佐々木玲子

〔授業科目の内容〕

競技者にとって効果的・合理的なトレーニング計画を立てることは重要な課題です。そしてこの目的を達成するためにはスポーツトレーニングに関する様々な基礎的知識が必要です。この講座では「心・技・体」の三つの観点から効果的なトレーニングを考える上で必要な基本的知識の習得を目指します。

〔教科書〕

特に指定しません。

体育学講義

「スポーツ心理学の世界」

近藤 明彦

〔授業科目の内容〕

20世紀はスポーツが大きく飛躍した世紀でした。そのスポーツの発展とともにスポーツ心理学が誕生し、最近急速にその広がりが増えています。運動心理学・体育心理学・スポーツ心理学といった分野から現在ではスポーツの実施と健康の関連が着目され健康運動心理学という新しい領域も広がっています。この授業では、スポーツに関連する様々な心理学の分野からのアプローチを概観し、スポーツ実施に伴う心理的側面で現在どのような知見があるかを学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。

体育学講義

「スポーツの技と文化を探る」

植田 史生 綿田 博人
石手 靖 須田 芳正

【授業科目の内容】

スポーツ文化は人類の遺産として21世紀も益々発展するであろう。一方、人間の身体能力によって極められてきた「技」「技術」も、スポーツ文化を形成する重要な構成要素といえる。本講義は、人間のスポーツ技能の獲得や発達を基礎に置き、スポーツ文化を幅広く解説することを目的としている。世界のスポーツ技術やトレーニング方法の最前線、文化的側面からみたスポーツの現状、そして、そこから市民スポーツのレベルに応用・示唆されることは何か？スポーツをする者にも見る者にも役立つ講義内容を目指し、4名の担当者のオムニバス形式で、様々な専門種目から話題を提供する。

体育学講義

「スポーツと身体（からだ）の基礎理論」

吉田 泰将

【授業科目の内容】

健康の大切さを実感するのは、その肝心な健康を損なってしまったときでしょう。現代社会において、私達は様々なストレスに曝されながら生活をしています。そこで、本講義では身体のメカニズムやスポーツ・トレーニングの基礎知識を学習することにより、「心身の状態を常に良好に保つ」方法を身につけることを目的とします。日々の生活をいかに送っていくのか、どのように生活をプログラムしていくのか、一緒に考えて行きましょう。

体育学講義

「政治社会とスポーツ/スポーツ事故と法」

高嶺 隆二 加藤 大仁

【授業科目の内容】

スポーツは元来私的で非政治的なものであり、公的な権力が介入すべきではないと論じられることが多い。しかし現実にはスポーツは社会の中に制度化されており、政治と無関係な存在ではありえない。また、スポーツに関わる人々が様々な形の法的規制や指導を受ける場合も多々ある。

そこで、本講義では1) スポーツと政治の関係、2) スポーツに関わる個人と法律の関わり、の2点に焦点を絞り、具体例を挙げて解説していく。

【教科書】

特に指定しません。適宜講義資料プリントを配布します。

体育学演習

体育学演習

「ライフセービング（救急法の基礎）」

山内 賢

〔授業科目の内容〕

事故に出会ったり、怪我をしてしまった場合、その直後がとても大切です。この授業の目的は、第一に「事故防止」の考え方を身につけてもらうこと。第二に緊急時に備え、各種の処置を実際に身につけることにあります。いつ、どこで、どのような事故にあったとしても、医師に患者を手渡すまでに落ち着いて適切な処置ができるような理論と対処の方法を実技を伴い学んでもらいます。

体育学演習

「自然体験活動演習」

野口 和行

〔授業科目の内容〕

近年、夏休み等を利用した自然体験を中心にしたキャンプ等の自然活動が各所で行われるようになり、ボランティアとして子どものキャンプ等に参加する学生も増えている。そこで、さまざまな自然体験活動にボランティアに参加したいと考えている大学生を対象に、自然体験活動に関わるさまざまな知識・技術、対人関係トレーニング等を学び、夏休みに行われるキャンプにボランティアとして参加し、OJT（on the job training）を行う。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習

「スポーツメンタルトレーニング」

近藤 明彦

〔授業科目の内容〕

スポーツにおけるメンタルトレーニングの重要性が指摘されている。この講義では体力のトレーニングや技術の練習との係わりを基本に現在行われているメンタルトレーニング技法の理論と実際について学ぶことを目的とする。

〔教科書〕

指定しない。

体育学演習

「からだの動きをはかる（バイオメカニクス）」

佐々木 玲子 村松 憲
望月 康司

〔授業科目の内容〕

私たちのからだは、脳からの指令により筋を収縮させ骨格を動かして運動を行っています。本授業ではこうし

た生体の筋機能をはじめ、ヒトの運動の基礎となる身体諸機能のメカニズムを知り、あわせて実際の動きを測定・解析し、実習することで、動くからだのしくみを理解することを目指します。

実習を中心に行うため、15名を定員とします。

〔教科書〕

特にありません。

〔参考書〕

授業の中で紹介します。

体育実技A (ウィークリー・スポーツ)

ウィークリー・スポーツ【球技】

体育実技A (アメリカンタッチフットボール)
(初級) 後藤 完夫

【授業の目的】

1. スポーツを通じての、自由(創造)と規律(実践)の体得
2. アメリカスポーツの社会性(コミュニケーション)の学習
3. 基礎体力の向上

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

一般的なスポーツウェア・シューズ

体育実技A (サッカー) 上向 貫志

【授業の目的】

サッカーに必要とされる基本技術の習得を目指すと同時に、身体の活動レベルを向上させる。

さらに、ミニゲームからフルコートゲームといった様々な形式のゲームを通して、情緒面(コミュニケーション)と機能面(基本戦術など)からのチームワークの獲得を目的とする。

【実施場所】

1限：陸上競技場 2&3限：下田サッカー場

【服装・携行品・その他】

サッカーのできる常識的な服装を準備すること。スパイクはあった方が良いが、新規に購入する必要はない。

体育実技A (サッカー)
(初心者・経験者問わず) 須田 芳正

【授業の目的】

世界のスポーツであるサッカーの魅力、楽しさを味わってもらおうとともに、競技力向上を目指すことを目的とする。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

スポーツできる格好

体育実技A (サッカー) 藤村 武

【授業の目的】

チームスポーツであるサッカーを通してコミュニケーションの重要性を理解する。

生涯スポーツとしてサッカーを楽しんでいけるように、基本的な技術及び戦術を習得する。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

運動できる服装とシューズ

体育実技A (サッカー) 安松 幹展

【授業の目的】

世界で最も多くの人が行っているスポーツはサッカーである。英語を話せると10億人と会話ができるが、サッカーができるとそれに匹敵する、もしくはそれ以上の人とコミュニケーションできる。さらに、サッカーは脂肪の燃焼に有効な有酸素運動と筋肉や骨を強化する無酸素運動の両方を兼ね備えた運動である。つまり、サッカーは国際的かつ健康的な種目である。本講座は、この種目の特性を理解し、サッカーを通して運動習慣を身につけることを目的とする。

【実施場所】

陸上競技場フィールド内

【服装・携行品・その他】

サッカーの出来る服装

体育実技A (ソフトテニス)
(主として初級・中級) 濱名 邦雄

【授業の目的】

日本で生まれ、現在国際化の進行しているソフトテニスの楽しさを授業で体験し、生涯スポーツとして実践して行く動機(キッカケ)作りを行う。

【実施場所】

日吉下田地区 体育会ソフトテニス部コート

【服装・携行品・その他】

運動できる服装・テニスシューズ・ラケット(無い場合は用意有り)

体育実技A (ソフトボール) 遠藤 千草

【授業の目的】

ソフトボールの基本技術(投球、打撃、守備、走塁、バントシフト等)を習得し、ゲームを中心として実践練習を通して、ゲームの進め方、ルールを学習する。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

運動のできる服装、運動靴を使用すること

体育実技A (ソフトボール) 望月 康司

【授業の目的】

ソフトボールの基本的な技術・知識を習得するとともに、スポーツの楽しさを実感し、生涯スポーツの足がかりとなること目標とする。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装およびシューズを持参すること

体育実技A(ソフトボール)

(初級)

吉田 泰将

〔授業の目的〕

ソフトボールの基本的な技術・知識を身につけるとともに、スポーツの楽しさを実感し、生涯スポーツのひとつとして役立てていただきたい。

〔実施場所〕

陸上競技場フィールド内グラウンド

〔服装・携行品・その他〕

運動に相応しい服装・運動に適した靴・帽子・日差しの強いときにはサングラスも使用可

体育実技A(卓球)

松田 雅之

〔授業の目的〕

手軽に楽しめる卓球の特性を活かし、それぞれのレベルにあった技術の向上とゲームの展開を目的とする。

〔実施場所〕

体育館卓球場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・室内シューズ・ラケット(持っている人は持参)

体育実技A(卓球)

吉田 武

〔授業の目的〕

年齢や体力に応じて楽しみ、プレーをできる場が身近に整っている等、卓球は生涯スポーツに適しています。その卓球の楽しさの体験と基礎知識の習得、技術の向上を目的とします。

〔実施場所〕

体育館卓球場

〔服装・携行品・その他〕

運動できる服装・タオル・室内用運動靴

体育実技A(テニス)

(初級)

加藤 大雄

〔授業の目的〕

テニスを生涯スポーツとして楽しめる程度の基本的な技術とルールの習得

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート

〔服装・携行品・その他〕

テニスラケット・テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)

体育実技A(テニス)

(中級)

加藤 大雄

〔授業の目的〕

テニスを楽しむための基本的技術の向上と、主にダブルスのゲーム戦術の取得。

〔実施場所〕

蝮谷テニスコート

〔服装・携行品・その他〕

テニスラケット・テニスウェア・テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)

体育実技A(テニス)

(上級)

加藤 大雄

〔授業の目的〕

テニスに勝つための技術の向上と、主にシングルのゲーム戦術の取得。

〔実施場所〕

蝮谷テニスコート

〔服装・携行品・その他〕

テニスラケット・テニスウェア・テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)

体育実技A(テニス)

(中級)

手島 智佳子

〔授業の目的〕

テニス技術の向上並びに試合での戦術

〔実施場所〕

蝮谷テニスコート

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装(出来ればテニスウェアが望ましい)・テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)・テニスラケット

体育実技A(テニス)

(初級)

平田 大輔

〔授業の目的〕

テニスの技術だけでなく、マナーやルールを学び、生涯スポーツとしてテニスを楽しめるようにする。

〔実施場所〕

蝮谷テニスコート(インドアコート)

〔服装・携行品・その他〕

ラケット・テニスシューズは各自で準備(テニスシューズはハードコートまたはオールコートシューズを準備)

体育実技A(テニス)
(中級) 平田 大輔

〔授業の目的〕

いままでの技術の向上を目指し、試合に生かせるようにする。

〔実施場所〕

蝮谷テニスコート(インドアコート)

〔服装・携行品・その他〕

ラケット・テニスシューズは各自で準備(テニスシューズはハードコートまたはオールコートシューズを準備)

体育実技A(テニス)
(中級) 堀場 雅彦

〔授業の目的〕

テニスの技術習得と体力の向上

〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート

〔服装・携行品・その他〕

硬式テニスラケット・シューズ(ハードコートまたはオールコート用)

体育実技A(テニス)
(初級) 村松 憲

〔授業の目的〕

テニスを楽しむために最小限必要な技術、エチケット、ルールの習得。

〔実施場所〕

蝮谷テニスコート(室内)

〔服装・携行品・その他〕

テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)・テニスラケット

体育実技A(テニス)
(中級：打ち合いで安定して10往復以上続けられる方)
村松 憲

〔授業の目的〕

試合を楽しむために必要な技術・戦術を学びます。また、エチケット、ルールを再確認します。

〔実施場所〕

蝮谷テニスコート(室内)

〔服装・携行品・その他〕

テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)・テニスラケット

体育実技A(バスケットボール)
加藤 大仁

〔授業の目的〕

バスケットボールを通じて基礎体力の向上を図ると同時に、基本的な技術・戦術の理解・習得を目標とする。初級者から経験者まで、あらゆるレベルの学生の履修を認めるが、主として体育の授業以外ではバスケットボールに取り組んだことのない学生を念頭においた授業内容となっている。

〔実施場所〕

日吉記念館

体育実技A(バスケットボール)
(経験者) 加藤 大仁

〔授業の目的〕

基礎体力の向上を図ると同時に、基本的なMan Offense/Man Defenseの考え方やプレーの習得を目指す。

対象は小・中・高の何れかの時期にクラブ活動や愛好会活動を通じてバスケットボールに取り組んだことのある学生とする。

〔実施場所〕

日吉記念館

体育実技A(バスケットボール)
(全レベル：1、3時限) 木塚 孝幸

〔授業の目的〕

この授業では、初心者から経験者まで全てのレベルの学生を対象とする。

体力の向上と技術の修得を図りながら、ゲームを通してバスケットボールを楽しむこと。

〔実施場所〕

日吉記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装・室内シューズ着用

体育実技A(バスケットボール)
(経験者クラス：2時限) 木塚 孝幸

〔授業の目的〕

この授業は、小・中・高いずれかに、クラブ活動などを通じてバスケットボールを経験した学生を対象として授業をすすめる。それ以外の学生は経験者指定のないクラスの履修をすすめる。

ゲームを通じて、体力・技術の向上とともに毎時限ゲームのレベルを上げていくこと。

〔実施場所〕

日吉記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装・バスケットシューズ着用

体育実技A(バスケットボール)
山内 賢

〔授業の目的〕

バスケットボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、バスケットボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、止まる、投げるといった運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、バスケットボールの楽しさを学んでもらう。

【実施場所】

日吉記念館

【服装・携行品・その他】

運動のできる服装・室内シューズ・タオル

体育実技A(バスケットボール)

依田 珠江

【授業の目的】

バスケットボールの基本技術を身につけ、ゲームを楽しむ。バスケットボールというチームスポーツを通して、コミュニケーションの重要性を理解し、また自主的に練習・ゲームを運営する能力を養う。

【実施場所】

日吉記念館

体育実技A(バドミントン)

加藤 幸司

【授業の目的】

バドミントンの正しい技術を身につけながら、ゲームを楽しむ。

【実施場所】

日吉記念館

【服装・携行品・その他】

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを必ず用意すること。

体育実技A(バドミントン)

(中上級者:競技バドミントン経験者) 加藤 幸司

【授業の目的】

これまで身につけたバドミントンの技能をさらに向上させ、より高いレベルでバドミントン・ゲームを楽しむようにする。

【実施場所】

日吉記念館

【服装・携行品・その他】

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを用意し、自分のラケットを使うこと。

体育実技A(バドミントン)

白井 巧

【授業の目的】

生涯にわたってスポーツを、“健康づくり”あるいは“余暇の充実”として活用することへの気づきの体験と

なること。これを、バドミントンを通じ身体的習得を中心に展開していく。

【実施場所】

日吉記念館

【服装・携行品・その他】

初回の授業時から、バドミントンができる準備をして参加してください。

受講者は、学期を通じて体育館専用のシューズを用意してください(授業用ラケット有)。

体育実技A(バドミントン)

(初心者)

平井 克英

【授業の目的】

【気軽に楽しめるバドミントン】

バドミントンの基礎知識と基本ストロークの技術を習得し、審判方法とルールを理解する。又、試合を通して、生涯スポーツ、社会体育、ファミリースポーツとしてのバドミントンの本来の楽しさも学ぶことを目的とする。

【実施場所】

日吉記念館

【服装・携行品・その他】

屋内シューズとスポーツ出来る服装

体育実技A(バドミントン)

(経験者:基本ストロークをひと通り行えることが望ましい)

平井 克英

【授業の目的】

バドミントンの基本技術の向上をはかり、審判方法とルールを理解し、応用、試合を通して、戦略、戦術を学ぶ。又、競技スポーツ、生涯スポーツ、社会体育、ファミリースポーツとしてのバドミントンの本来の楽しさも学ぶことを目的とする。

【実施場所】

日吉記念館

【服装・携行品・その他】

屋内シューズとスポーツできる服装

体育実技A(バレーボール)

(初心者から経験者まで可)

額田 信相

【授業の目的】

バレーボールという種目を通し、基本技術の習得とチーム編成とゲーム展開をみんなで力を併せ実行する経験の中で、人の意見と自己主張とのバランスをとりながら、コミュニケーションの重要性を認識させる。

【実施場所】

第3校舎下バレーボールコート

【服装・携行品・その他】

トレーニング上下スタイル・運動靴

体育実技A(バレーボール)

野口 和行

【授業の目的】

チームスポーツであるバレーボールの実践を通して、個々の技術レベルに応じた役割分担をしながら、相互のコミュニケーションを促進する。生涯スポーツとして楽しめるようにバレーボールを実践する。

【実施場所】

日吉記念館

【服装・携行品・その他】

運動できる服装・屋内シューズ

体育実技A(バレーボール)

山田 美絵子

【授業の目的】

「バレーボール」という種目の特性を活かし、楽しく、コミュニケーションをとりながら、個人の体力と技術の向上、集団技能と知識の修得をねらいとする。

【実施場所】

第3校舎下バレーボールコート

【服装・携行品・その他】

バレーボールを行うのにふさわしい服装(ジャージ等)とシューズ

体育実技A(ハンドボール)

山内 賢

【授業の目的】

ハンドボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、ハンドボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、投げるといった運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、ハンドボールの楽しさを学んでもらう。

【実施場所】

日吉記念館

【服装・携行品・その他】

運動のできる服装・室内シューズ・タオル

体育実技A(フットサル)

大嶽 真人

【授業の目的】

「いつでも・どこでも・だれでも」楽しくプレーすることができるフットサルの基本技術、基本戦術の習得を目指すと同時に、試合を通じてコミュニケーションを図り、チームワークの獲得を目指す。

【実施場所】

日吉記念館

【服装・携行品・その他】

運動ができる服装・ゴム底の室内シューズ

体育実技A(野球)

(初心者)

綿田 博人

【授業の目的】

硬球を握り、野球の楽しさを知ることを目的とする。

【実施場所】

下田野球場

【服装・携行品・その他】

ユニフォーム又はトレーニングウェア・帽子・アップシューズ・グラブ

体育実技A(野球)

(経験者)

綿田 博人

【授業の目的】

各個人の技術のレベルアップを図り、またチームプレーを習得し、エンジョイベースボールに触れることを目的とする。

【実施場所】

下田野球場

【服装・携行品・その他】

ユニフォーム又はトレーニングウェア・帽子・アップシューズ・グラブ

ウィークリー・スポーツ【格技・武道】

体育実技A(合気道)

藤平 信一

【授業の目的】

合気道の実技を通して、心と身体の正しい使い方を学ぶ。

心身統一を日常の一挙手一投足で活用できるように修得する。

【実施場所】

蜷谷合気道場

【服装・携行品・その他】

道着は貸与・Tシャツ(女子のみ)・タオル(汗をふくため)・道着を持ち運ぶバッグ等

体育実技A(剣道)

(未経験者と無段者クラス)

植田 史生

【授業の目的】

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え(心構え、身構え)から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う種目である。この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげることが目的とする。また、基本練習、对人的技能、試合、日本剣道形等を通し正しい剣道を学習する。

【実施場所】

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着・袴or運動できる服装・手拭い。防具・竹刀を持参できない人には貸与する。

体育実技A(剣道)

(日本剣道形クラス)

植田 史生

〔授業の目的〕

日本剣道形は、大正元年(1912年)10月に制定、大正6年(1917年)9月に加注を行い、昭和8年(1933年)5月に加注を増補した。現在は全てこれを定本として実施している。打太刀(うちだち) 仕太刀(しだち)の二名によって実施され、「太刀の形」が七本、「小太刀の形」が三本、計十本の技によって構成されている。この剣道形を学習する事により、1.正しい打突の筋を知る。2.正しい打撃の間合いを知る。3.正しい身体のさばきを知る。4.気位が養われる。これらの事を体得でき、現代剣道に果たす役割は大きいと考える。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着・袴or運動が出来る服装

体育実技A(剣道)

(有段者クラス)

植田 史生

〔授業の目的〕

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え(心構え、身構え)から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う運動である。この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげることが目的とする。また、各自ひとつ上の段(全日本剣道連盟)の昇段を各自の目標とし、技術の向上と高度な内容を持った剣道をねらいとする。(試合や審判技術等の理解と実践。日本剣道形や古文書を通し、より深い知識を学習する。)

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

防具・竹刀・剣道着・袴を持参する。ない場合は防具・竹刀は貸与する。

体育実技A(剣道)

(経験を問わないクラス)

植田 史生

〔授業の目的〕

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え(心構え、身構え)から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う運動である。この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげることが目的とする。また、このクラスにおいては上級者、初級者に分け技術レベルに応じて正しい剣道を学習する。上級者は初級者への指導法も含め技術の向上と高

度な内容を持った剣道をねらいとする。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道の防具・竹刀・剣道着・袴を持っている人は持参する。それ以外の人には、防具・竹刀は貸与する。

体育実技A(剣道)

(初心者から有段者まで)

吉田 泰将

〔授業の目的〕

剣道をはじめて行うものから、有段者まですべてのレベルを対象に、初心者は一級に、有段者はさらにひとつ上の段に挑戦するために、基本的な技術、知識、日本剣道形を学習します。それぞれのレベルの人が協力して、クラス全体の実力アップを図りましょう。そして、生涯を通じて実践できる剣道をしっかりと身につけましょう。

〔実施場所〕

体育館剣道場

〔服装・携行品・その他〕

剣道着・袴(運動に相応しい服装も可)・手ぬぐい
剣道着(防具)・竹刀は準備しています。

体育実技A(柔道)

(初心者、経験者を問わない:男女共習) 安藤 勝英

〔授業の目的〕

柔道を通して技術、体力の向上を図り、これから生涯スポーツとして取り組むことの出来るよう行う。

中でも礼法、受身、正しい技の掛け方等をより深く解説する。

また、見る柔道の立場から、国際、国内ルールを説明する。

更に、昇段希望者にはこの授業の中で実施指導する。

〔実施場所〕

体育館柔道場

〔服装・携行品・その他〕

柔道着(希望者には貸与する)・タオル・Tシャツ
(女子のみ)

体育実技A(フェンシング)

(初級~上級)

田中 由美子

〔授業の目的〕

ヨーロッパに起源を持ち、発達してきたフェンシングの基本技術を習得し、試合形式の練習で、さらに興味を深めていく。

〔実施場所〕

蟻谷フェンシング場

〔服装・携行品・その他〕

半袖及び長袖のトレーニングウェア上下・シューズ
(すべりにくいもの)

体育実技A(ボクシング)

(初心者～上級)

島田桂太郎

〔授業の目的〕

ボクシング基本実技の習得・体験

〔実施場所〕

ボクシング道場(蝮谷)

〔服装・携行品・その他〕

運動着・室内用シューズ・バンデージ

体育実技A(レスリング)

(初級)

大津 信行

〔授業の目的〕

レスリングを通しての基礎体力作り、身体能力の開発向上。

〔実施場所〕

蝮谷レスリング部道場

〔服装・携行品・その他〕

運動着上下・ソックス・タオル(別途、レスリングシューズ・ヘッドギアがあると良い。)

ウィークリー・スポーツ【個人種目】

体育実技A(アーチェリー)

(初・中級)

川西 大介

〔授業の目的〕

- ・スポーツ経験の少ない者も基礎練習から技術向上のための工夫を通じてスポーツの面白さを体験する。
- ・個人の身体能力に関わらず、学習し努力すれば達成できる体験を得る。
- ・的中の向上という目に見える結果に向かって集中力を養う。
- ・生涯スポーツへの取り組みのきっかけとする。

〔実施場所〕

日吉台洋弓場(蝮谷東側の丘の上の高校野球場隣) = 慶應義塾WebのCampus Map31番

〔服装・携行品・その他〕

上衣：運動に適したもので、特に腕、胸や首の周囲がだぶつけないもの。

下衣：スカートでの参加は認めません。

靴：ゴム底の運動靴・トレッキングシューズ等のランニングも可能なスポーツシューズ以外での参加は認めません。

服装や態度が不適で、安全の確保ができないと講師が判断した場合は受講を認めません。

着替えが必要な者は、予め記念館・体育研究所内の更衣室を利用すること。

体育実技A(ウォーキング・エクササイズ)

近藤 明彦

〔授業の目的〕

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、その予防・改善を目的とした有酸素運動としてのウォーキングの実践を通し、継続的な運動の実施および様々な生活習慣が健康にどのような影響を与えるかについて理解を深める。この授業では単に「歩けば健康になる」ということを強調するのみではなく、歩くことから派生する様々な文化的事象をも取り上げウォーキングへの興味を高めることを意図する。体力レベルが低い、あるいは技術系のスポーツ種目が不得意な者でも取り組みやすい種目である。誰でも出来るウォーキングの楽しみ方を理解し、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

〔実施場所〕

陸上競技場・日吉周辺

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、靴、タオル、帽子

体育実技A(エアロビクス)

(初級～中級)

小林 ゆい

〔授業の目的〕

日常生活を快適に過ごすための体力、健康づくり。リズムに合わせた運動(体操的な運動からダンスフルな運動まで)を楽しみながら心肺持久力を鍛えると同時に、ストレッチングや筋力トレーニングなど身体のコンディションを整え、高める運動を行う。また、授業で学んだ内容を日常生活の中で活かし、継続的な運動習慣を身につけること、体調を整える技術を身につけることも目指す。

〔実施場所〕

体育研究所3Fエクササイズスタジオ

〔服装・携行品・その他〕

運動靴・動きやすい服装・タオル・飲み物(ペットボトルなど蓋付きのもの)・筆記用具

体育実技A(エアロビクス)

佐々木 玲子

〔授業の目的〕

日常生活を円滑に行うための体力、主に呼吸循環系機能の向上を目指すとともに、シェイプアップも含めた総合的な体力・健康づくりを目指します。エアロビクスダンスエクササイズを中心にいきますが、ストレッチング、リラクゼーション、筋力アップのためのエクササイズなども含め、広く身体についての理解を深めながら自身の身体で実体験します。

気持ちよい汗をかきましょう。

〔実施場所〕

体育研究所エクササイズスタジオ

〔服装・携行品・その他〕

運動着・運動靴は必須。タオル・飲料水など適宜

体育実技A(ゴルフ)

(初級者)

長谷川 明子

〔授業の目的〕

- ・スポーツとしてのゴルフを通じ、体力の向上、技術、ルール、マナーを習得する。
- ・ゴルフの楽しさを学ぶ事により、幅広い人間関係の構築ができるように図る。

〔実施場所〕

ゴルフ練習場(矢上下)

〔服装・携行品・その他〕

動きやすい服装・運動靴(スパイクは不可)・練習用クラブ数本・ゴルフグローブ

体育実技A(ゴルフ)

(中・上級者)

長谷川 明子

〔授業の目的〕

- ・スポーツとしてのゴルフを通じ、体力の向上、技術、ルール、マナーを習得する。
- ・ゴルフの楽しさを学ぶ事により、幅広い人間関係の構築ができるように図る。

〔実施場所〕

ゴルフ練習場(矢上下)

〔服装・携行品・その他〕

動きやすい服装・運動靴(スパイクは不可)・練習用クラブ数本・ゴルフグローブ

体育実技A(ゴルフ)

(初心者)

綿田 博人

〔授業の目的〕

ゴルフの基本動作、打ち方を習得し、またゴルフのマナーを知ることとする。

生涯スポーツの1つになる様に楽しさを身につける。

〔実施場所〕

日吉ゴルフ練習場

〔服装・携行品・その他〕

ゴルフスラックス・ポロシャツ又はトレーニングウェア・アップシューズ

費用1回につき約700円

体育実技A(自動車)

(初級:普通自動車免許のない方 前後期とも同じ)

松山 保幸

〔授業の目的〕

自動車運転の基本操作に不可欠な知識と操作技術の習得。

(普通運転免許取得希望者が、正確な操作手順を身に付け、安全性への高い配慮ができるようになることを到達点とします)

〔実施場所〕

日吉宮崎台自動車部専用練習場(塾高等学校グラウンド裏)

〔服装・携行品・その他〕

運動の出来る服装・運動靴(かかとの高い靴、サンダルは運転安全性の面で問題があるため避けて下さい)

体育実技A(ジョギング)

松田 雅之

〔授業の目的〕

歩行・ジョギング・ランニングへと基本的な正しい走り方を学び、有酸素能力の向上を図る。野外走などを通じ、ジョギングの効用や楽しさを体験する。

〔実施場所〕

陸上競技場ほか

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・ジョギングシューズ

体育実技A(水泳)

小森 康加

〔授業の目的〕

この授業では、生涯にわたって水泳を楽しむための技術の習得とともに、体力の向上を目的とします。また、水の事故から身を守る安全対策についても実践します。

〔実施場所〕

日吉屋外50mプール(温水)

〔服装・携行品・その他〕

水着・スイミングキャップ・ゴーグル

体育実技A(水泳)

(初心者・初級者:水泳未習者・少し泳げる人、息継ぎがうまくできないひと)

高嶺 隆二

〔授業の目的〕

水中で自分の体を自由に操って動き回る技術を身につけて、生涯水泳を楽しめるようになること。

水の特性を知り、体を水に浮かべて前進する、水面上に浮いて留まる等の技能の習得を目指し、水難事故から身を守り、水泳をエンジョイ出来るようにしたい。

〔実施場所〕

日吉プール(公認50m 9コース 屋外プール)

〔服装・携行品・その他〕

水泳用具一式(水着・水泳用キャップ・ゴーグル)・タオル・運動着上下またはTシャツ・短パン等・ゴムサンダル

*水着は、体にぴったりとフィットする物を用意する(競泳用が望ましい)

体育実技A(水泳)

(初・中級：水泳の未習者または上手に泳げないと思っているレベル)
高嶺 隆二

【授業の目的】

- 1) 泳げない人を泳げるようにすることを第一目標とする。
- 2) 次に、水泳は習ったけれど、どうしても上手に泳げない人をその原因を究明して水泳を楽しめるようにする。
- 3) 水の中で、どうしたら疲れないで浮いていられるようになるかを掴む。
- 4) 水難事故にあったらどうするかを学ぶ。

【実施場所】

エポックススポーツクラブ日吉(室内プール)
所在地；横浜市港北区箕輪町2-3-7 日吉駅から、綱島街道を綱島方面へ12分

【服装・携行品・その他】

水泳用品一式(水着・水泳用キャップ・ゴーグル)・タオルなど
*水着は、体にぴったりとフィットする物を用意する(競泳用が望ましい)

体育実技A(水泳)

(中級：何とか50m泳げる程度のレベルの人)
高嶺 隆二

【授業の目的】

- 1) 競泳3種目(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ)を確実に泳げるようになること
- 2) バタフライを泳げるようになること
- 3) 着衣水泳の体験(水難事故から身を守る方法を知る)
- 4) 長い距離を泳ぐ体験(泳ぎながら有酸素運動) 健康増進

【実施場所】

日吉プール(屋外温水プール 公認50m 9コース)

【服装・携行品・その他】

水泳用具一式(水着・水泳用キャップ・ゴーグル)・タオル・運動着上下またはTシャツ・短パン等・ゴムサンダル
*水着は、体にぴったりとフィットする物を用意する(競泳用が望ましい)

体育実技A(水泳)

(上級：水泳経験が豊富で、個人メドレーができるレベルの人)
高嶺 隆二

【授業の目的】

- 1) 競泳4種目の技術的特性を究明して、より合理的な泳ぎを身に付け、他人を指導する能力を習得することを目指す。
- 2) 水難事故から自らを守ると同時に他人を救助するための技術的ノウハウを学ぶ。

3) 競技力の向上、水泳を楽しむ心を養う。

【実施場所】

日吉プール(屋外温水プール 公認50m 9コース)

【服装・携行品・その他】

水泳用具一式(水着・水泳用キャップ・ゴーグル)・タオル・運動着上下またはTシャツ・短パン等・ゴムサンダル
*水着は、体にぴったりとフィットする物を用意する(競泳用が望ましい)

体育実技A(水泳)

(上級：水泳経験が豊富で、個人メドレーができるレベル)
高嶺 隆二

【授業の目的】

1. 競泳4種目個々の技術的特性を究明し、より合理的で効率の良い動作の体得を目指す。
2. 日本泳法(古式泳法)の基本である横泳ぎ、立ち泳ぎなどの技を練習し、身の安全を護り、水難救助をも視野に入れ水難事故防止の心構えをつくる。

【実施場所】

エポックススポーツクラブ日吉(室内プール)
日吉駅から綱島街道を綱島方面へ徒歩12分 所在地；横浜市港北区箕輪町2-3-7

【服装・携行品・その他】

水泳用品一式(水着・水泳用キャップ・ゴーグル)・タオルなど
*水着は、体にぴったりとフィットする物を用意すること(競泳用が望ましい)

体育実技A(体力UPコース)

近藤 明彦

【授業の目的】

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、この講座ではレジスタンストレーニングマシンを用いた筋力のトレーニング、エアロバイクを用いた持久力のトレーニングそして、いつでもどこでも出来る自分の体重を負荷としたトレーニングを行うことにより、運動を継続的に行うことの重要性を理解するとともに、継続的な運動実施習慣の形式を目指す。

【実施場所】

体育研究所1Fトレーニングルーム

【服装・携行品・その他】

運動に適した服装、室内用運動靴、タオル

体育実技A(体力UPコース)

西村 忍

【授業の目的】

・体を鍛えるためのトレーニングの授業だけでなく、一生涯を通じての健康維持・増進する方法論として、体と知を育む授業を目的とする。

【実施場所】

体育研究所1階トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動着・インシューズ・タオル・ドリンク(ルーム内での飲食は禁止)

体育実技A(体力UPコース)

「ボディビルディング&コンディショニング」

山内 賢

〔授業の目的〕

この授業は、トレーニングの理論を基に、人間の体力を構成する筋力、パワー、柔軟性、持久力等をバランスよく鍛え、同時にトレーニングによる効果や体組成(体内脂肪量)の変化を自己観察するための授業である。この授業の目的は、自己の健康関連体力を観察し、その体力の向上と改善を個々のペースで管理するボディビルディングとコンディショニングのすすめにある。

〔実施場所〕

体育研究所1階トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装・室内シューズ・タオル

体育実技A(体力UPコース)

(初級)

吉田 泰将

〔授業の目的〕

体力テストや最大筋力測定、身体形態測定などを行い、自分自身の体力・体格を知り、個々人の目的に合わせたトレーニングプログラムの構築を行います。競技力向上、シェイプアップさらに減量などを目的に行うことが可能です。生涯家庭でも続けられるトレーニングを身につけましょう。

〔実施場所〕

体育研究所内1階トレーニングルーム(陸上競技場・プールなど)

〔服装・携行品・その他〕

運動に相応しい服装・室内用シューズ・屋外用シューズ

体育実技A(ダンス)

「ボールルームダンス」

篠原 しげ子

〔授業の目的〕

・種目ごとのリズムの特徴を理解し、動けるようになる。
相手の動きも理解して協力して動けるようになる。

〔実施場所〕

体育研究所3階エクササイズルーム

〔服装・携行品・その他〕

動きやすい服装・ソックス

体育実技A(トランポリン)

(初心者向け)

宮田 幸典

〔授業の目的〕

トランポリン運動を安全に楽しく実施できる技術を習得する。

〔実施場所〕

日吉記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装(詳細はガイダンスで説明します)

体育実技A(ニュースポーツ)

野口 和行

〔授業の目的〕

1. 一般的に「ニュースポーツ」といわれるレクリエーショナルなスポーツを取り上げ、幅広いスポーツ文化を体験する。
2. スポーツの実践を通して、仲間とのコミュニケーションを図り、生涯にわたってスポーツを楽しむ心を養う。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

運動できる服装・屋外シューズ

体育実技A(フライングディスク)

野口 和行

〔授業の目的〕

フライングディスクとは通称「frisbee」と呼ばれる円盤を使ったスポーツの総称です。ディスクには飛距離・耐空性・操作性を工夫したさまざまな大きさや形があり、それらを駆使したディスクによるスポーツ競技が数多く創られています。本授業は、こうしたフライングディスクの専門競技の紹介と体験をし、「空中を浮遊するディスクを本能的に追いかける人間の営み」を通じて、新たなスポーツ文化を吸収することを目的としています。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

運動できる服装・屋外シューズ

体育実技A(陸上競技)

松田 雅之

〔授業の目的〕

陸上競技に限らず、様々なスポーツに役立つ正しいランニングフォームを身に付ける。走・跳・投の各種目を通じて、陸上競技の楽しさを体験する。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・ランニングシューズ・スパイク(ある者のみ)

体育実技A(シーズン・スポーツ)

シーズン・スポーツ【球技(ダイヤモンド)】

体育実技A(軟式野球)

小松 恭三

【実施期間】

7月28日(水)~8月4日(水)日曜を除く7日間

【開始時間】

9:30

【実施場所】

日吉台野球場(蝮谷)

【定員】

40名

【目的】

1. 「個人技とチームプレイ」の基本を学び、「真剣なゲーム」を通して楽しさを体験する。
2. 「楽しいスポーツとしての野球」を生涯続けてもらいたい。

【授業内容】

1. 前半2日間 個人技の基本
 - (1) キャッチボール、守備、走塁の基本
 - (2) ルールの基本
2. 後半5日間 チームプレイの向上
 - (1) 試合形式の打撃、守備
 - (2) 紅白試合(スポーツとしての野球に真剣に取り組む)
 - チーム編成
 - ベースコーチの重要性
 - 審判の基本
3. 社会で活躍しているOBとの交流。

【服装携帯品等】

1. 服装は野球用のユニフォームが望ましい。
2. 下半身はスライディングしてすりむかないトレパン等着用。
3. 暑さ対策として、帽子、スポーツドリンク、タオルなどは必ず持参。
4. グローブ。

【雨天の対応】

1. 教室での授業。(出席をとります)
2. ルールの基本、チームプレイフォーメーション等を勉強する。

シーズン・スポーツ【格技・武道】

体育実技A(空手)

蓮池 敬一郎

【実施期間】

7月28日(水)~8月4日(水)日曜を除く7日間

【開始時間】

10:00

【実施場所】

空手道場(蝮谷)

【定員】

40名(男女共習)

【目的】

空手に親しむ。基本的な突き、蹴り、受けを行ない護身術程度の技術を修得する。又、初心者用の形1つ、あるいは組手を行なう。

【授業内容】

初日

基本の立ち方、突き、蹴り

2~6日目

1日目の内容プラス受け。またミット、バッグを使う。形希望者と組手希望者に分け、それぞれ即した練習を行なう。

形...平安初段を行なう

組手...攻撃技のいくつかを行なう

7日

形...演武披露

組手...部員と試合形式で組手

なお、経験者においては少しレベルアップした内容にする。

【服装携帯品等】

タオル、下着(着替え)を持参すること。女子は道着の下に着用するTシャツ等。

体育実技A(弓術)

上山 幸一

【実施期間】

7月28日(水)~8月4日(水) 日曜を除く7日間

【開始時間】

9:00

【実施場所】

志正弓道場(蝮谷)

【定員】

40名(男女共習)

【費用】

500円(交通費を除く)

【費用内訳】

教本、下ガケ代

【目的】

正射必中の射の技術を習得すると共に、道場における礼儀作法、射場における体配(立居振舞い)を学び慶応弓術を理解してもらう。

【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

1日目

(未経験者)射法説明、イメージトレーニング

(経験者)射法説明、ゴム弓、巻藁

2日目~3日目

(未経験者)イメージ、ゴム弓、巻藁

(経験者)巻藁、レベルをみでの前練習

4日目～6日目
巻藁、的前
7日目
班を編成し対抗戦をおこなう
〔服装・携行品・その他〕
前にボタンのない服（Tシャツが望ましい）、ピア
ス・アクセサリーははずす、熱中症対策の飲み物

体育実技A（少林寺拳法）
中島 正樹

〔実施期間〕
7月28日（水）～8月4日（水）日曜を除く7日間
〔開始時間〕
9：00
〔実施場所〕
拳法道場（蝮谷）
〔定員〕
30名（男女共習）
〔目的〕
少林寺拳法を通じて武道を理解する。

〔授業内容〕
初日
少林寺拳法の説明
2・3日目
突き・蹴り・受け
4・5日目
抜き技・投げ技・固め技
6・7日目
応用・復習
〔服装携帯品等〕
道着（ない人は貸与します）

シーズン・スポーツ【個人種目】

体育実技A（器械体操）
（新体操を含む 新体操は女子のみ） 首藤 聡史

〔実施期間〕
9月13日（月）～22日（水）土、日、祝日を除く7日間
〔開始時間〕
15：00
〔実施場所〕
日吉記念館
〔定員〕
30名（男女共習）
〔目的〕
さまざまな器械・器具を使用して、身体バランス、巧
緻性を養い安全で楽しく器械体操・新体操の基礎を学
ぶ。
〔授業内容〕
器械体操
1日目

ガイダンスおよび器具のセッティングの方法、各種目
のポイントと導入
2日目
床運動、トランポリンの基本練習（前転・後転・側
転・倒立/基本ジャンプ）
床、鞍馬、吊輪、跳馬、平行棒、鉄棒、段違い平行棒、
平均台の各種目を使用してのフィジカルトレーニング
3日目
床運動、トランポリンの基本練習（前方倒立回転・
ロングバード/開脚ジャンプ・閉脚ジャンプ/フィジカル
トレーニング）
4日目
床運動、トランポリン（前方倒立回転・後方倒立回
転/補助帯を使用しての宙返り/フィジカルトレーニ
ング）
5日目
鉄棒（段違い平行棒）・跳馬（スイング・後方支持
回転/開脚跳び・閉脚跳び）
6日目
鉄棒（段違い平行棒）・跳馬（スイング・け上
がり/前方倒立回転）
7日目
演技発表会（試験）
新体操
・女子のみを対象とした授業です。注意してください。
・リボン、ボール、リングなど新体操の用具を使い、基
本的なからだの使い方を丁寧に指導します。
・未経験者、初心者も楽しく受講できます。
・リズム運動なども取り入れた軽運動が主体なので、体
力に自信の無い方にもお勧めです。
〔服装携帯品等〕
運動の出来る服装、時計、ネックレスなどは不可（ガ
イダンス時に詳しく説明）

シーズン・スポーツ【水辺種目】

体育実技A（水泳）
峰岸 克行

〔実施期間〕
7月28日（水）～8月4日（水）日曜を除く7日間
〔開始時間〕
13：00
〔実施場所〕
日吉プール
〔定員〕
50名（男女共習）
〔目的〕
水の中で自在に体を操って浮く、泳ぐ（速く泳ぐ、長
い距離を泳ぐ）、潜るなどの技が習得できれば、人の日
常生活に大きな広がりをもたらします。近年人気のサー
フィン、ウィンドサーフィン、ダイビングも泳げないこ
とには自分のものにはなりません。このクラスでは、泳

ぐ技能を高める練習法や水泳の楽しみ方を学んでもらいます。また服を着たままで泳ぐ(着衣泳)の体験を通して水難事故防止のための心を養ってもらいます。

【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

第1日

- 1) 開校式
- 2) 水泳経験・技能・泳力等調査ならびにグループ編成(初級・中級・上級)
- 3) グループ別水練(水なれ、泳力確認)

第2日～第5日

グループ別練習

初級班:呼吸法、キック、ストロークの練習(クロール、背泳ぎ、平泳ぎ)

中級班:3種目のスタイルを重点的に練習、距離泳の成功を目指す。パタフライを練習。

上級班:競泳4種目の練習(スピード、持久力)、水球競技のテクニックとゲーム。

第6日

着衣で泳ぐ(全員トレーナー・ジーンズ・運動靴を着用)

第7日

まとめ:各班ごとに、課題のトライアル

【服装・携行品・その他】

水泳用具一式(水着、水泳用キャップ、ゴーグル)、タオル、運動着上下(またはTシャツ、短パン)

*水着は、体にぴったりとフィットするものを用意する(競泳用が望ましい)

【雨天時の対応(屋外種目のみ)】

原則として実施する。(ただし、台風等著しく荒天の場合はそれなりに対応する)

体育実技A(端艇)

月村 繁雄

【実施期間】

9月15日(水)～24日(金)日曜・祝日を除く7日間

【開始時間】

9:00

【実施場所】

体育会端艇部戸田艇庫(埼京線戸田公園駅下車10分)

【定員】

20名(男女共習)

【費用】

交通費は実費

【目的】

日吉・三田といった従来のキャンパスを出て端艇部の施設を利用して、同じ塾内に運動に熱心に取り組んでいる塾生(端艇部員)の姿をみせつつ、普段慣れ親しみのない漕艇を体験し運動不足を解消し、また今後の体力増進のきっかけとなるように指導する。

【授業内容】

第1日目_ボートに対する知識を教示する。艇庫利用および戸田コース使用上の注意説明。艇の取り扱い説明。基礎運動。バック台・エルゴ(陸上で漕ぐ動きを確認す

る機材)で体の動かし方を指導。第2日目_前日と同様とする。乗艇練習の時間を増やす。第3日目_バック台・エルゴおよび乗艇練習。艇とオールさばきに個々のペースでまず慣れてもらう。第4日目_乗艇練習。体の動きを合わせることを意識してもらう。第5日目_乗艇練習。乗艇時間、距離ともに増やす。第6日目_乗艇練習。_第7日目_他の練習艇と並べてボートの楽しさを実感してもらう。

【服装携帯品等】

着替えを用意していただきたい。風呂シャワーは艇庫のものを利用可。

【雨天の対応】

多少の雨なら短時間で乗艇練習します。強風、豪雨の場合は座学とします。

体育実技B（ウィークリー・スポーツ）

ウィークリー・スポーツ【球技（ネット）】

体育実技B（バレーボール）

石手 靖

【授業の目的】

バレーボールゲームを楽しみ、仲間と大いにコミュニケーションをとること

【実施場所】

日吉記念館（火1・2・3）及び第3校舎下バレーボールコート（水2・3）

【服装・携行品・その他】

スポーツウェア及びシューズ

体育実技B(シーズン・スポーツ)

シーズン・スポーツ【球技(ネット)】

体育実技B(バレーボール)

「夏のバレーボール」

石手 靖

【実施期間】

9月15日(水)~22日(水) 日曜・祝日を除く6日間

【開始時間】

10:00

【実施場所】

日吉記念館及び県立湘南海岸公園内サーフビレッジ
(神奈川県藤沢市鵜沼海岸)

【定員】

30名(男女共習)

【費用】

1,440円(交通費を含む)

【費用内訳】

鵜沼海岸への交通費

(参考:日吉・鵜沼海岸往復¥1,440)

【目的】

バレーボールを理解し、技術の向上を目指す。またビーチでのバレーボールを通じて、仲間との新たな遊び方を体験する。

【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

1~2日:基礎技術の練習(パス・トス・レシーブ・サーブ・スパイク・ブロック)

3~4日:実践的な複合練習(攻撃法と守備法)

5~6日:ゲーム練習

ビーチボール体験は、3日目と6日目の2日間の予定。ただし期間中の天候(雨・風)により変更する場合あり。

【服装・携行品・その他】

スポーツウェア・シューズ

【雨天時の対応(屋外種目のみ)】

日吉記念館にて実技

シーズン・スポーツ【個人種目】

体育実技B(アウトドアレクリエーション)

野口 和行

【実施期間】

9月2日(木)~6日(月)(合宿)

【実施場所】

慶應義塾立科山荘(長野県)

【定員】

50名(男女共修)

【費用】

26,000円(交通費を除く)

【費用内訳】

宿泊費、食費、プログラム費、障害保険料、雑費

【目的】

- ・自然の中でのレクリエーションな活動を通しての自然環境の理解
- ・各活動に関する技術とそれに伴うさまざまな知識の習得
- ・集団生活を通しての人間関係の理解

【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

この授業は長野県立科町にある慶應義塾の山荘に宿泊しながら、周辺の豊かな自然環境を利用したさまざまなプログラムを行います。いくつかのプログラムから自分の希望するものをチョイスする選択プログラム制で、経験豊かなスタッフがそれぞれのプログラムのガイド役を務めます。立科での5日間を通して、自然、ひと、自分とうまく付き合っていく方法を学んでみませんか?

1日目:設営、夕食作り

2日目:選択プログラム1

登山、カヌー、サイクリング、シャワークライミング、ロッククライミングなどのプログラムから1つを選択し、体験する

3日目:選択プログラム2

登山、カヌー、サイクリング、シャワークライミング、ロッククライミングなどのプログラムから1つを選択し、体験する

4日目:森の時間、アウトドアパーティー

山荘周辺でのクラフト、料理等の静的なプログラムの体験、会食形式のパーティー

5日目:撤収、ふりかえり

【服装・携行品・その他】

要項・オリエンテーション等で別途詳しい説明をします。

【雨天時の対応(屋外種目のみ)】

基本的にはプログラムどおり行います。

体育実技B(山岳)

岩永 治朗

【実施期間】

8月3日(火)~6日(金)(合宿)

【実施場所】

八ヶ岳連峰

【定員】

50名(男女共習)

【費用】

35,000円(交通費を除く)

【費用内訳】

食費・宿泊費 30,000円、雑費 5,000円

【目的】

1. 初心者を対象に、生涯スポーツとして登山の基礎を身につける。
2. 団体行動を通じてチームワーク、八ヶ岳の多様な自然を満喫する。

【授業内容】

- 8/3 JR茅野駅～バス～美農戸～赤岳鉱泉(泊)(歩行3時間)
- 8/4 赤岳鉱泉～赤岳往復～赤岳鉱泉(泊)(歩行5時間)
- 8/5 赤岳鉱泉～硫黄岳～本沢温泉(泊)(歩行3時間)
- 8/6 本沢温泉～稲子湯下山(歩行2時間半)
- アルプス的な険しさを持つ赤岳へ登り、後半は北八ヶ岳の湖沼と森林の中を歩く。
- 日本最高所の露天風呂等、山登りの魅力を満喫できる初心者向けの計画。
- 【服装携帯品等】
登山用具一式、詳しくは実施要項を参照。
- 【雨天の対応】
雨天決行。ただし状況に応じて行程の変更有。

体育実技B(馬術)

中村 護

- 【実施期間】
7月29日(木)～8月1日(日)(合宿)
- 【開始時間】
7月29日 8:00 日吉保健管理センター前集合(バス移動)
- 【実施場所】
馬術競技場(山梨県)
- 【定員】
36名(男女共習)
- 【費用】
49,000円(交通費を含む)
- 【費用内訳】
保険代、借馬料、施設使用料、宿泊費、交通費
- 【目的】
計6回の練習を通じて馬に慣れ親しむだけでなく、単独の常歩騎乗を達成し、厩舎作業の体験をすることで馬匹管理への理解も深める。
- 【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)
1日目:(午前)日吉発～昼現地着(午後)馬への近づき方、触り方、乗馬、下馬、馬上体操、発進、停止の説明と実技
2日目:(午前)1日目の復習(部員による曳き馬)常歩運動(午後)1日目の復習(単独騎乗)常歩運動
3日目:(午前)前日までの復習(単独騎乗)常歩運動(午後)速歩運動(部員による曳き馬)のち(単独騎乗)
4日目:(午前)林間コースでの外乗
実技練習以外に馬に関する講義、厩舎作業も実施します。
- 【服装・携行品・その他】
ポロシャツ(白)、トレーニングウェア(上下)、運動靴、靴下、軍手、虫よけ、防寒具、保険証のコピー、学生証、領収書
- 【雨天時の対応(屋外種目のみ)】
ビデオ鑑賞及び講義

シーズン・スポーツ【水辺種目】

体育実技B(ヨット)

井上 進

- 【実施期間】
8月2日(月)～5日(木)(合宿)
- 【開始時間】
14:00
- 【実施場所】
神奈川県三浦市ヨット部合宿所
- 【定員】
40名(男女共習)
- 【費用】
37,000円(交通費を除く)
- 【費用内訳】
宿泊費、食料品費、教材、用具、補修、他
- 【目的】
かつて小泉信三塾長はヨットについて、「自然に従い、自然を制す」と表現し、スポーツとしてのヨットの意義について記されています。本クラスの目的は、人を相手とする他のスポーツと異なり、一切の妥協を許さぬ海上で、セーリング技術の習得を通じて、自然の素晴らしさと厳しさを体験し、理解することとします。
- 【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)
短い期間なので、できるだけヨットに乗っている時間を長くするよう時間割を編成します。
第1日目:ガイダンス、座学;ヨットに関する基本知識(ヨットの原理、構造)、ロープワーク実習ほか
第2日目:小型艇(ディンギー)、大型艇(クルーザー)を使用してセーリング実習
第3日目:セーリング実習
第4日目:セーリング実習
- ・小型艇は大学選手権に使われる2人乗りのレース艇です。インストラクター1名に生徒1～2名が乗艇します。大型艇は外洋帆走可能な10人以上乗れるヨットです。インストラクター1～2名と履修生5～7名が乗艇します。
 - ・小型艇と大型艇それぞれ、できるだけ多くの艇種に乗れるよう配慮します。
 - ・初めてヨットに乗る人を対象としますが、再受講者、経験者の参加も歓迎します。
 - ・実習中は全員救命胴衣着用なので、泳げない人でも大丈夫です。船酔いする人もこの機会に乗り物酔いを克服しましょう。(酒酔い不可)
 - ・大学で唯一に臨海学校ですので、毎年楽しい思い出ができますが、授業というルールのある合宿なので、団体生活の嫌いな人にはお勧めしません。
- 【服装・携行品・その他】
ヨットに乗ると必ず濡れますので、4日間の着替えは多めに持ってきてください。帽子は必携です。海水着、ポロシャツ、ウィンドブレーカー、長ズボン、短パン、

パジャマ、下着類、運動靴(2足)、洗面用具、タオル、手拭い、日焼け止め(必要な方)、筆記用具、演芸小道具など

〔雨天時の対応(屋外種目のみ)〕

自然を相手にしたスポーツですので、台風など、気象状況によっては乗艇できない日があるかもしれません。雨天でも風、波が安全な状況はら実習は行います。夏でも雨天は寒い場合がありますので、長袖のトレーナーやウィンドブレーカーなどは持参願います。

シーズン・スポーツ【冬季種目】

体育実技B(スキー)

吉田 久男

〔実施期間〕

2月8日(火)～11日(金)(合宿)

〔実施場所〕

志賀高原発着温泉スキー場周辺(長野県)

〔定員〕

150名

〔費用〕

45,000円(交通費を除く)

〔費用内訳〕

リフト代含む。

〔目的〕

合宿形式のスキー実習を通じ、雪山での自然体験と集団生活・グループ活動を体験する(自然・人間の理解)。また、個人の技術的課題を認識するとともに、設定された達成目標をクリアするための努力実践をする(自己への挑戦)。

達成目標の具体例

初心者：山頂からのツアーの達成

初級班：プルークボーゲンの完成

中・上級班：緩斜面または中・急斜面パラレルターンの完成

〔授業内容〕

1日目

午後 開校式、実技(技術班分・導入実技)夕食後班別ミーティング

2日目

午前・午後 実技(ビデオ撮影・課題練習)夕食後班別ミーティング

3日目

午前・午後 実技(ポール体験・ツアー・課題練習)夕食後班別ミーティング

4日目

午前 実技(班別デモンストレーション・まとめ)、閉校式

〔服装携帯品等〕

詳細は別途実施要項を参照のこと。

〔雨天の対応〕

基本的にリフトが運休しない限り実技を行う。実技不

可能な場合は宿舎にて技術理論などを講義する。

体育実技B(スケート)

小山 正

〔実施期間〕

2月7日(月)～10日(木)(合宿)

〔実施場所〕

軽井沢スケートセンター

〔定員〕

40名(男女共習)

〔費用〕

27,000円(交通費を除く)

〔費用内訳〕

宿泊費、リンク貸切料、滑走料、障害保険料、雑費

〔目的〕

スケートに関する知識及び技術の習得。合宿生活の経験及び他学部の仲間との懇親

〔授業の内容〕(内容と順序は変更になる場合があります)

スケートの基礎知識を習得し、スケートの各種目(フィギュアスケート、アイスホッケー、スピードスケート)の体験をします(選択可能)。レベル別に班分けをし指導しますので初心者、経験者共に十分に楽しむことの出来る内容になっています。この機会にスケートの楽しさを体感しましょう!

1日目：開講式、基本技術の習得(フォア、バック、ストップ等)

2日目：基本技術の習得(ターン、クロス、ジャンプ、スピン)

3日目：フィギュア、アイスホッケー、スピードスケート、各種目の体験

4日目：氷上運動会、閉校式

〔服装・携行品・その他〕

防寒着、手袋、帽子など。要項・オリエンテーション等で別途詳しい案内をします。

〔雨天時の対応(屋外種目のみ)〕

室内での活動が主なため、雨天の場合もスケジュールに大きな変更はありません。

平成16(2004)年度 体育実技A・体育実技B(シーズン・スポーツ)

春学期実施日程 7月28日(水)~8月4日(水) 日曜を除く7日間

秋学期実施日程 9月15日(水)~24日(金) 日曜・祝日を除く7日間

実施日 (学期)	科目	定員	開始時間	実施場所	初日 集合場所	備考
7・8月 (春)	体育実技A(空手)	40	10:00	空手道場(虻谷)	同左	
	体育実技A(弓術)	40	9:00	志正弓道場(虻谷)	同左	¥500(教本)
	体育実技A(少林寺拳法)	30	9:00	拳法道場(虻谷)	同左	
	体育実技A(水泳)	50	13:00	日吉プール	同左	
	体育実技A(軟式野球)	40	9:30	日吉台野球場(虻谷)	同左	
	体育実技B(山岳)(合宿)	50	8/3(火)~5(金)	ハケ岳連峰 (長野県)	同左	¥35,000 交通費除く
	体育実技B(馬術)(合宿)	36	7/29(木)~8/1(日)	馬術競技場 (山梨県)	日吉	¥49,000 交通費含む
体育実技B(ヨット)(合宿)	40	8/2(月)~5(木)	ヨット部合宿所 (神奈川県三浦市)	同左 14:00	¥37,000 交通費除く	
9月 (秋)	体育実技A(器械体操) (新体操女子のみ含む)	30	9/13(月)~22(水) 土・日・祝日を除く 15:00	日吉記念館	同左	
	体育実技A(端艇)	20	9:00	端艇部合宿所(埼玉県)	同左	
	体育実技B(バレーボール)	30	9/15(水)~22(水) 日曜・祝日を除く6日間	日吉記念館および 湘南サーフビレッジ	日吉記念館 10:00	¥1,440 (交通費)
体育実技B(アウトドア レクリエーション)(合宿)	50	9/2(木)~5(月)	立科山荘(長野県)	同左	¥26,000 交通費除く	
2月 (秋)	体育実技B(スキー)(合宿)	150	2/8(火)~11(金)	志賀高原発哺(長野県)	同左	¥45,000 交通費除く
	体育実技B(スケート)(合宿)	40	2/7(月)~10(木)	軽井沢スケートセンター (長野県)	スケートセン ターホテル	¥27,000 交通費除く

合宿種目費用納入

納入日時 4月24日(土)~30日(金) 8:45~17:00(ただし、土曜は、14:15まで)

納入場所 日吉学事センター7番窓口

(費用が納入期間に間に合わない場合は、窓口で相談してください。)

3 保健管理センター

1. 保健管理センター設置講座開講にあたり

保健管理センターは、1972年に設立され2002年に設立30周年を迎えました。保健管理センターでは、保健体育科目として保健衛生の講義を担当していましたが、目まぐるしい医学の進歩と社会情勢の変化に対応すべく独自の講義を開設することとなりました。

2. 設置科目履修上の取扱について

「現代社会と医学」(月曜日4時限)と「現代社会と医学」(木曜日1時限)は、日吉キャンパスで春学期と秋学期にそれぞれ開講します。春学期と秋学期の講義内容は全く同じで、単位は2単位です。受講を希望する場合は履修の取扱について、各学部、研究科で確認の上、履修申告をして下さい。

現代社会と医学

「海外生活と医療」

【全】

2単位 春・秋

コーディネーター 保健管理センター教授
南里清一郎 ほか

【授業科目の内容】

現在の日本では、1500万人以上の方が海外旅行をし、仕事や留学などの長期滞在者は、50万人以上です。途上国は医療事情が悪く、いざという時の緊急医療でさえも不安があります。先進国では医療費が高く医療機関受診方法に不安があります。感染症の予防に関しては、予防接種が重要な意味を持ちますが、途上国においては、個人防衛のために必要であり、先進国、特にアメリカでは集団生活(留学など)を行う際に義務となります。生活習慣病に関しては、環境の変化による持病の悪化や、発症を早める可能性もあります。また、カルチャーショックによる、精神保健的な問題も生じます。

以上のような事に関し、保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で講義を行います。

【教科書】

改訂保健衛生

【参考書】

各担当者による資料の配布

現代社会と医学

「現代社会と生活習慣病」

【全】

2単位 春・秋

コーディネーター 保健管理センター所長
齊藤郁夫 ほか

【授業科目の内容】

高血圧症、高脂血症、糖尿病、肥満、動脈硬化、がんなど以前は、成人病と呼ばれていた日本人の代表的な病気は、運動不足、食べ過ぎ、喫煙などの生活習慣との関

連が強いことから、現在では生活習慣病と呼ばれています。アメリカのBreslowは7つの健康な生活習慣、喫煙をしない、適度な飲酒、定期的な運動、適正体重の維持、適正な睡眠時間、毎日朝食を食べる、間食をしない、について、健康習慣を多く続ける人ほど加齢による老化を相対的に遅らせ、不健康な生活習慣を続ける人ほど早く老化し、死亡率も高くなるといっています。若いときから、国民一人ひとりが健康的な生活を理解し、実行維持するための保健教育の意義はますます大きくなっています。下記の講義内容に関し保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で講義を行います。

【教科書】

改訂保健衛生

【参考書】

各担当者による資料の配布

4 外国語教育研究センター

外国語教育研究センターは、語学視聴覚教育研究室を改組して、昨年の10月に発足しました。英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語およびスペイン語の6外国語について、「表現技法」をキーワードとし、「聴く」「話す」ことから出発し、「読み」「書き」さらに「発想・思考」にいたる外国語学習本来のプロセスを尊重し、各要素のバランスのとれた外国語コミュニケーション能力が確実に身につくよう、少人数編成のクラスで授業を行います。また、超上級クラス、基礎固めのクラス、各種の検定試験に特化したクラスも用意されています。さらに、これらの設置科目のほかに、学部で開講されている外国語科目の一部が外国語教育研究センターに併設されています。

外国語教育研究センターでは、毎年夏休みに慶應立科山荘で行われていた集中セミナーに替わる集中講座を新たなコンセプトのもとに企画しています。計画が決定し次第、外国語教育研究センターのホームページや掲示で広報し、参加者の募集をする予定です。

以下に本年度開講される外国語教育研究センター設置科目の一覧を掲載します。ガイダンス、履修の手続き、および各科目の詳しい講義内容ならびに併設科目については、別途配布の『外国語教育研究センター 履修案内・講義要綱』を参照してください。

ガイダンス日程：4月5日(月)15:15～15:45 J19番教室
受講料は無料です。
定員を超えた場合は抽選となります。

外国語教育研究センター設置科目一覧（日吉）

* 科目名に(A)(B)と標記されている科目は春(A)・秋(B)をセットで履修することが義務付けられている科目です。

* 科目名に(1)(2)と標記されている科目は春(1)と秋(2)のどちらかひとつを履修することも、あるいは両方を履修することも可能です。

* 英語Grammar in Action: Speaking and Writingと英語アカデミックライティングは春または秋のどちらかの履修のみ可能です。

語種	科目名	担当講師名	設置学期	曜日・時限	定員	形態	単位数
英語	アドバンスト英語(A)(最上級)	ロバート・ギブソン	春	水・4	25	半期	1
	アドバンスト英語(B)(最上級)	ロバート・ギブソン	秋			半期	1
	アドバンスト英語(最上級)	ロバート・ギブソン	春 秋			通年	2
	アドバンスト英語(A)(最上級)	デビット・シェイ	春	木・3	25	半期	1
	アドバンスト英語(B)(最上級)	デビット・シェイ	秋			半期	1
	アドバンスト英語(最上級)	デビット・シェイ	春 秋			通年	2
	英語TOEFL対策(1) (Practice for the TOEFL test)	アン・パトラー	春	水・3	30	半期	1
	英語TOEFL対策(2) (More practice for the TOEFL test)	アン・パトラー	秋			半期	1
	英語TOEIC対策(1)	久我 俊二	春	水・2	30	半期	1
	英語TOEIC対策(2)	久我 俊二	秋			半期	1
	英語TOEIC対策(1)(Prepare for TOEIC)	リチャード・バロウス	春	金・5	30	半期	1
	英語TOEIC対策(2)(Prepare for TOEIC)	リチャード・バロウス	秋			半期	1
	英語ドラマ(A)(身体から言葉を学ぼう)	横山 千晶	春	土・2	15	半期	1
	英語ドラマ(B)(身体から言葉を学ぼう)	横山 千晶	秋			半期	1
	英語ドラマ(身体から言葉を学ぼう)	横山 千晶	春 秋			通年	2
英語翻訳(A)	武藤 浩史	春	水・5	20	半期	1	
英語翻訳(B)	武藤 浩史	秋			半期	1	
英語翻訳	武藤 浩史	春 秋			通年	2	

英語	英語Grammar in Action: Speaking and Writing	松岡 和美	春 秋	水・3	25	半期	1
	英語アカデミックライティング (Writing an Academic Paper in English)	和田 朋子	春 秋	月・1	25	半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション(1)(初級)	ルース・ファロン	春	月・1	20	半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション(2)(初級)	ルース・ファロン	秋			半期	1
	発信英語(A)(初級) (英語で積極的にコミュニケーションをしよう)	迫村 純男	春	木・5	20	半期	1
	発信英語(B)(初級) (英語で積極的にコミュニケーションをしよう)	迫村 純男	秋			半期	1
	発信英語(初級) (英語で積極的にコミュニケーションをしよう)	迫村 純男	春 秋			通年	1
ドイツ語	ドイツ語表現技法 (A)(初級発音・聴解練習)	境 一三	春	金・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法 (B)(初級発音・聴解練習)	境 一三	秋			半期	1
	ドイツ語表現技法 (初級発音・聴解練習)	境 一三	春 秋			通年	2
	ドイツ語表現技法 (A) (ボキャブラリー・トレーニング)	中山 純	春	月・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法 (B) (ボキャブラリー・トレーニング)	中山 純	秋			半期	1
	ドイツ語表現技法 (ボキャブラリー・トレーニング)	中山 純	春 秋			通年	2
	ドイツ語表現技法 (A)(初級文章表現法)	アンネ・ゲラート	春	水・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法 (B)(初級文章表現法)	アンネ・ゲラート	秋			半期	1
	ドイツ語表現技法 (初級文章表現法)	アンネ・ゲラート	春 秋			通年	2
フランス語	フランス語表現技法 (1)(課題作文)	前島アンヌ＝マリー	春	木・1	20	半期	1
	フランス語表現技法 (2)(課題作文)	前島アンヌ＝マリー	秋			半期	1
ロシア語	ロシア語聴解(A) (ロシア語の音のシャワーを浴びよう)	杉野 由紀	春	金・4	25	半期	1
	ロシア語聴解(B) (ロシア語の音のシャワーを浴びよう)	杉野 由紀	秋			半期	1
	ロシア語聴解 (ロシア語の音のシャワーを浴びよう)	杉野 由紀	春 秋			通年	2
中国語	中国語リスニング (1)(上級)	劉 穎	春	火・5	25	半期	1
	中国語リスニング (2)(上級)	劉 穎	秋			半期	1
	中国語ライティング (1)(上級) (中国語作文・翻訳技法)	呉 敏	春	金・3	25	半期	1
	中国語ライティング (2)(上級) (中国語作文・翻訳技法)	呉 敏	秋			半期	1
スペイン語	スペイン語表現技法 (A)(初級)	ナンシー・ウエチ	春	火・5	25	半期	1
	スペイン語表現技法 (B)(初級)	ナンシー・ウエチ	秋			半期	1
	スペイン語表現技法 (初級)	ナンシー・ウエチ	春 秋			通年	2
	スペイン語表現技法 (A)(中級) (スペイン語テキストの講読)	大楠 栄三	春	金・3	25	半期	1
	スペイン語表現技法 (B)(中級) (スペイン語テキストの講読)	大楠 栄三	秋			半期	1
	スペイン語表現技法 (中級) (スペイン語テキストの講読)	大楠 栄三	春 秋			通年	2

2004年度 外国語教育研究センター設置科目(日吉)春学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9:00~10:30		10:45~12:15		13:00~14:30		14:45~16:15		16:30~18:00	
月	英語 アカデミックライティング 英語オーラル・ プレゼンテーション(1) (初級)	和田 ファロン					ドイツ語表現技法(A) ドイツ語表現技法	中山		
火									スペイン語表現技法(A) (初級) スペイン語表現技法(初級) 中国語リスニング(1) (上級)	ウエチ 劉
水			英語 TOEIC対策(1)	久我	英語 TOEFL対策(1) 英語 Grammar in Action: Speaking and Writing	ハラー 松岡	ドイツ語表現技法(A) ドイツ語表現技法 アドバンス英語(A) (最上級) アドバンス英語 (最上級)	ゲラート ギブソン	英語翻訳(A) 英語翻訳	武藤
木	フランス語 表現技法(1)	前島			アドバンス英語(A) (最上級) アドバンス英語 (最上級)	シェイ			発信英語(A)(初級) 発信英語(初級)	迫村
金					スペイン語表現技法(A) (中級) スペイン語表現技法 (中級) 中国語ライティング(1) (上級)	大楠 呉	ロシア語聴解(A) ロシア語聴解 ドイツ語表現技法(A) ドイツ語表現技法	杉野 境	英語 TOEIC対策(1)	ハロウス
土			英語ドラマ(A) 英語ドラマ	横山						

2004年度 外国語教育研究センター設置科目(日吉)秋学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9:00~10:30		10:45~12:15		13:00~14:30		14:45~16:15		16:30~18:00	
月	英語 アカデミックライティング 英語オーラル・ プレゼンテーション(2) (初級)	和田 ファロン					ドイツ語表現技法(B) ドイツ語表現技法	中山		
火									スペイン語表現技法(B) (初級) スペイン語表現技法(初級) 中国語リスニング(2) (上級)	ウエチ 劉
水			英語 TOEIC対策(2)	久我	英語 TOEFL対策(2) 英語 Grammar in Action: Speaking and Writing	ハラー 松岡	ドイツ語表現技法(B) ドイツ語表現技法 アドバンス英語(B) (最上級) アドバンス英語 (最上級)	ゲラート ギブソン	英語翻訳(B) 英語翻訳	武藤
木	フランス語 表現技法(2)	前島			アドバンス英語(B) (最上級) アドバンス英語 (最上級)	シェイ			発信英語(B)(初級) 発信英語(初級)	迫村
金					スペイン語表現技法(B) (中級) スペイン語表現技法 (中級) 中国語ライティング(2) (上級)	大楠 呉	ロシア語聴解(B) ロシア語聴解 ドイツ語表現技法(B) ドイツ語表現技法	杉野 境	英語 TOEIC対策(2)	ハロウス
土			英語ドラマ(B) 英語ドラマ	横山						

5 情報処理教育室

情報処理教育室では、情報処理に関する講座を開講しています。

情報処理に関する知識・技術を持つことは、学生諸君にとって今や必須のこととなっています。将来、各学部専門課程に進学してからの学習・研究活動に役立つだけでなく、1年生からの学習・学内の諸活動に大変有効です。なるべく早い機会に履修しておくことを勧めます。

1 ガイダンス

次の2回のうち、都合の良い時間に参加してください。

4月7日(水) 14:00~14:45 J21番教室

14:45~15:30 J21番教室

2 受講申し込み手続き

受講する科目が決まったら、証紙券売機で受講料分の証紙を購入し、申し込み用紙に貼付して窓口へ提出してください。各講座とも定員になり次第締め切ります。

日時：4月9日(金) 9:00~16:00

4月10日(土) 9:00~14:00

(11:30~12:30は昼休み)

4月12日(月) 9:00~16:00

場所：日吉学事センター 情報処理教育室窓口

3 履修上の注意

情報処理教育室に申し込みを行った科目については、必ず各学部の履修案内にしたがって各自で履修申告をしてください。履修申告を行わないと単位は与えられませんので特に注意してください。また、受講申し込みをしないで履修申告をしても単位は認められません。

履修申告により単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないようにしてください。

4 問合せ先

情報処理教育室(日吉学事センター内)

5 平成16年度開講科目及び受講料

設置講座は受講料が必要ですが、文学部、経済学部、法学部、商学部生については当年度学部設置の情報処理基礎関連の科目(文学部：基礎情報処理 経済学部：情報処理 法学部：情報処理・商学部：情報処理)を定員の関係で履修できずに「情報処理概論(パソコンによる情報整理学)」を申し込む場合には受講料(12,000円)は免除されます。申し込み方法は変更ありませんが必ず学生証を提示してください。

平成16年度 情報処理教育室設置講座(日吉)

講座名		クラス	担当者	時期	定員	受講料	単位
情報処理概論	C言語によるプログラミング入門	11A	恩田 憲一	通年	100	12,000円	4
		11B	斎藤 博昭		50		
情報処理概論	パソコンによる情報整理学	13A	河内谷幸子		46		
情報処理応用	コンピュータグラフィックス	31A	大野 義夫	春学期	50	5,000円	2

開講曜日・時限は学部の時間割ではなく、情報処理教育室設置講座の時間割に記載されます。授業は、学部授業と同様4月8日(木)から開始されます。

情報処理概論

「C言語によるプログラミング入門」 4単位 通年
恩田 憲一

【授業科目の内容】

初心者を対象として、コンピュータを用いて問題を解決する事を学ぶ。コンピュータで処理ができるように問題を解析し、考察することに重点を置き、計算の手順（アルゴリズム）の理解、組み立てと改良、およびそれを実現する具体的手段としてのプログラミング技術を習得する。当科目ではコンピュータの原理、式、変数、入出力、条件分岐、ループ、配列、ポインタ、関数、記憶クラス、スコープ、構造体、ファイル入出力など、C言語における中級レベルのプログラミング能力獲得を目標として、プログラミング演習を交えた講義を行う。また講義の終盤にはWindowsプログラムの書き方も取り上げる予定である。演習はITCのパーソナルコンピュータにインストールされたMicrosoft VisualStudio.netを使用するが、自宅PCでの学習を希望する者を対象として、フリーソフトウェアのみで構成されたプログラミング環境の構築も指導する。

【教科書】

河西朝雄著『入門ソフトウェアシリーズ C言語』ナツメ社（2002年 1750円）

【参考書】

B.W.Kernighan, D.M.Ritchie著 / 石田晴久訳『プログラミング言語C』共立出版（2001年 2800円）

情報処理概論

「C言語によるプログラミング入門」 4単位 通年
斎藤 博昭

【授業科目の内容】

C言語を使ってプログラミングの基礎を習得します。C言語は広く世の中で使われているコンピュータ言語です。難しい数学は使わず、“きちんとした考え方”をやるだけで、プログラミングの楽しさを味わえます。プログラミングをすることで、コンピュータの中でどのようなことが起こっているのかがわかり、IT社会で生きていく上で必ずや役に立つでしょう。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。毎回プリントを配布します。

【参考書】

授業時に指示します。

情報処理概論

「パソコンによる情報整理学」 4単位 通年
河内谷幸子

【授業科目の内容】

ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わりを、応用プログラムの使い方を学びなが

ら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要ならば加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについても理解することが大切である。この講義では、できるだけ多くの実習をとり入れる予定であるが、限られた時間の中で細かな点までを教えることは到底できない。諸君が空いた時間を利用して、自発的に実習することが前提になっている。

【教科書】

山本喜一著『入門情報処理』J.B.企画（2100円）

情報処理応用

「コンピュータ・グラフィックス」 2単位 春
大野 義夫

【授業科目の内容】

コンピュータを用いて画像やアニメーションを作る技術を、実習を中心として学ぶ。実習には、大学のパソコンを使用し、フリーソフトであるPOV-Rayを用いる。フリーソフトなので、自宅のパソコンで続きを行うことも可能である。

【教科書】

特定の教科書は使いません。必要な教材はPower PointファイルなどとしてWebに掲示します。

【参考書】

小室日出樹『はじめてのCG-POV-Rayで出会う3DCGの基礎』CG-ARTS協会

6 教養研究センター

大学教養研究センター設置科目(極東証券寄附講座)

人類の知的営為の成果を継承・発展させることは大学の重要な役割のひとつです。また、大学には実際に広大な「知」の世界が広がっています。この世界に触れることで多様な価値観を知り、そこから自分の関心と進むべき方向を定めることは有意義な大学生活を送るための不可欠な作業です。と同時に、大学では「自らを考え、選び、学ぶこと」も求められます。これは学問研究の出発点であると共に長い人生を支える「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。

そこで、教養研究センターでは、今年度極東証券寄附講座として「生命の教養学」(秋学期1コマ)と「スタディ・スキルズ」(春学期2コマ)「同」(秋学期2コマ)を授業設置することとなりました。「進化」をキーワードとする「生命の教養学」は広大な「知」の世界に触れるためのきっかけとなるはずの授業です。「スタディ・スキルズ」の目的は、「自ら考え、選び、学ぶこと」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることにあります。

履修希望者は下記のガイダンスに必ず出席してください。積極的な履修を期待します。

1. ガイダンス

「生命の教養学」

4月8日(木) 13:00~

会場: 来往舎1Fシンポジウム・スペース

「スタディ・スキルズ(/)」

4月8日(木) 16:30~

会場: 来往舎1Fシンポジウム・スペース

4月14日(水) 16:30~

会場: 来往舎1Fシンポジウム・スペース

2. 受講申し込み手続き

ガイダンス・ウィーク中のガイダンス(初回の授業)に出席し、その際に氏名登録した学生のみ「受講申し込み」の権利を与えます。ただし、定員オーバーの場合には抽選を行います。

「授業申し込み」の権利を得た学生は、所属学部の履修案内にしたがって「履修申告」をしてください。

3. 履修上の注意

教養研究センターの申し込みを行った科目については、「履修申告」を行わないと単位は与えられませんので注意してください。また、履修申告により単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないようにしてください。

4. 平成16年度開講科目

春学期「スタディ・スキルズ」(2単位)

水曜日5時限 定員15名

春学期「スタディ・スキルズ」(2単位)

木曜日5時限 定員15名

秋学期「スタディ・スキルズ」(2単位)

水曜日5時限 定員15名

秋学期「スタディ・スキルズ」(2単位)

木曜日5時限 定員15名

秋学期「生命の教養学」(2単位)

木曜日3時限 定員100名

成績評価は各科目につきますが、履修上つぎのことに注意してください。

* 水曜日設置の「スタディ・スキルズ」は秋学期・法学部設置「身体 感覚/文化」(水曜日2時限)とのセット履修になります。

* 木曜日設置の「スタディ・スキルズ」は秋学期・教養研究センター設置「生命の教養学」(木曜日3時限)とのセット履修になります。

* 「生命の教養学」だけを単独科目として履修することはできません。

5. 問合せ先

教養研究センター事務局(来往舎1階事務局)

教養研究センター極東証券寄附講座担当(TEL045-566-1151 平日8:30~16:30)

教養研究センター極東証券寄附講座

「スタディ・スキルズ」[春学期]

「知の基盤を築く・」

湯川 武 木俣 章

下村 裕 横山千晶

近藤明彦 小菅隼人

鈴木伸一 羽田 功

ほか

〔授業科目の内容〕

大学では「自ら考え、選び、学ぶこと」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に長い人生を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、選び、学ぶこと」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。

「スタディ・スキルズ」は多分野にまたがる複数の教員によって行なわれる、学生の自主性を尊重し、かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、基礎編「スタディ・スキルズ」[春学期]と応

用編にあたる「スタディ・スキルズ」[秋学期]がそれぞれ2コマ開講されます。

「スタディ・スキルズ」の履修は原則として秋学期に「スタディ・スキルズ」を履修することになります。また、「スタディ・スキルズ」の履修者は教養研究センター設置の「生命の教養学」もしくは法学部設置の「身体 感覚/文化」を併せて履修し、これらの授業から作業テーマを選び取ることになります。したがって、「スタディ・スキルズ」と「生命の教養学」あるいは「スタディ・スキルズ」と「身体 感覚/文化」のセット履修が条件となります。

「スタディ・スキルズ」は定員15名です。履修希望者が多い場合は抽選とします。ガイダンス・ウィークに行なわれる「スタディ・スキルズ」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

授業を通じて適宜指示します。

教養研究センター極東証券寄附講座
「スタディ・スキルズ」[秋学期]
「 知の基盤を築く・ 」

湯川 武	木俣 章
下村 裕	横山千晶
近藤明彦	小菅隼人
鈴木伸一	羽田 功
	ほか

【授業科目の内容】

大学では「自ら考え、選び、学ぶこと」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に長い人生を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、選び、学ぶこと」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。

「スタディ・スキルズ」は多分野にまたがる複数の教員によって行なわれる、学生の自主性を尊重し、かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、基礎編「スタディ・スキルズ」[春学期]と応用編にあたる「スタディ・スキルズ」[秋学期]がそれぞれ2コマ開講されます。

「スタディ・スキルズ」の履修は原則として春学期に「スタディ・スキルズ」の履修を前提とします。また、「スタディ・スキルズ」の履修者は教養研究センター設置の「生命の教養学」もしくは法学部設置の「身体 感覚/文化」を併せて履修し、これらの授業から作業テーマを選び取ることになります。したがって、「スタディ・スキルズ」と「生命の教養学」あるいは「スタディ・スキルズ」と「身体 感覚/文化」のセット履修が条件となります。

「スタディ・スキルズ」は定員15名です。履修希望者

が多い場合は抽選とします。「スタディ・スキルズ」の履修希望者は、ガイダンス・ウィークに行なわれる「スタディ・スキルズ」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

授業を通じて適宜指示します。

教養研究センター極東証券寄附講座「生命の教養学」
「ぼくらはみんな進化する？ 脳・性・免疫・科学と社会」
金子 洋之 鈴木 晃仁
田上 竜也 武藤 浩史

【授業科目の内容】

21世紀のサイエンスと人間社会における根幹的なテーマである「生命」を焦点として、文系と理系のあらゆる学部を横断した総合的思考力の構築を目ざした講義を行いたい。それゆえ、当講義では、塾内外を問わず第一線で活躍する講師を招いて多彩な学問領域における多彩な講義を展開する。コーディネーター役は本塾の4人が担当する。

本年度は「進化」をキーワードに、現代サイエンスが解き明かした生命の成り立ちと、人間の社会・歴史におけるその意味について、洞察を深めてゆきたいと思う。具体的には、理系研究者が、「私たち人間は、今からまだ進化できるか？」という問いに対する答えを、私たち人間が持つ精緻な生命システムである「脳」、「性」、「免疫」の3つに焦点を合わせ、客観的事実として考察する。一方、文系の側からは、医学史、文学研究、ジェンダー研究、セクシュアリティ研究の専門家が、「進化」思想が喚起する現代の諸問題について多彩な考え方を展開することになるだろう。「生命」とはなにか、「進化」とはなにか、「脳」とはなにか、「性」とはなにか等、さまざまな大問題について、総合的に考えることの方法と意味を示したいと思う。なお定員は100名とする。

7 国際センター

研究講座

多くの方に外国および日本の文化や社会、国際関係を理解していただく為に国際センターでは英語による講座、国際研究講座と日本研究講座を開講しています。国際研究講座では、米国、カナダ、オーストラリア、東南アジア、ラテンアメリカ等、様々な国・地域を取り扱っています。一方日本研究講座では、経済、産業、文学、芸術、マスコミなど幅広い側面から日本を探究します。

三田に設置されている国際センター外国研究講座と日本研究講座の内容については、国際センター発行のパンフレットもしくは以下のURLを参照してください。

<http://www.ic.keio.ac.jp/jp/iccourses/index.html>

履修に際して注意すべき点は次のとおりである。

- 1 講義は英語で行われます。
- 2 本講座の履修単位の取り扱いは各学部により異なるので、各学部の学習指導要項で確認すること。
- 3 受講手続は学事センター（履修申告）ですること。
- 4 参考書などは大学生協で購入すること。

慶應義塾大学

ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座

慶應義塾大学では、「慶應義塾大学 ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座」を夏季休業期間に開講します。ウィリアム・アンド・メアリー大学（所在地：東海岸ヴァージニア州ウィリアムズバーグ）は、教育・研究で高い評価を得ている州立大学です。創立は1693年で、アメリカではハーバード大学について古い歴史を誇っています。

本講座は、毎年定められるテーマ（2004年度は“American Dreams”）に沿った講義、グループワーク、フィールドワーク、インタビュー、プレゼンテーション等で構成されています。現地では、大学内での寮生活や、ボランティアワーク、住民との交流、講演会、ホームステイ等を通じ、さまざまな異文化交流が体験できるように工夫されています。短期間に質の高い充実した内容が盛り込まれていますので、アメリカでの生活体験をしたい方、語学力向上を期待する方、将来長期の留学を考えている方などにとって、ふさわしい講座といえるでしょう。現地研修には本学の教職員が同行します。また、ビデオ会議などを含めた事前研修、事後研修を、日吉キャンパスで実施します。

なお、この講座は、自然災害、戦争・テロ災害、航空機等交通機関にかかわる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故などのために中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

2004年度の募集概要は以下のとおりです。詳しくは国際センター作成の募集要項やホームページ等を参照してください。

〔現地研修期間〕

2004年7月30日（金）～8月19日（木）

4月下旬より事前研修（6回程度）また、帰国後には事後研修（2回程度）を行います。

〔研修内容〕

ウィリアム・アンド・メアリー大学の教員による講義および質疑応答、ダイアログクラス、ウィリアム・アンド・メアリー大生をまじえてのグループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーション、ワシントンDC近郊の家庭でのホームステイなど

〔単位数〕

4単位

本講座の科目は、卒業に必要な単位として認められることがあります。

その扱いは各学部・研究科によって異なりますので各自確認をしてください。

〔参加申込について〕

- (1) 募集人数 40名(提出書類により選考を行ないます。)
- (2) 募集対象 全学部、研究科正規生（ただし通信教育部をのぞく）
- (3) 提出書類
 - 1 参加申込書（所定用紙）
 - 2 学習計画書（日本語および英語、各A4一枚程度）
 - 3 最新の学業成績表のコピー（3月中旬に保証人宛てに送付されるもの、1年生は不要）
 - 4 あれば英語能力証明書のコピー（TOEFL、TOEIC、各種英語検定など）
 - 5 RESEARCH PROPOSAL（所定用紙）書類選考後、グループ分けの時に利用します。
- (4) 募集期間 4月7日（水）～4月15日（木）
- (5) 募集ガイダンス

4月5日（月）三田133番教室	13:00～14:30
4月5日（月）SFC 12番教室	17:00～18:30
4月6日（火）矢上14-201番教室	13:00～14:30
4月6日（火）日吉J11教室	17:00～18:30
- (6) 選考結果発表 4月28日（水）13:00（予定）

〔問い合わせ先〕

三田国際センター

URL：<http://www.ic.keio.ac.jp/j-index.html>

詳細や変更は、随時ホームページ等で発表します。

慶應義塾大学

ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ夏季講座

慶應義塾大学では、「慶應義塾大学 ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ夏季講座」を夏季休業期間中、英国・ケンブリッジにおいて開講します。ケンブリッジ大学は、オックスフォード大学と並ぶ英国の名門校で、美しいキャンパスは勉学に最適な環境にあります。授業は英語による講義およびディスカッションを中心としてお

り、講義は原則としてケンブリッジ大学の教員が担当します。講座期間中は、専門分野の知識を深めるだけでなく、ダウニングコレッジ内での寮生活や、ケンブリッジ大生が企画する様々なアクティビティを通して、現地の学生との交流も体験できます。このように本講座は、国際性豊かな学生を育成することを目的としています。現地研修には本学の教職員が同行します。また、現地への出発前に、事前研修を3回程度三田キャンパスで実施する予定です。

なお、この講座は、自然災害、戦争・テロ災害、航空機等交通機関にかかわる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故などのために中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

2004年度の募集概要は以下のとおりです。詳しくは国際センター作成の募集要項やホームページ等を参照してください。

【現地研修期間】

2004年8月初旬～9月初旬

正式な研修期間は、国際センター作成の募集要項ならびにホームページをご参照ください。

5月～7月に三田キャンパスにて事前研修を3回程度行います。

【講義日程】

現地研修期間第1週

English & writing preparation classes

現地研修期間第2～4週

下記の6科目から3科目選択履修

開講予定科目

English Literature, Society and Politics in Contemporary Britain,

Ancient Greece and Western Civilization, Zoology /Biology,

Astronomy: Unveiling the Universe, The Science of Chaos

各クラス30名定員。事前に参加者の希望をもとに履修科目の調整を行います。

なお開講科目は、事情により変更されることがあります。

【研修内容】

ケンブリッジ大学の教員による講義および質疑応答(午前)

ケンブリッジ大生(TA: Teaching Assistant)をまじえてのディスカッション(午後)。エッセイ作成・提出。

【単位数】

4単位

本講座の科目は、卒業に必要な単位として認められることがあります。

その扱いは各学部・研究科によって異なりますので各自確認をしてください。

【参加申込について】

- (1)募集人数 60名(提出書類により選考を行ないます。)
- (2)募集対象 全学部、研究科正規生(ただし通信教育部をのぞく)

(3)提出書類

- 1 参加申込書(所定用紙)
- 2 学習計画書(日本語および英語、各A4一枚程度)
- 3 最新の学業成績表のコピー(3月中旬に保証人宛てに送付されるもの、1年生は不要)
- 4 あれば英語能力証明書のコピー(TOEFL、TOEIC、各種英語検定など)
- 5 履修希望科目申告表(所定用紙)

(4)募集期間 4月7日(水)～4月15日(木)

(5)募集ガイダンス

4月5日(月)三田133番教室 13:00～14:30

4月5日(月)SFC 12番教室 17:00～18:30

4月6日(火)矢上14-201番教室 13:00～14:30

4月6日(火)日吉J11教室 17:00～18:30

(6)選考結果発表 4月28日(水)13:00(予定)

【問い合わせ先】

三田国際センター

URL: <http://www.ic.keio.ac.jp/j-index.html>

詳細や変更は、随時ホームページ等で発表します。

8 言語文化研究所

言語文化研究所特殊講座は三田に設置されています。時間割は文学部（2・3・4年）時間割に掲載してありますので履修希望者は文学部時間割を参照してください。

〔参考〕平成16年度言語文化研究所特殊講座

科目名	教員名	単位数
サンスクリットI（初級）	土田龍太郎	通年 2単位
サンスクリットII（中級）	土田龍太郎	
アラビア語I（基礎）	野元 晋	
アラビア語II（現代文講読）	稲葉隆政	
アラビア語II（古典）	岩見 隆	
アラビア語文献講読	岩見 隆	
ヴェトナム語I（初級）	春日 淳	
ヴェトナム語II（中級）	嶋尾 稔	
ヴェトナム語文献講読	嶋尾 稔	
ペルシア語I（初級）	関 喜房	
ペルシア語II（中級）	岩見 隆	
タイ語I（初級）	三上直光	
タイ語II（中級）	ボンシー・ライト	
トルコ語I（初級）	アイドゥン・ヤマンラール	
トルコ語II（中級）	アイドゥン・ヤマンラール	
朝鮮語文献講読	野村伸一（春学期） 李 泰文（秋学期）	
カンボジア語I（初級）	三上直光	
ヘブライ語I（初級）	笈川博一	
ヘブライ語II（中級）	笈川博一	
古代エジプト語I（初級）	笈川博一	
古代エジプト語II（中級）	笈川博一	
アッカド語I（初級）	高井啓介	
アッカド語II（中級）	高井啓介	

日吉キャンパスに設置されている「特殊研究」および「基礎演習」の科目（研究生以外は履修不可）についての講義内容等は、メディア・コミュニケーション研究所で配布される案内を参照のこと。

サンスクリット (初級)

 言語文化研究所 講師 土田龍太郎

サンスクリット語入門の講義である。ほぼ一年かけて、サンスクリット語文法体系のあらましを修得することを目的とする。参加者は、練習問題の予習が必要となる。

教科書：ヤン・ホンダ著・鎧淳譯『サンスクリット語初等文法』春秋社

参考書：辻直四郎著『サンスクリット文法』岩波書店

サンスクリット (中級)

 言語文化研究所 講師 土田龍太郎

サンスクリット語の初歩をすでに一通り修得したもののための授業である。テキスト等は参加者の希望で決める。

アラビア語 (基礎)

 言語文化研究所 助教授 野元 晋

アラビア語初学者を対象とし、アラビア語文語の初級文法の修得を目的とします。春学期はアラビア文字の書き方、基本的な発音、単語の表記法、名詞、形容詞など、秋学期は動詞を中心に講義し、基礎的な文法事項を一年かけて学習していきます。下記の教科書、参考書以外にも、多くの補助的プリントを用いる予定です。

教科書：佐々木淑子著『改訂版アラビア語入門』青山社

参考書：David Cowan, *An Introduction to Modern Literary Arabic* (Cambridge University Press)

アラビア語 (現代文講読)

 言語文化研究所 講師 稲葉隆政

基礎文法を学んだ人を対象として現代文の講読を行う。講読を通じて文章の基本的構造に対する理解を深め、併せて読解力を養成することを目的とする。

授業は、極めて平易な文章から読み始め、既習の基礎的知識を再認識しながら順次程度の高い文章を講読し、文語学習の当面の目標の一つである、母音記号等補助記号がついていない文章に対処できる力をつけることを目指す。テキストについては、履修者と相談して決めたい。

アラビア語 (古典)

 言語文化研究所 講師 岩見 隆

初級文法を終えたばかりの人を対象に文法の復習に重点を置きながら平易な散文を読みます。文法の初歩以上の予備知識や経験は要求致しません。テキストはプリントを準備します。はじめは母音符号のついたやさしいものにします。

アラビア語文献講読

 言語文化研究所 講師 岩見 隆

定評ある古典をあたりまえに読めるようになることを目標にやってゆきたいと思います。テキストは履修者と相談して決めます。

ヴェトナム語 (初級)

 言語文化研究所 講師 春日 淳

ヴェトナム語を初歩から学び、初級文法を一通り終える。最初は発音と綴り字から始め、初歩的な会話が可能なる程度を目指す。

教科書：『ベトナム語入門』慶應義塾外国語学校

ヴェトナム語 (中級)

 言語文化研究所 助教授 嶋尾 稔

初級ヴェトナム語を学び終えた人を対象に文献講読を行う。最初は簡単なものから始めるが、受講者のレベル・要望に応じて、雑誌・新聞の記事などを読んでいくことにしたい。

ヴェトナム語文献講読

 言語文化研究所 助教授 嶋尾 稔

ヴェトナム語で書かれた歴史関係の論文あるいは研究書を講読する。テキストは、受講者と相談して決める。

ペルシア語 (初級)

 言語文化研究所 講師 関 喜房

岡崎正孝著『基礎ペルシア語』(大学書林)を使い、現代ペルシア語文法を全くの初歩から講義します。文法は前期で終え、後期からは易しい文章を読むつもりです。履修希望者は必ず最初の時間から出席してください。

教科書：岡崎正孝著『基礎ペルシア語』大学書林

ペルシア語 (中級)

 言語文化研究所 講師 岩見 隆

初級文法を学び終えた人を対象に文献講読を行います。ペルシア語は文法で押さえるというより、読み慣れが大きな働きをする言葉なので、散文をたくさん読みたいと思います。テキストはネザームルムルク『スィヤーサト・ナーメ』を予定しています。

教科書：ネザームルムルク『スィヤーサト・ナーメ』

タイ語 (初級)

 言語文化研究所 教授 三上直光

タイ語の初級文法及び初級会話を学ぶ。タイ語独特の文字と発音の習得には特に重点を置く。

テキスト：プリント

参考書：三上直光著『タイ語の基礎』(白水社)

タイ語 (中級)

言語文化研究所 講師 ポンシー・ライト

このクラスでは、主にタイの小学校の教科書から短編ストーリーを抜粋し、読解力・ライティングの向上を目指します。

更に、スピーキング、リスニングによる理解にも、焦点をあてていきます。

トルコ語 (初級)

言語文化研究所 講師 アイドゥン・ヤマンラール

トルコ共和国の現代トルコ語初級文法を講義します。基礎的な文法事項を学習しますが、簡単な講読も行います。

教科書：プリント使用

トルコ語 (中級)

言語文化研究所 講師 アイドゥン・ヤマンラール

初級文法を学んだ人を対象に講読を行います。文法事項の復習にも重点を置くつもりです。テキストは履修者と相談して決めます。

朝鮮語文献講読

〔春学期〕文学部教授 野村伸一

〔秋学期〕言語文化研究所 講師 李 泰文

朝鮮民族、朝鮮社会、朝鮮の人びとを知るためのテキストを講読します。読む対象は言語で表現されたものを第一義としつつ、随時、図像、写真、映像などを解説します。対象とする時代は特に限定しませんが、現代の朝鮮民族を理解するためには、やはり近代を扱う必要があります。

分野別のリストは開講後に提示します。後期は受講者の関心領域を反映するかたちにするつもりですが、一点にしぼれないばあいはこちらから提案します。設置講座の性格上、受講者は朝鮮語を読む準備ができていますが前提となります。口頭会話の能力は必要ありません。

テキストは受講者と相談して決めます。

カンボジア語 (初級)

言語文化研究所 教授 三上直光

カンボジア語の初級文法及び初級会話を学ぶ。カンボジア語独特の文字と発音の習得には特に重点を置く。テキストは開講時に指示する。

ヘブライ語 (初級)

言語文化研究所 講師 笈川博一

旧約聖書のヘブライ語の初歩。テキストはルツ記を用いるが、プリントを授業で配布する。英語ないしドイツ語による辞書(2,500円~10,000円)が必要となるが、それについては授業で案内する。

ヘブライ語 (中級)

言語文化研究所 講師 笈川博一

サムエル記の講読。テキストはクラスで配布する。

古代エジプト語 (初級)

言語文化研究所 講師 笈川博一

後期エジプト語の初歩。テキストは授業で配布する。5月頃から辞書(約9,000円)が必要となるが、それについては授業で案内する。

古代エジプト語 (中級)

言語文化研究所 講師 笈川博一

中期エジプト語の初歩。テキストは「難破した水夫」辞書はRaymond O. Faulkner, *A Concise Dictionary of Middle Egyptian* (Oxford) (Amazon USで\$45)が必要となる。秋学期には後期エジプト語テキストも合わせて講読する。

アッカド語 (初級)

言語文化研究所 講師 高井啓介

アッカド語を学ぶ際の基礎となる古バビロニア方言(Old Babylonian)の初級文法及び文字表記システムの修得を目的とします。下記に指定した教科書を使いますが、足りないところは適宜プリントによって補っていく予定です。文法事項を学び進めながら、アッカド語が記されるときに使われた楔形文字のうち主要なものを覚えていきます。秋学期以降には、ハンムラビ法典など著名な作品の雰囲気にも触れていきたいと考えています。

教科書：Richard Caplice, *Introduction to Akkadian* (Biblical Institute Press)

アッカド語 (中級)

言語文化研究所 講師 高井啓介

アッカド語の初級文法を一通り学んだ人を対象に文献講読を行います。文法事項を再度確認しながら、簡単なものからはじめていろいろなジャンルのテキストを読んでいくことにします。具体的なテキストは受講者と相談して選びます。

9 知的資産センター設置講座（平成16年度開講）

1. 知的資産センター設置講座にあたり

慶応義塾大学では、研究成果の社会への還元を、教育・研究と並ぶ大学の使命と考えています。そして、「慶応義塾で生れた研究成果は義塾にとって貴重な知的資産であり、大学はこれら知的資産の保護と活用を積極的に促進・支援する」という理念を公表しています。

こうした方針に基づき、知的資産センターは慶応義塾で生れた研究成果を社会へ還元するために、慶応義塾大学の技術移転機関として1998年11月に設立されました。技術に関するものだけでなく、電子メディアを始めとし広汎な研究成果を対象とするとともに、新しい事業の創出に資するという意味をこめて「知的資産センター」と名付けられました。

知的資産センターの事業は、研究成果に対する特許保護から始め、技術の移転、起業の支援と段階的に拡充していく計画です。そして、教職員の熱意と高いポテンシャルをもった研究成果に支えられ、既に数多くの慶応義塾の特許出願が生まれ、技術移転も活発化してきました。

また、知的資産センターは技術移転に密接に関係する知的財産に関する教育・研究も任務としています。

情報技術の劇的な革新に伴い電子メディア、ビジネスモデル特許に代表されるように、知的財産は社会のあらゆる分野に密接に関係してきました。こうした時代の変化に対応していくためには、専攻分野に係わらず知的財産に関する幅広い知識と理解が求められています。

そこで、知的財産に関する教育の一環として、全学部の学生を対象として知的財産全般について基本的な事項の理解を図るため、設置講座を開設しました。

それぞれ固有な特色があります。本講義では、代表的な知的財産の権利保護・活用における現状と課題についての理解を深め、知的財産に関する幅広い知識を得ることを目標とします。

【教科書】

講義資料を配布します。

【参考書】

清水啓助他著「知的創造時代の知的財産」慶応義塾大学出版会

2. 設置科目、履修上の取扱いについて

今年度は「知的資産論」の1科目を、春学期 三田キャンパスで開講します。

授業時間は水曜日 18:10~19:40、単位は2単位です。その他授業に関する情報は、三田掲示板、<http://www.ipc.keio.ac.jp>でお知らせします。

受講を希望する場合は、履修の取扱いについて各学部、研究科の履修案内で確認の上、各学部窓口で履修申告をしてください。

知的資産概論

「知的財産の保護と活用をめぐる課題（ナテグリニド特別講座）」
知的資産センター所長（商学部教授） 清水 啓助

【授業科目の内容】

研究活動や創造活動の成果を知的財産として、戦略的に保護・活用し、我が国産業の国際競争力を強化するという国家戦略が策定され、知的財産に対する関心は高まっています。知的財産には、技術（特許）、デザイン（意匠）、ブランド（商標）、音楽・映画のコンテンツ（著作権）といったものがあり、権利の内容や活用法は

10 教職課程センター

教員免許を取得しようと考えている学生は、「教職課程」を履修しなければなりません。本塾大学では「教職課程センター」が、教職課程履修者の指導に当たっています。

教職課程センターでは、毎年学年初めに教職課程の履修を希望する学生を対象に「教職課程ガイダンス」を実施しています。履修希望者は、その教職課程ガイダンスに出席し、本塾大学における教員養成について十分理解した上で、教職課程を履修してください。

平成10年に教育職員免許法の改正がなされ、平成12年度入学者から新免許法が適用されることになりました。それ以前に入学した人は旧免許法が適用されます。したがって、入学年度により免許状取得に必要な履修科目および単位数が異なりますので、注意してください。

本塾大学の教職課程で取得できる教員免許状の種類および教科は以下のとおりです。

文学部	人文社会学科	中学校 1種	国語、社会、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）
		高等学校 1種	国語、地理歴史、公民、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語） 情報
経済学部	経済学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
法学部	法律学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
	政治学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
商学部	商学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民、商業
理工学部	機械工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	工業
	電子工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
	応用化学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	工業
	物理情報工学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	管理工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	情報
	数理科学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	
		高等学校 1種	情報
	物理学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
	化学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	
システムデザイン工学科	中学校 1種	理科	
	高等学校 1種		
	高等学校 1種	情報	
情報工学科	中学校 1種	数学	
	高等学校 1種		
	高等学校 1種	情報	
生命情報学科	中学校 1種	理科	
	高等学校 1種		

以下、入学年度により、別の説明であるので、自分の該当箇所を参照してください。

教職課程履修案内

【教職課程の履修・登録の学年について】

1 教職課程の履修学年

教職課程を区分しますと、次の4領域にわたっています。

- (1) 教科に関する科目
- (2) 教職に関する科目
- (3) 教科又は教職に関する科目
- (4) (1)と(2)と(3)以外の科目

以上のうち、(1)はそのほとんどを第3学年から履修します。(2)および(3)は第2学年から履修できます。(4)は「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけるための科目で、学部によって名称が異なりますが、総合教育科目などと呼ばれている科目です。この科目は第1学年から履修します。以上はおおよその目安であり、学部のカリキュラムによって多少の違いがあります。

(注) 法学部秋学期入学の学生は教職課程の履修の仕方に異なる点がありますから、個別に学習指導を受けてください。

2 教職課程の登録

教職課程を履修しようとする人は、所定の登録をしなければなりません。教職課程登録は第2学年から行っています。

登録学年		登録場所
文学部	第2学年	(三田)教職課程センター
経済学部	第2学年	(日吉)学事センター
法学部	第2学年	
商学部	第2学年	
理工学部	第2学年	

参考：登録の際「教職課程費」(現行30,000円)を納入しなければなりません。

【2 科目の履修について】

前述の教職課程の4つの領域について、各領域ごとにその履修解説をしておきます。

1 教科に関する科目

この科目群の詳細については、教職課程の登録の際の三田または矢上で行われる「教職課程ガイダンス」で学習指導担当者が説明します。ここでは履修上学生がよく誤解する点のみ以下に述べます。

- (1) 「教科に関する科目」は、学則上以下の3つの科目区分にわたって設置されています。

所属学部・学科の専門的領域に属する科目
各学部・学科の「教職課程教科に関する科目」
教職課程センター設置の「教科に関する科目」

の科目の名称は、学部ごとに異なり、以下のようになっています。

文学部	専門教育科目
経済学部	専門教育科目
法学部法律学科	法律学科目
法学部政治学科	政治学科目、社会科学科目
商学部	専攻科目
理工学部	専門教育科目、基礎教育科目

以上の科目のうちすべてが「教科に関する科目」とはなりません。当該学部・学科で取得できる免許教科に関連する科目が「教科に関する科目」となります。学部1・2学年に配当されている所属学部・学科の科目のうち、この科目にあたるものがありますので、なるべく単位を取得しておく方が望ましいです。第1・2学年に配当されている「教科に関する科目」のうち、特に第1・2学年で単位取得が望ましい科目については、4月の「教職課程ガイダンス」で説明しますので、必ず出席するようにしてください。

この科目は、第2学年以降で履修しますので、教職課程登録を行う学年に進級した際に各キャンパスで行われる「教職課程ガイダンス」に出席し、学習指導担当者の説明を聞いて履修してください。

- (2) 同一名称や類似名称の科目であっても、専門教育科目・法律学科目・政治学科目・専攻科目および「教職課程教科に関する科目」でない科目は、原則として「教科に関する科目」とならないので、注意してください。詳細につきましては、「教職課程ガイダンス」で説明します。

2 教職に関する科目

「教職に関する科目」は、教職課程を登録する学年から履修できます。これらの科目に関する学部での履修上の扱いは、多くは「自由科目」となっています。学部によって「自由科目」の扱いが異なる場合がありますので、学生諸君は履修申告の際、十分注意をはらう必要があります。

3 教科又は教職に関する科目

主に三田キャンパスに設置されている科目です。履修については「教職課程ガイダンス」で説明します。

4 1、2、3以外の科目

教育職員免許法施行規則には「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけることが規定されています。各学部で以下のような科目区分で設置されている科目を所属学部・学科の学則に従って履修すれば、この規定の要件は達成されます。

文学部	総合教育科目
経済学部	総合教育科目、保健体育科目

法学部	人文科学科目、自然科学科目、数学・統計・情報処理科目、社会科学科目、保健体育科目
商学部	総合教育科目
理工学部	総合教育科目

しかし、教員免許取得のためには、特に、次の単位が必修となっていますので注意してください。

- (1)「法学（憲法を含む）」必修
- (2)「体育」2単位必修

このうち、1単位は必ず実技科目でなくてはなりません。残りの1単位は、体育学講義、体育学演習、体育実技のうちから選択できます。

- (3)「外国語コミュニケーション」必修

卒業するための単位に含まれている外国語に関する必修科目を履修することによって単位修得できます。

- (4)「情報機器の操作」必修

以下の科目のいずれかを修得しなければなりません。

文学部	基礎情報処理
経済学部	情報処理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
法学部	情報処理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
商学部	情報処理Ⅰ・Ⅱ
理工学部	情報処理同実習

なお、「法学（憲法を含む）」と「体育」は、第1・2学年に配当・設置されていることが多いので、なるべく配当学年の内に取得しておくこと。また、所属学部設置されている科目を原則として履修すること。

【3 教職課程履修開始の心構え】

安易な気持ちで教職課程を履修することがないようにしてください。特に以下の点は十分に理解することが必要です。

- (1) 教員免許状を取得するには卒業に必要な単位のほかに、かなり多くの単位を余分に履修しなければならないということ。
- (2) 教員免許状が取得できたとしても、教員の需給の関係からして就職は最近特に困難であるということ。

将来中学校・高校の教員になることを志望している学生諸君は、以上の点をよく考慮した上で、教職課程の履修を第2学年からはじめてください。

【4 介護等体験について】

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」（通称・介護等体験特例法）が成立し、平成10年4月1日から施行されました。これにより、小学校教諭または中学校教諭の普通免許状は取得しようとする人には、7日間を下らない範囲内で、盲学校、聾学校若しくは養護学校または社会福祉施設等で、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの人との交流等が必要となります。この法律は平成10年4月1日以降に入学した学生に適用されます。教職課程ガイダンスで、そのことについての説明がありますので、注意して聞いてください。なお、教職課程登録をした、

3年生以上の学生のみが大学を通して社会福祉施設等に申し込むことができます。

【5 その他の注意】

- (1) 教職課程の掲示板は、第4校舎19番教室手前にあります。重要な事項および各種ガイダンス日程などを掲示します。見落としのないよう十分注意してください。
- (2) 教職課程ガイダンスについて
教職課程に興味のある1年生は、1年生向けの教職課程ガイダンスに出席してください。また、教職課程を履修しようとする2年生は、新規登録希望者向けの教職課程ガイダンスに必ず出席してください。

11 外国語学校

外国語学校、昭和17年10月語学研究所（現在の言語文化研究所）の設置と同時にその実践部門として開校され、以来塾生はもとより、他校学生、一般社会人の外国語学習の場として、高い評価を得ています。現在、欧米諸国語はもとより、アジア諸言語など14外国語科を設置し、約1,000名の学生が在学しています。授業は、義塾内外の外国語担当教授をはじめ、外国語を使って実際の場で活躍している職業人、外国人講師など、優れた教員によって行われています。

授業時間は、全科目三田6時限（英会話のみ5時限もあり）です。受講に当たっては外国語学校の定める入学手続きが必要で、詳細については、「外国語学校入学案内」（一部500円、三田・日吉正門警備室でも取扱う）を参照して下さい。開講は4月と10月で入学願書の受付は2月上旬～3月中旬、8月上旬～9月中旬の年2回です。

文学部・法学部及び商学部の学生は、それぞれの学部教授会によって認定された右表の科目（文学部は（10）、法学部は（1）～（14）、商学部は（10））を自由科目として春・秋学期各2単位履修することができます。履修申告の方法は、各学部の自由科目の申告方法と同じです。必ず学部にお問い合わせください。

外国語学校の入学手続は、4月期（春学期）の場合、履修申告手続よりも前に行わなければならないので、後日もし学部の履修科目と時間が重なったことが判った時は、直ちに外国語学校事務室に相談してください。

平成16年4月より日吉特別講座を6時限（18：30～20：00）に開講します。開講する語学は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語・の5カ国語です。詳しくは、外国語教育研究センター日吉事務室へお問合せください。

語学科	クラス	週間授業数
(1) 英語	上 級	3回
(2) 英会話	中 級 上 級	2回 2回
(3) ビジネス・イングリッシュ		2回
(4) ドイツ語	基礎級	3回
(5) フランス語	初 級	3回
(6) スペイン語		
(7) 中国語	中 級	3回
(8) イタリア語	上 級	3回
(9) ロシア語	基礎級	2回
(10) インドネシア語		
(11) アラビア語	初 級	2回
(12) 朝鮮語		
(13) ベトナム語	中 級	2回
(14) タイ語	上 級	2回

スペイン語上級は週2回

索引

索引

科目

あ	アッカド語 (初級)	229	化学D	154
	アッカド語 (中級)	229	化学実験	149
	アフリカ現代史	130	化学統計熱力学	159
	アラビア語	147	化学統計熱力学演習	159
	アラビア語 (基礎)	228	化学平衡論	159
	アラビア語 (現代文講読)	228	学外実習第1	160
	アラビア語 (古典)	228	確率	160
	アラビア語文献講読	228	関数論第1同演習	160
	アルゴリズム同演習	155	漢文	6
	アルゴリズム論	155	カンボジア語 (初級)	229
い	EEP	150	管理工学基礎演習	160
	位相数学	155	管理工学基礎演習	160
	イタリア語入門	147	管理工学用数学第1	160
	遺伝子の科学	186	き 機械工学創造演習	161
	医療科学	150	機械力学の基礎	161
	インダストリアル・エンジニアリング	156	基礎化学実験	161
う	ヴェトナム語 (初級)	228	基礎情報処理	96
	ヴェトナム語 (中級)	228	基礎数学	115
	ヴェトナム語文献講読	228	基礎数学	115
	宇宙科学	186	基礎生物学	161
	宇宙の科学	2	基礎生命情報実験	161
え	映像・音響文化論	2	基礎統計学	115
	演習	132~135	基礎統計学	115
	演習	136~138	基礎の数学	6
お	応用解析第1	156	基礎分子細胞生物学	150
	応用解析第2	156	教育学	7
	応用化学計算基礎	156	行政学	130
	応用確率論	157	行政学	130
	応用数学	157	行政法	126
	応用電気電子回路	158	近代思想史	7, 8
	応用電磁気学同演習	158	近代日本政治史	130
	オペレーションズ・リサーチ第1	158	近代日本と福澤諭吉	8
	音楽	3~5	く 空間設計製図A	161
	音楽	2, 3	け 経営学	144
	音楽	2~4	経済学	9, 139
か	会計学	144	経済学の視点と方法	97
	解析	141	経済原論	127
	解析	141	経済原論	127, 128
	解析力学	158	経済史	143
	回路とシステム第1	159	経済史	107
	回路とシステム第2	159	経済史	107
	化学	5, 6, 148	経済思想の歴史	108
	化学A	153	経済思想の歴史	109
	化学B	153	経済人類学	9
	化学C	153	経済数学 A	109
			経済数学 B	110
			経済数学	110
			経済数学入門	112
			経済数学入門	113

経済と環境	110, 111	材料力学の基礎	166
計算機科学同実習	162	酸塩基及び酸化還元	166
計算機基礎	162	産業経済論	144
計算機構成同演習	162	サンスクリット (初級)	228
計算論理学	163	サンスクリット (中級)	228
形状情報の表現	163	し ジェンダー論	14
経営管理論	162	ジェンダー論	14
計測工学	163	辞書の世界	96
刑法	127	システム制御論	166
刑法	120, 121	システムデザイン工学概論	167
刑法	121	システムデザイン工学基礎演習	167
計量経済学概論	111	自然科学研究会	73
言語	10	自然科学研究会	73, 74
健康科学	9	自然科学実験	154
言語学	10	自然科学特論	14, 15, 95
言語学	10	自然科学特論	15, 95
言語学	10	自然人類学	15
言語学	11	私法基礎	143
言語学	11	社会・経済と工学	167
言語認識論	11	社会科学概論	15
現代化学概論	11	社会科学特論	95
現代芸術論	11	社会科学の考え方	140
現代思想論	11, 12	社会学	15, 16, 125
現代社会と医学	217	社会経済学	143
現代社会と医学	217	社会心理学	16, 194
現代社会論	12	社会心理学	16, 194
現代生物学概論	13	社会との対話	146
現代世界史	13	社会変動論	131
現代日本史	13	周期表の化学基礎	167
現代物理学概論	186	周期表の化学第1	167
現代メディア論	13, 14	宗教学	16
憲法	125	自由研究セミナー	65 ~ 72
憲法	119	集合論	168
憲法	119	住宅・建築史概論	17
こ 光学基礎	163	商学概論	139
光学システム	163	商業学	144, 145
工学数学	164	情報経済学	168
高分子化学基礎	164	情報処理	103, 104, 117, 140
国語国文	14	情報処理	104, 105, 117, 140, 141
国際政治基礎	129, 130	情報処理	105, 106, 118
国際政治論	130	情報処理	118
国際法	127	情報処理応用	222
古代エジプト語 (初級)	229	情報処理概論	222
古代エジプト語 (中級)	229	情報処理概論	222
コンピュータアナリシス	165	情報処理同実習	154
コンピュータ実習	164	情報数学概論	168
コンピュータシミュレーション同実習	164	情報通信工学基礎	168
さ 細胞生物学第1	165	情報理論	168
材料力学の解法	165	女性学	17

書物の世界	96	生物科学入門	187
身体 / 感覚文化	17	生物学	26 ~ 29, 149
人体の生理	186	生物学実験	150, 188
身体文化論	18	生物学実験集中	188
振動と波動	168	生物学序論	154
振動波動論	169	生物量子化学	171
人文科学特論	92 ~ 94	生命系の数学	171
人文科学特論	74 ~ 77	生命系の量子力学	171
人文科学特論	74 ~ 77	生命現象の分子科学	29
人文総合講座	18	生命の科学	29
心理学	18 ~ 22	生命の教養学	224
心理学	20, 187	生命物理化学	171
心理学	21, 187	西洋外交史	131
人類学	22	世界経済の現状と問題	99
す 数学	23	世界の経済	188
数学	23, 116, 148	世界の政治	29
数学	23, 116, 148	積分入門	113
数学	116	線形代数	97, 142, 172
数学	116	線形代数演習	98
数学A1	151	戦争と社会	30
数学A2	151	そ 造形・デザイン論	30
数学A3	151	総合教育セミナー	64, 84 ~ 87
数学A4	151	総合教育セミナー	64, 65, 87 ~ 89
数学B1	151	総合教育セミナー(類)	77 ~ 79
数学B2	151	総合教育セミナー(類)	79 ~ 83
数学B3	152	総合教育セミナー(類)	83
数学B4	152	ソフトウェア工学	172
数学解析第1	169	た 体育学演習	197
数学解析第2	169	体育学講義	195, 196
数学概論	99	体育実技A(アーチェリー)	204
数学概論	99	体育実技A(合気道)	202
数学基礎	141	体育実技A(アメリカンタッチフットボール)	198
数理科学基礎第1	169	体育実技A(ウォーキング・エクササイズ)	204
数理科学基礎第2	169	体育実技A(エアロビクス)	204
数理計画法	142, 169	体育実技A(空手)	209
図形情報処理	170	体育実技A(器械体操)	210
スタディ・スキルズ	223	体育実技A(弓術)	209
スタディ・スキルズ	224	体育実技A(剣道)	202, 203
せ 生化学	170	体育実技A(ゴルフ)	205
政治学	23 ~ 25	体育実技A(サッカー)	198
政治学基礎	128	体育実技A(自動車)	205
政治学基礎	128	体育実技A(柔道)	203
政治思想基礎	128	体育実技A(少林寺拳法)	210
政治文化論	131	体育実技A(ジョギング)	205
生体計測論	170	体育実技A(水泳)	205, 206, 210
生体物質の化学	170	体育実技A(ソフトテニス)	198
生体分子合成	170	体育実技A(ソフトボール)	198, 199
生体分子構造論	171	体育実技A(体力UPコース)	206, 207
生物科学	26	体育実技A(卓球)	199

体育実技A (ダンス)	207	て デジタル回路	173
体育実技A (端艇)	211	デザインリテラシー演習	173
体育実技A (テニス)	199, 200	デジタル基礎	174
体育実技A (トランポリン)	207	データ解析	113
体育実技A (軟式野球)	209	データ解析	113
体育実技A (ニュースポーツ)	207	データ解析入門	114
体育実技A (バスケットボール)	200, 201	データ解析入門	114
体育実技A (バドミントン)	201	哲学	40 ~ 43
体育実技A (バレーボール)	201, 202	電気回路基礎	174
体育実技A (ハンドボール)	202	電気回路同演習	174
体育実技A (フェンシング)	203	電気回路理論	174
体育実技A (フットサル)	202	電気電子工学セミナー	175
体育実技A (フライングディスク)	207	電気電子工学セミナー	175
体育実技A (ボクシング)	204	電磁エネルギー変換工学	175
体育実技A (野球)	202	電子回路基礎	175
体育実技A (陸上競技)	207	電子回路同演習	175
体育実技A (レスリング)	204	電磁気学第1	176
体育実技B (アウトドアレクリエーション)	213	電磁気学同演習	176
体育実技B (山岳)	213	電磁気工学	176
体育実技B (スキー)	215	電子デバイス・材料基礎	176
体育実技B (スケート)	215	天文学	43, 189
体育実技B (馬術)	214	と 統計解析	176
体育実技B (バレーボール)	212, 213	統計学	106, 117, 142
体育実技B (ヨット)	214	統計学	106, 117, 142
タイ語 (初級)	228	統計学	117
タイ語 (中級)	229	統計学	117
代数学基礎同演習	172	統計力学基礎	177
ダイナミカルシステム	173	トルコ語 (初級)	229
団体法	123	トルコ語 (中級)	229
ち 地域研究 - スペイン事情	30	に 日本外交史	132
地域研究 - 中国事情	30	日本政治基礎	129
地域研究 - 北米事情	30	日本の経済	189
地域研究 - 北米事情	31	日本の産業と経営	146
地域研究基礎	129	日本の政治	43
地域生態文化論	31	ね 熱物理	177
地域文化論	31	熱力学	177
地域文化論	33 ~ 35	熱力学の基礎	177, 178
地域文化論	33 ~ 36	熱流体システム第1	178
地域文化論	36, 37	熱流体システム第2	178
地域文化論	36, 37	は パターン情報処理	178
「地域文化論」履修ガイド	32	反応速度論	179
地学	38	反応有機化学	179
地球科学概論	39	ひ 比較文化論	43, 189
知的資産概論	230	美術	44, 45
中国政治史	131	人の尊厳	46
朝鮮語文献講読	229	微分積分	97
朝鮮文化・文学の歴史	39	微分積分演習	98
地理学	39, 40	微分法	142
つ 通信システム	173	ヒューマン・ファクターズ	179

表象文化論	46	ミクロ経済学初級	108
ふ ファイナンス数学	114	民主主義思想論	132
ファイナンス数学	114	民法	119, 126
複素解析	179	民法	119, 120, 126
物質の精製分析	180	民法	120
物性科学	189	民法演習	122
物理学	47, 48	民法演習	122, 123
物理学(既習)	148	む 無機化学	183
物理学(未習)	148	め メディア・コミュニケーション論	194
物理学A	152	メディア・コミュニケーション論	194
物理学B	152	ゆ 有機化学基礎	183
物理学C	152	有機反応論	183
物理学D	152	有機立体化学	184
物理学演習第1	180	ら ラテンアメリカ研究	55
物理学演習第2	180	り 力学的アナリシス	185
物理学実験	149	力学的モデリング	186
物理情報数学A	180	理工学概論	154
物理情報数学B	180	理工学基礎実験	184
プログラミング演習	181	流体力学の基礎	184
プログラミング基礎同演習	181	量子化学基礎	184
プログラミング言語	181	量子力学基礎同演習	185
プログラミング実習	182	量子力学第1	185
プログラミング第1同演習	182	量子力学入門	185
プログラミング第3同演習	182	理論経済学	145
プログラム実習	182	倫理学	55, 56
文学	48 ~ 52	れ 歴史	56 ~ 59
文化人類学	52	ろ 論理学	59, 60
文化人類学	52	論理学序論	60
文化人類学	52	論理学本論	61
分子生物学第1	182		
分析化学	182		
分析化学基礎	183		
分布系の数理	183		
文明学説史	53		
へ ヘブライ語(初級)	229		
ヘブライ語(中級)	229		
ペルシア語(初級)	228		
ペルシア語(中級)	228		
ほ 法学(憲法を含む)	53, 54, 118, 125		
法学情報処理	123		
法制史(基礎)	123, 124		
簿記	112		
簿記論	139		
ま マクロ経済学初級	107		
マクロ経済学初級	107		
マス・コミュニケーション論	132, 194		
マルクス経済学	112		
マルクス経済学	112		
み ミクロ経済学初級	107		

教員名

- あ 相磯 貞和 (アイソ サダカズ) 29
 アイドウン・ヤマンラール 229
 相吉英太郎 (アイヨシ エイタロウ) 180
 青木 健一 (アオキ ケンイチ) 15
 青木健一郎 (アオキ ケンイチロウ) 47
 青柳 卓弥 (アオヤギ タクヤ) 125
 青山藤詞郎 (アオヤマ トウジロウ) 167, 173
 青山 宏夫 (アオヤマ ヒロオ) 39
 赤川 元章 (アカガワ モトアキ) 143
 赤木 三昌 (アカギ ミツマサ) 163
 赤林 由雄 (アカバヤシ ヨシオ) 103~106
 秋山 豊子 (アキヤマ トヨコ) 26, 73
 秋山 裕 (アキヤマ ユタカ) 65, 106
 阿久沢利明 (アクザワ トシアキ) 119, 123
 浅井 隆 (アサイ タカシ) 122
 浅井 紀 (アサイ モトイ) 56
 朝倉 浩一 (アサクラ コウイチ) 156
 朝比奈 緑 (アサヒナ ミドリ) 50
 麻生 良文 (アソウ ヨシブミ) 127
 足立 典子 (アダチ ノリコ) 79
 厚地 淳 (アツジ アツシ) 97, 98, 109, 110
 天野 英晴 (アマノ ヒデハル) 162, 173
 新井 益洋 (アライ マスヨウ) 142
 新井 康通 (アライ ヤスミチ) 150
 荒金 直人 (アラカネ ナオト) 12
 有田 栄 (アリタ サカエ) 2, 3
 安藤 勝英 (アンドウ カツヒデ) 203
 安藤 寿康 (アンドウ ジュコウ) 7, 46
 安藤 広道 (アンドウ ヒロミチ) 94
 安藤 道夫 (アンドウ ミチオ) 40
- い 李 泰文 (イ テムン) 229
 飯田 隆 (イイダ タカシ) 59
 飯田 恭 (イイダ タカシ) 107
 飯田 裕康 (イイダ ヒロヤス) 108, 112, 189
 井垣 竹晴 (イガキ タケハル) 96
 池田 薫 (イケダ カオル) 97, 98, 109, 110
 池田 真朗 (イケダ マサオ) 123
 池田 緑 (イケダ ミドリ) 12
 池田 康夫 (イケダ ヤスオ) 29
 池田 幸弘 (イケダ ユキヒロ) 109
 池原 雅章 (イケハラ マサアキ) 84, 87, 174
 石井 明 (イシイ アキラ) 3, 4, 65, 83
 石井 一平 (イシイ イツペイ) 151, 152, 168
 石井 達朗 (イシイ タツロウ) 48
 石井 敏夫 (イシイ トシオ) 94
- 石井 康史 (イシイ ヤスシ) 43, 46, 55, 66
 石川 晃司 (イシカワ コウジ) 7, 136
 石川 史郎 (イシカワ シロウ) 151, 169
 石川 透 (イシカワ トオル) 14, 92, 96
 石多 正男 (イシタ マサオ) 4
 石手 靖 (イシデ ヤスシ) 196, 212, 213
 石光 輝子 (イシミツ テルコ) 79
 石渡 哲 (イシワタ サトシ) 53
 磯部 徹彦 (イソベ テツヒコ) 153
 井田 良 (イダ マコト) 120
 井田 三夫 (イダ ミツオ) 74
 市川 崇 (イチカワ タカシ) 94
 井出 亜夫 (イデ ツギオ) 84
 伊東 研祐 (イトウ ケンスケ) 121
 伊藤 高史 (イトウ タカシ) 194
 伊藤 眞 (イトウ マコト) 144
 伊藤 正時 (イトウ マサトキ) 153, 167
 伊藤 幹夫 (イトウ ミキオ) 107, 114
 伊藤 行雄 (イトウ ユキオ) 66
 稲田奈緒美 (イナタ ナオミ) 18
 稲葉 隆政 (イナバ タカマサ) 228
 井上 逸兵 (イノウエ イツペイ) 11
 井上 一明 (イノウエ カズアキ) 130, 136
 井上純一郎 (イノウエ ジュンイチロウ) 165
 井上 進 (イノウエ ススム) 214
 井上 秀成 (イノウエ ヒデナリ) 183
 井上 全人 (イノウエ マサト) 163
 猪股 光夫 (イノマタ ミツオ) 85
 井原 哲夫 (イハラ テツオ) 139
 今井 宏明 (イマイ ヒロアキ) 153
 今井 倫太 (イマイ ミチタ) 155
 今泉 忠 (イマイズミ タダシ) 113, 114
 井本 正哉 (イモト マサヤ) 161
 入野田義人 (イリノダ ヨシンド) 80
 色川 進 (イロカワ ススム) 96
 岩下 真好 (イワシタ マサヨシ) 75
 岩谷 十郎 (イワタニ ジュウロウ) 8, 124
 岩永 治朗 (イワナガ ジロウ) 213
 岩間 一弘 (イワマ カズヒロ) 56
 岩松研吉郎 (イワマツ ケンキチロウ) 92
 岩見 隆 (イワミ タカシ) 228
- う 宇 振領 (ウ シンリョウ) 30
 植田 利久 (ウエダ トシヒサ) 184
 植田 史生 (ウエダ フミオ) 196, 202, 203
 上向 貫志 (ウエムカイ カンシ) 198
 鷓崎 明彦 (ウザキ アキヒコ) 37
 牛島 利明 (ウシジマ トシアキ) 83
 内山 孝憲 (ウチヤマ タカノリ) 163, 174
 内山 太郎 (ウチヤマ タロウ) 163, 176

- | | | | |
|----------------------------|---------------|--------------------------|-----------------------|
| 宇津木愛子 (ウツギ アイコ) | 146 | 小川 邦康 (オガワ クニヤス) | 154, 163, 177 |
| 馬田 啓一 (ウマダ ケイイチ) | 99 | 小川誠一郎 (オガワ セイイチロウ) | 171 |
| 梅垣 真祐 (ウメガキ シンスケ) | 185 | 小川 剛生 (オガワ タケオ) | 14 |
| 梅澤 一夫 (ウメザワ カズオ) | 170, 186 | 小川 恒夫 (オガワ ツネオ) | 132, 194 |
| 梅津 光弘 (ウメツ ミツヒロ) | 146 | 荻野 安奈 (オギノ アンナ) | 96 |
| え 栄沢 幸二 (エイザワ コウジ) | 7 | 奥 健太郎 (オク ケンタロウ) | 132 |
| 栄長 泰明 (エイナガ ヤスアキ) | 11, 153 | 奥田 暁代 (オクダ アキヨ) | 18, 33 |
| エインジ, マイケル | 18, 66 | 小倉 孝誠 (オグラ コウセイ) | 49 |
| 江上 正 (エガミ タダシ) | 173 | 長田 紀子 (オサダ ノリコ) | 85 |
| 江藤 幹雄 (エトウ ミキオ) | 158, 182 | 長名 寛明 (オサナ ヒロアキ) | 67 |
| 遠藤 崇浩 (エンドウ タカヒロ) | 135, 136 | 小沢 慎治 (オザワ シンジ) | 168, 175 |
| 遠藤 千草 (エンドウ チグサ) | 198 | 小澤 正典 (オザワ マサノリ) | 160 |
| お 笈川 博一 (オイカワ ヒロカズ) | 229 | 小田 芳彰 (オダ ヨシアキ) | 151, 172 |
| 大串 尚代 (オオグシ ヒサヨ) | 92 | 尾高 暁子 (オダカ アキコ) | 4 |
| 大久保教宏 (オオクボ ノリヒロ) | 35 | 小野 晃典 (オノ アキノリ) | 139 |
| 大久保正健 (オオクボ マサタケ) | 55 | 小野 修三 (オノ シュウゾウ) | 7, 8, 15, 23, 80 |
| 大坂 武男 (オオサカ タケオ) | 166 | 小野 裕剛 (オノ ヒロタケ) | 26, 73 |
| 大沢 秀介 (オオサワ ヒデユキ) | 125 | 小野 雅之 (オノ マサユキ) | 15 |
| 大路 樹生 (オオジ タツオ) | 38 | 小原 京子 (オハラ キョウコ) | 85 |
| 太田 昭子 (オオタ アキコ) | 33, 36, 75 | 小原 實 (オバラ ミノル) | 152 |
| 太田 克弘 (オオタ カツヒロ) | 151, 168 | 表 實 (オモテ ミノル) | 2, 47, 77 |
| 太田 博道 (オオタ ヒロミチ) | 13, 170 | 恩田 憲一 (オンダ ノリカズ) | 117, 222 |
| 大嶽 真人 (オオタケ マサト) | 202 | か 加々美光子 (カガミ ミツコ) | 122 |
| 大津 信行 (オオツ ノブユキ) | 204 | 蔭山 宏 (カゲヤマ ヒロシ) | 131, 133 |
| 大塚 宣夫 (オオツカ ノブオ) | 150 | 笠井 裕之 (カサイ ヒロユキ) | 33, 34 |
| 大槻 真嗣 (オオツキ マサツグ) | 181 | 笠原 英彦 (カサハラ ヒデヒコ) | 129, 135 |
| 大出 敦 (オオデ アツシ) | 48 | 鹿島 晴雄 (カシマ ハルオ) | 29, 150 |
| 大西 公平 (オオニシ コウヘイ) | 164 | 春日 淳 (カスガ アツシ) | 228 |
| 大沼あゆみ (オオヌマ アユミ) | 110, 111 | 霞 信彦 (カスミ ノブヒコ) | 118, 123 |
| 大野 義夫 (オオノ ヨシオ) | 154, 155, 222 | 粕谷 祐子 (カスヤ ユウコ) | 25, 129, 133, 137 |
| 大場 茂 (オオバ シゲル) | 5, 64 | 片山 直也 (カタヤマ ナオヤ) | 126 |
| 大橋 良子 (オオハシ ヨシコ) | 169, 180 | 桂田 昌紀 (カツラダ マサノリ) | 97, 98, 109, 110 |
| 大畑 純一 (オオハタ ジュンイチ) | 80 | 加藤 謙吉 (カトウ ケンキチ) | 56 |
| 大平 哲 (オオヒラ サトシ) | 67 | 加藤 幸司 (カトウ コウジ) | 201 |
| 大前 和幸 (オオマエ カズユキ) | 29 | 加藤 剛 (カトウ タケシ) | 151 |
| 大村 達弥 (オオムラ タツヤ) | 99 | 加藤 久雄 (カトウ ヒサオ) | 121 |
| 大森 貴秀 (オオモリ タカヒデ) | 117 | 加藤 大雄 (カトウ ヒロオ) | 199 |
| 大森 浩充 (オオモリ ヒロミツ) | 159, 181 | 加藤 浩子 (カトウ ヒロコ) | 4 |
| 大山 耕輔 (オオヤマ コウスケ) | 23, 130 | 加藤 大仁 (カトウ ヒロヒト) | 196, 200 |
| 岡 浩太郎 (オカ コウタロウ) | 170, 171 | 加藤万里子 (カトウ マリコ) | 43, 87, 186, 189 |
| 岡 晴夫 (オカ ハルオ) | 93 | 金谷 信宏 (カナヤ ノブヒロ) | 26, 73 |
| 岡崎 哲郎 (オカザキ テツロウ) | 127 | 金子 信久 (カネコ ノブヒサ) | 44 |
| 小笠原高雪 (オガサワラ タカユキ) | 130, 132 | 金子 洋之 (カネコ ヒロユキ) | 26, 64, 154, 188, 224 |
| 岡田あおい (オカダ アオイ) | 12 | 鹿又 伸夫 (カノマタ ノブオ) | 95 |
| 小淵 昭夫 (オガタ アキオ) | 46, 67, 83 | 上山 幸一 (カミヤマ コウイチ) | 209 |
| 岡田 英史 (オカダ エイジ) | 175 | 亀谷 幸生 (カメタニ ユキオ) | 151, 155, 172 |
| 岡田 謙一 (オカダ ケンイチ) | 140, 182 | 河井 啓希 (カワイ ヒロキ) | 106, 111 |
| 岡田 光弘 (オカダ ミツヒロ) | 60, 163 | 河合 正朝 (カワイ マサトモ) | 94 |
| 岡野 栄之 (オカノ ヒデユキ) | 29 | 川上新一郎 (カワカミ シンイチロウ) | 52 |

- | | | | |
|---------------------|----------------|---------------------|------------------------------|
| 河上 裕 (カワカミ ユタカ) | 186 | こ 小坏 淳子 (コアツク ジュンコ) | 122 |
| 川口 修 (カウグチ オサム) | 177 | 古池 達彦 (コイケ タツヒコ) | 182 |
| 川口 春馬 (カウグチ ハルマ) | 164 | 河野 武司 (コウノ タケシ) | 23, 128 |
| 川城 丈夫 (カウシロ タケオ) | 150 | 小嶋 祥三 (コジマ ショウソウ) | 18 |
| 河内 恵子 (カウチ ケイコ) | 92 | 児島やよい (コジマ ヤヨイ) | 30 |
| 河内谷幸子 (カウチャ サチコ) | 222 | 小菅 隼人 (コスゲ ハヤト) | 49, 223, 224 |
| 川西 大介 (カウニシ ダイスケ) | 204 | 小瀬村誠治 (コセムラ セイジ) | 6, 73 |
| 川又 邦雄 (カウマタ クニオ) | 108 | 後藤 完夫 (ゴトウ サダオ) | 198 |
| 川村 清 (カウムラ キヨシ) | 171, 185 | 小西 飛鳥 (コニシ アスカ) | 126 |
| 川村 晃生 (カウムラ テルオ) | 92 | 小林 邦夫 (コバヤシ クニオ) | 49, 86, 88 |
| 河村 好彦 (カウムラ ヨシヒコ) | 53 | 小林 節 (コバヤシ セツ) | 119 |
| 河原田有一 (カワラダ ユウイチ) | 53 | 小林 常利 (コバヤシ ツネトシ) | 148, 149 |
| 神崎 忠昭 (カンザキ タダアキ) | 57, 93 | 小林 宏充 (コバヤシ ヒロミチ) | 47, 73 |
| 神成 文彦 (カンナリ フミヒコ) | 152 | 小林 正史 (コバヤシ マサシ) | 97, 98 |
| き 菊池 紀夫 (キクチ ノリオ) | 151, 156 | 小林 ゆい (コバヤシ ユイ) | 204 |
| 岸 由二 (キシ ユウジ) | 27, 31, 67 | 駒形 哲哉 (コマガタ テツヤ) | 97, 112 |
| 木島 伸彦 (キジマ ノブヒコ) | 21, 78, 140 | 小松 恭三 (コマツ キョウゾウ) | 209 |
| 岸本 達也 (キシモト タツヤ) | 17, 161 | 小松 建三 (コマツ ケンゾウ) | 6, 151, 152 |
| 喜田 浩平 (キダ コウヘイ) | 96 | 小松 英海 (コマツ ヒデミ) | 22 |
| 北居 功 (キタイ イサオ) | 120, 126 | 小松 光彦 (コマツ ミツヒコ) | 92 |
| 北川 尚 (キタガワ ヒサシ) | 104, 105 | 小宮 英敏 (コミヤ ヒデトシ) | 78, 142 |
| 北川 良和 (キタガワ ヨシカズ) | 167 | 小室 正紀 (コムロ マサミチ) | 8, 107, 109 |
| 北村 洋基 (キタムラ ヒロモト) | 112 | 小茂鳥 潤 (コモトリ ジュン) | 170 |
| 木塚 孝幸 (キツカ タカユキ) | 200 | 小森 康加 (コモリ ヤスカ) | 205 |
| 木戸 一夫 (キド カズオ) | 140, 146 | 小屋 逸樹 (コヤ イツキ) | 76 |
| 木下 亮 (キノシタ アキラ) | 45 | 小安 重夫 (コヤス シゲオ) | 29 |
| 木下 京子 (キノシタ キョウコ) | 13, 30, 87 | 児矢野マリ (コヤノ マリ) | 127 |
| 木下 岳司 (キノシタ タケシ) | 163 | 小山 剛 (コヤマ ゴウ) | 119 |
| 木原 弘行 (キハラ ヒロユキ) | 40 | 小山 正 (コヤマ タダシ) | 215 |
| 木俣 章 (キマタ ショウ) | 223, 224 | 近藤 明彦 (コンドウ アキヒコ) | 195, 197, 204, 206, 223, 224 |
| 木村 彰夫 (キムラ アキオ) | 150 | 近藤 光雄 (コンドウ ミツオ) | 18, 30, 31 |
| 木村 敏夫 (キムラ トシオ) | 159 | 近藤 幸夫 (コンドウ ユキオ) | 11, 14, 45, 86, 88 |
| 木村 直也 (キムラ ナオヤ) | 57 | さ 齊藤 郁夫 (サイトウ イクオ) | 195, 217 |
| 木元 宏次 (キモト ヒロツグ) | 117 | 斎藤 和夫 (サイトウ カズオ) | 119 |
| 許 光俊 (キョ ミツトシ) | 75 | 斎藤 太郎 (サイトウ タロウ) | 96 |
| 金田一真澄 (キンダイチ マスミ) | 10, 11, 86, 88 | 斎藤 直樹 (サイトウ ナオキ) | 13 |
| く 串田 裕彦 (クシダ ヒロヒコ) | 60 | 斎藤 華子 (サイトウ ハナコ) | 35 |
| 工藤多香子 (クドウ タカコ) | 14, 55 | 斎藤 英雄 (サイトウ ヒデオ) | 157 |
| クナウプ, ハンス・ヨアヒム | 68 | 斎藤 博昭 (サイトウ ヒロアキ) | 164, 182, 222 |
| 国松 昇 (クニマツ ノボル) | 156, 179 | 斎藤 文雄 (サイトウ フミオ) | 76 |
| 久野 禎子 (クノ ヨシコ) | 103 | 齋藤 幸夫 (サイトウ ユキオ) | 152, 185 |
| 久保田真理 (クボタ マリ) | 148, 149 | 榊原 研互 (サカキバラ ケンゴ) | 140, 144 |
| 神代 光朗 (クマシロ ミツオ) | 68 | 榊原 康文 (サカキバラ ヤスブミ) | 178, 181 |
| 隈部まち子 (クマベ マチコ) | 96 | 坂口 尚史 (サカグチ ナオフミ) | 33 |
| 糸川麻里生 (クメカワ マリオ) | 94 | 坂口 博 (サカグチ ヒロシ) | 139 |
| 栗林 美保 (クリバヤシ ミホ) | 122 | 坂田 幸子 (サカタ サチコ) | 64, 96 |
| グレーヴァ香子 (グレーヴァ タカコ) | 108, 110 | 阪田 恭代 (サカタ ヤスヨ) | 24, 133, 137 |
| 黒田 忠広 (クロダ タダヒロ) | 175 | 坂本 邦彦 (サカモト クニヒコ) | 52 |
| 桑原 英明 (クワバラ ヒデアキ) | 23, 133, 137 | | |

- | | | | |
|--------------------|--------------------|-------------------|------------------|
| 坂本 達哉 (サカモト タツヤ) | 68, 108 | 清水 健一 (シミズ ケンイチ) | 5 |
| 櫻井 彰人 (サクライ アキト) | 155, 172, 181 | 清水 透 (シミズ トオル) | 55 |
| 桜井 準也 (サクライ ジュンヤ) | 52 | 清水 祐司 (シミズ ユウジ) | 57, 93 |
| 櫻庭ゆみ子 (サクラバ ユミコ) | 80 | 志村 正 (シムラ タダシ) | 6, 14, 74 |
| 桜本 光 (サクラモト ヒカル) | 139 | 霜野 寿亮 (シモノ トシアキ) | 125 |
| 佐古 彰史 (サコ アキフミ) | 97, 98 | 下村 俊 (シモムラ シュン) | 151, 152, 160 |
| 佐々木昭則 (ササキ アキノリ) | 60 | 下村 晋 (シモムラ ススム) | 168 |
| 佐々木孝夫 (ササキ タカオ) | 24, 133 | 下村 裕 (シモムラ ユタカ) | 15, 48, 223, 224 |
| 佐々木孝浩 (ササキ タカヒロ) | 96 | 首藤 聡史 (シュトウ サトシ) | 210 |
| 佐々木玲子 (ササキ レイコ) | 195, 197, 204 | ジョエ, イニヤツイオ | 96 |
| 里宇 明元 (サトウ アキモト) | 150 | 白井 巧 (シライ タクミ) | 201 |
| 佐藤 健治 (サトウ ケンジ) | 141 | 白井 義昌 (シライ ヨシマサ) | 107 |
| 佐藤 孝雄 (サトウ タカオ) | 94 | 白崎 容子 (シラサキ ヨウコ) | 147 |
| 佐藤 徹哉 (サトウ テツヤ) | 189 | 申 明直 (シン ミョンジク) | 39 |
| 佐藤 智典 (サトウ トシノリ) | 160 | 新保 一成 (シンボ カズシゲ) | 141, 142, 146 |
| 佐藤 寅夫 (サトウ トラオ) | 188 | す 末松 誠 (スエマツ マコト) | 29, 150 |
| 佐藤 望 (サトウ ノゾミ) | 4, 5, 80 | 須貝 威 (スガイ タケシ) | 153 |
| 佐藤 春樹 (サトウ ハルキ) | 154, 178 | 菅野理樹夫 (スガノ リキオ) | 20, 21 |
| 佐藤 道生 (サトウ ミチオ) | 92, 96 | 菅原 昭博 (スガワラ アキヒロ) | 142 |
| 佐藤 康廣 (サトウ ヤスヒロ) | 139 | 杉浦 壽彦 (スギウラ トシヒコ) | 152, 161 |
| 佐藤 和 (サトウ ヤマト) | 144 | 杉田 敦 (スギタ アツシ) | 2 |
| 佐藤 有史 (サトウ ユウジ) | 108 | 杉村 浩哉 (スギムラ ヒロヤ) | 45 |
| 佐藤 洋平 (サトウ ヨウヘイ) | 178 | 杉本 智俊 (スギモト トモトシ) | 94 |
| 眞田 幸俊 (サナダ ユキトシ) | 157, 182 | 杉山 伸也 (スギヤマ シンヤ) | 107 |
| 佐野 昭 (サノ アキラ) | 169, 173 | 鈴木 晃仁 (スズキ アキヒト) | 14, 57, 224 |
| 佐谷眞木人 (サヤ マキト) | 43 | 鈴木 忠 (スズキ アツシ) | 149, 150, 154 |
| 沢 孝一郎 (サワ コウイチロウ) | 175 | 鈴木 啓子 (スズキ ケイコ) | 49 |
| 澤井 敦 (サワイ アツシ) | 125, 134 | 鈴木 孝治 (スズキ コウジ) | 161, 182, 183 |
| 澤田 和也 (サワダ カズヤ) | 123 | 鈴木 貞雄 (スズキ サダオ) | 96 |
| 澤田 達男 (サワダ タツオ) | 156, 184 | 鈴木 伸一 (スズキ シンイチ) | 31, 223, 224 |
| し 椎木 一夫 (シイキ カズオ) | 185 | 鈴木 貴博 (スズキ タカヒロ) | 125 |
| 椎野 三洋 (シイノ ミツヒロ) | 149 | 鈴木 達夫 (スズキ タツオ) | 113 |
| 塩川 宇賢 (シオカワ イエカタ) | 151, 172 | 鈴木 恒男 (スズキ ツネオ) | 20, 21 |
| 塩澤 修平 (シオザワ シュウヘイ) | 107 | 鈴木 透 (スズキ トオル) | 18, 37 |
| 塩澤 寛樹 (シオザワ ヒロキ) | 45 | 鈴木 康子 (スズキ ヤスコ) | 57 |
| 鹿園 直建 (シカゾノ ナオタツ) | 38 | 鈴木 由紀 (スズキ ユキ) | 148 |
| 識名 章喜 (シキナ アキヨシ) | 49 | 鈴木 直樹 (スズムラ ナオキ) | 10 |
| 重野 寛 (シゲノ ヒロシ) | 173 | 須田 伸一 (スダ シンイチ) | 107 |
| 志澤 一之 (シザワ カズユキ) | 152, 163, 165, 166 | 須田 芳正 (スダ ヨシマサ) | 196, 198 |
| 七字 眞明 (シチジ マサアキ) | 46 | 鷺見 誠一 (スミ セイイチ) | 132 |
| 篠崎 信雄 (シノザキ ノブオ) | 160, 176 | 住吉 朋彦 (スミヨシ トモヒコ) | 96 |
| 篠沢 佳久 (シノザワ ヨシヒサ) | 154 | せ 関 周一 (セキ シュウイチ) | 57 |
| 篠原しげ子 (シノハラ シゲコ) | 207 | 関 喜房 (セキ ヨシフサ) | 228 |
| 渋谷誉一郎 (シブヤ ヨウイチロウ) | 6 | 関根 小織 (セキネ サオリ) | 41 |
| 嶋尾 稔 (シマオ ミノル) | 228 | 関根 政美 (セキネ マサミ) | 131, 134 |
| 島田桂太郎 (シマダ ケイタロウ) | 204 | 関場 武 (セキバ タケシ) | 46, 92, 96 |
| 島田 晴雄 (シマダ ハルオ) | 68, 99 | 瀬古 美喜 (セコ ミキ) | 107 |
| 志水 清孝 (シミズ キョウタカ) | 156 | 仙名 保 (センナ マモル) | 179 |
| 清水 啓助 (シミズ ケイスケ) | 230 | 禪野 美帆 (センノ ミホ) | 64 |

- そ** 徐 承元(ソウ スンウオン) 24, 134, 137
 宗宮 詮(ソウミヤ サトシ) 165, 166
 添谷 芳秀(ソエヤ ヨシヒデ) 129, 137
 曾我 重司(ソガ シゲジ) 19
た 高井 啓介(タカイ ケイスケ) 229
 高木 勇夫(タカギ イサオ) 39, 69
 高草木光一(タカクサギ コウイチ) 8, 69
 高桑 和巳(タカクワ カズミ) 11, 86, 88
 高田 康一(タカダ コウイチ) 147
 高田 眞吾(タカダ シンゴ) 154
 高野 宏(タカノ ヒロシ) 152
 鷹野 宏行(タカノ ヒロユキ) 112, 139
 高橋 暁生(タカハシ アケオ) 58
 高橋 郁夫(タカハシ イクオ) 144
 高橋 邦弘(タカハシ クニヒロ) 165, 166
 高橋 智(タカハシ サトシ) 96
 高橋 伸夫(タカハシ ノブオ) 24, 131
 高橋 信裕(タカハシ ノブヒロ) 96
 高橋 宣也(タカハシ ノブヤ) 50
 高橋 則夫(タカハシ ノリオ) 121
 田上 竜也(タガミ タツヤ) 83, 224
 高嶺 隆二(タカミネ リュウジ) 196, 205, 206
 高山 博(タカヤマ ヒロシ) 22, 64
 高山 正宏(タカヤマ マサヒロ) 169
 高山 正也(タカヤマ マサヤ) 123
 瀧本佳容子(タキモト カヨコ) 81
 竹内寿一郎(タケウチ ジュイチロウ) 160
 竹内 勤(タケウチ ツトム) 29
 竹内美佳子(タケウチ ミカコ) 50
 竹内 良雄(タケウチ ヨシオ) 69
 竹下 彬(タケシタ アキラ) 148
 竹中 淑子(タケナカ ヨシコ) 97, 98, 109, 110
 竹之内一幸(タケノウチ カズユキ) 126
 竹森 俊平(タケモリ シュンペイ) 99, 188
 武山 政直(タケヤマ マサナオ) 111
 田島 圭介(タジマ ケイスケ) 177
 田島 久歳(タジマ ヒサトシ) 35
 只野 金一(タダノ キンイチ) 184
 田中 淳一(タナカ ジュンイチ) 50
 田中 孝明(タナカ タカアキ) 160, 172
 田中 辰雄(タナカ タツオ) 111
 田中 敏幸(タナカ トシユキ) 181
 田中 宏(タナカ ヒロシ) 128
 田中由美子(タナカ ユミコ) 203
 棚橋 紀夫(タナハシ ノリオ) 150
 田辺 秋守(タナベ シュウジ) 12
 谷 温之(タニ アツシ) 151, 152, 169
 谷口 和弘(タニグチ カズヒロ) 139
 谷下 一夫(タニシタ カズオ) 178
 種村 和史(タネムラ カズフミ) 83
 田上 雅徳(タノウエ マサナル) 24, 128, 137
 玉井 清(タマイ キヨシ) 129, 130, 135, 136
 玉田 康成(タマダ ヤスナリ) 97, 107
 田村 俊作(タムラ シュンサク) 95, 96
 田村 高幸(タムラ タカユキ) 141
 田村 要造(タムラ ヨウゾウ) 151, 169
 樽井 正義(タルイ マサヨシ) 8, 150
 段 瑞聡(ダン ズイソウ) 23, 81
ち 千田 憲孝(チダ ノリタカ) 153
 中条 潮(チュウジョウ ウシオ) 144
つ 月村 繁雄(ツキムラ シゲオ) 211
 柘植 尚則(ツゲ ヒサノリ) 55
 辻 幸夫(ツジ ユキオ) 10, 76
 辻 幸民(ツジ ユキタミ) 144
 辻岡三南子(ツジオカ ミナコ) 195
 津田 裕之(ツダ ヒロユキ) 174
 蔦木 能雄(ツタキ ノリオ) 69, 109
 土田龍太郎(ツチダ リュウタロウ) 228
 堤林 剣(ツツミバヤシ ケン) 128
 常山菜穂子(ツネヤマ ナホコ) 18, 37
 坪田 幸政(ツボタ ユキマサ) 38, 39
 津曲 正俊(ツマガリ マサトシ) 107, 108
 津谷 典子(ツヤ ノリコ) 69
て 手島智佳子(テシマ チカコ) 199
 手島 玲子(テシマ レイコ) 9
 寺岡 文男(テラオカ フミオ) 164
 寺坂 宏一(テラサカ コウイチ) 156
 寺澤 行忠(テラサワ ユキタダ) 14, 50
 寺出 道雄(テラデ ミチオ) 111
と 土居 文朗(トイ タケロウ) 70
 土居 洋平(トイ ヨウヘイ) 15
 藤平 信一(トウヘイ シンイチ) 202
 遠山 公一(トオヤマ コウイチ) 45
 遠山 朋子(トオヤマ トモコ) 117
 徳岡 直静(トクオカ ナオチカ) 163
 戸沢 行夫(トザワ ユキオ) 58
 戸瀬 信之(トセ ノブユキ) 97, 98, 109, 110, 112, 113
 トビン, ロパート I. 82
 富田 章(トミタ アキラ) 45
 富田 広士(トミタ ヒロシ) 137
 富田 豊(トミタ ユタカ) 86, 166, 171, 184
 友岡 賛(トモオカ ススム) 144, 146
 友部 謙一(トモベ ケンイチ) 70, 107
 戸山 芳昭(トヤマ ヨシアキ) 150
な 長井 孝紀(ナガイ タカトシ) 149, 150, 154
 長尾 真理(ナガオ マリ) 16
 長沖 暁子(ナガオキ サトコ) 14, 17, 27, 111

- | | | | |
|---------------------------|--------------------|---------------------------|-------------------------|
| 中川 正雄 (ナカガワ マサオ) | 157, 168 | 野口 晃 (ノグチ アキラ) | 176 |
| 中川 雅博 (ナカガワ マサヒロ) | 55 | 野口 和行 (ノグチ カズユキ) | 195, 197, 202, 207, 213 |
| 長坂 雄次 (ナガサカ ユウジ) | 178 | 野口 建彦 (ノグチ タケヒコ) | 9 |
| 中澤 和夫 (ナカザワ カズオ) | 181 | 野口 裕久 (ノグチ ヒロヒサ) | 164, 185, 186 |
| 中澤 敏明 (ナカザワ トシアキ) | 107 | 野沢 宗平 (ノザワ ソウヘイ) | 142 |
| 中沢 英夫 (ナカザワ ヒデオ) | 150 | 能勢 修一 (ノセ シュウイチ) | 152, 180 |
| 長島 昭 (ナガシマ アキラ) | 167 | 野寺 隆 (ノデラ タカシ) | 162 |
| 中嶋 敦 (ナカジマ アツシ) | 153, 159 | 野村 伸一 (ノムラ シンイチ) | 39, 96, 229 |
| 中嶋 隆信 (ナカジマ タカノブ) | 145 | 野元 晋 (ノモト シン) | 41, 228 |
| 中嶋 晴久 (ナカジマ ハルヒサ) | 142 | は 萩原 滋 (ハギワラ シゲル) | 16, 194 |
| 中嶋 正樹 (ナカジマ マサキ) | 210 | 萩原 将文 (ハギワラ マサフミ) | 154 |
| 中嶋 陽子 (ナカジマ ヨウコ) | 27, 154 | 萩原 能久 (ハギワラ ヨシヒサ) | 128, 134 |
| 仲田 均 (ナカダ ヒトシ) | 151, 169 | 橋本 順一 (ハシモト ジュンイチ) | 82 |
| 中田 正隆 (ナカタ マサタカ) | 38 | 蓮池敬一郎 (ハスイケ ケイイチロウ) | 209 |
| 中田 雅也 (ナカタ マサヤ) | 153 | 長谷川明子 (ハセガワ アキコ) | 205 |
| 中谷比呂樹 (ナカタニ ヒロキ) | 29 | 長谷川由利子 (ハセガワ ユリコ) | 28, 78 |
| 中妻 照雄 (ナカツマ テルオ) | 106 | 長谷部浩二 (ハセベ コウジ) | 60 |
| 中西はるみ (ナカニシ ハルミ) | 103, 154 | 長谷部史彦 (ハセベ フミヒコ) | 93, 96 |
| 中野 忠 (ナカノ タダシ) | 107 | 長谷山 彰 (ハセヤマ アキラ) | 94 |
| 中野 誠彦 (ナカノ ノブヒコ) | 182 | 羽田 功 (ハダ イサオ) | 223, 224 |
| 中野 文平 (ナカノ ブンペイ) | 115 | 秦 順一 (ハタ ジュンイチ) | 29 |
| 中野 實 (ナカノ ミノル) | 151, 169, 179 | 畑山 明聖 (ハタヤマ アキヨシ) | 158, 176 |
| 中野 泰志 (ナカノ ヤスシ) | 19 | 服部 龍二 (ハットリ リュウジ) | 132 |
| 長堀 祐造 (ナガホリ ユウゾウ) | 70 | 英 知明 (ハナブサ チアキ) | 146 |
| 中丸 幸治 (ナカマル コウジ) | 154, 155 | 濱岡 豊 (ハマオカ ユタカ) | 145 |
| 中村 公則 (ナカムラ キミノリ) | 58 | 浜 日出夫 (ハマ ヒデオ) | 95 |
| 中村 公博 (ナカムラ キミヒロ) | 41 | 浜田 望 (ハマダ ノゾム) | 159, 167 |
| 中村 慎助 (ナカムラ シンスケ) | 107, 108, 112, 113 | 濱名 邦雄 (ハマナ クニオ) | 198 |
| 中村 護 (ナカムラ マモル) | 214 | 浜野 明子 (ハマノ アキコ) | 149 |
| 中村真理子 (ナカムラ マリコ) | 187 | 林 栄美子 (ハヤシ エミコ) | 70 |
| 中村 義春 (ナカムラ ヨシハル) | 177 | 林 温 (ハヤシ オン) | 94 |
| 中山 幹夫 (ナカヤマ ミキオ) | 110 | 早見 均 (ハヤミ ヒトシ) | 142 |
| 流矢 大士 (ナガレヤ ヒロシ) | 122 | 針谷 寛 (ハリガヤ ヒロシ) | 8 |
| 名倉 正剛 (ナグラ マサタカ) | 96 | ひ 樋笠 勝士 (ヒカサ カツシ) | 41 |
| ナコルチェフスキー, アンドリイ | 50 | 光 道隆 (ヒカリ ミチタカ) | 99, 113 |
| 南里清一郎 (ナンリ セイイチロウ) | 217 | 樋口 美雄 (ヒグチ ヨシオ) | 145 |
| に 西尾 修 (ニシオ オサム) | 70 | 日向 裕幸 (ヒユウガ ヒロユキ) | 152 |
| 西岡久美子 (ニシオカ クミコ) | 97, 98, 109, 110 | 平井 克英 (ヒライ カツヒデ) | 201 |
| 西川 正二 (ニシカワ ショウジ) | 82 | 平島 碩 (ヒラジマ ヒロシ) | 159 |
| 西澤 直子 (ニシザワ ナオコ) | 8 | 平田栄一郎 (ヒラタ エイイチロ) | 94, 96 |
| 西村 忍 (ニシムラ シノブ) | 206 | 平田 光司 (ヒラタ コウジ) | 186 |
| 西村多美子 (ニシムラ タミコ) | 9 | 平田 大輔 (ヒラタ ダイスケ) | 199, 200 |
| 西村 太良 (ニシムラ タロウ) | 50, 96 | 平野 隆 (ヒラノ タカシ) | 8, 82, 143 |
| 西山 繁 (ニシヤマ シゲル) | 154 | 平野 裕之 (ヒラノ ヒロユキ) | 120 |
| 西山千恵子 (ニシヤマ チエコ) | 17 | 平林 正司 (ヒラバヤシ マサジ) | 58 |
| 二瓶 栄輔 (ニヘイ エイスケ) | 88 | 平林 義彰 (ヒラバヤシ ヨシアキ) | 86, 88 |
| ぬ 額田 信相 (ヌカダ シンスケ) | 201 | 広田すみれ (ヒロタ スミレ) | 117 |
| ね 根岸寿美子 (ネギシ スミコ) | 28, 78 | ふ 深尾 光洋 (フカオ ミツヒロ) | 146 |
| の 納富 信留 (ノウトミ ノブル) | 93 | 深田 独 (フカダ ヒトリ) | 2 |

- | | | | |
|--------------------------|---------------|--------------------------|---------------------|
| 深谷太香子 (フカヤ タカコ) | 79, 142 | 松尾亜紀子 (マツオ アキコ) | 156 |
| 福岡 秀也 (フクオカ ヒデヤ) | 117 | 松尾 弘 (マツオ ヒロシ) | 119, 143 |
| 福川 忠昭 (フクカワ タダアキ) | 162 | 松岡 勝男 (マツオカ カツオ) | 23, 116 |
| 福澤 利彦 (フクザワ トシヒコ) | 28, 79 | 松崎 欣一 (マツザキ キンイチ) | 8 |
| 福田 敦史 (フクダ アツシ) | 42 | 松田 隆美 (マツダ タカミ) | 92, 96 |
| 福田 真実 (フクダ マミ) | 20, 21 | 松田 雅之 (マツダ マサユキ) | 199, 205, 207 |
| 福田礼次郎 (フクダ レイジロウ) | 152, 185 | 松永 賢次 (マツナガ ケンジ) | 117 |
| 福田 弥 (フクダ ヲタル) | 5 | 松原 彰子 (マツバラ アキコ) | 39, 40, 71, 110 |
| 福山 欣司 (フクヤマ キンジ) | 29, 71, 111 | 松村 高夫 (マツムラ タカオ) | 30, 107 |
| 藤川 千歳 (フジカワ チトセ) | 16 | 松村 友視 (マツムラ トモミ) | 92 |
| 藤崎 康 (フジサキ コウ) | 46 | 松村 宏 (マツムラ ヒロシ) | 8, 53, 83 |
| 藤田 祥子 (フジタ サチコ) | 53 | 松本 智 (マツモト サトル) | 154 |
| 藤田 康範 (フジタ ヤスノリ) | 71 | 松本 俊之 (マツモト トシユキ) | 156 |
| 藤谷 洋平 (フジタニ ヨウヘイ) | 177 | 松本 緑 (マツモト ミドリ) | 154, 170, 188 |
| 藤村 武 (フジムラ タケシ) | 198 | 松本 佳宣 (マツモト ヨシノリ) | 158 |
| 藤村 東男 (フジムラ ハルオ) | 58 | 松山 保幸 (マツヤマ ヤスユキ) | 205 |
| 藤原 茂樹 (フジワラ シゲキ) | 92 | 真船 えり (マフネ エリ) | 42 |
| 二見 千尋 (フタミ チヒロ) | 55 | 丸山 徹 (マルヤマ トオル) | 107 |
| 船越 正太 (フナコシ ショウタ) | 97, 98 | 丸山 文綱 (マルヤマ フミツナ) | 104, 105 |
| 船山 泰範 (フナヤマ ヤスノリ) | 127 | み 美浦 隆 (ミウラ タカシ) | 153 |
| 古田 和子 (フルタ カズコ) | 107 | 三上 直光 (ミカミ ナオミツ) | 228, 229 |
| 古野 泰二 (フルノ タイジ) | 148 ~ 150 | 水嶋 一雄 (ミズシマ カズオ) | 40 |
| ほ 星 元紀 (ホシ モトノリ) | 154, 161, 188 | 溝部 良恵 (ミゾベ ヨシエ) | 43 |
| 星野 慎吾 (ホシノ シンゴ) | 60, 61 | 三田 彰 (ミタ アキラ) | 154 |
| 細川 達己 (ホソカワ タツミ) | 105, 106 | 三井 隆久 (ミツイ タカヒサ) | 148, 149 |
| 細谷 雄一 (ホソヤ ユウイチ) | 25, 131, 136 | 光武亜代理 (ミツタケ アヨリ) | 180 |
| 堀江 聡 (ホリエ サトシ) | 93 | 水戸 克典 (ミト カツノリ) | 43 |
| 堀越比呂志 (ホリコシ ヒロシ) | 145 | 南谷 晴之 (ミナミタニ ハルユキ) | 174 |
| 堀場 雅彦 (ホリバ マサヒコ) | 200 | 峰岸 克行 (ミネギシ カツユキ) | 210 |
| ボンシー・ライト | 229 | 宮内 環 (ミヤウチ タマキ) | 106, 111 |
| 本田 郁二 (ホンダ イクジ) | 157, 164, 179 | 宮尾 大輔 (ミヤオ ダイスケ) | 65 |
| 本田 耕一 (ホンダ コウイチ) | 54, 143 | 宮川 尚理 (ミヤガワ ショウリ) | 31 |
| 本多 敏 (ホンダ サトシ) | 183 | 三宅 幸夫 (ミヤケ ユキオ) | 92 |
| ま 真家 和生 (マイエ カズオ) | 22 | 宮崎 琢也 (ミヤザキ タクヤ) | 151 |
| 前川 千春 (マエカワ チハル) | 144, 146 | 宮崎 直哉 (ミヤザキ ナオヤ) | 97, 98, 109, 110 |
| 前島 信 (マエジマ マコト) | 151 | 宮崎 洋 (ミヤザキ ヒロシ) | 59 |
| 前田 淳 (マエダ ジュン) | 144 | 宮澤 秀爾 (ミヤザワ シュウジ) | 135, 136 |
| 前多 康男 (マエダ ヤスオ) | 107 | 宮下 照夫 (ミヤシタ テルオ) | 175 |
| 前田 吉昭 (マエダ ヨシアキ) | 151, 172 | 宮島 英紀 (ミヤジマ ヒデキ) | 176 |
| 前野 隆司 (マエノ タカシ) | 163 | 宮田 幸典 (ミヤタ ユキノリ) | 207 |
| 真壁 宏幹 (マカベ ヒロモト) | 95 | 宮地 忠幸 (ミヤチ タダユキ) | 40 |
| 牧 厚志 (マキ アツシ) | 139 | 宮本 憲二 (ミヤモト ケンジ) | 183 |
| マクリン, ニール B. | 77 | 宮本 忠 (ミヤモト タダシ) | 96 |
| 真下 英二 (マシタ エイジ) | 25, 135, 138 | 宮本 泰行 (ミヤモト ヒロユキ) | 154 |
| 益田 重明 (マスダ シゲアキ) | 184 | む 武川 幸嗣 (ムカワ コウジ) | 120, 125, 126 |
| 増田 直衛 (マスダ ナオエ) | 18, 22, 95 | 武藤 功 (ムトウ イサオ) | 9 |
| 増田 靖 (マスダ ヤスシ) | 160, 168 | 武藤 浩史 (ムトウ ヒロシ) | 17, 33, 36, 51, 224 |
| 町田 一 (マチダ ハジメ) | 42 | 武藤 康史 (ムトウ ヤスシ) | 96 |
| 松浦 良充 (マツウラ ヨシミ) | 7 | 宗像 和重 (ムナカタ カズシゲ) | 51 |

- | | | | |
|-------------------------|--------------------|--------------------------|-------------------------|
| 村上 俊之(ムラカミ トシユキ) | 176 | 山本 賀代(ヤマモト カヨ) | 51, 72 |
| 村上由見子(ムラカミ ユミコ) | 43 | 山元 公寿(ヤマモト キミヒサ) | 153, 167, 180 |
| 村越貴代美(ムラコシ キヨミ) | 71 | 山本 純一(ヤマモト ジュンイチ) | 55 |
| 村瀬 旻(ムラセ アキラ) | 187 | 山本 剛史(ヤマモト タカシ) | 55 |
| 村瀬 鋼(ムラセ コウ) | 42 | 山本 信人(ヤマモト ノブト) | 130, 138 |
| 村松 憲(ムラマツ タダシ) | 197, 200 | 山本 喜一(ヤマモト ヨシカズ) | 140, 154 |
| 村松 太郎(ムラマツ タロウ) | 150 | ゆ 湯淺 壘道(ユアサ ハルミチ) | 118 |
| 室田 憲司(ムロタ ケンジ) | 42 | 由木 義文(ユウキ ヨシフミ) | 16 |
| も 望月 要(モチヅキ カナメ) | 19 | 湯川 武(ユカワ タケシ) | 59, 83, 223, 224 |
| 望月 康司(モチヅキ コウジ) | 197, 198 | 行待 武生(ユキマチ タケオ) | 179 |
| 望月 敏弘(モチヅキ トシヒロ) | 29 | 弓削 隆一(ユゲリ リュウイチ) | 60 |
| 森 泉(モリ イズミ) | 87, 89 | よ 横井 康平(ヨコイ コウヘイ) | 157 |
| 森 征一(モリ セイイチ) | 118, 124 | 横手 慎二(ヨコテ シンジ) | 129, 138 |
| 森 英樹(モリ ヒデキ) | 51, 189 | 横山 千晶(ヨコヤマ チアキ) | 36, 223, 224 |
| 森 正明(モリ マサアキ) | 195 | 横山和加子(ヨコヤマ ワカコ) | 55, 83 |
| 森 雅夫(モリ マサオ) | 158, 160 | 吉岡 完治(ヨシオカ カンジ) | 142 |
| 森田 寿郎(モリタ トシオ) | 161 | 吉岡 忠昭(ヨシオカ タダアキ) | 9 |
| 森吉 仁志(モリヨシ ヒトシ) | 151 | 吉岡 直樹(ヨシオカ ナオキ) | 153, 156 |
| 諸隈 之彦(モロクマ ユキヒコ) | 48, 79 | 吉舖 紀子(ヨシキ ノリコ) | 117 |
| や 八木 輝明(ヤギ テルアキ) | 71 | 吉澤 徴(ヨシザワ アキラ) | 48 |
| 矢向 高弘(ヤコウ タカヒロ) | 162, 167, 181 | 吉瀬 雄一(ヨシセ ユウイチ) | 16, 135 |
| 矢澤 達宏(ヤザワ タツヒロ) | 25, 135, 136 | 吉田 栄介(ヨシダ エイスケ) | 139, 144 |
| 八嶋由香利(ヤシマ ユカリ) | 30, 55, 72 | 吉田 和夫(ヨシダ カズオ) | 185, 186 |
| 安井 伸(ヤスイ シン) | 23, 55, 146 | 吉田 量彦(ヨシダ カズヒコ) | 56 |
| 泰岡 顕治(ヤスオカ ケンジ) | 165, 178 | 吉田 恭子(ヨシダ キョウコ) | 64, 96 |
| 安田 淳(ヤスタ ジュン) | 36 | 吉田 武(ヨシダ タケシ) | 199 |
| 安松 幹展(ヤスマツ ミキノブ) | 198 | 吉田 久男(ヨシダ ヒサオ) | 215 |
| 安元 稔(ヤスモト ミノル) | 107 | 吉田 正樹(ヨシダ マサキ) | 143 |
| 柳川 弘志(ヤナガワ ヒロシ) | 29, 182 | 吉田 泰将(ヨシダ ヤスマサ) | 195, 196, 199, 203, 207 |
| 柳沢 遊(ヤナギサワ アソブ) | 72, 107 | 依田 珠江(ヨダ タマエ) | 201 |
| 柳田 利夫(ヤナギダ トシオ) | 13 | 頼松 瑞生(ヨリマツ タマオ) | 54 |
| 矢野 久(ヤノ ヒサシ) | 30, 107 | り 李 精(リ セイ) | 112 |
| 藪下 聡(ヤブシタ サトシ) | 153, 171, 184 | 林 秀光(リン シュウコウ) | 35 |
| 山内 賢(ヤマウチ ケン) | 197, 200, 202, 207 | れ レイサイド, ジェイムス | 51 |
| 山内 憲一(ヤマウチ ケンイチ) | 115, 116 | わ 和気 洋美(ワケ ヒロミ) | 20 |
| 八巻 和彦(ヤマキ カズヒコ) | 43 | 綿田 博人(ワタダ ヒロヒト) | 196, 202, 205 |
| 山岸 敬幸(ヤマギシ ヒロユキ) | 150 | 渡辺 茂(ワタナベ シゲル) | 95 |
| 山口 徹(ヤマグチ トオル) | 94 | 渡邊 千秋(ワタナベ チアキ) | 34 |
| 山崎 信寿(ヤマザキ ノブトシ) | 87, 161 | 渡辺 真男(ワタナベ マサオ) | 54 |
| 山崎 信行(ヤマサキ ノブユキ) | 162, 182 | 渡部 睦夫(ワタベ ムツオ) | 79, 141, 142 |
| 山下 輝彦(ヤマシタ テルヒコ) | 96 | | |
| 山下 久直(ヤマシタ ヒサナオ) | 176 | | |
| 山田 篤裕(ヤマダ アツヒロ) | 72 | | |
| 山田 邦博(ヤマダ クニヒロ) | 154 | | |
| 山田 太門(ヤマダ タモン) | 107 | | |
| 山田 徹(ヤマダ トオル) | 179, 183 | | |
| 山田 恒(ヤマダ ヒサシ) | 34 | | |
| 山田美枝子(ヤマダ ミエコ) | 54 | | |
| 山田美絵子(ヤマダ ミエコ) | 202 | | |